

D I O S A / X T P V1.1

メッセージリファレンス

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェア)は、外国為替及び外国貿易法で規制される規制貨物(または役務)に該当することがあります。

その場合、日本国外へ輸出する場合には日本政府の輸出許可が必要です。

なお、輸出許可申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業拠点にご相談下さい。

はしがき

本書は、業務システムの構築を支援するD I O S A / X T P製品群のメッセージリファレンスです。

本書の読者としては、業務アプリケーション開発を担当し、HP-UX、TPBASE、TAM、Oracle、その他関連 PP の使用法を一通り心得ているシステム技術者を想定しています。

2012 年 10 月 初版

2017 年 4 月 13 版

本書の関連説明書としては次のものがあります。

- D I O S A / X T P 利用の手引き
- D I O S A / X T P 導入の手引き
- D I O S A / X T P メモリキャッシュ 利用の手引き
- D I O S A / X T P データストア 利用の手引き
- D I O S A / X T P コマンドリファレンス
- D I O S A / X T P A P I リファレンス
- D I O S A / X T P 環境定義リファレンス

備考

- (1) Microsoft、Windows は、米国あるいはその他の国における米国 Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- (2) UNIX は、X/Open カンパニーリミテッドが独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
- (3) HP、HP-UX は、Hewlett-Packard 社の商標または登録商標です。
- (4) Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- (5) Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。
- (6) Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- (7) This product includes software developed by the Apache Group for use in the Apache HTTP server project (<http://www.apache.org/>).
- (8) その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

目次

第 1 章	メッセージの構成と説明形式	1
1.1	メッセージの構成	1
1.2	メッセージの説明形式	2
1.3	DIOSA/XTP リターンコード	3
第 2 章	C 言語メッセージ	6
2.1	DIALM 系	6
2.2	DIBAC 系	11
2.3	DIBCM 系	36
2.4	DICDD 系	54
2.5	DICIT 系	103
2.6	DICOC 系	105
2.7	DICOM 系	134
2.8	DIDAM 系	138
2.9	DIDLR 系	144
2.10	DIDLT 系	159
2.11	DIDTD 系	236
2.12	DIDTL 系	282
2.13	DIDTR 系	351
2.14	DIDTS 系	416
2.15	DIETG 系	483
2.16	DIIIC 系	499
2.17	DIIMS 系	576
2.18	DIIRM 系	648
2.19	DILOC 系	656
2.20	DIMDR 系	671
2.21	DIMFC 系	685
2.22	DIMMG 系	712
2.23	DIMSG 系	728
2.24	DINCM 系	747
2.25	DIOPS 系	803
2.26	DISKL 系	844
2.27	DISKT 系	849
2.28	DISTE 系	851
2.29	DITMC 系	860
第 3 章	環境定義メッセージ	886
3.1	diirmadd (環境生成コマンド)	887
3.2	diirmdel (環境削除コマンド)	898
3.3	diirmref (環境情報出力コマンド)	900
3.4	diirmrep (環境更新コマンド)	903

第 4 章 トレースメッセージ..... 914

 4.1 APP トレース 914

 4.2 デバッグトレース 927

第 5 章 Java メッセージ..... 949

 5.1 DTD 系 949

第1章 メッセージの構成と説明形式

DIOSA/XTP では、運転情報やエラー情報などの各種メッセージ(以下メッセージと表記する)を、メッセージ出力機能を利用して出力する。ユーザは DIOSA/XTP システムの運転に際し、メッセージ出力機能を介して出力されたメッセージを監視／利用することが必要となる。

本章では、メッセージの構成やその内容について説明を行う。

1.1 メッセージの構成

メッセージは以下の形式で出力される。

メッセージ構成

09:15:30.210 2010/04/01 DIABC001 I 702.1 LS1.0LTP1. diabcd デーモンが起動しました。							
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧

- | | |
|------------|---|
| ①出力時刻 | : メッセージを出力した時刻 |
| ②出力日付 | : メッセージを出力した日付 |
| ③メッセージ I D | : 個々のメッセージの識別コード |
| ④メッセージ種別 | : メッセージ種別は以下の 3 種類ある。
I 情報
W 警告
E エラー |
| ⑤プロセス情報 | : メッセージを出力したプロセスの情報を、“プロセス I D. スレッド I D”
の形式で出力する |
| ⑥ノード情報 | : メッセージを出力したノード情報を、“論理システム名. 論理ノード名.”
の形式で出力する |
| ⑦プロセス名 | : メッセージを出力したプロセス名 |
| ⑧メッセージ本文 | : 本文 |

1.2 メッセージの説明形式

以降で説明するメッセージの各項目は以下のとおりである。

メッセージID	メッセージ識別コード
メッセージ種別	I：情報、W：警告、E：エラー
[英文]	英文のメッセージフォーマット @1…@nはメッセージの埋め込み情報であり、メッセージ出力の際に対応する変数に置き換えられる
[和文]	和文のメッセージフォーマット
[説明]	メッセージの内容や埋め込み情報についての説明を記述する
[処置]	出力されたメッセージに対し利用者の対処が必要な場合に、施す処置について記述する
[関連]	本メッセージに関連するメッセージIDについて記述する

1.3 DIOSA/XTP リターンコード

DIOSA/XTP でエラーを検出した場合に出力されるメッセージにおいて、表示される DIOSA/XTP リターンコードの意味は以下のとおりである。

コード名	値	意味
DIOSA_DONE	0	正常終了
DIOSA_ALREADY	1	既に処理済み
DIOSA_EXIT	2	終了要求／通知
DIOSA_TERM	3	終了要求／通知
DIOSA_DATALIM	4	データの終わりに達した
DIOSA_RETRY	5	リトライ要求／通知
DIOSA_BLOCK	6	閉塞要求または状態通知
DIOSA_UNBLOCK	7	閉塞解除要求または状態通知
DIOSA_TIMEOUT	8	タイムアウト通知
DIOSA_IGNORE	9	何も処理を行っていない
DIOSA_ALMOST	10	要求が完全には実行されなかった
DIOSA_BREAK	11	正常に処理が終了したが次処理は条件により実行可能
DIOSA_DONETERM	12	デーモン強制停止
DIOSA_DONEKILL	13	デーモン強制停止
DIOSA_ALERT	14	警告終了
DIOSA_EMPTY	15	空である
DIOSA_CLOSED	16	相手側からソケット接続がクローズされた
DIOSA_INACTIVE	17	リソースが非活性である
DIOSA_MSGQUE	18	電文はキューイングされている
DIOSA_MSGNOTQUE	19	電文はキューイングされていない
DIOSA_NOENT	20	対象が見つからない
DIOSA_SWITCH	21	計画マスタ切替中である
DIOSA_ERROR	-1	異常終了
DIOSA_ESYS	-2	システムコールエラー
DIOSA_EPARAM	-3	パラメータエラー
DIOSA_EABORT	-4	アボート要求
DIOSA_EROLLBACK	-5	ロールバック要求
DIOSA_EMEM	-6	メモリ確保エラー
DIOSA_ENOBUFS	-7	バッファサイズ不足
DIOSA_ENOENT	-8	探し物が見つからない
DIOSA_EINVAL	-9	値不正
DIOSA_ERANGE	-10	範囲不正
DIOSA_ENOINIT	-11	未初期化
DIOSA_EPERM	-12	パーミッションエラー
DIOSA_EATTR	-13	属性エラー
DIOSA_ELOCK	-14	ロックエラー
DIOSA_ESEND	-15	送信エラー
DIOSA_EWAIT	-16	待ち合わせ失敗
DIOSA_EMKKEY	-17	キー作成エラー
DIOSA_ESETDATA	-18	データ設定エラー
DIOSA_ETRAN	-19	トランザクションエラー
DIOSA_ERECDV	-20	受信エラー
DIOSA_EBLOCK	-21	閉塞によるエラー
DIOSA_ETIMEOUT	-22	タイムアウトによるエラー
DIOSA_ERECOVERY	-23	リカバリ要求／通知
DIOSA_ELOG	-24	ログエラー
DIOSA_EACCES	-25	アクセス失敗
DIOSA_ENAMETOOLONG	-26	パス名長が最大値を超えている
DIOSA_EEXIST	-27	何かが既に存在する
DIOSA_EPSTAT	-28	プロセス情報取得エラー
DIOSA_EUNLOCK	-29	アンロックエラー
DIOSA_EFATAL	-30	処理続行不能
DIOSA_EBUSY	-31	処理中で要求に対応できない

コード名	値	意味
DIOSA_EDISCON	-32	パスが切断しているため処理ができない
DIOSA_ESIZE	-33	サイズ不正
DIOSA_EFUNCAV	-34	機能利用不可
DIOSA_EALREADY	-35	二重処理
DIOSA_EDEADLOCK	-36	デッドロックを検出した
DIOSA_ERGID	-37	指定されたリソースグループ ID は使用できない
DIOSA_ECALLEXIT	-38	利用者出口の呼び出しに失敗
DIOSA_EOVERFLOW	-39	オーバフローした
DIOSA_ENOMATCH	-40	一致しない
DIOSA_EMMSGQ	-41	メッセージキューエラー
DIOSA_ESHMGET	-42	共有メモリ確保エラー
DIOSA_EATTACH	-43	アタッチエラー
DIOSA_EDETACH	-44	デタッチエラー
DIOSA_ESHMCTL	-45	共有メモリ解放エラー
DIOSA_EFILE	-46	ファイルアクセスエラー
DIOSA_EFOPEN	-47	ファイルオープンエラー
DIOSA_EFREAD	-48	ファイル読み込みエラー
DIOSA_EFWRITE	-49	ファイル書き込みエラー
DIOSA_EFCLOSE	-50	ファイルクローズエラー
DIOSA_ENODIR	-51	出力先ディレクトリが存在しない
DIOSA_EBADF	-52	ファイル記述子が不正（ファイルがオープンされていない）
DIOSA_EAUTHORITY	-53	ディレクトリに書き込み権限がない
DIOSA_EFLOCK	-54	ファイルロックエラー
DIOSA_EFREMOVE	-55	ファイル削除エラー
DIOSA_EFSTAT	-56	ファイルステータス取得エラー
DIOSA_EMKDIR	-57	ディレクトリ作成エラー
DIOSA_EPTHREAD	-58	pthread 関数エラー
DIOSA_EMUTEX	-59	MUTEX エラー
DIOSA_ECOND	-60	COND エラー
DIOSA_ETHRKEY	-61	スレッド固有データキーエラー
DIOSA_ETHRDATA	-62	スレッド固有データエラー
DIOSA_ESTACKSZ	-63	スタックサイズエラー
DIOSA_ETHRCREATE	-64	スレッド作成エラー
DIOSA_EMLOCK	-65	MUTEX ロックエラー
DIOSA_EMUNLOCK	-66	MUTEX アンロックエラー
DIOSA_EMATTR	-67	ATTR エラー
DIOSA_EMATTRSET	-68	ATTR 設定エラー
DIOSA_EDB	-69	DB アクセスエラー
DIOSA_ESOCKET	-70	ソケット生成エラー
DIOSA_ECONNECT	-71	コネクトエラー
DIOSA_EBIND	-72	バインドエラー
DIOSA_ELISTEN	-73	リッスンエラー
DIOSA_ESELECT	-74	セレクトエラー
DIOSA_ECLOSE	-75	クローズエラー
DIOSA_EACCEPT	-76	アクセプトエラー
DIOSA_ESG	-77	環境定義取得エラー
DIOSA_EENV	-78	環境変数取得エラー
DIOSA_EPNAME	-79	プロセス名エラー
DIOSA_EIPCKEY	-80	IPCKEY エラー
DIOSA_ETUXEDO	-81	TUXEDO エラー
DIOSA_EREV	-82	指定された論理ライブラリに、指定されたリビジョンのライブラリは存在しない
DIOSA_EBREAK	-83	異常発生（次処理条件付き）
DIOSA_NOTSTOP	-84	デーモン強制停止出来なかった。
DIOSA_EREQMSG	-85	要求電文形式不正
DIOSA_ERSPMSG	-86	応答電文形式不正
DIOSA_EAPINACT	-87	業務が非活性
DIOSA_EMULTI	-88	同時実行可能な最大多重度を越えた

コード名	値	意味
DIOSA_EPREEMP	-89	プリエンプション ON 状態
DIOSA_EEXCP	-90	例外発生
DIOSA_EELAPOV	-91	経過時間オーバー
DIOSA_ETIMEFORM	-92	時刻指定形式エラー
DIOSA_EPOOLFILE	-93	プールファイルアクセスエラー
DIOSA_ESEQ	-94	長電文シーケンスエラー
DIOSA_EMFC	-95	流量制御中のため送信不可
DIOSA_ECPINACT	-96	端末非活性
DIOSA_EMNGDB	-97	電文管理表入出力エラー
DIOSA_MSGDB	-98	電文格納表入出力エラー
DIOSA_EINTR	-99	シグナルによる割込みエラー
DIOSA_ECTLFILE	-100	制御ファイル障害エラー
DIOSA_ECONFLICT	-110	値矛盾エラー
DIOSA_EBEFORE	-111	コミット前処理エラー
DIOSA_EAFTER	-112	コミット後処理エラー
DIOSA_ETAM	-113	TAM 関連のエラー
DIOSA_ESTATE	-114	状態が不正
DIOSA_ESWITCH	-115	障害時マスタ切替によるエラー
DIOSA_EDOWN	-116	サーバダウンによるエラー
DIOSA_EINACTIVE	-117	非活性
DIOSA_EREADY	-118	準備ができていない
DIOSA_EEXIT	-119	利用者出口でエラーが発生した（利用者出口の呼び出しは成功した）
DIOSA_ETPBASE	-120	TPBASE 関連のエラー
DIOSA_ETPSEND	-121	TPBASE の TP_send エラー
DIOSA_ETPRECV	-122	TPBASE の TP_receive エラー
DIOSA_EEXTEND	-123	テーブル拡張エラー
DIOSA_EJVM	-130	JavaVM の JNI 関数エラー

第2章 C 言語メッセージ

2.1 DIALM 系

DIALM010

E

[英文] Failed to start alarm thread. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] アラームスレッドの起動に失敗しました。FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[説明] アラームスレッドの生成に失敗した。

@ 1 : 関数名

@ 2 : エラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] pthread_create でエラーが発生している場合は、UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

11 : 新しいスレッドを生成するための十分なシステム資源がない。

または、PTHREAD_THREADS_MAX よりも多くのスレッドが既にアクティブである。

1 : pthread_create() 呼び出した側に、スケジューリングパラメータやスケジューリングポリシーを設定する権限がない。

DIALM011

E

[英文] Failed to start use alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能利用開始に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] アラーム機能初期化中に異常を検出した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] アラーム起動されているかログを確認する。アラーム機能初期化完了していない場合は利用できない。
または、他にエラーログが出力されていないか確認する。

リターンコードに従った処置を行う。

-2 : システムコールでエラーが発生した。開発部門へ問い合わせる。

-3 : パラメータエラー。上位関数の呼出しパラメータを確認する。

-6 : 領域確保に失敗した。メモリ割り当て処理のエラーを確認し対応する。

DIALM012

E

[英文] Failed to end use alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能利用終了に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] アラーム機能スレッド終了処理中に共通 API 等でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] アラーム起動されているかログを確認する。アラーム機能初期化完了していない場合は利用できない。
または、他にエラーログが出力されていないか確認する。

リターンコードに従った処置を行う。

-1 : メモリ解放に失敗した。メモリ解放処理のエラーを確認し対応する。

-2 : システムコールでエラーが発生した。開発部門へ問い合わせる。

-3 : パラメータエラー。上位関数の呼出しパラメータを確認する。

DIALM013

E

[英文] Failed to request alarm. return=@1 code=@2

[和文] アラーム要求に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] アラーム要求を試みたが、失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] アラーム起動されているかログを確認する。アラーム機能初期化完了していない場合は利用できない。
または、他にエラーログが出力されていないか確認する。

リターンコードに従った処置を行う。

-2 : システムコールでエラーが発生した。開発部門へ問い合わせる。

-3 : パラメータエラー。上位関数の呼出しパラメータを確認する。

-6 : 領域確保に失敗した。メモリ割り当て処理のエラーを確認し、対応する。

DIALM014

E

[英文] Failed to cancel alarm. return=@1 code=@2

[和文] アラームキャンセルに失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] アラームキャンセルを試みたが、失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] アラーム起動されているかログを確認する。アラーム機能初期化完了していない場合は利用できない。
または、他にエラーログが出力されていないか確認する。

リターンコードに従った処置を行う。

-2 : システムコールでエラーが発生した。開発部門へ問い合わせる。

-3 : パラメータエラー。上位関数の呼出しパラメータを確認する。

DIALM015

E

[英文] Failed to change alarm. return=@1 code=@2

[和文] アラーム変更に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] アラーム変更を試みたが、失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] アラーム起動されているかログを確認する。アラーム機能初期化完了していない場合は利用できない。
または、他にエラーログが出力されていないか確認する。

リターンコードに従った処置を行う。

-2 : システムコールでエラーが発生した。開発部門へ問い合わせる。

-3 : パラメータエラー。上位関数の呼出しパラメータを確認する。

DIALM017

E

[英文] System call failed. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] システムコールでエラーが発生しました。FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[説明] システムコールでエラーが発生した。

@ 1 : 関数名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIALM021

E

[英文] Failed to start alarm. return=@1 code=@2

[和文] アラーム起動に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] アラーム機能初期化を試みたが、API 等でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] アラーム起動されているかログを確認する。

他 API 等でエラーログが出力されていないか確認する。

DIALM027

E

[英文] Failed to notify alarm. return=@1 code=@2

[和文] アラーム通知に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] アラーム通知に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているソケット機能メッセージ等からエラー原因を特定し、処置を行う。

DIALM029

E

[英文] Alarm end processing error. return=@1 code=@2

[和文] アラーム終了処理中にエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] アラーム機能終了中エラーを検出した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 他 API 等でエラーログが出力されていないか確認する。

リターンコードに従った処置を行う。

-2 : システムコールでエラーが発生した。開発部門へ問い合わせる。

-3 : パラメータエラー。上位関数の呼出しパラメータを確認する。

DIALM030

E

[英文] Alarm thread error. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] アラームスレッドでエラーが発生しました。FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[説明] アラームスレッドにて、動作不能となるエラーが発生した。

@ 1 : 関数名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 他の API 等でエラーログが出力されていないかを確認する。

pthread_mutex_lock、pthread_mutex_unlock でのエラーは開発部門に問い合わせる。

DIALM031

E

[英文] Failed to notify alarm. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] アラーム通知に失敗しました。FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[説明] アラーム通知に失敗した。

@ 1 : 関数名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージキュー操作関数でエラーが発生している場合は、UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

13: 呼び出したプロセスに対して、その操作のパーミッションが拒否された。

14: msgp が、不正なアドレスを指していた。このエラーの検出の信頼性は実現方法に依存する。

36: メッセージ待ち行列識別子 msqid が、システムから削除された。

4: msgsnd() が、シグナルによって割り込まれた。

22: msqid が有効なメッセージ待ち行列識別子でなかった。

22: mtype が 1 より小さい。

22: msgsz が、0 より小さいか、システムによって決められた上限より大きかった。

2.2 DIBAC 系

DIBAC001

I

[英文] Batch AP control command started. PARAM=[@1]

[和文] バッチ AP 制御プロセスを開始しました。PARAM=[@1]

[説明] バッチ AP 制御プロセスを開始した。

@ 1 : コマンドパラメータ

[処置] 処置の必要なし。

DIBAC002

I

[英文] Batch AP control command terminated normally.

[和文] バッチ AP 制御プロセスが正常終了しました。

[説明] バッチ AP 制御プロセスが正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DIBAC003

I

[英文] Rollback retry function started.

[和文] ロールバックリトライ処理を開始しました。

[説明] ロールバックリトライ処理を開始した。

[処置] 処置の必要なし。

DIBAC004

I

[英文] Rollback retry function terminated normally.

[和文] ロールバックリトライ処理が終了しました。

[説明] ロールバックリトライ処理が終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DIBAC100

E

[英文] Batch AP control command aborted.

[和文] バッチ AP 制御プロセスが異常終了しました。

[説明] バッチ AP 制御プロセスが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているメッセージ等からエラー原因を特定し、解消する。

DIBAC101

E

[英文] Batch AP control command aborted with exception.

[和文] バッチ AP 制御プロセスが例外終了しました。

[説明] バッチ AP 制御プロセスが例外終了した。

[処置] 直前に出力されているメッセージ等からエラー原因を特定し、解消する。

DIBAC102

E

[英文] Failed to initialize process. return=@1 code=@2

[和文] バッチ AP 制御プロセス初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] バッチ AP 制御プロセス初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているメッセージ等からエラー原因を特定し、解消する。

DIBAC103

E

[英文] Failed to call start exit function. EXITNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] 初期化出口呼び出し処理においてエラーが発生しました。 EXITNAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] 初期化出口呼び出し処理においてエラーが発生した。

@ 1 : 初期化出口名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているメッセージ等からエラー原因を特定し、解消する。

[関連] DIBAC104, DIBAC105

DIBAC104

E

[英文] Abort request accepted from start exit function. EXITNAME=@1 STATUS=@2 USERSTATUS=@3 code=@4

[和文] 初期化出口から異常終了を要求されました。 EXITNAME=@1 STATUS=@2 USERSTATUS=@3 code=@4

[説明] 初期化出口から異常終了を要求された。

@ 1 : 初期化出口名

@ 2 : 利用者出口から返却された diosauca 状態コード

@ 3 : 利用者出口から返却された diosauca 利用者コード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 利用者出口が出力しているメッセージ等から異常終了要求を返却した原因を特定し、解消する。

[関連] DIBAC103

DIBAC105

E

[英文] Illegal return code from start exit function. EXITNAME=@1 STATUS=@2 USERSTATUS=@3 code=@4

[和文] 初期化出口から不正なリターンコードが返却されました。 EXITNAME=@1 STATUS=@2 USERSTATUS=@3 code=@4

[説明] 初期化出口から不正な状態コードが返却された。

@ 1 : 初期化出口名

@ 2 : 利用者出口から返却された diosauca 状態コード

@ 3 : 利用者出口から返却された diosauca 利用者コード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 正しい状態コードを返却するように利用者出口を修正する。

[関連] DIBAC103

DIBAC106

E

[英文] Failed to call C0. C0=@1 return=@2 code=@3

[和文] C0 呼び出し処理においてエラーが発生しました。 C0=@1 return=@2 code=@3

[説明] C0 呼び出し処理においてエラーが発生した。

@ 1 : C0 名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているメッセージ等からエラー原因を特定し、解消する。

[関連] DIBAC107, DIBAC108

DIBAC107

E

[英文] Abort request accepted from CO. CO=@1 STATUS=@2 USERSTATUS=@3 code=@4

[和文] CO から異常終了を要求されました。 CO=@1 STATUS=@2 USERSTATUS=@3 code=@4

[説明] CO から異常終了を要求された。

@ 1 : CO 名

@ 2 : CO から返却された diosauca 状態コード

@ 3 : CO から返却された diosauca 利用者コード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] CO が出力しているメッセージ等から異常終了要求を返却した原因を特定し、解消する。

[関連] DIBAC106

DIBAC108

E

[英文] Illegal return code from CO. CO=@1 STATUS=@2 USERSTATUS=@3 code=@4

[和文] CO から不正なリターンコードが返却されました。 CO=@1 STATUS=@2 USERSTATUS=@3 code=@4

[説明] CO から不正な状態コードが返却された。

@ 1 : CO 名

@ 2 : CO から返却された diosauca 状態コード

@ 3 : CO から返却された diosauca 利用者コード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 正しい状態コードを返却するように CO を修正する。

[関連] DIBAC106

DIBAC109

E

[英文] Failed to call normal end exit function. EXITNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] 正常終了出口呼び出し処理においてエラーが発生しました。 EXITNAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] 正常終了出口呼び出し処理においてエラーが発生した。

@ 1 : 正常終了出口名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているメッセージ等からエラー原因を特定し、解消する。

[関連] DIBAC110, DIBAC111

DIBAC110

E

[英文] Abort request accepted from normal end exit function. EXITNAME=@1 STATUS=@2 USERSTATUS=@3 code=@4

[和文] 正常終了出口から異常終了を要求されました。 EXITNAME=@1 STATUS=@2 USERSTATUS=@3 code=@4

[説明] 正常終了出口から異常終了を要求された。

@ 1 : 正常終了出口名

@ 2 : 利用者出口から返却された diosauca 状態コード

@ 3 : 利用者出口から返却された diosauca 利用者コード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 利用者出口が出力しているメッセージ等から異常終了要求を返却した原因を特定し、解消する。

[関連] DIBAC109

DIBAC111

E

[英文] Illegal return code from normal end exit function. EXITNAME=@1 STATUS=@2 USERSTATUS=@3 code=@4

[和文] 正常終了出口から不正なリターンコードが返却されました。 EXITNAME=@1 STATUS=@2 USERSTATUS=@3 code=@4

[説明] 正常終了出口から不正な状態コードが返却された。

@ 1 : 正常終了出口名

@ 2 : 利用者出口から返却された diosauca 状態コード

@ 3 : 利用者出口から返却された diosauca 利用者コード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 正しい状態コードを返却するように利用者出口を修正する。

[関連] DIBAC109

DIBAC112

E

[英文] Failed to call abort exit function. EXITNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] アボート出口呼び出し処理においてエラーが発生しました。 EXITNAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] アボート出口呼び出し処理においてエラーが発生した。

@ 1 : アボート出口名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているメッセージ等からエラー原因を特定し、解消する。

DIBAC115

E

[英文] Retry over. C0=@1 RETRYCOUNT=@2 code=@3

[和文] C0 の呼び出しがリトライオーバーしました。 C0=@1 RETRYCOUNT=@2 code=@3

[説明] C0 の呼び出し(ロールバックリトライ)がリトライオーバーした。

@ 1 : C0 名

@ 2 : リトライ回数

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] C0 が出力しているメッセージ等からロールバックリトライ要求を返却した原因を特定し、解消する。

DIBAC116

E

[英文] Occurred exception in exception function.

[和文] 例外処理中に例外が発生しました。

[説明] 例外処理中に例外が発生した。

[処置] 直前に出力されているメッセージ等から例外発生原因を特定し、解消する。

DIBAC118

E

[英文] Abort request accepted from commit exit function. EXITNAME=@1 STATUS=@2 USERSTATUS=@3 code=@4

[和文] コミット出口から異常終了を要求されました。 EXITNAME=@1 STATUS=@2 USERSTATUS=@3 code=@4

[説明] コミット出口から異常終了を要求された。

@ 1 : コミット出口名

@ 2 : 利用者出口から返却された diosauca 状態コード

@ 3 : 利用者出口から返却された diosauca 利用者コード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 利用者出口が出力しているメッセージ等から異常終了要求を返却した原因を特定し、解消する。

DIBAC119

E

[英文] Illegal return code from commit exit function. EXITNAME=@1 STATUS=@2 USERSTATUS=@3 code=@4

[和文] コミット出口から不正なリターンコードが返却されました。 EXITNAME=@1 STATUS=@2 USERSTATUS=@3 code=@4

[説明] コミット出口から不正な状態コードが返却された。

@ 1 : コミット出口名

@ 2 : 利用者出口から返却された diosauca 状態コード

@ 3 : 利用者出口から返却された diosauca 利用者コード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 正しい状態コードを返却するように利用者出口を修正する。

DIBAC121

E

[英文] Abort request accepted from rollback exit function. EXITNAME=@1 STATUS=@2 USERSTATUS=@3 code=@4

[和文] ロールバック出口から異常終了を要求されました。 EXITNAME=@1 STATUS=@2 USERSTATUS=@3 code=@4

[説明] ロールバック出口から異常終了を要求された。

@ 1 : ロールバック出口名

@ 2 : 利用者出口から返却された diosauca 状態コード

@ 3 : 利用者出口から返却された diosauca 利用者コード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 利用者出口が出力しているメッセージ等から異常終了要求を返却した原因を特定し、解消する。

DIBAC122

E

[英文] Illegal return code from rollback exit function. EXITNAME=@1 STATUS=@2 USERSTATUS=@3 code=@4

[和文] ロールバック出口から不正なリターンコードが返却されました。 EXITNAME=@1 STATUS=@2 USERSTATUS=@3 code=@4

[説明] ロールバック出口から不正な状態コードが返却された。

@ 1 : ロールバック出口名

@ 2 : 利用者出口から返却された diosauca 状態コード

@ 3 : 利用者出口から返却された diosauca 利用者コード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 正しい状態コードを返却するように利用者出口を修正する。

DIBAC200

W

[英文] Failed to open to report file. file=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 実行レポートファイルのオープンに失敗しました。 file=@1 errno=@2 code=@3

[説明] システムコール fopen が異常終了した。

@ 1 : ファイル名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号からエラー原因を特定し、解消する。

2 : 指定されたファイルが存在しない

4 : シグナルを受信した

13 : ファイルのパーミッションが拒否された。親ディレクトリを含め、パーミッションを確認する。

21 : 指定されたファイルがディレクトリである

24 : ファイルオープン数が制限を越えている

28 : ディレクトリあるいはファイルシステムに新しくファイルを作成する領域がない

DIBAC201

E

[英文] Failed to write to report file. file=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 実行レポートファイルの書き込みに失敗しました。 file=@1 errno=@2 code=@3

[説明] システムコール fprintf が異常終了した。

@ 1 : ファイル名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号からエラー原因を特定し、解消する。

4 : シグナルを受信した

5 : 物理的な I/O エラーが発生した

9 : ファイル記述子が無効である

27 : プロセスのファイルサイズ上限またはファイルサイズの最大値を越えてファイルに書き出そうとした

28 : ファイルを格納しているデバイスに空きスペースがない

DIBAC202

W

[英文] Failed to close to report file. file=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 実行レポートファイルのクローズに失敗しました。 file=@1 errno=@2 code=@3

[説明] システムコール fclose が異常終了した。

@ 1 : ファイル名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号からエラー原因を特定し、解消する。

4 : シグナルを受信した

9 : ファイル記述子が無効である

27 : プロセスのファイルサイズ上限またはファイルサイズの最大値を越えてファイルに書き出そうとした

28 : ファイルを格納しているデバイスに空きスペースがない

DIBAC203

E

[英文] Failed to open to parameter file. file=@1 errno=@2 code=@3

[和文] パラメータファイルのオープンに失敗しました。 file=@1 errno=@2 code=@3

[説明] システムコール fopen が異常終了した。

@ 1 : ファイル名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号からエラー原因を特定し、解消する。

2 : 指定されたファイルが存在しない

4 : シグナルを受信した

13 : ファイルのパーミッションが拒否された。親ディレクトリを含め、パーミッションを確認する。

21 : 指定されたファイルがディレクトリである

24 : ファイルオープン数が制限を越えている

28 : ディレクトリあるいはファイルシステムに新しくファイルを作成する領域がない

DIBAC204

E

[英文] Failed to read to parameter file. file=@1 errno=@2 code=@3

[和文] パラメータファイルの読み込みに失敗しました。 file=@1 errno=@2 code=@3

[説明] システムコール fread が異常終了した。

@ 1 : ファイル名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号からエラー原因を特定し、解消する。

4 : シグナルを受信した

5 : 物理的な I/O エラーが発生した

9 : ファイル記述子が無効である

DIBAC205

W

[英文] Failed to close to parameter file. file=@1 errno=@2 code=@3

[和文] パラメータファイルのクローズに失敗しました。 file=@1 errno=@2 code=@3

[説明] システムコール fclose が異常終了した。

@ 1 : ファイル名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号からエラー原因を特定し、解消する。

4 : シグナルを受信した

9 : ファイル記述子が無効である

27 : プロセスのファイルサイズ上限またはファイルサイズの最大値を越えてファイルに書き出そうとした

28 : ファイルを格納しているデバイスに空きスペースがない

DIBAC206

W

[英文] Failed to acquire date. errno=@1 code=@2

[和文] 日時の取得に失敗しました。 errno=@1 code=@2

[説明] システムコール gettimeofday が異常終了した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC207

E

[英文] Failed to acquire limit of CPU time. errno=@1 code=@2

[和文] CPU 時間制限値の取得に失敗しました。 errno=@1 code=@2

[説明] システムコール getrlimit が異常終了した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号からエラー原因を特定し、解消する。

1 : 無効なリソースが指定された

DIBAC208

E

[英文] Failed to set limit of CPU time. errno=@1 code=@2

[和文] CPU 時間制限値の設定に失敗しました。 errno=@1 code=@2

[説明] システムコール setrlimit が異常終了した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号からエラー原因を特定し、解消する。

1 : 指定した制限値が最大の制限値より大きい、適切な特権を持っていない

22 : 指定した値よりも現在の使用量が超えているため、制限値を指定した値に設定することができない

DIBAC209

E

[英文] Failed to register signal handler. SIGNAL=@1 errno=@2 code=@3

[和文] シグナルハンドラの登録に失敗しました。 SIGNAL=@1 errno=@2 code=@3

[説明] システムコール sigaction が異常終了した。

@ 1 : シグナル番号

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号からエラー原因を特定し、解消する。

22 : 妥当なシグナル番号ではない、あるいは、捕捉できないシグナルを捕捉するか、無視できないシグナルを無視しようとした

DIBAC210

E

[英文] Failed to commit to DB. sqlcode=@1 code=@2

[和文] DB コミット処理においてエラーが発生しました。 sqlcode=@1 code=@2

[説明] Oracle のコミット処理においてエラーが発生した。

@ 1 : Oracle のエラーコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] Oracle のエラーコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIBAC211

E

[英文] Failed to execute rollback of DB. sqlcode=@1 code=@2

[和文] DB ロールバック処理においてエラーが発生しました。 sqlcode=@1 code=@2

[説明] Oracle のロールバック処理においてエラーが発生した。

@ 1 : Oracle のエラーコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] Oracle のエラーコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIBAC212

E

[英文] Occurred exception with signal. SIGNAL=@1

[和文] 例外（シグナル）が発生しました。 SIGNAL=@1

[説明] シグナルを受信した。

@ 1 : シグナル番号

[処置] 前後に出力されているメッセージ等から例外発生箇所を特定し、解消する。

DIBAC213

E

[英文] Failed to remove limit of CPU time. errno=@1 code=@2

[和文] CPU 時間制限値の解除に失敗しました。 errno=@1 code=@2

[説明] システムコール setrlimit が異常終了した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号からエラー原因を特定し、解消する。

1 : 指定した制限値が最大の制限値より大きい、適切な特権を持っていない

DIBAC214

E

[英文] Failed to reset limit of CPU time. errno=@1 code=@2

[和文] CPU 時間制限値のリセットに失敗しました。 errno=@1 code=@2

[説明] システムコール setrlimit が異常終了した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号からエラー原因を特定し、解消する。

1 : 指定した制限値が最大の制限値より大きい、適切な特権を持っていない

22 : 指定した値よりも現在の使用量が超えているため、制限値を指定した値に設定することができない

DIBAC215

E

[英文] Failed to create to directory. DIR=@1 errno=@2 code=@3

[和文] ディレクトリの生成に失敗しました。 DIR=@1 errno=@2 code=@3

[説明] システムコール mkdir が異常終了した。

@ 1 : ディレクトリ名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号からエラー原因を特定し、解消する。

5 : ファイルシステムに書き込み中に I/O エラーが起きた

13 : 指定したファイル (パス) のアクセス権がない

17 : その名前のついたファイルがすでに存在している

28 : ファイルシステムに十分な空間がない

DIBAC216

E

[英文] Failed to change to directory. DIR=@1 errno=@2 code=@3

[和文] ディレクトリの変更に失敗しました。 DIR=@1 errno=@2 code=@3

[説明] システムコール chdir が異常終了した。

@ 1 : ディレクトリ名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号からエラー原因を特定し、解消する。

2 : 指定されたディレクトリが存在しない

13 : 指定したパスのアクセス権がない

20 : パス名の構成要素がディレクトリでない

DIBAC301

E

[英文] Failed to acquire environmental variable. ENVNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] 環境変数の取得に失敗しました。 ENVNAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] 環境変数の取得に失敗した。

@ 1 : 環境変数名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIBAC302

W

[英文] Failed to acquire strings of date. return=@1 code=@2

[和文] 日時文字列の取得に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] 日時文字列の取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC305

E

[英文] Failed to initialize stack of function name. return=@1 code=@2

[和文] 関数名スタック初期化に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] 関数名スタック初期化に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC306

E

[英文] Failed to acquire stack of function name. return=@1 code=@2

[和文] 関数名スタック情報の取得に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] 関数名スタック情報の取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC309

E

[英文] Failed to connect DB. return=@1 DSTATUS=@2 code=@3

[和文] DB コネクト処理においてエラーが発生しました。 return=@1 DSTATUS=@2 code=@3

[説明] Oracle への接続に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 詳細ステータス

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 全 DB 障害であるかを確認する。全 DB 障害でなければ、本メッセージの前にエラーとなった原因の情報が出力されるので、エラー原因を特定し、解消する。

DIBAC310

W

[英文] Failed to disconnect DB. return=@1 DSTATUS=@2 code=@3

[和文] DB ディスコネクト処理においてエラーが発生しました。 return=@1 DSTATUS=@2 code=@3

[説明] Oracle ディスコネクトに失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 詳細ステータス

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIBAC311

E

[英文] Failed to acquire context of DB. return=@1 code=@2

[和文] DB コンテキストの取得に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] DB コンテキストの取得に失敗した。

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIBAC400

E

[英文] Failed to initialize elapsed time guard function. return=@1 code=@2

[和文] 経過時間監視初期化处理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] 経過時間監視初期化处理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC401

W

[英文] Failed to terminate elapsed time guard function. return=@1 code=@2

[和文] 経過時間監視終了処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] 経過時間監視終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC402

E

[英文] Failed to register information of elapsed time. return=@1 code=@2

[和文] 経過時間監視情報登録処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] 経過時間監視情報登録処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC403

W

[英文] Failed to delete information of elapsed time. return=@1 code=@2

[和文] 経過時間監視情報削除処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] 経過時間監視情報削除処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC404

W

[英文] Failed to initialize operation statistics function. return=@1 code=@2

[和文] 稼動統計初期化处理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] 稼動統計初期化处理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC405

W

[英文] Failed to terminate operation statistics function. return=@1 code=@2

[和文] 稼動統計終了処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] 稼動統計終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC406

W

[英文] Failed to write operation statistics. return=@1 code=@2

[和文] 稼動情報出力処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] 稼動情報出力処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC410

E

[英文] Failed to call function. FUNC=@1 return=@2 code=@3

[和文] AP 動的置換の関数呼び出しにおいてエラーが発生しました。 FUNC=@1 return=@2 code=@3

[説明] AP 動的置換の関数呼び出しにおいてエラーが発生した。

@ 1 : 呼び出し関数名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIBAC411

E

[英文] Failed to initialize application dynamic replace function. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] AP 動的置換初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC414

E

[英文] Failed to initialize process of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送共通プロセス初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] ディレード転送共通プロセス初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC415

W

[英文] Failed to terminate process of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送共通プロセス終了処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] ディレード転送共通プロセス終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC416

E

[英文] Failed to initialize process of log writer. return=@1 code=@2

[和文] ログライタープロセス初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] ログライタープロセス初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC417

W

[英文] Failed to terminate process of log writer. return=@1 code=@2

[和文] ログライタプロセス終了処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] ログライタプロセス終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC418

E

[英文] Failed to commit to message output function. return=@1 code=@2

[和文] メッセージ出力のコミット同期処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] メッセージ出力のコミット同期処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC419

E

[英文] Failed to force release of lock. return=@1 code=@2

[和文] ロック強制解放処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] ロック強制解放処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC420

E

[英文] Failed to reset elapsed time. return=@1 code=@2

[和文] 経過時間監視リセット処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] 経過時間監視リセット処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIBAC423

E

[英文] Failed to initialize process of command delivery function. return=@1 code=@2

[和文] コマンド配信プロセス初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] コマンド配信プロセス初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIBAC424

W

[英文] Failed to terminate process of command delivery function. return=@1 code=@2

[和文] コマンド配信プロセス終了処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] コマンド配信プロセス終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIBAC425

E

[英文] Failed to initialize process of timer control function. return=@1 code=@2

[和文] タイマ制御プロセス初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] タイマ制御プロセス初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC426

W

[英文] Failed to terminate process of timer control function. return=@1 code=@2

[和文] タイマ制御プロセス終了処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] タイマ制御プロセス終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC427

E

[英文] Failed to commit to timer control function. return=@1 code=@2

[和文] タイマのコミット処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] タイマのコミット処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC428

E

[英文] Failed to execute rollback of timer control function. return=@1 code=@2

[和文] タイマのロールバック処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] タイマのロールバック処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC500

E

[英文] Function nest information @1

[和文] 関数ネスト情報 @1

[説明] 例外発生時に関数ネスト情報を出力する。

@ 1 : 関数ネスト情報

“関数名<-関数名<-関数名 ～ <-関数名”

[処置] 例外の原因を特定するための情報として利用する。

DIBAC501

E

[英文] CPU time over.

[和文] CPU 時間制限超過しました。

[説明] コマンドパラメータでCPU 超過時間制限を指定した際に、CPU 時間制限が超過した。

[処置] 前後に出力されているメッセージ等から CPU 時間制限超過原因を特定し、解消する。

DIBAC502

E

[英文] Elapsed time over.

[和文] 経過時間超過しました。

[説明] コマンドパラメータで経過時間制限を指定した際に、経過時間が超過した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 前後に出力されているメッセージ等から経過時間超過原因を特定し、解消する。

DIBAC600

E

[英文] Failed to initialize process of In-memory server Information Control. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ所在管理プロセス初期化处理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバ所在管理プロセス初期化处理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC601

W

[英文] Failed to terminate process of In-memory server Information Control. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ所在管理プロセス終了処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバ所在管理プロセス終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC602

E

[英文] Failed to initialize process of In-Memory Server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバプロセス初期化处理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバプロセス初期化处理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC603

W

[英文] Failed to terminate process of In-Memory Server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバプロセス終了処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバプロセス終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC604

E

[英文] Failed to open to In-Memory Server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバオープン処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバオープン処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIBAC605

W

[英文] Failed to close to In-Memory Server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバクローズ処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバクローズ処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIBAC606

E

[英文] Failed to initialize service of In-Memory Server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバサービス初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバサービス初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC607

W

[英文] Failed to terminate service of In-Memory Server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバサービス終了処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバサービス終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC608

W

[英文] Failed to set MAP. return=@1 code=@2

[和文] アクセス先 MAP の設定においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] アクセス先 MAP の設定においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIBAC609

E

[英文] Failed to start In-Memory Server transaction. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバトランザクション開始処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバトランザクション開始処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIBAC610

E

[英文] Failed to commit to In-Memory Server. return=@1 code=@2

[和文] In-Memory Data コミット処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] In-Memory Data のコミット処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIBAC611

E

[英文] Failed to execute rollback of In-Memory Server. return=@1 code=@2

[和文] In-Memory Data ロールバック処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] In-Memory Data のロールバック処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIBAC612

W

[英文] Failed to acquire operation statistics of In-Memory Server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバの稼動統計情報取得処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバの稼動統計情報取得処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIBAC613

W

[英文] Failed to initialize operation statistics of In-Memory Server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバの性能情報初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバの性能情報初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

2.3 DIBCM 系

DIBCM001

I

[英文] Blockade management daemon started.

[和文] 閉塞管理デーモンが起動しました。

[説明] 閉塞管理デーモンプロセスが起動したことを示す。

[処置] 処置の必要なし。

DIBCM002

I

[英文] Blockade management daemon stopped.

[和文] 閉塞管理デーモンが停止しました。

[説明] 閉塞管理デーモンプロセスが停止したことを示す。

[処置] 処置の必要なし。

DIBCM003

I

[英文] Blockade management daemon is already running.

[和文] 閉塞管理デーモンは起動済みです。

[説明] 閉塞管理デーモンプロセスは既に起動している。

[処置] 処置の必要なし。

DIBCM004

I

[英文] Blockade management daemon is already stopping.

[和文] 閉塞管理デーモンは停止済みです。

[説明] 閉塞管理デーモンプロセスは既に停止している。

[処置] 処置の必要なし。

DIBCM005

I

[英文] Blockade management daemon start/stop command started.

[和文] 閉塞管理デーモン起動・停止コマンドを開始しました。

[説明] 閉塞管理デーモン起動・停止コマンドが処理を開始したことを示す。

[処置] 処置の必要なし。

DIBCM006

I

[英文] Blockade management daemon start/stop command terminated.

[和文] 閉塞管理デーモン起動・停止コマンドを終了しました。

[説明] 閉塞管理デーモン起動・停止コマンドが処理を終了したことを示す。

[処置] 処置の必要なし。

DIBCM007

I

[英文] Succeeded to start blockade management daemon.

[和文] 閉塞管理デーモンの起動に成功しました。

[説明] 閉塞管理デーモン起動・停止コマンドが閉塞管理デーモンプロセスを起動したことを示す。

[処置] 処置の必要なし。

DIBCM008

I

[英文] Succeeded to stop blockade management daemon.

[和文] 閉塞管理デーモンの終了に成功しました。

[説明] 閉塞管理デーモン起動・停止コマンドが閉塞管理デーモンプロセスを終了したことを示す。

[処置] 処置の必要なし。

DIBCM009

E

[英文] Blockade management daemon start/stop command aborted.

[和文] 閉塞管理デーモンの起動・停止コマンドが異常終了しました。

[説明] 閉塞管理デーモン起動・停止コマンドが、閉塞管理デーモンプロセスを起動及び停止処理中にエラーが発生しコマンド処理を中断したことを示す。

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM011

I

[英文] Blockade management daemon inherit last state.

[和文] 以前の状態を引き継いで閉塞管理デーモンが起動しました。

[説明] 閉塞管理デーモン起動・停止コマンドが閉塞管理デーモンを起動したことを示す。
この場合は起動停止管理テーブルが存在していたため、その情報を引き継いで起動したことを示す。

[処置] 処置の必要なし。

DIBCM012

E

[英文] Blockade management daemon started but response abnormal.

[和文] 閉塞管理デーモンは起動しましたが、応答が異常でした。

[説明] 閉塞管理デーモンの起動が正しく行われなかったことを示す。閉塞管理デーモンプロセスの起動に失敗した。

[処置] 再度、閉塞管理デーモン起動停止コマンドを実行する。

DIBCM013

E

[英文] Failed to start blockade management daemon. code=@1

[和文] 閉塞管理デーモン起動中に異常が発生しました。code=@1

[説明] 起動・停止コマンドが閉塞管理デーモンを起動できなかったことを示す。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM014

E

[英文] Failed to stop blockade management daemon. code=@1

[和文] 閉塞管理デーモン停止中に異常が発生しました。code=@1

[説明] 起動・停止コマンドが閉塞管理デーモンを停止できなかったことを示す。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM015

E

[英文] Blockade management daemon not able to stop.

[和文] 閉塞管理デーモンが停止できませんでした。

[説明] 起動・停止コマンドが閉塞管理デーモンを停止できなかったことを示す。

[処置] 再度、閉塞管理デーモン起動・停止コマンドを実行する。

DIBCM016

E

[英文] Failed to create daemon management table. code=@1

[和文] 起動停止管理テーブルの生成に失敗しました。code=@1

[説明] 起動・停止コマンドが起動停止管理テーブルを生成できなかったことを示す。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM017

E

[英文] Failed to delete daemon management table. errno=@1 code=@2

[和文] 起動停止管理テーブルの削除に失敗しました。errno=@1 code=@1

[説明] 起動・停止コマンドが起動停止管理テーブルを削除できなかったことを示す。

@ 1 : UNIX エラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。また、UNIX エラー番号に従い対処を行う。

DIBCM018

E

[英文] Failed to access daemon management table. code=@1

[和文] 起動停止管理テーブル操作に失敗しました。code=@1

[説明] 閉塞管理デーモンの起動停止を管理するテーブルの操作で失敗が発生しました。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM020

E

[英文] Not executed command because blockade status has changed. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞状態管理情報へ更新アクセス中のためコマンドを実行できません。return=@1 code=@2

[説明] 閉塞管理デーモンが閉塞管理テーブルを更新中、もしくは閉塞状態変更、参照、同期コマンドが実行されているため、コマンドを実行しなかったことを示す。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] しばらくたってから再度コマンドを実行する。

DIBCM021

E

[英文] DIOSA is not started.

[和文] DIOSA 未起動のため閉塞状態変更コマンドが実行できませんでした。

[説明] DIOSA 未起動のため閉塞状態変更コマンドが実行できなかったことを示す。

[処置] DIOSA/XTP を起動してからコマンドを実行する。

DIBCM022

E

[英文] Blockade state change command aborted. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞状態変更コマンド初期化処理中に異常終了しました。 return=@1 code=@2

[説明] 閉塞状態変更コマンドプロセス初期化中にエラーが発生したことを示す。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM023

E

- [英文] Blockade state change command aborted. code=@1
- [和文] 閉塞状態変更コマンドが異常終了しました。code=@1
- [説明] 閉塞状態変更コマンドが異常終了したことを示す。
@ 1 : DIOSA 内部コード
- [処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM024

I

- [英文] Blockade state change command terminated normally.
- [和文] 閉塞状態変更コマンドが正常終了しました。
- [説明] 閉塞状態変更コマンドの実行が成功したことを示す。
- [処置] 処置の必要なし。

DIBCM025

E

- [英文] Failed to connect with blockade management daemon. return=@1 code=@2
- [和文] 閉塞管理デーモンと通信接続準備中に異常が発生しました。return=@1 code=@2
- [説明] 閉塞管理デーモンとの通信接続中にエラーが発生し、コマンドが異常終了したことを示す。
@ 1 : リターンコード
@ 2 : DIOSA 内部コード
- [処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM026

E

- [英文] Failed to change of blockade state. return=@1 code=@2
- [和文] 閉塞状態の変更に失敗しました。return=@1 code=@2
- [説明] 閉塞管理デーモンにて閉塞状態変更時にエラーが発生し、コマンドが異常終了したことを示す。
@ 1 : リターンコード
@ 2 : DIOSA 内部コード
- [処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM027

E

[英文] Received message is illegal. return=@1 code=@2

[和文] 不正な電文を受信しました。return=@1 code=@2

[説明] 閉塞管理デーモンからのコマンド実行結果待ち中に、不正な電文を受信し異常終了したことを示す。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 閉塞管理デーモンを再起動し、再度、コマンドを実行する。

DIBCM028

E

[英文] Processing of command did time-out. code=@1

[和文] コマンド実行中タイムアウトが発生しました。code=@1

[説明] 閉塞管理デーモンからのコマンド実行結果待ち中に、応答監視タイムアウトが発生し、コマンドが異常終了したことを示す。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 閉塞管理デーモンを再起動し、再度、コマンドを実行する。

DIBCM029

E

[英文] Disconnect with blockade management daemon. code=@1

[和文] 閉塞監視デーモンとの通信が切断されました。code=@1

[説明] 閉塞管理デーモンからのコマンド実行結果待ち中に、ソケット切断され、コマンドが異常終了したことを示す。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 閉塞管理デーモンを再起動し、再度、コマンドを実行する。

DIBCM030

W

[英文] Specified search condition is not defined. LSNAME=@1 LNODENAME=@2

[和文] 指定した検索条件は定義されていません。LSNAME=@1 LNODENAME=@2

[説明] 指定した検索条件（論理システム名及び論理ノード名）は未定義のため、閉塞状態参照コマンドが失敗したことを示す。

@ 1 : 論理システム名

@ 2 : 論理ノード名

[処置] 環境定義(DIOSAMAP)に定義されている名前を指定し、再度コマンドを実行する。

DIBCM031

E

[英文] Failed to synchronize state of blockade. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞状態の取得（同期合わせ）に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] 閉塞管理デーモンにて閉塞状態同期合わせ時にエラーが発生し、コマンドが異常終了したことを示す。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM032

I

[英文] Blockade state already changed.

[和文] 既に閉塞状態変更コマンドで指定された状態になっています。

[説明] 閉塞状態変更コマンドにより、指定された状態は既に閉塞管理上そのようになっていることを示す。
変更コマンドは処理を中止した。

[処置] 既に指定した状態になっているため、処置の必要なし。

DIBCM033

E

[英文] Specified information is not defined in configuration information. return=@1 code=@2

[和文] 環境定義されていない情報が指定されました。return=@1 code=@2

[説明] 閉塞状態変更コマンドにより、指定された情報は環境定義に未定義であることを示す。変更コマンドは処理を中止した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 環境定義されている情報を指定して、再度コマンドを実行する。

DIBCM034

E

[英文] Blockade state administrative information reached upper bound value. Change the unit releases that blockade and blockades.

[和文] 閉塞状態管理情報が上限値に達しました。閉塞を解除し閉塞する単位の変更をしてください。

[説明] 閉塞状態変更コマンドで、閉塞状態設定が管理可能な上限値を超過したことを示す。

[処置] 閉塞状態になっている情報を確認し、不要な閉塞を解除する。

DIBCM035

W

[英文] Specified search condition is not defined. APNAME=@1 RGID=@2 QUENAME=@3

[和文] 指定した検索条件は定義されていません。APNAME=@1 RGID=@2 QUENAME=@3

[説明] 指定した検索条件（業務名、リソースグループ ID、キュー名）は未定義のため、閉塞状態参照コマンドが失敗したことを示す。

@ 1 : 業務名

@ 2 : リソースグループ ID

@ 3 : キュー名

[処置] 環境定義されている条件を指定し、再度コマンドを実行する。

DIBCM036

E

[英文] DIOSA is not started.

[和文] DIOSA 未起動のため閉塞同期コマンドが実行できませんでした。

[説明] DIOSA 未起動のため閉塞同期コマンドが実行できなかったことを示す。

[処置] DIOSA/XTP を起動してからコマンドを実行する。

DIBCM037

E

[英文] Synchronous command aborted. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞同期コマンド初期化処理中に異常終了しました。 return=@1 code=@2

[説明] 閉塞同期コマンドプロセス初期化中にエラーが発生したことを示す。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM038

E

[英文] Synchronous command aborted. code=@1

[和文] 閉塞同期コマンドが異常終了しました。 code=@1

[説明] 閉塞同期コマンドが異常終了したことを示す。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM039

I

[英文] Synchronous command terminated normally.

[和文] 閉塞同期コマンドが正常終了しました。

[説明] 閉塞同期コマンドの実行が成功したことを示す。

[処置] 処置の必要なし。

DIBCM040

E

[英文] DIOSA is not started.

[和文] DIOSA 未起動のため閉塞状態参照コマンドが実行できませんでした。

[説明] DIOSA 未起動のため閉塞状態参照コマンドが実行できなかったことを示す。

[処置] DIOSA/XTP を起動してからコマンドを実行する。

DIBCM041

E

[英文] Reference command aborted. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞状態参照コマンド初期化処理中に異常終了しました。 return=@1 code=@2

[説明] 閉塞状態参照コマンドプロセス初期化中にエラーが発生したことを示す。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM042

E

[英文] Reference command aborted. code=@1

[和文] 閉塞状態参照コマンドが異常終了しました。 code=@1

[説明] 閉塞状態参照コマンドが異常終了したことを示す。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM050

E

[英文] Failed to initialize of COC blockage administrative information. code=@1

[和文] COC 閉塞管理情報の初期化に失敗しました。 code=@1

[説明] 閉塞情報テーブルを作成しようとしたが、LOC エラー、内部メモリ領域の確保に失敗したことを示す。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM051

E

[英文] Failed to dynamic-change of COC blockage administrative information. code=@1

[和文] COC 閉塞管理情報の動的変更に失敗しました。 code=@1

[説明] 閉塞情報テーブルを変更しようとしたが、LOC エラー、内部メモリ領域の確保に失敗したことを示す。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM052

E

[英文] Failed to change of COC blockage administrative information. code=@1

[和文] COC 閉塞管理情報の変更失敗しました。code=@1

[説明] 閉塞情報テーブルを変更しようとしたが、LOC エラー、内部メモリ領域の確保・解放に失敗したことを示す。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM053

E

[英文] Failed to terminate of COC blockage administrative information. code=@1

[和文] COC 閉塞管理情報の終了処理に失敗しました。code=@1

[説明] 閉塞情報テーブルを削除しようとしたが、LOC エラー、内部メモリ領域の確保・解放に失敗したことを示す。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM054

E

[英文] Failed to initialize of NOD blockage administrative information. code=@1

[和文] NOD 閉塞管理情報の初期化に失敗しました。code=@1

[説明] 閉塞情報テーブルを作成しようとしたが、LOC エラー、内部メモリ領域の確保に失敗したことを示す。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM055

E

[英文] Failed to dynamic-change of NOD blockage administrative information. code=@1

[和文] NOD 閉塞管理情報の動的変更に失敗しました。code=@1

[説明] 閉塞情報テーブルを変更しようとしたが、LOC エラー、内部メモリ領域の確保に失敗したことを示す。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM056

E

[英文] Failed to change of NOD blockage administrative information. code=@1

[和文] NOD 閉塞管理情報の変更に失敗しました。code=@1

[説明] 閉塞情報テーブルを変更しようとしたが、LOC エラー、内部メモリ領域の確保に失敗したことを示す。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM057

E

[英文] Failed to terminate of NOD blockage administrative information. code=@1

[和文] NOD 閉塞管理情報の終了処理に失敗しました。code=@1

[説明] 閉塞情報テーブルを削除しようとしたが、LOC エラー、内部メモリ領域の確保・解放に失敗したことを示す。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM058

E

[英文] Failed to initialize reference processing of blockage state. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞管理情報の参照初期化処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] 閉塞状態管理テーブルへアタッチしようとしたが、LOC エラー、内部メモリ領域の確保・解放に失敗したことを示す。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM059

E

[英文] Failed to terminate reference processing of blockage state. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞管理情報の参照終了処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] 閉塞情報テーブルをデタッチしようとしたが、LOC エラー、内部メモリ領域の確保・解放に失敗したことを示す。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM060

E

[英文] Failed to reference of blockage state. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞状態の参照中にエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] 閉塞状態テーブル参照中にエラーが発生したことを示す。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM100

E

[英文] Environment variable is not defined. ENVNAME=@1

[和文] 環境変数が定義されていません。ENVNAME=@1

[説明] 起動に必要な環境変数が定義されていなかった。

@ 1 : 環境変数名

[処置] 環境変数を設定し閉塞管理デーモンプロセスを再起動する。

DIBCM101

E

[英文] Set value of environment variable is illegal. ENVNAME=@1 VALUE=@2

[和文] 環境変数の設定値が不正です。ENVNAME=@1 VALUE=@2

[説明] 設定されていた環境変数の値が不正だった。

@ 1 : 環境変数名

@ 2 : 環境変数設定値

[処置] 環境変数の設定値を見直し、閉塞管理デーモンプロセスを再起動する。

DIBCM102

E

[英文] Blockade management daemon aborted. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞管理デーモンの起動でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] 閉塞管理デーモンの起動処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。

DIBCM103

W

[英文] Failed to change of blockade state. LSNAME=@1 LNODENAME=@2

[和文] 閉塞状態を変更できません。LSNAME=@1 LNODENAME=@2

[説明] 閉塞状態変更コマンド実行中に、対象ノードからソケット切断事象の発生、もしくは無応答によるタイムアウトが発生したため、対象ノードでの変更処理が行えなかった。

@ 1 : 論理システム名

@ 2 : 論理ノード名

[処置] 変更処理が行えなかったノードの閉塞管理デーモンの閉塞状態を参照し、閉塞状態が変更されていない場合は、閉塞状態同期コマンドを投入し、閉塞状態の同期を行う。

DIBCM104

E

[英文] Failed to synchronize state of blockade. LSNAME=@1 LNODENAME=@2 code=@3

[和文] 閉塞状態の取得（同期合わせ）に失敗しました。LSNAME=@1 LNODENAME=@2 code=@3

[説明] 閉塞管理デーモンにて閉塞状態同期合わせ時にエラーが発生したことを示す。

@ 1 : 論理システム名

@ 2 : 同期合わせ失敗の原因になった論理ノード名称

他処理中のため全ノード同期合わせ不可の場合、“***”と出力される。

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 各ノードの閉塞状態が不一致となっている場合は、閉塞状態同期コマンドを投入し、閉塞状態の同期を行う。

DIBCM105

E

[英文] Failed to send message. return=@1 code=@2

[和文] 電文の送信に失敗しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 閉塞管理デーモンにて電文送信時にエラーが発生したことを示す。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し解消する。

DIBCM106

E

[英文] Failed to add watch socket. return=@1 code=@2

[和文] 監視ソケット登録処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 監視ソケット登録に失敗したことを示す。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し解消する。

DIBCM107

E

[英文] Failed to delete watch socket. return=@1 code=@2

[和文] 監視ソケット削除処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 監視ソケット削除に失敗したことを示す。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し解消する。

DIBCM110

I

[英文] Node changed to state of blockade. LSNAME=@1 LNODENAME=@2

[和文] ノードを閉塞にしました。 LSNAME=@1 LNODENAME=@2

[説明] ノード閉塞状態を閉塞に変更した

@ 1 : 論理システム名

@ 2 : 論理ノード名

[処置] 処置の必要なし。

DIBCM111

I

[英文] Node changed to state of blockade release. LSNAME=@1 LNODENAME=@2

[和文] ノードを閉塞解除しました。 LSNAME=@1 LNODENAME=@2

[説明] ノード閉塞状態を閉塞解除に変更した

@ 1 : 論理システム名

@ 2 : 論理ノード名

[処置] 処置の必要なし。

DIBCM112

I

[英文] C0 changed to state of blockade. CONAME=@1

[和文] C0 を閉塞にしました。 CONAME=@1

[説明] C0 閉塞状態を閉塞に変更した

@ 1 : C0 名

[処置] 処置の必要なし。

DIBCM113

I

[英文] C0 changed to state of blockade release. CONAME=@1

[和文] C0 を閉塞解除しました。 CONAME=@1

[説明] C0 閉塞状態を閉塞解除に変更した

@ 1 : C0 名

[処置] 処置の必要なし。

DIBCM114

I

[英文] Node changed to state of preblockade. LSNAME=@1 LNODENAME=@2

[和文] ノードを予閉塞にしました。 LSNAME=@1 LNODENAME=@2

[説明] C0 閉塞状態を閉塞解除に変更した

@ 1 : 論理システム名

@ 2 : 論理ノード名

[処置] 処置の必要なし。

DIBCM115

I

[英文] Start with own node configuration information. code=@1

[和文] 自ノードの環境定義オブジェクトから起動します。code=@ 1

[説明] 自ノードの環境定義オブジェクトの閉塞状態で、閉塞管理デーモンが起動したことを示す。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処理の必要なし。

DIBCM116

I

[英文] Path disconnected because it is connected at the same time. LNODENAME=@1 code=@2

[和文] 同時接続のため、パスを切断しました。LNODENAME=@ 1 code=@ 2

[説明] 同時接続を検出したため不要なソケットを切断したことを示す。

@ 1 : 論理ノード名称

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし。

DIBCM117

I

[英文] Path disconnected. LNODENAME=@1 code=@2

[和文] パスを切断しました。LNODENAME=@ 1 code=@ 2

[説明] ノード間ソケットを切断したことを示す。

@ 1 : 論理ノード名

論理ノード名が特定できない場合は "***" と出力される

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし。

2.4 DICDD 系

DICDD000

I

[英文] Already running.

[和文] 既に実行済みです。

[説明] 処理済みのコマンドを実行した。

[処置] 処置の必要なし。

DICDD001

E

[英文] Waiting result from command delivery daemon is time-out. code=@1

[和文] コマンド配信デーモンからの処理結果受信待ち処理がタイムアウトしました。 code=@1

[説明] コマンド配信デーモンプロセスからの処理結果受信待ち処理がタイムアウトした。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] タイムアウトの原因を特定し、エラー原因を解消する。

DICDD010

I

[英文] Command delivery command started.

[和文] コマンド配信コマンドを開始しました。

[説明] コマンド配信処理を開始した。

[処置] 処置の必要なし。

DICDD011

I

[英文] Command delivery command terminated normally.

[和文] コマンド配信コマンドが正常終了しました。

[説明] コマンド配信コマンドが正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DICDD012

E

[英文] Command delivery command aborted.

[和文] コマンド配信コマンドが異常終了しました。

[説明] コマンド配信コマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処し、コマンドを再実行する。

DICDD013

W

[英文] Command delivery command terminated with warning.

[和文] コマンド配信コマンドが警告終了しました。

[説明] コマンド配信コマンドが警告終了しました。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処し、コマンドを再実行する。

DICDD020

I

[英文] Command delivery daemon start/stop command started.

[和文] コマンド配信デーモン起動・停止コマンドを開始しました。

[説明] コマンド配信デーモン起動・停止コマンドを開始した。

[処置] 処置の必要なし。

DICDD021

I

[英文] Command delivery daemon start/stop command terminated normally.

[和文] コマンド配信デーモン起動・停止コマンドが正常終了しました。

[説明] コマンド配信デーモン起動・停止コマンドが正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DICDD022

E

[英文] Command delivery daemon start/stop command aborted.

[和文] コマンド配信デーモン起動・停止コマンドが異常終了しました。

[説明] コマンド配信デーモン起動・停止コマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処し、コマンドを再実行する。

DICDD023

I

- [英文] Command delivery daemon started.
- [和文] コマンド配信デーモンを起動しました。
- [説明] コマンド配信デーモンを起動した。
- [処置] 処置の必要なし。

DICDD024

I

- [英文] Command delivery daemon stopped.
- [和文] コマンド配信デーモンを停止しました。
- [説明] コマンド配信デーモンを停止した。
- [処置] 処置の必要なし。

DICDD025

E

- [英文] Failed to start command delivery daemon. code=@1
- [和文] コマンド配信デーモンの起動に失敗しました。 code=@1
- [説明] コマンド配信デーモンの起動に失敗した。
@ 1 : DIOSA 内部コード
- [処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処し、コマンドを再実行する。

DICDD026

E

- [英文] Failed to stop command delivery daemon. code=@1
- [和文] コマンド配信デーモンの停止に失敗しました。 code=@1
- [説明] コマンド配信デーモンの停止に失敗した。
@ 1 : DIOSA 内部コード
- [処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処し、コマンドを再実行する。

DICDD030

I

[英文] Command delivery history control command started.

[和文] コマンド配信履歴状態変更コマンドを開始しました。

[説明] コマンド配信履歴状態変更コマンドを開始した。

[処置] 処置の必要なし。

DICDD031

I

[英文] Command delivery history control command terminated normally.

[和文] コマンド配信履歴状態変更コマンドが正常終了しました。

[説明] コマンド配信履歴状態変更コマンドが正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DICDD032

E

[英文] Command delivery history control command aborted.

[和文] コマンド配信履歴状態変更コマンドが異常終了しました。

[説明] コマンド配信履歴状態変更コマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処し、コマンドを再実行する。

DICDD050

I

[英文] Command delivery history edit command started.

[和文] コマンド配信履歴編集コマンドを開始しました。

[説明] コマンド配信履歴編集コマンドを開始した。

[処置] 処置の必要なし。

DICDD051

I

[英文] Command delivery history edit command terminated normally.

[和文] コマンド配信履歴編集コマンドが正常終了しました。

[説明] コマンド配信履歴編集コマンドが正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DICDD052

E

[英文] Command delivery history edit command aborted.

[和文] コマンド配信履歴編集コマンドが異常終了しました。

[説明] コマンド配信履歴編集コマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処し、コマンドを再実行する。

DICDD053

W

[英文] History data which meet the specified extraction condition is not found.

[和文] 指定した抽出条件に該当する履歴情報は存在しません。

[説明] 指定した抽出条件に該当する履歴情報は存在しない。

[処置] 指定した抽出条件を見直す。

DICDD054

W

[英文] Command delivery history edit command terminated with warning.

[和文] コマンド配信履歴編集コマンドが警告終了しました。

[説明] コマンド配信履歴編集コマンドが警告終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処し、コマンドを再実行する。

DICDD060

I

[英文] Command delivery SG change command started.

[和文] コマンド配信定義動的変更コマンドを開始しました。

[説明] コマンド配信定義動的変更コマンドを開始した。

[処置] 処置の必要なし。

DICDD061

I

[英文] Command delivery SG change command terminated normally.

[和文] コマンド配信定義動的変更コマンドが正常終了しました。

[説明] コマンド配信定義動的変更コマンドが正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DICDD062

E

[英文] Command delivery SG change command aborted.

[和文] コマンド配信定義動的変更コマンドが異常終了しました。

[説明] コマンド配信定義動的変更コマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処し、コマンドを再実行する。

DICDD063

E

[英文] Failed to notify MultiThread Dynamic Replace request.

[和文] 動的変更通知要求の通知処理に失敗しました。

[説明] 動的変更通知要求の通知処理に失敗した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処し、コマンドを再実行する。

DICDD100

I

[英文] Command accepted. COMMAND=@1

[和文] コマンドを受け付けました。 COMMAND=@1

[説明] デーモンがコマンド配信機能のコマンドを受け付けた。

@ 1 : コマンド

DMNTERM : デーモン停止

DMNTERM(FORCE) : デーモン強制停止

HSTSTART : 履歴採取開始

HSTSTOP : 履歴採取停止

HSTSWAP : 履歴ファイルスワップ

[処置] 処置の必要なし。

DICDD110

I

[英文] Stop signal accepted.

[和文] 終了シグナルを受信しました。

[説明] デーモンが終了シグナルを受信した。

[処置] 処置の必要なし。

DICDD200

I

- [英文] Command delivery request accepted. SEQNO=@1 COMMAND=[@2]
- [和文] コマンド配信要求を受け付けました。 SEQNO=@1 COMMAND=[@2]
- [説明] コマンド配信要求を受け付けた。
@ 1 : 処理通番
@ 2 : コマンドテキスト
- [処置] 処置の必要なし。

DICDD201

I

- [英文] Command delivery terminated normally. SEQNO=@1
- [和文] コマンド配信処理が終了しました。 SEQNO=@1
- [説明] コマンド配信処理が終了した。
@ 1 : 処理通番
- [処置] 処置の必要なし。

DICDD202

E

- [英文] Command delivery aborted. SEQNO=@1 STATUS=@2
- [和文] コマンド配信処理が異常終了しました。 SEQNO=@1 STATUS=@2
- [説明] コマンド配信処理が異常終了した。
@ 1 : 処理通番
@ 2 : 処理ステータス
- [処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処し、コマンドを再実行する。

DICDD203

I

- [英文] Command delivery terminated normally. SEQNO=@1 LNODENAME=@2 CMDSTATUS=@3 REST=@4
- [和文] コマンド配信処理が成功しました。 SEQNO=@1 LNODENAME=@2 CMDSTATUS=@3 REST=@4
- [説明] コマンド配信処理が成功した。
@ 1 : 処理通番
@ 2 : 論理ノード名
@ 3 : コマンド終了ステータス
@ 4 : コマンド配信中の残り数
- [処置] 処置の必要なし。

DICDD204

E

[英文] Failed to deliver command. SEQNO=@1 LNODENAME=@2 STATUS=@3 REST=@4

[和文] コマンド配信処理が失敗しました。 SEQNO=@1 LNODENAME=@2 STATUS=@3 REST=@4

[説明] コマンド配信処理が失敗した。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : 論理ノード名

@ 3 : コマンド終了ステータス

@ 4 : コマンド配信中の残り数

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処し、コマンドを再実行する。

DICDD205

I

[英文] Command delivery request accepted. SEQNO=@1 LSNAME=@2 COMMAND=[@3]

[和文] コマンド配信要求を受け付けました。 SEQNO=@1 LSNAME=@2 COMMAND=[@3]

[説明] コマンド配信要求を受け付けた。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : 配信先論理システム名

@ 3 : コマンドテキスト

[処置] 処置の必要なし。

DICDD210

I

[英文] Command execute request accepted. SEQNO=@1 COMMAND=[@2]

[和文] コマンド実行要求を受け付けました。 SEQNO=@1 COMMAND=[@2]

[説明] コマンド実行要求を受け付けた。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : コマンドテキスト

[処置] 処置の必要なし。

DICDD211

I

[英文] Command execution terminated normally. SEQNO=@1 CMDSTATUS=@2

[和文] コマンド実行処理が成功しました。 SEQNO=@1 CMDSTATUS=@2

[説明] コマンド実行処理が成功した。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : コマンド終了ステータス

[処置] 処置の必要なし。

DICDD212

E

[英文] Failed to execute command. SEQNO=@1 STATUS=@2

[和文] コマンド実行処理が失敗しました。 SEQNO=@1 STATUS=@2

[説明] コマンド実行処理が失敗した。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : 処理ステータス

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処し、コマンドを再実行する。

DICDD220

I

[英文] Command history output started. HSTTYPE=@1

[和文] コマンド配信履歴の採取を開始しました。 HSTTYPE=@1

[説明] コマンド配信履歴の採取を開始した。

@ 1 : 履歴採取方法

ALL : 全情報を採取する

REQ : 配信要求のみを採取する

EXE : 実行要求のみを採取する

STA : 配信結果のみを採取する

CFN : 処理完了通知情報のみを採取する

ERR : 配信結果のうちエラー情報を採取する

[処置] 処置の必要なし。

DICDD221

E

[英文] Failed to start command history output. code=@1

[和文] コマンド配信履歴の採取開始に失敗しました。 code=@1

[説明] コマンド配信履歴の採取開始に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処し、コマンドを再実行する。

DICDD222

I

[英文] Command history output stopped. HSTTYPE=@1

[和文] コマンド配信履歴の採取を停止しました。 HSTTYPE=@1

[説明] コマンド配信履歴の採取を停止した。

@ 1 : 履歴採取方法

ALL : 全情報を採取する

REQ : 配信要求のみを採取する

EXE：実行要求のみを採取する
STA：配信結果のみを採取する
CFN：処理完了通知情報のみを採取する
ERR：配信結果のうちエラー情報を採取する

〔処置〕 処置の必要なし。

DICDD224

I

〔英文〕 Command history output restarted. HSTTYPE=@1

〔和文〕 コマンド配信履歴の採取を再開しました。 HSTTYPE=@1

〔説明〕 コマンド配信履歴の採取を再開した。

@ 1：履歴採取方法

ALL：全情報を採取する
REQ：配信要求のみを採取する
EXE：実行要求のみを採取する
STA：配信結果のみを採取する
CFN：処理完了通知情報のみを採取する
ERR：配信結果のうちエラー情報を採取する

〔処置〕 処置の必要なし。

DICDD240

I

〔英文〕 Command delivery daemon terminated normally.

〔和文〕 コマンド配信デーモンが正常終了しました。

〔説明〕 コマンド配信デーモンが正常終了した。

〔処置〕 処置の必要なし。

DICDD241

E

〔英文〕 Command delivery daemon aborted.

〔和文〕 コマンド配信デーモンが異常終了しました。

〔説明〕 コマンド配信デーモンが異常終了した。

〔処置〕 直前に出力されているエラーメッセージに対処し、コマンドを再実行する。

DICDD250

I

[英文] Execute confirm result command. SEQNO=@1 LNODENAME=@2 COMMAND=[@3]

[和文] 結果確認コマンドを実行します。 SEQNO=@1 LNODENAME=@2 COMMAND=[@3]

[説明] 結果確認コマンドを実行する。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : 論理ノード名

@ 3 : コマンド

[処置] 処置の必要なし。

DICDD260

E

[英文] No command execution authority. SEQNO=@1 USER=@2 GROUP=@3 code=@4

[和文] コマンドの実行権限がありません。 SEQNO=@1 USER=@2 GROUP=@3 code=@4

[説明] 指定したコマンドに対して、配信要求ユーザの権限が定義されていない。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : 配信要求ユーザ名

@ 3 : 配信要求ユーザグループ名

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力される DICDD200 のメッセージのコマンドと、本メッセージで出力されるユーザまたはユーザグループが、環境定義 EXPERM 項に登録されているか見直す。

DICDD261

E

[英文] Node type of delivery destination logical system is not specified. SEQNO=@1 DSTNAME=@2 code=@3

[和文] 配信先論理システムに対するノード属性種別が指定されていません。 SEQNO=@1 DSTNAME=@2 code=@3

[説明] 指定した配信先論理システムに対するノード属性種別がパラメータで指定されていない、または環境定義 CMDRT 項に配信するコマンドが登録されていない。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : 宛先名

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] パラメータにノード属性種別を指定する、または環境定義 CMDRT 項に配信するコマンドを登録する。

DICDD262

E

[英文] Specified destination is not found. SEQNO=@1 DSTNAME=@2 code=@3

[和文] 指定された宛先が見つかりません。 SEQNO=@1 DSTNAME=@2 code=@3

[説明] 指定された宛先が環境定義に登録されていない。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : 宛先名

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 環境定義を確認する。

指定した宛先が、下記のいずれかに登録されている事を確認する。

DIOSAMAP 節-LOGSYSTEM 項-NAME (論理システム名)

DIOSAMAP 節-LOGSYSTEM 項-LNODE 項-NAME (論理ノード名)

CMDSEND 節-SRVGRPINFO 項-SRVGRP 項-NAME (サーバグループ名)

DICDD263

E

[英文] Waiting command termination is time-out. SEQNO=@1 code=@2

[和文] コマンドの終了待ち合わせ処理がタイムアウトしました。 SEQNO=@1 code=@2

[説明] コマンドの終了待ち合わせ処理がタイムアウトした。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] タイムアウトの原因を特定し、エラー原因を解消する。

コマンド配信コマンドのコマンド配信応答待ち合わせ時間(-w パラメータ)を指定し、再実行する。

DICDD264

E

[英文] Failed to execute command. SEQNO=@1 code=@2

[和文] コマンド実行処理でエラーが発生しました。 SEQNO=@1 code=@2

[説明] コマンド実行処理でエラーが発生した。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処し、コマンドを再実行する。

DICDD265

I

[英文] Command delivery terminated because of stop signal accepted. SEQNO=@1 code=@2

[和文] 終了シグナルを受信したため、コマンド配信処理を終了しました。 SEQNO=@1 code=@2

[説明] 終了シグナルを受信したため、コマンド配信処理を終了した。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし。

DICDD266

I

[英文] Command execution terminated because of stop signal accepted. SEQNO=@1 code=@2

[和文] 終了シグナルを受信したため、コマンド実行処理を終了しました。 SEQNO=@1 code=@2

[説明] 終了シグナルを受信したため、コマンド実行処理を終了した。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし。

DICDD267

E

[英文] Waiting delivery thread termination is time-out. SEQNO=@1 code=@2

[和文] 配信スレッドの終了待ち合わせ処理がタイムアウトしました。 SEQNO=@1 code=@2

[説明] 配信スレッドの終了待ち合わせ処理がタイムアウトした。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] タイムアウトの原因を特定し、エラー原因を解消する。

DICDD268

E

[英文] Failed to deliver command to self logical system because of destination node don't belong to logical system. SEQNO=@1 LNODENAME=@2 code=@3

[和文] 配信元ノードは論理システムに属していないため、自論理システム宛に配信できません。 SEQNO=@1 LNODENAME=@2 code=@3

[説明] 環境定義、あるいはコマンド配信要求元の論理ノードに誤りがある。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : 論理ノード名

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 環境定義、あるいはコマンド配信要求元の論理ノードを見直す。

DICDD269

E

[英文] Table information is inconsistent with DIOSAMAP. SEQNO=@1 DSTNAME=@2 code=@3

[和文] DIOSAMAP とテーブル情報が一致しません。 SEQNO=@1 DSTNAME=@2 code=@3

[説明] 環境定義DIOSAMAP 節の情報とコマンド配信機能が管理するテーブル情報が一致しない。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : 宛先名

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] コマンド配信定義動的変更コマンド (dicddchg) を実行する。

DICDD270

E

[英文] Failed to deliver command because of destination node blockade. SEQNO=@1 LNODENAME=@2 code=@3

[和文] 配信先ノードは閉塞状態のため、配信することができません。 SEQNO=@1 LNODENAME=@2 code=@3

[説明] 配信先ノードは閉塞状態のため、配信することができない。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : 論理ノード名

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 閉塞状態が解除後、または強制指定で再実行する。

DICDD271

E

[英文] Failed to connect/send to destination node. SEQNO=@1 LNODENAME=@2 return=@3 code=@4

[和文] 配信先ノードへの接続/送信処理においてエラーが発生しました。 SEQNO=@1 LNODENAME=@2 return=@3
code=@4

[説明] 配信先ノードへの接続/送信処理においてエラーが発生した。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : 論理ノード名

@ 3 : リターンコード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD272

E

[英文] Waiting result from destination node is time-out. SEQNO=@1 LNODENAME=@2 return=@3 code=@4

[和文] 配信先ノードからの結果受信待ち処理がタイムアウトしました。 SEQNO=@1 LNODENAME=@2 return=@3 code=@4

[説明] 配信先ノードからの結果受信待ち処理がタイムアウトした。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : 論理ノード名

@ 3 : リターンコード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

リターンコードがタイムアウト(-22)の場合、コマンド配信コマンドのコマンド配信応答待ち合わせ時間(-w パラメータ)を指定し、再実行する。

DICDD273

E

[英文] Failed to execute command in destination node. SEQNO=@1 LNODENAME=@2 code=@3

[和文] 配信先ノードでのコマンド実行処理でエラーが発生しました。 SEQNO=@1 LNODENAME=@2 code=@3

[説明] 配信先ノードでのコマンド実行処理でエラーが発生した。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : 論理ノード名

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 配信先ノードのエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD274

E

[英文] Failed to deliver command because of illegal destination node SG. SEQNO=@1 LNODENAME=@2 code=@3

[和文] 配信先ノードに関する定義が不正なため、配信することができません。 SEQNO=@1 LNODENAME=@2 code=@3

[説明] 環境定義 DIOSAMAP 節の自ノードの IP アドレス/ポート番号が配信先と同じであるため、配信する事ができない。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : 論理ノード名

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 環境定義 DIOSAMAP 節を見直す。

DICDD280

E

[英文] Failed to reference blockade. LNODENAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] 閉塞状態参照処理においてエラーが発生しました。 LNODENAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] 閉塞状態参照処理においてエラーが発生した。

@ 1 : 論理ノード名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処し、コマンドを再実行する。

DICDD281

E

[英文] Failed to close client socket. LNODENAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] クライアントソケットクローズ処理においてエラーが発生しました。 LNODENAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] クライアントソケットクローズ処理においてエラーが発生した。

@ 1 : 論理ノード名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD282

E

[英文] Failed to register watch socket. LNODENAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] 監視ソケット登録処理においてエラーが発生しました。 LNODENAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] 監視ソケット登録処理においてエラーが発生した。

@ 1 : 論理ノード名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD283

E

[英文] Failed to change socket time-out. LNODENAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] ソケット監視タイムアウト時間変更処理においてエラーが発生しました。 LNODENAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] ソケット監視タイムアウト時間変更処理においてエラーが発生した。

@ 1 : 論理ノード名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD284

E

[英文] Failed to watch socket. LNODENAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] ソケット監視処理においてエラーが発生しました。 LNODENAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] ソケット監視処理においてエラーが発生した。

@ 1 : 論理ノード名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD285

E

[英文] Failed to receive message. LNODENAME=@1 TYPE=@2 return=@3 code=@4

[和文] 電文受信処理においてエラーが発生しました。 LNODENAME=@1 TYPE=@2 return=@3 code=@4

[説明] 電文受信処理においてエラーが発生した。

@ 1 : 論理ノード名

@ 2 : ソケット種別

@ 3 : リターンコード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD286

E

[英文] Failed to send message. LNODENAME=@1 MSG=@2 return=@3 code=@4

[和文] 電文送信処理においてエラーが発生しました。 LNODENAME=@1 MSG=@2 return=@3 code=@4

[説明] 電文送信処理においてエラーが発生した。

@ 1 : 論理ノード名

@ 2 : 電文種別

@ 3 : リターンコード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD287

E

[英文] Illegal message received. LNODENAME=@1 MSGID=0x@2 code=@3

[和文] 不正な電文を受信しました。 LNODENAME=@1 MSGID=0x@2 code=@3

[説明] 不正な電文を受信した。

@ 1 : 宛先名

@ 2 : 電文種別

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DICDD288

E

[英文] Failed to reference blockade. LSNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] 閉塞状態参照処理においてエラーが発生しました。 LSNAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] 閉塞状態参照処理においてエラーが発生した。

@ 1 : 論理システム名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処し、コマンドを再実行する。

DICDD28B

E

[英文] Failed to access to file. LNODENAME=@1 FUNC=@2 file=@3 errno=@4 code=@5

[和文] ファイルアクセス処理でエラーが発生しました。 LNODENAME=@1 FUNC=@2 file=@3 errno=@4 code=@5

[説明] ファイルアクセス処理でエラーが発生した。

@ 1 : 論理ノード名

@ 2 : 関数名

@ 3 : ファイル名

@ 4 : UNIX のエラー番号

@ 5 : DIOSA 内部コード

[処置] 関数名と UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DICDD290

W

[英文] Illegal value of environment variable. ENVNAME=@1 code=@2

[和文] 環境変数の設定値が不正です。 ENVNAME=@1 code=@2

[説明] 環境変数の設定値が不正である。

@ 1 : 環境変数名

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 環境変数の設定値を見直す。

DICDD291

E

[英文] Specified logical system is not found. SEQNO=@1 LSNAME=@2 code=@3

[和文] 指定された論理システムが見つかりません。 SEQNO=@1 LSNAME=@2 code=@3

[説明] 指定された宛先が環境定義に登録されていない。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : 論理システム名

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 指定した宛先が、SYSMAP 節-LOGSYSTEM 項-NAME に登録されている事を確認する。

DICDD292

E

[英文] Cannot deliver command to specified logical system. SEQNO=@1 LSNAME=@2 code=@3

[和文] 指定された論理システムへのコマンド配信は実行できません。 SEQNO=@1 LSNAME=@2 code=@3

[説明] コマンド配信が利用不可能な論理システム名が指定された。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : 論理システム名

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 環境定義 SYSMAP 節を確認する。

SYSMAP 節-LOGSYSTEM 項-HOSTTYPE の値が 01 であること。

SYSMAP 節-LOGSYSTEM 項-ROUTE 項-PORT_CDD が定義されていること。

DICDD293

E

[英文] Failed to connect/send to destination logical system. SEQNO=@1 return=@2 code=@3

[和文] 転送先論理システムへの接続/送信処理においてエラーが発生しました。 SEQNO=@1 return=@2 code=@3

[説明] 転送先論理システムへの接続/送信処理においてエラーが発生した。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD294

E

[英文] Waiting result from destination logical system is time-out. SEQNO=@1 code=@2

[和文] 転送先論理システムからの結果受信待ち処理がタイムアウトしました。 SEQNO=@1 code=@2

[説明] 転送先論理システムからの結果受信待ち処理がタイムアウトした。

@ 1 : 処理通番

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] コマンド配信コマンドのシステム間応答待ち合わせ時間 (-u パラメータ) を調整し、再実行する。

DICDD300

I

[英文] Command history file swapped FROM=@1 TO=@2

[和文] コマンド配信履歴ファイルを切替ました。 FROM=@1 TO=@2

[説明] コマンド配信履歴ファイルを切替えた。

@ 1 : 変更前ファイル番号

@ 2 : 変更後ファイル番号

[処置] 処置の必要なし。

DICDD301

E

[英文] Failed to swap command history file. code=@1

[和文] コマンド配信履歴ファイルの切替に失敗しました。 code=@1

[説明] コマンド配信履歴ファイルの切替に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処し、コマンドを再実行する。

DICDD350

E

[英文] Illegal command history file format. file=@1 RECORD=@2 code=@3

[和文] コマンド配信履歴ファイルのフォーマットが不正です。 file=@1 RECORD=@2 code=@3

[説明] コマンド配信履歴ファイルのフォーマットが不正である。

@ 1 : ファイル名

@ 2 : レコード種別

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 指定したコマンド履歴ファイル名が正しい事を確認する。

DICDD401

E

[英文] Command delivery daemon is not running. STATUS=@1

[和文] コマンド配信デーモンが起動していません。STATUS=@1

[説明] コマンド配信デーモンが起動していない。

@ 1 : 配信デーモンステータス

0x00 : 初期状態

0x10 : 起動中状態

0x20 : 起動状態

0x30 : 停止中状態

0x40 : 停止状態

[処置] コマンド配信デーモンを起動する。

DICDD402

E

[英文] Command history output is not started. STATUS=@1

[和文] コマンド配信履歴採取を開始していません。STATUS=@1

[説明] コマンド配信履歴採取を開始していない。

@ 1 : 履歴デーモンステータス

0x00 : 初期状態

0x10 : 起動中状態

0x20 : 起動状態

0x30 : 停止中状態

0x40 : 停止状態

0x50 : 異常発生状態

[処置] コマンド配信履歴状態変更コマンドでコマンド配信履歴採取を開始し、再実行する。

DICDD403

E

[英文] Can't initialize history file because of outputting command delivery history.

[和文] コマンド配信履歴採取中のため、履歴ファイルを初期化することができません。

[説明] コマンド配信履歴採取中のため、履歴ファイルを初期化することができない。

[処置] コマンド配信履歴状態変更コマンドでコマンド配信履歴採取を停止し、再実行する。

DICDD410

E

[英文] Command delivery history file name is not specified in SG.

[和文] SG にコマンド配信履歴ファイル名が指定されていません。

[説明] 環境定義 CMDSENDINFO 項の HSTFLNAME にコマンド配信履歴ファイル名が指定されていない。

[処置] 環境定義 CMDSENDINFO 項の HSTFLNAME にコマンド配信履歴ファイル名が指定する。

DICDD411

E

[英文] Command delivery history type is not specified in SG.

[和文] SG にコマンド配信履歴採取方法が指定されていません。

[説明] SG のコマンド配信履歴採取方法に N0（採取しない）が指定されている。

[処置] SG のコマンド配信履歴採取方法に N0 以外を指定する。

DICDD420

E

[英文] Command is running. COMMAND=@1

[和文] コマンドは実行中です。COMMAND=@1

[説明] コマンドは実行中である。

@ 1 : コマンド名

CMDSEND : コマンド配信コマンド

DMNCTRL : コマンド配信デーモン起動・停止コマンド

HSTCTL : コマンド配信履歴状態変更コマンド

SGCHG : コマンド配信定義動的変更コマンド

EDIT : コマンド配信履歴編集コマンド

[処置] 実行中のコマンドが終了するのを待つて再度コマンドを実行する。

DICDD430

E

[英文] Message length mismatch. MSGTYPE=@1 RCVMSGSZ=@2 MSGSZ=@3 code=@4

[和文] 電文長が不一致です。MSGTYPE=@1 RCVMSGSZ=@2 MSGSZ=@3 code=@4

[説明] 電文長が不一致である。

@ 1 : 電文種別

@ 2 : 受信電文長

@ 3 : 電文サイズ

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DICDD431

E

[英文] Illegal message received. MSGID=0x@1 code=@2

[和文] 不正な電文を受信しました。 MSGID=0x@1 code=@2

[説明] 不正な電文を受信した。

@ 1 : 電文種別

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DICDD500

E

[英文] Failed to deliver command. return=@1 code=@2

[和文] コマンド配信処理でエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] コマンド配信処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD501

E

[英文] Failed to confirm command delivery result. return=@1 code=@2

[和文] コマンド配信結果確認処理でエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] コマンド配信結果確認処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD510

E

[英文] Receiving command delivery result is time-out. return=@1 code=@2

[和文] コマンド配信結果受信処理がタイムアウトしました。 return=@1 code=@2

[説明] コマンド配信結果受信処理がタイムアウトした。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

リターンコードがタイムアウト(-22)の場合、コマンド配信コマンドのコマンド配信応答待ち合わせ時間(-v パラメータ)を指定し、再実行する。

DICDD511

E

[英文] Illegal value of environment variable. ENVNAME=@1 VALUE=@2 code=@3

[和文] 環境変数の設定値が不正です。ENVNAME=@1 VALUE=@2 code=@3

[説明] 環境変数の設定値が不正である。

@ 1 : 環境変数名

@ 2 : 環境変数名値

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 環境変数の設定値を見直す。

DICDD514

E

[英文] Failed to create command delivery management table. return=@1 code=@2

[和文] コマンド配信管理テーブルの展開でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] コマンド配信管理テーブルの展開でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD515

E

[英文] Failed to create command delivery SG table. return=@1 code=@2

[和文] コマンド配信 SG 情報テーブルの展開でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] コマンド配信 SG 情報テーブルの展開でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD516

E

[英文] Shared memory is not created. TBL=@1 code=@2

[和文] 共有メモリが作成されていません。TBL=@1 code=@2

[説明] 共有メモリが作成されていない。

@ 1 : テーブル名

CDD_MNGTBL : コマンド配信管理テーブル

CDD_SGTBL : コマンド配信 SG 情報テーブル

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DICDD600

E

[英文] Failed to initialize process of DIOSA common function. return=@1 code=@2

[和文] DIOSA 共通のプロセス初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] DIOSA 共通のプロセス初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD601

E

[英文] Failed to initialize process of command delivery function. return=@1 code=@2

[和文] コマンド配信機能のプロセス初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] コマンド配信機能のプロセス初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD602

E

[英文] Failed to initialize process of MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のプロセス初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] SG 動的置換機能のプロセス初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD603

E

[英文] Failed to initialize process of socket function. return=@1 code=@2

[和文] ソケット機能のプロセス初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] ソケット機能のプロセス初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD604

E

[英文] Failed to start Daemon Alive Monitoring. return=@1 code=@2

[和文] デーモン死活監視機能の監視開始処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] デーモン死活監視機能の監視開始処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD605

E

[英文] Failed to initialize process of blockade management function. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞管理機能のプロセス初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] 閉塞管理機能のプロセス初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD610

E

[英文] Failed to initialize thread of DIOSA common function. return=@1 code=@2

[和文] DIOSA 共通のスレッド初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] DIOSA 共通のスレッド初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD611

E

[英文] Failed to initialize thread of command delivery function. return=@1 code=@2

[和文] コマンド配信機能のスレッド初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] コマンド配信機能のスレッド初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD612

E

[英文] Failed to initialize thread of blockade management function. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞管理機能のスレッド初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] 閉塞管理機能のスレッド初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD620

E

[英文] Failed to initialize transaction of MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のトランザクション初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] SG 動的置換機能のトランザクション初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD621

E

[英文] Failed to initialize transaction of lock control function. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能のトランザクション初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] ロック制御機能のトランザクション初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD622

E

[英文] Failed to initialize transaction of blockade management function. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞管理機能のトランザクション初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] 閉塞管理機能のトランザクション初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD650

E

[英文] Failed to terminate process of DIO SA common function. return=@1 code=@2

[和文] DIO SA 共通のプロセス終了処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] DIO SA 共通のプロセス終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIO SA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD651

E

[英文] Failed to terminate process of command delivery function. return=@1 code=@2

[和文] コマンド配信機能のプロセス終了処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] コマンド配信機能のプロセス終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIO SA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD652

E

[英文] Failed to terminate process of MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のプロセス終了処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] SG 動的置換機能のプロセス終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIO SA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD653

E

[英文] Failed to terminate process of socket function. return=@1 code=@2

[和文] ソケット機能のプロセス終了処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] ソケット機能のプロセス終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIO SA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD654

E

[英文] Failed to stop Daemon Alive Monitoring. return=@1 code=@2

[和文] デーモン死活監視機能の監視停止処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] デーモン死活監視機能の監視停止処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD660

E

[英文] Failed to terminate thread of DIOSA common function. return=@1 code=@2

[和文] DIOSA 共通のスレッド終了処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] DIOSA 共通のスレッド終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD661

E

[英文] Failed to terminate thread of command delivery function. return=@1 code=@2

[和文] コマンド配信機能のスレッド終了処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] コマンド配信機能のスレッド終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD670

E

[英文] Failed to terminate transaction of MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のトランザクション終了処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] SG 動的置換機能のトランザクション終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD671

E

[英文] Failed to terminate transaction of lock control function. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能のトランザクション終了処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] ロック制御機能のトランザクション終了処理においてエラーが発生しました。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD672

E

[英文] Failed to terminate transaction of blockade management function. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞管理機能のトランザクション終了処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] 閉塞管理機能のトランザクション終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD700

E

[英文] Failed to lock. return=@1 code=@2

[和文] ロック取得処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] ロック取得処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD701

E

[英文] Failed to unlock. return=@1 code=@2

[和文] ロック解放処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] ロック解放処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD710

E

[英文] Failed to allocate memory. TBL=@1 return=@2 code=@3

[和文] メモリ確保処理においてエラーが発生しました。 TBL=@1 return=@2 code=@3

[説明] メモリ確保処理においてエラーが発生しました。

@ 1 : テーブル名

CONFUCA	: 実行結果返却領域
CMDSENDMSG	: コマンド配信電文
SG_RECORD	: SG レコード
DMN_PROCCTL	: デーモンプロセス情報管理テーブル
DMN_EXCREQMSG	: デーモン実行要求電文
CMDMSG	: コマンド電文
DMN_THRCTL	: デーモンスレッド情報管理テーブル

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD711

E

[英文] Failed to free memory. TBL=@1 return=@2 code=@3

[和文] メモリ解放処理においてエラーが発生しました。 TBL=@1 return=@2 code=@3

[説明] メモリ解放処理においてエラーが発生した。

@ 1 : テーブル名

CONFUCA	: 実行結果返却領域
CMDSENDMSG	: コマンド配信電文
SG_RECORD	: SG レコード
DMN_PROCCTL	: デーモンプロセス情報管理テーブル
DMN_EXCREQMSG	: デーモン実行要求電文
CMDMSG	: コマンド電文
DMN_THRCTL	: デーモンスレッド情報管理テーブル

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD712

E

[英文] Failed to reallocate memory. TBL=@1 return=@2 code=@3

[和文] メモリ再確保処理においてエラーが発生しました。 TBL=@1 return=@2 code=@3

[説明] メモリ再確保処理においてエラーが発生した。

@ 1 : テーブル名

CONFUCA : 実行結果返却領域

CMDSENDMSG : コマンド配信電文

SG_RECORD : SG レコード

DMN_PROCCTL : デーモンプロセス情報管理テーブル

DMN_EXCREQMSG : デーモン実行要求電文

CMDMSG : コマンド電文

DMN_THRCTL : デーモンスレッド情報管理テーブル

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD720

E

[英文] Failed to create shared memory. TBL=@1 IPCKEY=0x@2 return=@3 code=@4

[和文] 共有メモリ確保処理においてエラーが発生しました。 TBL=@1 IPCKEY=0x@2 return=@3 code=@4

[説明] 共有メモリ確保処理においてエラーが発生した。

@ 1 : テーブル名

CDD_MNGTBL : コマンド配信管理テーブル

CDD_SGTBL : コマンド配信 SG 情報テーブル

@ 2 : IPC キー

@ 3 : リターンコード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD722

E

[英文] Failed to attach shared memory. TBL=@1 IPCKEY=0x@2 return=@3 code=@4

[和文] 共有メモリアタッチ処理においてエラーが発生しました。 TBL=@1 IPCKEY=0x@2 return=@3 code=@4

[説明] 共有メモリアタッチ処理においてエラーが発生した。

@ 1 : テーブル名

CDD_MNGTBL : コマンド配信管理テーブル

CDD_SGTBL : コマンド配信 SG 情報テーブル

@ 2 : IPC キー

@ 3 : リターンコード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD723

E

[英文] Failed to detach shared memory. TBL=@1 IPCKEY=0x@2 return=@3 code=@4

[和文] 共有メモリデタッチ処理においてエラーが発生しました。 TBL=@1 IPCKEY=0x@2 return=@3 code=@4

[説明] 共有メモリデタッチ処理においてエラーが発生した。

@ 1 : テーブル名

CDD_MNGTBL : コマンド配信管理テーブル

CDD_SGTBL : コマンド配信 SG 情報テーブル

@ 2 : IPC キー

@ 3 : リターンコード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD730

E

[英文] Failed to create client socket. TYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] クライアントソケット生成処理においてエラーが発生しました。 TYPE=@1 return=@2 code=@3

[説明] クライアントソケット生成処理においてエラーが発生した。

@ 1 : ソケット種別

CMDSDND : コマンド配信要求

CMDEXC : コマンド実行要求

DMNCTL : デーモン処理要求

HSTINF : 履歴出力通知

HSTCTL : 履歴デーモン処理要求

TIMEOUT : タイムアウトソケット

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD731

E

[英文] Failed to close client socket. TYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] クライアントソケットクローズ処理においてエラーが発生しました。 TYPE=@1 return=@2 code=@3

[説明] クライアントソケットクローズ処理においてエラーが発生した。

@ 1 : ソケット種別

CMDSDND : コマンド配信要求

CMDEXC : コマンド実行要求

DMNCTL : デーモン処理要求

HSTINF : 履歴出力通知

HSTCTL : 履歴デーモン処理要求

TIMEOUT : タイムアウトソケット

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD732

E

[英文] Failed to create server socket. TYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] サーバソケット生成処理においてエラーが発生しました。 TYPE=@1 return=@2 code=@3

[説明] サーバソケット生成処理においてエラーが発生した。

@ 1 : ソケット種別

CMDSDND : コマンド配信要求

CMDEXC : コマンド実行要求

DMNCTL : デーモン処理要求

HSTINF : 履歴出力通知

HSTCTL : 履歴デーモン処理要求

TIMEOUT : タイムアウトソケット

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD733

E

[英文] Failed to close server socket. TYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] サーバソケットクローズ処理においてエラーが発生しました。 TYPE=@1 return=@2 code=@3

[説明] サーバソケットクローズ処理においてエラーが発生した。

@ 1 : ソケット種別

CMDSDND : コマンド配信要求

CMDEXC : コマンド実行要求

DMNCTL : デーモン処理要求

HSTINF : 履歴出力通知

HSTCTL : 履歴デーモン処理要求

TIMEOUT : タイムアウトソケット

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD734

E

[英文] Failed to register watch socket. TYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 監視ソケット登録処理においてエラーが発生しました。 TYPE=@1 return=@2 code=@3

[説明] 監視ソケット登録処理においてエラーが発生した。

@ 1 : ソケット種別

CMSND : コマンド配信要求

CMDEXC : コマンド実行要求

DMNCTL : デーモン処理要求

HSTINF : 履歴出力通知

HSTCTL : 履歴デーモン処理要求

TIMEOUT : タイムアウトソケット

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD735

E

[英文] Failed to release registration of watch socket. TYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 監視ソケット削除処理においてエラーが発生しました。 TYPE=@1 return=@2 code=@3

[説明] 監視ソケット削除処理においてエラーが発生した。

@ 1 : ソケット種別

CMSND : コマンド配信要求

CMDEXC : コマンド実行要求

DMNCTL : デーモン処理要求

HSTINF : 履歴出力通知

HSTCTL : 履歴デーモン処理要求

TIMEOUT : タイムアウトソケット

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD736

E

[英文] Failed to send message. MSG=@1 return=@2 code=@3

[和文] 電文送信処理においてエラーが発生しました。 MSG=@1 return=@2 code=@3

[説明] 電文送信処理においてエラーが発生した。

@ 1 : 電文種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DICDD739

E

[英文] Connection disconnected. TYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] コネクションが切断しました。 TYPE=@1 return=@2 code=@3

[説明] コネクションが切断した。

@ 1 : ソケット種別

CMDSDND : コマンド配信要求

CMDEXC : コマンド実行要求

DMNCTL : デーモン処理要求

HSTINF : 履歴出力通知

HSTCTL : 履歴デーモン処理要求

TIMEOUT : タイムアウトソケット

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD73A

E

[英文] Failed to receive message. TYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 電文受信処理においてエラーが発生しました。 TYPE=@1 return=@2 code=@3

[説明] 電文受信処理においてエラーが発生した。

@ 1 : ソケット種別

CMSND : コマンド配信要求

CMDEXC : コマンド実行要求

DMNCTL : デーモン処理要求

HSTINF : 履歴出力通知

HSTCTL : 履歴デーモン処理要求

TIMEOUT : タイムアウトソケット

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD740

E

[英文] Failed to register sub-component handler. return=@1 code=@2

[和文] サブコンハンドラ登録処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] サブコンハンドラ登録処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD741

E

[英文] Failed to release registration of sub-component handler. return=@1 code=@2

[和文] サブコンハンドラ登録解除処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] サブコンハンドラ登録解除処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD742

E

[英文] Failed to register process id to notify SG change. return=@1 code=@2

[和文] SG 変更通知先PID 登録処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] SG 変更通知先PID 登録処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD743

E

[英文] Failed to release registration of process id to notify SG change. return=@1 code=@2

[和文] SG 変更通知先PID 登録解除処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] SG 変更通知先PID 登録解除処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD750

E

[英文] Failed to open to catalog file. return=@1 code=@2

[和文] カタログファイルオープン処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] カタログファイルオープン処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD751

E

[英文] Failed to close to catalog file. return=@1 code=@2

[和文] カタログファイルクローズ処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] カタログファイルクローズ処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD752

E

[英文] Failed to read to catalog file. return=@1 code=@2

[和文] カタログメッセージ取得処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] カタログメッセージ取得処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD760

W

[英文] Use default definition because no SG object file exists. SECNAME=@1

[和文] SG オブジェクトファイルが存在しないため、既定値情報で動作します。 SECNAME=@1

[説明] コマンド配信の SG を展開していない。

@ 1 : セクション名

[処置] CMDSEND 節を定義する予定がない場合は処置の必要なし。

DICDD761

E

[英文] Failed to open SG object file. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG ファイルオープン処理においてエラーが発生しました。 SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] SG ファイルオープン処理においてエラーが発生した。

@ 1 : セクション名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD762

E

[英文] Failed to close SG object file. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG ファイルクローズ処理においてエラーが発生しました。 SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] SG ファイルクローズ処理においてエラーが発生した。

@ 1 : セクション名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD763

E

[英文] Failed to read SG object file. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG レコードの取得処理においてエラーが発生しました。 SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] SG レコードの取得処理においてエラーが発生した。

@ 1 : セクション名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD764

E

[英文] Detected invalid record in SG object file. SECNAME=@1 RECORD_ID=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトファイルに不正なレコードが含まれています。 SECNAME=@1 RECORD_ID=@2 code=@3

[説明] SG オブジェクトファイルに不正なレコードが含まれている。

@ 1 : セクション名

@ 2 : レコード ID

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] CNDSEND 節にマニュアルに記載されていない項が定義されていないか確認し、SG オブジェクトを再作成する。

DICDD765

E

[英文] Can't continue processing because of SG object file is new version. SECNAME=@1 FILE_VERSION=@2 PROGRAM_VERSION=@3 code=@4

[和文] SG オブジェクトファイルのバージョンが新しいため、処理を継続できません。 SECNAME=@1 FILE_VERSION=@2 PROGRAM_VERSION=@3 code=@4

[説明] 動作中の DIOSA/XTP より新しいバージョンの DIOSA/XTP で作成された環境定義ファイルのため、読み込むことができない。

@ 1 : セクション名

@ 2 : ファイルバージョン

@ 3 : プログラムバージョン

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 環境定義ファイルのオブジェクトを再作成し、コマンドを再実行する。

DICDD766

W

[英文] Specified command name in SG is invalid because of wrong regular expression. SECNAME=@1
RECORD_ID=@2 COMMAND=[@3] code=@4

[和文] SG に指定されたコマンド名の正規表現に誤りがあるため、無効となります。 SECNAME=@1 RECORD_ID=@
2 COMMAND=[@3] code=@4

[説明] SG に指定されたコマンド名の正規表現に誤りがあるため、無効となる。

@ 1 : セクション名

@ 2 : レコード ID

@ 3 : コマンド名

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 表示されたコマンド名の正規表現を正しい形式で指定し、SG オブジェクトを再作成する。
表示されたコマンド名を使用しない場合、処置の必要なし。

DICDD790

E

[英文] Failed to acquire logical node information. LNODENAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] 論理ノード情報の取得処理においてエラーが発生しました。 LNODENAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] 論理ノード情報の取得処理においてエラーが発生した。

@ 1 : 論理ノード名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD791

E

[英文] Failed to acquire enumeration DIOSAMAP information. return=@1 code=@2

[和文] DIOSAMAP 情報列挙処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] DIOSAMAP 情報列挙処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD792

E

[英文] Failed to convert strings to number. return=@1 code=@2

[和文] 文字列を数値に変換する処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] 文字列を数値に変換する処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD793

E

[英文] Failed to acquire strings of date. return=@1 code=@2

[和文] 日時文字列取得処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] 日時文字列取得処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD794

E

[英文] Failed to acquire enumeration SYSMAP information. return=@1 code=@2

[和文] SYSMAP 情報列挙処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] SYSMAP 情報列挙処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DICDD800

E

[英文] System call failed. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] システムコールエラーが発生しました。 FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[説明] システムコールエラーが発生した。

@ 1 : 関数名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 関数名と UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DICDD810

E

[英文] Failed to delete file. file=@1 errno=@2 code=@3

[和文] ファイルの削除処理でエラーが発生しました。 file=@1 errno=@2 code=@3

[説明] ファイルの削除処理 (unlink) でエラーが発生した。

@ 1 : ファイル名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DICDD811

E

[英文] fcntl function failed. errno=@1 code=@2

[和文] ファイル制御処理でエラーが発生しました。 errno=@1 code=@2

[説明] ファイル制御処理 (fcntl) でエラーが発生した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DICDD812

E

[英文] Failed to access to file. FUNC=@1 file=@2 errno=@3 code=@4

[和文] ファイルアクセス処理でエラーが発生しました。 FUNC=@1 file=@2 errno=@3 code=@4

[説明] ファイルアクセス処理でエラーが発生した。

@ 1 : 関数名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 関数名と UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DICDD813

E

[英文] Failed to access to directory. FUNC=@1 DIR=@2 errno=@3 code=@4

[和文] ディレクトリアクセス処理でエラーが発生しました。 FUNC=@1 DIR=@2 errno=@3 code=@4

[説明] ディレクトリアクセス処理でエラーが発生した。

@ 1 : 関数名

@ 2 : ディレクトリ名

@ 3 : UNIX のエラー番号

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 関数名と UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DICDD820

E

[英文] Signal operate failed. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] シグナル操作処理でエラーが発生しました。 FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[説明] シグナル操作処理でエラーが発生した。

@ 1 : 関数名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 関数名と UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DICDD830

E

[英文] Failed to lock for thread. errno=@1 code=@2

[和文] スレッド間ロック取得処理でエラーが発生しました。 errno=@1 code=@2

[説明] スレッド間ロック取得処理でエラーが発生した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DICDD831

E

[英文] Failed to unlock for thread. errno=@1 code=@2

[和文] スレッド間ロック解放処理でエラーが発生しました。 errno=@1 code=@2

[説明] スレッド間ロック解放処理でエラーが発生した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DICDD832

E

[英文] Failed to create thread. errno=@1 code=@2

[和文] スレッド生成処理でエラーが発生しました。 errno=@1 code=@2

[説明] スレッド生成処理でエラーが発生した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DICDD840

E

[英文] Failed to compress/decompress data. FUNC=@1 return=@2 code=@3

[和文] データ圧縮・解凍処理でエラーが発生しました。 FUNC=@1 return=@2 code=@3

[説明] データ圧縮・解凍処理でエラーが発生した。

@ 1 : 関数名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 関数名とリターンコードに従った処置を行う。

DICDD890

E

[英文] Failed to acquire time. errno=@1 code=@2

[和文] 現在時刻の取得処理でエラーが発生しました。 errno=@1 code=@2

[説明] 現在時刻の取得処理でエラーが発生した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DICDD891

E

[英文] Failed to start process. PRCTYPE=@1 errno=@2 code=@3

[和文] プロセス起動処理でエラーが発生しました。 PRCTYPE=@1 errno=@2 code=@3

[説明] プロセス起動処理でエラーが発生した。

@ 1 : プロセス種別

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DICDD892

E

[英文] Failed to wait process termination. errno=@1 code=@2

[和文] プロセスの終了待ち合わせ処理でエラーが発生しました。 errno=@1 code=@2

[説明] プロセスの終了待ち合わせ処理でエラーが発生した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DICDD893

E

[英文] Failed to free shared memory. TBL=@1 IPCKEY=0x@2 errno=@3 code=@4

[和文] 共有メモリ解放処理でエラーが発生しました。 TBL=@1 IPCKEY=0x@2 errno=@3 code=@4

[説明] 共有メモリ解放処理でエラーが発生した。

@ 1 : テーブル名

@ 2 : IPC キー

@ 3 : UNIX のエラー番号

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DICDD900

E

[英文] Logical error. ERRTYPE=[@1] ERRINFO1=@2 ERRINFO2=@3 code=@4

[和文] 論理エラーが発生しました。 ERRTYPE=[@1] ERRINFO1=@2 ERRINFO2=@3 code=@4

[説明] 論理エラーが発生した。

@ 1 : エラー種別

@ 2 : エラー情報 1

@ 3 : エラー情報 2

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DICDD901

E

[英文] Illegal event received. EVENT=0x@1 code=@2

[和文] 不正なイベント事象が発生しました。 EVENT=0x@1 code=@2

[説明] 不正なイベント事象が発生した。

@ 1 : イベント事象

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

2.5 DICIT 系

DICIT022

E

[英文] Application name is illegal. APNAME=@1

[和文] 業務名が不正です。 APNAME=@1

[説明] 環境変数 DIOSA_APNAME で指定された業務名が不正です。
@ 1 : 業務名

[処置] 環境変数 DIOSA_APNAME を削除する。

[関連]

DICIT023

E

[英文] Failed to get of process information. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] プロセス情報の取得で異常が発生しました。 FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[説明] DIOSA の終了処理に失敗した。
@ 1 : システムコール名
@ 2 : UNIX エラーコード
@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] システムコール、errno への対応を行う。

[関連]

DICIT024

E

[英文] DIOSA is not started. code=@1

[和文] DIOSA が起動されていません。 code=@1

[説明] DIOSA が起動されていない。
@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP の起動時にエラーが発生していないかを確認する。エラーの原因を解消し、DIOSA/XTP の再起動を行う。DIOSA/XTP が起動している場合、環境変数「DIOSA_IRMROOT」が正しく設定されているかを確認する。

[関連]

DICIT025

E

[英文] Failed to Initialization of debug trace. return=@1 code=@2

[和文] 運行ログ/障害ログ機能の初期化で異常が発生しました。return=@1 code=@2

[説明] 運行ログ/障害ログ機能の初期化で異常が発生しました。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] エラー原因に従い対応を行う。

[関連]

2.6 DICOC 系

DICOC001

I

[英文] Tpp start processing. TPM=@1 CLASS=@2

[和文] C0 制御 TPP の起動処理を開始しました。 TPM=@ 1 CLASS=@ 2

[説明] C0 制御 TPP の起動処理（プロセス初期化処理）を開始した。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : TPBASE クラス名

[処置] なし

[関連]

DICOC002

I

[英文] Tpp started normally. TPM=@1 CLASS=@2

[和文] C0 制御 TPP が起動しました。 TPM=@ 1 CLASS=@ 2

[説明] C0 制御 TPP の起動処理（プロセス初期化）が完了した。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : TPBASE クラス名

[処置] なし

[関連]

DICOC004

I

[英文] Tpp stop processing. TPM=@1 CLASS=@2

[和文] C0 制御 TPP の停止処理を開始しました。 TPM=@ 1 CLASS=@ 2

[説明] C0 制御 TPP の停止処理（プロセス終了処理）を開始しました

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : TPBASE クラス名

[処置] なし

[関連]

DICOC005

I

[英文] Tpp stopped. TPM=@1 CLASS=@2

[和文] C0 制御 TPP が停止しました。 TPM=@ 1 CLASS=@ 2

[説明] C0 制御 TPP の停止処理（プロセス終了処理）が完了した

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : TPBASE クラス名

[処置] なし

[関連]

DICOC006

E

[英文] Tpp aborted. TPM=@1 code=@2

[和文] C0 制御 TPP が異常終了しました。 TPM=@ 1 code=@ 2

[説明] C0 制御 TPP が異常終了した。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 異常終了の原因を直前に出力されているメッセージ等から特定し、エラー原因を解消する。起動処理中に異常終了した場合には、手動で C0 制御 TPP を再起動する。トランザクション処理中に異常終了した場合には、TPBASE により自動再起動が行われる。ただし、TPBASE の環境定義（.ped）で TPP の自動再起動を行う旨の定義が必要である。

[関連]

DICOC007

E

[英文] No license of DIOSA/XTP C0 control.

[和文] C0 制御のライセンスがありません。

[説明] C0 制御のライセンスがない。

[処置] C0 制御のライセンス情報が正しい手順で格納されているか確認する。

[関連]

DICOC011

E

[英文] Tpp assigned CLASS is not found. TPM=@1 CLASS=@2 code=@3

[和文] CO 制御 TPP のクラス名が定義されていません。 TPM=@ 1 CLASS=@ 2 code=@ 3

[説明] 起動された CO 制御 TPP が動作するための TPBASE クラス定義が CO 制御動作環境定義 (COCENV 節) に定義されていない。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : TPBASE クラス名

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 起動された CO 制御 TPP が動作するための TPBASE クラス定義が CO 制御動作環境定義 (COCENV 節) と不一致な状態であるため、環境定義を訂正し不一致を解消する。

[関連]

DICOC012

E

[英文] Tpp assigned TXID is not found. TPM=@1 CLASS=@2 TXID=@3

[和文] CO 制御 TPP のトランザクション ID が定義されていません。 TPM=@ 1 CLASS=@ 2 TXID=@ 3

[説明] 起動された CO 制御 TPP が動作するための TPBASE トランザクション ID 定義が CO 制御動作環境定義 (COCENV 節) に定義されていない。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : TPBASE クラス名

@ 3 : TPBASE トランザクション ID

[処置] 起動された CO 制御 TPP が動作するための TPBASE トランザクション ID 定義が CO 制御動作環境定義 (COCENV 節) と不一致な状態であるため、環境定義を訂正し不一致を解消する。

[関連]

DICOC013

E

[英文] Tpp ARGS parameter Tp-Monitor is not defined. TPM=@1

[和文] CO 制御 TPP の実行時オプションで指定された TP モニタ名が定義されていません。 TPM=@ 1

[説明] 起動された CO 制御 TPP の実行時オプション (-TP) で指定された TPBASE モニタ名が DIOSA 動作環境定義 (DIOSAMAP 節) に定義されていない。

@ 1 : TPBASE モニタ名

[処置] TPBASE 環境定義 (.ped) で設定する CO 制御 TPP の実行時オプション (-TP) で指定した TPBASE モニタ名が DIOSA 動作環境定義 (DIOSAMAP 節) に定義されていないため、環境定義を訂正し不一致を解消する。

[関連]

DICOC014

E

[英文] Tpp ARGS parameter is error. ARGV=@1

[和文] C0 制御 TPP の実行時オプションに誤りがあります。 ARGV=@ 1

[説明] 起動された C0 制御 TPP の実行時オプションに誤りがある。

@ 1 : 指定された実行時オプションの内容

[処置] TPBASE 環境定義(.ped)で設定する C0 制御 TPP の実行時オプション(-TP)での指定に誤りがあるため訂正する。

[関連]

DICOC015

E

[英文] Tpp ARGS acquire parameter Tp-Monitor.

[和文] C0 制御 TPP の実行時オプションに TP モニタ名がありません。

[説明] 起動された C0 制御 TPP の実行時オプションに TPBASE モニタ名を指定するオプション(-TP)がない。

[処置] TPBASE 環境定義(.ped)で設定する C0 制御 TPP の実行時オプションに TPBASE モニタ名を指定するオプション(-TP)を追加する。

[関連]

DICOC020

E

[英文] Failed to call C0. TPM=@1 TXID=@2 C0=@3 STATUS=@4

[和文] C0 の呼び出しエラーが発生しました。 TPM=@ 1 TXID=@ 2 C0=@ 3 STATUS=@ 4

[説明] C0 の呼び出しエラーが発生した。エラーC0 の呼び出しを行う。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : TPBASE トランザクション ID

@ 3 : 呼び出そうとした C0 名

@ 4 : DIOSA エラー番号 (主なものを以下に示す)

-8 : 関数がみつからない

[処置] メッセージに出力された C0 名が誤っていない場合には、当該関数を含むライブラリが AP 動的置換の環境定義に定義されているか、ライブラリに当該関数が含まれているか等を確認し、エラー原因を解消する

[関連]

DICOC021

E

[英文] Failed to call error C0. TPM=@1 TXID=@2 C0=@3 STATUS=@4

[和文] エラーC0の呼び出しエラーが発生しました。 TPM=@ 1 TXID=@ 2 C0=@ 3 STATUS=@ 4

[説明] エラーC0の呼び出しエラーが発生した。受信電文は破棄される。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : TPBASE トランザクション ID

@ 3 : 呼び出そうとしたC0名

@ 4 : DIOSA エラー番号 (主なものを以下に示す)

-8 : 関数がみつからない

[処置] C0 制御動作環境定義 (COCENV 節) で定義したエラーC0 名が誤っている場合には、環境定義を訂正する。エラーC0 名が誤っていない場合には、当該関数を含むライブラリが AP 動的置換の環境定義に定義されているか、ライブラリに当該関数が含まれているか等を確認し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC022

E

[英文] Failed to call exit function. TPM=@1 TXID=@2 EXIT=@3 STATUS=@4

[和文] 利用者出口の呼び出しエラーが発生しました。 TPM=@ 1 TXID=@ 2 EXIT=@ 3 STATUS=@ 4

[説明] 利用者出口の呼び出しエラーが発生した。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : TPBASE トランザクション ID

@ 3 : 呼び出そうとした利用者出口名

@ 4 : DIOSA エラー番号 (主なものを以下に示す)

-8 : 関数がみつからない

[処置] 環境定義 (COCC0 節) で定義した利用者出口名が誤っている場合には、環境定義を訂正する。利用者出口名が誤っていない場合には、当該関数を含むライブラリが AP 動的置換の環境定義に定義されているか、ライブラリに当該関数が含まれているか等を確認し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC024

E

[英文] Abort request accepted from C0. TPM=@1 TXID=@2 C0=@3 STATUS=@4 USTATUS=@5

[和文] C0 から異常終了要求が返却されました。 TPM=@ 1 TXID=@ 2 C0=@ 3 STATUS=@ 4 USTATUS=@ 5

[説明] C0 から異常終了要求が返却された。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : トランザクション ID

@ 3 : 異常終了要求を返却した C0 名

@ 4 : C0 から返却された diosauca 状態コード

@ 5 : C0 から返却された diosauca 利用者コード

[処置] C0 が異常終了要求を返却した原因を C0 が出力しているメッセージ等から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC030

E

[英文] Abort request accepted from exit function. TPM=@1 TXID=@2 EXIT=@3 STATUS=@4 USTATUS=@5

[和文] 利用者出口から異常終了要求が返却されました。 TPM=@ 1 TXID=@ 2 EXIT=@ 3 STATUS=@ 4 USTATUS=@ 5

[説明] 利用者出口から異常終了要求が返却された。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : トランザクション ID

@ 3 : 異常終了要求を返却した利用者出口名

@ 4 : 利用者出口から返却された diosauca 状態コード

@ 5 : 利用者出口から返却された diosauca 詳細コード

[処置] 利用者出口が異常終了要求を返却した原因を利用者出口が出力しているメッセージ等から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC032

E

[英文] Chain message not found. TPM=@1 TXID=@2 C0=@3

[和文] C0 からロールバック連鎖要求が返却されましたが連鎖電文が存在しません。 TPM=@ 1 TXID=@ 2 C0=@ 3

[説明] C0 からロールバック連鎖要求が返却されたが連鎖電文が存在しない。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : トランザクション ID

@ 3 : ロールバック連鎖要求を返却した C0 名

[処置] 連鎖電文を送信してからロールバック連鎖要求を返却するように C0 を修正する。

[関連]

DICOC033

E

[英文] Illegal return code from C0. TPM=@1 TXID=@2 C0=@3 STATUS=@4 USTATUS=@5

[和文] C0 から不正なリターンコードが返却されました。 TPM=@ 1 TXID=@ 2 C0=@ 3 STATUS=@ 4 USTATUS=@ 5

[説明] C0 から不正なリターンコードが返却された。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : トランザクション ID

@ 3 : 不正リターンコードを返却した C0 名

@ 4 : C0 から返却された diosauca 状態コード

@ 5 : C0 から返却された diosauca 利用者コード

[処置] 正しい状態コードを返却するように C0 を修正する。

[関連]

DICOC034

E

[英文] Illegal return code from exit function. TPM=@1 TXID=@2 EXIT=@3 STATUS=@4 USTATUS=@5

[和文] 利用者出口から不正なリターンコードが返却されました。 TPM=@ 1 TXID=@ 2 EXIT=@ 3 STATUS=@ 4 USTATUS=@ 5

[説明] 利用者出口から不正なリターンコードが返却された。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : トランザクション ID

@ 3 : 不正リターンコードを返却した利用者出口名

@ 4 : 利用者出口から返却された diosauca 状態コード

@ 5 : 利用者出口から返却された diosauca 利用者コード

[処置] 正しいリターンコードを返却するように利用者出口を修正する。

[関連]

DICOC038

E

[英文] Retry over. TPM=@1 TXID=@2 C0=@3

[和文] リトライ回数が制限値を超えました。 TPM=@ 1 TXID=@ 2 C0=@ 3

[説明] デッドロックリトライおよびロールバックリトライの回数が C0 制御動作環境定義 (COCENV 節) で定義した制限値を超えたため、強制的に異常終了させる。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : トランザクション ID

@ 3 : C0 名

[処置] デッドロックリトライ、ロールバックリトライが発生した原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC042

W

[英文] Cannot be decided C0. TPM=@1 TXID=@2

[和文] C0 名が決定できません。 TPM=@ 1 TXID=@ 2

[説明] 受信した電文に対する C0 が決定できない。エラーC0 を呼び出す。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : トランザクション ID

[処置] C0 が決定できない原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC050

E

[英文] Occurred exception with signal. TPM=@1 TXID=@2 CO=@3 FUNC=@4 EXITKEY=@5 PHASE=@6_@7

[和文] 例外(シグナル)が発生しました。 TPM=@ 1 TXID=@ 2 CO=@ 3 FUNC=@ 4 EXITKEY=@ 5 PHASE=@ 6 _
@ 7

[説明] 例外 (シグナル) が発生した。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : トランザクション ID

@ 3 : CO 名

@ 4 : 例外発生関数名

@ 5 : TPBASE からのシグナル情報

@ 6 : CO 制御 TPP 内部の処理フェーズ番号

@ 7 : CO 制御 TPP 内部の処理フェーズ番号

[処置] 発生箇所が利用者プログラムの場合にはシグナル発生した原因を特定し、利用者プログラムを修正する。

[関連]

DICOC051

E

[英文] Occurred exception with signal. TPM=@1 FUNC=@2 EXITKEY=@3 PHASE=@4_@5

[和文] 例外(シグナル)が発生しました。 TPM=@ 1 FUNC=@ 2 EXITKEY=@ 3 PHASE=@ 4 _@ 5

[説明] 例外 (シグナル) が発生した。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : 例外発生関数名

@ 3 : TPBASE からのシグナル情報

@ 4 : CO 制御 TPP 内部の処理フェーズ番号

@ 5 : CO 制御 TPP 内部の処理フェーズ番号

[処置] CO 制御 TPP プロセス起動のタイミングでシグナル発生しているため、プロセス初期化利用者出口を実装している場合にはシグナル発生した原因を特定し、利用者プログラムを修正する。

[関連]

DICOC056

E

[英文] Abort function started. TPM=@1 TXID=@2 CO=@3 REASON=@4

[和文] アボート処理を開始しました。 TPM=@ 1 TXID=@ 2 CO=@ 3 REASON=@ 4

[説明] アボート処理を開始した。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : トランザクション ID

@ 3 : CO 名

@ 4 : アボート理由

“APREQUEST” 利用者プログラムからの異常終了要求

“EXCEPTION” 例外（シグナル）の発生

“CPUOVER” CPU 時間超過

“ELAPOVER” 経過時間超過

“RETRYOVER” デッドロック/ロールバックリトライ回数超過

“MASTER-SWITCH(P)” . マスタ切り替え中（計画切り替え）

“MASTER-SWITCH(A)” . マスタ切り替え中（障害切り替え）

“COC” CO 制御が処理続行不可能なエラーを検出

[処置] 異常終了の原因を直前に出力されているメッセージ等から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC058

E

[英文] Abort function terminated normally. TPM=@1 TXID=@2 CO=@3

[和文] アボート処理が終了しました。 TPM=@ 1 TXID=@ 2 CO=@ 3

[説明] アボート処理が終了した。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : トランザクション ID

@ 3 : CO 名

[処置] 直前に出力されているアボート原因メッセージ(DICOC024, DICOC050, DICOC051)を確認し、対処を行なう。

[関連]

DICOC300

I

[英文] CO control daemon started normally.

[和文] CO 制御監視デーモンが起動しました。

[説明] CO 制御監視デーモンが起動した。

[処置] なし

[関連]

DICOC301

I

[英文] C0 control daemon stopped.

[和文] C0 制御監視デーモンが停止しました。

[説明] C0 制御監視デーモンが停止した。

[処置] なし

[関連]

DICOC302

E

[英文] C0 control daemon aborted.

[和文] C0 制御監視デーモンが異常終了しました。

[説明] C0 制御監視デーモンが異常終了した。

[処置] なし

[関連] 直前に出力されているアボート原因メッセージ (DICOC953, DICOC954 など) を確認し、対処を行なう。

DICOC450

E

[英文] Function nest information @1

[和文] 関数ネスト情報 @ 1

[説明] 例外発生時の関数ネスト情報。

@ 1 : 関数ネスト情報

“関数名<-関数名<-関数名 ～ <-関数名”

[処置] 例外の原因を特定するための情報として利用する。

[関連]

DICOC500

I

[英文] Initialization command terminated normally. MODE=@1

[和文] C0 制御初期化コマンドが正常終了しました。 MODE=@ 1

[説明] C0 制御初期化コマンドが正常終了した。

@ 1 : 起動モード (warm, cold)

[処置] なし

[関連]

DICOC501

E

[英文] Initialization command aborted. MODE=@1

[和文] C0 制御初期化コマンドが異常終了しました。 MODE=@ 1

[説明] C0 制御初期化コマンドが異常終了した。

@ 1 : 起動モード (warm, cold)

[処置] 異常終了の原因を直前に出力されているメッセージ等から特定し、エラー原因を解消する。エラー原因の解消後にコマンドを再実行する。

[関連]

DICOC502

W

[英文] Initialization command terminated with warning. MODE=@1

[和文] C0 制御初期化コマンドが警告終了しました。 MODE=@ 1

[説明] C0 制御初期化コマンドが警告終了した。

@ 1 : 起動モード (warm, cold)

[処置] 警告終了の原因を直前に出力されているメッセージ等から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC503

I

[英文] Initialization command has been already done.

[和文] C0 制御初期化コマンドは既に行われています。

[説明] C0 制御初期化コマンドは既に行われている。

[処置] C0 制御の初期化を行う必要がある時は、C0 制御終了コマンドの実行後、C0 制御初期化コマンドを実行する。

[関連]

DICOC504

E

[英文] Cannot executed this node. LNODETYPE=@1

[和文] C0 制御初期化コマンドは当論理ノードでは実行できません。 LNODETYPE=@ 1

[説明] C0 制御初期化コマンドは論理ノード種別が AP ノード、もしくは OLTP ノードの場合のみ実行できる。

@ 1 : 論理ノード種別

[処置] 起動シェル等を修正し、当該論理ノードでは C0 制御初期化コマンドを実行しないようにする。

[関連]

DICOC506

W

[英文] Unmatch inheritance file revision.

[和文] SG 引継ぎ情報のリビジョンが対応していないリビジョンです。

[説明] SG 引継ぎ情報のリビジョンが対応できないリビジョンである。COLD モードに切り替えて起動処理を続行する。

[処置] なし

[関連]

DICOC507

W

[英文] Change to startmode Cold to Warm.

[和文] CO 制御初期化コマンドの WARM 起動に失敗したため COLD で起動します。

[説明] WARM モードでの起動に失敗したため、COLD モードに切り替えて起動する。

[処置] WARM 起動に失敗した原因を直前に出力されているメッセージ等から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC508

W

[英文] SG (COCENV) inheritance file not found.

[和文] CO 制御の SG 引継ぎ情報が存在しません。

[説明] CO 制御の SG 引継ぎ情報が存在しない。COLD モードに切り替えて起動処理を続行する。

[処置] なし

[関連]

DICOC509

E

[英文] TPBASE Monitor name undefined on SG (DIOSAMAP).

[和文] 環境定義 (DIOSAMAP) に TPBASE モニタ情報が定義されていません。

[説明] 環境定義 (DIOSAMAP 節) に CO 制御が所属する TPBASE モニタ情報が定義されていない。

[処置] 環境定義 (DIOSAMAP 節) に CO 制御が所属する TPBASE モニタ情報を定義する。

[関連]

DICOC510

E

[英文] Failed to get DIOSAMAP information. STATUS=@1 code=@2

[和文] DIOSAMAP 情報の取得に失敗しました。 STATUS=@ 1 code=@ 2

[説明] DIOSA 環境定義 (DIOSAMAP 節) の情報取得に失敗した。

 @ 1 : DIOSA エラー番号 (主なものを以下に示す)

 -11 : DIOSA 終了コマンドが実行された

 -25 : 共有メモリのアクセスに失敗した

 @ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA 環境定義の情報取得に関する異常終了原因を返却された DIOSA エラー番号から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC520

I

[英文] Termination command terminated normally.

[和文] C0 制御終了コマンドが正常終了しました。

[説明] C0 制御終了コマンドが正常終了した。

[処置] なし

[関連]

DICOC521

E

[英文] Termination command aborted.

[和文] C0 制御終了コマンドが異常終了しました。

[説明] C0 制御終了コマンドが異常終了した。

[処置] 異常終了の原因を直前に出力されているメッセージ等から特定し、エラー原因を解消する。エラー原因の解消後にコマンドを再実行する。

[関連]

DICOC522

W

[英文] Termination command terminated with warning.

[和文] C0 制御終了コマンドが警告終了しました。

[説明] C0 制御終了コマンドが警告終了した。

[処置] 警告終了の原因を直前に出力されているメッセージ等から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC523

I

[英文] Termination command has been already done.

[和文] C0 制御終了コマンドは既に行われています。

[説明] C0 制御終了コマンドは既に行われている。

[処置] なし

[関連]

DICOC540

I

[英文] SG Modify command terminated normally.

[和文] C0 制御動作変更コマンドが正常終了しました。

[説明] C0 制御動作変更コマンドが正常終了した。

[処置] なし

[関連]

DICOC541

E

[英文] SG Modify command aborted.

[和文] C0 制御動作変更コマンドが異常終了しました。

[説明] C0 制御動作変更コマンドが異常終了した。

[処置] なし

[関連]

DICOC542

W

[英文] SG Modify command terminated with warning.

[和文] C0 制御動作変更コマンドが警告終了しました。

[説明] C0 制御動作変更コマンドが警告終了した。

[処置] 警告終了の原因を直前に出力されているメッセージ等から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC543

E

[英文] Cannot executed this node. LNODETYPE=@1

[和文] C0 制御動作変更コマンドは当論理ノードでは実行できません。 LNODETYPE=@ 1

[説明] C0 制御動作変更コマンドは論理ノード種別が AP ノード、もしくは OLTP ノードの場合のみ実行できる。

@ 1 : 論理ノード種別

[処置] 当該論理ノードでは C0 制御動作変更コマンドを実行しないようにする。

[関連]

DICOC560

I

[英文] SG Change command terminated normally.

[和文] C0 制御環境定義置換コマンドが正常終了しました。

[説明] C0 制御環境定義置換コマンドが正常終了した。

[処置] なし

[関連]

DICOC561

E

[英文] SG Change command aborted.

[和文] C0 制御環境定義置換コマンドが異常終了しました。

[説明] C0 制御環境定義置換コマンドが異常終了した。

[処置] 異常終了の原因を直前に出力されているメッセージ等から特定し、エラー原因を解消する。エラー原因の解消後にコマンドを再実行する。

[関連]

DICOC562

W

[英文] SG Change command terminated with warning.

[和文] C0 制御環境定義置換コマンドが警告終了しました。

[説明] C0 制御環境定義置換コマンドが警告終了した。

[処置] 警告終了の原因を直前に出力されているメッセージ等から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC563

E

[英文] Cannot executed this node. LNODETYPE=@1

[和文] C0 制御環境定義置換コマンドは当論理ノードでは実行できません。 LNODETYPE=@ 1

[説明] C0 制御環境定義置換コマンドは論理ノード種別が AP ノード、もしくは OLTP ノードの場合のみ実行できる。

@ 1 : 論理ノード種別

[処置] 当該論理ノードでは C0 制御環境定義置換コマンドを実行しないようにする。

[関連]

DICOC600

I

[英文] C0 Monitor daemon start command terminated normally.

[和文] C0 制御監視デーモン起動コマンドが正常終了しました。

[説明] C0 制御監視デーモン起動コマンドが正常終了した。

[処置] なし

[関連]

DICOC601

E

[英文] C0 Monitor daemon start command aborted.

[和文] C0 制御監視デーモン起動コマンドが異常終了しました。

[説明] C0 制御監視デーモン起動コマンドが異常終了した。

[処置] 異常終了の原因を直前に出力されているメッセージ等から特定し、エラー原因を解消する。エラー原因の解消後にコマンドを再実行する。

[関連]

DICOC602

W

[英文] C0 Monitor daemon start command terminated with warning.

[和文] C0 制御監視デーモン起動コマンドが警告終了しました。

[説明] C0 制御監視デーモン起動コマンドが警告終了した。

[処置] 警告終了の原因を直前に出力されているメッセージ等から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC603

E

[英文] Failed to start C0 Monitor daemon. errno=@1 code=@2

[和文] C0 制御監視デーモンの起動に失敗しました。 errno=@ 1 code=@ 2

@ 1 : UNIX エラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[説明] C0 制御監視デーモンの起動に失敗した。

[処置] C0 制御監視デーモン起動失敗の原因を直前に出力されているメッセージ等から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC604

W

[英文] C0 Monitor daemon has been already running.

[和文] C0 制御監視デーモンは既に稼働中です。

[説明] C0 制御監視デーモンは既に稼働中のため、新たに起動することはできない。

[処置] なし

[関連]

DICOC605

W

[英文] C0 Monitor daemon start is time-out.

[和文] C0 制御監視デーモンの起動がタイムアウトしました。

[説明] C0 制御監視デーモンの起動処理がタイムアウトした。

[処置] 必要であれば、ps コマンドなどでC0 制御監視デーモンの起動状態を確認すること。

[関連]

DICOC606

W

[英文] C0 Monitor daemon stop is time-out.

[和文] C0 制御監視デーモンの停止がタイムアウトしました。

[説明] C0 制御監視デーモンの停止処理がタイムアウトした。

[処置] 必要であれば、ps コマンドなどで C0 制御監視デーモンの停止状態を確認すること。

[関連]

DICOC650

I

[英文] Transaction blockage command terminated normally.

[和文] C0 制御電文保留制御コマンドが正常終了しました。

[説明] C0 制御電文保留制御コマンドが正常終了した。

[処置] なし

[関連]

DICOC651

E

[英文] Transaction blockage command aborted.

[和文] C0 制御電文保留制御コマンドが異常終了しました。

[説明] C0 制御電文保留制御コマンドが異常終了した。

[処置] 異常終了の原因を直前に出力されているメッセージ等から特定し、エラー原因を解消する。エラー原因の解消後にコマンドを再実行する。

[関連]

DICOC652

W

[英文] Transaction blockage command terminated with warning.

[和文] C0 制御電文保留制御コマンドが警告終了しました。

[説明] C0 制御電文保留制御コマンドが警告終了した。

[処置] 警告終了の原因を直前に出力されているメッセージ等から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC653

E

[英文] Cannot executed this node. LNODETYPE=@1

[和文] C0 制御電文保留制御コマンドは当論理ノードでは実行できません。 LNODETYPE=@ 1

[説明] C0 制御電文保留制御コマンドは論理ノード種別が AP ノード、もしくは OLTP ノードの場合のみ実行できる。

@ 1 : 論理ノード種別

[処置] 当該論理ノードでは C0 制御電文保留制御コマンドを実行しないようにする。

[関連]

DICOC700

E

[英文] Processing target not found.

[和文] 処理対象が存在しません。

[説明] C0 制御の各種照会コマンドで表示すべき情報が存在しない。

[処置] 必要であれば、処理対象を変更してコマンドを再実行する。

[関連]

DICOC701

E

[英文] Specified TPBASE Monitor not found.

[和文] 指定された TP モニタが存在しません。

[説明] C0 制御の各種照会コマンドで指定した TPBASE モニタ名が DIOSA の環境定義(DIOSAMAP 節)に存在しない。

[処置] 必要であれば、処理対象を変更してコマンドを再実行する。

[関連]

DICOC702

E

[英文] Specified CLASS not found.

[和文] 指定されたクラスが存在しません。

[説明] C0 制御の各種照会コマンドで指定したクラス名が C0 制御の環境定義(COCENV 節)に存在しない。

[処置] 必要であれば、処理対象を変更してコマンドを再実行する。

[関連]

DICOC703

E

[英文] Specified TXID not found.

[和文] 指定されたトランザクション ID が存在しません。

[説明] C0 制御の各種照会コマンドで指定したトランザクション ID が C0 制御の環境定義 (COCENV 節) に存在しない。

[処置] 必要であれば、処理対象を変更してコマンドを再実行する。

[関連]

DICOC704

E

[英文] Processing target not found. TPM=@

[和文] 処理対象が存在しません。TPM=@

[説明] diosa の環境定義では存在するが、未起動の TP モニタがある。

[処置] 必要であれば、TP モニタを起動する。

[関連]

DICOC710

E

[英文] Operating status command aborted.

[和文] C0 制御稼働状況照会コマンドが異常終了しました。

[説明] C0 制御稼働状況照会コマンドが異常終了した。

[処置] 必要であれば、処理対象を変更してコマンドを再実行する。

[関連]

DICOC711

E

[英文] SG information reference command aborted.

[和文] C0 制御環境定義照会コマンドが異常終了しました。

[説明] C0 制御環境定義照会コマンドが異常終了した。

[処置] 必要であれば、処理対象を変更してコマンドを再実行する。

[関連]

DICOC800

E

[英文] Failed to open to file of configuration information. SECTION=@1 STATUS=@2

[和文] 環境定義オブジェクトファイルのオープンエラーが発生しました。 SECTION=@ 1 STATUS=@ 2

[説明] 環境定義オブジェクトファイルのオープンエラーが発生した。

@ 1 : 環境定義の節名

@ 2 : DIOSA エラー番号

[処置] オープンエラーの原因を DIOSA エラー番号から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC801

E

[英文] Failed to read to file of configuration information. SECTION=@1 STATUS=@2 code=@3

[和文] 環境定義オブジェクトファイルの読み込みエラーが発生しました。 SECTION=@ 1 STATUS=@ 2 code=@ 3

[説明] 環境定義オブジェクトファイルの読み込みエラーが発生した。

@ 1 : 環境定義の節名

@ 2 : DIOSA エラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 読み込みエラーの原因を DIOSA エラー番号から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC900

E

[英文] Initialization command not executed.

[和文] C0 制御初期化コマンドが行われていません。

[説明] C0 制御初期化コマンドが行われていない。

[処置] C0 制御初期化コマンドを実行する。

[関連]

DICOC920

E

[英文] Failed to TPBASE service routine. FUNC=@1 STATUS=@2 code=@3

[和文] TPBASE サービスルーチンでエラーが発生しました。 FUNC=@ 1 STATUS=@ 2 code=@ 3

[説明] TPBASE サービスルーチンが異常終了した。

@ 1 : TPBASE サービスルーチン名

@ 2 : TPBASE サービスルーチンが返却したリターンコード情報

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] TPBASE サービスルーチンの異常終了原因を TPBASE サービスルーチン名とリターンコード情報から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC921

E

[英文] Failed to received message. TPM=@1 CLASS=@2 TXID=@3 STATUSKEY=@4 ENDKEY=@5

[和文] 電文受信でエラーが発生しました。 TPM=@ 1 CLASS=@ 2 TXID=@ 3 STATUSKEY=@ 4 ENDKEY=@ 5

[説明] TPBASE の電文受信ルーチン (TP_receive) が異常終了した。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : TPBASE クラス名

@ 3 : トランザクション ID

@ 4 : TPBASE 通信記述領域の status_key

@ 5 : TPBASE 通信記述領域の end_key

[処置] TPBASE 電文受信ルーチンの異常終了原因を TPBASE 通信記述領域の status_key、および end_key から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC922

E

[英文] Failed to commit to In-Memory Server. TPM=@1 TXID=@2 STATUS=@3

[和文] インメモリサーバのコミットでエラーが発生しました。 TPM=@ 1 TXID=@ 2 STATUS=@ 3

[説明] インメモリサーバのコミット処理が異常終了した。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : トランザクション ID

@ 3 : コミット処理のリターンコード

[処置] インメモリサーバのコミット処理の異常終了原因をリターンコード（リターンコードについては、DIOSA/XTP API リファレンスの diosaimcommit 関数の章を参照）から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC923

E

[英文] Failed to rollback to In-Memory Server. TPM=@1 TXID=@2 STATUS=@3

[和文] インメモリサーバのロールバックでエラーが発生しました。 TPM=@ 1 TXID=@ 2 STATUS=@ 3

[説明] インメモリサーバのロールバック処理が異常終了した。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : トランザクション ID

@ 3 : ロールバック処理のリターンコード

[処置] インメモリサーバのロールバック処理の異常終了原因をリターンコード（リターンコードについては、DIOSA/XTP API リファレンスの diosaimrollback 関数の章を参照）から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC924

E

[英文] Failed to txsend from resttxid. TPM=@1 RESTTXID=@2 SENDTXID=@3 VD=@4 STATUSKEY=@5 ENDKEY=@6

[和文] 退避トランザクションからの電文送信が失敗しました。 TPM=@ 1 RESTTXID=@ 2 SENDTXID=@ 3 VD=@ 4 STATUSKEY=@ 5 ENDKEY=@ 6

[説明] 退避トランザクションからの本来の実行トランザクションへの電文送信が異常終了した。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : 退避トランザクション ID

@ 3 : 電文送信先の実行トランザクション ID

@ 4 : 電文送信に失敗した VD 名

@ 5 : TPBASE 電文送信サービスルーチンが返却した STATUS-KEY

@ 6 : TPBASE 電文送信サービスルーチンが返却した END-KEY

[処置] TPBASE 電文送信サービスルーチンの異常終了原因を返却された STATUS-KEY と END-KEY から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC925

E

[英文] Failed to get DIOSAMAP information. TPM=@1 STATUS=@2 code=@3

[和文] DIOSAMAP 情報の取得に失敗しました。 TPM=@ 1 STATUS=@ 2 code=@ 3

[説明] DIOSA 環境定義 (DIOSAMAP 節) の情報取得に失敗した。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : DIOSA エラー番号 (主なものを以下に示す)

-11 : DIOSA 終了コマンドが実行された

-25 : 共有メモリのアクセスに失敗した

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] TPBASE サービスルーチン (TP_info) の異常終了原因を返却されたステータス値から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC926

E

[英文] Error to VD setenv.

[和文] VD 名の環境変数設定に誤りがあります。

[説明] トランザクション ID から VD 名を生成するルールを定義する環境変数 DIOSA_TRVDPREFIX、DIOSA_TRVDSUFFIX の両方が無効な設定となっているため、VD 名が決定できない。

[処置] 環境変数 DIOSA_TRVDPREFIX、DIOSA_TRVDSUFFIX のいずれかが有効となるように設定する。

[関連]

DICOC927

E

[英文] Failed to ims transaction start. TPM=@1 TXID=@2 STATUS=@3 code=@4

[和文] インメモリサーバのトランザクション開始が失敗しました。 TPM=@ 1 TXID=@ 2 STATUS=@ 3 code=@ 4

[説明] インメモリサーバのトランザクション開始が異常終了した。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : トランザクション ID

@ 3 : トランザクション開始処理のリターンコード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] インメモリサーバのトランザクション開始処理の異常終了原因をリターンコード (リターンコードについては、DIOSA/XTP API リファレンスの diosaimtxstart 関数の章を参照) から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC951

E

[英文] Failed to allocate memory. errno=@1 code=@2

[和文] プロセス内メモリの確保エラーが発生しました。 errno=@1 code=@2

[説明] プロセス内メモリの確保エラーが発生した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] プロセス内メモリ確保エラーの原因を UNIX のエラー番号から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC953

E

[英文] Failed to create shared memory. IPCKEY=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの確保エラーが発生しました。 IPCKEY=@1 errno=@2 code=@3

[説明] 共有メモリの確保エラーが発生した。

@ 1 : 共有メモリの IPC キー

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 共有メモリ確保エラーの原因を UNIX のエラー番号から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC954

E

[英文] Failed to access shared memory. FUNC=@1 TBL=@2 errno=@3 code=@4

[和文] 共有メモリのアクセスエラーが発生しました。 FUNC=@ 1 TBL=@ 2 errno=@ 3 code=@ 4

[説明] 共有メモリのアクセスエラーが発生した。

@ 1 : 共有メモリへのアクセス関数名

@ 2 : テーブル名

@ 3 : UNIX のエラー番号

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 共有メモリアccessエラーの原因を UNIX のエラー番号から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC958

E

[英文] Failed to send signal. SIGNAL=@1 PID=@2 errno=@3 code=@4

[和文] シグナルの送信エラーが発生しました。 SIGNAL=@ 1 PID=@ 2 errno=@ 3 code=@ 4

[説明] シグナルの送信エラーが発生した。

@ 1 : 送信失敗したシグナル番号

@ 2 : シグナル送信の宛先プロセス番号

@ 3 : UNIX のエラー番号

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] シグナル送信エラーの原因を UNIX のエラー番号から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC959

E

[英文] System call failed. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] システムコールのエラーが発生しました。 FUNC=@ 1 errno=@ 2 code=@ 3

[説明] システムコールのエラーが発生した。

@ 1 : システムコールの関数名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] システムコールエラーの原因を UNIX のエラー番号から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC961

E

[英文] Failed to shared Memory Dynamic Replace function. FUNC=@1 STATUS=@2 code=@3

[和文] 共有メモリ動的置換関数のエラーが発生しました。 FUNC=@ 1 STATUS=@ 2 code=@ 3

[説明] DIOSA/XTP の共有メモリ動的置換関数のエラーが発生した。

@ 1 : 共有メモリ動的置換関数名

@ 2 : DIOSA エラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 共有メモリ動的置換関数エラーの原因を DIOSA エラー番号から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC962

E

[英文] Failed to mutex function. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] スレッドライブラリ関数のエラーが発生しました。 FUNC=@ 1 errno=@ 2 code=@ 3

[説明] スレッドライブラリ関数のエラーが発生した。

@ 1 : スレッドライブラリ関数名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] スレッドライブラリ関数エラーの原因を UNIX のエラー番号から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC990

E

[英文] Deleted tpp assigned Tp-Monitor. TPM=@1

[和文] CO 制御の環境定義から処理 TP モニタが削除されました。 TPM=@ 1

[説明] DIOSA 動作環境定義 (DIOSAMAP 節)、CO 制御動作環境定義 (COCENV 節) から CO 制御が動作中の TPBASE モニタ名が削除された。

@ 1 : TPBASE モニタ名

[処置] DIOSA 動作環境定義 (DIOSAMAP 節)、および CO 制御動作環境定義 (COCENV 節) で定義されている CO 制御の動作環境と TPBASE 環境定義の内容が矛盾しているため、環境定義を訂正する。

[関連]

DICOC991

E

[英文] Failed to SG shared memory dynamic replace function. TPM=@1

[和文] 環境定義の動的置換エラーが発生しました。 TPM=@ 1

[説明] 環境定義の動的置換エラーが発生した。

@ 1 : TPBASE モニタ名

[処置] 環境定義の動的置換エラーの原因を直前に出力されているメッセージ等から特定し、エラー原因を解消する。

[関連]

DICOC992

W

[英文] Deleted tpp assigned CLASS. TPM=@1 CLASS=@2

[和文] 処理対象クラスの定義が削除されました。 TPM=@ 1 CLASS=@ 2

[説明] C0 制御動作環境定義(COCENV 節)から C0 制御が動作中の TPBASE クラス名が削除された。

@ 1 : TPBASE モニタ名

@ 2 : TPBASE クラス名

[処置] C0 制御動作環境定義(COCENV 節)で定義されている C0 制御の動作環境と TPBASE 環境定義の内容が矛盾しているため、環境定義を訂正する。

[関連]

DICOC999

E

[英文] Logical error. STATUS=@1 code=@2

[和文] プログラムの異常を検出しました。 STATUS=@ 1 code=@ 2

[説明] C0 制御内でプログラム矛盾が発生した。

@ 1 : DIOSA エラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ連絡する。

[関連]

2.7 DICOM 系

DICOM500

E

[英文] Failed to get process information. errno=@1 code=@2

[和文] プロセス情報の取得に失敗しました。 errno=@1 code=@2

[説明] プロセス情報の取得に失敗した。

@1 UNIX のエラー番号

@2 DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。また、UNIX エラー番号に従い対処を行う。

[関連]

DICOM501

E

[英文] Failed to add a time interval to the current absolute system time. errno=@1 code=@2

[和文] 絶対システム時間の加算に失敗しました。 errno=@1 code=@2

[説明] 絶対システム時間への加算処理が失敗しました。

@1 UNIX のエラー番号

@2 DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。また、UNIX エラー番号に従い対処を行う。

[関連]

DICOM601

E

[英文] Failed to search static data dictionary view. VIEW=@1 sqlcode=@2

[和文] 静的データディクショナリビューの検索に失敗しました。 VIEW=@1 sqlcode=@2

[説明] Oracle 制御情報の検索に失敗しました。

@1 検索した制御情報

@2 Oracle のエラー番号

[処置] Oracle のエラー番号に従い対処を行う。

[関連]

DICOM602

E

[英文] The length of the partition key value is illegal. PARTITION=@1 PARTKEYLEN=@2

[和文] パーティションキー値の長さが不正です。PARTITION=@1 PARTKEYLEN=@2

[説明] プログラム内で指定された、パーティションキーの長さが、正しくありません。

@1 パーティション名

@2 パーティションキー長

[処置] 開発部門への問い合わせを行う。

[関連]

DICOM603

E

[英文] The partition key value is illegal. PARTITION=@1 PRG_PARTKEY=@2 DB_PARTKEY=@3

[和文] パーティションキー値が不正です。PARTITION=@1 PRG_PARTKEY=@2 DB_PARTKEY=@3

[説明] Oracle パーティションキーが DIOSA/XTP の規則と異なる。

@1 パーティション名

@2 DIOSA が期待するパーティションキー

@3 Oracle 表作成時に指定されたパーティションキー

[処置] DIOSA/XTP の規則に従って表を再作成する。

[関連]

DICOM801

E

[英文] Failed to open catalog file. file=@1 errno=@2

[和文] カタログファイルのオープンに失敗しました。file=@1 errno=@2

[説明] カタログファイルのオープン (catopen) に失敗しました。

@1 オープンしようとしたカタログファイル名

@2 UNIX のエラー番号

[処置] UNIX エラー番号に従い対処を行う。

[関連]

DICOM802

E

- [英文] Failed to close catalog file. errno=@1
- [和文] カタログファイルのクローズに失敗しました。errno=@1
- [説明] カタログファイルのクローズ(catclose)に失敗しました。
@1 UNIX のエラー番号
- [処置] UNIX エラー番号に従い対処を行う。
- [関連]

DICOM803

E

- [英文] Failed to the acquisition of the message from the catalog file. SET=@1 NUM=@2 errno=@3
- [和文] カタログファイルからメッセージの取得に失敗しました。SET=@1 NUM=@2 errno=@3
- [説明] カタログファイルのクローズ(catclose)に失敗しました。
@1 セット番号
@2 メッセージ番号
@3 UNIX のエラー番号
- [処置] UNIX エラー番号に従い対処を行う。
- [関連]

DICOM901

E

- [英文] Failed to open to translation table for multi byte. FUNC=@1 errno=@2
- [和文] マルチバイト用変換テーブルの取得に失敗しました。FUNC=@1 errno=@2
- [説明] FUNC で表示される関数の呼び出しに失敗しました。
@1 関数名
@2 UNIX のエラー番号
- [処置] UNIX エラー番号に従い対処を行う。
- [関連]

DICOM902

E

[英文] Failed to convert MultiByte Code. FUNC=@1 errno=@2

[和文] マルチバイトコード変換に失敗しました。FUNC=@1 errno=@2

[説明] FUNC で表示される関数の呼び出しに失敗しました。

@1 関数名

@2 UNIX のエラー番号

[処置] UNIX エラー番号に従い対処を行う。

[関連]

DICOM903

E

[英文] Failed to free multi bytecode conversion table. FUNC=@1 errno=@2

[和文] マルチバイトコード用変換テーブルの解放に失敗しました。FUNC=@1 errno=@2

[説明] FUNC で表示される関数の呼び出しに失敗しました。

@1 関数名

@2 UNIX のエラー番号

[処置] UNIX エラー番号に従い対処を行う。

[関連]

2.8 DIDAM 系

DIDAM001

I

[英文] Daemon Alive Monitoring daemon started.

[和文] 死活監視デーモンが起動しました。

[説明] 死活監視デーモンが起動した。

[処置] 処置の必要なし。

DIDAM002

I

[英文] Daemon Alive Monitoring daemon stopped.

[和文] 死活監視デーモンが終了しました。

[説明] 死活監視デーモンが停止した。

[処置] 処置の必要なし。

DIDAM003

E

[英文] Failed to register signal handler. errno=@1 code=@2

[和文] シグナルハンドラの登録に失敗しました。errno=@1 code=@2

[説明] 死活監視デーモンの初期化時に行うシグナルハンドラの登録が失敗した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

14 : act または oact の指しているアドレスが正しくない場合。このエラーを確実に検出できるかどうかは、システムごとに異なる。

22 : 引き数 sig が妥当なシグナル番号ではない、あるいは、捕捉できないシグナルを捕捉するか、無視できないシグナルを無視しようとした場合。

DIDAM004

E

[英文] Abnormality occurred during Daemon Alive Monitoring processing. code=@1

[和文] 死活監視デーモン処理中に異常が発生しました。code=@1

[説明] 死活監視デーモン処理において異常が発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIDAM005

I

[英文] Perform cluster switch. NAME=@1

[和文] クラスタ切り替えを行います。NAME=@1

[説明] 死活監視中のデーモンが規定値内に再起動しなかったため、死活監視デーモンを自動的に終了し、クラスタ切り替えを行う。

@ 1 : 原因となったデーモン名

[処置] 共有メモリは、削除せずに残っているので、再起動できなかったデーモンを調査する。

DIDAM006

I

[英文] Failed to restart daemon. NAME=@1

[和文] デーモンの再起動が失敗しました。NAME=@1

[説明] 死活監視中のデーモンが規定値内に再起動しなかったため、死活監視デーモンは再起動処理を終了した。デーモン管理テーブルから削除した。

@ 1 : 再起動しなかったデーモン名

[処置] 再起動しなかったデーモンを調査する。

DIDAM007

I

[英文] Daemon Alive Monitoring start/stop command started.

[和文] 死活監視デーモンの起動・停止コマンドを開始しました。

[説明] 死活監視デーモンの起動・停止コマンドが処理を開始した。

[処置] 処置の必要なし。

DIDAM008

I

[英文] Daemon Alive Monitoring start/stop command terminated normally.

[和文] 死活監視デーモンの起動・停止コマンドを終了しました。

[説明] 死活監視デーモンの起動・停止コマンドが処理を終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DIDAM013

E

[英文] Abnormality occurred during Daemon Alive Monitoring starting. code=@1

[和文] 死活監視デーモン起動中に異常が発生しました。code=@1

[説明] 死活監視デーモン起動・停止コマンドが死活監視デーモンプロセスを起動できなかった。
@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIDAM014

E

[英文] Abnormality occurred during Daemon Alive Monitoring stopping. code=@1

[和文] 死活監視デーモン停止中に異常が発生しました。code=@1

[説明] 死活監視デーモン起動・停止コマンドが死活監視デーモンプロセスを停止できなかった。
@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIDAM016

E

[英文] Failed to create Daemon Alive Monitoring table. code=@1

[和文] 死活監視デーモンテーブルの生成に失敗しました。code=@1

[説明] 死活監視デーモン起動・停止コマンドが死活監視デーモンテーブルを生成できなかった。
@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIDAM018

E

[英文] Failed to operate Daemon Alive Monitoring table. code=@1

[和文] 死活監視デーモンテーブル操作に失敗しました。code=@1

[説明] 死活監視デーモンテーブルを操作するための処理で失敗が発生した。
@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIDAM019

E

[英文] No unused record in Daemon Alive Monitoring table. code=@1

[和文] 死活監視デーモンテーブルに空きレコードが存在しません。code=@1

[説明] subcom 情報登録処理でデーモン登録するため空きレコードを検索したが、登録可能な空きレコードが見つからなかった。死活監視デーモンは50個までしか監視できない。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIDAM020

I

[英文] Daemon Alive Monitoring is already running.

[和文] 死活監視デーモンは起動済みです。

[説明] 既に死活監視デーモンプロセスは起動している。(二重起動)

[処置] 処置の必要なし。

DIDAM021

I

[英文] Daemon Alive Monitoring is already stopped.

[和文] 死活監視デーモンは停止済みです。

[説明] 既に死活監視デーモンプロセスは停止している。

[処置] 処置の必要なし。

DIDAM022

E

[英文] Failed to acquire total seconds. errno=@1 code=@2

[和文] 現在通算秒の取得に失敗しました。errno=@1 code=@2

[説明] デーモン起動時刻の取得(gettimeofday)を試みたが失敗した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

14 : 引き数のアドレスがメモリの不正なアドレスを参照した。

DIDAM023

E

[英文] Failed to acquire process information. errno=@1 code=@2

[和文] プロセス情報の取得に失敗しました。errno=@1 code=@2

[説明] デーモン情報の取得(pstat_getproc)を試みましたが失敗しました。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

3 : 対象のプロセスが見つからないか存在しない。

251 : 要求された pstat 関数がシステムに実装されていないか、構成されていない。

DIDAM024

E

[英文] Illegal value of environment variable. ENVNAME=@1

[和文] 環境変数の値が不正です。ENVNAME=@1

[説明] 死活監視デーモン用の環境変数の値が範囲外や不正です。

@ 1 : 不正な環境変数

[処置] 環境変数の値を見直して正しい値に設定し直す。

DIDAM025

I

[英文] Daemon Alive Monitoring start/stop command aborted.

[和文] 死活監視デーモンの起動・停止コマンドが異常終了しました。

[説明] 死活監視デーモンの起動・停止コマンドが処理を異常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DIDAM026

I

[英文] Deleted registration because of not start monitoring dead or alive. COMMAND=[@1]

[和文] 死活監視開始されませんでした。登録を削除しました。COMMAND=[@1]

[説明] 死活監視の登録は行われましたが、監視時間を経過しても監視開始が行われなかったため、登録を削除しました。

@ 1 : 監視開始されなかったデーモンの再起動コマンド

[処置] 再起動コマンドから監視開始しなかったデーモンを特定し、確認する。

DIDAM027

I

[英文] Daemon restarted. NAME=@1 PID=@2

[和文] デーモンを再起動しました。NAME=@1 PID=@2

[説明] 死活監視中のデーモンが何らかの理由によりダウンしたため再起動した。再起動は正常終了している。

@ 1 : 再起動したデーモン名

@ 2 : 再起動したプロセス ID

[処置] 再起動したデーモン名とプロセス ID からダウンした理由を調査する。

DIDAM028

E

[英文] Failed to free memory of response message. code=@1

[和文] 応答メッセージメモリの解放に失敗しました。code=@1

[説明] 死活監視デーモンが起動した通知であるメッセージ領域の解放が失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIDAM029

E

[英文] Shared memory is already used. IPCKEY=@1 code=@2

[和文] 共有メモリがすでに使用されています。IPCKEY=@1 code=@2

[説明] 共有メモリが他の PP に使用されていることを示す。

@ 1 : IPC キー

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 環境定義 DIOSAMAP 節を見直し、他の PP で使用しない IPC キー上位 2 バイトを指定する。

DIDAM030

E

[英文] Failed to free shared memory. SHMID=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの解放でエラーが発生しました。SHMID=@1 errno=@2 code=@3

[説明] 死活監視デーモン起動・停止コマンドが死活監視デーモンテーブルを削除できなかった。

@ 1 : 共有メモリ識別子

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

13 : パーミッションが呼び出したプロセスに許可されていない。

2.9 DIDLR 系

DIDLR001

E

- [英文] Failed to lock mutex. errno=@1 code=@2
- [和文] mutex ロックでエラーが発生しました。 errno=@ 1 code=@ 2
- [説明] mutex ロックでエラーが発生した。
@ 1 : UNIX の errno
@ 2 : 内部コード
- [処置] errno には、EINVAL(22)、EDEADLK(45)等が設定される。
いずれの場合もメッセージを出力したプロセスを再起動する。
- [関連]

DIDLR002

E

- [英文] Failed to unlock mutex. errno=@1 code=@2
- [和文] mutex アンロックでエラーが発生しました。 errno=@ 1 code=@ 2
- [説明] mutex ロック解除でエラーが発生した。
@ 1 : UNIX の errno
@ 2 : 内部コード
- [処置] errno には、EPERM(1)、EINVAL(22)等が設定される。
いずれの場合もメッセージを出力したプロセスを再起動する。
- [関連]

DIDLR003

E

- [英文] Failed to lock file. return=@1 code=@2
- [和文] ファイルロックでエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2
- [説明] ファイルロックでエラーが発生した。
@ 1 : リターンコード
@ 2 : 内部コード
- [処置] 直前に出力されているファイルロックに関するエラーメッセージを参照して処置をおこなう。
- [関連]

DIDLR004

E

[英文] Failed to unlock file. return=@1 code=@2

[和文] ファイルアンロックでエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ファイルロック解除でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているファイルロックに関するエラーメッセージを参照して処置をおこなう。

[関連]

DIDLR011

E

[英文] Failed to open a shared library. LOGICAL_LIBRARY=@1 REVISION=@2 SHARED_LIBRARY=@3 DETAIL=[@4] code=@5

[和文] 共有ライブラリのオープンでエラーが発生しました。 LOGICAL_LIBRARY=@ 1 REVISION=@ 2 SHARED_LIBRARY=@ 3 DETAIL=[@ 4] code=@ 5

[説明] 共有ライブラリのオープンに失敗した。

@ 1 : 論理ライブラリ名

@ 2 : ライブラリリビジョン

@ 3 : ライブラリファイル名

@ 4 : 詳細エラー情報

@ 5 : 内部コード

[処置] 詳細エラー情報のメッセージを元に処置をおこなう。

ライブラリファイルが存在するか、アクセス権は正しく設定されているか、ロード前のライブラリ内のシンボルを直接参照していないか、等を確認する。

[関連]

DIDLR012

E

[英文] Failed to get the address of a symbol in shared library. SHARED_LIBRARY=@1 FUNC=@2 DETAIL=[@3] code=@4

[和文] 共有ライブラリ内のシンボルアドレス取得でエラーが発生しました。 SHARED_LIBRARY=@ 1 FUNC=@ 2 DETAIL=[@ 3] code=@ 4

[説明] 共有ライブラリ内のシンボルアドレス取得処理に失敗した。

@ 1 : ライブラリファイル名

@ 2 : 関数名

@ 3 : 詳細エラー情報

@ 4 : 内部コード

[処置] 詳細エラー情報のメッセージを元に処置をおこなう。

APLIB 節 FUNC 項が、適切な LIBRARY 項配下に記述されているか確認する。

[関連]

DIDLR013

E

[英文] Failed to close a shared library. LOGICAL_LIBRARY=@1 REVISION=@2 SHARED_LIBRARY=@3 DETAIL=[@4] code=@5

[和文] 共有ライブラリのクローズでエラーが発生しました。 LOGICAL_LIBRARY=@ 1 REVISION=@ 2 SHARED_LIBRARY=@ 3 DETAIL=[@ 4] code=@ 5

[説明] 共有ライブラリのクローズに失敗した。

@ 1 : 論理ライブラリ名

@ 2 : ライブラリリビジョン

@ 3 : ライブラリファイル名

@ 4 : 詳細エラー情報

@ 5 : 内部コード

[処置] 詳細エラー情報のメッセージを元に処置をおこなう。

依存関係に関するエラーが出力されている場合、該当ライブラリ内の関数、もしくは外部変数を直接参照しているロード中のライブラリが存在する。

[関連]

DIDLR014

E

[英文] Failed to open a shared library. SHARED_LIBRARY=@1 DETAIL=[@2] code=@3

[和文] 共有ライブラリのオープンでエラーが発生しました。 SHARED_LIBRARY=@ 1 DETAIL=[@ 2] code=@ 3

[説明] 共有ライブラリのオープンに失敗した。

@ 1 : ライブラリファイル名

@ 2 : 詳細エラー情報

@ 3 : 内部コード

[処置] 詳細エラー情報のメッセージを元に処置をおこなう。

ライブラリファイルが存在するか、アクセス権は正しく設定されているか等を確認する。

[関連]

DIDLR015

E

[英文] Failed to close a shared library. SHARED_LIBRARY=@1 DETAIL=[@2] code=@3

[和文] 共有ライブラリのクローズでエラーが発生しました。 SHARED_LIBRARY=@ 1 DETAIL=[@ 2] code=@ 3

[説明] 共有ライブラリのクローズに失敗した。

@ 1 : ライブラリファイル名

@ 2 : 詳細エラー情報

@ 3 : 内部コード

[処置] 詳細エラー情報のメッセージを元に処置をおこなう。

依存関係に関するエラーが出力されている場合、該当ライブラリ内の関数、もしくは外部変数を直接参照しているロード中のライブラリが存在する。

[関連]

DIDLR021

E

[英文] Failed to allocate memory. errno=@1 code=@2

[和文] メモリの確保に失敗しました。 errno=@ 1 code=@ 2

[説明] 内部メモリ領域の確保に失敗した。

@ 1 : UNIX の errno

@ 2 : 内部コード

[処置] errno によって以下の原因が考えられる。対処後、プロセスを再起動する。

12 メモリ不足

22 領域破壊

[関連]

DIDLR022

E

[英文] Failed to attach shared memory. errno=@1 code=@2

[和文] 共有メモリ領域のアタッチに失敗しました。 errno=@ 1 code=@ 2

[説明] 共有メモリのアタッチに失敗した。

@ 1 : UNIX の errno

@ 2 : 内部コード

[処置] errno によって以下の原因が考えられる。対処後、プロセスを再起動する。

12 メモリ不足

13 共有メモリのアクセス権がない

24 アタッチする共有メモリ数がシステムの上限を超えた

[関連]

DIDLR023

E

[英文] Failed to detach shared memory. errno=@1 code=@2

[和文] 共有メモリ領域のデタッチに失敗しました。 errno=@ 1 code=@ 2

[説明] 共有メモリのデタッチに失敗した。

@ 1 : UNIX の errno

@ 2 : 内部コード

[処置] エラーの発生したプロセスを再起動する。

[関連]

DIDLR024

E

[英文] Failed to remove shared memory. SHMID=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 共有メモリ領域の解放に失敗しました。 SHMID=@ 1 errno=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリの削除に失敗した。

@ 1 : 共有メモリ識別子

@ 2 : UNIX の errno

@ 3 : 内部コード

[処置] errno によって以下の原因が考えられる。

1 アクセス権がない

共有メモリ識別子に対応する共有メモリが存在するかチェックし、残っていない場合は処置の必要なし。

残っている場合は ipcrm コマンドを使用して削除する。

[関連]

DIDLR025

E

[英文] Failed to get shared memory. IPCKEY=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 共有メモリ識別子の取得に失敗しました。 IPCKEY=@ 1 errno=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリ識別子の取得に失敗した。

@ 1 : 共有メモリキー

@ 2 : UNIX の errno

@ 3 : 内部コード

[処置] errno によって以下の原因が考えられる。対処後、プロセスを再起動する。

2 共有メモリが存在しない

12 メモリ不足

13 共有メモリのアクセス権がない

17 作成しようとしている共有メモリが既に存在する

28 共有メモリの数がシステムの上限を超えた

[関連]

DIDLR101

E

[英文] Detected invalid record in SG object file. SECNAME=@1 RECORD_ID=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトファイルに不正なレコードが含まれています。 SECNAME=@ 1 RECORD_ID=@ 2 code=@ 3

[説明] APLIB 節に不正な項目が定義されている。

@ 1 : セクション名

@ 2 : レコード識別情報

@ 3 : 内部コード

[処置] APLIB 節にマニュアルに記載されていない項が定義されていないか確認し、SG オブジェクトを再作成する。

[関連]

DIDLR102

E

[英文] Failed to open SG object file. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトファイルのオープンに失敗しました。 SECNAME=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] AP 動的置換の環境定義ファイル読み込み時にエラーが発生した。

@ 1 : セクション名

@ 2 : エラー原因(詳細は環境定義機能の記述を参照)

@ 3 : 内部コード

[処置] エラー原因を解消し、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDLR103

E

[英文] Failed to read SG object file. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトファイルの読み込みに失敗しました。 SECNAME=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] AP 動的置換の環境定義ファイル読み込み時にエラーが発生した。

@ 1 : セクション名

@ 2 : エラー原因(詳細は環境定義機能の記述を参照)

@ 3 : 内部コード

[処置] エラー原因を解消し、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDLR104

E

[英文] Failed to close SG object file. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトファイルのクローズに失敗しました。 SECNAME=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] AP 動的置換の環境定義ファイルクローズ時にエラーが発生した。

@ 1 : セクション名

@ 2 : エラー原因(詳細は環境定義機能の記述を参照)

@ 3 : 内部コード

[処置] 対処の必要はないが、エラー原因については確認する。

[関連]

DIDLR105

E

[英文] Failed to read SG object file because it is generated by DIOSA of newer version. SECNAME=@1
FILE_VERSION=@2 PROGRAM_VERSION=@3 code=@4

[和文] SG オブジェクトファイルのバージョンが新しいため、処理を継続できません。 SECNAME=@ 1
FILE_VERSION=@ 2 PROGRAM_VERSION=@ 3 code=@ 4

[説明] 動作中の DIOSA/XTP より新しいバージョンの DIOSA/XTP で作成された環境定義ファイルのため、読み込む
ことができない。

@ 1 : セクション名

@ 2 : 環境定義情報ファイルバージョン

@ 3 : PP 側バージョン

@ 4 : 内部コード

[処置] 環境定義ファイルのオブジェクトを再作成し、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDLR111

E

[英文] Failed to read inheritance file. file=@1 return=@2 code=@3

[和文] 動作状態保存ファイルの読み込みに失敗しました。 file=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 動作状態保存ファイルの読み込みに失敗した。

@ 1 : ファイル識別名 (DLR_SHMEM 固定)

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されている動作状態保存ファイルに関するエラーメッセージに対処後、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDLR112

E

[英文] Failed to write inheritance file. file=@1 return=@2 code=@3

[和文] 動作状態保存ファイルの書き込みに失敗しました。 file=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 動作状態保存ファイルの書き込みに失敗した。

@ 1 : ファイル識別名 (DLR_SHMEM 固定)

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されている動作状態保存ファイルに関するエラーメッセージに対処後、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDLR113

E

[英文] Inheritance file is invalid. file=@1 TYPE=@2 return=@3 code=@4

[和文] 動作状態保存ファイルが不正です。 file=@ 1 TYPE=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 動作状態保存ファイルが壊れているため読み込むことができない。

@ 1 : ファイル識別名 (DLR_SHMEM 固定)

@ 2 : エラータイプ

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] コールドスタートする。

[関連]

DIDLR114

E

[英文] Failed to read inheritance file because it is generated by DIOSA of newer version. file=@1
FILE_VERSION=@2 PROGRAM_VERSION=@3 code=@4

[和文] 動作状態保存ファイルのバージョンが新しいため、処理を継続できません。 file=@ 1 FILE_VERSION=
@ 2 PROGRAM_VERSION=@ 3 code=@ 4

[説明] 動作中の DIOSA/XTP より新しいバージョンの DIOSA/XTP で作成された動作状態保存ファイルのため、読み
込むことができない。

@ 1 : ファイル識別名 (DLR_SHMEM 固定)

@ 2 : 動作状態保存ファイルのバージョン

@ 3 : PP 側バージョン

@ 4 : 内部コード

[処置] DIOSA/XTP のバージョンを確認し、バージョンアップする。
バージョンアップできない場合は、動作状態を引き継げないため、コールドスタートする。

[関連]

DIDLR115

W

[英文] Start with cold option because no inheritance file exists.

[和文] 動作状態保存ファイルが存在しないため、コールドモードで起動します。

[説明] AP 動的置換機能初期化コマンドでウォームスタートが指定されたが、動作状態保存ファイルが存在しな
かったため、コールドスタートした。

[処置] 前回動作時から APLIB 節の SG オブジェクトを更新していなければ処置の必要なし。
更新している場合、コールドスタートによってその更新が取り込まれているため、前回動作時の定義で
SG オブジェクトを作成して SG 動的変更コマンドを実行する。

[関連]

DIDLR121

E

[英文] Failed in process initialization of Application Dynamic Replace function. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のプロセス初期化処理が異常終了しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能のプロセス初期化でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前出力されているエラーメッセージに対処後、処理を再実行する。

[関連]

DIDLR122

W

[英文] Use default definition because no SG object file exists. SECNAME=@1

[和文] SG オブジェクトファイルが存在しないため、既定値情報で動作します。 SECNAME=@ 1

[説明] APLIB 節のオブジェクトが存在しないため、APLIB 節の情報なしの共有メモリを作成した。
@ 1 : セクション名

[処置] APLIB 節を定義する予定がない場合は処置の必要なし。
定義している場合は、diirmadd コマンドで SG オブジェクトを作成してコマンドを再実行する。

[関連]

DIDLR123

E

[英文] Failed in process initialization of DIOSA common functions. return=@1

[和文] 共通機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1

[説明] DIOSA/XTP 共通機能のプロセス初期化処理でエラーが発生した。
@ 1 : リターンコード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージの情報を元に対処を実施後、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDLR124

E

[英文] Process initialization of Application Dynamic Replace function has not been done. code=@1

[和文] AP 動的置換機能のプロセス初期化処理がおこなわれていません。 code=@ 1

[説明] AP 動的置換機能のプロセス初期化処理をおこなわずに、動的関数呼び出しを実行しようとした。
@ 1 : 内部コード

[処置] メッセージを出力しているのが、利用者が作成したプロセスの場合、diosprcinit が正常終了しているか確認する。それ以外のプロセスの場合は開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DIDLR125

E

[英文] Failed to call a function. FUNC=@1 REVISION=@2 DIOSA_LIBNAME=@3 return=@4 code=@5

[和文] 関数の呼び出しに失敗しました。 FUNC=@ 1 REVISION=@ 2 DIOSA_LIBNAME=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] 関数呼び出しに失敗した。

@ 1 : 関数名

@ 2 : 関数リビジョン

@ 3 : 環境変数 DIOSA_LIBNAME の設定(未設定の場合 none と表示される)

@ 4 : リターンコード

@ 5 : 内部コード

[処置] APLIB 節を定義している場合、該当関数が含まれているライブラリが正しく定義されているか、DIOSA_LIBNAME の設定で関数呼び出しを実行している場合は、出力された環境変数の設定や、直前に出力されている DIDLR126 のメッセージを確認する。

また、ライブラリのロードエラーメッセージが出力されていないかを確認する。

APLIB 節に問題があった場合は SG オブジェクトを再作成して didlrchg コマンドを実行する。

DIOSA_LIBNAME に問題があった場合は正しい設定にしてプロセスを再起動する。

ライブラリロードに関するエラーだった場合は、それ以前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連] DIDLR126

DIDLR126

E

[英文] Error information in calling function DLERROR=[@1]

[和文] 関数呼び出しエラー情報 DLERROR=[@ 1]

[説明] DIOSA_LIBNAME の設定に従って関数検索をおこなった際に発生したエラーについてのメッセージを出力する。

@ 1 : dlopen、または dlsym で発生したエラーの内容

[処置] 存在するはずのライブラリがロードできていないという内容の場合、ライブラリが存在するか、正しいアクセス権が設定されたライブラリファイルか等を確認する。

該当ライブラリに入っているはずのシンボルが見つからないというメッセージの場合は、そのライブラリに関数が含まれていて外部から参照できるかを nm コマンドの結果等で確認する。

[関連]

DIDLRA02

W

[英文] An error has occurred in this process, but process is continued. return=@1 code=@2

[和文] コマンド内でエラーが発生しましたが処理を継続します。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 動的変更コマンドで、アンロック、置換前共有メモリデタッチ、置換前共有メモリ削除のいずれかのエラーが発生したが、処理は継続した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 共有メモリ削除に関するエラーが出力されている場合、メッセージに出力された共有メモリが残っているか確認し、残っている場合は ipcrm コマンドで削除する。

このメッセージの後でコマンド正常終了のメッセージが出力されている場合、上記以外の処置は必要なし。

[関連]

DIDLRA03

E

[英文] Specified object doesn't exist. KIND=@1 NAME=@2 code=@3

[和文] 処理対象が存在しません。 KIND=@ 1 NAME=@ 2 code=@ 3

[説明] コマンドパラメータで指定された LM または論理ライブラリ (LLIB) が、環境定義 (APLIB 節) に定義されていない。

@ 1 : 対象種別

@ 2 : 対象名

@ 3 : 内部コード

[処置] 置換コマンドで出力された場合は定義されている対象を指定してコマンドを再実行する。

[関連]

DIDLRA04

W

[英文] Specified object doesn't exist. KIND=@1 NAME=@2 code=@3

[和文] 処理対象が存在しません。 KIND=@ 1 NAME=@ 2 code=@ 3

[説明] コマンドパラメータで指定された LM または論理ライブラリ (LLIB) が、環境定義 (APLIB 節) に定義されていない。

@ 1 : 対象種別

@ 2 : 対象名

@ 3 : 内部コード

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLRB00

I

[英文] Initialization command started. MODE=@1 COMMAND=[@2]

[和文] AP 動的置換機能初期化コマンドを開始します。 MODE=@ 1 COMMAND=[@ 2]

[説明] AP 動的置換機能初期化コマンドを開始した。

@ 1 : 起動モード(warm, cold)

@ 2 : 実行コマンドとパラメータ

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLRB01

I

[英文] Initialization command terminated normally.

[和文] AP 動的置換機能初期化コマンドが成功しました。

[説明] AP 動的置換機能初期化コマンドが成功した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLRB02

E

[英文] Initialization command aborted. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能初期化コマンドが失敗しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能初期化コマンドが失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処し、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDLRB03

W

[英文] Initialization command terminated with warning.

[和文] AP 動的置換機能初期化コマンドが警告で終了しました。

[説明] AP 動的置換機能初期化コマンドが成功したが、引き継ぎファイル作成に失敗した。

[処置] 直前に出力されている引き継ぎファイル作成に関するエラーメッセージに対処する。
初期化コマンドを再実行する必要はない。

[関連]

DIDLRB04

I

[英文] Initialization command has been already done.

[和文] AP 動的置換機能は初期化済みです。

[説明] AP 動的置換機能は既に初期化されている。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLRC00

I

[英文] Application Dynamic Replace command started. COMMAND=[@1]

[和文] AP 動的置換コマンドを開始します。COMMAND=[@ 1]

[説明] AP 動的置換コマンドを開始した。

@ 1 : 実行コマンドとパラメータ

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLRC01

I

[英文] Application Dynamic Replace command terminated normally.

[和文] AP 動的置換コマンドが成功しました。

[説明] AP 動的置換コマンドが成功した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLRC02

E

[英文] Application Dynamic Replace command aborted. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換コマンドが失敗しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換コマンドが失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処してコマンドを再実行する。

[関連]

DIDLRC03

W

[英文] Application Dynamic Replace command terminated with warning.

[和文] AP 動的置換コマンドが警告で終了しました。

[説明] AP 動的置換コマンドが成功したが、引き継ぎファイル作成に失敗した。

[処置] 置換は問題なく実行されたので起動中の動作は問題なくおこなえるが、引き継ぎファイルが作成できていないためウォームスタート時に不正な情報で起動してしまう。

直前に出力されている引き継ぎファイル作成に関するエラーメッセージに対処したうえで、以下のいずれかの処置をおこなう

- 次回の再起動はコールドスタートでおこなう。
- didlrchg コマンドを-F オプションで実行する。
(正常終了すれば、ウォームでの再起動が可能な状態となる。)

[関連]

DIDLRC04

W

[英文] Nothing has been done because there is no difference between old and new configuration information.

[和文] AP 動的置換コマンドが実行されましたが、同一定義のため置換は実行されませんでした。

[説明] 現在共有メモリに展開されている情報と同じ定義情報のため、置換がおこなわれなかった。

[処置] 必要なし。定義を変更せずにライブラリの再ロードのみを指示したい場合は、-F オプション、もしくは -l オプションを指定すること。

[関連]

2.10 DIDLT 系

DIDLT000

I

[英文] Delayed transfer started.

[和文] ディレード転送を起動しました。

[説明] ディレード転送機能を起動した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT001

E

[英文] Failed to start delayed transfer.

[和文] ディレード転送の起動に失敗しました。

[説明] ディレード転送機能の起動に失敗した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、ディレード起動コマンド(didltinit)を再実行する。

[関連]

DIDLT002

I

[英文] Delayed transfer stopped.

[和文] ディレード転送を停止しました。

[説明] ディレード転送機能を停止した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT003

E

[英文] Failed to stop delayed transfer.

[和文] ディレード転送の停止に失敗しました。

[説明] ディレード転送機能の停止に失敗した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、ディレード停止コマンド(didltterm)を再実行する。

[関連]

DIDLT010

I

[英文] Command started. INPUT=[@1]

[和文] コマンドを開始しました。 INPUT=[@ 1]

[説明] コマンドの処理を開始した。

@ 1 : 実行コマンドとパラメータ

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT011

I

[英文] Command terminated normally.

[和文] コマンドが正常終了しました。

[説明] コマンドが正常終了した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT012

I

[英文] Command terminated normally. SUCCESS=@1

[和文] コマンドが正常終了しました。 SUCCESS=@ 1

[説明] コマンドが正常終了した。

@ 1 : 正常終了数

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT013

E

[英文] Command aborted.

[和文] コマンドが異常終了しました。

[説明] コマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDLT014

E

[英文] Command aborted. ABNORMAL=@1

[和文] コマンドが異常終了しました。 ABNORMAL=@ 1

[説明] コマンドが異常終了した。

@ 1 : 異常終了数

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDLT015

W

[英文] Command terminated with warning. SUCCESS=@1 ABNORMAL=@2

[和文] コマンドが警告終了しました。 SUCCESS=@ 1 ABNORMAL=@ 2

[説明] コマンドが警告終了した。

@ 1 : 正常終了数

@ 2 : 異常終了数

[処置] コマンドによって異なる。

[ディレード起動コマンド]

デーモンの起動に失敗している。直前に出力されているエラーメッセージに対処後、デーモン起動コマンド(didltctrl)を実行し、起動に失敗したデーモンを再起動する。

[デーモン起動/停止コマンド]

デーモンの起動または停止に失敗している。直前に出力されているエラーメッセージに対処後、コマンドを再実行する。

[定義変更コマンド]

各ノードへの定義反映コマンド配信に失敗している。直前に出力されているエラーメッセージに対処後、定義反映コマンド(didltchg -A)を実行する。

[定義反映]

各ノードへの定義反映コマンド配信に失敗している。直前に出力されているエラーメッセージに対処後、コマンドを再実行する。

[関連] DIDLT010

DIDLT016

I

- [英文] Request from command has been accepted. COMMAND=@1
- [和文] コマンドからの処理要求を受け付けました。COMMAND=@ 1
- [説明] コマンドからの処理要求を受信した。
@ 1 : 受信した要求
DMNTERM : デーモン停止要求(通常モード)
- [処置] 必要なし。
- [関連]

DIDLT018

W

- [英文] Command terminated with warning.
- [和文] コマンドが警告終了しました。
- [説明] コマンドが警告終了した。
- [処置] 直前に出力されているエラーメッセージを確認し、必要なら対処する。メッセージを出力したコマンドの再実行は不要。
- [関連]

DIDLT020

I

- [英文] Daemon started. DMNTYPE=@1 PID=@2
- [和文] デーモンを起動しました。DMNTYPE=@ 1 PID=@ 2
- [説明] デーモンを起動した。
@ 1 : デーモン種別
PATH-C : 通信制御 通信デーモン
PATH-D : 通信制御 振分デーモン
LOCATION-M : ストリーム所在管理マネージャ
LOCATION-A : ストリーム所在管理エージェント
SENDER : センダ管理デーモン
RECEIVER : レシーバ管理デーモン
LOGREADER : ログリーダー管理デーモン
DEL : ログデータ削除デーモン
@ 2 : デーモンのプロセス ID
- [処置] 必要なし。
- [関連]

DIDLT021

E

[英文] Failed to start daemon. DMNTYPE=@1 PID=@2

[和文] デーモンの起動に失敗しました。 DMNTYPE=@ 1 PID=@ 2

[説明] デーモンの起動に失敗した。

@ 1 : デーモン種別

PATH-C	: 通信制御 通信デーモン
PATH-D	: 通信制御 振分デーモン
LOCATION-M	: ストリーム所在管理マネージャ
LOCATION-A	: ストリーム所在管理エージェント
SENDER	: センダ管理デーモン
RECEIVER	: レシーバ管理デーモン
LOGREADER	: ログリーダー管理デーモン
DEL	: ログデータ削除デーモン

@ 2 : デーモンのプロセス ID

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、デーモン起動コマンド(didltctrl)を再実行する。

[関連]

DIDLT022

I

[英文] Daemon stopped. MODE=@1 DMNTYPE=@2

[和文] デーモンを停止しました。 MODE=@ 1 DMNTYPE=@ 2

[説明] デーモンを停止した。

@ 1 : 停止コマンド実行モード

NORMAL	: 通常停止
FORCE	: 強制停止

@ 2 : デーモン種別

PATH-C	: 通信制御 通信デーモン
PATH-D	: 通信制御 振分デーモン
LOCATION-M	: ストリーム所在管理マネージャ
LOCATION-A	: ストリーム所在管理エージェント
SENDER	: センダ管理デーモン
RECEIVER	: レシーバ管理デーモン
LOGREADER	: ログリーダー管理デーモン
DEL	: ログデータ削除デーモン

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT023

E

[英文] Failed to stop daemon. MODE=@1 DMNTYPE=@2 PID=@3

[和文] デーモンの停止に失敗しました。 MODE=@ 1 DMNTYPE=@ 2 PID=@ 3

[説明] デーモンの停止に失敗した。

@ 1 : 停止コマンド実行モード

NORMAL : 通常停止

FORCE : 強制停止

@ 2 : デーモン種別

PATH-C : 通信制御 通信デーモン

PATH-D : 通信制御 振分デーモン

LOCATION-M : ストリーム所在管理マネージャ

LOCATION-A : ストリーム所在管理エージェント

SENDER : センダ管理デーモン

RECEIVER : レシーバ管理デーモン

LOGREADER : ログリーダー管理デーモン

DEL : ログデータ削除デーモン

@ 3 : デーモンのプロセス ID

[処置] 直前出力されているエラーメッセージに対処後、デーモン停止コマンド(didltctrl)を再実行する。
通常停止の問題が解消できない場合、強制モードでの停止を実行する。

[関連]

DIDLT024

I

[英文] Stop restarting daemon because daemon stop command is executed. DMNTYPE=@1

[和文] 停止コマンドが実行されたためデーモンの再起動を中止します。 DMNTYPE=@ 1

[説明] デーモン異常終了中に、デーモン停止コマンドが実行されたため、死活監視機能による再起動対象外にした。

@ 1 : デーモン種別

PATH-C : 通信制御 通信デーモン

PATH-D : 通信制御 振分デーモン

LOCATION-M : ストリーム所在管理マネージャ

LOCATION-A : ストリーム所在管理エージェント

SENDER : センダ管理デーモン

RECEIVER : レシーバ管理デーモン

LOGREADER : ログリーダー管理デーモン

DEL : ログデータ削除デーモン

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT025

I

[英文] Stop restarting daemon because function stop command is executed. FUNCTYPE=@1

[和文] 機能停止コマンドが実行されたためデーモンの再起動を中止します。 FUNCTYPE=@ 1

[説明] デーモンが異常終了中に、機能停止コマンドが実行されたため再起動処理を停止した。

@ 1 : 停止した機能

SENDER : センダ

RECEIVER : レシーバ

LOGREADER : ログリーダー

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT030

I

[英文] Daemon started. DMNTYPE=@1

[和文] デーモンを起動しました。 DMNTYPE=@ 1

[説明] デーモンが起動した。

@ 1 : デーモン種別

PATH-C : 通信制御 通信デーモン

PATH-D : 通信制御 振分デーモン

LOCATION-M : ストリーム所在管理マネージャ

LOCATION-A : ストリーム所在管理エージェント

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT031

E

[英文] Daemon aborted. DMNTYPE=@1

[和文] デーモンを異常停止します。 DMNTYPE=@ 1

[説明] デーモンが異常停止した。

@ 1 : デーモン種別

PATH-C : 通信制御 通信デーモン

PATH-D : 通信制御 振分デーモン

LOCATION-M : ストリーム所在管理マネージャ

LOCATION-A : ストリーム所在管理エージェント

[処置] 直前に出力されている異常終了の原因となったエラーメッセージに対処する。デーモンは死活監視機能によって再起動されるため、再起動の必要はないが、死活監視機能による再起動がリトライオーバーした場合は、デーモン起動コマンド(didltctrl)で再起動する必要がある。

[関連]

DIDLT032

I

[英文] Daemon stopped. DMNTYPE=@1

[和文] デーモンを停止します。 DMNTYPE=@ 1

[説明] デーモンが停止した。

 @ 1 : デーモン種別

PATH-C	: 通信制御 通信デーモン
PATH-D	: 通信制御 振分デーモン
LOCATION-M	: ストリーム所在管理マネージャ
LOCATION-A	: ストリーム所在管理エージェント

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT033

I

[英文] Daemon termination has finished.

[和文] デーモン終了処理が完了しました。

[説明] デーモン終了処理が完了した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT034

E

[英文] Failed in daemon initialization function. code=@1

[和文] デーモン初期化处理においてエラーが発生しました。 code=@ 1

[説明] デーモン初期化处理でエラーが発生した。

 @ 1 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、デーモンを再起動する。

[関連]

DIDLT040

E

[英文] Thread aborted. THRTYPE=@1

[和文] スレッドを異常停止します。 THRTYPE=@ 1

[説明] スレッドが異常終了した。

@ 1 : スレッド種別

MAIN	: 通信制御 メインスレッド
ACCEPT	: 通信制御 自論理システム ACCEPT スレッド
EXTACCEPT	: 通信制御 相手論理システム ACCEPT スレッド
HLHCHK	: 通信制御 ヘルスチェックスレッド
MONITOR	: 通信制御 復旧監視スレッド
SENDRECV	: 通信制御 送受信スレッド

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDLT041

E

[英文] Failed in thread initialization function. code=@1

[和文] スレッド初期化処理においてエラーが発生しました。 code=@ 1

[説明] スレッド初期化処理でエラーが発生した。

@ 1 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDLT042

E

[英文] Failed to start thread. THRTYPE=@1 code=@2

[和文] スレッドの起動に失敗しました。 THRTYPE=@ 1 code=@ 2

[説明] スレッドの生成に失敗した。

@ 1 : スレッド種別

MAIN	: 通信制御 メインスレッド
ACCEPT	: 通信制御 自論理システム ACCEPT スレッド
EXTACCEPT	: 通信制御 相手論理システム ACCEPT スレッド
HLHCHK	: 通信制御 ヘルスチェックスレッド
MONITOR	: 通信制御 復旧監視スレッド
SENDRECV	: 通信制御 送受信スレッド

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDLT050

I

- [英文] Delayed transfer is already running.
- [和文] ディレード転送は既に起動しています。
- [説明] ディレード転送機能が既に起動しているときに、ディレード起動コマンドを実行した。
- [処置] 必要なし。
- [関連]

DIDLT051

I

- [英文] Delayed transfer is already stopped.
- [和文] ディレード転送は既に停止しています。
- [説明] ディレード転送機能が既に停止しているときに、ディレード停止コマンドを実行した。
- [処置] 必要なし。
- [関連]

DIDLT052

I

- [英文] Daemon is already running. DMNTYPE=@1 PID=@2
- [和文] デーモンは既に起動しています。 DMNTYPE=@ 1 PID=@ 2
- [説明] 起動中のデーモンに対して、デーモン起動コマンドを実行した。
 - @ 1 : デーモン種別
 - PATH-C : 通信制御 通信デーモン
 - PATH-D : 通信制御 振分デーモン
 - LOCATION-M : ストリーム所在管理マネージャ
 - LOCATION-A : ストリーム所在管理エージェント
 - SENDER : センダ管理デーモン
 - RECEIVER : レシーバ管理デーモン
 - LOGREADER : ログリーダー管理デーモン
 - DEL : ログデータ削除デーモン
 - @ 2 : デーモンのプロセス ID
- [処置] 必要なし。
- [関連]

DIDLT053

I

[英文] Daemon is already stopped. DMNTYPE=@1

[和文] デーモンは既に停止しています。 DMNTYPE=@ 1

[説明] 停止中のデーモンに対して、デーモン停止コマンドを実行した。

@ 1 : デーモン種別

PATH-C : 通信制御 通信デーモン

PATH-D : 通信制御 振分デーモン

LOCATION-M : ストリーム所在管理マネージャ

LOCATION-A : ストリーム所在管理エージェント

SENDER : センダ管理デーモン

RECEIVER : レシーバ管理デーモン

LOGREADER : ログリーダー管理デーモン

DEL : ログデータ削除デーモン

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT054

I

[英文] Operation has been done already.

[和文] 既に実行済みです。

[説明] 既にコマンドを実行した状態になっている。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT060

E

[英文] Specified object does not exist. RSCTYPE=@1 RSCNAME=@2

[和文] 処理対象が存在しません。 RSCTYPE=@ 1 RSCNAME=@ 2

[説明] コマンドで指定された処理対象が定義されていない。

@ 1 : 指定対象の種別

SPST : スーパーストリーム

@ 2 : 指定対象名

[処置] コマンドの指定と、環境定義の内容から、誤った指定をしていないか確認する。

[関連]

DIDLT061

W

[英文] Specified object does not exist. RSCTYPE=@1 RSCNAME=@2

[和文] 処理対象が存在しません。 RSCTYPE=@ 1 RSCNAME=@ 2

[説明] コマンドで指定された処理対象が定義されていない。

@ 1 : 指定対象の種別

SPST : スーパーストリーム

@ 2 : 指定対象名

[処置] コマンドの指定と、環境定義の内容から、誤った指定をしていないか確認する。

[関連]

DIDLT070

E

[英文] Delayed transfer has not been started.

[和文] ディレード転送が起動されていません。

[説明] ディレード転送が起動されていない。

[処置] ディレード起動コマンド(didltinit)を実行する。

[関連]

DIDLT072

E

[英文] Function has not been started. FUNCTYPE=@1 code=@2

[和文] 機能が開始していません。 FUNCTYPE=@ 1 code=@ 2

[説明] 開始していない機能の管理デーモンを起動/停止しようとした。

@ 1 : 機能種別

SENDER : センダ

RECEIVER : レシーバ

LOGREADER : ログリーダー

@ 2 : 内部コード

[処置] 該当機能の起動/停止コマンドを実行する。コマンドが成功すれば、管理デーモンは起動/停止される。

[関連]

DIDLT073

I

- [英文] Daemon has aborted. DMNTYPE=@1
- [和文] デーモンは異常終了しています。 DMNTYPE=@ 1
- [説明] 異常終了中のデーモンに対して、デーモン停止コマンドが実行された。死活監視機能による再起動中の場合、監視対象から削除される。
- @ 1 : デーモン種別
- | | |
|------------|-------------------|
| PATH-C | : 通信制御 通信デーモン |
| PATH-D | : 通信制御 振分デーモン |
| LOCATION-M | : ストリーム所在管理マネージャ |
| LOCATION-A | : ストリーム所在管理エージェント |
| SENDER | : センダ管理デーモン |
| RECEIVER | : レシーバ管理デーモン |
| LOGREADER | : ログリーダ管理デーモン |
| DEL | : ログデータ削除デーモン |
- [処置] 必要なし。
- [関連]

DIDLT074

E

- [英文] Daemon has not been started. DMNTYPE=@1
- [和文] デーモンが起動されていません。 DMNTYPE=@ 1
- [説明] デーモンが起動していないため処理を受け付けられなかった。
- @ 1 : デーモン種別
- | | |
|------------|------------------|
| LOCATION-M | : ストリーム所在管理マネージャ |
|------------|------------------|
- [処置] デーモンが異常終了している場合、デーモン起動コマンド(didltctrl)を実行してデーモンを起動後、エラーとなった処理を再実行する。
- [関連]

DIDLT075

E

[英文] Control DB of delayed transfer has not been created. FUNCTYPE=@1 DATATYPE=@2 code=@3

[和文] 定義生成が実行されていません。 FUNCTYPE=@ 1 DATATYPE=@ 2 code=@ 3

[説明] 定義生成されていない。

@ 1 : 機能種別

DSAM : DSAM 機能

@ 2 : DB 種別

IM : TAM

DB : Oracle

@ 3 : 内部コード

[処置] スーパーストリームを指定せずに定義生成 (didltcreate) を実行する。

[関連]

DIDLT080

E

[英文] Cannot execute on this logical node.

[和文] この論理ノードでは実行できません。

[説明] 該当論理ノードで実行できないコマンドを実行した。

[処置] データベース製品のインストール状況や、ディレード転送機能の環境定義等を確認し、コマンド実行可能な論理ノード上で再実行する。

[関連]

DIDLT082

E

[英文] Superstream is under maintenance. SPST=@1 MTNSTATUS=@2 code=@3

[和文] スーパーストリームがメンテナンス中です。 SPST=@ 1 MTNSTATUS=@ 2 code=@ 3

[説明] スーパーストリームに対する運用コマンドが異常終了した状態のため、処理を受け付けられない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : メンテナンス状態

CREATE : 定義生成中

UPDATE : 定義変更中

@ 3 : 内部コード

[処置] エラーとなった運用コマンドの処理を正常終了させてから、処理を再実行する。

[関連]

DIDLT083

E

[英文] Delayed transfer is under maintenance. DATATYPE=@1 MTNSTATUS=@2 code=@3

[和文] メンテナンス中です。 DATATYPE=@ 1 MTNSTATUS=@ 2 code=@ 3

[説明] 運用コマンド実行中、または運用コマンドが異常終了した状態のため、処理を受け付けられない。

@ 1 : DB 種別

IM : TAM

DB : Oracle

@ 2 : メンテナンス状態

CREATE : 定義生成中

UPDATE : 定義変更中

同時実行しているコマンドを判別できないケースでは、”*”が出力される。

@ 3 : 内部コード

[処置] エラーとなった運用コマンドの処理を正常終了させてから、処理を再実行する。

[関連]

DIDLT087

E

[英文] Cannot execute command because status of delayed transfer is invalid. DLTCTL-IPCKEY=@1
PATHCONF-IPCKEY=@2 PATHDMN-IPCKEY=@3 SLMSPST-IPCKEY=@4 SLMNODE-IPCKEY=@5 CONFIG-IPCKEY=@6
STACK-IPCKEY=@7

[和文] ディレード転送の起動状態が不正なため受け付けられません。 DLTCTL-IPCKEY=@ 1
PATHCONF-IPCKEY=@ 2 PATHDMN-IPCKEY=@ 3 SLMSPST-IPCKEY=@ 4
SLMNODE-IPCKEY=@ 5 CONFIG-IPCKEY=@ 6 STACK-IPCKEY=@ 7

[説明] ディレード起動時に作成される共有メモリが正しく作成されていない。

@ 1 ~ @ 7 : 共有メモリの IPC キー

[処置] ディレード転送起動/停止コマンドを実行し、ディレード転送機能を再起動する。

[関連]

DIDLT088

E

[英文] Configuration information is invalid. SPST=@1 ERRTYPE=[@2] ERRINFO1=@3 ERRINFO2=@4

[和文] 環境定義が不正です。 SPST=@ 1 ERRTYPE=[@ 2] ERRINFO1=@ 3 ERRINFO2=@ 4

[説明] 環境定義の内容に不正がある。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : エラー種別

RECEIVER MSGSIZE LARGER THAN SENDER : RCVUNIT の MSGSIZE が SNDUNIT より大きい。

NODETYPE AND UNIT_COUNT UNMATCH : DBLAYER の指定と POOLTYPE や USERDATA に DB を
指定したユニットの定義数が矛盾している

@ 3 : エラー情報

@ 4 : エラー情報

[処置] エラー種別、エラー情報の内容から、環境定義を修正する。

[関連]

DIDLT089

E

[英文] Daemon does not work on this node. LNODETYPE=@1 DMNTYPE=@2

[和文] このノードでは動作対象外のデーモンです。 LNODETYPE=@ 1 DMNTYPE=@ 2

[説明] 指定されたデーモンが、コマンド実行した論理ノードでは起動対象外である。

@ 1 : 論理ノード種別

@ 2 : デーモン種別

PATH-C : 通信制御 通信デーモン

PATH-D : 通信制御 振分デーモン

LOCATION-M : ストリーム所在管理マネージャ

LOCATION-A : ストリーム所在管理エージェント

SENDER : センダ管理デーモン

RECEIVER : レシーバ管理デーモン

LOGREADER : ログリーダー管理デーモン

DEL : ログデータ削除デーモン

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT090

E

[英文] No license of DIOSA/XTP Data Store.

[和文] データストア基盤のライセンスがありません。

[説明] データストア基盤のライセンスがない。

[処置] ライセンス情報が正しい手順で格納されているか確認する。

[関連]

DIDLT091

E

[英文] TAM is not installed.

[和文] TAM がインストールされていません。

[説明] TAM アクセスが必要だが、TAM アクセス用ライブラリが使用できない。

[処置] TAM がインストールされていること、および DIOSA/XTP インストール先/lib 配下で、libdxtptam.so が正しくインストールされていることを確認する。

[関連]

DIDLT092

E

[英文] Oracle is not installed.

[和文] Oracle がインストールされていません。

[説明] Oracle アクセスが必要だが、Oracle アクセス用ライブラリが使用できない。

[処置] Oracle がインストールされていること、および DIOSA/XTP インストール先/lib 配下で、libdxtpora.so が正しくインストールされていることを確認する。

[関連]

DIDLT093

W

[英文] Start with configuration information because of failure to read inheritance file.

[和文] 引き継ぎファイルの読み込みに失敗したため、環境定義オブジェクトから起動します。

[説明] 引き継ぎファイルの読み込みに失敗したので、環境定義オブジェクトの情報で、ディレード転送機能を起動した。

[処置] 環境定義オブジェクトが、定義生成/定義変更を実施した最新の定義と一致している場合は必要なし。不一致がある場合は、一致させた内容に変更後、ディレード転送機能を「-M create」のモードで再起動する。

[関連]

DIDLT094

E

[英文] Configuration information is invalid. SECTION=[@1] ERRTYPE=[@2] ERRINF01=@3 ERRINF02=@4

[和文] 環境定義が不正です。 SECTION=[@ 1] ERRTYPE=[@ 2] ERRINF01=@ 3 ERRINF02=@ 4

[説明] 環境定義の内容に不正がある。

@ 1 : 環境定義の節名

SYSMAP : 環境定義 SYSMAP

DIOSAMAP : 環境定義 DIOSAMAP

@ 2 : エラー種別

IPADDR : IP アドレスが不正

PORT : ポート番号が未設定

@ 3 : エラー情報

@ 4 : エラー情報

[処置] エラー種別、エラー情報の内容から、環境定義を修正する。

[関連]

DIDLT100

E

[英文] System call failed. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] システムコールエラーが発生しました。 FUNC=@ 1 errno=@ 2 code=@ 3

[説明] システムコールエラーが発生した。

@ 1 : システムコール名

@ 2 : UNIX の errno

@ 3 : 内部コード

[処置] OS のマニュアルなどから、関数、errno に対する情報を参照してエラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDLT101

E

[英文] Failed to get process information. DMNTYPE=@1 PID=@2 return=@3 code=@4

[和文] プロセス情報の取得でエラーが発生しました。 DMNTYPE=@ 1 PID=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] プロセス情報の取得に失敗した。

@ 1 : デーモン種別

PATH-C : 通信制御 通信デーモン

PATH-D : 通信制御 振分デーモン

LOCATION-M : ストリーム所在管理マネージャ

LOCATION-A : ストリーム所在管理エージェント

SENDER : センダ管理デーモン

RECEIVER : レシーバ管理デーモン

LOGREADER : ログリーダー管理デーモン

DEL : ログデータ削除デーモン

@ 2 : デーモンのプロセス ID

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] リターンコードや、出力されている場合は直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を取り除く。

[関連]

DIDLT102

E

[英文] Failed to control shared memory. IPCKEY=@1 FUNC=@2 errno=@3 code=@4

[和文] 共有メモリの操作でエラーが発生しました。 IPCKEY=@ 1 FUNC=@ 2 errno=@ 3 code=@ 4

[説明] 共有メモリアクセス関数でエラーが発生した。

@ 1 : IPC キー

@ 2 : システムコール名

@ 3 : UNIX の errno

@ 4 : 内部コード

[処置] OS のマニュアルなどから、関数、errno に対する情報を参照してエラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDLT110

E

[英文] Failed to lock. LOCKTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] ロック処理でエラーが発生しました。 LOCKTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ロック処理でエラーが発生した。

@ 1 : ロック種別

LOGSYSTEM : 論理システム内ロック

LNODE : 論理ノード内ロック

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているロック機能のエラーメッセージに対処後、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDLT111

E

[英文] Failed to unlock. LOCKTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] アンロック処理でエラーが発生しました。 LOCKTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] アンロック処理でエラーが発生した。

@ 1 : ロック種別

LOGSYSTEM : 論理システム内ロック

LNODE : 論理ノード内ロック

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているロック機能のエラーメッセージに対処する。このエラーメッセージ後に出力されているメッセージから、このエラーによって失敗している処理がある場合は、その処理を再実行する。

[関連]

DIDLT112

E

[英文] Received illegal signal. SIGNAL=@1 PID=@2 COMMAND=@3

[和文] 不正なシグナルを受信しました。 SIGNAL=@ 1 PID=@ 2 COMMAND=@ 3

[説明] 不正なシグナルを受信した。

@ 1 : 受信したシグナル

@ 2 : 送信元プロセス ID

@ 3 : 送信元プロセス名

[処置] 送信元プロセス情報から、原因を特定し、必要な場合は対処する。

[関連]

DIDLT113

E

[英文] Failed to block signal. return=@1 code=@2

[和文] シグナルのブロックでエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] シグナルのブロック処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDLT114

E

[英文] Failed to unblock signal. return=@1 code=@2

[和文] シグナルのアンブロックでエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] シグナルのアンブロック処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDLT115

E

[英文] Failed to mask signal. return=@1 code=@2

[和文] シグナルのマスク処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] シグナルのマスク処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDLT116

E

[英文] Failed to register signal handler. return=@1 code=@2

[和文] シグナルハンドラ情報設定処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] シグナルハンドラ設定に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDLT120

E

[英文] Failed to allocate memory. return=@1 code=@2

[和文] メモリ確保でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] メモリ確保に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコード、および直前に出力されているメモリ管理機能のエラーメッセージに対処後、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDLT121

E

[英文] Failed to free memory. return=@1 code=@2

[和文] メモリ解放でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] メモリの解放に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコード、および直前に出力されているメモリ管理機能のエラーメッセージに対処する。このエラーメッセージ後に出力されているメッセージから、このエラーによって失敗している処理がある場合は、その処理を再実行する。

[関連]

DIDLT124

E

[英文] Failed to allocate message buffer. return=@1 code=@2

[和文] 電文バッファの確保でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 電文バッファの確保に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前にメモリに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDLT125

E

[英文] Failed to create shared memory. SEGTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの確保でエラーが発生しました。 SEGTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリの確保に失敗した。

@ 1 : 共有メモリ種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に共有メモリに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDLT126

E

[英文] Failed to remove shared memory. SEGTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの解放でエラーが発生しました。 SEGTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリの削除に失敗した。

@ 1 : 共有メモリ種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に共有メモリに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDLT129

E

[英文] Failed to switch shared memory. SEGTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの切替処理でエラーが発生しました。 SEGTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリの切替処理に失敗した。

@ 1 : 共有メモリ種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に共有メモリに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDLT130

E

[英文] Failed to open client socket. SOCKTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] クライアントソケットの生成でエラーが発生しました。 SOCKTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ソケットの生成に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDLT131

E

[英文] Failed to close socket. SOCKTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] ソケットのクローズ処理でエラーが発生しました。 SOCKTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ソケットのクローズ処理に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDLT132

E

[英文] Failed to open server socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] サーバソケットの生成でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ソケットの生成に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDLT134

E

[英文] Failed to add watch socket. FUNCTYPE=@1 SOCKETTYPE=@2 return=@3 code=@4

[和文] 監視ソケット登録処理でエラーが発生しました。 FUNCTYPE=@ 1 SOCKETTYPE=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 監視ソケット登録に失敗した。

@ 1 : 機能種別

@ 2 : ソケット種別

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDLT135

E

[英文] Failed to delete watch socket. FUNCTYPE=@1 SOCKETTYPE=@2 return=@3 code=@4

[和文] 監視ソケット削除処理でエラーが発生しました。 FUNCTYPE=@ 1 SOCKETTYPE=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 監視ソケットの削除に失敗した。

@ 1 : 機能種別

@ 2 : ソケット種別

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDLT137

E

[英文] Failed to change timeout of watch socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 監視ソケットのタイムアウト時間変更処理でエラーが発生しました。SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ソケットのタイムアウト時間変更に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDLT138

E

[英文] Socket watch timed out. SOCKETTYPE=@1 code=@2

[和文] ソケットの監視がタイムアウトしました。SOCKETTYPE=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケットの監視がタイムアウトした。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : 内部コード

[処置] タイムアウトの原因となっている処理を調査する。エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDLT139

E

[英文] Failed to send message. SOCKETTYPE=@1 MSG=@2 return=@3 code=@4

[和文] 電文送信でエラーが発生しました。SOCKETTYPE=@ 1 MSG=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 電文送信に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : 電文種別

DMNTEREQ : デーモン停止要求

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDLT140

E

[英文] Failed to receive message. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 電文受信でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 電文受信に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDLT141

E

[英文] Connection disconnected. SOCKETTYPE=@1 code=@2

[和文] コネクションが切断しました。 SOCKETTYPE=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケットが切断された。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから、接続先で発生したエラーに対処し、失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDLT142

E

[英文] Failed to watch socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] ソケット監視処理においてエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ソケット監視処理でエラーが発生した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDLT143

E

[英文] Failed to accept socket connection request. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] ソケット接続要求の受け入れでエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ソケットの接続要求受け入れ処理でエラーが発生した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDLT150

E

[英文] Failed to register alarm. ALARM=@1 return=@2 code=@3

[和文] アラームの登録でエラーが発生しました。 ALARM=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] アラームの登録に失敗した。

@ 1 : アラーム種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にアラーム機能、ソケット機能のエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDLT151

E

[英文] Failed to delete alarm. ALARM=@1 return=@2 code=@3

[和文] アラームの削除でエラーが発生しました。 ALARM=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] アラームの削除に失敗した。

@ 1 : アラーム種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にアラーム機能、ソケット機能のエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDLT160

E

[英文] Failed to get logical node information. return=@1 code=@2

[和文] 論理ノード情報の取得に失敗しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 論理ノード情報の取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードと直前に出力されているメッセージからエラーに対処する。

[関連]

DIDLT161

E

[英文] Failed to get logical system information. return=@1 code=@2

[和文] 論理システム情報の取得に失敗しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 論理システム情報の取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードと直前に出力されているメッセージからエラーに対処する。

[関連]

DIDLT162

E

[英文] Failed to get blockade state. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞状態取得処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 閉塞状態取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードと直前に出力されているメッセージからエラーに対処する。

[関連]

DIDLT163

E

[英文] Failed to notify MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能の通知処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能の通知処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードと直前に出力されているメッセージからエラーに対処する。エラーが発生した処理の再実行は必要ない。

[関連]

DIDLT164

E

[英文] Failed to get instance group information. return=@1 code=@2

[和文] インスタンスグループ情報取得処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インスタンスグループ情報取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] DB 監視機能が正しく起動されているか確認する。また、このエラーの直前に DB 監視機能からのエラーメッセージが出力されている場合は、そのエラーに対処する。

[関連]

DIDLT170

E

[英文] Failed to open SG object file. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトファイルのオープン処理でエラーが発生しました。 SECNAME=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] SG オブジェクトファイルのオープンに失敗した。

@ 1 : 環境定義の節名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されている環境定義機能に関するエラーメッセージに対処する。

環境定義ファイルを作成し、環境定義コマンド(diirmadd, diirmrep)で、SG オブジェクトファイルに変換しているか確認する。また、環境定義機能に関する環境変数が正しく設定されているかも確認する。

[関連]

DIDLT171

E

[英文] Failed to read SG object file. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトファイルの読込処理でエラーが発生しました。 SECNAME=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] SG オブジェクトファイルの読み込みに失敗した。

@ 1 : 環境定義の節名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されている環境定義機能に関するエラーメッセージに対処する。

環境定義ファイルが壊れている可能性が高いので、環境定義コマンド(diirmadd, diirmrep)で、SG オブジェクトファイルを再作成する等の対処をおこなう。

[関連]

DIDLT172

E

[英文] Failed to close SG object file. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトファイルのクローズ処理でエラーが発生しました。 SECNAME=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] SG オブジェクトファイルのクローズに失敗した。

@ 1 : 環境定義の節名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に環境定義機能に関するエラーメッセージが出力している場合は、メッセージに対処する。直後にデイレード機能に関するエラーメッセージが出力されていなければ処置の必要なし。

[関連]

DIDLT173

E

[英文] Format of SG object file is invalid. SECNAME=@1 ERRINFO=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトファイルの形式が不正です。 SECNAME=@ 1 ERRINFO=@ 2 code=@ 3

[説明] SG オブジェクトファイルの形式が不正である。

@ 1 : 環境定義の節名

@ 2 : エラー情報

@ 3 : 内部コード

[処置] 環境定義ファイルが壊れている可能性が高いので、環境定義コマンド(diirmadd, diirmrep)で、SG オブジェクトファイルを再作成し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDLT174

E

[英文] Cannot read SG object file of this revision. SECNAME=@1 REV_OBJECT=@2 REV_PRODUCT=@3

[和文] 読み込み不可能な SG リビジョンです。 SECNAME=@ 1 REV_OBJECT=@ 2 REV_PRODUCT=@ 3

[説明] SG オブジェクトを作成した DIOSA/XTP と、現在動作中の DIOSA/XTP のリビジョンが異なるため、SG オブジェクトファイルの読み込みに失敗した。

@ 1 : 環境定義の節名

@ 2 : SG オブジェクトのリビジョン

@ 3 : DIOSA/XTP のリビジョン

[処置] SG オブジェクトを再作成し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDLT200

E

[英文] Failed in process initialization of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT201

E

[英文] Failed in process initialization of DIOSA common function. return=@1 code=@2

[和文] DIOSA 共通機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DIOSA/XTP 共通機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT202

E

[英文] Failed in process initialization of application dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT204

E

[英文] Failed in initialization of DBMS lock. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能 DB 型使用前初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロック制御機能の初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT205

E

[英文] Failed in process initialization of socket function. return=@1 code=@2

[和文] ソケット機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケット機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT206

E

[英文] Failed in process initialization of alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラーム機能のプロセス初期化に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT207

E

[英文] Failed in process initialization of command delivery function. return=@1 code=@2

[和文] コマンド配信機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] コマンド配信機能のプロセス初期化に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT208

E

[英文] Failed in process initialization of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT209

E

[英文] Failed to start monitoring of Daemon Alive Monitoring. return=@1 code=@2

[和文] デーモン死活監視機能の監視開始処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] デーモン死活監視機能の監視開始に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT210

E

[英文] Failed in process initialization of In-Memory server information control. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ所在管理機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ所在管理機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT211

E

[英文] Failed in process initialization of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT212

E

[英文] Failed to initialize Blockade Management function process. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞管理機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 閉塞管理機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT213

E

[英文] Failed in process initialization of database monitoring function. return=@1 code=@2

[和文] DB 監視機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DB 監視機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT217

E

[英文] Failed in process initialization of Sender function. return=@1 code=@2

[和文] センダ機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] センダ機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT218

E

[英文] Failed in process initialization of Receiver function. return=@1 code=@2

[和文] レシーバ機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] レシーバ機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT220

E

[英文] Failed in thread initialization of alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能のスレッド初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラーム機能のスレッド初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT221

E

[英文] Failed to initialize thread of MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のスレッド初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のスレッド初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT222

E

[英文] Failed to initialize thread of Sender. return=@1 code=@2

[和文] センダ機能のスレッド初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] センダ機能のスレッド初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT223

E

[英文] Failed to initialize thread of Receiver. return=@1 code=@2

[和文] レシーバ機能のスレッド初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] レシーバ機能のスレッド初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT224

E

[英文] Failed in thread initialization of DIOSA common function. return=@1 code=@2

[和文] DIOSA 共通機能のスレッド初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DIOSA/XTP 共通のスレッド初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT225

E

[英文] Failed to initialize thread of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のスレッド初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送機能のスレッド初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT226

E

[英文] Failed in thread initialization of In-Memory server information control. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ所在管理機能のスレッド初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ所在管理機能のスレッド初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT230

E

[英文] Failed in transaction initialization of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送機能のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT231

E

[英文] Failed in transaction initialization of MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT232

E

[英文] Failed in transaction initialization of application dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT233

E

[英文] Failed in transaction initialization of Lock Control. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロック制御機能のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT234

E

[英文] Failed in service initialization of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ機能のサービス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ機能のサービス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT235

E

[英文] Failed in transaction start of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバのトランザクション開始処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバのトランザクション開始処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT236

E

[英文] Failed in transaction initialization of Blockade Management. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞管理機能のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 閉塞管理機能のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT250

E

[英文] Failed in process termination of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDLT251

E

[英文] Failed in process termination of DIOA common function. return=@1 code=@2

[和文] DIOA 共通機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DIOA/XTP 共通機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDLT252

E

[英文] Failed in process termination of application dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDLT255

E

[英文] Failed in process termination of socket function. return=@1 code=@2

[和文] ソケット機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケット機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDLT256

E

[英文] Failed in process termination of alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラーム機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDLT257

E

[英文] Failed in process termination of command delivery function. return=@1 code=@2

[和文] コマンド配信機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] コマンド配信機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDLT258

E

[英文] Failed in process termination of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDLT259

E

[英文] Failed in process termination of Daemon Alive Monitoring. return=@1 code=@2

[和文] デーモン死活監視機能の監視停止処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] デーモン死活監視機能の監視停止処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDLT260

E

[英文] Failed in process termination of In-Memory server information control. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ所在管理機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ所在管理機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDLT261

E

[英文] Failed in process termination of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDLT262

E

[英文] Failed in process termination of Blockade Management. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞管理機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 閉塞管理機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDLT263

E

[英文] Failed in process termination of database monitoring function. return=@1 code=@2

[和文] DB 監視機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DB 監視機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDLT267

E

[英文] Failed in process termination of Sender function. return=@1 code=@2

[和文] センダ機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] センダ機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDLT268

E

[英文] Failed in process termination of Receiver function. return=@1 code=@2

[和文] レシーバ機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] レシーバ機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDLT270

E

[英文] Failed in thread termination of alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能のスレッド終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラーム機能のスレッド終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDLT271

E

[英文] Failed in thread termination of MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のスレッド終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のスレッド終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDLT272

E

[英文] Failed in thread termination of Sender. return=@1 code=@2

[和文] センダ機能のスレッド終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] センダ機能のスレッド終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDLT273

E

[英文] Failed in thread termination of Receiver. return=@1 code=@2

[和文] レシーバ機能のスレッド終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] レシーバ機能のスレッド終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDLT274

E

[英文] Failed in thread termination of DIO SA common function. return=@1 code=@2

[和文] DIO SA 共通機能のスレッド終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DIO SA/XTP 共通のスレッド終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDLT275

E

[英文] Failed in thread termination of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のスレッド終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送機能のスレッド終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDLT276

E

[英文] Failed in thread termination of In-Memory server information control. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ所在管理機能のスレッド終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ所在管理機能のスレッド終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDLT280

E

[英文] Failed in transaction termination of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT281

E

[英文] Failed in transaction termination of MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT282

E

[英文] Failed in transaction termination of application dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT283

E

[英文] Failed in transaction termination of Lock Control. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロック制御機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT284

E

[英文] Failed in service termination of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ機能のサービス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ機能のサービス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT286

E

[英文] Failed in transaction termination of Blockade Management. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞管理機能のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 閉塞管理機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT300

E

[英文] Failed to connect to DB. CONNTYPE=@1 RGSET=@2 DSTATUS=@3 return=@4 code=@5

[和文] DB 接続でエラーが発生しました。 CONNTYPE=@ 1 RGSET=@ 2 DSTATUS=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] DB 接続に失敗した。

@ 1 : 接続タイプ

SINGLE : シングルコネクション

MULTI : マルチコネクション

@ 2 : リソースグループセット名

@ 3 : 詳細ステータス

@ 4 : リターンコード

@ 5 : 内部コード

[処置] 現在の DB 接続状況を確認し、切断中の場合、これ以前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ (DINCMxxx) を参照してエラーに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDLT301

E

[英文] Failed to disconnect from DB. DSTATUS=@1 return=@2 code=@3

[和文] DB 切断でエラーが発生しました。 DSTATUS=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] DB 切断に失敗した。

@ 1 : 詳細ステータス

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直後にディレード機能に関するエラーメッセージが出力されていなければ処置の必要なし。

[関連]

DIDLT302

E

[英文] Failed to reconnect to DB. DSTATUS=@1 return=@2 code=@3

[和文] DB 再接続でエラーが発生しました。 DSTATUS=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] DB 再接続に失敗した。

@ 1 : 詳細ステータス

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 現在の DB 接続状況を確認し、切断中の場合、これ以前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ (DINCMxxx) を参照してエラーに対処する。対処完了後、デーモン起動コマンド (didltctrl) で、停止しているデーモンを再起動する。

[関連]

DIDLT310

E

[英文] Failed to get DB context. return=@1 code=@2

[和文] DB コンテキスト取得処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DB コンテキスト取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 現在の DB 接続状況を確認し、切断中の場合、これ以前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ (DINCM_{xxx}) を参照してエラーに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDLT311

E

[英文] Failed to switch DB connection. RGSET=@1 DSTATUS=@2 return=@3 code=@4

[和文] DB 接続先切り替え処理でエラーが発生しました。 RGSET=@ 1 DSTATUS=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] DB 接続先切り替えに失敗した。

@ 1 : リソースグループセット名

@ 2 : 詳細ステータス

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] 現在の DB 接続状況を確認し、切断中の場合、これ以前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ (DINCM_{xxx}) を参照してエラーに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDLT320

E

[英文] Failed to commit DB. sqlcode=@1 code=@2

[和文] DB のコミットでエラーが発生しました。 sqlcode=@ 1 code=@ 2

[説明] DB のコミットに失敗した。

@ 1 : sqlcode

@ 2 : 内部コード

[処置] sqlcode からエラー原因を取り除き、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDLT321

E

[英文] Failed to rollback DB. sqlcode=@1 code=@2

[和文] DB のロールバックでエラーが発生しました。 sqlcode=@ 1 code=@ 2

[説明] DB のロールバックに失敗した。

@ 1 : sqlcode

@ 2 : 内部コード

[処置] sqlcode からエラー原因を取り除き、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDLT330

E

[英文] Failed to access DB. TABLE=@1 FUNC=@2 DETCODE=@3 sqlcode=@4 code=@5

[和文] DB へのアクセスでエラーが発生しました。 TABLE=@ 1 FUNC=@ 2 DETCODE=@ 3 sqlcode=@ 4 code=@ 5

[説明] DB アクセスでエラーが発生した。

@ 1 : テーブル名

@ 2 : アクセス種別

INSERT : レコード追加

SELECT : レコード読込

UPDATE : レコード更新

DELETE : レコード削除

TRUNCATE : 全レコード削除

@ 3 : 詳細コード

@ 4 : sqlcode

@ 5 : 内部コード

[処置] テーブル名、アクセス種別、および sqlcode からエラー原因を解消し、処理を再実行する。

[関連]

DIDLT340

E

[英文] Table is not found in DB. TABLE=@1 code=@2

[和文] DB にテーブルが存在しません。 TABLE=@ 1 code=@ 2

[説明] DB にテーブルが存在しない。

@ 1 : テーブル名

@ 2 : 内部コード

[処置] TABLE パラメータに表示されているテーブルを作成していない場合、テーブル作成および定義生成 (didltcreate) を実行する。

[関連]

DIDLT341

E

[英文] Failed to notify DB error. DSTATUS=@1 return=@2 code=@3

[和文] DB 障害通知処理でエラーが発生しました。 DSTATUS=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] DB 障害通知処理に失敗した。

@ 1 : 詳細コード

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDLT350

E

[英文] Control table is not found in DB. FUNCTYPE=@1 code=@2

[和文] 制御 DB が存在しません。 FUNCTYPE=@ 1 code=@ 2

[説明] 制御テーブルが DB 上に存在しない。

@ 1 : 機能種別

DSAM : DSAM 機能

@ 2 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能の動作に必要なテーブルを作成し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDLT400

E

[英文] Failed to connect to In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバとの接続処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバとの接続に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDLT401

E

[英文] Failed to disconnect from In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバとの切断処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバとの切断に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDLT412

E

[英文] Failed to set MAP ID. MAPID=@1 return=@2 code=@3

[和文] MAP 宣言処理でエラーが発生しました。 MAPID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] MAP 宣言処理に失敗した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDLT414

E

[英文] Failed to get MAP ID list of logical table. TABLE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 論理表分散先 MAP の取得処理でエラーが発生しました。 TABLE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 論理表の分散先 MAPID 取得に失敗した。

@ 1 : 論理表名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 論理表がインメモリサーバ機能に正しく定義されていない場合、定義を更新する。

また、これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。
リターンコードが 0 でこのメッセージが出力された場合、システム制御表が複数 MAP に分散するように定義されているため、システム制御表(DIOSA_DSAM)の、IMTBLCONF 節定義を確認する。

[関連]

DIDLT420

E

[英文] Failed in commit function of In-Memory server. MAPID=@1 return=@2 code=@3

[和文] インメモリサーバのコミット処理でエラーが発生しました。 MAPID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリサーバのコミットに失敗した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDLT421

E

[英文] Failed in rollback function of In-Memory server. MAPID=@1 return=@2 code=@3

[和文] インメモリサーバのロールバック処理でエラーが発生しました。 MAPID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリサーバのロールバックに失敗した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDLT440

E

[英文] Failed to get logical table ID. TABLE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 論理表 ID の取得処理でエラーが発生しました。 TABLE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 論理表 ID 取得に失敗した。

@ 1 : 論理表名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 論理表がインメモリサーバ機能に正しく定義されていない場合、定義を更新する。

また、これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDLT450

E

- [英文] Control table is not found in DB. FUNCTYPE=@1 code=@2
- [和文] 制御 DB が存在しません。 FUNCTYPE=@ 1 code=@ 2
- [説明] 制御テーブルが TAM 上に存在しない。
@ 1 : 機能種別
DSAM : DSAM 機能
@ 2 : 内部コード
- [処置] ディレード転送機能の動作に必要なテーブルを作成し、エラーとなった処理を再実行する。
- [関連]

DIDLT500

E

- [英文] Failed in SG dynamic replacement. return=@1 code=@2
- [和文] SG 動的変更処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2
- [説明] SG 動的変更処理に失敗した。
@ 1 : リターンコード
@ 2 : 内部コード
- [処置] 直前に出力されているエラーメッセージや、リターンコードの内容からエラーに対処する。
- [関連]

DIDLT600

I

- [英文] Creating configuration has been executed. DATATYPE=@1
- [和文] 定義生成処理を実行しました。 DATATYPE=@ 1
- [説明] 定義生成を実行した。
@ 1 : DB 種別
IM : TAM
DB : Oracle
IM/DB : TAM と Oracle
- [処置] 必要なし。
- [関連]

DIDLT601

I

[英文] Creating configuration was not executed.

[和文] 定義生成が実行されませんでした。

[説明] スーパーストリーム指定の定義生成コマンドが実行されたが、コマンド実行ノードでアクセスできない DB が生成対象であった等の理由で、定義生成されていない。

[処置] 定義を確認し、アクセス可能なノードで再実行する。

[関連]

DIDLT603

E

[英文] Cannot execute command because configuration information is changed. PARAM=@1 SG_VALUE=@2 DB_VALUE=@3 code=@4

[和文] 環境定義が変更されているため受け付けられません。 PARAM=@ 1 SG_VALUE=@ 2 DB_VALUE=@ 3 code=@ 4

[説明] スーパーストリーム指定の定義生成が実行されたが、前回生成時から定義内容が変更されているため、処理を受け付けられない。

@ 1 : 変更されたパラメータ

MAPID	: マップ ID
RGSET	: RG セット名
STACKNUM	: スタックファイル数
POOLTYPE	: プールファイル種別
POOLFILE	: ログデータ格納先
POOLFILEID	: プールファイル ID
SNDUNITNUM	: 配下センダユニット数
RCVUNITNUM	: 配下レシーバユニット数
LRDUNITNUM	: 配下ログリーダユニット数
SNDUNIT	: センダユニット項
RCVUNIT	: レシーバユニット項
LRDUNIT	: ログリーダユニット項
LRD_CONF	: ログリーダユニットの DB 構成
LRD_MAPID	: ログリーダユニットのマップ ID
LRD_RGSET	: ログリーダユニットの RG セット名
SUPERSTREAM	: スーパーストリーム項

@ 2 : 環境定義ファイルの値

@ 3 : 現在の定義値

@ 4 : 内部コード

[処置] 定義を戻してコマンドを再実行する。定義を変更したい場合、全体を定義生成し直すか、定義変更コマンドを実行する。

[関連]

DIDLT604

W

[英文] Proceed command with SG information because no inheritance information exists. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] 引継ぎ元情報が存在しないため、SG 情報で処理を続行します。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] ユニット名が*(アスタリスク)の場合は、データベースに存在しないスーパーストリームを指定して定義生成をおこなったため、スーパーストリーム、ログリーダユニットの無効化状態、センダ、レシーバユニットの無効化状態と相手論理システム名を引き継がない。ユニット名が*(アスタリスク)でない場合は、データベースのセンダ、レシーバユニットの相手論理システム名を引き継がない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] 定義と異なる内容に、無効化状態や相手論理システム名を変更していた場合は以下の対処をおこなう。
ディレード無効化状態変更コマンドにて無効化状態を設定する。
センダ、レシーバの動作変更コマンドにて相手論理システム名を設定する。

[関連]

DIDLT610

I

[英文] Check for update of configuration started. DATATYPE=@1

[和文] 定義変更の受付可否チェック処理を開始しました。 DATATYPE=@ 1

[説明] 定義変更の受付可否チェック処理を開始した。

@ 1 : DB 種別

IM : TAM

DB : Oracle

IM/DB : TAM と Oracle

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT611

I

[英文] Update of configuration started. DATATYPE=@1

[和文] 定義変更処理を開始しました。 DATATYPE=@ 1

[説明] 定義変更処理を開始した。

@ 1 : DB 種別

IM : TAM

DB : Oracle

IM/DB : TAM と Oracle

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT612

I

[英文] Change of configuration started.

[和文] 定義反映処理を開始しました。

[説明] 定義反映処理を開始した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT613

I

[英文] There is nothing to update.

[和文] 定義変更箇所がありません。

[説明] 定義変更コマンドが実行されたが、生成済みの情報からの変更点がない。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT614

E

[英文] Specified instance groups don't include default RGSET.

[和文] デフォルト RGSET が属しているインスタンスグループを指定していません。

[説明] 定義変更コマンドで、指定したインスタンスグループ中にデフォルト RGSET が属するインスタンスグループが存在しない。

[処置] デフォルト RGSET が属しているインスタンスグループを指定に追加して、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDLT615

E

[英文] Cannot execute update of configuration because condition for execution is unsatisfied.

[和文] 定義変更の受付条件を満たしていないため受け付けられません。

[説明] 定義変更の受付条件を満たしていないため、定義変更処理を中断する。

[処置] 直前に出力されている拒否理由を示すメッセージに対処後、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDLT616

E

[英文] Failed in auto execution of change of configuration. code=@1

[和文] 定義反映コマンドの自動実行に失敗しました。 code=@ 1

[説明] 定義変更コマンドからの定義反映コマンド実行に失敗した。

@ 1 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、定義反映コマンドを配信モード(didltchg -A)で実行する。

[関連]

DIDLT617

E

[英文] Cannot execute command because configuration information of inaccessible database is changed.
SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] 処理対象外の定義が変更されているため受け付けられません。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] インスタンスグループ指定の定義変更が実行されたが、指定インスタンスグループ以外の定義内容が変更されているため、処理を受け付けられない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] 指定インスタンスグループ以外の定義を戻してコマンドを再実行する。

[関連]

DIDLT620

I

[英文] Change of configuration terminated normally. LNODENAME=@1

[和文] 定義反映処理が成功しました。 LNODENAME=@ 1

[説明] 定義反映処理が成功した。

@ 1 : 論理ノード名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT621

E

[英文] Failed in change of configuration. LNODENAME=@1 SENDRETURN=@2 CMDRETURN=@3 code=@4

[和文] 定義反映処理が失敗しました。 LNODENAME=@ 1 SENDRETURN=@ 2 CMDRETURN=@ 3 code=@ 4

[説明] 定義反映処理が失敗した。

@ 1 : 論理ノード名

@ 2 : 配信処理戻り値

@ 3 : 配信したコマンドの戻り値

@ 4 : 内部コード

[処置] 配信処理戻り値が負値の場合、直前に出力されているコマンド配信機能のエラーメッセージに対処する。
配信したコマンドの戻り値が負値の場合、論理ノード名に出力されているノードのエラーメッセージを参照し、実行時刻に出力されている定義反映処理のエラーメッセージに対処する。
対処が完了したら定義反映コマンドを再実行する。

[関連]

DIDLT622

I

[英文] Change of configuration is already executed.

[和文] 定義反映済みです。

[説明] 既に定義反映済みのノードで定義反映コマンドを実行した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT623

I

[英文] Change of configuration is unnecessary because Delayed transfer stopped.

[和文] ディレード転送が起動されていないため定義反映処理不要です。

[説明] ディレード転送停止中に定義反映コマンドを実行した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT624

I

[英文] Inheritance file has been deleted.

[和文] 引継ぎファイルを削除しました

[説明] ディレード転送停止中に定義反映が実施されたため、次回起動を強制的にコールドスタートにするため、引き継ぎファイルを削除した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT625

E

[英文] Failed to delivery command for change of configuration. NODETYPE=@1 NODECOUNT=@2 return=@3 code=@4

[和文] 定義反映コマンドの配信に失敗しました。 NODETYPE=@ 1 NODECOUNT=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 定義反映コマンドの配信に失敗した。

@ 1 : ノード種別

@ 2 : ノード数

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているコマンド配信機能のエラーメッセージに対処後、定義反映コマンドを再実行する。

[関連]

DIDLT630

I

[英文] Reset of modified values has been executed. DATATYPE=@1

[和文] 動作変更初期化処理を実行しました。DATATYPE=@ 1

[説明] 動作変更初期化処理を実行した。

@ 1 : DB 種別

IM : TAM

DB : Oracle

IM/DB : TAM と Oracle

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT640

E

[英文] Function does not stop. LNODENAME=@1 SENDER=@2 RECEIVER=@3 LOGREADER=@4 code=@5

[和文] 機能が停止していません。LNODENAME=@ 1 SENDER=@ 2 RECEIVER=@ 3 LOGREADER=@ 4 code=@ 5

[説明] ディレード転送の機能が起動中のため、処理を実行できない。

@ 1 : 論理ノード名

@ 2 : センダ起動状態

ACT : 起動中

INACT : 停止中

@ 3 : レシーバ起動状態

ACT : 起動中

INACT : 停止中

@ 4 : ログリーダー起動状態

ACT : 起動中

INACT : 停止中

@ 5 : 内部コード

[処置] 定義生成、定義変更コマンドで出力された場合、論理ノード名に出力されているノードで起動しているセンダ、レシーバ、ログリーダーを停止後、コマンドを再実行する。

ディレード停止コマンドで出力された場合、コマンド実行ノードで起動しているセンダ、レシーバ、ログリーダーを停止後、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDLT641

E

[英文] Failed to delivery command for checking statuses of function. NODETYPE=@1 NODECOUNT=@2 return=@3 code=@4

[和文] 起動状態判定コマンドの配信に失敗しました。 NODETYPE=@ 1 NODECOUNT=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 起動状態判定のためのコマンド配信に失敗した。

@ 1 : ノード種別

@ 2 : ノード数

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているコマンド配信機能のエラーメッセージに対処後、エラーとなったコマンドを再実行する。

[関連]

DIDLT642

E

[英文] Failed to execute checking statuses of function. LNODENAME=@1 SENDRETURN=@2 CMDRETURN=@3 code=@4

[和文] 起動状態判定処理が失敗しました。 LNODENAME=@ 1 SENDRETURN=@ 2 CMDRETURN=@ 3 code=@ 4

[説明] 起動状態判定処理に失敗した。

@ 1 : 論理ノード名

@ 2 : 配信処理戻り値

@ 3 : 配信したコマンドの戻り値

@ 4 : 内部コード

[処置] 配信処理戻り値が負値の場合、直前に出力されているコマンド配信機能のエラーメッセージに対処する。
配信したコマンドの戻り値が負値の場合、論理ノード名に出力されているノードのエラーメッセージを参照し、実行時刻に出力されているエラーメッセージに対処する。
対処が完了したらエラーとなったコマンドを再実行する。

[関連]

DIDLT711

E

[英文] Cannot connect because upper limit of communication threads.

[和文] 送受信処理スレッド数の上限に達したため、接続を拒否しました。

[説明] デーモンに定義した最大送受信スレッド数より多くの接続が同時に発生したため、接続要求を拒否した。

[処置] メッセージを出力しているデーモンプロセスについて、環境定義 DELAYED 節の%PATHCTRL-MAXTHR_Cや、%PATHCTRL-MAXTHR_Dの値を確認し、最大値には送受信の多重度より大きな値を設定する。
変更した場合、定義反映コマンドで全ノードの定義内容を更新する必要がある。

[関連]

DIDLT712

I

[英文] External socket closed because all paths to own logical system failed.

[和文] 自論理システム内の全ソケットパスが障害になったため、外部接続用ソケットをクローズします。

[説明] メッセージ出力ノードから全ての振り分けデーモンと通信できなくなったため、外部論理システムからの通信パスをクローズした。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT750

I

[英文] Connects with agent daemon. LNODENAME=@1

[和文] エージェントと接続しました。 LNODENAME=@ 1

[説明] ストリーム所在管理機能のマネージャが、パラメータに表示された論理ノード上のエージェントと接続した。

@ 1 : 論理ノード名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT751

W

[英文] Waiting for connection with agent daemons is time-out. LNODENAME=@1

[和文] エージェントからの接続待ちがタイムアウトしました。 LNODENAME=@ 1

[説明] ストリーム所在管理機能のマネージャ起動から一定時間内にエージェントからの接続がなかったため、スーパーストリームの振り分け対象外とした。

@ 1 : 論理ノード名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT752

I

[英文] Waiting for connection with agent daemons has finished.

[和文] エージェントからの接続待ちが完了しました。

[説明] ストリーム所在管理機能のマネージャ起動時、エージェントからの接続待ちが完了した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT753

E

[英文] Detected a monitored node error. LNODENAME=@1

[和文] 監視対象ノードの障害を検出しました。 LNODENAME=@ 1

[説明] ストリーム所在管理機能のエージェントから一定時間通信がなかったため、ノード障害と判断して、スーパーストリーム振り分け対象外のノードにする。

@ 1 : 論理ノード名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT754

I

[英文] Detected change of SG information for Delayed transfer.

[和文] ディレード定義情報の変更を検出しました。

[説明] ディレード転送機能の定義が変更された。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT755

I

[英文] Detected change of SG information for logical node configuration.

[和文] ノード構成情報の変更を検出しました。

[説明] ノード構成情報の定義が変更された。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT756

I

[英文] Accepted agent daemon termination. LNODENAME=@1

[和文] エージェントの停止を受け付けました。 LNODENAME=@ 1

[説明] ストリーム所在管理機能のエージェントが停止した。

@ 1 : 論理ノード名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT757

I

[英文] Runs as the main manager.

[和文] メインマネージャとして稼動します。

[説明] ストリーム所在管理機能のメインマネージャとして処理をおこなう。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT758

I

[英文] Runs as the sub manager.

[和文] サブマネージャとして稼動します。

[説明] ストリーム所在管理機能のメインマネージャが起動済み、または、DB ノードが閉塞状態、全エージェン
トとの切断状態のいずれかの状態となったため、サブマネージャとして待機する。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT759

I

[英文] Changed Superstream location. SPST=@1 LNODENAME=@2

[和文] スーパーストリームの動作ノードを変更しました。 SPST=@ 1 LNODENAME=@ 2

[説明] スーパーストリームの動作ノードを変更した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : 論理ノード名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT760

E

[英文] Failed to change Superstream location. code=@1

[和文] スーパーストリームの所在変更処理に失敗しました。 code=@ 1

[説明] スーパーストリームの動作ノード変更処理でエラーが発生した。

@ 1 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、エラーとなった処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDLT761

E

[英文] Received a message from unmonitored node. MSGID=@1 LNODEID=@2 code=@3

[和文] 監視対象外のノードからの電文を受信しました。 MSGID=@ 1 LNODEID=@ 2 code=@ 3

[説明] ストリーム所在管理機能のマネージャが、監視対象外のノードから電文を受信した。

@ 1 : メッセージ ID

@ 2 : 論理ノード ID

@ 3 : 内部コード

[処置] ノード ID の情報から、DIOSAMAP のノード構成変更手順が正しくおこなわれているか確認する。
正しい構成変更をおこなえば、このメッセージは出力されなくなり、特に対処も必要ない。

[関連]

DIDLT762

E

[英文] Specified node is not active. LNODENAME=@1 code=@2

[和文] 指定されたノードは起動状態ではありません。 LNODENAME=@ 1 code=@ 2

[説明] スーパーストリームの移動先ノードに指定した論理ノードが起動していない。

@ 1 : 論理ノード名

@ 2 : 内部コード

[処置] 起動中の論理ノードを指定してコマンドを再実行する。指定した論理ノードが起動している場合、ストリーム所在管理機能のエージェントが起動しているか確認する。

[関連]

DIDLT763

E

[英文] Cannot accept a request because manager daemon is not the main one.

[和文] メインマネージャではないため受け付けられません。

[説明] サブマネージャが動作しているノードでコマンドを実行した。

[処置] メインマネージャが動作している DB ノードでコマンドを再実行する。

[関連]

DIDLT764

E

[英文] Cannot accept a request because manager daemon is waiting for connection with agent.

[和文] エージェント接続待ち合わせ中のため受け付けられません。

[説明] ストリーム所在管理のマネージャ起動直後のため、動作ノード移動コマンドの処理を受け付けられない。

[処置] 接続待ち合わせ完了のメッセージを確認後、動作ノード移動が必要なら再実行する。

[関連] DIDLT752

DIDLT765

E

[英文] Failed to get information of Superstream location. code=@1

[和文] スーパーストリームの所在情報取得に失敗しました。 code=@ 1

[説明] スーパーストリームの割り当てノード情報取得でエラーが発生した。

@ 1 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、エラーとなった処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDLT766

E

[英文] Active logical node does not exist. LNODETYPE=@1 code=@2

[和文] 稼働中のノードが存在しません。 LNODETYPE=@ 1 code=@ 2

[説明] 稼働中のノードが存在しないため、スーパーストリームの動作ノード移動がおこなえなかった。

@ 1 : 論理ノード種別

@ 2 : 内部コード

[処置] 論理ノード種別に出力された種別のノードを 1 つ以上稼働させる。稼働している場合、ストリーム所在管理機能のエージェントが起動しているか確認する。

[関連]

DIDLT767

E

[英文] Logical node type of specified logical node is invalid. LNODENAME=@1 LNODETYPE=@2

[和文] 指定されたノードは割り当て対象外のノード種別です。 LNODENAME=@ 1 LNODETYPE=@ 2

[説明] 不正な論理ノード種別の論理ノードを指定して、動作ノード移動コマンドを実行した。

@ 1 : 論理ノード名

@ 2 : 論理ノード種別

[処置] 割り当て対象の論理ノードを指定して、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDLT768

W

[英文] Connection with agent disconnected. LNODENAME=@1

[和文] エージェントとのコネクションが切断されました。 LNODENAME=@ 1

[説明] ストリーム所在管理機能のエージェントとの接続が切断された。

@ 1 : 論理ノード名

[処置] 表示された論理ノードと通信可能な状態か確認する。

障害が復旧すれば、自動的に再接続される。

[関連]

DIDLT769

E

[英文] Logical node where Superstream works is not defined. LNODETYPE=@1

[和文] スーパーストリームの動作するノードが定義されていません。 LNODETYPE=@ 1

[説明] POOLFILE=DB であるスーパーストリームの動作する論理ノードが DIOSAMAP 節に定義されていない。

@ 1 : 論理ノード種別

[処置] DELAYED 節の DBLAYER に定義されている論理ノード種別の論理ノードを DIOSAMAP 節に追加する。または、DIOSAMAP 節に定義が存在する論理ノード種別 (AP または OLTP) を、DELYAED 節の DBLAYER に設定する。

[関連]

DIDLT770

I

[英文] Connects with manager daemon. LNODENAME=@1

[和文] マネージャと接続しました。 LNODENAME=@ 1

[説明] ストリーム所在管理機能のエージェントがマネージャと接続した。
@ 1 : 論理ノード名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT771

I

[英文] Updated location information of Superstream.

[和文] スーパーストリームの所在情報を更新しました。

[説明] スーパーストリームの所在情報を更新した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT772

W

[英文] Some Superstream are running in this node.

[和文] 動作中のスーパーストリームが存在します。

[説明] 動作中のスーパーストリームが存在する状態で、ストリーム所在管理機能のエージェントを停止した。

[処置] ディレード転送を起動したままの場合、スーパーストリームの動作は継続して可能だが、ノード障害などが発生しても、動作中のストリームを移動する制御ができない。
ノードを割り当て対象外としたい場合は、マネージャの動作ノードで割り当てノード移動コマンドを実行し、該当ノードで動作しているスーパーストリームを他ノードへ移動させる。

[関連]

DIDLT773

E

[英文] Failed to connect with manager daemon. LNODENAME=@1

[和文] マネージャとの接続に失敗しました。 LNODENAME=@ 1

[説明] ストリーム所在管理機能のエージェントが、マネージャとの接続に失敗した。
@ 1 : 論理ノード名

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから、接続エラーとなっている原因を解消する。
マネージャとの再接続処理は自動的におこなわれる。

[関連]

DIDLT774

E

[英文] Logical node where manager runs is not defined.

[和文] マネージャの起動するノードが定義されていません。

[説明] ストリーム所在管理機能のマネージャの起動する論理ノードが定義されていない。

[処置] 環境定義(DIOSAMAP)の定義を確認し、DB ノードが定義されていて、ディレード転送用のポート番号が指定されていることを確認する。

[関連]

DIDLT775

W

[英文] Connection with manager disconnected. LNODENAME=@1

[和文] マネージャとのコネクションが切断されました。 LNODENAME=@ 1

[説明] ストリーム所在管理機能のマネージャとの接続が切断された。
@ 1 : 論理ノード名

[処置] 表示された論理ノードと通信可能な状態か確認する。
障害が復旧すれば、自動的に再接続される。

[関連]

DIDLT780

E

[英文] No record in table. TABLE=@1 code=@2

[和文] 制御レコードが存在しません。TABLE=@ 1 code=@ 2

[説明] 制御表にレコードが存在しない。

@ 1 : 制御表名

@ 2 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能の定義生成が正常におこなわれていることを確認する。

[関連]

DIDLT781

I

[英文] Detected that a maintenance command was executed.

[和文] メンテナンスコマンドの実行を検知しました。

[説明] ストリーム所在管理機能のマネージャが、定義生成コマンドまたは定義変更コマンドが実行されたことを検知した。検知後に、マネージャは全てのスーパーストリームの動作ノード割り当て状況を再確認し、動作ノード変更が必要な場合に変更処理を行う。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDLT782

E

[英文] Failed to change Superstream location because a maintenance command is running.

[和文] メンテナンスコマンド実行中のため、所在変更処理が失敗しました。

[説明] ストリーム所在管理機能のマネージャが動作ノード変更処理中に、定義生成コマンドまたは定義変更コマンドが実行された。

[処置] スーパーストリーム所在変更コマンドを実行した時に出力された場合は、再度スーパーストリーム所在変更コマンドを実行する。定義生成コマンドまたは定義変更コマンドを実行したときに出力された場合は、処置の必要はない。

[関連]

DIDLT783

E

[英文] Have not completed getting information of Superstream location.

[和文] スーパーストリーム所在情報の取得が完了していません。

[説明] ストリーム所在管理機能のマネージャがデータベースからストリーム所在情報を取得できていない状態で、スーパーストリーム所在変更コマンドが実行された。

[処置] ストリーム所在管理機能のマネージャ起動時に所在情報取得失敗エラーメッセージが出力されていないか確認する。出力されていた場合はエラー内容を確認して対処を行う。または、ディレード転送機能の定義生成コマンドが正常に行われているかどうかを確認する。定義生成コマンドが行われていない場合は定義生成コマンドを実行する。

[関連] DIDLT765

DIDLTE00

E

[英文] Logical error occurred. ERRTYPE=[@1] ERRINFO1=@2 ERRINFO2=@3 return=@4 code=@5

[和文] 論理エラーが発生しました。 ERRTYPE=[@ 1] ERRINFO1=@ 2 ERRINFO2=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] 論理エラーが発生した。

@ 1 : エラー種別

@ 2 : エラー情報

@ 3 : エラー情報

@ 4 : リターンコード

@ 5 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDLTE01

E

[英文] Received illegal message. MSGERR=@1 VALUE=@2 code=@3

[和文] 不正な電文を受信しました。 MSGERR=@ 1 VALUE=@ 2 code=@ 3

[説明] 不正な電文を受信した。

@ 1 : エラー識別情報

@ 2 : エラー情報

@ 3 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDLTE02

E

[英文] Illegal event received. EVENT=@1 code=@2

[和文] 不正なイベント事象が発生しました。EVENT=@ 1 code=@ 2

[説明] 不正なイベントが発生した。

@ 1 : イベント識別情報

@ 2 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDLTE03

E

[英文] Failed to get table address. TABLE=@1 return=@2 code=@3

[和文] テーブルの取得でエラーが発生しました。TABLE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリアクセスに失敗した。

@ 1 : テーブル名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDLTE04

E

[英文] Failed to allocate table. TABLE=@1 return=@2 code=@3

[和文] テーブルの確保でエラーが発生しました。TABLE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリ更新処理でエラーが発生した。

@ 1 : テーブル名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDLTE05

E

[英文] Failed to get control information of delayed transfer. INF0=@1 return=@2 code=@3

[和文] ディレード転送制御情報の取得に失敗しました。 INF0=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 制御情報取得に失敗した。

@ 1 : 制御情報種別

DMN : デーモン情報

NODETYPE : 動作ノード情報

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

2.11 DIDTD 系

DIDTD010

I

[英文] Command started. INPUT=[@1]

[和文] コマンドを開始しました。 INPUT=[@ 1]

[説明] コマンドの処理を開始した。
@ 1 : 実行したコマンドとパラメータ

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTD011

I

[英文] Command terminated normally.

[和文] コマンドが正常終了しました。

[説明] コマンドが正常終了した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTD013

E

[英文] Command aborted.

[和文] コマンドが異常終了しました。

[説明] コマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTD016

I

[英文] Request from command has been accepted. COMMAND=@1

[和文] コマンドからの処理要求を受け付けました。COMMAND=@ 1

[説明] コマンドからの処理要求を受け付けた。

@ 1 : 受信した要求

DMNTERM : デーモン停止要求(通常モード)

DELREQ : ログ削除要求

MOREQ : 動作変更要求

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTD030

I

[英文] Daemon started. DMNTYPE=@1

[和文] デーモンを起動しました。DMNTYPE=@ 1

[説明] デーモンが起動した。

@ 1 : デーモン種別

DEL : ログデータ削除デーモン

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTD031

E

[英文] Daemon aborted. DMNTYPE=@1

[和文] デーモンを異常停止します。DMNTYPE=@ 1

[説明] デーモンが異常終了した。

@ 1 : デーモン種別

DEL : ログデータ削除デーモン

[処置] 直前に出力されている異常終了の原因となったエラーメッセージに対処する。デーモンは死活監視機能によって再起動されるため、再起動の必要はないが、死活監視機能による再起動がリトライオーバーした場合は、デーモン起動コマンド(didlctrl)で再起動する必要がある。

[関連]

DIDTD032

I

[英文] Daemon stopped. DMNTYPE=@1

[和文] デーモンを停止します。 DMNTYPE=@ 1

[説明] デーモンが停止した。

@ 1 : デーモン種別

DEL : ログデータ削除デーモン

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTD033

I

[英文] Daemon termination has finished.

[和文] デーモン終了処理が完了しました。

[説明] デーモン終了処理が完了した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTD060

E

[英文] Specified object does not exist. RSCTYPE=@1 RSCNAME1=@2 RSCNAME2=@3

[和文] 処理対象が存在しません。 RSCTYPE=@ 1 RSCNAME1=@ 2 RSCNAME2=@ 3

[説明] コマンドで指定された処理対象が定義されていない。

@ 1 : 指定対象の種別

SPST : スーパーストリーム

SPST(WRITER) : スーパーストリーム(ライター)

UNIT : ユニット

@ 2 : 指定対象名

@ 3 : 指定対象名

[処置] コマンドの指定と、環境定義の内容から、誤った指定をしていないか確認する。

[関連]

DIDTD061

W

[英文] Specified object does not exist. RSCTYPE=@1 RSCNAME1=@2 RSCNAME2=@3

[和文] 処理対象が存在しません。RSCTYPE=@ 1 RSCNAME1=@ 2 RSCNAME2=@ 3

[説明] コマンドで指定された処理対象が定義されていない。

@ 1 : 指定対象の種別

SPST : スーパーストリーム

UNIT : ユニット

@ 2 : 指定対象名

@ 3 : 指定対象名

[処置] コマンドの指定と、環境定義の内容から、誤った指定をしていないか確認する。

[関連]

DIDTD062

E

[英文] Specified object does not exist. RSCTYPE=@1 RSCNAME=@2 DETCODE=@3 code=@4

[和文] 処理対象が存在しません。RSCTYPE=@ 1 RSCNAME=@ 2 DETCODE=@ 3 code=@ 4

[説明] コマンドで指定された処理対象が定義されていない。

@ 1 : 指定対象の種別

SPST : スーパーストリーム

STRM : ストリーム

@ 2 : 指定対象名

@ 3 : 詳細コード

@ 4 : 内部コード

[処置] コマンドの指定と、環境定義の内容から、誤った指定をしていないか確認する。

[関連]

DIDTD070

E

[英文] Delayed transfer has not been started.

[和文] ディレード転送が起動されていません。

[説明] ディレード転送が起動されていない。

[処置] ディレード起動コマンド(didltinit)を実行する。

[関連]

DIDTD074

E

[英文] Daemon has not been started. DMNTYPE=@1

[和文] デーモンが起動されていません。 DMNTYPE=@ 1

[説明] デーモンが起動していないため処理を受け付けられなかった。

@ 1 : デーモン種別

DEL : ログデータ削除デーモン

[処置] デーモンが異常終了している場合、デーモン起動コマンド(didlctrl)を実行してデーモンを起動後、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTD075

E

[英文] Control DB of delayed transfer has not been created. FUNCTYPE=@1 DATATYPE=@2 code=@3

[和文] 定義生成が実行されていません。 FUNCTYPE=@ 1 DATATYPE=@ 2 code=@ 3

[説明] 定義生成されていない。

@ 1 : 機能種別

DSAM : DSAM 機能

@ 2 : DB 種別

IM : TAM

DB : Oracle

@ 3 : 内部コード

[処置] 定義生成(didlcreate)を実行する。

[関連]

DIDTD080

E

[英文] Cannot execute on this logical node.

[和文] この論理ノードでは実行できません。

[説明] 該当論理ノードで実行できないコマンドを実行した。

[処置] データベース製品のインストール状況や、ディレード転送機能の環境定義等を確認し、コマンド実行可能な論理ノード上で再実行する。

[関連]

DIDTD081

E

[英文] Superstream is blocked. SPST=@1 code=@2

[和文] スーパーストリームは無効状態です。 SPST=@ 1 code=@ 2

[説明] スーパーストリームが無効化されているときに実行できない処理要求をおこなった。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : 内部コード

[処置] 無効化状態変更コマンドで、無効化を解除してからエラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTD082

E

[英文] Superstream is under maintenance. SPST=@1 MTNSTATUS=@2 code=@3

[和文] スーパーストリームがメンテナンス中です。 SPST=@ 1 MTNSTATUS=@ 2 code=@ 3

[説明] スーパーストリームに対する運用コマンドが異常終了した状態のため、処理を受け付けられない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : メンテナンス状態

CREATE : 定義生成中

UPDATE : 定義変更中

@ 3 : 内部コード

[処置] エラーとなった運用コマンドの処理を正常終了させてから、処理を再実行する。

[関連]

DIDTD083

E

[英文] Delayed transfer is under maintenance. MTNSTATUS=@1 code=@2

[和文] メンテナンス中です。 MTNSTATUS=@ 1 code=@ 2

[説明] 運用コマンドが異常終了した状態のため、処理を受け付けられない。

@ 1 : メンテナンス状態

CREATE : 定義生成中

UPDATE : 定義変更中

@ 2 : 内部コード

[処置] エラーとなった運用コマンドの処理を正常終了させてから、処理を再実行する。

[関連]

DIDTD100

E

[英文] System call failed. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] システムコールエラーが発生しました。 FUNC=@ 1 errno=@ 2 code=@ 3

[説明] システムコールエラーが発生した。

@ 1 : システムコール名

@ 2 : UNIX の errno

@ 3 : 内部コード

[処置] OS のマニュアルなどから、関数、errno に対する情報を参照してエラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTD101

E

[英文] Failed to get process information. PID=@1 return=@2 code=@3

[和文] プロセス情報の取得でエラーが発生しました。 PID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] プロセス情報の取得に失敗した。

@ 1 : プロセス ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードや、出力されている場合は直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を取り除く。

[関連]

DIDTD110

E

[英文] Failed to lock. LOCKTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] ロック処理でエラーが発生しました。 LOCKTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ロック処理でエラーが発生した。

@ 1 : ロック種別

LOGSYSTEM : 論理システム内ロック

LNODE : 論理ノード内ロック

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているロック機能のエラーメッセージに対処後、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTD111

E

[英文] Failed to unlock. LOCKTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] アンロック処理でエラーが発生しました。 LOCKTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] アンロック処理でエラーが発生した。

@ 1 : ロック種別

LOGSYSTEM : 論理システム内ロック

LNODE : 論理ノード内ロック

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているロック機能のエラーメッセージに対処する。このエラーメッセージ後に出力されているメッセージから、このエラーによって失敗している処理がある場合は、その処理を再実行する。

[関連]

DIDTD120

E

[英文] Failed to allocate memory. return=@1 code=@2

[和文] メモリ確保でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] メモリ確保に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコード、および直前に出力されているメモリ管理機能のエラーメッセージに対処後、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTD121

E

[英文] Failed to free memory. return=@1 code=@2

[和文] メモリ解放でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] メモリ解放に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコード、および直前に出力されているメモリ管理機能のエラーメッセージに対処する。このエラーメッセージ後に出力されているメッセージから、このエラーによって失敗している処理がある場合は、その処理を再実行する。

[関連]

DIDTD125

E

[英文] Failed to create shared memory. SEGTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの確保でエラーが発生しました。 SEGTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリの確保に失敗した。

@ 1 : 共有メモリ種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコード、および直前に出力されている共有メモリに関するエラーメッセージに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTD126

E

[英文] Failed to delete shared memory. SEGTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの解放でエラーが発生しました。 SEGTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリの解放に失敗した。

@ 1 : 共有メモリ種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に共有メモリに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処する。このエラーメッセージ後に出力されているメッセージから、このエラーによって失敗している処理がある場合は、その処理を再実行する。

[関連]

DIDTD129

E

[英文] Failed to switch shared memory. SEGTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの切替処理でエラーが発生しました。 SEGTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリの切り替えに失敗した。

@ 1 : 共有メモリ種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコード、および直前に出力されている共有メモリに関するエラーメッセージに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTD130

E

[英文] Failed to create client socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] クライアントソケットの生成でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ソケットの生成に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTD131

E

[英文] Failed to close client socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] クライアントソケットのクローズ処理でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ソケットのクローズ処理に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTD132

E

[英文] Failed to create server socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] サーバソケットの生成でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ソケットの生成に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTD133

E

[英文] Failed to close server socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] サーバソケットのクローズ処理でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ソケットのクローズに失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTD134

E

[英文] Failed to add watch socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 監視ソケット登録処理でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 監視ソケット登録に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTD135

E

[英文] Failed to delete watch socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 監視ソケット削除処理でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 監視ソケットの削除に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTD137

E

[英文] Failed to change timeout of watch socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 監視ソケットのタイムアウト時間変更処理でエラーが発生しました。SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 監視ソケットのタイムアウト時間変更に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTD138

E

[英文] Socket watch timed out. SOCKETTYPE=@1 code=@2

[和文] ソケットの監視がタイムアウトしました。SOCKETTYPE=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケットの監視がタイムアウトした。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : 内部コード

[処置] タイムアウトの原因となっている処理を調査する。エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTD139

E

[英文] Failed to send message. SOCKETTYPE=@1 MSG=@2 return=@3 code=@4

[和文] 電文送信でエラーが発生しました。SOCKETTYPE=@ 1 MSG=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 電文送信に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : 電文種別

DMNTERSP : デーモン停止応答

DELRSP : ログデータ削除コマンド応答

MORSP : 動作変更コマンド応答

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTD141

E

[英文] Connection disconnected. SOCKETTYPE=@1 code=@2

[和文] コネクションが切断しました。SOCKETTYPE=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケットが切断された。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから、接続先で発生したエラーに対処し、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTD165

E

[英文] Failed to get SuperStream location information. return=@1 code=@2

[和文] スーパーストリーム動作ノード情報の取得に失敗しました。return=@ 1 code=@ 2

[説明] スーパーストリーム動作ノード情報の取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] ストリーム所在管理機能が正常に動作していることを確認する。

直前に出力されているエラーメッセージがある場合は、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTD200

E

[英文] Failed in process initialization of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTD202

E

[英文] Failed in process initialization of application dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTD204

E

[英文] Failed in initialization of DBMS lock. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能 DB 型使用前初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロック制御機能の初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTD205

E

[英文] Failed in process initialization of socket function. return=@1 code=@2

[和文] ソケット機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケット機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTD208

E

[英文] Failed in process initialization of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTD209

E

[英文] Failed to start monitoring of Daemon Alive Monitoring. return=@1 code=@2

[和文] デーモン死活監視機能の監視開始処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] デーモン死活監視機能の監視開始処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTD210

E

[英文] Failed in process initialization of In-Memory server information control. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ所在管理機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ所在管理機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTD211

E

[英文] Failed in process initialization of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTD230

E

[英文] Failed in transaction initialization of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTD231

E

[英文] Failed in transaction initialization of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTD232

E

[英文] Failed in transaction initialization of application dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTD233

E

[英文] Failed in transaction initialization of lock function. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロック制御機能のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTD234

E

[英文] Failed in service initialization of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ機能のサービス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ機能のサービス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTD235

E

[英文] Failed in transaction start of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバのトランザクション開始処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバのトランザクション開始処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTD250

E

[英文] Failed in process termination of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTD251

E

[英文] Failed in process termination of DIOSA common function. return=@1 code=@2

[和文] DIOSA 共通機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DIOSA/XTP 共通機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTD252

E

[英文] Failed in process termination of application dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTD255

E

[英文] Failed in process termination of socket function. return=@1 code=@2

[和文] ソケット機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケット機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTD258

E

[英文] Failed in process termination of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTD259

E

[英文] Failed to stop monitoring of Daemon Alive Monitoring. return=@1 code=@2

[和文] デーモン死活監視機能の監視停止処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] デーモン死活監視機能の監視停止に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] デーモン停止後、デーモンが再起動された場合は、デーモン停止コマンド(didlctrl)を実行してデーモンを停止する。

[関連]

DIDTD260

E

[英文] Failed in process termination of In-Memory server information control. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ所在管理機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ所在管理機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTD261

E

[英文] Failed in process termination of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTD280

E

[英文] Failed in transaction termination of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTD281

E

[英文] Failed in transaction termination of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTD282

E

[英文] Failed in transaction termination of application dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTD283

E

[英文] Failed in transaction termination of lock function. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロック制御機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTD284

E

[英文] Failed in service termination of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ機能のサービス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ機能のサービス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTD300

E

[英文] Failed to connect to DB. CONNTYPE=@1 RGSET=@2 DSTATUS=@3 return=@4 code=@5

[和文] DB 接続でエラーが発生しました。 CONNTYPE=@ 1 RGSET=@ 2 DSTATUS=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] DB 接続に失敗した。

@ 1 : 接続タイプ

MULTI : マルチコネクション

@ 2 : リソースグループセット名

@ 3 : 詳細ステータス

@ 4 : リターンコード

@ 5 : 内部コード

[処置] 現在の DB 接続状況を確認し、切断中の場合、これ以前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ (DINCMxxx) を参照してエラーに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTD301

E

[英文] Failed to disconnect from DB. DSTATUS=@1 return=@2 code=@3

[和文] DB 切断でエラーが発生しました。 DSTATUS=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] DB 切断に失敗した。

@ 1 : 詳細ステータス

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直後にディレード機能に関するエラーメッセージが出力されていなければ処置の必要なし。

[関連]

DIDTD302

E

[英文] Failed to reconnect to DB. DSTATUS=@1 return=@2 code=@3

[和文] DB 再接続でエラーが発生しました。 DSTATUS=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] DB 再接続に失敗した。

@ 1 : 詳細ステータス

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 現在の DB 接続状況を確認し、切断中の場合、これ以前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ(DINCMxxx)を参照してエラーに対処する。対処完了後、デーモン起動コマンド(didlctrl)で、停止しているデーモンを再起動する。

[関連]

DIDTD310

E

[英文] Failed to get DB context. return=@1 code=@2

[和文] DB コンテキスト取得処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DB コンテキスト取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 現在の DB 接続状況を確認し、切断中の場合、これ以前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ(DINCMxxx)を参照してエラーに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTD311

E

[英文] Failed to switch DB connection. RGSET=@1 DSTATUS=@2 return=@3 code=@4

[和文] DB 接続先切り替え処理でエラーが発生しました。 RGSET=@ 1 DSTATUS=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] DB 接続先切り替えに失敗した。

@ 1 : リソースグループセット名

@ 2 : 詳細ステータス

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] 現在の DB 接続状況を確認し、切断中の場合、これ以前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ (DINCMxx) を参照してエラーに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTD312

E

[英文] Cannot switch DB connection because cluster is under reconstruction. RGSET=@1 DSTATUS=@2 return=@3 code=@4

[和文] 現在クラスタ再構成中のため、DB 接続先切り替え処理を実行できません。 RGSET=@ 1 DSTATUS=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] クラスタ再構成中のため、DB 接続先切り替えに失敗した。

@ 1 : リソースグループセット名

@ 2 : 詳細ステータス

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] 再構成完了メッセージが出力されてから、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTD320

E

[英文] Failed to commit DB. sqlcode=@1 code=@2

[和文] DB のコミットでエラーが発生しました。 sqlcode=@ 1 code=@ 2

[説明] DB のコミットに失敗した。

@ 1 : sqlcode

@ 2 : 内部コード

[処置] sqlcode からエラー原因を取り除き、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTD321

E

[英文] Failed to rollback DB. sqlcode=@1 code=@2

[和文] DB のロールバックでエラーが発生しました。 sqlcode=@ 1 code=@ 2

[説明] DB のロールバックに失敗した。

@ 1 : sqlcode

@ 2 : 内部コード

[処置] sqlcode からエラー原因を取り除き、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTD323

E

[英文] Deadlock is detected. SPST=@1 TABLE=@2 DETCODE=@3 sqlcode=@4 code=@5

[和文] デッドロックを検出しました。 SPST=@ 1 TABLE=@ 2 DETCODE=@ 3 sqlcode=@ 4 code=@ 5

[説明] デッドロックを検出した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : テーブル名

@ 3 : 詳細コード

@ 4 : sqlcode

@ 5 : 内部コード

[処置] エラーとなった処理がある場合、再実行する。

[関連]

DIDTD330

E

[英文] Failed to access DB. TABLE=@1 DETCODE=@2 sqlcode=@3 code=@4

[和文] DB へのアクセスでエラーが発生しました。 TABLE=@ 1 DETCODE=@ 2 sqlcode=@ 3 code=@ 4

[説明] DB アクセスでエラーが発生した。

@ 1 : テーブル名

@ 2 : 詳細コード

@ 3 : sqlcode

@ 4 : 内部コード

[処置] テーブル名、および sqlcode からエラー原因を解消し、処理を再実行する。

[関連]

DIDTD340

E

[英文] Table is not found in DB. TABLE=@1 code=@2

[和文] DB にテーブルが存在しません。TABLE=@ 1 code=@ 2

[説明] DB にテーブルが存在しない。

@ 1 : テーブル名

@ 2 : 内部コード

[処置] TABLE パラメータに表示されているテーブルを作成していない場合、テーブル作成および定義生成 (didltcreate) を実行する。

[関連]

DIDTD341

E

[英文] Failed to notify DB error. DSTATUS=@1 return=@2 code=@3

[和文] DB 障害通知処理でエラーが発生しました。DSTATUS=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] DB 障害通知処理に失敗した。

@ 1 : 詳細ステータス

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ (DINCMxxx) を参照してエラーに対処する。

[関連]

DIDTD350

E

[英文] Control DB error is detected.

[和文] 制御 DB 障害を検出しました。

[説明] 制御 DB 障害を検出した。

[処置] 直前に出力されているメッセージに対処する。

[関連] DIDTD330

DIDTD351

E

[英文] Partition does not exist. TABLE=@1 PARTITION=@2 return=@3 code=@4

[和文] パーティションが存在しません。 TABLE=@ 1 PARTITION=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] パーティションが存在しない

@ 1 : テーブル名

@ 2 : パーティション名

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] プールファイル作成時に指定したパーティション名、およびパーティション ID を確認し、正しく指定されているか確認する。誤っていた場合、テーブルを再作成して定義生成(didltcreate)を実行する必要がある。

[関連]

DIDTD352

E

[英文] DB inconsistency is detected. TABLE=@1 ERRINFO1=@2 ERRINFO2=@3 ERRINFO3=@4 ERRINFO4=@5
ERRINFO5=@6 ERRINFO6=@7 DETCODE=@8 sqlcode=@9 code=@10

[和文] DB 矛盾を検出しました。 TABLE=@ 1 ERRINFO1=@ 2 ERRINFO2=@ 3 ERRINFO3=@ 4 ERRINFO4=@ 5
ERRINFO5=@ 6 ERRINFO6=@ 7 DETCODE=@ 8 sqlcode=@ 9 code=@ 10

[説明] DB 矛盾を検出した。

@ 1 : テーブル名

@ 2 ~ @ 7 : エラー情報

@ 8 : 詳細コード

@ 9 : sqlcode

@ 10 : 内部コード

[処置] 定義生成(didltcreate)を実行し、制御 DB を再作成する。

[関連]

DIDTD353

E

[英文] Failed to get LogData. TABLE=@1 SPST=@2 DIVID=@3 STACK=@4 DATANO=@5 DETCODE=@6 sqlcode=@7 code=@8

[和文] ログデータ取得処理でエラーが発生しました。 TABLE=@ 1 SPST=@ 2 DIVID=@ 3 STACK=@ 4 DATANO=@ 5 DETCODE=@ 6 sqlcode=@ 7 code=@ 8

[説明] ログデータ取得処理に失敗した。

@ 1 : テーブル名

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : デイビジョン ID

@ 4 : スタック ID

@ 5 : データ通番

@ 6 : 詳細コード

@ 7 : sqlcode

@ 8 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDTD360

I

[英文] Pool file has been swapped. SPST=@1 FROM=@2 TO=@3

[和文] プールファイルがスワップしました。 SPST=@ 1 FROM=@ 2 TO=@ 3

[説明] プールファイルがスワップした。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : スワップ元スタック ID

@ 3 : スワップ先スタック ID

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTD361

W

[英文] A few stack files are remaining. SPST=@1 STACKNUM=@2

[和文] プールファイルの空きスタック数が残りわずかになりました。 SPST=@ 1 STACKNUM=@ 2

[説明] プールファイルの空きスタック数がSTACKNUMに表示されている数になった。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : 空きスタック数

[処置] 何らかの原因でスーパーストリームの処理が滞留している場合、オーバーフロー前にエラー原因を取り除く必要がある。一部ユニットの処理遅延が原因の場合、該当ユニットを無効化することで、残りのユニットの運用は継続することが可能である。

[関連] DIDTD362

DIDTD362

E

[英文] Pool file has overflowed. SPST=@1

[和文] プールファイルがオーバーフローしました。 SPST=@ 1

[説明] プールファイルがオーバーフローした。

@ 1 : スーパーストリーム名

[処置] ユニットの処理が滞留した原因を取り除く。滞留が解消されれば、プールファイルが初期化され、書き込み処理再開可能となる。

複数ユニットが定義されているスーパーストリームの場合、滞留の原因となっているユニットが長期障害の場合は、該当ユニットを無効化することで、無効化したユニットの未処理データは削除可能となり、残りのユニットの処理を継続することが可能である。

[関連]

DIDTD363

E

[英文] Pool file error is detected. SPST=@1 PARTITION=@2

[和文] プールファイル障害を検出しました。 SPST=@ 1 PARTITION=@ 2

[説明] プールファイル障害を検出した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : パーティション ID

[処置] 直前に出力されているメッセージに対処する。

[関連] DIDTD330

DIDTD364

E

[英文] Failed to initialize pool file. SPST=@1 PARTITION=@2

[和文] プールファイルの初期化処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 PARTITION=@ 2

[説明] プールファイルの初期化に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : パーティション ID

[処置] 直前に出力されているプールファイル初期化に関するメッセージに対処する。

[関連]

DIDTD370

E

[英文] Swap failed because next stack file has not been initialized. SPST=@1 USEDSTATUS=@2

[和文] スワップ先のスタックファイルが未初期化のためスワップできません。 SPST=@ 1 USEDSTATUS=@ 2

[説明] スワップ先のスタックファイルが初期化済みでないため、スワップできなかった。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : スタックの状態

FREE : 初期化可能

INITING : 初期化中

[処置] 削除デーモンが起動している場合、次の削除処理実行で初期化される。早急に初期化を実行したい場合は削除コマンドを実行する。削除デーモン(didltpooldeId)から初期化処理実行に関するエラーが出力されている場合は、そのエラーメッセージに対処する。

また、現在の設定では削除デーモンの削除処理が間に合っていない可能性があるため、削除間隔、削除スタック数の定義を見直す。

[関連]

DIDTD371

I

[英文] Stack file has been initialized. SPST=@1 STACK=@2

[和文] スタックファイルの初期化に成功しました。 SPST=@ 1 STACK=@ 2

[説明] スタックファイルの初期化に成功した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : スタック ID

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTD400

E

[英文] Failed to connect to In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバとの接続処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバとの接続に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTD401

E

[英文] Failed to disconnect from In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバとの切断処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバとの切断に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTD410

E

[英文] Failed to open In-Memory data search context. return=@1 code=@2

[和文] In-Memory Data 検索コンテキストのオープン処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] In-Memory Data 検索用のコンテキストオープンに失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTD411

E

[英文] Failed to close In-Memory data search context. return=@1 code=@2

[和文] In-Memory Data 検索コンテキストのクローズ処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] In-Memory Data 検索用のコンテキストクローズに失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTD412

E

[英文] Failed to set MAP ID. MAPID=@1 return=@2 code=@3

[和文] MAP 宣言処理でエラーが発生しました。MAPID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] MAP 宣言処理に失敗した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTD413

E

[英文] Failed to set search key of In-Memory data search context. return=@1 code=@2

[和文] In-Memory Data 検索条件設定処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] In-Memory Data 検索条件設定に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTD416

E

[英文] Failed to get physical table name. TABLE=@1 MAPID=@2 return=@3 code=@4

[和文] 物理表名取得処理でエラーが発生しました。 TABLE=@ 1 MAPID=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 論理表名から物理表名を取得する処理に失敗した。

@ 1 : 論理表名

@ 2 : MAPID

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されている IMS に関するエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDTD420

E

[英文] Failed in commit function of In-Memory server. MAPID=@1 return=@2 code=@3

[和文] インメモリサーバのコミット処理でエラーが発生しました。 MAPID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリサーバのコミットに失敗した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTD421

E

[英文] Failed in rollback function of In-Memory server. MAPID=@1 return=@2 code=@3

[和文] インメモリサーバのロールバック処理でエラーが発生しました。 MAPID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリサーバのロールバックに失敗した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTD423

E

[英文] Deadlock is detected. SPST=@1 TABLE=@2 code=@3

[和文] デッドロックを検出しました。 SPST=@ 1 TABLE=@ 2 code=@ 3

[説明] デッドロックを検出した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : テーブル名

@ 3 : 内部コード

[処置] エラーとなった処理がある場合、再実行する。

[関連]

DIDTD430

E

[英文] Failed in access function to In-Memory data. MAPID=@1 TABLE=@2 FUNC=@3 return=@4 code=@5

[和文] In-Memory Data へのアクセスでエラーが発生しました。 MAPID=@ 1 TABLE=@ 2 FUNC=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] インメモリデータへのアクセスに失敗した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : 論理表名

@ 3 : アクセス種別

READ1 : 1 件読み込み

READ : 複数件読み込み

WRITE : 挿入

REWRITE : 更新

DELETE : 削除

DELETEx1 : キー指定削除

TRUNCATE : テーブル初期化

@ 4 : リターンコード

@ 5 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTD440

E

[英文] Failed to get logical table ID. TABLE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 論理表 ID の取得処理でエラーが発生しました。 TABLE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 論理表 ID 取得に失敗した。

@ 1 : 論理表名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 論理表がインメモリサーバ機能に正しく定義されていない場合、定義を更新する。

また、これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTD442

E

[英文] Failed to get record size. MAPID=@1 TABLE=@2 return=@3 code=@4

[和文] レコードサイズ取得処理でエラーが発生しました。 MAPID=@ 1 TABLE=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 可変長レコードの分割サイズ取得に失敗した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : 論理表名

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているインメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDTD450

E

[英文] Control DB error is detected.

[和文] 制御 DB 障害を検出しました。

[説明] 制御 DB 障害を検出した。

[処置] 直前に出力されているメッセージに対処する。

[関連] DIDTD430

DIDTD451

E

[英文] DB inconsistency is detected. MAPID=@1 TABLE=@2 ERRINFO1=@3 ERRINFO2=@4 ERRINFO3=@5 ERRINFO4=@6
ERRINFO5=@7 ERRINFO6=@8 code=@9

[和文] DB 矛盾を検出しました。 MAPID=@ 1 TABLE=@ 2 ERRINFO1=@ 3 ERRINFO2=@ 4 ERRINFO3=@ 5
ERRINFO4=@ 6 ERRINFO5=@ 7 ERRINFO6=@ 8 code=@ 9

[説明] DB 矛盾を検出した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : 論理表名

@ 3 ~ @ 8 : エラー情報

@ 9 : 内部コード

[処置] 定義生成(didltcreate)を実行し、制御 DB を再作成する。

[関連]

DIDTD452

E

[英文] Failed to get LogData. MAPID=@1 TABLE=@2 SPST=@3 DIVID=@4 STACK=@5 DATANO=@6 code=@7

[和文] ログデータ取得処理でエラーが発生しました。 MAPID=@ 1 TABLE=@ 2 SPST=@ 3 DIVID=@ 4 STACK=@ 5 DATANO=@ 6 code=@ 7

[説明] ログデータ取得処理に失敗した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : 論理表名

@ 3 : スーパーストリーム名

@ 4 : ディビジョン ID

@ 5 : スタック ID

@ 6 : データ通番

@ 7 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDTD460

I

[英文] Pool file has been swapped. SPST=@1 FROM=@2 TO=@3

[和文] プールファイルがスワップしました。 SPST=@ 1 FROM=@ 2 TO=@ 3

[説明] プールファイルがスワップした。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : スワップ元スタック ID

@ 3 : スワップ先スタック ID

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTD461

W

[英文] A few stack files are remaining. SPST=@1 STACKNUM=@2

[和文] プールファイルの空きスタック数に残りわずかになりました。 SPST=@ 1 STACKNUM=@ 2

[説明] プールファイルの空きスタック数がSTACKNUMに表示されている数になった。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : 空きスタック数

[処置] 何らかの原因でスーパーストリームの処理が滞留している場合、オーバーフロー前にエラー原因を取り除く必要がある。一部ユニットの処理遅延が原因の場合、該当ユニットを無効化することで、残りのユニットの運用は継続することが可能である。

[関連] DIDTD462

DIDTD462

E

[英文] Pool file has overflowed. SPST=@1

[和文] プールファイルがオーバーフローしました。 SPST=@ 1

[説明] プールファイルがオーバーフローした。

@ 1 : スーパーストリーム名

[処置] ユニットの処理が滞留した原因を取り除く。滞留が解消されれば、プールファイルが初期化され、書き込み処理再開可能となる。

複数ユニットが定義されているスーパーストリームの場合、滞留の原因となっているユニットが長期障害の場合は、該当ユニットを無効化することで、無効化したユニットの未処理データは削除可能となり、残りのユニットの処理を継続することが可能である。

[関連]

DIDTD463

E

[英文] Pool file error is detected. SPST=@1 MAPID=@2 TABLE=@3

[和文] プールファイル障害を検出しました。 SPST=@ 1 MAPID=@ 2 TABLE=@ 3

[説明] プールファイル障害を検出した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : MAPID

@ 3 : 論理表名

[処置] 直前に出力されているメッセージに対処する。

[関連] DIDTD430

DIDTD464

E

[英文] Failed to initialize pool file. SPST=@1 MAPID=@2 TABLE=@3

[和文] プールファイルの初期化処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 MAPID=@ 2 TABLE=@ 3

[説明] プールファイルの初期化に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : MAPID

@ 3 : 論理表名

[処置] 直前に出力されているプールファイル初期化に関するメッセージに対処する。

[関連]

DIDTD470

E

[英文] Swap failed because next stack file has not been initialized. SPST=@1 USEDSTATUS=@2

[和文] スワップ先のスタックファイルが未初期化のためスワップできません。 SPST=@ 1 USEDSTATUS=@ 2

[説明] スワップ先のスタックファイルが初期化済みでないため、スワップできなかった。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : スタックの状態

FREE : 初期化可能

INITING : 初期化中

[処置] 削除デーモンが起動している場合、次の削除処理実行で初期化される。早急に初期化を実行したい場合は削除コマンドを実行する。削除デーモン(didltpooldeId)から初期化処理実行に関するエラーが出力されている場合は、そのエラーメッセージに対処する。

また、現在の設定では削除デーモンの削除処理が間に合っていない可能性があるため、削除間隔、削除スタック数の定義を見直す。

[関連]

DIDTD471

I

[英文] Stack file has been initialized. SPST=@1 STACK=@2

[和文] スタックファイルの初期化に成功しました。 SPST=@ 1 STACK=@ 2

[説明] スタックファイルの初期化に成功した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : スタック ID

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTD600

E

[英文] Failed to decompress data. return=@1 ZLIBRET=@2 code=@3

[和文] データ解凍処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 ZLIBRET=@ 2 code=@ 3

[説明] データ解凍処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 解凍処理リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTD601

E

[英文] Failed to compress data. return=@1 ZLIBRET=@2 code=@3

[和文] データ圧縮処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 ZLIBRET=@ 2 code=@ 3

[説明] データ圧縮処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 圧縮処理リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTD610

I

[英文] Switched division ID. SPST=@1 DIVID=@2

[和文] デイビジョンを切り替えました。 SPST=@ 1 DIVID=@ 2

[説明] デイビジョンを切り替えた。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : 切り替え後デイビジョン ID

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTD611

W

[英文] Division ID has reached maximum value. SPST=@1 DIVID=@2

[和文] デイビジョンが最大値に達しました。 SPST=@ 1 DIVID=@ 2

[説明] デイビジョン ID が最大値になったため、これ以降のログデータ書き込みはエラーとなる。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : デイビジョン ID

[処置] スーパーストリーム指定の定義生成を実行し、デイビジョン ID をリセットする。

[関連]

DIDTD612

E

[英文] Division ID has reached maximum value. SPST=@1 DIVID=@2

[和文] ディビジョンが最大値に達しました。 SPST=@ 1 DIVID=@ 2

[説明] ディビジョン ID が最大値のため、ログデータが書き込めない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ディビジョン ID

[処置] スーパーストリーム指定の定義生成を実行し、ディビジョン ID をリセットする。

[関連]

DIDTD613

E

[英文] Cannot switch division ID of maximum value. SPST=@1 DIVID=@2

[和文] ディビジョンが最大値に達したため、ディビジョン切替を行うことはできません。 SPST=@ 1 DIVID=@ 2

[説明] ディビジョン ID が最大値のため、これ以上ディビジョン切替を実施することができない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ディビジョン ID

[処置] スーパーストリーム指定の定義生成を実行し、ディビジョン ID をリセットする。

[関連]

DIDTD614

E

[英文] Cannot switch division ID because of pool file overflow. SPST=@1 return=@2 code=@3

[和文] プールファイルのスワップができないため、ディビジョン切替を行うことはできません。 SPST=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] スワップ先のスタックが初期化済みでないため、ディビジョン切替をおこなうことができない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 未処理データが滞留しているユニットを特定し、エラー原因を取り除く。原因が解消したら削除デーモンによりスタックが初期化されるが、早急に初期化したい場合はログデータ削除コマンドを実行し、未初期化だったスタックを初期化後、ディビジョン切替処理をおこなう。

[関連]

DIDTD620

E

[英文] Failed to get finish number. SPST=@1 UNIT=@2 return=@3 code=@4

[和文] 処理済み通番の取得に失敗しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 処理済み通番の取得に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDTD621

E

[英文] Failed to delete LogData. SPST=@1

[和文] ログデータ削除処理に失敗しました。 SPST=@ 1

[説明] ログデータ削除処理に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDTD622

E

[英文] Failed to access control DB.

[和文] 制御 DB にアクセスできません。

[説明] コマンドに指定したスーパーストリームのアクセス先 DB に、削除デーモンが接続できない。

[処置] DB アクセス障害に関するエラーメッセージが出力されていないか確認し、エラーメッセージに対処後、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTD630

W

[英文] Stack management table is not made.

[和文] スタック管理テーブルが作成されていません。

[説明] ディレード起動時に定義生成未完了、または前回起動時に未作成だった共有メモリを引き継いだため、スタック管理テーブルが作成されていない。

[処置] 定義生成が実行されている場合、定義反映を実行するか、ディレード転送機能を「-M create」指定で再起動するかして、スタック管理テーブルを作成する。

[関連]

DIDTD640

E

[英文] Not enough condition to change parameter. SPST=@1 DIVID=@2 FIXNO=@3 USERFIXNO=@4 PUTNO=@5 USERPUTNO=@6

[和文] 動作変更の受付条件を満たしていません。 SPST=@ 1 DIVID=@ 2 FIXNO=@ 3 USERFIXNO=@ 4 PUTNO=@ 5 USERPUTNO=@ 6

[説明] ディビジョン ID、通番が初期状態ではないため、動作変更処理に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ディビジョン ID

@ 3 : 確定通番

@ 4 : 確定ユーザ通番

@ 5 : 最大登録通番

@ 6 : 最大登録ユーザ通番

[処置] 通番変更は、定義生成直後のみ実行可能であるため、定義生成を実行してからコマンドを再実行する。

[関連]

DIDTD650

I

[英文] Status is already blocked. SPST=@1

[和文] 既に無効状態です。 SPST=@ 1

[説明] 無効化対象のスーパーstreamは既に無効状態である。

@ 1 : スーパーストリーム名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTD651

I

[英文] Status is already active. SPST=@1

[和文] 既に有効状態です。 SPST=@ 1

[説明] 無効化解除対象のスーパーストリームは既に有効状態である。

@ 1 : スーパーストリーム名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTD652

I

[英文] Status is already blocked. SPST=@1 UNIT=@2

[和文] 既に無効状態です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2

[説明] 無効化対象のユニットは既に無効状態である。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTD653

I

[英文] Status is already active. SPST=@1 UNIT=@2

[和文] 既に有効状態です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2

[説明] 無効化解除対象のユニットは既に有効状態である。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTD654

I

[英文] Superstream is effective in part. SPST=@1

[和文] スーパーストリームは一部有効な状態です。 SPST=@ 1

[説明] スーパーストリームの無効化状態に不整合が検出された。

@ 1 : スーパーストリーム名

[処置] コマンド完了後は、指定された無効化状態に変更されるため、必要なし。

[関連]

DIDTD700

E

[英文] Alias name is changed. SPST=@1 SG_VALUE=@2 DB_VALUE=@3 code=@4

[和文] エイリアス名が変更されています。 SPST=@ 1 SG_VALUE=@ 2 DB_VALUE=@ 3 code=@ 4

[説明] スーパーストリームのエイリアス名を変更しているため、定義変更できない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : 環境定義ファイルの値

@ 3 : 現在の定義値

@ 4 : 内部コード

[処置] 現在の定義値に修正にしてから定義変更を再実行する。

[関連]

DIDTDE00

E

[英文] Logical error occurred. ERRTYPE=[@1] ERRINFO1=@2 ERRINFO2=@3 return=@4 code=@5

[和文] 論理エラーが発生しました。 ERRTYPE=[@ 1] ERRINFO1=@ 2 ERRINFO2=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] 論理エラーが発生した。

@ 1 : エラー種別

@ 2 : エラー情報

@ 3 : エラー情報

@ 4 : リターンコード

@ 5 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTDE01

E

[英文] Received illegal message. MSGERR=@1 VALUE=@2 code=@3

[和文] 不正な電文を受信しました。MSGERR=@ 1 VALUE=@ 2 code=@ 3

[説明] 不正な電文を受信した。

@ 1 : エラー識別情報

@ 2 : エラー情報

@ 3 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTDE02

E

[英文] Illegal event occurred. EVENT=@1 code=@2

[和文] 不正なイベント事象が発生しました。EVENT=@ 1 code=@ 2

[説明] 不正なイベントが発生した。

@ 1 : エラー識別情報

@ 2 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTDE03

E

[英文] Failed to get table address. TABLE=@1 return=@2 code=@3

[和文] テーブルの取得でエラーが発生しました。TABLE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリアクセスに失敗した。

@ 1 : テーブル名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTDE04

E

[英文] Failed to allocate table. TABLE=@1 return=@2 code=@3

[和文] テーブルの確保でエラーが発生しました。 TABLE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリ更新処理でエラーが発生した。

@ 1 : テーブル名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTDE05

E

[英文] Failed to get control information of delayed transfer. INF0=@1 return=@2 code=@3

[和文] ディレード転送制御情報の取得に失敗しました。 INF0=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ディレード転送の制御情報取得に失敗した。

@ 1 : 識別情報

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

2.12 DIDTL 系

DIDTL000

I

[英文] LogReader function started.

[和文] ログリーダー機能を開始しました。

[説明] ログリーダー機能を開始した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL002

I

[英文] LogReader function terminated.

[和文] ログリーダー機能を終了しました。

[説明] ログリーダー機能を終了した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL010

I

[英文] Command started. INPUT=[@1]

[和文] コマンドを開始しました。 INPUT=[@ 1]

[説明] コマンドの処理を開始した。

@ 1 : 実行したコマンドとパラメータ

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL011

I

[英文] Command terminated normally.

[和文] コマンドが正常終了しました。

[説明] コマンドが正常終了した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL012

I

- [英文] Command terminated normally. SUCCESS=@1
- [和文] コマンドが正常終了しました。 SUCCESS=@ 1
- [説明] コマンドが正常終了した。
@ 1 : 正常終了数
- [処置] 必要なし。
- [関連]

DIDTL013

E

- [英文] Command aborted.
- [和文] コマンドが異常終了しました。
- [説明] コマンドが異常終了した。
- [処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、コマンドを再実行する。
- [関連]

DIDTL014

E

- [英文] Command aborted. ABNORMAL=@1
- [和文] コマンドが異常終了しました。 ABNORMAL=@ 1
- [説明] コマンドが異常終了した。
@ 1 : 異常終了数
- [処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、コマンドを再実行する。
- [関連]

DIDTL015

W

- [英文] Command terminated with warning. SUCCESS=@1 ABNORMAL=@2
- [和文] コマンドが警告終了しました。 SUCCESS=@ 1 ABNORMAL=@ 2
- [説明] コマンド処理対象の一部は正常終了したが、一部が異常終了した。
@ 1 : 正常終了数
@ 2 : 異常終了数
- [処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、コマンドを再実行する。
- [関連]

DIDTL016

I

[英文] Request from command has been accepted. COMMAND=@1

[和文] コマンドからの処理要求を受け付けました。COMMAND=@ 1

[説明] コマンドからの処理要求を受信した。

@ 1 : 受信した要求

DMNTERM : デーモン停止要求(通常モード)

DMNTERM(STOP) : デーモン停止要求(停止モード)

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL018

W

[英文] Command terminated with warning.

[和文] コマンドが警告終了しました。

[説明] コマンドが警告終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージを確認し、必要なら対処する。メッセージを出力したコマンドの再実行は不要。

[関連]

DIDTL020

I

[英文] LogReader daemon started. DMNTYPE=@1

[和文] ログリーダデーモンを起動しました。DMNTYPE=@ 1

[説明] デーモンを起動した。

@ 1 : デーモン種別

MNG : 管理デーモン

EXEC : 実行デーモン

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL021

E

[英文] LogReader daemon aborted. DMNTYPE=@1

[和文] ログリーダデーモンを異常停止します。 DMNTYPE=@ 1

[説明] デーモンが異常停止した。

@ 1 : デーモン種別

MNG : 管理デーモン

[処置] 直前に出力されている異常終了の原因となったエラーメッセージに対処する。デーモンは死活監視機能によって再起動されるため、再起動の必要はないが、死活監視機能による再起動がリトライオーバーした場合は、デーモン起動コマンド(didltctrl)で再起動する必要がある。

[関連]

DIDTL022

I

[英文] LogReader daemon stopped. DMNTYPE=@1

[和文] ログリーダデーモンを停止します。 DMNTYPE=@ 1

[説明] デーモンが停止した。

@ 1 : デーモン種別

MNG : 管理デーモン

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL023

I

[英文] LogReader daemon termination has finished.

[和文] ログリーダデーモン終了処理が完了しました。

[説明] デーモン終了処理が完了した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL024

E

[英文] Failed to initialize LogReader daemon. DMNTYPE=@1 code=@2

[和文] ログリーダーデーモン初期化処理でエラーが発生しました。 DMNTYPE=@ 1 code=@ 2

[説明] デーモン初期化処理でエラーが発生した。

@ 1 : デーモン種別

MNG : 管理デーモン

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、デーモンを再起動する。

[関連]

DIDTL025

E

[英文] Failed to terminate LogReader daemon. DMNTYPE=@1 code=@2

[和文] ログリーダーデーモン終了処理でエラーが発生しました。 DMNTYPE=@ 1 code=@ 2

[説明] ログリーダーのデーモン終了に失敗した。

@ 1 : デーモン種別

MNG : 管理デーモン

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、停止処理を再実行する。

[関連]

DIDTL026

E

[英文] Failed to start LogReader daemon. DMNTYPE=@1 PID=@2 SPST=@3 UNIT=@4 return=@5 code=@6

[和文] ログリーダーデーモンの起動に失敗しました。 DMNTYPE=@ 1 PID=@ 2 SPST=@ 3 UNIT=@ 4 return=@ 5 code=@ 6

[説明] ログリーダーデーモンの起動に失敗した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : プロセス ID

@ 3 : スーパーストリーム名

@ 4 : ユニット名

@ 5 : リターンコード

@ 6 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。管理デーモンによる再起動がリトライオーバーしている場合、デーモン起動コマンド(didtlctrl)を実行し、デーモンを再起動する。

[関連]

DIDTL027

E

[英文] Failed to stop LogReader daemon. DMNTYPE=@1 PID=@2 SPST=@3 UNIT=@4 return=@5 code=@6

[和文] ログリーダーデーモンの停止に失敗しました。DMNTYPE=@ 1 PID=@ 2 SPST=@ 3 UNIT=@ 4 return=@ 5
code=@ 6

[説明] デーモンの停止に失敗した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : プロセス ID

@ 3 : スーパーストリーム名

@ 4 : ユニット名

@ 5 : リターンコード

@ 6 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。メッセージ出力後管理デーモンが停止している場合、ログリーダー実行デーモン(didtlxecd)が残っていないか確認し、起動している場合は強制停止する。管理デーモンの停止がエラーになっている場合は、対処後に停止コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTL028

E

[英文] Process stop of LogReader daemon is detected. DMNTYPE=@1 SPST=@2 UNIT=@3

[和文] ログリーダーデーモンの停止を検出しました。DMNTYPE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3

[説明] デーモンプロセスの停止を検出した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

[処置] 停止の原因となっているエラーに対処する。停止したデーモンは管理デーモンによって再起動されるが、再起動がリトライオーバーしている場合、デーモン起動コマンド(didtlctrl)を実行する。

[関連]

DIDTL029

I

[英文] Stop restarting daemon because retry count of restart overflowed. DMNTYPE=@1 SPST=@2 UNIT=@3

[和文] リトライ回数を越えたためデーモンの再起動を中止します。 DMNTYPE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3

[説明] 規定時間内のリトライ回数が上限値をオーバーしたため、再起動を中止した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

[処置] 停止の原因となっているエラーに対処後、デーモン起動コマンド(didtlctrl)を実行する。

[関連]

DIDTL030

I

[英文] LogReader daemon started. DMNTYPE=@1 SPST=@2 UNIT=@3

[和文] ログリーダデーモンを起動しました。 DMNTYPE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3

[説明] デーモンが起動した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL031

E

[英文] LogReader daemon aborted. DMNTYPE=@1 SPST=@2 UNIT=@3

[和文] ログリーダデーモンを異常停止します。 DMNTYPE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3

[説明] デーモンが異常停止した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

[処置] 直前に出力されている異常終了の原因となったエラーメッセージに対処する。デーモンは管理デーモンによって再起動されるため、再起動の必要はないが、再起動がリトライオーバーした場合は、デーモン起動コマンド(didtlctrl)で再起動する必要がある。

[関連]

DIDTL032

I

[英文] LogReader daemon stopped. DMNTYPE=@1 SPST=@2 UNIT=@3

[和文] ログリーダーデーモンを停止します。 DMNTYPE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3

[説明] デーモンが停止した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL034

E

[英文] Failed to initialize LogReader daemon. DMNTYPE=@1 SPST=@2 UNIT=@3 code=@4

[和文] ログリーダーデーモン初期化処理でエラーが発生しました。 DMNTYPE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3 code=@ 4

[説明] デーモン初期化処理でエラーが発生した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されている異常終了の原因となったエラーメッセージに対処する。デーモンは管理デーモンによって再起動されるため、再起動の必要はないが、再起動がリトライオーバーした場合は、デーモン起動コマンド(didtlctrl)で再起動する必要がある。

[関連]

DIDTL035

E

[英文] Failed to terminate LogReader daemon. DMNTYPE=@1 SPST=@2 UNIT=@3 code=@4

[和文] ログリーダーデーモン終了処理でエラーが発生しました。 DMNTYPE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3 code=@ 4

[説明] デーモン終了処理でエラーが発生した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーに対処後、停止コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTL036

I

[英文] Daemon stop request accepted. MODE=@1 DMNTYPE=@2 SPST=@3 UNIT=@4

[和文] デーモン停止要求を受け付けました。 MODE=@ 1 DMNTYPE=@ 2 SPST=@ 3 UNIT=@ 4

[説明] デーモン停止要求を受信した。

@ 1 : 停止処理モード

NORMAL : 通常モード

STOP : 停止モード

@ 2 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 3 : スーパーストリーム名

@ 4 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL054

I

[英文] Operation has been done already.

[和文] 既に実行済みです。

[説明] 要求された処理は実行済みであった。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL055

I

[英文] Operation has been done already. COMMAND=@1 SPST=@2 UNIT=@3

[和文] 既に実行済みです。COMMAND=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3

[説明] 要求された処理は実行済みであった。

@ 1 : コマンド処理種別

START : 処理開始

STOP : 処理停止

DIVEND : 強制ディビジョン終了

CTRL (EXEC) : デーモン起動

CTRL (TERM) : デーモン停止

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL060

E

[英文] Specified object does not exist. RSCTYPE=@1 RSCNAME1=@2 RSCNAME2=@3

[和文] 処理対象が存在しません。RSCTYPE=@ 1 RSCNAME1=@ 2 RSCNAME2=@ 3

[説明] コマンドで指定された処理対象が定義されていない。

@ 1 : 処理対象の種別

SPST : スーパーストリーム

UNIT : ユニット

STRM : ストリーム

@ 2 : 指定対象名

@ 3 : 指定対象名

[処置] コマンドの指定と、環境定義の内容から、誤った指定をしていないか確認する。

[関連]

DIDTL061

W

[英文] Specified object does not exist. RSCTYPE=@1 RSCNAME1=@2 RSCNAME2=@3

[和文] 処理対象が存在しません。 RSCTYPE=@ 1 RSCNAME1=@ 2 RSCNAME2=@ 3

[説明] コマンドで指定された処理対象が定義されていない。

@ 1 : 処理対象の種別

SPST : スーパーストリーム

UNIT : ユニット

STRM : ストリーム

@ 2 : 指定対象名

@ 3 : 指定対象名

[処置] コマンドの指定と、環境定義の内容から、誤った指定をしていないか確認する。

[関連]

DIDTL070

E

[英文] Delayed transfer has not been started.

[和文] ディレード転送が起動されていません。

[説明] ディレード転送が起動されていない。

[処置] ディレード起動コマンド(didltinit)を実行する。

[関連]

DIDTL072

E

[英文] LogReader function has not been started.

[和文] ログリーダー機能が開始していません。

[説明] ログリーダー機能が開始していない。

[処置] ログリーダー機能開始コマンド(didtlinit)を実行する。

[関連]

DIDTL076

E

[英文] Control DB of delayed transfer has not been created. SPST=@1 code=@2

[和文] 定義生成が実行されていません。 SPST=@ 1 code=@ 2

[説明] スーパーストリームの定義生成が完了していない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : 内部コード

[処置] 定義生成、またはスーパーストリーム指定の定義生成(didltcreate)を実行する。

[関連]

DIDTL080

E

[英文] Cannot execute on this logical node.

[和文] この論理ノードでは実行できません。

[説明] 該当論理ノードで実行できないコマンドを実行した。

[処置] データベース製品のインストール状況や、ディレード転送機能の環境定義等を確認し、コマンド実行可能な論理ノード上で再実行する。

[関連]

DIDTL082

E

[英文] SuperStream is under maintenance. SPST=@1 MTNSTATUS=@2 code=@3

[和文] スーパーストリームがメンテナンス中です。 SPST=@ 1 MTNSTATUS=@ 2 code=@ 3

[説明] スーパーストリームに対する運用コマンドが異常終了した状態のため、処理を受け付けられない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : メンテナンス状態

CREATE : 定義生成中

UPDATE : 定義変更中

@ 3 : 内部コード

[処置] エラーとなった運用コマンドの処理を正常終了させてから、処理を再実行する。

[関連]

DIDTL083

E

[英文] Delayed transfer is under maintenance. MTNSTATUS=@1 code=@2

[和文] メンテナンス中です。 MTNSTATUS=@ 1 code=@ 2

[説明] 運用コマンドが異常終了した状態のため、処理を受け付けられない。

@ 1 : メンテナンス状態

CREATE : 定義生成中

UPDATE : 定義変更中

@ 2 : 内部コード

[処置] エラーとなった運用コマンドの処理を正常終了させてから、処理を再実行する。

[関連]

DIDTL085

E

[英文] SuperStream or Unit is blocked. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] スーパーストリーム、またはユニットが無効状態です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] スーパーストリーム、またはユニットが無効状態のため、処理を受け付けられない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] 無効化状態を確認し、無効化解除後にコマンドを再実行する。

[関連]

DIDTL090

I

[英文] Processing target does not exist on this logical node.

[和文] この論理ノードでは動作対象が存在しません。

[説明] 該当論理ノードで動作するスーパーストリームが存在しなかった。

[処置] スーパーストリームの動作ノードを確認し、動作中ノードでコマンドを再実行する。

[関連]

DIDTL091

E

[英文] Superstream is running on the other node. SPST=@1 UNIT=@2

[和文] 他ノードで動作中です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2

[説明] 指定されたスーパーストリームは他ノードで動作中のため、処理を実行できなかった。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

[処置] スーパーストリームの動作ノードを確認し、動作中ノードでコマンドを再実行する。

[関連]

DIDTL092

E

[英文] Daemon is stopped. SPST=@1 UNIT=@2 TRBLSTATUS=@3

[和文] 実行デーモンが停止しています。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 TRBLSTATUS=@ 3

[説明] 実行デーモンが停止中のため、処理要求を実行できなかった。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 停止ステータス

NONE : コマンドによる停止

DBTROUBLE : DB 障害検出

SWITCH : マスタ切替検出

DUPLICATE : 2 重起動検出

NORECORD : 制御レコードなし

RETRYOVER : 再起動リトライオーバー

OTHER : その他

[処置] ステータスから停止原因を取り除き、デーモン再起動後にコマンドを再実行する。

[関連]

DIDTL093

E

[英文] Cannot execute command because execution daemon is terminating.

[和文] 実行デーモンが停止処理中のため受け付けられません。

[説明] 実行デーモンを停止中のため、処理要求を実行できなかった。

[処置] ログリーダー機能終了処理中の場合、終了処理完了後に開始処理を実行し、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTL094

E

[英文] Cannot execute command because management daemon is not active. DMNSTATUS=@1

[和文] 管理デーモンが起動状態ではないため受け付けられません。 DMNSTATUS=@ 1

[説明] 管理デーモンが起動中でないため、処理要求を受け付けられなかった。

@ 1 : デーモンステータス

TERM : 停止状態

ACTING : 起動処理中

TERMINATING : 停止処理中

[処置] 管理デーモンがエラーで起動できていない場合、エラー原因を取り除き、管理デーモンを起動してからコマンドを再実行する。

[関連]

DIDTL095

I

[英文] All Unit is blocked. SPST=@1

[和文] 全ユニットが無効状態です。 SPST=@ 1

[説明] 対象のスーパーストリームの全ユニットが無効のため、処理要求を受け付けられなかった。

@ 1 : スーパーストリーム名

[処置] ユニットの無効を解除してからコマンドを再実行する。

[関連]

DIDTL100

E

[英文] System call failed. FUNC=@1 errno=@2 return=@3 code=@4

[和文] システムコールエラーが発生しました。 FUNC=@ 1 errno=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] システムコールエラーが発生した。

@ 1 : システムコール名

@ 2 : UNIX の errno

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] OS のマニュアルなどから、関数、errno に対する情報を参照してエラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTL101

E

[英文] Failed to get process information. PID=@1 return=@2 code=@3

[和文] プロセス情報の取得でエラーが発生しました。 PID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] プロセス情報の取得に失敗した。

@ 1 : プロセス ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから原因を調査し、エラー原因を取り除く。

[関連]

DIDTL103

E

[英文] Failed to get current time. errno=@1 code=@2

[和文] 現在時刻の取得でエラーが発生しました。 errno=@ 1 code=@ 2

[説明] 現在時刻の取得に失敗した。

@ 1 : UNIX の errno

@ 2 : 内部コード

[処置] コマンドの場合は再実行する。デーモンが出力して再起動していない場合は、デーモンを再起動する。

[関連]

DIDTL105

E

[英文] Failed to get performance information. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 性能情報の取得に失敗しました。 FUNC=@ 1 errno=@ 2 code=@ 3

[説明] 性能情報取得に失敗した。

@ 1 : 呼び出し関数名

@ 2 : UNIX の errno

@ 3 : 内部コード

[処置] 呼び出し関数と errno の情報からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL110

E

[英文] Failed to lock. LOCKTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] ロック処理でエラーが発生しました。 LOCKTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ロック処理に失敗した。

@ 1 : ロック種別

LNODE : 論理ノード内ロック

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているロック処理に関するエラーメッセージから原因を調査し、エラー原因を取り除く。

[関連]

DIDTL111

E

[英文] Failed to unlock. LOCKTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] アンロック処理でエラーが発生しました。 LOCKTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] アンロック処理に失敗した。

@ 1 : ロック種別

LNODE : 論理ノード内ロック

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているロック処理に関するエラーメッセージから原因を調査し、エラー原因を取り除く。

[関連]

DIDTL113

E

[英文] Failed to block signal. return=@1 code=@2

[和文] シグナルのブロックでエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] シグナルのブロック処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDTL114

E

[英文] Failed to unblock signal. return=@1 code=@2

[和文] シグナルのアンブロックでエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] シグナルのアンブロック処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDTL115

E

[英文] Failed to mask signal. return=@1 code=@2

[和文] シグナルのマスク処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] シグナルのマスク処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDTL116

E

[英文] Failed to set signal handler. return=@1 code=@2

[和文] シグナルハンドラ情報設定処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] シグナルハンドラ設定に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDTL117

E

[英文] Received signal. SIGNAL=@1 PID=@2 COMMAND=@3

[和文] シグナルを受信しました。 SIGNAL=@ 1 PID=@ 2 COMMAND=@ 3

[説明] 外部からのシグナルを受信した。

@ 1 : シグナル種別

@ 2 : 送信元プロセス ID

@ 3 : 送信元プロセス名

[処置] 想定外のシグナル受信の場合、プロセス ID、プロセス名から送信元を調査する。

[関連]

DIDTL118

E

[英文] Occurred exception with signal. MAINAP=@1 SIGNAL=@2 EXEC=@3 STATUS=@4

[和文] 例外(シグナル)が発生しました。 MAINAP=@ 1 SIGNAL=@ 2 EXEC=@ 3 STATUS=@ 4

[説明] 例外が発生した。

@ 1 : メイン処理関数名

@ 2 : シグナル種別

@ 3 : 処理ステータス

NORMAL : 通常処理

ROLLBACKRETRY : ロールバックリトライ

ABORT : 障害

INVALID : 不正な状態

@ 4 : 処理ステータス

INIT : 初期状態

TRNSTART : トランザクション開始

LOGGETBEFORE : ログデータ読み込み前

LOGGET : ログデータ読み込み中

LOGGETAFTER : ログデータ読み込み後

APBEFORE : AP 呼び出し前

AP : AP 呼び出し中

APAFTER : AP 呼び出し後

COMMITBEFORE : コミット前

COMMIT : コミット中

COMMITAFTER : コミット後

TRNEND : トランザクション終了

INVALID : 不正な状態

[処置] メイン処理関数名、発生しているシグナル、\${DIOSA_TMP}/論理ノード名 配下に core ファイルが作成されている場合その情報をもとに、原因を調査する。

[関連]

DIDTL119

E

[英文] Failed to forced purge of lock. return=@1 code=@2

[和文] ロックの強制ページ処理で、エラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロックの強制ページ処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから原因を調査し、エラーの原因を取り除く

[関連]

DIDTL120

E

[英文] Failed to allocate memory. return=@1 code=@2

[和文] メモリ確保でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] メモリ確保に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコード、および直前に出力されているメモリ管理機能のエラーメッセージに対処後、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTL121

E

[英文] Failed to free memory. return=@1 code=@2

[和文] メモリ解放でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] メモリの解放に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコード、および直前に出力されているメモリ管理機能のエラーメッセージに対処する。このエラーメッセージ後に出力されているメッセージから、このエラーによって失敗している処理がある場合は、その処理を再実行する。

[関連]

DIDTL124

E

[英文] Failed to allocate message buffer. return=@1 code=@2

[和文] 電文バッファの確保でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 電文バッファの確保に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコード、および直前に出力されているメモリ管理機能のエラーメッセージに対処後、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTL125

E

[英文] Failed to create shared memory. SEGTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの確保でエラーが発生しました。 SEGTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリの確保に失敗した。

@ 1 : 共有メモリ種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に共有メモリに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTL126

E

[英文] Failed to remove shared memory. SEGTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの解放でエラーが発生しました。 SEGTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリの削除に失敗した。

@ 1 : 共有メモリ種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に共有メモリに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTL127

E

[英文] Failed to attach to shared memory. SEGTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリのアタッチでエラーが発生しました。 SEGTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリのアタッチに失敗した。

@ 1 : 共有メモリ種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に共有メモリに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTL128

E

[英文] Failed to detach from shared memory. SEGTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリのデタッチでエラーが発生しました。 SEGTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリのデタッチに失敗した。

@ 1 : 共有メモリ種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に共有メモリに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTL130

E

[英文] Failed to create client socket. SOCKTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] クライアントソケットの生成でエラーが発生しました。 SOCKTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ソケットの生成に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTL131

E

[英文] Failed to close socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] ソケットのクローズ処理でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ソケットのクローズ処理に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTL132

E

[英文] Failed to create server socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] サーバソケットの生成でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ソケットの生成に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTL134

E

[英文] Failed to add watch socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 監視ソケット登録処理でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 監視ソケット登録に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTL135

E

[英文] Failed to delete watch socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 監視ソケット削除処理でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 監視ソケット削除に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTL138

E

[英文] Time out occurred in watching socket. SOCKETTYPE=@1 code=@2

[和文] ソケットの監視がタイムアウトしました。 SOCKETTYPE=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケットの監視がタイムアウトした。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : 内部コード

[処置] タイムアウトの原因となっている処理を調査する。エラーに対処後、失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTL139

E

[英文] Failed to send message. SOCKETTYPE=@1 MSG=@2 return=@3 code=@4

[和文] 電文送信でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 MSG=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 電文送信に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : 電文種別

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTL141

E

[英文] Socket is disconnected. SOCKETTYPE=@1 code=@2

[和文] コネクションが切断されました。 SOCKETTYPE=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケットが切断された。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから、接続先で発生したエラーに対処し、失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTL150

E

[英文] Failed to register alarm. ALARM=@1 return=@2 code=@3

[和文] アラームの登録でエラーが発生しました。 ALARM=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] アラームの登録に失敗した。

@ 1 : アラーム種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にアラーム機能、ソケット機能のエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTL151

E

[英文] Failed to delete alarm. ALARM=@1 return=@2 code=@3

[和文] アラームの削除でエラーが発生しました。 ALARM=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] アラームの削除に失敗した。

@ 1 : アラーム種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にアラーム機能、ソケット機能のエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTL163

E

[英文] Failed to notify SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能の通知処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能の通知処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードと直前に出力されているメッセージからエラーに対処する。エラーが発生した処理の再実行は必要ない。

[関連]

DIDTL164

E

[英文] Failed to get instance group information. return=@1 code=@2

[和文] インスタンスグループ情報取得処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インスタンスグループ情報取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] DB 監視機能が正しく起動されているか確認する。また、このエラーの直前に DB 監視機能からのエラーメッセージが出力されている場合は、そのエラーに対処する。

[関連]

DIDTL200

E

[英文] Failed in process initialization of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL201

E

[英文] Failed in process initialization of DIOSA common function. return=@1 code=@2

[和文] DIOSA 共通機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DIOSA/XTP 共通機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL202

E

[英文] Failed in process initialization of application dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL205

E

[英文] Failed in process initialization of socket function. return=@1 code=@2

[和文] ソケット機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケット機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL206

E

[英文] Failed in process initialization of alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラーム機能のプロセス初期化に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL207

E

[英文] Failed in process initialization of command delivery function. return=@1 code=@2

[和文] コマンド配信機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] コマンド配信機能のプロセス初期化に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL208

E

[英文] Failed in process initialization of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL209

E

[英文] Failed to register to monitoring list of Daemon Alive Monitoring. return=@1 code=@2

[和文] デーモン死活監視機能の監視開始処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] デーモン死活監視機能の監視開始に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL210

E

[英文] Failed in process initialization of In-Memory server information control. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ所在管理機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ所在管理機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL211

E

[英文] Failed in process initialization of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL213

E

[英文] Failed in process initialization of database monitoring function. return=@1 code=@2

[和文] DB 監視機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DB 監視機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL214

E

[英文] Failed in process initialization of lock function. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能プロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロック制御機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL215

E

[英文] Failed in process initialization of Elaps time monitoring function. return=@1 code=@2

[和文] 経過時間監視機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 経過時間監視機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL216

E

[英文] Failed in process initialization of LogWriter function. return=@1 code=@2

[和文] ライタ機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ライタ機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL220

E

[英文] Failed in thread initialization of alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能のスレッド初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラーム機能のスレッド初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL230

E

[英文] Failed in transaction initialization of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送機能のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL231

E

[英文] Failed in transaction initialization of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL232

E

[英文] Failed in transaction initialization of application dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL233

E

[英文] Failed in transaction initialization of Lock Control. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロック制御機能のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL234

E

[英文] Failed in service initialization of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ機能のサービス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ機能のサービス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL235

E

[英文] Failed in transaction initialization of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバのトランザクション開始処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバのトランザクション開始処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL237

E

[英文] Failed in service initialization of Elaps time monitoring function. return=@1 code=@2

[和文] 経過時間監視機能のサービス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 経過時間監視機能のサービス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL238

E

[英文] Failed in transaction initialization of LogWriter function. return=@1 code=@2

[和文] ライタ機能のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ライタ機能のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL250

E

[英文] Failed in process termination of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTL251

E

[英文] Failed in process termination of DIOSA common function. return=@1 code=@2

[和文] DIOSA 共通機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DIOSA/XTP 共通機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTL252

E

[英文] Failed in process termination of application dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTL255

E

[英文] Failed in process termination of socket function. return=@1 code=@2

[和文] ソケット機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケット機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTL256

E

[英文] Failed in process termination of alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラーム機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTL257

E

[英文] Failed in process termination of command delivery function. return=@1 code=@2

[和文] コマンド配信機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] コマンド配信機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTL258

E

[英文] Failed in process termination of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTL259

E

[英文] Failed to stop monitoring of Daemon Alive Monitoring. return=@1 code=@2

[和文] デーモン死活監視機能の監視停止処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] デーモン死活監視機能の監視停止処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTL260

E

[英文] Failed in process termination of In-Memory server information control. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ所在管理機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ所在管理機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTL261

E

[英文] Failed in process termination of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTL263

E

[英文] Failed in process termination of database monitoring function. return=@1 code=@2

[和文] DB 監視機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DB 監視機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTL264

E

[英文] Failed in process termination of lock function. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロック制御機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTL265

E

[英文] Failed in process termination of Elaps time monitoring function. return=@1 code=@2

[和文] 経過時間監視機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 経過時間監視機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTL266

E

[英文] Failed in process termination of LogWriter function. return=@1 code=@2

[和文] ライタ機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ライタ機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTL270

E

[英文] Failed in thread termination of alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能のスレッド終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラーム機能のスレッド終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTL280

E

[英文] Failed in transaction termination of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL281

E

[英文] Failed in transaction termination of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL282

E

[英文] Failed in transaction termination of application dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL283

E

[英文] Failed in transaction termination of Lock Control. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロック制御機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL284

E

[英文] Failed in service termination of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ機能のサービス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ機能のサービス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL287

E

[英文] Failed in service termination of Elaps time monitoring function. return=@1 code=@2

[和文] 経過時間監視機能のサービス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 経過時間監視機能のサービス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL288

E

[英文] Failed in transaction termination of LogWriter function. return=@1 code=@2

[和文] ライタ機能のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ライタ機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL300

E

[英文] Failed to connect to DB. CONNTYPE=@1 RGSET=@2 DSTATUS=@3 return=@4 code=@5

[和文] DB 接続でエラーが発生しました。 CONNTYPE=@ 1 RGSET=@ 2 DSTATUS=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] DB 接続に失敗した。

@ 1 : 接続タイプ

DEFAULT : DBCTRL 節 CONTROL 項 DEFAULTRGSET に指定されたリソースグループセットに接続

MULTI : すべてのリソースグループセットに接続

@ 2 : リソースグループセット名

@ 3 : 詳細リターンコード

@ 4 : リターンコード

@ 5 : 内部コード

[処置] 現在の DB 接続状況を確認し、切断中の場合、これ以前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ (DINCMxxx) を参照してエラーに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTL301

E

[英文] Failed to disconnect from DB. DSTATUS=@1 return=@2 code=@3

[和文] DB 切断でエラーが発生しました。 DSTATUS=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] DB 切断に失敗した。

@ 1 : 詳細リターンコード

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直後にディレード機能に関するエラーメッセージが出力されていなければ処置の必要なし。

[関連]

DIDTL302

E

[英文] Failed to reconnect to DB. DSTATUS=@1 return=@2 code=@3

[和文] DB 再接続でエラーが発生しました。 DSTATUS=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] DB 再接続に失敗した。

@ 1 : 詳細コード

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 現在の DB 接続状況を確認し、切断中の場合、これ以前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ(DINCMxxx)を参照してエラーに対処する。対処完了後、デーモン起動コマンド(didtlctrl)で、停止しているデーモンを再起動する。

[関連]

DIDTL310

E

[英文] Failed to get DB context. return=@1 code=@2

[和文] DB コンテキスト取得処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DB コンテキスト取得処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 現在の DB 接続状況を確認し、切断中の場合、これ以前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ(DINCMxxx)を参照してエラーに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTL311

E

[英文] Failed to switch DB connection. RGSET=@1 DSTATUS=@2 return=@3 code=@4

[和文] DB 接続先切り替え処理でエラーが発生しました。 RGSET=@ 1 DSTATUS=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] DB 接続先切り替え処理に失敗した。

@ 1 : リソースグループセット名 (#DEFAULT と表示された場合、DBCTRL 節 CONTROL 項 DEFAULTRGSET に定義されたリソースグループセット名を表す)

@ 2 : 詳細リターンコード

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] 現在の DB 接続状況を確認し、切断中の場合、これ以前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ (DINCMxxx) を参照してエラーに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTL320

E

[英文] Failed to commit DB. sqlcode=@1 code=@2

[和文] DB のコミットでエラーが発生しました。 sqlcode=@ 1 code=@ 2

[説明] DB のコミットに失敗した。

@ 1 : Oracle のエラー番号

@ 2 : 内部コード

[処置] sqlcode からエラー原因を取り除き、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTL321

E

[英文] Failed to rollback DB. sqlcode=@1 code=@2

[和文] DB のロールバックでエラーが発生しました。 sqlcode=@ 1 code=@ 2

[説明] DB のロールバックに失敗した。

@ 1 : Oracle のエラー番号

@ 2 : 内部コード

[処置] sqlcode からエラー原因を取り除き、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTL340

E

[英文] Table is not found in DB. TABLE=@1 code=@2

[和文] DB にテーブルが存在しません。TABLE=@ 1 code=@ 2

[説明] DB にログリーダーの制御 DB に関するテーブルが存在しない。

@ 1 : エラーの発生したテーブル識別

@ 2 : 内部コード

[処置] TABLE パラメータに表示されているテーブルに対して原因を調査し、エラー原因を取り除いてからテーブルを作成および定義生成(didltcreate)を実行する。

[関連]

DIDTL341

E

[英文] Failed to notify DB error. DSTATUS=@1 return=@2 code=@3

[和文] DB 障害通知処理でエラーが発生しました。DSTATUS=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] DB 障害通知処理に失敗した。

@ 1 : 詳細リターンコード

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ(DINCMxxx)を参照してエラーに対処する。

[関連]

DIDTL350

E

[英文] Failed to access unit information in control DB. FUNC=@1 TABLE=@2 SPST=@3 UNIT=@4 DETCODE=@5
sqlcode=@6 code=@7

[和文] 制御 DB のユニット制御情報へのアクセスでエラーが発生しました。 FUNC=@ 1 TABLE=@ 2 SPST=@ 3
UNIT=@ 4 DETCODE=@ 5 sqlcode=@ 6 code=@ 7

[説明] 制御 DB のユニット制御情報へのアクセスに失敗した。

@ 1 : DB 処理種別

INSERT : レコード追加

SELECT : レコード読込

UPDATE : レコード更新

DELETE : レコード削除

TRUNCATE : 全レコード削除

@ 2 : テーブル名

@ 3 : スーパーストリーム名

@ 4 : ユニット名

@ 5 : ディレクト転送詳細エラーコード

@ 6 : Oracle のエラー番号

@ 7 : 内部コード

[処置] Oracle のエラー番号から原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDTL351

E

[英文] Failed to access stream information in control DB. FUNC=@1 TABLE=@2 SPST=@3 UNIT=@4 DETCODE=@5
sqlcode=@6 code=@7

[和文] 制御 DB のストリーム制御情報へのアクセスでエラーが発生しました。 FUNC=@ 1 TABLE=@ 2 SPST=@ 3
UNIT=@ 4 DETCODE=@ 5 sqlcode=@ 6 code=@ 7

[説明] 制御 DB のストリーム制御情報へのアクセスに失敗した。

@ 1 : DB 処理種別

INSERT : レコード追加

SELECT : レコード読込

UPDATE : レコード更新

DELETE : レコード削除

TRUNCATE : 全レコード削除

@ 2 : テーブル名

@ 3 : スーパーストリーム名

@ 4 : ユニット名

@ 5 : ディレクト転送詳細エラーコード

@ 6 : Oracle のエラー番号

@ 7 : 内部コード

[処置] Oracle のエラー番号から原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDTL352

E

[英文] Inconsistency of DB has been detected. TABLE=@1 ERRTYPE=[@2] ERRINFO1=@3 ERRINFO2=@4 ERRINFO3=@5
ERRINFO4=@6 ERRINFO5=@7 ERRINFO6=@8 sqlcode=@9 code=@10

[和文] DB 矛盾を検出しました。 TABLE=@ 1 ERRTYPE=[@ 2] ERRINFO1=@ 3 ERRINFO2=@ 4 ERRINFO3=@ 5
ERRINFO4=@ 6 ERRINFO5=@ 7 ERRINFO6=@ 8 sqlcode=@ 9 code=@ 1 0

[説明] DB 矛盾を検出した。

@ 1 : テーブル名

@ 2 ~ @ 8 : エラー種別

@ 9 : sqlcode

@ 10 : 内部コード

[処置] 定義生成(didltcreate)を実行し、制御 DB を再作成する。

[関連]

DIDTL400

E

[英文] Failed to connect to In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバとの接続処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバとの接続に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTL401

E

[英文] Failed to disconnect from In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバとの切断処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバとの切断に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTL410

E

[英文] Failed to open In-Memory data search context. return=@1 code=@2

[和文] In-Memory Data 検索コンテキストのオープン処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] In-Memory Data 検索用のコンテキストオープンに失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTL411

E

[英文] Failed to close In-Memory data search context. return=@1 code=@2

[和文] In-Memory Data 検索コンテキストのクローズ処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] In-Memory Data 検索用のコンテキストクローズに失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTL412

E

[英文] Failed to set MAP. MAPID=@1 return=@2 code=@3

[和文] MAP 宣言処理でエラーが発生しました。 MAPID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] MAP 宣言処理に失敗した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTL413

E

[英文] Failed to set search key of In-Memory data search context. return=@1 code=@2

[和文] In-Memory Data 検索条件設定処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] In-Memory Data 検索条件設定に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTL414

E

[英文] Failed to get MAP ID list of logical table. TABLE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 論理表分散先 MAP の取得処理でエラーが発生しました。 TABLE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 論理表の分散先 MAPID 取得に失敗した。

@ 1 : 論理表名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 論理表がインメモリサーバ機能に正しく定義されていない場合、定義を更新する。

また、これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTL415

E

[英文] Failed to get accessing MAP. return=@1 code=@2

[和文] アクセス先 MAP 取得処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 現在のアクセス先 MAPID の取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTL416

E

[英文] Failed to get physical table name. TABLE=@1 MAPID=@2 return=@3 code=@4

[和文] 物理表名取得処理でエラーが発生しました。 TABLE=@ 1 MAPID=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 物理表名取得に失敗した。

@ 1 : 論理表名

@ 2 : MAPID

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTL420

E

[英文] Failed in commit function of In-Memory server. MAPID=@1 return=@2 code=@3

[和文] インメモリサーバのコミット処理でエラーが発生しました。 MAPID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリサーバのコミットに失敗した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTL421

E

[英文] Failed in rollback function of In-Memory server. MAPID=@1 return=@2 code=@3

[和文] インメモリサーバのロールバック処理でエラーが発生しました。 MAPID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリサーバのロールバックに失敗した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTL430

E

[英文] Failed to access to In-Memory Data. MAPID=@1 TABLE=@2 FUNC=@3 return=@4 code=@5

[和文] In-Memory Data へのアクセスでエラーが発生しました。 MAPID=@ 1 TABLE=@ 2 FUNC=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] インメモリデータへのアクセスに失敗した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : 論理表名

@ 3 : アクセス種別

READ1 : 1 件読み込み

READ : 複数件読み込み

WRITE : 挿入

REWRITE : 更新

DELETE : 削除

DELETEx1 : キー指定削除

TRUNCATE : テーブル初期化

@ 4 : リターンコード

@ 5 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTL452

E

[英文] Inconsistency of DB has been detected. MAPID=@1 TABLE=@2 ERRTYPE=[@3] ERRINFO1=@4 ERRINFO2=@5 ERRINFO3=@6 ERRINFO4=@7 ERRINFO5=@8 ERRINFO6=@9 code=@10

[和文] DB 矛盾を検出しました。 MAPID=@ 1 TABLE=@ 2 ERRTYPE=[@ 3] ERRINFO1=@ 4 ERRINFO2=@ 5 ERRINFO3=@ 6 ERRINFO4=@ 7 ERRINFO5=@ 8 ERRINFO6=@ 9 code=@ 1 0

[説明] DB 矛盾を検出した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : 論理表名

@ 3 ~ @ 9 : エラー種別

@ 10 : 内部コード

[処置] 定義生成(didltcreate)を実行し、制御DBを再作成する。

[関連]

DIDTL500

E

[英文] Failed in SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的変更処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的変更処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージや、リターンコードの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL510

E

[英文] Deadlock retry over has occurred. SPST=@1 UNIT=@2 RETRYNUM=@3 code=@4

[和文] デッドロックリトライオーバーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 RETRYNUM=@ 3 code=@ 4

[説明] デッドロックリトライオーバーが発生した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : リトライ回数

@ 4 : 内部コード

[処置] 開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTL511

I

[英文] Retry transaction because deadlock has been detected. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] デッドロックを検出したため、リトライします。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] デッドロックを検出したため、処理をリトライした。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL512

E

[英文] Rollback retry over has occurred. SPST=@1 UNIT=@2 RETRYNUM=@3 code=@4

[和文] ロールバックリトライオーバーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 RETRYNUM=@ 3 code=@ 4

[説明] ロールバックリトライオーバーが発生した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : リトライ回数

@ 4 : 内部コード

[処置] ロールバック中に出力されているエラーメッセージ等から、ロールバックの原因となっているエラーに対処し、停止しているユニットの処理を再開する。

[関連]

DIDTL550

E

[英文] Failed to get blockage status. SPST=@1 UNIT=@2 return=@3 code=@4

[和文] 無効化状態取得処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 無効化状態取得に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL551

E

[英文] Failed to get maintenance status. SPST=@1 return=@2 code=@3

[和文] メンテナンス状態取得処理でエラーが発生しました。 SPST=@1 return=@2 code=@3

[説明] メンテナンス状態取得に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL552

E

[英文] Failed to read LogData. SPST=@1 DSTATUS=@2 return=@3 code=@4

[和文] ログデータ読込でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 DSTATUS=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] ログデータ読込に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : 詳細コード

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL555

E

[英文] Failed to get next division ID. SPST=@1 DSTATUS=@2 return=@3 code=@4

[和文] 次ディビジョンの取得処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 DSTATUS=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 次ディビジョンの取得に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : 詳細コード

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL557

E

[英文] Failed to get fix data number of pool file. SPST=@1 DIVID=@2 DSTATUS=@3 return=@4 code=@5

[和文] 確定通番取得処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 DIVID=@ 2 DSTATUS=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] 確定通番取得に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ディビジョン ID

@ 3 : 詳細コード

@ 4 : リターンコード

@ 5 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL558

E

[英文] Failed to check existence of unexecuted data. SPST=@1 DIVID=@2 DSTATUS=@3 return=@4 code=@5

[和文] データ有無チェックでエラーが発生しました。 SPST=@ 1 DIVID=@ 2 DSTATUS=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] データ有無チェック処理に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : デイビジョン ID

@ 3 : 詳細コード

@ 4 : リターンコード

@ 5 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL559

E

[英文] Failed to get maintenance status. return=@1 code=@2

[和文] メンテナンス状態取得処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] メンテナンス状態取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTL600

I

[英文] Unit status changed. SPST=@1 UNIT=@2 STATUS=@3

[和文] ユニットの状態を変更しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 STATUS=@ 3

[説明] ユニットの状態を変更した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 変更後ステータス

INIT : 初期状態

ACT : 活性状態

INACT : 非活性状態

DIVEND : デイビジョン終了状態

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL610

I

[英文] LogData processing started. SPST=@1 UNIT=@2

[和文] データ処理を開始しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2

[説明] データ処理を開始した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL611

I

[英文] LogData processing stopped. SPST=@1 UNIT=@2

[和文] データ処理を停止しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2

[説明] データ処理を停止した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL612

I

[英文] Division ended. SPST=@1 UNIT=@2 DIVID=@3

[和文] デイビジョン終了しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 DIVID=@ 3

[説明] デイビジョンのデータ処理が完了した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : デイビジョン ID

[処置] 必要なし。

次のデイビジョン処理を開始する場合、処理開始コマンド(didtlstart)を実行する。

[関連]

DIDTL613

I

[英文] Error recovery processing started. SPST=@1 UNIT=@2

[和文] 障害復旧処理を開始しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2

[説明] 障害復旧処理を開始した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL614

I

[英文] Error recovery processing finished. SPST=@1 UNIT=@2

[和文] 障害復旧処理が終了しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2

[説明] 障害復旧処理が完了した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL630

I

[英文] Configuration parameter has been changed. PARAM=@1 FROM=@2 TO=@3 SPST=@4 UNIT=@5

[和文] 動作環境パラメータを変更しました。 PARAM=@ 1 FROM=@ 2 TO=@ 3 SPST=@ 4 UNIT=@ 5

[説明] 動作環境パラメータを変更した。

@ 1 : パラメータ種別

DATAPELLOT : コミット係数

@ 2 : 変更前の値

@ 3 : 変更後の値

@ 4 : スーパーストリーム名

@ 5 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL631

I

[英文] Finished data number has been changed. DIVID=@1 DATANO=@2 USERDATANO=@3 SPST=@4 UNIT=@5

[和文] 処理済み通番情報を変更しました。 DIVID=@ 1 DATANO=@ 2 USERDATANO=@ 3 SPST=@ 4 UNIT=@ 5

[説明] 処理済みディビジョン ID、通番、ユーザ通番の情報を変更した。

@ 1 : 変更後のディビジョン ID

@ 2 : 変更後の処理済み通番

@ 3 : 変更後の処理済みユーザ通番

@ 4 : スーパーストリーム名

@ 5 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL640

I

[英文] Current division has been ended forcibly. SPST=@1 UNIT=@2 DIVID=@3

[和文] 強制的に処理中のディビジョンを終了しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 DIVID=@ 3

[説明] 強制的に処理中のディビジョンを終了した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : ディビジョン ID

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL650

E

[英文] Command failed. COMMAND=@1 SPST=@2 UNIT=@3 code=@4

[和文] コマンド処理が失敗しました。COMMAND=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3 code=@ 4

[説明] コマンド処理が失敗した。

@ 1 : コマンド処理種別

START : データ処理開始

STOP : データ処理停止

TERM : ログリーダー終了

DIVEND : 強制ディビジョン終了

MOD : 動作変更

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDTL651

E

[英文] Command reply waiting from execution daemon timed out. SPST=@1 UNIT=@2 COMMAND=@3

[和文] 実行デーモンからのコマンド応答がタイムアウトしました。SPST=@ 1 UNIT=@ 2 COMMAND=@ 3

[説明] 実行デーモンからのコマンド応答がタイムアウトした。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : コマンド処理種別

START : データ処理開始

STOP : データ処理停止

TERM : ログリーダー終了

DIVEND : 強制ディビジョン終了

MOD : 動作変更

[処置] 実行デーモン側で出力されているエラーメッセージに対処後、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTL660

E

[英文] Failed to change status. SPST=@1 UNIT=@2 STATUS=@3 return=@4 code=@5

[和文] ステータス変更処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 STATUS=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] ステータス変更処理に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 変更後ステータス

INIT : 初期状態

ACT : 活性状態

INACT : 非活性状態

DIVEND : ディビジョン終了状態

@ 4 : リターンコード

@ 5 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDTL661

E

[英文] Failed to synchronize shared memory with control DB. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] 制御 DB とメモリの同期処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] 制御 DB と共有メモリの更新処理でエラーが発生した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDTL670

E

[英文] Failed in transaction initialization of LogData processing. SPST=@1 UNIT=@2 return=@3 code=@4

[和文] ログデータ処理のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] ログデータ処理のトランザクション初期化処理でエラーが発生した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDTL671

E

[英文] Main application of LogData processing aborted. SPST=@1 UNIT=@2 return=@3 code=@4

[和文] ログデータ処理のメイン処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] ログデータ処理のメイン処理でエラーが発生した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDTL672

E

[英文] Received abort request from main application. SPST=@1 UNIT=@2 DIVID=@3 DATANO=@4 USERDATANO=@5 return=@6 code=@7

[和文] AP から異常終了要求が返却されました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 DIVID=@ 3 DATANO=@ 4 USERDATANO=@ 5 return=@ 6 code=@ 7

[説明] メイン AP から異常終了要求が返却された。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : ディビジョン ID

@ 4 : 通番

@ 5 : ユーザ通番

@ 6 : リターンコード

@ 7 : 内部コード

[処置] データ通番や、メイン AP の処理から異常終了要求となった原因を調査する。

[関連]

DIDTL673

E

[英文] Failed in transaction termination of LogData processing. SPST=@1 UNIT=@2 return=@3 code=@4

[和文] ログデータ処理のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] ログデータ処理のトランザクション終了処理でエラーが発生した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDTL674

E

[英文] Failed to call user function. EXITNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] ユーザ EXIT の呼び出しでエラーが発生しました。 EXITNAME=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ユーザ関数の呼び出しに失敗した。

@ 1 : 呼び出しに失敗した関数名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] DIOSA/XTP のログリーダー実行デーモン(didtlxecd)から、EXITNAME に書かれている関数が呼び出せるか、DIOSA/XTP の環境定義 (APLIB 節)、環境変数 (DIOSA_LIBNAME) の設定を確認する。

[関連]

DIDTL675

E

[英文] User function aborted. EXITNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] ユーザ EXIT でエラーが発生しました。 EXITNAME=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ユーザ関数が異常終了した。

@ 1 : エラーが発生した関数名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 関数名とリターンコードから、エラーが発生した原因を調査する。

[関連]

DIDTL676

E

[英文] Failed to skip LogData processing. SPST=@1 UNIT=@2 DIVID=@3 USERDATANO=@4 return=@5 code=@6

[和文] ログデータ処理のスキップ処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 DIVID=@ 3
USERDATANO=@ 4 return=@ 5 code=@ 6

[説明] ログデータのスキップ処理に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : ディビジョン ID

@ 4 : ユーザ通番

@ 5 : リターンコード

@ 6 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDTL677

E

[英文] Commit API failed. return=@1 code=@2

[和文] 強制コミットでエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 強制コミットに失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDTL700

E

[英文] LogData processing is now in progress. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] ログデータ処理中です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] ログデータ処理中のため処理を受け付けられない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] データ処理停止コマンド(didtlstop)を実行後、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTL701

E

[英文] Current division has not been started. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] カレントディビジョンは開始されていません。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] 処理開始していないため、強制ディビジョン終了に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] データ処理開始(didtlstart)、データ処理停止(didtlstop)を実行後、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTL702

E

[英文] Next division does not exist. SPST=@1 UNIT=@2 DIVID=@3 return=@4 code=@5

[和文] 次ディビジョンが存在しません。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 DIVID=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] 次ディビジョンが存在しないため、強制ディビジョン終了に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : ディビジョン ID

@ 4 : リターンコード

@ 5 : 内部コード

[処置] ディビジョン終了コマンド(didltdivchg)を実行後、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTL703

E

[英文] Current division has not ended. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] スーパーストリームがディビジョン終了していません。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] ディビジョン終了状態でないため、ユニットを削除できない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] データ処理を実行するか、強制ディビジョン終了を実行し、未処理のデータが存在しない状態にしてから定義変更を再実行する。

[関連]

DIDTL704

E

[英文] Unprocessed LogData exists. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] 未処理のログデータが存在します。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] 未処理のログデータが存在するため、ユニットを削除できない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] データ処理を実行するか、強制ディビジョン終了を実行し、未処理のデータが存在しない状態にしてから定義変更を再実行する。

[関連]

DIDTL706

E

[英文] Start command is now in progress. code=@1

[和文] 処理開始コマンドの処理中です。 code=@ 1

[説明] 処理開始コマンド実行中のため、通常モードでの停止処理を受け付けられない。
@ 1 : 内部コード

[処置] ログリーダー終了コマンド(didtlterm)を停止モード(-M stop)で実行する。

[関連]

DIDTL740

W

[英文] LogData processing on the other node has been detected. SPST=@1 UNIT=@2 LNODEID=@3 code=@4

[和文] 二重起動を検出しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 LNODEID=@ 3 code=@ 4

[説明] ログデータ処理が、他論理ノード上で開始されたため、処理を停止する。
@ 1 : スーパーストリーム名
@ 2 : ユニット名
@ 3 : ノード ID
@ 4 : 内部コード

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL741

W

[英文] Processing node has been switched. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] マスタ切替を検出しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] マスタ切替を検出したため、処理を停止する。
@ 1 : スーパーストリーム名
@ 2 : ユニット名
@ 3 : 内部コード

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTL742

E

[英文] No record in table. TABLE=@1 SPST=@2 UNIT=@3 code=@4

[和文] 制御レコードがありません。TABLE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3 code=@ 4

[説明] 制御レコードがないため、実行デーモンを停止する。

@ 1 : テーブル名

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

@ 4 : 内部コード

[処置] 定義生成(didltcreate)を実行し、実行デーモンを再起動する。

[関連]

DIDTLE00

E

[英文] Logical error occurred. ERRTYPE=[@1] ERRINF01=@2 ERRINF02=@3 return=@4 code=@5

[和文] 論理エラーが発生しました。ERRTYPE=[@ 1] ERRINF01=@ 2 ERRINF02=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] 論理エラーが発生した。

@ 1 : エラー種別

@ 2 : エラー情報

@ 3 : エラー情報

@ 4 : リターンコード

@ 5 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTLE01

E

[英文] Received illegal message. MSGERR=[@1] VALUE=@2 code=@3

[和文] 不正な電文を受信しました。MSGERR=[@ 1] VALUE=@ 2 code=@ 3

[説明] 不正な電文を受信した。

@ 1 : エラー種別

@ 2 : エラー値

@ 3 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTLE02

E

[英文] Illegal event occurred. EVENT=@1 code=@2

[和文] 不正なイベント事象が発生しました。EVENT=@ 1 code=@ 2

[説明] 不正なイベントが発生した。

@ 1 : イベント種別

@ 2 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTLE03

E

[英文] Failed to get table address. TABLE=@1 return=@2 code=@3

[和文] テーブルの取得でエラーが発生しました。TABLE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリアクセスに失敗した。

@ 1 : テーブル種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTLE04

E

[英文] Failed to allocate table. TABLE=@1 return=@2 code=@3

[和文] テーブルの確保でエラーが発生しました。TABLE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリ更新処理でエラーが発生した。

@ 1 : テーブル種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTLE05

E

[英文] Failed to get control information of delayed transfer. INF0=@1 return=@2 code=@3

[和文] ディレード転送制御情報の取得に失敗しました。 INF0=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 制御情報取得に失敗した。

@ 1 : データ種別

DMN : デーモン情報

NODETYPE : 動作ノード情報

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

2.13 DIDTR 系

DIDTR000

I

- [英文] Receiver function started.
- [和文] レシーバ機能を開始しました。
- [説明] レシーバ機能を開始した。
- [処置] 必要なし。
- [関連]

DIDTR002

I

- [英文] Receiver function terminated.
- [和文] レシーバ機能を終了しました。
- [説明] レシーバ機能を終了した。
- [処置] 必要なし。
- [関連]

DIDTR010

I

- [英文] Command started. INPUT=[@1]
- [和文] コマンドを開始しました。 INPUT=[@ 1]
- [説明] コマンドの処理を開始した。
@ 1 : 実行コマンドとパラメータ
- [処置] 必要なし。
- [関連]

DIDTR011

I

- [英文] Command terminated normally.
- [和文] コマンドが正常終了しました。
- [説明] コマンドが正常終了した。
- [処置] 必要なし。
- [関連]

DIDTR012

I

- [英文] Command terminated normally. SUCCESS=@1
- [和文] コマンドが正常終了しました。 SUCCESS=@ 1
- [説明] コマンドが正常終了した。
@ 1 : 正常終了数
- [処置] 必要なし。
- [関連]

DIDTR013

E

- [英文] Command aborted.
- [和文] コマンドが異常終了しました。
- [説明] コマンドが異常終了した。
- [処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、コマンドを再実行する。
- [関連]

DIDTR014

E

- [英文] Command aborted. ABNORMAL=@1
- [和文] コマンドが異常終了しました。 ABNORMAL=@ 1
- [説明] コマンドが異常終了した。
@ 1 : 異常終了数
- [処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、コマンドを再実行する。
- [関連]

DIDTR015

W

- [英文] Command terminated with warning. SUCCESS=@1 ABNORMAL=@2
- [和文] コマンドが警告終了しました。 SUCCESS=@ 1 ABNORMAL=@ 2
- [説明] コマンド処理対象の一部は正常終了したが、一部が異常終了した。
@ 1 : 正常終了数
@ 2 : 異常終了数
- [処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、コマンドを再実行する。
- [関連]

DIDTR016

I

[英文] Request from command has been accepted. COMMAND=@1

[和文] コマンドからの処理要求を受け付けました。COMMAND=@ 1

[説明] コマンドからの処理要求を受信した。

@ 1 : コマンド処理種別

DMNTERM : デーモン停止要求(通常モード)

DMNTERM(STOP) : デーモン停止要求(停止モード)

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTR018

W

[英文] Command terminated with warning.

[和文] コマンドが警告終了しました。

[説明] コマンドが警告終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージを確認し、必要なら対処する。メッセージを出力したコマンドの再実行は不要。

[関連]

DIDTR020

I

[英文] Receiver daemon started. DMNTYPE=@1

[和文] レシーバデーモンを起動しました。DMNTYPE=@ 1

[説明] デーモンを起動した。

@ 1 : デーモン種別

MNG : 管理デーモン

EXEC : 実行デーモン

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTR021

E

[英文] Receiver daemon aborted. DMNTYPE=@1

[和文] レシーバデーモンを異常停止します。 DMNTYPE=@ 1

[説明] デーモンが異常停止した。

@ 1 : デーモン種別

MNG : 管理デーモン

[処置] 直前に出力されている異常終了の原因となったエラーメッセージに対処する。デーモンは死活監視機能によって再起動されるため、再起動の必要はないが、死活監視機能による再起動がリトライオーバーした場合は、デーモン起動コマンド(didltctrl)で再起動する必要がある。

[関連]

DIDTR022

I

[英文] Receiver daemon stopped. DMNTYPE=@1

[和文] レシーバデーモンを停止します。 DMNTYPE=@ 1

[説明] デーモンが停止した。

@ 1 : デーモン種別

MNG : 管理デーモン

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTR023

I

[英文] Receiver daemon termination has finished.

[和文] レシーバデーモン終了処理が完了しました。

[説明] デーモン終了処理が完了した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTR024

E

[英文] Failed to initialize Receiver daemon. DMNTYPE=@1 code=@2

[和文] レシーバデーモン初期化処理でエラーが発生しました。 DMNTYPE=@ 1 code=@ 2

[説明] デーモン初期化処理でエラーが発生した。

@ 1 : デーモン種別

MNG : 管理デーモン

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、デーモンを再起動する。

[関連]

DIDTR025

E

[英文] Failed to termination Receiver daemon. DMNTYPE=@1 code=@2

[和文] レシーバデーモン終了処理でエラーが発生しました。 DMNTYPE=@ 1 code=@ 2

[説明] デーモン終了に失敗した。

@ 1 : デーモン種別

MNG : 管理デーモン

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、停止処理を再実行する。

[関連]

DIDTR026

E

[英文] Failed to start Receiver daemon. DMNTYPE=@1 PID=@2 SPST=@3 UNIT=@4 return=@5 code=@6

[和文] レシーバデーモンの起動に失敗しました。 DMNTYPE=@ 1 PID=@ 2 SPST=@ 3 UNIT=@ 4 return=@ 5
code=@ 6

[説明] デーモンの起動に失敗した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : プロセス ID

@ 3 : スーパーストリーム名

@ 4 : ユニット名

@ 5 : リターンコード

@ 6 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。管理デーモンによる再起動がリトライオーバーしている場合、デーモン起動コマンド(didtrctrl)を実行し、デーモンを再起動する。

[関連]

DIDTR027

E

[英文] Failed to stop Receiver daemon. DMNTYPE=@1 PID=@2 SPST=@3 UNIT=@4 return=@5 code=@6

[和文] レシーバデーモンの停止に失敗しました。 DMNTYPE=@ 1 PID=@ 2 SPST=@ 3 UNIT=@ 4 return=@ 5
code=@ 6

[説明] デーモンの停止に失敗した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : プロセス ID

@ 3 : スーパーストリーム名

@ 4 : ユニット名

@ 5 : リターンコード

@ 6 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。メッセージ出力後管理デーモンが停止している場合、
ログリーダ実行デーモン(didtrexecd)が残っていないか確認し、起動している場合は強制停止する。
管理デーモンの停止がエラーになっている場合は、対処後に停止コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTR028

E

[英文] Process stop of Receiver daemon is detected. DMNTYPE=@1 SPST=@2 UNIT=@3

[和文] レシーバデーモンの停止を検出しました。 DMNTYPE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3

[説明] デーモンプロセスの停止を検出した。

@ 1 : デーモン種別

MNG : 管理デーモン

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

[処置] 停止の原因となっているエラーに対処する。停止したデーモンは管理デーモンによって再起動されるが、
再起動がリトライオーバーしている場合、デーモン起動コマンド(didtrctrl)を実行する。

[関連]

DIDTR029

I

[英文] Stop restarting daemon because retry count of restart overflowed. DMNTYPE=@1 SPST=@2 UNIT=@3

[和文] リトライ回数を越えたためデーモンの再起動を中止します。 DMNTYPE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3

[説明] 規定時間内のリトライ回数が上限値をオーバーしたため、再起動を中止した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

[処置] 停止の原因となっているエラーに対処後、デーモン起動コマンド(didtrctrl)を実行する。

[関連]

DIDTR030

I

[英文] Receiver daemon started. DMNTYPE=@1 SPST=@2 UNIT=@3

[和文] レシーバデーモンを起動しました。 DMNTYPE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3

[説明] デーモンが起動した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTR031

E

[英文] Receiver daemon aborted. DMNTYPE=@1 SPST=@2 UNIT=@3

[和文] レシーバデーモンを異常停止します。 DMNTYPE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3

[説明] デーモンが異常停止した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

[処置] 直前に出力されている異常終了の原因となったエラーメッセージに対処する。デーモンは管理デーモンによって再起動されるため、再起動の必要はないが、再起動がリトライオーバーした場合は、デーモン起動コマンド(didtrctrl)で再起動する必要がある。

[関連]

DIDTR032

I

[英文] Receiver daemon stopped. DMNTYPE=@1 SPST=@2 UNIT=@3

[和文] レシーバデーモンを停止します。 DMNTYPE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3

[説明] デーモンが停止した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTR034

E

[英文] Failed to initialize Receiver daemon. DMNTYPE=@1 SPST=@2 UNIT=@3 code=@4

[和文] レシーバデーモン初期化処理でエラーが発生しました。 DMNTYPE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3 code=@ 4

[説明] デーモン初期化処理でエラーが発生した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されている異常終了の原因となったエラーメッセージに対処する。デーモンは管理デーモンによって再起動されるため、再起動の必要はないが、再起動がリトライオーバーした場合は、デーモン起動コマンド(didtrctrl)で再起動する必要がある。

[関連]

DIDTR035

E

[英文] Failed to termination Receiver daemon. DMNTYPE=@1 SPST=@2 UNIT=@3 code=@4

[和文] レシーバデーモン終了処理でエラーが発生しました。 DMNTYPE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3 code=@ 4

[説明] デーモン終了処理でエラーが発生した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーに対処後、停止コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTR036

I

[英文] Daemon stop request accepted. MODE=@1 DMNTYPE=@2 SPST=@3 UNIT=@4

[和文] デーモン停止要求を受け付けました。MODE=@ 1 DMNTYPE=@ 2 SPST=@ 3 UNIT=@ 4

[説明] デーモン停止要求を受信した。

@ 1 : 停止処理モード

NORMAL : 通常モード

STOP : 停止モード

@ 2 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 3 : スーパーストリーム名

@ 4 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTR054

I

[英文] Operation has been done already.

[和文] 既に実行済みです。

[説明] 要求された処理は実行済みであった。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTR055

I

[英文] Operation has been done already. COMMAND=@1 SPST=@2 UNIT=@3

[和文] 既に実行済みです。COMMAND=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3

[説明] 要求された処理は実行済みであった。

@ 1 : コマンド処理種別

START : 処理開始

STOP : 処理停止

DIVEND : 強制ディビジョン終了

CTRL(EXEC) : デーモン起動

CTRL(TERM) : デーモン停止

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTR060

E

[英文] Specified object does not exist. RSCTYPE=@1 RSCNAME1=@2 RSCNAME2=@3

[和文] 処理対象が存在しません。RSCTYPE=@ 1 RSCNAME1=@ 2 RSCNAME2=@ 3

[説明] コマンドで指定された処理対象が定義されていない。

@ 1 : 処理対象の種別

SPST : スーパーストリーム

SPSTUNIT : スーパーストリーム、ユニット

DLS : 相手論理システム

@ 2 : 指定対象名

@ 3 : 指定対象名

[処置] コマンドの指定と、環境定義の内容から、誤った指定をしていないか確認する。

[関連]

DIDTR061

W

[英文] Specified object does not exist. RSCTYPE=@1 RSCNAME1=@2 RSCNAME2=@3

[和文] 処理対象が存在しません。RSCTYPE=@ 1 RSCNAME1=@ 2 RSCNAME2=@ 3

[説明] コマンドで指定された処理対象が定義されていない。

@ 1 : 処理対象の種別

SPST : スーパーストリーム

@ 2 : 指定対象名

@ 3 : 指定対象名

[処置] コマンドの指定と、環境定義の内容から、誤った指定をしていないか確認する。

[関連]

DIDTR070

E

[英文] Delayed transfer has not been started.

[和文] ディレード転送が起動されていません。

[説明] ディレード転送が起動されていない。

[処置] ディレード起動コマンド(didltinit)を実行する。

[関連]

DIDTR072

E

[英文] Receiver function has not been started.

[和文] レシーバ機能が開始していません。

[説明] レシーバ機能が開始していない。

[処置] レシーバ機能開始コマンド(didtrinit)を実行する。

[関連]

DIDTR076

E

[英文] Control DB of delayed transfer has not been created. SPST=@1 code=@2

[和文] 定義生成が実行されていません。 SPST=@ 1 code=@ 2

[説明] スーパーストリームの定義生成が完了していない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : 内部コード

[処置] 定義生成、またはスーパーストリーム指定の定義生成(didltcreate)を実行する。

[関連]

DIDTR080

E

[英文] Cannot execute on this logical node.

[和文] この論理ノードでは実行できません。

[説明] 該当論理ノードで実行できないコマンドを実行した。

[処置] データベース製品のインストール状況や、ディレード転送機能の環境定義等を確認し、コマンド実行可能な論理ノード上で再実行する。

[関連]

DIDTR082

E

[英文] Superstream is under maintenance. SPST=@1 MTNSTATUS=@2 code=@3

[和文] スーパーストリームがメンテナンス中です。 SPST=@ 1 MTNSTATUS=@ 2 code=@ 3

[説明] スーパーストリームに対する運用コマンドが異常終了した状態のため、処理を受け付けられない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : メンテナンス状態

CREATE : 定義生成中

UPDATE : 定義変更中

@ 3 : 内部コード

[処置] エラーとなった運用コマンドの処理を正常終了させてから、処理を再実行する。

[関連]

DIDTR085

E

[英文] SuperStream or Unit is blocked. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] スーパーストリーム、またはユニットが無効状態です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] スーパーストリーム、またはユニットが無効状態のため、処理を受け付けられない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] 無効化状態を確認し、無効化解除後にコマンドを再実行する。

[関連]

DIDTR090

I

[英文] Processing target does not exist on this logical node.

[和文] この論理ノードでは動作対象が存在しません。

[説明] 該当論理ノードで動作するスーパーストリームが存在しなかった。

[処置] スーパーストリームの動作ノードを確認し、動作中ノードでコマンドを再実行する。

[関連]

DIDTR091

E

[英文] Superstream is running on the other node. SPST=@1 UNIT=@2

[和文] 他ノードで動作中です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2

[説明] 指定されたスーパーストリームは他ノードで動作中のため、処理を実行できなかった。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

[処置] スーパーストリームの動作ノードを確認し、動作中ノードでコマンドを再実行する。

[関連]

DIDTR092

E

[英文] Daemon is stopped. SPST=@1 UNIT=@2 TRBLSTATUS=@3

[和文] 実行デーモンが停止しています。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 TRBLSTATUS=@ 3

[説明] 実行デーモンが停止中のため、処理要求を実行できなかった。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 停止ステータス

NONE : コマンドによる停止

DBTROUBLE : DB 障害検出

SWITCH : マスタ切替検出

DUPLICATE : 2 重起動検出

NORECORD : 制御レコードなし

RETRYOVER : 再起動リトライオーバー

OTHER : その他

[処置] ステータスから停止原因を取り除き、デーモン再起動後にコマンドを再実行する。

[関連]

DIDTR093

E

[英文] Cannot execute command because execution daemon is terminating.

[和文] 実行デーモンが停止処理中のため受け付けられません。

[説明] 実行デーモンを停止中のため、処理要求を実行できなかった。

[処置] センダ機能終了処理中の場合、終了処理完了後に開始処理を実行し、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTR094

E

[英文] Cannot execute command because management daemon is not active. DMNSTATUS=@1

[和文] 管理デーモンが起動状態ではないため受け付けられません。 DMNSTATUS=@ 1

[説明] 管理デーモンが起動中でないため、処理要求を受け付けられなかった。

@ 1 : デーモンステータス

TERM : 停止状態

ACTING : 起動処理中

TERMINATING : 停止処理中

[処置] 管理デーモンがエラーで起動できていない場合、エラー原因を取り除き、管理デーモンを起動してからコマンドを再実行する。

[関連]

DIDTR095

I

[英文] All Unit is blocked. SPST=@1

[和文] 全ユニットが無効状態です。 SPST=@ 1

[説明] 対象のスーパーストリームの全ユニットが無効のため、処理要求を受け付けられなかった。

@ 1 : スーパーストリーム名

[処置] ユニットの無効を解除してからコマンドを再実行する。

[関連]

DIDTR100

E

[英文] System call failed. FUNC=@1 errno=@2 return=@3 code=@4

[和文] システムコールエラーが発生しました。 FUNC=@ 1 errno=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] システムコールエラーが発生した。

@ 1 : システムコール名

@ 2 : UNIX の errno

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] OS のマニュアルなどから、関数、errno に対する情報を参照してエラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTR101

E

[英文] Failed to get process information. PID=@1 return=@2 code=@3

[和文] プロセス情報の取得でエラーが発生しました。 PID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] プロセス情報の取得に失敗した。

@ 1 : プロセス ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから原因を調査し、エラー原因を取り除く。

[関連]

DIDTR103

E

[英文] Failed to get current time. errno=@1 code=@2

[和文] 現在時刻の取得でエラーが発生しました。 errno=@ 1 code=@ 2

[説明] 現在時刻の取得に失敗した。

@ 1 : UNIX の errno

@ 2 : 内部コード

[処置] コマンドの場合は再実行する。デーモンが出力して再起動していない場合は、デーモンを再起動する。

[関連]

DIDTR110

E

[英文] Failed to lock. LOCKTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] ロック処理でエラーが発生しました。 LOCKTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ロック処理に失敗した。

@ 1 : ロック種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているロック処理に関するエラーメッセージから原因を調査し、エラー原因を取り除く。

[関連]

DIDTR111

E

[英文] Failed to unlock. LOCKTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] アンロック処理でエラーが発生しました。 LOCKTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] アンロック処理に失敗した。

@ 1 : ロック種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているロック処理に関するエラーメッセージから原因を調査し、エラー原因を取り除く。

[関連]

DIDTR113

E

[英文] Failed to block signal. return=@1 code=@2

[和文] シグナルのブロックでエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] シグナルのブロック処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDTR114

E

[英文] Failed to unblock signal. return=@1 code=@2

[和文] シグナルのアンブロックでエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] シグナルのアンブロック処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDTR115

E

[英文] Failed to mask signal. return=@1 code=@2

[和文] シグナルのマスク処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] シグナルのマスク処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDTR116

E

[英文] Failed to set signal handler. return=@1 code=@2

[和文] シグナルハンドラ情報設定処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] シグナルハンドラ設定に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDTR120

E

[英文] Failed to allocate memory. return=@1 code=@2

[和文] メモリ確保でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] メモリ確保に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコード、および直前に出力されているメモリ管理機能のエラーメッセージに対処後、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTR121

E

[英文] Failed to free memory. return=@1 code=@2

[和文] メモリ解放でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] メモリの解放に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコード、および直前に出力されているメモリ管理機能のエラーメッセージに対処する。このエラーメッセージ後に出力されているメッセージから、このエラーによって失敗している処理がある場合は、その処理を再実行する。

[関連]

DIDTR124

E

[英文] Failed to allocate message buffer. return=@1 code=@2

[和文] 電文バッファの確保でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 電文バッファの確保に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコード、および直前に出力されているメモリ管理機能のエラーメッセージに対処後、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTR125

E

[英文] Failed to create shared memory. SEGTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの確保でエラーが発生しました。 SEGTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリの確保に失敗した。

@ 1 : 共有メモリ種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に共有メモリに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTR126

E

[英文] Failed to delete shared memory. SEGTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの解放でエラーが発生しました。 SEGTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリの削除に失敗した。

@ 1 : 共有メモリ種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に共有メモリに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTR127

E

[英文] Failed to attach to shared memory. SEGTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリのアタッチでエラーが発生しました。 SEGTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリのアタッチに失敗した。

@ 1 : 共有メモリ種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に共有メモリに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTR128

E

[英文] Failed to detach from shared memory. SEGTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリのデタッチでエラーが発生しました。 SEGTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリのデタッチに失敗した。

@ 1 : 共有メモリ種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に共有メモリに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTR129

E

[英文] Failed to switch shared memory. SEGTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの切替処理でエラーが発生しました。 SEGTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリの切替処理に失敗した。

@ 1 : 共有メモリ種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に共有メモリに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTR130

E

[英文] Failed to create client socket. SOCKTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] クライアントソケットの生成でエラーが発生しました。 SOCKTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ソケットの生成に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されず、リターンコードが DIOSA_ENOENT(-8)となっている場合は、相手論理システムに関する環境定義と制御 DB 情報にずれがあるため、環境定義の見直しと必要に応じてディレード定義生成の実行と-M create 指定でディレードを再起動する。

[関連]

DIDTR131

E

[英文] Failed to close socket. SOCKTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] ソケットのクローズ処理でエラーが発生しました。 SOCKTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ソケットのクローズ処理に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTR132

E

[英文] Failed to create server socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] サーバソケットの生成でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ソケットの生成に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTR134

E

[英文] Failed to add watch socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 監視ソケット登録処理でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 監視ソケット登録に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTR135

E

[英文] Failed to delete watch socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 監視ソケット削除処理でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 監視ソケット削除に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTR138

E

[英文] Socket watch timed out. SOCKTYPE=@1 code=@2

[和文] ソケットの監視がタイムアウトしました。 SOCKTYPE=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケットの監視がタイムアウトした。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : 内部コード

[処置] タイムアウトの原因となっている処理を調査する。エラーに対処後、失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTR139

E

[英文] Failed to send message. SOCKTYPE=@1 MSG=@2 return=@3 code=@4

[和文] 電文送信でエラーが発生しました。 SOCKTYPE=@ 1 MSG=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 電文送信に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : 電文種別

STARTREQ : 開始要求電文

STARTRSP : 開始応答電文

STOPREQ : 停止要求電文

STOPRSP : 停止応答電文

PACRSP : ペーシング応答電文

DIVENDRSP : ディビジョン終了応答電文

DRTYREQ : 再送要求電文

COMMAND : コマンド電文

LCT : 所在切り替え電文

DMN : デーモン間電文

* : 上記以外

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTR140

E

[英文] Failed to receive message. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 電文受信でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 電文受信に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTR141

E

[英文] Connection disconnected. SOCKETTYPE=@1 code=@2

[和文] コネクションが切断されました。 SOCKETTYPE=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケットが切断された。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから、接続先で発生したエラーに対処し、失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTR144

E

[英文] All socket paths to other system failed. DLSNAME=@1

[和文] 相手論理システムへの全ソケットパスが障害になりました。 DLSNAME=@ 1

[説明] 相手論理システムへの全ソケットパスの障害を検出した。

@ 1 : 相手論理システム名

[処置] 表示された相手論理システムと通信可能な状態か確認する。
障害が復旧すれば、自動的に転送が再開される。

[関連]

DIDTR150

E

[英文] Failed to register alarm. ALARM=@1 return=@2 code=@3

[和文] アラームの登録でエラーが発生しました。 ALARM=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] アラームの登録に失敗した。

@ 1 : アラーム種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にアラーム機能、ソケット機能のエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTR151

E

[英文] Failed to delete alarm. ALARM=@1 return=@2 code=@3

[和文] アラームの削除でエラーが発生しました。 ALARM=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] アラームの削除に失敗した。

@ 1 : アラーム種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にアラーム機能、ソケット機能のエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTR161

E

[英文] Failed to get logical system information. return=@1 code=@2

[和文] 論理システム情報の取得に失敗しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 論理システム情報の取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードと直前に出力されているメッセージからエラーに対処し、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTR163

E

[英文] Failed to notify SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能の通知処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能の通知処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードと直前に出力されているメッセージからエラーに対処する。エラーが発生した処理の再実行は必要ない。

[関連]

DIDTR165

E

[英文] Failed to get destination logical node information. return=@1 code=@2

[和文] 宛先論理ノード情報の取得に失敗しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 宛先論理ノード情報の取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードと直前に出力されているメッセージからエラーに対処する。エラーが発生した処理の再実行は必要ない。

[関連]

DIDTR200

E

[英文] Failed in process initialization of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR201

E

[英文] Failed in process initialization of DIOSA common function. return=@1 code=@2

[和文] DIOSA 共通機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DIOSA/XTP 共通機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR202

E

[英文] Failed in process initialization of application dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR205

E

[英文] Failed in process initialization of socket function. return=@1 code=@2

[和文] ソケット機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケット機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR206

E

[英文] Failed in process initialization of alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラーム機能のプロセス初期化に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR208

E

[英文] Failed in process initialization of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR209

E

[英文] Failed to start monitoring of Daemon Alive Monitoring. return=@1 code=@2

[和文] デーモン死活監視機能の監視開始処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] デーモン死活監視機能の監視開始に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR210

E

[英文] Failed in process initialization of In-Memory server information control. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ所在管理機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ所在管理機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR211

E

[英文] Failed in process initialization of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR214

E

[英文] Failed in process initialization of lock function. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能プロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロック制御機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR220

E

[英文] Failed in thread initialization of alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能のスレッド初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラーム機能のスレッド初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR230

E

[英文] Failed in transaction initialization of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送機能のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR231

E

[英文] Failed in transaction initialization of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR232

E

[英文] Failed in transaction initialization of application dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR233

E

[英文] Failed in transaction initialization of lock function. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロック制御機能のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR234

E

[英文] Failed in service initialization of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ機能のサービス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ機能のサービス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR235

E

[英文] Failed in transaction start of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバのトランザクション開始処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバのトランザクション開始処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR250

E

[英文] Failed in process termination of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTR251

E

[英文] Failed in process termination of DIOSA common function. return=@1 code=@2

[和文] DIOSA 共通機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DIOSA/XTP 共通機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTR252

E

[英文] Failed in process termination of application dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTR255

E

[英文] Failed in process termination of socket function. return=@1 code=@2

[和文] ソケット機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケット機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTR256

E

[英文] Failed in process termination of alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラーム機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTR258

E

[英文] Failed in process termination of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTR259

E

[英文] Failed to stop monitoring of Daemon Alive Monitoring. return=@1 code=@2

[和文] デーモン死活監視機能の監視停止処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] デーモン死活監視機能の監視停止処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTR260

E

[英文] Failed in process termination of In-Memory server information control. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ所在管理機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ所在管理機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTR261

E

[英文] Failed in process termination of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTR264

E

[英文] Failed in process termination of lock function. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能プロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロック制御機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTR270

E

[英文] Failed in thread termination of alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能のスレッド終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラーム機能のスレッド終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTR280

E

[英文] Failed in transaction termination of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR281

E

[英文] Failed in transaction termination of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR282

E

[英文] Failed in transaction termination of application dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR283

E

[英文] Failed in transaction termination of lock function. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロック制御機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR284

E

[英文] Failed in service termination of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ機能のサービス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ機能のサービス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR300

E

[英文] Failed to connect to DB. CONNTYPE=@1 RGSET=@2 DSTATUS=@3 return=@4 code=@5

[和文] DB 接続でエラーが発生しました。 CONNTYPE=@ 1 RGSET=@ 2 DSTATUS=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] DB 接続に失敗した。

@ 1 : 接続タイプ

DEFAULT : DBCTRL 節 CONTROL 項 DEFAULTRGSET に指定されたリソースグループセットに接続

@ 2 : リソースグループセット名

@ 3 : 詳細ステータス

@ 4 : リターンコード

@ 5 : 内部コード

[処置] 現在の DB 接続状況を確認し、切断中の場合、これ以前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ (DINCMxxx) を参照してエラーに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTR301

E

[英文] Failed to disconnect from DB. DSTATUS=@1 return=@2 code=@3

[和文] DB 切断でエラーが発生しました。 DSTATUS=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] DB 切断に失敗した。

@ 1 : 詳細ステータス

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直後にディレード機能に関するエラーメッセージが出力されていなければ処置の必要なし。

[関連]

DIDTR302

E

[英文] Failed to reconnect to DB. DSTATUS=@1 return=@2 code=@3

[和文] DB 再接続でエラーが発生しました。 DSTATUS=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] DB 再接続に失敗した。

@ 1 : 詳細ステータス

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 現在の DB 接続状況を確認し、切断中の場合、これ以前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ(DINCMxxx)を参照してエラーに対処する。対処完了後、デーモン起動コマンド(didtrctrl)で、停止しているデーモンを再起動する。

[関連]

DIDTR310

E

[英文] Failed to get DB context. return=@1 code=@2

[和文] DB コンテキスト取得処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DB コンテキスト取得処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 現在の DB 接続状況を確認し、切断中の場合、これ以前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ(DINCMxxx)を参照してエラーに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTR311

E

[英文] Failed to switch DB connection. RGSET=@1 DSTATUS=@2 return=@3 code=@4

[和文] DB 接続先切り替え処理でエラーが発生しました。 RGSET=@ 1 DSTATUS=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] DB 接続先切り替え処理に失敗した。

@ 1 : リソースグループセット名 (#DEFAULT と表示された場合、DBCTRL 節 CONTROL 項 DEFAULTRGSET に定義されたリソースグループセット名を表す)

@ 2 : 詳細ステータス

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] 現在の DB 接続状況を確認し、切断中の場合、これ以前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ (DINCMxxx) を参照してエラーに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTR320

E

[英文] Failed to commit DB. sqlcode=@1 code=@2

[和文] DB のコミットでエラーが発生しました。 sqlcode=@ 1 code=@ 2

[説明] DB のコミットに失敗した。

@ 1 : sqlcode

@ 2 : 内部コード

[処置] sqlcode からエラー原因を取り除き、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTR321

E

[英文] Failed to rollback DB. sqlcode=@1 code=@2

[和文] DB のロールバックでエラーが発生しました。 sqlcode=@ 1 code=@ 2

[説明] DB のロールバックに失敗した。

@ 1 : sqlcode

@ 2 : 内部コード

[処置] sqlcode からエラー原因を取り除き、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTR340

E

[英文] Table is not found in DB. TABLE=@1 code=@2

[和文] DB にテーブルが存在しません。TABLE=@ 1 code=@ 2

[説明] DB にセンダの制御 DB に関するテーブルが存在しない。

@ 1 : テーブル名

@ 2 : 内部コード

[処置] TABLE パラメータに表示されているテーブルに対して原因を調査し、エラー原因を取り除いてからテーブルを作成および定義生成(didltcreate)を実行する。

[関連]

DIDTR341

E

[英文] Failed to notify DB error. DSTATUS=@1 return=@2 code=@3

[和文] DB 障害通知処理でエラーが発生しました。DSTATUS=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] DB 障害通知処理に失敗した。

@ 1 : 詳細コード

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ(DINCMxxx)を参照してエラーに対処する。

[関連]

DIDTR350

E

[英文] Failed to access unit information in control DB. FUNC=@1 TABLE=@2 SPST=@3 UNIT=@4 DETCODE=@5
sqlcode=@6 code=@7

[和文] 制御 DB のユニット制御情報へのアクセスでエラーが発生しました。 FUNC=@ 1 TABLE=@ 2 SPST=@ 3
UNIT=@ 4 DETCODE=@ 5 sqlcode=@ 6 code=@ 7

[説明] 制御 DB のユニット制御情報へのアクセスに失敗した。

@ 1 : アクセス種別

INSERT : レコード追加

SELECT : レコード読込

UPDATE : レコード更新

DELETE : レコード削除

TRUNCATE : 全レコード削除

@ 2 : テーブル名

@ 3 : スーパーストリーム名

@ 4 : ユニット名

@ 5 : 詳細コード

@ 6 : sqlcode

@ 7 : 内部コード

[処置] sqlcode から原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDTR351

E

[英文] Failed to access stream information in control DB. FUNC=@1 TABLE=@2 SPST=@3 UNIT=@4 DETCODE=@5
sqlcode=@6 code=@7

[和文] 制御 DB のストリーム制御情報へのアクセスでエラーが発生しました。 FUNC=@ 1 TABLE=@ 2 SPST=@ 3
UNIT=@ 4 DETCODE=@ 5 sqlcode=@ 6 code=@ 7

[説明] 制御 DB のストリーム制御情報へのアクセスに失敗した。

@ 1 : アクセス種別

INSERT : レコード追加

SELECT : レコード読込

UPDATE : レコード更新

DELETE : レコード削除

TRUNCATE : 全レコード削除

@ 2 : テーブル名

@ 3 : スーパーストリーム名

@ 4 : ユニット名

@ 5 : 詳細コード

@ 6 : sqlcode

@ 7 : 内部コード

[処置] sqlcode から原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDTR400

E

[英文] Failed to connect to In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバとの接続処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバとの接続に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTR401

E

[英文] Failed to disconnect from In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバとの切断処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバとの切断に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTR410

E

[英文] Failed to open In-Memory data search context. return=@1 code=@2

[和文] In-Memory Data 検索コンテキストのオープン処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] In-Memory Data 検索用のコンテキストオープンに失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTR411

E

[英文] Failed to close In-Memory data search context. return=@1 code=@2

[和文] In-Memory Data 検索コンテキストのクローズ処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] In-Memory Data 検索用のコンテキストクローズに失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTR412

E

[英文] Failed to set MAP ID. MAPID=@1 return=@2 code=@3

[和文] MAP 宣言処理でエラーが発生しました。MAPID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] MAP 宣言処理に失敗した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTR413

E

[英文] Failed to set search key of In-Memory data search context. return=@1 code=@2

[和文] In-Memory Data 検索条件設定処理でエラーが発生しました。return=@ 1 code=@ 2

[説明] In-Memory Data 検索条件設定に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTR414

E

[英文] Failed to get MAP ID list of logical table. TABLE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 論理表分散先 MAP の取得処理でエラーが発生しました。TABLE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 論理表の分散先 MAPID 取得に失敗した。

@ 1 : 論理表名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 論理表がインメモリサーバ機能に正しく定義されていない場合、定義を更新する。

また、これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTR415

E

[英文] Failed to get accessing MAP. return=@1 code=@2

[和文] アクセス先 MAP 取得処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 現在のアクセス先 MAPID の取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTR416

E

[英文] Failed to get physical table name. TABLE=@1 MAPID=@2 return=@3 code=@4

[和文] 物理表名取得処理でエラーが発生しました。 TABLE=@ 1 MAPID=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 物理表名取得に失敗した。

@ 1 : 論理表名

@ 2 : MAPID

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTR420

E

[英文] Failed in commit function of In-Memory server. MAPID=@1 return=@2 code=@3

[和文] インメモリサーバのコミット処理でエラーが発生しました。 MAPID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリサーバのコミットに失敗した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTR421

E

[英文] Failed in rollback function of In-Memory server. MAPID=@1 return=@2 code=@3

[和文] インメモリサーバのロールバック処理でエラーが発生しました。 MAPID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリサーバのロールバックに失敗した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTR430

E

[英文] Failed in access function to In-Memory data. MAPID=@1 TABLE=@2 FUNC=@3 return=@4 code=@5

[和文] In-Memory Data へのアクセスでエラーが発生しました。 MAPID=@ 1 TABLE=@ 2 FUNC=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] In-Memory Data へのアクセスに失敗した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : 論理表名

@ 3 : アクセス種別

READ1 : 1 件読み込み

READ : 複数件読み込み

WRITE : 挿入

REWRITE : 更新

DELETE : 削除

DELETEx1 : キー指定削除

TRUNCATE : テーブル初期化

@ 4 : リターンコード

@ 5 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTR440

E

[英文] Failed to get logical table ID. TABLE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 論理表 ID の取得処理でエラーが発生しました。TABLE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 論理表 ID 取得に失敗した。

@ 1 : 論理表名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 論理表がインメモリサーバ機能に正しく定義されていない場合、定義を更新する。

また、これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTR500

E

[英文] Failed in SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的変更処理でエラーが発生しました。return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的変更処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージや、リターンコードの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR510

E

[英文] Deadlock retry over has occurred. SPST=@1 UNIT=@2 RETRYNUM=@3 code=@4

[和文] デッドロックリトライオーバーが発生しました。SPST=@ 1 UNIT=@ 2 RETRYNUM=@ 3 code=@ 4

[説明] デッドロックリトライオーバーが発生した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : リトライ回数

@ 4 : 内部コード

[処置] 開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTR511

I

[英文] Retry transaction because deadlock has been detected. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] デッドロックを検出したため、リトライします。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] デッドロックを検出したため、処理をリトライした。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTR550

E

[英文] Failed to get blockage status. SPST=@1 UNIT=@2 return=@3 code=@4

[和文] 無効化状態取得処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 無効化状態取得に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR551

E

[英文] Failed to get maintenance status. SPST=@1 return=@2 code=@3

[和文] メンテナンス状態取得処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] メンテナンス状態取得に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR552

E

[英文] Failed to put LogData. SPST=@1 DSTATUS=@2 return=@3 code=@4

[和文] ログデータ書込でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 DSTATUS=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] ログデータ書込に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : 詳細コード

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR553

E

[英文] Failed to change division. SPST=@1 return=@2 code=@3

[和文] ディビジョンの切替処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ディビジョンの切替処理に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR554

E

[英文] Not changed division because of status of pool file. SPST=@1 code=@2

[和文] プールファイルが次ディビジョンに切り替えられる状態ではありません。 SPST=@ 1 code=@ 2

[説明] プールファイルが満杯状態などでディビジョンを切り替えることができないため、処理に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : 内部コード

[処置] 本メッセージより以前(直前でないケースもある)に出力されている DTD 系メッセージ内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTR600

I

[英文] Unit status changed. SPST=@1 UNIT=@2 STATUS=@3

[和文] ユニットの状態を変更しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 STATUS=@ 3

[説明] ユニットの状態を変更した。

- @ 1 : スーパーストリーム名
- @ 2 : ユニット名
- @ 3 : ステータス

INIT	: 初期状態
ACTING	: 活性中
ACT	: 活性状態
DIVEND	: ディビジョン終了状態
INACTING	: 非活性中
INACT	: 非活性状態
STOP	: 相手側停止状態

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTR610

I

[英文] LogData transfer started. SPST=@1 UNIT=@2

[和文] 転送を開始しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2

[説明] 転送を開始した。

- @ 1 : スーパーストリーム名
- @ 2 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTR611

I

[英文] LogData transfer stopped. SPST=@1 UNIT=@2

[和文] 転送を停止しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2

[説明] 転送を停止した。

- @ 1 : スーパーストリーム名
- @ 2 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTR612

I

[英文] Division ended. SPST=@1 UNIT=@2 DIVID=@3

[和文] ディビジョン終了しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 DIVID=@ 3

[説明] ディビジョンのデータ転送が完了した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : ディビジョン ID

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTR613

I

[英文] LogData transfer stopped by receiving stop request. SPST=@1 UNIT=@2

[和文] 停止要求を受信したため転送を停止しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2

[説明] 相手システムから停止要求を受信したため転送を停止した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTR614

E

[英文] Message send retry over has occurred. MSG=@1 SPST=@2 UNIT=@3 code=@4

[和文] 制御電文送信処理のリトライオーバーが発生しました。 MSG=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3 code=@ 4

[説明] 制御電文の再送処理がリトライオーバーしたため、転送を停止した。

@ 1 : 電文種別

STARTREQ : 開始要求

STOPREQ : 停止要求

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

@ 4 : 内部コード

[処置] 相手システムの状態を確認し、応答が返却されない原因を取り除く。電文種別が開始要求で、再度、転送を開始させる場合は、転送開始コマンド(didtrstart)を実行する。電文種別が停止要求の場合は、既に転送は停止しているため、処置の必要なし。

[関連]

DIDTR615

E

[英文] LogData transfer stopped by detecting error. SPST=@1 UNIT=@2

[和文] エラー事象を検出したため、転送を停止しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2

[説明] エラーが発生したため、転送を停止した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

[処置] 直前に出力されている DIDTR 系メッセージから原因を調査し、エラーの原因を取り除いてから転送開始コマンド(didtrstart)を実行し、転送を開始させる。

[関連]

DIDTR616

I

[英文] Transfer stop, and start open because path error has been detected. SPST=@1 UNIT=@2

[和文] 通信パスに異常を検知したため、転送を中断し開局から開始します。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2

[説明] 通信パスに異常を検知したため一旦転送を中断し、開局から開始する。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

[処置] 必要なし。通信パスが開局状態になると自動的に転送を開始する。

[関連]

DIDTR630

I

[英文] Configuration parameter has been changed. PARAM=@1 FROM=@2 TO=@3 SPST=@4 UNIT=@5

[和文] 動作環境パラメータを変更しました。 PARAM=@ 1 FROM=@ 2 TO=@ 3 SPST=@ 4 UNIT=@ 5

[説明] 動作環境パラメータを変更した。

@ 1 : パラメータ種別

MSGPERCMT : 1 コミットあたりの受信電文数

DLS : 相手論理システム

@ 2 : 変更前の値

@ 3 : 変更後の値

@ 4 : スーパーストリーム名

@ 5 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTR631

I

[英文] Finished data number has been changed. DIVID=@1 DATANO=@2 USERDATANO=@3 SPST=@4 UNIT=@5

[和文] 処理済み通番情報を変更しました。 DIVID=@ 1 DATANO=@ 2 USERDATANO=@ 3 SPST=@ 4 UNIT=@ 5

[説明] 処理済みディビジョン ID、通番、ユーザ通番の情報を変更した。

@ 1 : ディビジョン ID

@ 2 : 通番

@ 3 : ユーザ通番

@ 4 : スーパーストリーム名

@ 5 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTR640

I

[英文] Current division has been ended forcibly. SPST=@1 UNIT=@2 DIVID=@3

[和文] 強制的に処理中のディビジョンを終了しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 DIVID=@ 3

[説明] 強制的に処理中のディビジョンを終了した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : ディビジョン ID

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTR650

E

[英文] Command failed. COMMAND=@1 SPST=@2 UNIT=@3 code=@4

[和文] コマンド処理が失敗しました。COMMAND=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3 code=@ 4

[説明] コマンド処理が失敗した。

@ 1 : コマンド種別

START : データ転送開始

STOP : データ転送停止

TERM : センダ終了

DIVEND : 強制ディビジョン終了

MOD : 動作変更

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する

[関連]

DIDTR651

E

[英文] Command reply waiting from execution daemon timed out. SPST=@1 UNIT=@2 COMMAND=@3

[和文] 実行デーモンからのコマンド応答がタイムアウトしました。SPST=@ 1 UNIT=@ 2 COMMAND=@ 3

[説明] 実行デーモンからのコマンド応答がタイムアウトした。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : コマンド種別

START : データ転送開始

STOP : データ転送停止

TERM : センダ終了

DIVEND : 強制ディビジョン終了

MOD : 動作変更

[処置] 実行デーモン側で出力されているエラーメッセージに対処後、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTR661

E

[英文] Failed to synchronize shared memory with control DB. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] 制御 DB とメモリの同期処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] 制御 DB と共有メモリの更新処理でエラーが発生した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDTR670

E

[英文] Failed to receive LogData. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] ログデータの受信処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] ログデータの受信処理中にエラーが発生した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。原因を取り除いた後は、状況照会コマンド (didtrref) によりステータスを確認し、ステータスに応じたコマンドを実行する。

[関連]

DIDTR671

E

[英文] Failed to send control message. SPST=@1 UNIT=@2 MSG=@3 code=@4

[和文] 制御電文の送信処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 MSG=@ 3 code=@ 4

[説明] 制御電文の送信処理中にエラーが発生した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 電文種別

STARTREQ : 開始要求

STARTRSP : 開始応答

STOPREQ : 停止要求

STOPRSP : 停止応答

PACRSP : ペーシング応答

DIVENDRSP : ディビジョン終了応答

DRTYREQ : 再送要求

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。原因を取り除いた後は、状況照会コマンド (didtrref) によりステータスを確認し、ステータスに応じたコマンドを実行する。

[関連]

DIDTR672

E

[英文] Failed to receive control message. SPST=@1 UNIT=@2 MSG=@3 code=@4

[和文] 制御電文の受信処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 MSG=@ 3 code=@ 4

[説明] 制御電文の受信処理中にエラーが発生した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 電文種別

STARTREQ : 開始要求

STARTRSP : 開始応答

STOPREQ : 停止要求

STOPRSP : 停止応答

PACREQ : ペーシング要求

DIVENDREQ : ディビジョン終了要求

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。原因を取り除いた後は、状況照会コマンド (didtrref) によりステータスを確認し、ステータスに応じたコマンドを実行する。

[関連]

DIDTR673

E

[英文] Failed to resend control message. SPST=@1 UNIT=@2 MSG=@3 code=@4

[和文] 制御電文の再送処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 MSG=@ 3 code=@ 4

[説明] 制御電文の再送処理中にエラーが発生した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 電文種別

STARTREQ : 開始要求

STOPREQ : 停止要求

DRTYREQ : 再送要求

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。原因を取り除いた後は、状況照会コマンド (didtrref) によりステータスを確認し、ステータスに応じたコマンドを実行する。

[関連]

DIDTR674

E

[英文] Failed in process error detected. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] 通信パス障害検出時処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] 通信パス障害検出時処理中にエラーが発生した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。原因を取り除いた後は、状況照会コマンド (didtrref) によりステータスを確認し、ステータスに応じたコマンドを実行する。

[関連]

DIDTR700

E

[英文] LogData transfer is now in progress. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] スーパーストリームが転送中です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] 転送処理中のため処理を受け付けられない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] データ処理停止コマンド (didtrstop) を実行後、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTR701

E

[英文] Current division has not been started. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] カレントディビジョンは開始されていません。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] 処理開始していないため、強制ディビジョン終了に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] データ処理開始(didtrstart)、データ処理停止(didtrstop)を実行後、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTR703

E

[英文] Current division has not ended. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] スーパーストリームがディビジョン終了していません。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] ディビジョン終了状態でないため、ユニットを削除できない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] データ転送を実行するか、強制ディビジョン終了を実行し、未処理のデータが存在しない状態にしてから定義変更を再実行する。

[関連]

DIDTR705

E

[英文] Not execute stop command. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] 転送停止コマンドが投入されていない状態です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] 転送停止コマンド(didtrstop)が実行されていないため、強制モードによる転送停止コマンドを実行できない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] 転送停止コマンド(didtrstop)を実行する。

[関連]

DIDTR706

E

[英文] Start command is now in progress. code=@1

[和文] 転送開始コマンドの処理中です。 code=@ 1

[説明] 転送開始コマンド実行中のため、通常モードでの停止処理を受け付けられない。

@ 1 : 内部コード

[処置] レシーバ終了コマンド(didtrterm)を停止モード(-M stop)で実行する。

[関連]

DIDTR740

W

[英文] LogData processing on the other node has been detected. SPST=@1 UNIT=@2 LNODEID=@3 code=@4

[和文] 二重起動を検出しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 LNODEID=@ 3 code=@ 4

[説明] 転送処理が他論理ノード上で開始されたため、処理を停止する。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 論理ノード ID

@ 4 : 内部コード

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTR741

W

[英文] Processing node has been switched. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] マスタ切替を検出しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] マスタ切替を検出したため、処理を停止する。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTR742

E

[英文] No record in table. TABLE=@1 SPST=@2 UNIT=@3 code=@4

[和文] 制御レコードがありません。 TABLE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3 code=@ 4

[説明] 制御レコードがないため、実行デーモンを停止する。

@ 1 : テーブル名

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

@ 4 : 内部コード

[処置] 定義生成(didltcreate)を実行し、実行デーモンを再起動する。

[関連]

DIDTR750

E

[英文] Reject the request message from system. SPST=@1 UNIT=@2 MSG=@3 code=@4

[和文] 相手システムからの要求電文を拒否しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 MSG=@ 3 code=@ 4

[説明] 相手システムからの要求電文を拒否した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 電文種別

STARTREQ : 開始要求

STOPREQ : 停止要求

PACREQ : ペーシング要求

DIVENDREQ : ディビジョン終了要求

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDTR751

E

[英文] Rejected the request message to system. SPST=@1 UNIT=@2 MSG=@3 code=@4

[和文] 相手システムへ送信した要求電文は拒否されました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 MSG=@ 3 code=@ 4

[説明] 相手システムへ送信した要求電文が拒否された。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 電文種別

STARTREQ : 開始要求

STOPREQ : 停止要求

DRTYREQ : 再送要求

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDTR760

E

[英文] Revision is mismatched. REV=@1 DREV=@2 code=@3

[和文] 電文のリビジョンが不一致です。 REV=@ 1 DREV=@ 2 code=@ 3

[説明] 電文のリビジョンが処理可能な最大リビジョンより大きい。

@ 1 : 電文リビジョン

@ 2 : 相手システムの電文リビジョン

@ 3 : 内部コード

[処置] 相手システムやDIOSA/XTPの製品のバージョンを確認する。

[関連]

DIDTR761

E

[英文] Logical system name is mismatched. SPST=@1 UNIT=@2 LS=@3 DLS=@4 code=@5

[和文] 転送先論理システム名が不一致です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 LS=@ 3 DLS=@ 4 code=@ 5

[説明] 転送先論理システム名が異なるシステムからの電文を受信した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 相手論理システム名

@ 4 : 受信電文内論理システム名

@ 5 : 内部コード

[処置] 相手論理システムが正しく定義されているかどうかを確認する。必要に応じて、レシーバ動作変更コマンド(didtrmod)にて相手論理システムを変更する。

[関連]

DIDTR762

E

[英文] Illegal message size. SPST=@1 UNIT=@2 MSGSIZE=@3 DMSGSIZE=@4 code=@5

[和文] 電文サイズが不正です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 MSGSIZE=@ 3 DMSGSIZE=@ 4 code=@ 5

[説明] 転送先論理システムの電文サイズが正しくない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 電文サイズ

@ 4 : 受信電文内電文サイズ

@ 5 : 内部コード

[処置] 相手システム側と自システム側の電文サイズの定義あっているかどうかを確認する。

[関連]

DIDTR763

E

[英文] Stream is mismatched. SPST=@1 UNIT=@2 STRMNUM=@3 DSTRMNUM=@4 MATCHSTRMNUM=@5 code=@6

[和文] ストリーム構成が不一致です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 STRMNUM=@ 3 DSTRMNUM=@ 4 MATCHSTRMNUM=@ 5
code=@ 6

[説明] 転送先論理システムとの間でストリーム構成が一致しない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : ストリーム数

@ 4 : 相手システムのストリーム数

@ 5 : 構成一致ストリーム数

@ 6 : 内部コード

[処置] 開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTR764

E

[英文] Received LogData bigger than message buffer size. SPST=@1 UNIT=@2 DATANO=@3 DATALEN=@4 code=@5

[和文] 電文サイズを超えたログデータを受信しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 DATANO=@ 3 DATALEN=@ 4
code=@ 5

[説明] 定義されている電文サイズより大きいログデータ電文を受信した。

@ 1 : スーパーストリーム名
@ 2 : ユニット名
@ 3 : 受信データ通番
@ 4 : 受信データ長
@ 5 : 内部コード

[処置] 相手システム側と自システム側の電文サイズの定義あっているかどうかを確認する。

[関連]

DIDTR765

E

[英文] Division is mismatched. SPST=@1 UNIT=@2 CURDIVID=@3 NEXTDIVID=@4 DCURDIVID=@5 DNEXTDIVID=@6
STATUS=@7 REASON=@8 code=@9

[和文] デイビジョンが不一致です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 CURDIVID=@ 3 NEXTDIVID=@ 4 DCURDIVID=@ 5
DNEXTDIVID=@ 6 STATUS=@ 7 REASON=@ 8 code=@ 9

[説明] 転送先論理システムとの間でデイビジョンが一致しない。

@ 1 : スーパーストリーム名
@ 2 : ユニット名
@ 3 : 現在のデイビジョン ID
@ 4 : 次デイビジョン ID
@ 5 : 相手システムの現在のデイビジョン ID
@ 6 : 相手システムの次デイビジョン ID
@ 7 : ステータス

INIT : 初期状態
ACT : 活性状態
DIVEND : デイビジョン終了状態

@ 8 : 不一致理由

NextDiv : 自システムの次デイビジョン
BothDiv : 自システムのカレントデイビジョン、次デイビジョン
DCurDiv : 相手システムのカレントデイビジョン
DNextDiv : 相手システムの次デイビジョン
DBothDiv : 相手システムのカレントデイビジョン、次デイビジョン
SeqNo : 送信/受信済み通番
Rejected : 相手システムからのデイビジョン不一致応

@ 9 : 内部コード

[処置] ステータスと不一致理由からデイビジョン不一致となる原因を取り除く。

[関連]

DIDTR766

E

[英文] Count of LogData is mismatched. SPST=@1 UNIT=@2 DATANO=@3 DDATANO=@4 code=@5

[和文] 転送ログデータ件数が不一致です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 DATANO=@ 3 DDATANO=@ 4 code=@ 5

[説明] 相手システムからディビジョン終了要求を受信したが、相手システムから通知された送信済通番と自システム側の受信済通番に不整合(送信済通番が受信済通番より小さい)があり、転送を停止した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 受信済み通番

@ 4 : 送信済み通番

@ 5 : 内部コード

[処置] 相手システム側と自システム側の両方に、強制ディビジョン終了を実行することでディビジョン終了させる。

[関連]

DIDTR767

E

[英文] Division status is mismatched. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] ディビジョンの処理状態が不一致です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] 強制ディビジョン終了後は、新たなディビジョン(1件もデータを転送していない)について転送を開始する必要があるが、相手システムからは既に転送処理を行っているディビジョンについて開始要求が行われた。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] 相手システム側のスーパーstreamに対して強制ディビジョン終了を実行後、再度、転送開始処理を行う。

[関連]

DIDTR768

E

[英文] Target Superstream does not exist. SPST=@1 code=@2

[和文] スーパーストリームが存在しません。 SPST=@ 1 code=@ 2

[説明] スーパーストリームが存在しない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : 内部コード

[処置] 開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTRE00

E

[英文] Logical error occurred. ERRTYPE=[@1] ERRINF01=@2 ERRINF02=@3 return=@4 code=@5

[和文] 論理エラーが発生しました。 ERRTYPE=[@ 1] ERRINF01=@ 2 ERRINF02=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] 論理エラーが発生した。

@ 1 : エラー種別

@ 2 : エラー情報

@ 3 : エラー情報

@ 4 : リターンコード

@ 5 : 内部コード

[処置] 開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTRE01

E

[英文] Received illegal message. MSGERR=[@1] VALUE=@2 code=@3

[和文] 不正な電文を受信しました。 MSGERR=[@ 1] VALUE=@ 2 code=@ 3

[説明] 不正な電文を受信した。

@ 1 : エラー識別情報

@ 2 : エラー情報

@ 3 : 内部コード

[処置] 開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTRE02

E

[英文] Illegal event occurred. EVENT=@1 code=@2

[和文] 不正なイベント事象が発生しました。 EVENT=@ 1 code=@ 2

[説明] 不正なイベントが発生した。

@ 1 : イベント識別情報

@ 2 : 内部コード

[処置] 開発元に問い合わせる

[関連]

DIDTRE03

E

[英文] Failed to get table address. TABLE=@1 return=@2 code=@3

[和文] テーブルの取得でエラーが発生しました。TABLE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリアクセスに失敗した。

@ 1 : テーブル名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTRE04

E

[英文] Failed to allocate table. TABLE=@1 return=@2 code=@3

[和文] テーブルの確保でエラーが発生しました。TABLE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリ更新処理でエラーが発生した。

@ 1 : テーブル名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTRE05

E

[英文] Failed to get control information of delayed transfer. INFO=@1 return=@2 code=@3

[和文] ディレード転送制御情報の取得に失敗しました。INFO=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 制御情報取得に失敗した。

@ 1 : 制御情報種別

DMN : デーモン情報

NODETYPE : 動作ノード情報

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

2.14 DIDTS 系

DIDTS000

I

[英文] Sender function started.

[和文] センダ機能を開始しました。

[説明] センダ機能を開始した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTS002

I

[英文] Sender function terminated.

[和文] センダ機能を終了しました。

[説明] センダ機能を終了した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTS010

I

[英文] Command started. INPUT=[@1]

[和文] コマンドを開始しました。 INPUT=[@ 1]

[説明] コマンドの処理を開始した。

@ 1 : 実行コマンドとパラメータ

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTS011

I

[英文] Command terminated normally.

[和文] コマンドが正常終了しました。

[説明] コマンドが正常終了した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTS012

I

- [英文] Command terminated normally. SUCCESS=@1
- [和文] コマンドが正常終了しました。 SUCCESS=@ 1
- [説明] コマンドが正常終了した。
@ 1 : 正常終了数
- [処置] 必要なし。
- [関連]

DIDTS013

E

- [英文] Command aborted.
- [和文] コマンドが異常終了しました。
- [説明] コマンドが異常終了した。
- [処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、コマンドを再実行する。
- [関連]

DIDTS014

E

- [英文] Command aborted. ABNORMAL=@1
- [和文] コマンドが異常終了しました。 ABNORMAL=@ 1
- [説明] コマンドが異常終了した。
@ 1 : 異常終了数
- [処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、コマンドを再実行する。
- [関連]

DIDTS015

W

- [英文] Command terminated with warning. SUCCESS=@1 ABNORMAL=@2
- [和文] コマンドが警告終了しました。 SUCCESS=@ 1 ABNORMAL=@ 2
- [説明] コマンド処理対象の一部は正常終了したが、一部が異常終了した。
@ 1 : 正常終了数
@ 2 : 異常終了数
- [処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、コマンドを再実行する。
- [関連]

DIDTS016

I

[英文] Request from command has been accepted. COMMAND=@1

[和文] コマンドからの処理要求を受け付けました。COMMAND=@ 1

[説明] コマンドからの処理要求を受信した。

@ 1 : コマンド種別

DMNTERM : デーモン停止要求(通常モード)

DMNTERM(STOP) : デーモン停止要求(停止モード)

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTS018

W

[英文] Command terminated with warning.

[和文] コマンドが警告終了しました。

[説明] コマンドが警告終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージを確認し、必要なら対処する。メッセージを出力したコマンドの再実行は不要。

[関連]

DIDTS020

I

[英文] Sender daemon started. DMNTYPE=@1

[和文] センダデーモンを起動しました。DMNTYPE=@ 1

[説明] デーモンを起動した。

@ 1 : デーモン種別

MNG : 管理デーモン

EXEC : 実行デーモン

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTS021

E

[英文] Sender daemon aborted. DMNTYPE=@1

[和文] センダデーモンを異常停止します。 DMNTYPE=@ 1

[説明] デーモンが異常停止した。

@ 1 : デーモン種別

MNG : 管理デーモン

[処置] 直前に出力されている異常終了の原因となったエラーメッセージに対処する。デーモンは死活監視機能によって再起動されるため、再起動の必要はないが、死活監視機能による再起動がリトライオーバーした場合は、デーモン起動コマンド(didltctrl)で再起動する必要がある。

[関連]

DIDTS022

I

[英文] Sender daemon stopped. DMNTYPE=@1

[和文] センダデーモンを停止します。 DMNTYPE=@ 1

[説明] デーモンが停止した。

@ 1 : デーモン種別

MNG : 管理デーモン

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTS023

I

[英文] Sender daemon termination has finished.

[和文] センダデーモン終了処理が完了しました。

[説明] デーモン終了処理が完了した。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTS024

E

[英文] Failed to initialize Sender daemon. DMNTYPE=@1 code=@2

[和文] センダデーモン初期化処理でエラーが発生しました。 DMNTYPE=@ 1 code=@ 2

[説明] デーモン初期化処理でエラーが発生した。

@ 1 : デーモン種別

MNG : 管理デーモン

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、デーモンを再起動する。

[関連]

DIDTS025

E

[英文] Failed to termination Sender daemon. DMNTYPE=@1 code=@2

[和文] センダデーモン終了処理でエラーが発生しました。 DMNTYPE=@ 1 code=@ 2

[説明] デーモン終了に失敗した。

@ 1 : デーモン種別

MNG : 管理デーモン

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処後、停止処理を再実行する。

[関連]

DIDTS026

E

[英文] Failed to start Sender daemon. DMNTYPE=@1 PID=@2 SPST=@3 UNIT=@4 return=@5 code=@6

[和文] センダデーモンの起動に失敗しました。 DMNTYPE=@ 1 PID=@ 2 SPST=@ 3 UNIT=@ 4 return=@ 5 code=@ 6

[説明] デーモンの起動に失敗した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : プロセス ID

@ 3 : スーパーストリーム名

@ 4 : ユニット名

@ 5 : リターンコード

@ 6 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。管理デーモンによる再起動がリトライオーバーしている場合、デーモン起動コマンド(didtsctrl)を実行し、デーモンを再起動する。

[関連]

DIDTS027

E

[英文] Failed to stop Sender daemon. DMNTYPE=@1 PID=@2 SPST=@3 UNIT=@4 return=@5 code=@6

[和文] センダデーモンの停止に失敗しました。 DMNTYPE=@ 1 PID=@ 2 SPST=@ 3 UNIT=@ 4 return=@ 5
code=@ 6

[説明] デーモンの停止に失敗した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : プロセス ID

@ 3 : スーパーストリーム名

@ 4 : ユニット名

@ 5 : リターンコード

@ 6 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。メッセージ出力後管理デーモンが停止している場合、
ログリーダ実行デーモン(didtsexecd)が残っていないか確認し、起動している場合は強制停止する。
管理デーモンの停止がエラーになっている場合は、対処後に停止コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTS028

E

[英文] Process stop of Sender daemon is detected. DMNTYPE=@1 SPST=@2 UNIT=@3

[和文] センダデーモンの停止を検出しました。 DMNTYPE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3

[説明] デーモンプロセスの停止を検出した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

[処置] 停止の原因となっているエラーに対処する。停止したデーモンは管理デーモンによって再起動されるが、
再起動がリトライオーバーしている場合、デーモン起動コマンド(didtsctrl)を実行する。

[関連]

DIDTS029

I

[英文] Stop restarting daemon because retry count of restart overflowed. DMNTYPE=@1 SPST=@2 UNIT=@3

[和文] リトライ回数を越えたためデーモンの再起動を中止します。 DMNTYPE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3

[説明] 規定時間内のリトライ回数が上限値をオーバーしたため、再起動を中止した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

[処置] 停止の原因となっているエラーに対処後、デーモン起動コマンド(didtsctrl)を実行する。

[関連]

DIDTS030

I

[英文] Sender daemon started. DMNTYPE=@1 SPST=@2 UNIT=@3

[和文] センダデーモンを起動しました。 DMNTYPE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3

[説明] デーモンが起動した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTS031

E

[英文] Sender daemon aborted. DMNTYPE=@1 SPST=@2 UNIT=@3

[和文] センダデーモンを異常停止します。 DMNTYPE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3

[説明] デーモンが異常停止した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

[処置] 直前に出力されている異常終了の原因となったエラーメッセージに対処する。デーモンは管理デーモンによって再起動されるため、再起動の必要はないが、再起動がリトライオーバーした場合は、デーモン起動コマンド(didtsctrl)で再起動する必要がある。

[関連]

DIDTS032

I

[英文] Sender daemon stopped. DMNTYPE=@1 SPST=@2 UNIT=@3

[和文] センダデーモンを停止します。 DMNTYPE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3

[説明] デーモンが停止した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTS034

E

[英文] Failed to initialize Sender daemon. DMNTYPE=@1 SPST=@2 UNIT=@3 code=@4

[和文] センダデーモン初期化処理でエラーが発生しました。 DMNTYPE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3 code=@ 4

[説明] デーモン初期化処理でエラーが発生した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されている異常終了の原因となったエラーメッセージに対処する。デーモンは管理デーモンによって再起動されるため、再起動の必要はないが、再起動がリトライオーバーした場合は、デーモン起動コマンド(didtsctrl)で再起動する必要がある。

[関連]

DIDTS035

E

[英文] Failed to termination Sender daemon. DMNTYPE=@1 SPST=@2 UNIT=@3 code=@4

[和文] センダデーモン終了処理でエラーが発生しました。 DMNTYPE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3 code=@ 4

[説明] デーモン終了処理でエラーが発生した。

@ 1 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーに対処後、停止コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTS036

I

[英文] Daemon stop request accepted. MODE=@1 DMNTYPE=@2 SPST=@3 UNIT=@4

[和文] デーモン停止要求を受け付けました。MODE=@ 1 DMNTYPE=@ 2 SPST=@ 3 UNIT=@ 4

[説明] デーモン停止要求を受信した。

@ 1 : 停止処理モード

NORMAL : 通常モード

STOP : 停止モード

@ 2 : デーモン種別

EXEC : 実行デーモン

@ 3 : スーパーストリーム名

@ 4 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTS054

I

[英文] Operation has been done already.

[和文] 既に実行済みです。

[説明] 要求された処理は実行済みであった。

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTS055

I

[英文] Operation has been done already. COMMAND=@1 SPST=@2 UNIT=@3

[和文] 既に実行済みです。COMMAND=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3

[説明] 要求された処理は実行済みであった。

@ 1 : コマンド処理種別

START : 処理開始

STOP : 処理停止

DIVEND : 強制ディビジョン終了

CTRL(EXEC) : デーモン起動

CTRL(TERM) : デーモン停止

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTS060

E

[英文] Specified object does not exist. RSCTYPE=@1 RSCNAME1=@2 RSCNAME2=@3

[和文] 処理対象が存在しません。RSCTYPE=@ 1 RSCNAME1=@ 2 RSCNAME2=@ 3

[説明] コマンドで指定された処理対象が定義されていない。

@ 1 : 処理対象の種別

SPST : スーパーストリーム

SPSTUNIT : スーパーストリーム、ユニット

DLS : 相手論理システム

@ 2 : 指定対象名

@ 3 : 指定対象名

[処置] コマンドの指定と、環境定義の内容から、誤った指定をしていないか確認する。

[関連]

DIDTS061

W

[英文] Specified object does not exist. RSCTYPE=@1 RSCNAME1=@2 RSCNAME2=@3

[和文] 処理対象が存在しません。RSCTYPE=@ 1 RSCNAME1=@ 2 RSCNAME2=@ 3

[説明] コマンドで指定された処理対象が定義されていない。

@ 1 : 処理対象の種別

SPST : スーパーストリーム

@ 2 : 指定対象名

@ 3 : 指定対象名

[処置] コマンドの指定と、環境定義の内容から、誤った指定をしていないか確認する。

[関連]

DIDTS070

E

[英文] Delayed transfer has not been started.

[和文] ディレード転送が起動されていません。

[説明] ディレード転送が起動されていない。

[処置] ディレード起動コマンド(didltinit)を実行する。

[関連]

DIDTS072

E

[英文] Sender function has not been started.

[和文] センダ機能が開始していません。

[説明] センダ機能が開始していない。

[処置] センダ機能開始コマンド(didtsinit)を実行する。

[関連]

DIDTS076

E

[英文] Control DB of delayed transfer has not been created. SPST=@1 code=@2

[和文] 定義生成が実行されていません。 SPST=@ 1 code=@ 2

[説明] スーパーストリームの定義生成が完了していない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : 内部コード

[処置] 定義生成、またはスーパーストリーム指定の定義生成(didltcreate)を実行する。

[関連]

DIDTS080

E

[英文] Cannot execute on this logical node.

[和文] この論理ノードでは実行できません。

[説明] 該当論理ノードで実行できないコマンドを実行した。

[処置] データベース製品のインストール状況や、ディレード転送機能の環境定義等を確認し、コマンド実行可能な論理ノード上で再実行する。

[関連]

DIDTS082

E

[英文] Superstream is under maintenance. SPST=@1 MTNSTATUS=@2 code=@3

[和文] スーパーストリームがメンテナンス中です。 SPST=@ 1 MTNSTATUS=@ 2 code=@ 3

[説明] スーパーストリームに対する運用コマンドが異常終了した状態のため、処理を受け付けられない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : メンテナンス状態

CREATE : 定義生成中

UPDATE : 定義変更中

@ 3 : 内部コード

[処置] エラーとなった運用コマンドの処理を正常終了させてから、処理を再実行する。

[関連]

DIDTS085

E

[英文] SuperStream or Unit is blocked. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] スーパーストリーム、またはユニットが無効状態です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] スーパーストリーム、またはユニットが無効状態のため、処理を受け付けられない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] 無効化状態を確認し、無効化解除後にコマンドを再実行する。

[関連]

DIDTS090

I

[英文] Processing target does not exist on this logical node.

[和文] この論理ノードでは動作対象が存在しません。

[説明] 該当論理ノードで動作するスーパーストリームが存在しなかった。

[処置] スーパーストリームの動作ノードを確認し、動作中ノードでコマンドを再実行する。

[関連]

DIDTS091

E

[英文] Superstream is running on the other node. SPST=@1 UNIT=@2

[和文] 他ノードで動作中です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2

[説明] 指定されたスーパーストリームは他ノードで動作中のため、処理を実行できなかった。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

[処置] スーパーストリームの動作ノードを確認し、動作中ノードでコマンドを再実行する。

[関連]

DIDTS092

E

[英文] Daemon is stopped. SPST=@1 UNIT=@2 TRBLSTATUS=@3

[和文] 実行デーモンが停止しています。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 TRBLSTATUS=@ 3

[説明] 実行デーモンが停止中のため、処理要求を実行できなかった。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 停止ステータス

NONE : コマンドによる停止

DBTROUBLE : DB 障害検出

SWITCH : マスタ切替検出

DUPLICATE : 2 重起動検出

NORECORD : 制御レコードなし

RETRYOVER : 再起動リトライオーバー

OTHER : その他

[処置] ステータスから停止原因を取り除き、デーモン再起動後にコマンドを再実行する。

[関連]

DIDTS093

E

[英文] Cannot execute command because execution daemon is terminating.

[和文] 実行デーモンが停止処理中のため受け付けられません。

[説明] 実行デーモンを停止中のため、処理要求を実行できなかった。

[処置] センダ機能終了処理中の場合、終了処理完了後に開始処理を実行し、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTS094

E

[英文] Cannot execute command because management daemon is not active. DMNSTATUS=@1

[和文] 管理デーモンが起動状態ではないため受け付けられません。 DMNSTATUS=@ 1

[説明] 管理デーモンが起動中でないため、処理要求を受け付けられなかった。

@ 1 : デーモンステータス

TERM : 停止状態

ACTING : 起動処理中

TERMINATING : 停止処理中

[処置] 管理デーモンがエラーで起動できていない場合、エラー原因を取り除き、管理デーモンを起動してからコマンドを再実行する。

[関連]

DIDTS095

I

[英文] All Unit is blocked. SPST=@1

[和文] 全ユニットが無効状態です。 SPST=@ 1

[説明] 対象のスーパーストリームの全ユニットが無効のため、処理要求を受け付けられなかった。

@ 1 : スーパーストリーム名

[処置] ユニットの無効を解除してからコマンドを再実行する。

[関連]

DIDTS100

E

[英文] System call failed. FUNC=@1 errno=@2 return=@3 code=@4

[和文] システムコールエラーが発生しました。 FUNC=@ 1 errno=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] システムコールエラーが発生した。

@ 1 : システムコール名

@ 2 : UNIX の errno

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] OS のマニュアルなどから、関数、errno に対する情報を参照してエラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTS101

E

[英文] Failed to get process information. PID=@1 return=@2 code=@3

[和文] プロセス情報の取得でエラーが発生しました。 PID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] プロセス情報の取得に失敗した。

@ 1 : プロセス ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから原因を調査し、エラー原因を取り除く。

[関連]

DIDTS103

E

[英文] Failed to get current time. errno=@1 code=@2

[和文] 現在時刻の取得でエラーが発生しました。 errno=@ 1 code=@ 2

[説明] 現在時刻の取得に失敗した。

@ 1 : UNIX の errno

@ 2 : 内部コード

[処置] コマンドの場合は再実行する。デーモンが出力して再起動していない場合は、デーモンを再起動する。

[関連]

DIDTS110

E

[英文] Failed to lock. LOCKTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] ロック処理でエラーが発生しました。 LOCKTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ロック処理に失敗した。

@ 1 : ロック種別

LNODE : 論理ノード内ロック

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているロック処理に関するエラーメッセージから原因を調査し、エラー原因を取り除く。

[関連]

DIDTS111

E

[英文] Failed to unlock. LOCKTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] アンロック処理でエラーが発生しました。 LOCKTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] アンロック処理に失敗した。

@ 1 : ロック種別

LNODE : 論理ノード内ロック

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているロック処理に関するエラーメッセージから原因を調査し、エラー原因を取り除く。

[関連]

DIDTS113

E

[英文] Failed to block signal. return=@1 code=@2

[和文] シグナルのブロックでエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] シグナルのブロック処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDTS114

E

[英文] Failed to unblock signal. return=@1 code=@2

[和文] シグナルのアンブロックでエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] シグナルのアンブロック処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDTS115

E

[英文] Failed to mask signal. return=@1 code=@2

[和文] シグナルのマスク処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] シグナルのマスク処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDTS116

E

[英文] Failed to set signal handler. return=@1 code=@2

[和文] シグナルハンドラ情報設定処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] シグナルハンドラ設定に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDTS120

E

[英文] Failed to allocate memory. return=@1 code=@2

[和文] メモリ確保でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] メモリ確保に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコード、および直前に出力されているメモリ管理機能のエラーメッセージに対処後、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTS121

E

[英文] Failed to free memory. return=@1 code=@2

[和文] メモリ解放でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] メモリの解放に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコード、および直前に出力されているメモリ管理機能のエラーメッセージに対処する。このエラーメッセージ後に出力されているメッセージから、このエラーによって失敗している処理がある場合は、その処理を再実行する。

[関連]

DIDTS124

E

[英文] Failed to allocate message buffer. return=@1 code=@2

[和文] 電文バッファの確保でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 電文バッファの確保に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコード、および直前に出力されているメモリ管理機能のエラーメッセージに対処後、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTS125

E

[英文] Failed to create shared memory. SEGTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの確保でエラーが発生しました。 SEGTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリの確保に失敗した。

@ 1 : 共有メモリ種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に共有メモリに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTS126

E

[英文] Failed to delete shared memory. SEGTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの解放でエラーが発生しました。 SEGTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリの削除に失敗した。

@ 1 : 共有メモリ種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に共有メモリに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTS127

E

[英文] Failed to attach to shared memory. SEGTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリのアタッチでエラーが発生しました。 SEGTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリのアタッチに失敗した。

@ 1 : 共有メモリ種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に共有メモリに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTS128

E

[英文] Failed to detach from shared memory. SEGTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリのデタッチでエラーが発生しました。 SEGTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリのデタッチに失敗した。

@ 1 : 共有メモリ種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に共有メモリに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTS129

E

[英文] Failed to switch shared memory. SEGTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの切替処理でエラーが発生しました。 SEGTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリの切替処理に失敗した。

@ 1 : 共有メモリ種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に共有メモリに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTS130

E

[英文] Failed to create client socket. SOCKTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] クライアントソケットの生成でエラーが発生しました。 SOCKTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ソケットの生成に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTS131

E

[英文] Failed to close socket. SOCKTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] ソケットのクローズ処理でエラーが発生しました。 SOCKTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ソケットのクローズ処理に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTS132

E

[英文] Failed to create server socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] サーバソケットの生成でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ソケットの生成に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTS134

E

[英文] Failed to add watch socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 監視ソケット登録処理でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 監視ソケット登録に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTS135

E

[英文] Failed to delete watch socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 監視ソケット削除処理でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 監視ソケット削除に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTS138

E

[英文] Socket watch timed out. SOCKTYPE=@1 code=@2

[和文] ソケットの監視がタイムアウトしました。 SOCKTYPE=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケットの監視がタイムアウトした。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : 内部コード

[処置] タイムアウトの原因となっている処理を調査する。エラーに対処後、失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTS139

E

[英文] Failed to send message. SOCKTYPE=@1 MSG=@2 return=@3 code=@4

[和文] 電文送信でエラーが発生しました。 SOCKTYPE=@ 1 MSG=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 電文送信に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : 電文種別

STARTREQ : 開始要求電文

STARTRSP : 開始応答電文

STOPREQ : 停止要求電文

STOPRSP : 停止応答電文

PACREQ : ペーシング要求電文

DIVENDREQ : ディビジョン終了要求電文

LOG : ログデータ電文

COMMAND : コマンド電文

LCT : 所在切り替え電文

DMN : デーモン間電文

* : 上記以外

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理を再実行する。

[関連]

DIDTS140

E

[英文] Failed to receive message. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 電文受信でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 電文受信に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にソケットに関するエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTS141

E

[英文] Connection disconnected. SOCKETTYPE=@1 code=@2

[和文] コネクションが切断されました。 SOCKETTYPE=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケットが切断された。

@ 1 : ソケット種別

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージから、接続先で発生したエラーに対処し、失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTS144

E

[英文] All socket paths to other system failed. DLSNAME=@1

[和文] 相手論理システムへの全ソケットパスが障害になりました。 DLSNAME=@ 1

[説明] 相手論理システムへの全ソケットパスの障害を検出した。

@ 1 : 相手論理システム名

[処置] 表示された相手論理システムと通信可能な状態か確認する。
障害が復旧すれば、自動的に転送が再開される。

[関連]

DIDTS150

E

[英文] Failed to register alarm. ALARM=@1 return=@2 code=@3

[和文] アラームの登録でエラーが発生しました。 ALARM=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] アラームの登録に失敗した。

@ 1 : アラーム種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にアラーム機能、ソケット機能のエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTS151

E

[英文] Failed to delete alarm. ALARM=@1 return=@2 code=@3

[和文] アラームの削除でエラーが発生しました。 ALARM=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] アラームの削除に失敗した。

@ 1 : アラーム種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前にアラーム機能、ソケット機能のエラーメッセージが出力されている場合、エラーに対処後、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTS161

E

[英文] Failed to get logical system information. return=@1 code=@2

[和文] 論理システム情報の取得に失敗しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 論理システム情報の取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードと直前に出力されているメッセージからエラーに対処し、このエラーによって失敗した処理がある場合は再実行する。

[関連]

DIDTS163

E

[英文] Failed to notify SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能の通知処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能の通知処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードと直前に出力されているメッセージからエラーに対処する。エラーが発生した処理の再実行は必要ない。

[関連]

DIDTS165

E

[英文] Failed to get destination logical node information. return=@1 code=@2

[和文] 宛先論理ノード情報の取得に失敗しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 宛先論理ノード情報の取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードと直前に出力されているメッセージからエラーに対処する。エラーが発生した処理の再実行は必要ない。

[関連]

DIDTS200

E

[英文] Failed in process initialization of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS201

E

[英文] Failed in process initialization of DIOSA common function. return=@1 code=@2

[和文] DIOSA 共通機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DIOSA/XTP 共通機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS202

E

[英文] Failed in process initialization of application dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS205

E

[英文] Failed in process initialization of socket function. return=@1 code=@2

[和文] ソケット機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケット機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS206

E

[英文] Failed in process initialization of alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラーム機能のプロセス初期化に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS208

E

[英文] Failed in process initialization of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS209

E

[英文] Failed to start monitoring of Daemon Alive Monitoring. return=@1 code=@2

[和文] デーモン死活監視機能の監視開始処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] デーモン死活監視機能の監視開始に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS210

E

[英文] Failed in process initialization of In-Memory server information control. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ所在管理機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ所在管理機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS211

E

[英文] Failed in process initialization of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS214

E

[英文] Failed in process initialization of lock function. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能プロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロック制御機能のプロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS220

E

[英文] Failed in thread initialization of alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能のスレッド初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラーム機能のスレッド初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS230

E

[英文] Failed in transaction initialization of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送機能のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS231

E

[英文] Failed in transaction initialization of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS232

E

[英文] Failed in transaction initialization of application dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS233

E

[英文] Failed in transaction initialization of lock function. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロック制御機能のトランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS234

E

[英文] Failed in service initialization of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ機能のサービス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ機能のサービス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS235

E

[英文] Failed in transaction start of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバのトランザクション開始処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバのトランザクション開始処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS250

E

[英文] Failed in process termination of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTS251

E

[英文] Failed in process termination of DIOA common function. return=@1 code=@2

[和文] DIOA 共通機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DIOA/XTP 共通機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTS252

E

[英文] Failed in process termination of application dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTS255

E

[英文] Failed in process termination of socket function. return=@1 code=@2

[和文] ソケット機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケット機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTS256

E

[英文] Failed in process termination of alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラーム機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTS258

E

[英文] Failed in process termination of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTS259

E

[英文] Failed to stop monitoring of Daemon Alive Monitoring. return=@1 code=@2

[和文] デーモン死活監視機能の監視停止処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] デーモン死活監視機能の監視停止処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTS260

E

[英文] Failed in process termination of In-Memory server information control. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ所在管理機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ所在管理機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTS261

E

[英文] Failed in process termination of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTS264

E

[英文] Failed in process termination of lock function. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能プロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロック制御機能のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTS270

E

[英文] Failed in thread termination of alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能のスレッド終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラーム機能のスレッド終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直後にディレードに関するエラーメッセージが出力されていなければ必要なし。

[関連]

DIDTS280

E

[英文] Failed in transaction termination of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード転送のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ディレード転送機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS281

E

[英文] Failed in transaction termination of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS282

E

[英文] Failed in transaction termination of application dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] AP 動的置換機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS283

E

[英文] Failed in transaction termination of lock function. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロック制御機能のトランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS284

E

[英文] Failed in service termination of In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ機能のサービス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ機能のサービス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS300

E

[英文] Failed to connect to DB. CONNTYPE=@1 RGSET=@2 DSTATUS=@3 return=@4 code=@5

[和文] DB 接続でエラーが発生しました。 CONNTYPE=@ 1 RGSET=@ 2 DSTATUS=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] DB 接続に失敗した。

@ 1 : 接続タイプ

DEFAULT : DBCTRL 節 CONTROL 項 DEFAULTRGSET に指定されたリソースグループセットに接続

@ 2 : リソースグループセット名

@ 3 : 詳細ステータス

@ 4 : リターンコード

@ 5 : 内部コード

[処置] 現在の DB 接続状況を確認し、切断中の場合、これ以前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ (DINCMxx) を参照してエラーに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTS301

E

[英文] Failed to disconnect from DB. DSTATUS=@1 return=@2 code=@3

[和文] DB 切断でエラーが発生しました。 DSTATUS=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] DB 切断に失敗した。

@ 1 : 詳細ステータス

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直後にディレード機能に関するエラーメッセージが出力されていなければ処置の必要なし。

[関連]

DIDTS302

E

[英文] Failed to reconnect to DB. DSTATUS=@1 return=@2 code=@3

[和文] DB 再接続でエラーが発生しました。 DSTATUS=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] DB 再接続に失敗した。

@ 1 : 詳細ステータス

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 現在の DB 接続状況を確認し、切断中の場合、これ以前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ(DINCMxxx)を参照してエラーに対処する。対処完了後、デーモン起動コマンド(didtsctrl)で、停止しているデーモンを再起動する。

[関連]

DIDTS310

E

[英文] Failed to get DB context. return=@1 code=@2

[和文] DB コンテキスト取得処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DB コンテキスト取得処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 現在の DB 接続状況を確認し、切断中の場合、これ以前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ(DINCMxxx)を参照してエラーに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTS311

E

[英文] Failed to switch DB connection. RGSET=@1 DSTATUS=@2 return=@3 code=@4

[和文] DB 接続先切り替え処理でエラーが発生しました。 RGSET=@ 1 DSTATUS=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] DB 接続先切り替え処理に失敗した。

@ 1 : リソースグループセット名 (#DEFAULT と表示された場合、DBCTRL 節 CONTROL 項 DEFAULTRGSET に定義されたリソースグループセット名を表す)

@ 2 : 詳細ステータス

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] 現在の DB 接続状況を確認し、切断中の場合、これ以前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ (DINCMxxx) を参照してエラーに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTS320

E

[英文] Failed to commit DB. sqlcode=@1 code=@2

[和文] DB のコミットでエラーが発生しました。 sqlcode=@ 1 code=@ 2

[説明] DB のコミットに失敗した。

@ 1 : sqlcode

@ 2 : 内部コード

[処置] sqlcode からエラー原因を取り除き、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTS321

E

[英文] Failed to rollback DB. sqlcode=@1 code=@2

[和文] DB のロールバックでエラーが発生しました。 sqlcode=@ 1 code=@ 2

[説明] DB のロールバックに失敗した。

@ 1 : sqlcode

@ 2 : 内部コード

[処置] sqlcode からエラー原因を取り除き、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTS340

E

[英文] Table is not found in DB. TABLE=@1 code=@2

[和文] DB にテーブルが存在しません。TABLE=@ 1 code=@ 2

[説明] DB にセンダの制御 DB に関するテーブルが存在しない。

@ 1 : テーブル名

@ 2 : 内部コード

[処置] TABLE パラメータに表示されているテーブルに対して原因を調査し、エラー原因を取り除いてからテーブルを作成および定義生成(didltcreate)を実行する。

[関連]

DIDTS341

E

[英文] Failed to notify DB error. DSTATUS=@1 return=@2 code=@3

[和文] DB 障害通知処理でエラーが発生しました。DSTATUS=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] DB 障害通知処理に失敗した。

@ 1 : 詳細ステータス

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されている DB 接続管理機能のエラーメッセージ(DINCMxxx)を参照してエラーに対処する。

[関連]

DIDTS350

E

[英文] Failed to access unit information in control DB. FUNC=@1 TABLE=@2 SPST=@3 UNIT=@4 DETCODE=@5
sqlcode=@6 code=@7

[和文] 制御 DB のユニット制御情報へのアクセスでエラーが発生しました。 FUNC=@ 1 TABLE=@ 2 SPST=@ 3
UNIT=@ 4 DETCODE=@ 5 sqlcode=@ 6 code=@ 7

[説明] 制御 DB のユニット制御情報へのアクセスに失敗した。

@ 1 : アクセス種別

INSERT : レコード追加

SELECT : レコード読込

UPDATE : レコード更新

DELETE : レコード削除

TRUNCATE : 全レコード削除

@ 2 : テーブル名

@ 3 : スーパーストリーム名

@ 4 : ユニット名

@ 5 : 詳細コード

@ 6 : sqlcode

@ 7 : 内部コード

[処置] sqlcode から原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDTS351

E

[英文] Failed to access stream information in control DB. FUNC=@1 TABLE=@2 SPST=@3 UNIT=@4 DETCODE=@5 sqlcode=@6 code=@7

[和文] 制御 DB のストリーム制御情報へのアクセスでエラーが発生しました。 FUNC=@ 1 TABLE=@ 2 SPST=@ 3 UNIT=@ 4 DETCODE=@ 5 sqlcode=@ 6 code=@ 7

[説明] 制御 DB のストリーム制御情報へのアクセスに失敗した。

@ 1 : アクセス種別

INSERT : レコード追加

SELECT : レコード読込

UPDATE : レコード更新

DELETE : レコード削除

TRUNCATE : 全レコード削除

@ 2 : テーブル名

@ 3 : スーパーストリーム名

@ 4 : ユニット名

@ 5 : 詳細コード

@ 6 : sqlcode

@ 7 : 内部コード

[処置] sqlcode から原因を調査し、エラーの原因を取り除く。

[関連]

DIDTS400

E

[英文] Failed to connect to In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバとの接続処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバとの接続に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTS401

E

[英文] Failed to disconnect from In-Memory server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバとの切断処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバとの切断に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTS410

E

[英文] Failed to open In-Memory data search context. return=@1 code=@2

[和文] In-Memory Data 検索コンテキストのオープン処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] In-Memory Data 検索用のコンテキストオープンに失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTS411

E

[英文] Failed to close In-Memory data search context. return=@1 code=@2

[和文] In-Memory Data 検索コンテキストのクローズ処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] In-Memory Data 検索用のコンテキストクローズに失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTS412

E

[英文] Failed to set MAP ID. MAPID=@1 return=@2 code=@3

[和文] MAP 宣言処理でエラーが発生しました。MAPID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] MAP 宣言処理に失敗した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTS413

E

[英文] Failed to set search key of In-Memory data search context. return=@1 code=@2

[和文] In-Memory Data 検索条件設定処理でエラーが発生しました。return=@ 1 code=@ 2

[説明] In-Memory Data 検索条件設定に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTS414

E

[英文] Failed to get MAP ID list of logical table. TABLE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 論理表分散先 MAP の取得処理でエラーが発生しました。TABLE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 論理表の分散先 MAPID 取得に失敗した。

@ 1 : 論理表名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 論理表がインメモリサーバ機能に正しく定義されていない場合、定義を更新する。

また、これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTS415

E

[英文] Failed to get accessing MAP. return=@1 code=@2

[和文] アクセス先 MAP 取得処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] 現在のアクセス先 MAPID の取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTS416

E

[英文] Failed to get physical table name. TABLE=@1 MAPID=@2 return=@3 code=@4

[和文] 物理表名取得処理でエラーが発生しました。 TABLE=@ 1 MAPID=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 物理表名取得に失敗した。

@ 1 : 論理表名

@ 2 : MAPID

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTS420

E

[英文] Failed in commit function of In-Memory server. MAPID=@1 return=@2 code=@3

[和文] インメモリサーバのコミット処理でエラーが発生しました。 MAPID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリサーバのコミットに失敗した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTS421

E

[英文] Failed in rollback function of In-Memory server. MAPID=@1 return=@2 code=@3

[和文] インメモリサーバのロールバック処理でエラーが発生しました。 MAPID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリサーバのロールバックに失敗した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTS430

E

[英文] Failed in access function to In-Memory data. MAPID=@1 TABLE=@2 FUNC=@3 return=@4 code=@5

[和文] In-Memory Data へのアクセスでエラーが発生しました。 MAPID=@ 1 TABLE=@ 2 FUNC=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] In-Memory Data へのアクセスに失敗した。

@ 1 : MAPID

@ 2 : 論理表名

@ 3 : アクセス種別

READ1 : 1 件読み込み

READ : 複数件読み込み

WRITE : 挿入

REWRITE : 更新

DELETE : 削除

DELETEx1 : キー指定削除

TRUNCATE : テーブル初期化

@ 4 : リターンコード

@ 5 : 内部コード

[処置] これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTS440

E

[英文] Failed to get logical table ID. TABLE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 論理表 ID の取得処理でエラーが発生しました。TABLE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 論理表 ID 取得に失敗した。

@ 1 : 論理表名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] 論理表がインメモリサーバ機能に正しく定義されていない場合、定義を更新する。

また、これ以前に出力されているインメモリサーバ所在管理機能、インメモリサーバ機能に関するエラーメッセージや、リターンコードの情報からエラーメッセージに対処し、エラーとなった処理を再実行する。

[関連]

DIDTS500

E

[英文] Failed in SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的変更処理でエラーが発生しました。return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的変更処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージや、リターンコードの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS510

E

[英文] Deadlock retry over has occurred. SPST=@1 UNIT=@2 RETRYNUM=@3 code=@4

[和文] デッドロックリトライオーバーが発生しました。SPST=@ 1 UNIT=@ 2 RETRYNUM=@ 3 code=@ 4

[説明] デッドロックリトライオーバーが発生した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : リトライ回数

@ 4 : 内部コード

[処置] 開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTS511

I

[英文] Retry transaction because deadlock has been detected. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] デッドロックを検出したため、リトライします。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] デッドロックを検出したため、処理をリトライした。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTS550

E

[英文] Failed to get blockage status. SPST=@1 UNIT=@2 return=@3 code=@4

[和文] 無効化状態取得処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 無効化状態取得に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS551

E

[英文] Failed to get maintenance status. SPST=@1 return=@2 code=@3

[和文] メンテナンス状態取得処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] メンテナンス状態取得に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS552

E

[英文] Failed to read LogData. SPST=@1 DSTATUS=@2 return=@3 code=@4

[和文] ログデータ読込でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 DSTATUS=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] ログデータ読込に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : 詳細ステータス

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS553

E

[英文] Failed to get LogData of re-sending. SPST=@1 FROM=@2 TO=@3 DSTATUS=@4 return=@5 code=@6

[和文] 再送対象となるログデータの読込でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 FROM=@ 2 TO=@ 3 DSTATUS=@ 4 return=@ 5 code=@ 6

[説明] 再送対象となるログデータの読込に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : 開始通番

@ 3 : 終了通番

@ 4 : 詳細ステータス

@ 5 : リターンコード

@ 6 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS554

E

[英文] Failed to get status of put LogData. SPST=@1 DSTATUS=@2 return=@3 code=@4

[和文] ログデータ書込状況の取得処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 DSTATUS=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] ログデータ書込状況の取得に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : 詳細ステータス

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS555

E

[英文] Failed to get next division ID. SPST=@1 DSTATUS=@2 return=@3 code=@4

[和文] 次ディビジョンの取得処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 DSTATUS=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 次ディビジョンの取得に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : 詳細ステータス

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS556

E

[英文] Failed to get data number of last LogData. SPST=@1 DSTATUS=@2 return=@3 code=@4

[和文] 最終ログデータの通番取得処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 DSTATUS=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 最終ログデータの通番取得に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : 詳細ステータス

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] リターンコードや、直前に出力されているエラーメッセージの内容からエラーに対処する。

[関連]

DIDTS600

I

- [英文] Unit status changed. SPST=@1 UNIT=@2 STATUS=@3
- [和文] ユニットの状態を変更しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 STATUS=@ 3
- [説明] ユニットの状態を変更した。
- @ 1 : スーパーストリーム名
 - @ 2 : ユニット名
 - @ 3 : ステータス
- | | |
|-----------|--------------|
| INIT | : 初期状態 |
| ACTING | : 活性中 |
| ACT | : 活性状態 |
| DIVENDING | : デイビジョン終了中 |
| DIVEND | : デイビジョン終了状態 |
| INACTING | : 非活性中 |
| INACT | : 非活性状態 |
| STOP | : 相手側停止状態 |
- [処置] 必要なし。
- [関連]

DIDTS610

I

- [英文] LogData transfer started. SPST=@1 UNIT=@2
- [和文] 転送を開始しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2
- [説明] 転送を開始した。
- @ 1 : スーパーストリーム名
 - @ 2 : ユニット名
- [処置] 必要なし。
- [関連]

DIDTS611

I

- [英文] LogData transfer stopped. SPST=@1 UNIT=@2
- [和文] 転送を停止しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2
- [説明] 転送を停止した。
- @ 1 : スーパーストリーム名
 - @ 2 : ユニット名
- [処置] 必要なし。
- [関連]

DIDTS612

I

[英文] Division ended. SPST=@1 UNIT=@2 DIVID=@3

[和文] ディビジョン終了しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 DIVID=@ 3

[説明] ディビジョンのデータ転送が完了した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : ディビジョン ID

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTS613

I

[英文] LogData transfer stopped by receiving stop request. SPST=@1 UNIT=@2

[和文] 停止要求を受信したため転送を停止しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2

[説明] 相手システムから停止要求を受信したため転送を停止した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTS614

E

[英文] Message send retry over has occurred. MSG=@1 SPST=@2 UNIT=@3 code=@4

[和文] 制御電文送信処理のリトライオーバーが発生しました。 MSG=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3 code=@ 4

[説明] 制御電文の再送処理がリトライオーバーしたため、転送を停止した。

@ 1 : 電文種別

STARTREQ : 開始要求

STOPREQ : 停止要求

PACREQ : ページング要求

DIVENDREQ : ディビジョン終了要求

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

@ 4 : 内部コード

[処置] 相手システムの状態を確認し、応答が返却されない原因を取り除く。電文種別が開始要求、ページング要求、ディビジョン終了要求で、再度、転送を開始させる場合は、転送開始コマンド(didtsstart)を実行する。電文種別が停止要求の場合は、既に転送は停止しているため、処置の必要なし。

[関連]

DIDTS615

E

[英文] LogData transfer stopped by detecting error. SPST=@1 UNIT=@2

[和文] エラー事象を検出したため、転送を停止しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2

[説明] エラーが発生したため、転送を停止した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

[処置] 直前に出力されている DIDTS 系メッセージから原因を調査し、エラーの原因を取り除いてから転送開始コマンド(didtsstart)を実行し、転送を開始させる。

[関連]

DIDTS616

I

[英文] Transfer stop, and start open because path error has been detected. SPST=@1 UNIT=@2

[和文] 通信パスに異常を検知したため、転送を中断し開局から開始します。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2

[説明] 通信パスに異常を検知したため一旦転送を中断し、開局から開始する。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

[処置] 必要なし。通信パスが開局状態になると自動的に転送を開始する。

[関連]

DIDTS630

I

[英文] Configuration parameter has been changed. PARAM=@1 FROM=@2 TO=@3 SPST=@4 UNIT=@5

[和文] 動作環境パラメータを変更しました。 PARAM=@ 1 FROM=@ 2 TO=@ 3 SPST=@ 4 UNIT=@ 5

[説明] 動作環境パラメータを変更した。

@ 1 : パラメータ種別

MSGDLYTIME : ログデータ電文送信遅延時間

PSEND CNT : 1 ページあたりの送信件数

MSGDLYCNT : 連続電文送信数

DLS : 相手論理システム

@ 2 : 変更前の値

@ 3 : 変更後の値

@ 4 : スーパーストリーム名

@ 5 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTS631

I

[英文] Finished data number has been changed. DIVID=@1 DATANO=@2 USERDATANO=@3 SPST=@4 UNIT=@5

[和文] 処理済み通番情報を変更しました。 DIVID=@ 1 DATANO=@ 2 USERDATANO=@ 3 SPST=@ 4 UNIT=@ 5

[説明] 処理済みディビジョン ID、通番、ユーザ通番の情報を変更した。

@ 1 : ディビジョン ID

@ 2 : 通番

@ 3 : ユーザ通番

@ 4 : スーパーストリーム名

@ 5 : ユニット名

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTS640

I

[英文] Current division has been ended forcibly. SPST=@1 UNIT=@2 DIVID=@3

[和文] 強制的に処理中のディビジョンを終了しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 DIVID=@ 3

[説明] 強制的に処理中のディビジョンを終了した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : ディビジョン ID

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTS650

E

[英文] Command failed. COMMAND=@1 SPST=@2 UNIT=@3 code=@4

[和文] コマンド処理が失敗しました。COMMAND=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3 code=@ 4

[説明] コマンド処理が失敗した。

@ 1 : コマンド種別

START : データ転送開始

STOP : データ転送停止

TERM : センダ終了

DIVEND : 強制ディビジョン終了

MOD : 動作変更

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDTS651

E

[英文] Command reply waiting from execution daemon timed out. SPST=@1 UNIT=@2 COMMAND=@3

[和文] 実行デーモンからのコマンド応答がタイムアウトしました。SPST=@ 1 UNIT=@ 2 COMMAND=@ 3

[説明] 実行デーモンからのコマンド応答がタイムアウトした。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : コマンド種別

START : データ転送開始

STOP : データ転送停止

TERM : センダ終了

DIVEND : 強制ディビジョン終了

MOD : 動作変更

[処置] 実行デーモン側で出力されているエラーメッセージに対処後、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTS661

E

[英文] Failed to synchronize shared memory with control DB. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] 制御 DB とメモリの同期処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] 制御 DB と共有メモリの更新処理でエラーが発生した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDTS670

E

[英文] Failed to send LogData. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] ログデータの送信処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] ログデータの送信処理中にエラーが発生した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。原因を取り除いた後は、状況照会コマンド (didsref) によりステータスを確認し、ステータスに応じたコマンドを実行する。

[関連]

DIDTS672

E

[英文] Failed to receive control message. SPST=@1 UNIT=@2 MSG=@3 code=@4

[和文] 制御電文の受信処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 MSG=@ 3 code=@ 4

[説明] 制御電文の受信処理中にエラーが発生した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 電文種別

STARTREQ : 開始要求

STARTRSP : 開始応答

STOPREQ : 停止要求

STOPRSP : 停止応答

PACRSP : ペーシング応答

DIVENDRSP : ディビジョン終了応答

DRTYREQ : 再送要求

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。原因を取り除いた後は、状況照会コマンド (didsref) によりステータスを確認し、ステータスに応じたコマンドを実行する。

[関連]

DIDTS673

E

[英文] Failed to resend control message. SPST=@1 UNIT=@2 MSG=@3 code=@4

[和文] 制御電文の再送処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 MSG=@ 3 code=@ 4

[説明] 制御電文の再送処理中にエラーが発生した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 電文種別

STARTREQ : 開始要求

STOPREQ : 停止要求

PACREQ : ペーシング要求

DIVENDREQ : ディビジョン終了要求

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。原因を取り除いた後は、状況照会コマンド (didsref) によりステータスを確認し、ステータスに応じたコマンドを実行する。

[関連]

DIDTS674

E

[英文] Failed in process error detected. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] 通信パス障害検出時処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] 通信パス障害検出時処理中にエラーが発生した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。原因を取り除いた後は、状況照会コマンド (didsref) によりステータスを確認し、ステータスに応じたコマンドを実行する。

[関連]

DIDTS675

E

[英文] Failed in data watch process. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] データ発生監視処理でエラーが発生しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] データ発生監視処理中にエラーが発生した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。原因を取り除いた後は、状況照会コマンド (didsref) によりステータスを確認し、ステータスに応じたコマンドを実行する。

[関連]

DIDTS700

E

[英文] LogData transfer is now in progress. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] スーパーストリームが転送中です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] 転送処理中のため処理を受け付けられない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] データ処理停止コマンド(didtsstop)を実行後、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTS701

E

[英文] Current division has not been started. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] カレントディビジョンは開始されていません。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] 処理開始していないため、強制ディビジョン終了に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] データ処理開始(didtsstart)、データ処理停止(didtsstop)を実行後、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTS702

E

[英文] Next division does not exist. SPST=@1 UNIT=@2 DIVID=@3 return=@4 code=@5

[和文] 次ディビジョンが存在しません。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 DIVID=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] 次ディビジョンが存在しないため、強制ディビジョン終了に失敗した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : ディビジョン ID

@ 4 : リターンコード

@ 5 : 内部コード

[処置] ディビジョン終了コマンド(didltdivchg)を実行後、コマンドを再実行する。

[関連]

DIDTS703

E

[英文] Current division has not ended. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] スーパーストリームがディビジョン終了していません。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] ディビジョン終了状態でないため、ユニットを削除できない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] データ転送を実行するか、強制ディビジョン終了を実行し、未処理のデータが存在しない状態にしてから定義変更を再実行する。

[関連]

DIDTS704

E

[英文] Untransferred LogData exists. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] 転送が完了していないログデータが存在します。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] 転送が完了していないログデータが存在するため、ユニットを削除できない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] データ転送を実行するか、強制ディビジョン終了を実行し、未処理のデータが存在しない状態にしてから定義変更を再実行する。

[関連]

DIDTS705

E

[英文] Not execute stop command. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] 転送停止コマンドが投入されていない状態です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] 転送停止コマンド(didtsstop)が実行されていないため、強制モードによる転送停止コマンドを実行できない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] 転送停止コマンド(didtsstop)を実行する。

[関連]

DIDTS706

E

[英文] Start command is now in progress. code=@1

[和文] 転送開始コマンドの処理中です。 code=@ 1

[説明] 転送開始コマンド実行中のため、通常モードでの停止処理を受け付けられない。

@ 1 : 内部コード

[処置] センダ終了コマンド(didtssterm)を停止モード(-M stop)で実行する。

[関連]

DIDTS740

W

[英文] LogData processing on the other node has been detected. SPST=@1 UNIT=@2 LNODEID=@3 code=@4

[和文] 二重起動を検出しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 LNODEID=@ 3 code=@ 4

[説明] 転送処理が他論理ノード上で開始されたため、処理を停止する。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 論理ノード ID

@ 4 : 内部コード

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTS741

W

[英文] Processing node has been switched. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3

[和文] マスタ切替を検出しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3

[説明] マスタ切替を検出したため、処理を停止する。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 内部コード

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTS742

E

[英文] No record in table. TABLE=@1 SPST=@2 UNIT=@3 code=@4

[和文] 制御レコードがありません。 TABLE=@ 1 SPST=@ 2 UNIT=@ 3 code=@ 4

[説明] 制御レコードがないため、実行デーモンを停止する。

@ 1 : テーブル名

@ 2 : スーパーストリーム名

@ 3 : ユニット名

@ 4 : 内部コード

[処置] 定義生成(didltcreate)を実行し、実行デーモンを再起動する。

[関連]

DIDTS750

E

[英文] Reject the request message from system. SPST=@1 UNIT=@2 MSG=@3 code=@4

[和文] 相手システムからの要求電文を拒否しました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 MSG=@ 3 code=@ 4

[説明] 相手システムからの要求電文を拒否した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 電文種別

STARTREQ : 開始要求

STOPREQ : 停止要求

DRTYREQ : 再送要求

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDTS751

E

[英文] Rejected the request message to system. SPST=@1 UNIT=@2 MSG=@3 code=@4

[和文] 相手システムへ送信した要求電文は拒否されました。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 MSG=@ 3 code=@ 4

[説明] 相手システムへ送信した要求電文が拒否された。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 電文種別

STARTREQ : 開始要求

STOPREQ : 停止要求

PACREQ : ペーシング要求

DIVENDREQ : ディビジョン終了要求

@ 4 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージに対処する。

[関連]

DIDTS760

E

[英文] Revision is mismatched. REV=@1 DREV=@2 code=@3

[和文] 電文のリビジョンが不一致です。REV=@ 1 DREV=@ 2 code=@ 3

[説明] 電文のリビジョンが処理可能な最大リビジョンより大きい。

@ 1 : 電文リビジョン

@ 2 : 相手システムの電文リビジョン

@ 3 : 内部コード

[処置] 相手システムやDIOA/XTP の製品のバージョンを確認する。

[関連]

DIDTS761

E

[英文] Logical system name is mismatched. SPST=@1 UNIT=@2 LS=@3 DLS=@4 code=@5

[和文] 転送先論理システム名が不一致です。SPST=@ 1 UNIT=@ 2 LS=@ 3 DLS=@ 4 code=@ 5

[説明] 転送先論理システム名が異なるシステムからの電文を受信した。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 相手論理システム名

@ 4 : 受信電文内論理システム名

@ 5 : 内部コード

[処置] 相手論理システムが正しく定義されているかどうかを確認する。必要に応じて、センダ動作変更コマンド(didtsmod)にて相手論理システムを変更する。

[関連]

DIDTS762

E

[英文] Illegal message size. SPST=@1 UNIT=@2 MSGSIZE=@3 DMSGSIZE=@4 code=@5

[和文] 電文サイズが不正です。SPST=@ 1 UNIT=@ 2 MSGSIZE=@ 3 DMSGSIZE=@ 4 code=@ 5

[説明] 転送先論理システムの電文サイズが正しくない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : 電文サイズ

@ 4 : 受信電文内電文サイズ

@ 5 : 内部コード

[処置] 相手システム側と自システム側の電文サイズの定義あっているかどうかを確認する。

[関連]

DIDTS763

E

[英文] Stream is mismatched. SPST=@1 UNIT=@2 STRMNUM=@3 DSTRMNUM=@4 MATCHSTRMNUM=@5 code=@6

[和文] ストリーム構成が不一致です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 STRMNUM=@ 3 DSTRMNUM=@ 4 MATCHSTRMNUM=@ 5
code=@ 6

[説明] 転送先論理システムとの間でストリーム構成が一致しない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : ユニット名

@ 3 : ストリーム数

@ 4 : 相手システムのストリーム数

@ 5 : 構成一致ストリーム数

@ 6 : 内部コード

[処置] 開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTS765

E

- [英文] Division is mismatched. SPST=@1 UNIT=@2 CURDIVID=@3 NEXTDIVID=@4 DCURDIVID=@5 DNEXTDIVID=@6 STATUS=@7 REASON=@8 code=@9
- [和文] デイビジョンが不一致です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 CURDIVID=@ 3 NEXTDIVID=@ 4 DCURDIVID=@ 5 DNEXTDIVID=@ 6 STATUS=@ 7 REASON=@ 8 code=@ 9
- [説明] 転送先論理システムとの間でデイビジョンが一致しない。
- @ 1 : スーパーストリーム名
 - @ 2 : ユニット名
 - @ 3 : 現在のデイビジョン ID
 - @ 4 : 次デイビジョン ID
 - @ 5 : 相手システムの現在のデイビジョン ID
 - @ 6 : 相手システムの次デイビジョン ID
 - @ 7 : ステータス
 - INIT : 初期状態
 - ACT : 活性状態
 - DIVEND : デイビジョン終了状態
 - @ 8 : 不一致理由
 - NextDiv : 自システムの次デイビジョン
 - BothDiv : 自システムのカレントデイビジョン、次デイビジョン
 - DCurDiv : 相手システムのカレントデイビジョン
 - DNextDiv : 相手システムの次デイビジョン
 - DBothDiv : 相手システムのカレントデイビジョン、次デイビジョン
 - SeqNo : 送信/受信済み通番
 - Rejected : 相手システムからのデイビジョン不一致応
 - @ 9 : 内部コード
- [処置] ステータスと不一致理由からデイビジョン不一致となる原因を取り除く。
- [関連]

DIDTS767

E

- [英文] Division status is mismatched. SPST=@1 UNIT=@2 code=@3
- [和文] デイビジョンの処理状態が不一致です。 SPST=@ 1 UNIT=@ 2 code=@ 3
- [説明] デイビジョンの処理状態が一致していない。
- @ 1 : スーパーストリーム名
 - @ 2 : ユニット名
 - @ 3 : 内部コード
- [処置] 転送相手の論理システム側の、同一スーパーストリーム名のレシーバの処理状態を確認する。
- [関連]

DIDTS768

E

[英文] Target Superstream does not exist. SPST=@1 code=@2

[和文] スーパーストリームが存在しません。 SPST=@ 1 code=@ 2

[説明] スーパーストリームが存在しない。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : 内部コード

[処置] 開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTSE00

E

[英文] Logical error occurred. ERRTYPE=[@1] ERRINF01=@2 ERRINF02=@3 return=@4 code=@5

[和文] 論理エラーが発生しました。 ERRTYPE=[@ 1] ERRINF01=@ 2 ERRINF02=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] 論理エラーが発生した。

@ 1 : エラー種別

@ 2 : エラー情報

@ 3 : エラー情報

@ 4 : リターンコード

@ 5 : 内部コード

[処置] 開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTSE01

E

[英文] Received illegal message. MSGERR=[@1] VALUE=@2 code=@3

[和文] 不正な電文を受信しました。 MSGERR=[@ 1] VALUE=@ 2 code=@ 3

[説明] 不正な電文を受信した。

@ 1 : エラー識別情報

@ 2 : エラー情報

@ 3 : 内部コード

[処置] 開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTSE02

E

[英文] Illegal event occurred. EVENT=@1 code=@2

[和文] 不正なイベント事象が発生しました。EVENT=@ 1 code=@ 2

[説明] 不正なイベントが発生した。

@ 1 : イベント識別情報

@ 2 : 内部コード

[処置] 開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTSE03

E

[英文] Failed to get table address. TABLE=@1 return=@2 code=@3

[和文] テーブルの取得でエラーが発生しました。TABLE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリアクセスに失敗した。

@ 1 : テーブル名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTSE04

E

[英文] Failed to allocate table. TABLE=@1 return=@2 code=@3

[和文] テーブルの確保でエラーが発生しました。TABLE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 共有メモリ更新処理でエラーが発生した。

@ 1 : テーブル名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTSE05

E

[英文] Failed to get control information of delayed transfer. INF0=@1 return=@2 code=@3

[和文] ディレード転送制御情報の取得に失敗しました。 INF0=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 制御情報取得に失敗した。

@ 1 : 制御情報種別

DMN : デーモン情報

NODETYPE : 動作ノード情報

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] ディレード転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

2.15 DIETG 系

DIETG001

I

[英文] Failed to acquire environmental variable. Use default value. ENVDEF=@1 return=@2 code=@3

[和文] 環境変数の取得に失敗しました。既定値を使用します。 ENVDEF=@1 return=@2 code=@3

[説明] 環境変数の取得に失敗したため、既定値を使用する。

@ 1 : DIOSA_ETGMAXENTRY 既定値

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 環境変数として設定した値を見直す。

DIETG002

I

[英文] Initialize function is already executed. code=@1

[和文] 初期化処理は既に行われています。 code=@1

[説明] 初期化処理が既に行われている。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし。

DIETG003

E

[英文] Failed to get shared memory. return=@1 IPCKEY=0x@2 code=@3

[和文] 共有メモリの取得に失敗しました。 return=@1 IPCKEY=0x@2 code=@3

[説明] 共有メモリの取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : IPC キー

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG004

E

[英文] Failed to attach shared memory. return=@1 IPCKEY=0x@2 code=@3

[和文] 共有メモリのアタッチに失敗しました。 return=@1 IPCKEY=0x@2 code=@3

[説明] 共有メモリのアタッチに失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : IPC キー

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG005

E

[英文] Failed to detach shared memory. return=@1 TABLEKEY=0x@2 code=@3

[和文] 共有メモリのデタッチに失敗しました。 return=@1 TABLEKEY=0x@2 code=@3

[説明] 共有メモリのデタッチに失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : テーブルキー

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG006

E

[英文] Failed to delete shared memory. IPCKEY=0x@1 errno=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの削除に失敗しました。 IPCKEY=0x@1 errno=@2 code=@3

[説明] 共有メモリの削除でエラーが発生した。

@ 1 : IPC キー

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIETG007

E

[英文] Initialize command not executed.

[和文] 経過時間監視の初期化が完了していません。

[説明] 経過時間監視の初期化が行われていない。

[処置] 経過時間監視デーモン起動停止コマンドで経過時間監視デーモンを起動する。

DIETG008

E

[英文] Failed to initialize process of common. return=@1 code=@2

[和文] 共通プロセス初期化処理が異常終了しました。 return=@1 code=@2

[説明] 共通プロセス初期化処理が異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG009

E

[英文] Failed to lock. LOCKID=@1 return=@2 code=@3

[和文] 排他用ロックのロックエラーが発生しました。 LOCKID=@1 return=@2 code=@3

[説明] ロックエラーが発生した。

@ 1 : ロック ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG010

E

[英文] Failed to unlock. LOCKID=@1 return=@2 code=@3

[和文] 排他用ロックのアンロックエラーが発生しました。 LOCKID=@1 return=@2 code=@3

[説明] アンロックエラーが発生した。

@ 1 : ロック ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG011

E

[英文] Failed to allocate memory. return=@1 code=@2

[和文] メモリ確保エラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] メモリ確保エラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG013

E

[英文] Failed to initialize socket. return=@1 code=@2

[和文] ソケットの初期化に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] ソケットの初期化に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG014

E

[英文] Failed to modify timeout of socket. return=@1 code=@2

[和文] ソケット監視間隔の設定エラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] ソケット監視間隔の設定でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG015

E

[英文] Failed to create socket. return=@1 code=@2

[和文] コマンド通信用ソケットの生成に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] コマンド通信用ソケットの生成に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG016

E

[英文] Failed to connect socket. return=@1 code=@2

[和文] コマンド通信用ソケットへの接続に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] コマンド通信用ソケットへの接続に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG017

E

[英文] Failed to register socket. return=@1 code=@2

[和文] 監視対象ソケットの登録エラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] 監視対象ソケットの登録エラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG018

E

[英文] Failed to delete information of Daemon Alive Monitoring. return=@1 code=@2

[和文] 死活監視情報の削除エラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] 死活監視情報の削除エラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG019

I

[英文] Elapsed Time Guard daemon start/stop command terminated normally.

[和文] 経過時間監視デーモン起動・停止コマンドが正常終了しました。

[説明] 経過時間監視デーモン起動・停止コマンドが正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DIETG020

E

[英文] Elapsed Time Guard daemon start/stop command aborted.

[和文] 経過時間監視デーモン起動・停止コマンドが異常終了しました。

[説明] 経過時間監視デーモン起動・停止コマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG021

I

[英文] Elapsed Time Guard daemon is already running.

[和文] 経過時間監視デーモンは起動済みです。

[説明] 経過時間監視デーモンは起動済みである。

[処置] 処置の必要なし。

DIETG022

I

[英文] Elapsed Time Guard daemon is already stopped.

[和文] 経過時間監視デーモンは停止済みです。

[説明] 経過時間監視デーモンは停止済みである。

[処置] 処置の必要なし。

DIETG023

I

[英文] Elapsed Time Guard daemon started.

[和文] 経過時間監視デーモンが起動しました。

[説明] 経過時間監視デーモンが起動した。

[処置] 処置の必要なし。

DIETG024

I

[英文] Elapsed Time Guard daemon stopped.

[和文] 経過時間監視デーモンが停止しました。

[説明] 経過時間監視デーモンが停止した。

[処置] 処置の必要なし。

DIETG025

E

[英文] Elapsed Time Guard daemon aborted.

[和文] 経過時間監視デーモンが異常終了しました。

[説明] 経過時間監視デーモンが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG026

E

[英文] Failed to start Elapsed Time Guard daemon. return=@1 code=@2

[和文] 経過時間監視デーモンの起動に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] 経過時間監視デーモンの起動に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG027

E

[英文] Failed to stop Elapsed Time Guard daemon. return=@1 code=@2

[和文] 経過時間監視デーモンの停止に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] 経過時間監視デーモンの停止に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG028

I

[英文] Elapsed Time Guard daemon stop request accepted.

[和文] 経過時間監視デーモンの停止要求を受け付けました。

[説明] 経過時間監視デーモンの停止要求を受け付けた。

[処置] 処置の必要なし。

DIETG029

E

[英文] Monitoring process is already stopped. SVCNAME=@1 PRCNAME=@2

[和文] 監視対象のプロセスが既に停止しています。 SVCNAME=@1 PRCNAME=@2

[説明] 監視対象のプロセスが既に停止している。

@ 1 : サービス名

CO 制御 : COC_{TPBASE モニタ名}_{トランザクション ID}

バッチ AP 制御 : BAC_{プロセス ID}_{CO 名}

ログリーダー : DTL_{スーパーストリーム名}_{ユニット名}

@ 2 : プロセス名

[処置] 該当のプロセスが停止していることを確認する。

DIETG030

W

[英文] Sent signal to monitoring process. SVCNAME=@1 PID=@2 TID=@3 PRCNAME=@4 SIGNAL=@5

[和文] 監視対象のプロセスにシグナルを送信しました。 SVCNAME=@1 PID=@2 TID=@3 PRCNAME=@4 SIGNAL=@5

[説明] 監視対象のプロセスにシグナルを送信した。

@ 1 : サービス名

CO 制御 : COC_{TPBASE モニタ名}_{トランザクション ID}

バッチ AP 制御 : BAC_{プロセス ID}_{CO 名}

ログリーダー : DTL_{スーパーストリーム名}_{ユニット名}

@ 2 : プロセス ID

@ 3 : スレッド ID

@ 4 : プロセス名

@ 5 : シグナル種別

[処置] 処置の必要なし。

DIETG031

I

[英文] Emergency stop signal accepted.

[和文] 緊急終了シグナルを受け付けました。

[説明] 緊急終了シグナルを受け付けた。

[処置] 処置の必要なし。

DIETG032

E

[英文] Failed to acquire time. errno=@1 code=@2

[和文] システム時刻の取得に失敗しました。 errno=@1 code=@2

[説明] システム時刻の取得に失敗した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIETG033

E

[英文] Failed to register signal handler. SIGNAL=@1 errno=@2 code=@3

[和文] シグナルハンドラの登録に失敗しました。 SIGNAL=@1 errno=@2 code=@3

[説明] シグナルハンドラの登録に失敗した。

@ 1 : シグナル番号

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIETG034

I

[英文] Elapsed Time Guard daemon stopping because of stop command accepted.

[和文] 経過時間監視終了処理が実行されたので停止します。

[説明] 経過時間監視終了処理が実行されたため、経過時間監視デーモンが停止する。

[処置] 処置の必要なし。

DIETG035

W

[英文] Process has passed elapsed time limit. SVCNAME=@1 PID=@2 TID=@3 PRCNAME=@4 USERINFO=@5

[和文] プロセスが警告時間を過ぎています。 SVCNAME=@1 PID=@2 TID=@3 PRCNAME=@4 USERINFO=@5

[説明] 監視対象プロセスが経過時間を超過した。

@ 1 : サービス名

CO 制御 : COC_{TPBASE モニタ名}_{トランザクション ID}

バッチ AP 制御 : BAC_{プロセス ID}_{CO 名}

ログリーダー : DTL_{スーパーストリーム名}_{ユニット名}

@ 2 : プロセス ID

@ 3 : スレッド ID

@ 4 : プロセス名

@ 5 : ユーザ情報

[処置] 処置の必要なし。

DIETG036

E

[英文] Failed to open to catalog file. return=@1 code=@2

[和文] カタログファイルのオープンに失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] カタログファイルのオープンに失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG037

E

[英文] Failed to close to catalog file. return=@1 code=@2

[和文] カタログファイルのクローズに失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] カタログファイルのクローズに失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG038

E

[英文] Failed to read to catalog file. return=@1 code=@2

[和文] カタログファイルの取得に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] カタログファイルの取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG040

E

[英文] Failed to allocate memory of process table. return=@1 errno=@2 code=@3

[和文] プロセス固有テーブル領域のメモリ取得に失敗しました。 return=@1 errno=@2 code=@3

[説明] プロセス固有テーブル領域のメモリ取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIETG041

E

[英文] Failed to allocate memory of thread table. return=@1 errno=@2 code=@3

[和文] スレッド固有テーブル領域のメモリ取得に失敗しました。 return=@1 errno=@2 code=@3

[説明] スレッド固有テーブル領域のメモリ取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIETG042

E

[英文] Initialize command not executed. return=@1 code=@2

[和文] 初期化処理が実行されていません。 return=@1 code=@2

[説明] 初期化処理が実行されていない。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP を再起動する。

DIETG043

E

[英文] Process initialize function not executed. code=@1

[和文] プロセス初期化処理が実行されていません。 code=@1

[説明] プロセス初期化処理が実行されていない。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG046

E

[英文] No unused entry in Elapsed Time Guard table. code=@1

[和文] 経過時間監視テーブルに空きエントリが存在しません。 code=@1

[説明] 経過時間監視テーブルに空きエントリが存在しない。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 環境変数 DIOSA_ETGMAXENTRY と COCENV 節 QUEUE 項 ELPTIME パラメータの定義を調整する。

DIETG047

E

[英文] Failed to free memory of process table. return=@1 errno=@2 code=@3

[和文] プロセス固有テーブル領域の解放に失敗しました。 return=@1 errno=@2 code=@3

[説明] プロセス固有テーブル領域の解放に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIETG048

E

[英文] Failed to free memory of thread table. return=@1 errno=@2 code=@3

[和文] スレッド固有テーブル領域の解放に失敗しました。 return=@1 errno=@2 code=@3

[説明] スレッド固有テーブル領域の解放に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIETG049

E

[英文] Thread initialize function not executed. code=@1

[和文] スレッド初期化処理が実行されていません。 code=@1

[説明] スレッド初期化処理が実行されていない。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIETG050

E

[英文] Failed to reset elapsed time. code=@1

[和文] 経過時間のリセットに失敗しました。 code=@1

[説明] 経過時間のリセットに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG051

E

[英文] Failed to reset elapsed time because of reset number of times exceeded limit. RESET=@1 code=@2

[和文] リセット回数が最大値を超えたので、経過時間のリセットに失敗しました。 RESET=@1 code=@2

[説明] リセット回数が最大値を超えたので、経過時間のリセットに失敗した。

@ 1 : 最大リセット回数

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] アプリケーションの処理を見直す。問題がない場合は、最大リセット回数を見直す。

DIETG052

E

[英文] Logical error. code=@

[和文] 論理エラーです。 code=@

[説明] 内部エラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIETG053

I

[英文] Service is already stopped. code=@1

[和文] 既にサービスが終了しています。 code=@1

[説明] サービス終了処理が既に実行済みである。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし。

DIETG054

E

[英文] Failed to initialize service. code=@1

[和文] サービスの初期化に失敗しました。 code=@1

[説明] サービスの初期化に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG055

I

[英文] Stop command is already executed. code=@1

[和文] 終了処理は既に実行されています。 code=@1

[説明] 終了処理は既に実行済である。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし。

DIETG056

E

[英文] Failed to start Daemon Alive Monitoring. return=@1 PID=@2 code=@3

[和文] 死活監視開始処理でエラーが発生しました。 return=@1 PID=@2 code=@3

[説明] 死活監視開始処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : プロセス ID

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG058

E

[英文] Elapsed Time Guard reference command aborted.

[和文] 経過時間監視照会コマンドが異常終了しました。

[説明] 経過時間監視照会コマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG059

E

[英文] Failed to acquire strings of date. return=@1 code=@2

[和文] 日付文字列取得に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] 日付文字列取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG060

E

[英文] Failed to restart monitoring elapsed time. code=@1

[和文] 経過時間監視の再開に失敗しました。 code=@1

[説明] 経過時間監視の再開に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG061

E

[英文] Failed to stop monitoring elapsed time. code=@1

[和文] 経過時間監視の停止に失敗しました。 code=@1

[説明] 経過時間監視の停止に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG062

E

[英文] Failed to register user information of Elapsed Time Guard. code=@1

[和文] 経過時間監視のユーザ情報登録に失敗しました。 code=@1

[説明] 経過時間監視のユーザ情報登録に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIETG063

I

[英文] Elapsed Time Guard daemon started normally.

[和文] 経過時間監視デーモンの起動に成功しました。

[説明] 経過時間監視デーモンの起動に成功した。

[処置] 処置の必要なし。

DIETG064

I

[英文] Elapsed Time Guard daemon stopped normally.

[和文] 経過時間監視デーモンの停止に成功しました。

[説明] 経過時間監視デーモンの停止に成功した。

[処置] 処置の必要なし。

DIETG065

E

[英文] System call failed. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] システムコールでエラーが発生しました。 FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[説明] システムコールでエラーが発生した。

@ 1 : 関数名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

2.16 DIIIC系

DIIIC000

I

[英文] In-Memory cache start command started. MODE=@1

[和文] インメモリキャッシュ起動コマンドを開始しました。MODE=@1

[説明] インメモリキャッシュ起動コマンドを開始した。

@ 1 : 起動モード

cold : コールドモード

warm : ウォームモード

[処置] 処置の必要なし。

DIIIC001

I

[英文] In-Memory cache start command terminated normally. MODE=@1

[和文] インメモリキャッシュ起動コマンドが成功しました。MODE=@1

[説明] インメモリキャッシュ起動コマンドが成功した。

@ 1 : 起動モード

cold : コールドモード

warm : ウォームモード

[処置] 処置の必要なし。

DIIIC002

E

[英文] In-Memory cache start command aborted.

[和文] インメモリキャッシュ起動コマンドが失敗しました。

[説明] インメモリキャッシュ起動コマンドが失敗した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIIIC003

I

[英文] In-Memory cache is already running.

[和文] インメモリキャッシュは起動済みです。

[説明] 既にインメモリキャッシュが起動されている。(二重起動)

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC004

W

[英文] Start with cold option because no inheritance file exists.

[和文] 引継ぎ情報が存在しないため、COLD 起動に切り替えます。

[説明] WARM 起動時に、引継ファイルが存在しないため、COLD 起動に切り替えた。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC005

E

[英文] Invalid table condition. code=@1

[和文] テーブルが不正な状態です。code=@1

[説明] テーブルが作成途中の状態のため、起動を行えない。

@ 1 : 内部コード

[処置] diimterm コマンドで停止後、diiminit コマンドを再実行する。

DI IIC006

E

[英文] Failed to start In-memory server Information Control daemon. code=@1

[和文] インメモリサーバ所在管理デーモンの起動に失敗しました。code=@1

[説明] インメモリサーバ所在管理デーモンの起動に失敗した。

@ 1 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC007

E

[英文] No license of DIOSA/XTP MeMory Cache.

[和文] メモリキャッシュのライセンスがありません。

[説明] メモリキャッシュのライセンスがない。

[処置] ライセンス情報が正しい手順で格納されているか確認する。

DI IIC010

I

[英文] In-Memory cache stop command started. MODE=@1

[和文] インメモリキャッシュ停止コマンドを開始しました。MODE=@1

[説明] インメモリキャッシュ停止コマンドを開始した。

@ 1 : 停止モード

normal : 通常モード

force : 強制モード

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC011

I

[英文] In-Memory cache stop command terminated normally.

[和文] インメモリキャッシュ停止コマンドが成功しました。

[説明] インメモリキャッシュ停止コマンドが成功した。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC012

E

[英文] In-Memory cache stop command aborted.

[和文] インメモリキャッシュ停止コマンドが失敗しました。

[説明] インメモリキャッシュ停止コマンドが失敗した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC013

I

[英文] In-Memory cache is already stopped.

[和文] インメモリキャッシュは停止済みです。

[説明] インメモリキャッシュは起動されていない。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC014

E

[英文] Can't stop because master TAM exists. REPGID=@1 code=@2

[和文] マスタのTAMが存在するため停止できません。REPGID=@1 code=@2

[説明] 通常停止では、マスタのTAMが存在する場合は停止できない。

@ 1 : マスタのレプリケーショングループ ID

@ 2 : 内部コード

[処置] マスタのTAMが存在しても停止したい場合は、強制モードで停止を行う。

DI IIC015

E

[英文] Failed to stop In-memory server Information Control daemon. code=@1

[和文] インメモリサーバ所在管理デーモンの停止に失敗しました。code=@1

[説明] インメモリサーバ所在管理デーモンの停止に失敗した。

@ 1 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC020

I

[英文] In-Memory Server start/stop command started.

[和文] インメモリサーバ起動停止コマンドを開始しました。

[説明] インメモリサーバ起動停止コマンドを開始した。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC021

I

[英文] In-Memory Server start/stop command terminated normally. SUCCESS=@1

[和文] インメモリサーバ起動停止コマンドが正常終了しました。SUCCESS=@1

[説明] インメモリサーバ起動停止コマンドが正常終了した。

@ 1 : 起動成功したレプリケーショングループ数

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC022

E

[英文] In-Memory Server start/stop command aborted. ABNORMAL=@1

[和文] インメモリサーバ起動停止コマンドが異常終了しました。ABNORMAL=@1

[説明] インメモリサーバ起動停止コマンドが異常終了した。

@ 1 : 起動失敗したレプリケーショングループ数

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC023

W

[英文] In-Memory Server start/stop command terminated with warning. SUCCESS=@1 ABNORMAL=@2

[和文] インメモリサーバ起動停止コマンドが警告終了しました。SUCCESS=@1 ABNORMAL=@2

[説明] インメモリサーバ起動停止コマンドが警告終了した。

@ 1 : 起動成功したレプリケーショングループ数

@ 2 : 起動失敗したレプリケーショングループ数

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC024

E

[英文] In-Memory Server start/stop command aborted.

[和文] インメモリサーバ起動停止コマンドが異常終了しました。

[説明] インメモリサーバ起動停止コマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC032

E

[英文] In-Memory cache reference command aborted.

[和文] インメモリキャッシュ情報照会コマンドが失敗しました。

[説明] インメモリキャッシュ情報照会コマンドが失敗した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC040

I

[英文] In-Memory Server block command started.

[和文] インメモリサーバ閉塞コマンドを開始しました。

[説明] インメモリサーバ閉塞コマンドを開始した。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC041

I

[英文] In-Memory Server block command terminated normally.

[和文] インメモリサーバ閉塞コマンドが成功しました。

[説明] インメモリサーバ閉塞コマンドが成功した。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC042

E

[英文] In-Memory Server block command aborted.

[和文] インメモリサーバ閉塞コマンドが失敗しました。

[説明] インメモリサーバ閉塞コマンドが失敗した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC050

I

[英文] In-memory server Information Control SG check command started.

[和文] インメモリサーバ所在情報整合性チェックコマンドを開始しました。

[説明] インメモリサーバ所在情報整合性チェックコマンドを開始した。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC051

I

[英文] In-memory server Information Control SG check command terminated normally.

[和文] インメモリサーバ所在情報整合性チェックコマンドが成功しました。

[説明] インメモリサーバ所在情報整合性チェックコマンドが成功した。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC052

E

[英文] In-memory server Information Control SG check command aborted.

[和文] インメモリサーバ所在情報整合性チェックコマンドが失敗しました。

[説明] インメモリサーバ所在情報整合性チェックコマンドが失敗した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC053

W

[英文] In-memory server Information Control SG check command terminated with warning.

[和文] インメモリサーバ所在情報整合性チェックコマンドが警告終了しました。

[説明] インメモリサーバ所在情報整合性チェックコマンドが警告終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC060

I

[英文] In-Memory cache SG change command started.

[和文] インメモリキャッシュ環境定義置換コマンドを開始しました。

[説明] インメモリキャッシュ環境定義置換コマンドを開始した。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC061

I

[英文] In-Memory cache SG change command terminated normally.

[和文] インメモリキャッシュ環境定義置換コマンドが成功しました。

[説明] インメモリキャッシュ環境定義置換コマンドが成功した。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC062

E

[英文] In-Memory cache SG change command aborted.

[和文] インメモリキャッシュ環境定義置換コマンドが失敗しました。

[説明] インメモリキャッシュ環境定義置換コマンドが失敗した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC063

W

[英文] In-Memory cache SG change command terminated with warning.

[和文] インメモリキャッシュ環境定義置換コマンドが警告終了しました。

[説明] インメモリキャッシュ環境定義置換コマンドが警告終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC070

I

[英文] In-Memory cache hash value change command started.

[和文] ハッシュ値切替コマンドを開始しました。

[説明] ハッシュ値切替コマンドを開始した。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC071

I

[英文] In-Memory cache hash value change command terminated normally.

[和文] ハッシュ値切替コマンドが成功しました。

[説明] ハッシュ値切替コマンドが成功した。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC072

E

[英文] In-Memory cache hash value change command aborted.

[和文] ハッシュ値切替コマンドが失敗しました。

[説明] ハッシュ値切替コマンドが失敗した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC080

I

[英文] Master swap command started.

[和文] マスタ切替コマンドを開始しました。

[説明] マスタ切替コマンドを開始した。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC081

I

[英文] Master swap command terminated normally.

[和文] マスタ切替コマンドが成功しました。

[説明] マスタ切替コマンドが成功した。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC082

E

[英文] Master swap command aborted.

[和文] マスタ切替コマンドが失敗しました。

[説明] マスタ切替コマンドが失敗した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC083

E

[英文] Unable to execute master swap command because of not master. REPGID=@1 code=@2

[和文] マスタでないためマスタ切替コマンドを実行できません。REPGID=@1 code=@2

[説明] 自ノードがマスタでないレプリケーショングループ ID が指定されたため、マスタ切替コマンドが実行できない。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 内部コード

[処置] 処理対象のレプリケーショングループ ID の TAM 配置状態を diimref -T コマンドで確認し、コマンドの指定を見直す。

DI IIC084

E

[英文] Specified node is invalid. REPGID=@1 LNODENAME=@2

[和文] 切替先のノード指定が不正です。REPGID=@1 LNODENAME=@2

[説明] マスタ切替コマンドの切替先に指定された論理ノード名が不正である。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 論理ノード名

[処置] 指定した論理ノード名が正しいか確認する。指定した論理ノードにおいて、指定したレプリケーショングループがスレーブとして起動しているか確認する。

DI IIC085

E

[英文] Active slave is not found. REPGID=@1

[和文] 正常稼働しているスレーブが存在しません。REPGID=@1

[説明] 正常稼働しているスレーブが存在しないため、マスタ切替が実行できない。

[処置] スレーブを起動後、マスタ切替コマンドを再実行する。

DI IIC086

W

[英文] Master swap command terminated with warning.

[和文] マスタ切替コマンドが警告終了しました。

[説明] マスタ切替コマンドが警告終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC090

I

[英文] Master switch command started.

[和文] マスタ昇格コマンドを開始しました。

[説明] マスタ昇格コマンドを開始した。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC091

I

[英文] Master switch command terminated normally.

[和文] マスタ昇格コマンドが成功しました。

[説明] マスタ昇格コマンドが成功した。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC092

E

[英文] Master switch command aborted.

[和文] マスタ昇格コマンドが失敗しました。

[説明] マスタ昇格コマンドが失敗した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC094

E

[英文] Unable to execute master switch command because of not active slave. REPGID=@1 code=@2

[和文] 正常稼働しているスレーブでないためマスタ昇格コマンドを実行できません。REPGID=@1 code=@2

[説明] 自ノードがマスタでないレプリケーショングループ ID が指定されたため、マスタ切替コマンドが実行できない。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 内部コード

[処置] 処理対象のレプリケーショングループ ID の TAM 配置状態を diimref -T コマンドで確認し、コマンドの指定を見直す。

DI IIC095

E

[英文] Unable to execute master switch API because of not active slave. REPGID=@1 code=@2

[和文] 正常稼働しているスレーブでないためマスタ昇格関数を実行できません。REPGID=@1 code=@2

[説明] 自ノードがマスタでないレプリケーショングループ ID が指定されたため、マスタ昇格 API が実行できない。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 内部コード

[処置] 処理対象のレプリケーショングループ ID の TAM 配置状態を diimref -T コマンドで確認し、コマンドの指定を見直す。

DI IIC100

I

[英文] Configuration information modify command started.

[和文] 動作変更コマンドを開始しました。

[説明] 動作変更コマンドを開始した。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC101

I

[英文] Configuration information modify command terminated normally.

[和文] 動作変更コマンドが成功しました。

[説明] 動作変更コマンドが成功した。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC102

E

[英文] Configuration information modify command aborted.

[和文] 動作変更コマンドが失敗しました。

[説明] 動作変更コマンドが失敗した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC103

I

[英文] Configuration information modified. PARAM=@1 OLD=@2 NEW=@3

[和文] 動作環境を変更しました。PARAM=@1 OLD=@2 NEW=@3

[説明] 動作変更コマンドにより動作環境を変更した。

@ 1 : 変更項目

@ 2 : 変更前の値

@ 3 : 変更後の値

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC104

E

[英文] Unable to modify configuration information. PARAM=@1 VALUE=@2

[和文] 動作環境を変更できません。PARAM=@1 VALUE=@2

[説明] 動作変更コマンドで変更不可の値が指定された。

@ 1 : 変更項目

@ 2 : 変更後の値として指定された値

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC105

I

[英文] Configuration information modified. MAPID=@1 PARAM=@2 OLD=@3 NEW=@4

[和文] 動作環境を変更しました。MAPID=@1 PARAM=@2 OLD=@3 NEW=@4

[説明] 動作変更コマンドにより動作環境を変更した。

@ 1 : MAP ID

@ 2 : 変更項目

@ 3 : 変更前の値

@ 4 : 変更後の値

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC106

W

- [英文] Configuration information modify command terminated with warning.
- [和文] 動作変更コマンドが警告終了しました。
- [説明] 動作変更コマンドが警告終了した。
- [処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC120

I

- [英文] Emergency stop function started.
- [和文] 緊急停止処理を開始しました。
- [説明] 緊急停止処理を開始した。
- [処置] 処置の必要なし。

DI IIC121

I

- [英文] Emergency stop function terminated normally.
- [和文] 緊急停止処理が成功しました。
- [説明] 緊急停止処理が成功した。
- [処置] 処置の必要なし。

DI IIC122

E

- [英文] Emergency stop function aborted.
- [和文] 緊急停止処理が失敗しました。
- [説明] 緊急停止処理が失敗した。
- [処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC130

I

[英文] Slave move command started.

[和文] スレーブ移動コマンドを開始しました。

[説明] スレーブ移動コマンドが開始した。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC131

I

[英文] Slave move command terminated normally. SUCCESS=@1

[和文] スレーブ移動コマンドが正常終了しました。SUCCESS=@1

[説明] スレーブ移動コマンドが正常終了した。

@ 1 : スレーブ移動が成功したレプリケーショングループ数

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC132

E

[英文] Slave move command aborted. ABNORMAL=@1

[和文] スレーブ移動コマンドが異常終了しました。ABNORMAL=@1

[説明] スレーブ移動コマンドが異常終了した。

@ 1 : スレーブ移動が失敗したレプリケーショングループ数

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC133

E

[英文] Slave move command aborted.

[和文] スレーブ移動コマンドが異常終了しました。

[説明] スレーブ移動コマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC134

W

[英文] Slave move command terminated with warning. SUCCESS=@1 ABNORMAL=@2

[和文] スレーブ移動コマンドが警告終了しました。SUCCESS=@1 ABNORMAL=@2

[説明] スレーブ移動コマンドが警告終了した。

@ 1 : スレーブ移動が成功したレプリケーショングループ数

@ 2 : スレーブ移動が失敗したレプリケーショングループ数

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC135

W

[英文] Slave move command terminated with warning.

[和文] スレーブ移動コマンドが警告終了しました。

[説明] スレーブ移動コマンドが警告終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC136

W

[英文] Specified node is invalid. REPGID=@1 LNODENAME=@2 code=@3

[和文] 移動先のノード指定が不正です。REPGID=@1 LNODENAME=@2 code=@3

[説明] 指定したノードが定義上存在しない、又は指定したノードがスレーブ稼働可能なノードとして定義されていない。

指定したノードで既にスレーブ又はマスタが稼働している。

指定したノードが障害などでスレーブが稼働可能なノードではない。

@ 1 : スレーブ移動対象のレプリケーショングループ ID

@ 2 : スレーブ移動先の論理ノード名

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC150

E

[英文] Command can't start because other exclusive command is running. code=@1

[和文] 同時実行できないコマンドが処理中のため受け付けられません。code=@1

[説明] 同時実行できないコマンドが処理中のため受け付けられない。

@ 1 : 内部コード

[処置] 他で実行されているインメモリキャッシュのコマンド終了を確認後、必要に応じて再実行する。

他で実行されているインメモリキャッシュのコマンドが無い場合は、開発部門へ問い合わせる。

DIIC152

E

[英文] Waiting result from In-memory server Information Control daemon is time-out. code=@1

[和文] インメモリサーバ所在管理デーモンからの処理結果受信待ち処理がタイムアウトしました。code=@1

[説明] インメモリサーバ所在管理デーモンからの処理結果受信待ち処理がタイムアウトした。

@ 1 : 内部コード

[処置] 起動コマンドの場合、マスタの全レプリケーショングループに対して DIIC910 のメッセージが出力されている場合は処置の必要なし。

停止コマンドの場合、マスタの全レプリケーショングループに対して DIIC911 のメッセージが出力されている場合は処置の必要なし。

インメモリサーバ所在管理デーモンがエラーメッセージを出力している場合は、そのメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIIC153

E

[英文] Failed to initialize process. return=@1 code=@2

[和文] プロセス初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] プロセス初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

リターンコードが-11の場合は、diiminit コマンドでインメモリキャッシュを起動する。

DIIC154

E

[英文] Target not found. TYPE=@1 ID=@2

[和文] 処理対象が見つかりません。 TYPE=@1 ID=@2

[説明] コマンドで指定された処理対象が見つからない。

@ 1 : 処理対象種別

LNODE : ノード ID

REPGRP : レプリケーショングループ ID

MAP : MAP ID

@ 2 : 指定された ID

[処置] コマンドで指定した ID を見直し、必要に応じてコマンドを再実行する。

DI IIC155

E

[英文] Target not found. TYPE=@1 NAME=@2

[和文] 処理対象が見つかりません。TYPE=@1 NAME=@2

[説明] コマンドで指定された処理対象が見つからない。

@ 1 : 処理対象種別

LNODE : 論理ノード名

@ 2 : 指定された名前

[処置] コマンドで指定した論理ノード名を見直し、必要に応じてコマンドを再実行する。

DI IIC156

E

[英文] Internal error occurred in command. return=@1 code=@2

[和文] コマンド内部でエラーが発生しました return=@1 code=@2

[説明] コマンド処理において、内部エラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DI IIC157

E

[英文] Target not found in the node. TYPE=@1 ID=@2

[和文] ノード内に処理対象が存在しません。TYPE=@1 ID=@2

[説明] ノード内にコマンドで指定された処理対象が見つからない。

@ 1 : 処理対象種別

REPGRP : レプリケーショングループ ID

MAP : MAP ID

@ 2 : 指定された ID

[処置] コマンドで指定した ID を見直し、必要に応じてコマンドを再実行する。

DI IIC158

I

[英文] Requested processing is already executed.

[和文] 要求された処理は既に実行済みです。

[説明] 要求された処理は既に実行済みであるため、処理を実行しなかった。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC159

E

[英文] Cannot execute on this logical node.

[和文] この論理ノードでは実行できません。

[説明] 実行不可能な論理ノードでコマンドが実行された。

[処置] コマンドを投入するノードを見直す。

DI IIC160

I

[英文] Target not found in the node.

[和文] ノード内に処理対象が存在しません。

[説明] 処理対象となる条件を満たす対象がなかった。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC161

E

[英文] Illegal message received. MSGID=0x@1 code=@2

[和文] 不正な電文を受信しました。MSGID=0x@1 code=@2

[説明] コマンドは不正な電文を受信した。

@ 1 : 電文 ID

@ 2 : 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DI IIC162

I

[英文] Target not found in the node. TYPE=@1 ID=@2

[和文] ノード内に処理対象が存在しません。TYPE=@1 ID=@2

[説明] ノード内にコマンドで指定された処理対象が見つからない。

@ 1 : 処理対象種別

REPGRP : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 指定された ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC179

E

[英文] It is impossible to change maximum number of slaves to less than number of active slaves. REPGID=@1

[和文] スレーブ最大起動数がスレーブ稼働数より小さくなる定義変更はできません。REPGID=@1

[説明] スレーブ最大起動数が現在稼働中のスレーブ数より小さくなる環境定義変更は出来ないため動的変更を中止した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] スレーブ最大起動数以下になるように、稼働中及び自動起動対象スレーブを `diimctrl -e -s` で停止後に `diimchg` を再実行する。

または、スレーブ最大起動数が現在稼働中のスレーブ数より小さくならないように IMENV 節の定義を見直し、`diirmrep` から再実行する。

DI IIC180

E

[英文] OLTP node information is not defined in configuration information.

[和文] OLTP ノード情報が定義されていないため処理を受け付けられません。

[説明] 環境定義 DIOSAMAP 節に OLTP ノードが定義されていない。

[処置] 環境定義 DIOSAMAP 節を見直す。

DI IIC181

E

[英文] Logical node information is not defined in configuration information. LNODENAME=@1 code=@2

[和文] 論理ノード情報が定義されていないため処理を受け付けられません。LNODENAME=@1 code=@2

[説明] IMENV 節に定義されている OLTP ノードが DIOSAMAP 節に定義されていない。

@ 1 : 論理ノード名

@ 2 : 内部コード

[処置] 環境定義 DIOSAMAP 節と IMENV 節を見直す。

DI IIC182

E

[英文] SG object does not exist. SECNAME=@1

[和文] SG オブジェクトファイルが存在しません。SECNAME=@1

[説明] SG オブジェクトファイルが存在しない。

@ 1 : セクション名

[処置] 環境定義ファイルのオブジェクトを作成し、コマンドを再実行する。

DI IIC183

E

[英文] Invalid SG revision. SECNAME=@1 SG_REV=@2 PRG_REV=@3

[和文] 読み込み不可能な SG リビジョンです。SECNAME=@1 SG_REV=@2 PRG_REV=@3

[説明] 動作中の DIOSA/XTP より新しいバージョンの DIOSA/XTP で作成された環境定義ファイルのため、読み込むことができない。

@ 1 : セクション名

@ 2 : 環境定義情報ファイルバージョン

@ 3 : PP 側バージョン

[処置] 環境定義ファイルのオブジェクトを再作成し、コマンドを再実行する。

DI IIC184

E

[英文] User area initialize exit aborted. FUNC=@1 return=@2

[和文] 利用者情報初期値設定関数が異常終了しました。FUNC=@1 return=@2

[説明] 利用者情報初期値設定関数が異常終了した。

@ 1 : 関数名

@ 2 : 関数の戻り値

[処置] 利用者情報初期値設定関数が出力しているエラーメッセージ等からエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC185

E

[英文] Number of shared memory allocations reached upper bound value. code=@1

[和文] 共有メモリの確保数が上限に達しました。code=@1

[説明] 共有メモリの確保数が上限に達した。

@ 1 : 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DI IIC186

W

[英文] Inheritance information not found. KEYWORD=@1

[和文] 引継ぎ情報が存在しません。KEYWORD=@1

[説明] 引継ぎファイルに引継ぎ情報が存在しなかった。

@ 1 : SG 引継ぎ情報キーワード

IIC_IMENV : IMENV 節情報

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC187

E

[英文] Invalid inheritance file revision. SUC_REV=@1 PRG_REV=@2

[和文] 引継ぎファイルのリビジョンが不正です。SUC_REV=@1 PRG_REV=@2

[説明] 動作中の DIOSA/XTP より新しいバージョンの DIOSA/XTP で作成された引継ぎファイルのため、読み込むことができない。

@ 1 : 引継ぎファイルバージョン

@ 2 : PP 側バージョン

[処置] PP バージョンが正しいかを確認する。正しい場合、引継ぎファイルを削除し、コマンドを再実行する。

DI IIC188

E

[英文] It is impossible to change TAM instance name. REPGID=@1

[和文] TAM インスタンス名を変更することはできません。REPGID=@1

[説明] TAM インスタンス名を変更することが不可のため動的変更を中止した。

@ 1 : TAM インスタンス名が変更されたレプリケーショングループ ID

[処置] IMENV 節の定義を見直し、diirmrep から再実行する。

DI IIC189

E

[英文] It is impossible to move MAP to a different replication group. MAPID=@1

[和文] レプリケーショングループをまたがる MAP の移動はできません。MAPID=@1

[説明] レプリケーショングループをまたがる MAP の移動は不可のため動的変更を中止した。

@ 1 : 移動した MAPID

[処置] IMENV 節の定義を見直し、diirmrep から再実行する。

DI IIC190

E

[英文] Failed to change number of Bridge Server processes. Please confirm Bridge Server status.

[和文] ブリッジサーバ多重度の変更ができません。ブリッジサーバ状態を確認してください。

[説明] 多重度変更により稼働中のブリッジサーバが削除対象のため動的変更を中止した。

[処置] IMENV 節の定義を見直し、diirmrep から再実行する。

DI IIC191

E

[英文] It is impossible to change JOURNAL parameter. MAPID=@1

[和文] TAM 更新ログ蓄積有無情報を変更することはできません。 MAPID=@1

[説明] TAM 更新ログ蓄積有無の変更不可のため動的变化を中止した。

@ 1 : TAM 更新ログ蓄積有無が変更された MAPID

[処置] IMENV 節の定義を見直し、diirmrep から再実行する。

DI IIC192

I

[英文] Data to delete does not exist.

[和文] 削除予定のエントリが存在しません

[説明] 動的变化の削除モードが実行されたが、削除エントリが存在しなかった。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC193

E

[英文] It is impossible to change SWITCH parameter to AUTO.

[和文] 障害時マスタ切替を自動へ変更はできません。

[説明] TAM 更新ログ蓄積有の削除予定 MAP が存在することにより、自動マスタ切替に変更することができないため、動的变化を中止した。

[処置] diimchg -d を実行後に、diimchg を再実行する。

DI IIC194

E

[英文] Failed to delete logical node definition because of active node. LNODENAME=@1 LNODEID=@2

[和文] 稼働中の論理ノードの定義を削除することはできません。 LNODENAME=@1 LNODEID=@2

[説明] 削除対象のノードが稼働中のため動的变化を中止した。

@ 1 : 削除対象の論理ノード名

@ 2 : 削除対象の論理ノード ID

[処置] 削除対象のノードで diimterm を実行後に diimchg を再実行する。

または、IMENV 節の定義を見直し、diirmrep から再実行する。

DI IIC195

E

[英文] Failed to delete TAM definition. REPGID=@1 LNODEID=@2

[和文] TAM の定義を削除することができません。REPGID=@1 LNODEID=@2

[説明] マスタ TAM の定義削除しようとしたが、対象 REPG が削除対象でないため動的変更を中止した。

@ 1 : 削除対象のレプリケーショングループ ID

@ 2 : 削除対象の論理ノード ID

[処置] 削除対象レプリケーショングループを diimctrl -e で停止後に diimchg を再実行する。

または、IMENV 節の定義を見直し、diirmrep から再実行する。

DI IIC196

E

[英文] Failed to delete TAM definition because of active TAM. REPGID=@1 LNODEID=@2

[和文] 稼働中のため TAM の定義削除することはできません。REPGID=@1 LNODEID=@2

[説明] スレーブ TAM の定義削除しようとしたが、稼働中のため動的変更を中止した。

@ 1 : 削除対象のレプリケーショングループ ID

@ 2 : 削除対象の論理ノード ID

[処置] 削除対象ノードにおいて、削除対象 TAM を diimctrl -e -s で停止後に diimchg を再実行する。

または、IMENV 節の定義を見直し、diirmrep から再実行する。

DI IIC197

E

[英文] Failed to delete MAP definition because of active MAP. MAPID=@1

[和文] 稼働中のため MAP の定義削除することはできません。MAPID=@1

[説明] 定義削除対象の MAP が稼働中のため、動的変更を中止した。

@ 1 : 削除対象の MAPID

[処置] 削除対象 MAP を diimctrl -e で停止後に diimchg を再実行する。

または、IMENV 節の定義を見直し、diirmrep から再実行する。

DI IIC198

E

[英文] Number of entry reached upper bound value. TYPE=@1

[和文] エントリ数が上限に達しました。TYPE=@1

[説明] エントリ数が上限に達したため、動的置換を中止した。

@ 1 : 種別

LNODE : OLTP ノード情報

REPGRP : REPGRP 項情報

MAP : MAP 項情報

TAML : MASTER/SLAVE 項情報

[処置] IMENV 節の定義を見直し、diirmrep から再実行する。削除と追加のエントリが大量に存在する場合は、変更を 2 回に分けて実施する。

DI IIC199

E

[英文] Failed to delete definition because of active Access Server. REPGID=@1 LNODEID=@2

[和文] アクセスサーバが稼働中のため定義削除することはできません。REPGID=@1 LNODEID=@2

[説明] 定義情報を削除しようとしたが、アクセスサーバが稼働中のため動的変更を中止した。

@ 1 : 削除対象のレプリケーショングループ ID

@ 2 : 削除対象の論理ノード ID

[処置] 削除対象ノードにおいて、削除対象アクセスサーバを diimctrl -e -s で停止後に diimchg を再実行する。または、IMENV 節の定義を見直し、diirmrep から再実行する。

DI IIC200

I

[英文] In-memory server Information Control daemon started.

[和文] インメモリサーバ所在管理デーモンを起動しました。

[説明] インメモリサーバ所在管理デーモンを起動した。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC201

I

[英文] In-memory server Information Control daemon stopped.

[和文] インメモリサーバ所在管理デーモンを停止しました。

[説明] インメモリサーバ所在管理デーモンを停止した。

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC202

E

[英文] In-memory server Information Control daemon aborted. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ所在管理デーモンの起動でエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバ所在管理デーモンの起動でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC203

E

[英文] Failed to register timer event to watch. return=@1 code=@2

[和文] 監視タイマ事象の登録に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] 監視タイマ登録を行ったがエラーとなった。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC204

E

[英文] Failed to create server socket. return=@1 code=@2

[和文] サーバソケットの生成でエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] サーバソケットの生成でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC205

E

[英文] Failed to create socket. errno=@1 code=@2

[和文] ソケットの生成でエラーが発生しました。 errno=@1 code=@2

[説明] ソケットの生成でエラーが発生した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DI IIC206

E

[英文] Failed to register watch socket. TYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 監視ソケット登録に失敗しました。 TYPE=@1 return=@2 code=@3

[説明] 監視ソケット登録に失敗した。

@ 1 : スレッド種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC207

W

[英文] Illegal message received. code=@1

[和文] 不正な電文を受信しました。 code=@1

[説明] 不正な電文を受信した。または、受信タイムアウトが発生した。

@ 1 : 内部コード

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC208

E

[英文] Failed to release registration of watch socket. TYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 監視ソケット削除に失敗しました。 TYPE=@1 return=@2 code=@3

[説明] 監視ソケットの削除に失敗した。

@ 1 : スレッド種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC209

E

[英文] Internal error occurred in In-memory server Information Control daemon. TYPE=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ所在管理デーモンにおいて内部エラーが発生しました TYPE=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバ所在管理デーモンにおいて内部エラーが発生した。

@ 1 : スレッド種別

@ 2 : 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DI IIC210

E

- [英文] Failed to dispatch message. return=@1 code=@2
- [和文] 電文振り分けに失敗しました。 return=@1 code=@2
- [説明] 電文振り分け中の送信処理でエラーが発生した。
@ 1 : リターンコード
@ 2 : 内部コード
- [処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC211

W

- [英文] Message can't accepted because of processing. code=@1
- [和文] 処理中のため電文を受け付けられません。 code=@1
- [説明] 電文振り分け中のため拒否応答を送信した。
@ 1 : 内部コード
- [処置] 処置の必要なし。

DI IIC212

E

- [英文] Port number for In-memory server Information Control is not specified in SG. NODE=@1 code=@2
- [和文] ポート番号が指定されていないためインメモリサーバ所在管理機能は使用できません。 NODE=@1 code=@2
- [説明] 環境定義 DIOSAMAP にインメモリサーバ所在管理機能のポート番号が定義されていない。
@ 1 : リターンコード
@ 2 : 内部コード
- [処置] 環境定義 DIOSAMAP に PORT_IIC の定義を追加する。

DI IIC213

E

- [英文] Occurred exception with signal. SIGNAL=@1
- [和文] 例外（シグナル）が発生しました。 SIGNAL=@1
- [説明] 例外が発生し、IIC デーモンが停止した。
@ 1 : シグナル番号
- [処置] \$DIOSA_TMP/論理ノード名ディレクトリに出力されている core ファイルと *.memddp ファイルの情報を採取し、開発部門へ問い合わせる。

DI IIC250

E

[英文] Failed to initialize send thread. return=@1 code=@2

[和文] 送信スレッドの初期化中にエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] 送信スレッドの初期化中にエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC251

E

[英文] Failed to connect node. return=@1 code=@2

[和文] ノード接続時にエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] ノードへの接続中にエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC252

W

[英文] Rejected the connection from undefined node. LNODEID=@1

[和文] 未定義ノードから接続されたため、接続を拒否しました。 LNODEID=@1

[説明] 接続元のノードが DIOSAMAP に存在しないため、接続を拒否した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 環境定義 DIOSAMAP 節を見直す。

DI IIC253

E

[英文] Failed to change configuration by SG dynamic replace function. code=@1

[和文] SG 動的置換による構成変更においてエラーが発生しました。 code=@1

[説明] SG 動的置換による構成変更に失敗した。

@ 1 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC271

E

[英文] Failed to create thread. TYPE=@1 errno=@2 code=@3

[和文] スレッドの生成に失敗しました。 TYPE=@1 errno=@2 code=@3

[説明] スレッドの生成に失敗しました。

@ 1 : スレッド種別

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DI IIC272

E

[英文] Failed to receive message for start notification. TYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 起動通知の受信に失敗しました。 TYPE=@1 return=@2 code=@3

[説明] 起動通知の受信に失敗した。

@ 1 : スレッド種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC273

E

[英文] Failed to send message for start notification. TYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 起動通知の送信に失敗しました。 TYPE=@1 return=@2 code=@3

[説明] 起動通知の送信に失敗した。

@ 1 : スレッド種別

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC274

E

[英文] Failed to stop thread. TYPE=@1 errno=@2 code=@3

[和文] スレッドの停止に失敗しました。 TYPE=@1 errno=@2 code=@3

[説明] スレッドの停止に失敗した。

@ 1 : スレッド種別

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DI IIC275

E

[英文] Failed to register event to resend. return=@1 code=@2

[和文] 再送登録に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] アラームの登録に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DI IIC276

E

[英文] Failed to access to table. return=@1 code=@2

[和文] テーブルアクセスに失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] テーブルアクセス中にエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC280

E

[英文] Failed to initialize thread. return=@1 code=@2

[和文] スレッドの初期化中にエラーが発生しました return=@1 code=@2

[説明] スレッドの初期化中にエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC281

E

- [英文] Illegal message received. code=@1
- [和文] 不正な電文を受信しました。 code=@1
- [説明] 不正な電文を受信した。
@ 1 : 内部コード
- [処置] 開発部門へ問い合わせる。

DI IIC282

E

- [英文] Receiving socket is time-out. code=@1
- [和文] ソケット受信タイムアウトが発生しました。 code=@1
- [説明] ソケット受信タイムアウトが発生した。
@ 1 : 内部コード
- [処置] タイムアウトの原因を特定し、エラー原因を解消する。

DI IIC283

E

- [英文] Failed to register watch socket. return=@1 code=@2
- [和文] 監視ソケット登録に失敗しました。 return=@1 code=@2
- [説明] 監視ソケット登録に失敗した。
@ 1 : リターンコード
@ 2 : 内部コード
- [処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC284

E

- [英文] Internal error occurred in thread. return=@1 code=@2
- [和文] スレッド内部でエラーが発生しました return=@1 code=@2
- [説明] スレッド内部でエラーが発生した。
@ 1 : リターンコード
@ 2 : 内部コード
- [処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIIC285

E

[英文] Failed to release registration of watch socket. return=@1 code=@2

[和文] ソケット監視登録の削除に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] ソケット監視登録の削除に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIIC286

E

[英文] Thread stopped because of error. TYPE=@1 ID=@2

[和文] エラーが発生したためスレッドを停止します。TYPE=@1 ID=@2

[説明] エラーが発生したためスレッドを停止した。

@ 1 : スレッド種別

MAIN : メインスレッド

SEND : 送信スレッド

NODE : ノード管理スレッド

REPGRP : レプリケーショングループ

HCKREQ : ヘルスチェック要求スレッド

HCKRSP : ヘルスチェック応答スレッド

BRGMON : ブリッジサーバ監視スレッド

TAMMON : TAM インスタンス監視スレッド

IMSMON : IMS アクセスサーバ監視スレッド

@ 2 : ID

スレッド種別が REPGRP, TAMMON, IMSMON の場合 : レプリケーショングループ ID

スレッド種別が HCKREQ の場合 : ノード ID

上記以外およびスレッド種別が REPGRP で共通用のスレッドの場合 : "***"

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIIC287

E

[英文] Failed to request alarm. return=@1 code=@2

[和文] アラーム要求に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] アラーム要求に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC288

I

[英文] Path disconnected. LNODEID=@1 TYPE=@2 code=@3

[和文] パスを切断しました。LNODEID=@1 TYPE=@2 code=@3

[説明] ノード間ソケット切断した。

@ 1 : 対象ノード ID

@ 2 : ネットワーク種別

DEFAULT:DIOSAMAP-%LNODE-IPADDR で指定したネットワーク

EMERGENCY:DIOSAMAP-%LNODE-IPADDR2 で指定したネットワーク

@ 3 : 内部コード

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC289

I

[英文] Path connected. LNODEID=@1 TYPE=@2 code=@3

[和文] パスを接続しました。LNODEID=@1 TYPE=@2 code=@3

[説明] ノード間ソケット接続した。

@ 1 : 対象ノード ID

@ 2 : ネットワーク種別

DEFAULT:DIOSAMAP-%LNODE-IPADDR で指定したネットワーク

EMERGENCY:DIOSAMAP-%LNODE-IPADDR2 で指定したネットワーク

@ 3 : 内部コード

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC301

E

[英文] Unable to accept a request because other exclusive function is running. COMMAND=@1 code=@2

[和文] 現在処理を受け付けられない状態です。COMMAND=@1 code=@2

[説明] 他のコマンド処理を実行中であるため、処理を受け付けられない。

@ 1 : コマンド種別

IMCTRL:diimctrl コマンド

IMTERM:diimterm コマンド

@ 2 : 内部コード

[処置] 他の同時実行されているコマンドが完了後に、コマンドを再実行する。

DIIC302

E

[英文] Target not found. LNODEID=@1 code=@2

[和文] 処理対象が見つかりません。LNODEID=@1 code=@2

[説明] 処理対象が見つからない。

@ 1 : ノード ID

@ 2 : 内部コード

[処置] SG 動的置換により削除した論理ノード ID であり、この後に DIIC286 のメッセージが出力されていない場合は、処置の必要なし。

上記以外の場合は、開発部門へ問い合わせる。

DIIC311

E

[英文] Bridge Server error is detected. ID=@1

[和文] ブリッジサーバ障害を検出しました。ID=@1

[説明] ブリッジサーバ障害を検出した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIIC321

I

[英文] Transaction blockage command executed. COMMAND=[@1] return=@2

[和文] 電文保留制御コマンドを実行しました。COMMAND=[@1] return=@2

[説明] C0 制御の電文保留制御コマンドを実行した。

@ 1 : コマンドパラメータ

@ 2 : コマンドの終了ステータス

[処置] 閉塞オプション指定時の場合、または閉塞解除オプション指定時かつコマンドの終了ステータスが 0 の場合、処置不要。

閉塞解除オプション指定時かつコマンドの終了ステータスが-1 の場合、切替中でないことを確認した上で手動でコマンド実行する。

閉塞解除オプション指定時かつコマンドの終了ステータスが 0、-1 以外の場合、直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC331

I

[英文] Request for fault accepted. LNODENAME=@1 MODE=@2

[和文] 障害対応要求を受け付けました。LNODENAME=@1 MODE=@2

[説明] ノードに関連する障害対応要求を受け付けた。

@ 1 : 論理ノード名

@ 2 : 障害対応モード

TPATH_TRBL : T パス障害

BRG_TRBL : ブリッジサーバ障害

NODE_TRBL : ノード障害

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC332

I

[英文] Function for fault started. LNODENAME=@1

[和文] 障害対応処理を開始しました。LNODENAME=@1

[説明] ノードに関連する障害対応処理を開始した。

@ 1 : 論理ノード名

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC333

I

[英文] Function for fault terminated normally. LNODENAME=@1

[和文] 障害対応処理が完了しました。LNODENAME=@1

[説明] ノードに関連する障害対応処理が完了した。

@ 1 : 論理ノード名

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC341

I

[英文] Function for fault took over. LNODENAME=@1

[和文] ノード障害対応処理を引き継ぎました。LNODENAME=@1

[説明] ノード障害処理中のノードが障害になったため、ノード障害対応処理を引き継いだ。

@ 1 : 論理ノード名

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC401

E

[英文] Unable to accept a request. COMMAND=@1 REPGID=@2 code=@3

[和文] 現在処理を受け付けられない状態です。COMMAND=@1 REPGID=@2 code=@3

[説明] コマンドからの要求を受け付けられない状態である。

@ 1 : コマンド種別

IMCTRL : diimctrl コマンド

IMTERM : diimterm コマンド

IMBLOCK : diimblock コマンド

IMCHGHASH : diimchghash コマンド

TAMSWAP : ditamswap コマンド

TAMSWITCH : ditamswitch コマンド

IMSLVMV : diimslvmv コマンド

@ 2 : レプリケーショングループ ID

@ 3 : 内部コード

[処置] diimref コマンドによりレプリケーショングループの状態を確認し、必要であればコマンドを再実行する。

DI IIC402

E

[英文] Unable to accept a request. COMMAND=@1 REPGID=@2 MAPID=@3 code=@4

[和文] 現在処理を受け付けられない状態です。COMMAND=@1 REPGID=@2 MAPID=@3 code=@4

[説明] コマンドからの要求を受け付けられない状態である。

@ 1 : コマンド種別

IMCTRL : diimctrl コマンド

IMBLOCK : diimblock コマンド

@ 2 : レプリケーショングループ ID

@ 3 : MAP ID

@ 4 : 内部コード

[処置] diimref コマンドにより MAP およびレプリケーショングループの状態を確認し、必要であればコマンドを再実行する。

DIIC403

E

[英文] Target not found. REPGID=@1 code=@2

[和文] 処理対象が見つかりません。REPGID=@1 code=@2

[説明] 処理対象が見つからない。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 内部コード

[処置] SG 動的置換により削除したレプリケーショングループ ID であり、この後に DIIC286 のメッセージが出力されていない場合は、処置の必要なし。

上記以外の場合は、開発部門へ問い合わせる。

DIIC404

E

[英文] Target not found. REPGID=@1 MAPID=@2 code=@3

[和文] 処理対象が見つかりません。REPGID=@1 MAPID=@2 code=@3

[説明] 処理対象が見つからない。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : MAP ID

@ 3 : 内部コード

[処置] SG 動的置換により削除した MAP であり、この後に DIIC286 のメッセージが出力されていない場合は、処置の必要なし。

上記以外の場合は、開発部門へ問い合わせる。

DIIC405

E

[英文] Target not found. REPGID=@1 LNODEID=@2 code=@3

[和文] 処理対象が見つかりません。REPGID=@1 LNODEID=@2 code=@3

[説明] 処理対象が見つからない。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : ノード ID

@ 3 : 内部コード

[処置] SG 動的置換により削除したレプリケーショングループ ID またはノード ID であり、この後に DIIC286 のメッセージが出力されていない場合は、処置の必要なし。

上記以外の場合は、開発部門へ問い合わせる。

DI IIC406

E

[英文] Unable to accept a request. API=@1 REPGID=@2 code=@3

[和文] 現在処理を受け付けられない状態です。API=@1 REPGID=@2 code=@3

[説明] コマンドからの要求を受け付けられない状態である。

@ 1 : API 種別

SETMAP : diosasetmap()関数

@ 2 : レプリケーショングループ ID

@ 3 : 内部コード

[処置] diimref コマンドによりレプリケーショングループの状態を確認し、必要であればAPIを再実行する。

DI IIC411

E

[英文] Access Server error is detected. REPGID=@1 MODE=@2

[和文] アクセスサーバ障害を検出しました。REPGID=@1 MODE=@2

[説明] アクセスサーバ障害を検出した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : マスタ/スレーブ種別

MASTER : マスタ

SLAVE : スレーブ

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC415

E

[英文] Failed to acquire TAM status. REPGID=@1 code=@2

[和文] TAM稼動状態取得に失敗しました。REPGID=@1 code=@2

[説明] TAM稼動状態取得に失敗した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 内部コード

[処置] syslogに出力されるTAMのメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC420

E

[英文] Failed to start slave because master is not started. REPGID=@1 code=@2

[和文] マスタが未起動のためスレーブを起動できません。REPGID=@1 code=@2

[説明] マスタが未起動のためスレーブを起動できない。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 内部コード

[処置] マスタが配置されているノードにおいて diiminit コマンドまたは diimctrl -b コマンドによりレプリケーショングループを起動した後、コマンドを再実行する。

DI IIC421

E

[英文] Failed to start slave because master is not started. REPGID=@1 MAPID=@2 code=@3

[和文] マスタが未起動のためスレーブを起動できません。REPGID=@1 MAPID=@2 code=@3

[説明] マスタが未起動のためスレーブを起動できない。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : MAP ID

@ 3 : 内部コード

[処置] マスタが配置されているノードにおいて diimctrl -b コマンドにより MAP を起動した後、コマンドを再実行する。

DI IIC422

E

[英文] Failed to start Access Thread because Access Server is not started. REPGID=@1 MAPID=@2 code=@3

[和文] アクセスサーバが未起動のためアクセススレッドを起動できません。REPGID=@1 MAPID=@2 code=@3

[説明] アクセスサーバが未起動のためアクセススレッドを起動できない。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : MAP ID

@ 3 : 内部コード

[処置] diimctrl -b コマンドによりレプリケーショングループを起動した後、コマンドを再実行する。

DI IIC423

E

[英文] Failed to start TAM because instance is already started. REPGID=@1 code=@2

[和文] 起動中のインスタンスが存在するため TAM を起動できません。REPGID=@1 code=@2

[説明] DIOSA が管理する種別と異なる種別の TAM が起動されている。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 内部コード

[処置] tamstatus コマンドで TAM の状態を確認し、TAM の手動停止または DIOSA の SG 変更を行った後、コマンドを再実行する。

DI IIC424

E

[英文] Failed to stop master because slave is active. REPGID=@1 code=@2

[和文] 起動中のスレーブが存在するためマスタを停止できません。REPGID=@1 code=@2

[説明] 起動中のスレーブが存在するためマスタを停止できない。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 内部コード

[処置] diimctrl -e コマンドまたは diimterm コマンドにより他ノードのスレーブを停止後、コマンドを再実行する。

DI IIC425

E

[英文] Available TAM virtual node name is not found. REPGID=@1 code=@2

[和文] 利用可能な TAM 論理ノード名が見つかりません。REPGID=@1 code=@2

[説明] DIOSA が管理していて使用可能な TAM 論理ノード名が見つからない。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DI IIC426

E

[英文] Failed to stop slave MAP because master is not stopped. REPGID=@1 MAPID=@2 code=@3

[和文] マスタが未停止のためスレーブの MAP を停止できません。REPGID=@1 MAPID=@2 code=@3

[説明] マスタの MAP が稼働中の状態でスレーブの MAP 停止コマンドを投入した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : MAP ID

@ 3 : 内部コード

[処置] マスタが存在するノードで MAP 停止後に、スレーブの MAP を停止する。

DI IIC427

W

[英文] Slave information is initialized, because Master started. REPGID=@1 LNODEID=@2 PREVSTS=@3 code=@4

[和文] マスタ起動に伴い、スレーブの情報を初期化しました。REPGID=@1 LNODEID=@2 PREVSTS=@3 code=@4

[説明] マスタ起動に伴い、スレーブの情報を初期化した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 論理ノード ID

@ 3 : 初期化前のステータス

STARTING : 起動処理中

NORMAL : 正常稼動

STOPPING : 停止処理中

TROUBLE : 障害

@ 4 : 内部コード

[処置] 対象論理ノード ID で、対象レプリケーショングループの TAM インスタンスが起動しているかを tamstatus コマンドで確認する。

TAM インスタンスが起動していない場合は、処置不要。

TAM インスタンスが起動している場合は、TAM のコマンドで TAM を停止する。

DI IIC428

E

[英文] Failed to accept a request because Access Server is not started. REPGID=@1 code=@2

[和文] アクセスサーバが未起動のため処理を受け付けられません。REPGID=@1 code=@2

[説明] アクセスサーバ障害を検出してからアクセスサーバの再起動が完了するまでの間にアクセスサーバへの通知を行うコマンドが投入されたため、処理を中断した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 内部コード

[処置] アクセスサーバ再起動後に、エラーとなったコマンドを再実行する。

アクセスサーバ再起動が失敗した場合は、再起動失敗のメッセージに従った処置を行う。

DI IIC429

I

[英文] Slave shifted to a standby. REPGID=@1

[和文] スレーブが待機状態に移行しました。REPGID=@1

[説明] スレーブが待機状態に移行した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 処置の必要なし

DI IIC430

I

- [英文] Slave shifted to a stop. REPGID=@1
- [和文] スレーブが停止状態に移行しました。REPGID=@1
- [説明] スレーブが停止状態に移行した。
@ 1 : レプリケーショングループ ID
- [処置] 処置の必要なし

DI IIC440

E

- [英文] Invalid table condition. REPGID=@1 code=@2
- [和文] テーブルが不正な状態です。REPGID=@1 code=@2
- [説明] テーブル状態不正を検出した。
@ 1 : レプリケーショングループ ID
@ 2 : 内部コード
- [処置] ディレード機能によりバックアップシステムへの転送を行っており、短時間での復旧が必要なシステムにおいては、バックアップシステムへの切替を行う。
開発部門へ問い合わせる。

DI IIC501

I

- [英文] Master switch request accepted. REPGID=@1 MODE=@2
- [和文] マスタ切替要求を受け付けました。REPGID=@1 MODE=@2
- [説明] マスタ切替要求を受け付けた。
@ 1 : レプリケーショングループ ID
@ 2 : 切替モード
SWAP_PLN : マスタ切替コマンド
SWITCH_PLN : マスタ昇格コマンド
TAM_TRBL : TAM 障害による昇格
ACS_TRBL : アクセスサーバ障害による切替
TPATH_TRBL : T パス障害による切替
BRG_TRBL : ブリッジサーバ障害による切替
NODE_TRBL : ノード障害
CLEANUP : クリーンアップによる切替
*** : T パス障害もしくはノード管理スレッドの処理責任者引継ぎが発生した状態の切替
- [処置] 処置の必要なし。

DI IIC502

I

[英文] Master switch function started. REPGID=@1 LNODENAME=@2

[和文] マスタ切替処理を開始しました。REPGID=@1 LNODENAME=@2

[説明] マスタ切替処理を開始した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 論理ノード名

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC503

I

[英文] Master switch function terminated normally. REPGID=@1

[和文] マスタ切替処理が成功しました。REPGID=@1

[説明] マスタ切替処理が成功した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC504

E

[英文] Master switch function aborted. REPGID=@1 code=@2

[和文] マスタ切替処理が失敗しました。REPGID=@1 code=@2

[説明] マスタ切替処理が失敗した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 内部コード

[処置] 同一レプリケーショングループ ID に対する DI IIC503 のメッセージが出力されている場合は、リトライで成功しているため、処置の必要なし。

出力されていない場合は、直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC505

E

[英文] Available slave to switch is not found. REPGID=@1 code=@2

[和文] 切替先が存在しません。REPGID=@1 code=@2

[説明] 切替可能な切替先が存在しない。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC506

E

[英文] Replication error detected. REPGID=@1 code=@2

[和文] レプリケーション障害です。REPGID=@1 code=@2

[説明] レプリケーショングループが使用不可能になった。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 内部コード

[処置] ディレード機能によりバックアップシステムへの転送を行っており、短時間での復旧が必要なシステムにおいては、バックアップシステムへの切替を行う。

直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC507

E

[英文] Master switch function stopped. REPGID=@1 code=@2

[和文] マスタ切替処理を中断しました。REPGID=@1 code=@2

[説明] マスタ切替処理を中断した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 内部コード

[処置] ノード障害として検出され、自動切替が行われている場合は、処置不要。

自動切替が行われていない場合は、正常に動作しているスレーブで ditamsitch コマンドを投入する。

ディレード機能によりバックアップシステムへの転送を行っており、短時間での復旧が必要なシステムにおいて、ditamsitch コマンドでも切替が完了しない場合は、バックアップシステムへの切替を行う。

DI IIC511

I

[英文] Slave release function started. REPGID=@1 LNODEID=@2

[和文] スレーブ切り離し処理を開始しました。REPGID=@1 LNODEID=@2

[説明] スレーブ切り離し処理を開始した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : ノード ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC512

I

[英文] Slave release function terminated normally. REPGID=@1

[和文] スレーブ切り離し処理が成功しました。REPGID=@1

[説明] スレーブ切り離し処理が成功した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC513

E

[英文] Slave release function aborted. REPGID=@1 code=@2

[和文] スレーブ切り離し処理が失敗しました。REPGID=@1 code=@2

[説明] スレーブ切り離し処理が失敗した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC521

I

[英文] Access Server stop by error function started. REPGID=@1 LNODEID=@2

[和文] 障害時アクセスサーバ停止処理を開始しました。REPGID=@1 LNODEID=@2

[説明] 障害時アクセスサーバ停止処理を開始した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : ノード ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC522

I

[英文] Access Server stop by error function terminated normally. REPGID=@1

[和文] 障害時アクセスサーバ停止処理が成功しました。REPGID=@1

[説明] 障害時アクセスサーバ停止処理が成功した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC523

E

[英文] Access Server stop by error function aborted. REPGID=@1 code=@2

[和文] 障害時アクセスサーバ停止処理が失敗しました。REPGID=@1 code=@2

[説明] 障害時アクセスサーバ停止処理が失敗した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC531

I

[英文] Cleanup function started. REPGID=@1

[和文] クリーンアップ処理を開始しました。REPGID=@1

[説明] クリーンアップ処理を開始した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC532

I

[英文] Cleanup function terminated normally. REPGID=@1

[和文] クリーンアップ処理が完了しました。REPGID=@1

[説明] クリーンアップ処理が完了した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC533

E

[英文] Master TAM status check retry over. REPGID=@1

[和文] マスタ TAM 状態チェックがリトライオーバーしました。REPGID=@1

[説明] マスタ TAM 状態チェックがリトライオーバーした。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 同一レプリケーショングループ ID に対する DI IIC503 のメッセージが出力されている場合は、マスタへの強制停止要求後に成功しているため、処置の必要なし。

出力されていない場合は、マスタ TAM を強制停止後、ditamswitch コマンドを投入する。

DIIIC541

I

[英文] Slave auto-boot function started. REPGID=@1 LNODENAME=@2

[和文] スレーブ自動起動処理を開始しました。REPGID=@1 LNODENAME=@2

[説明] スレーブ自動起動処理を開始した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 論理ノード名

[処置] 処置の必要なし。

DIIIC542

I

[英文] Slave auto-boot function terminated normally. REPGID=@1

[和文] スレーブ自動起動処理が成功しました。REPGID=@1

[説明] スレーブ自動起動処理に成功した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 処置の必要なし。

DIIIC543

E

[英文] Slave auto-boot function aborted. REPGID=@1 code=@2

[和文] スレーブ自動起動処理が失敗しました。REPGID=@1 code=@2

[説明] スレーブ自動起動処理に失敗した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 内部コード

[処置] 同一レプリケーショングループ ID に対する DIIIC542 のメッセージが出力されている場合は、リトライで成功しているため、処置の必要なし。

出力されていない場合は、直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIIIC551

I

[英文] Slave move function started. REPGID=@1 LNODENAME=@2

[和文] スレーブ移動処理を開始しました。REPGID=@1 LNODENAME=@2

[説明] スレーブ自動起動処理を開始した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 論理ノード名

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC552

I

[英文] Slave move function terminated normally. REPGID=@1

[和文] スレーブ移動処理が成功しました。REPGID=@1

[説明] スレーブ移動処理に成功した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC553

E

[英文] Slave move function aborted. REPGID=@1 code=@2

[和文] スレーブ移動処理が失敗しました。REPGID=@1 code=@2

[説明] スレーブ移動処理に失敗した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 内部コード

[処置] 同一レプリケーショングループ ID に対する DI IIC552 のメッセージが出力されている場合は、リトライで成功しているため、処置の必要なし。

出力されていない場合は、直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC554

E

[英文] Available slave node to move is not found. REPGID=@1 code=@2

[和文] スレーブを移動可能なノードが存在しません。REPGID=@1 code=@2

[説明] スレーブを移動可能なノードが存在しない。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC555

E

[英文] Failed to move slave because master is not started. REPGID=@1 code=@2

[和文] マスタが未起動のためスレーブ移動処理はできません。REPGID=@1 code=@2

[説明] マスタが未起動のためスレーブ移動処理はできない。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : 内部コード

[処置] マスタが配置されているノードにおいて diiminit コマンドまたは diimctrl -b コマンドによりレプリケーショングループを起動した後、必要に応じてコマンドを再実行する。

DI IIC601

E

[英文] Node error is detected. LNODENAME=@1 LNODEID=@2

[和文] ノード障害を検出しました。LNODENAME=@1 LNODEID=@2

[説明] ノード障害を検出した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : ノード ID

[処置] 障害となったノードの状態を確認し、ノードを再起動する。

DI IIC651

E

[英文] Access Server delay message limit over. MAPID=@1 SMQNUM=@2 ALIVECNT=@3

[和文] アクセスサーバ滞留電文数がしきい値を超えました。MAPID=@1 SMQNUM=@2 ALIVECNT=@3

[説明] アクセスサーバ滞留電文数がしきい値を超えた。

@ 1 : MAP ID

@ 2 : メッセージキュー滞留件数

@ 3 : 処理件数

[処置] 自動的に再起動された場合は、処置の必要はない。

自動的に再起動およびマスタ切替が行われていない場合は、ditamswitch コマンドによりマスタ切替を行う。

自動的にマスタ切替が行われた場合および ditamswitch コマンドにより復旧した場合は、障害の原因を解消後、diimctrl -b コマンドによりスレーブとして再起動する。

DI IIC652

E

[英文] Process stop of Bridge Server is detected. ID=@1

[和文] ブリッジサーバのプロセス停止を検出しました。ID=@1

[説明] ブリッジサーバのプロセス停止を検出した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

[処置] 自動的に再起動された場合は、処置の必要はない。

再起動されなかった場合は、障害の原因を解消後、diimctrl -b -B コマンドによりブリッジサーバを再起動する。

DI IIC653

E

[英文] Process stop of TAM is detected. REPGID=@1

[和文] TAM のプロセス停止を検出しました。REPGID=@1

[説明] TAM のプロセス停止を検出した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 自動的にマスタ切替を行わない定義で、障害となった TAM がマスタの場合は、ditamswitch コマンドによりマスタ切替を行う。

マスタ切替またはスレーブ切り離し完了後、syslog に出力される TAM のエラーメッセージにより原因を特定し、解消後、diimctrl -b コマンドによりスレーブとして再起動する。

DI IIC654

E

[英文] TAM error is detected. REPGID=@1

[和文] TAM 障害を検出しました。REPGID=@1

[説明] TAM 障害を検出した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 自動的にマスタ切替を行わない定義で、障害となった TAM がマスタの場合は、ditamswitch コマンドによりマスタ切替を行う。

マスタ切替またはスレーブ切り離し完了後、syslog に出力される TAM のエラーメッセージにより原因を特定し、解消後、diimctrl -b コマンドによりスレーブとして再起動する。

DI IIC681

E

[英文] Tpath close is detected. LNODENAME=@1

[和文] T パスクローズを検出しました。LNODENAME=@1

[説明] AP 層において、T パスクローズを検出した。

@ 1 : 接続先の論理ノード名

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC700

E

[英文] Failed to initialize process of DIOSA common function. return=@1 code=@2

[和文] DIOSA 共通プロセス初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] DIOSA 共通プロセス初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC701

E

[英文] System call failed. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] システムコールでエラーが発生しました。 FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[説明] システムコールでエラーが発生した。

@ 1 : 関数名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DI IIC702

E

[英文] Failed to allocate memory. return=@1 code=@2

[和文] メモリ確保処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] メモリ確保処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC703

E

[英文] Failed to free memory. return=@1 code=@2

[和文] メモリ解放処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] メモリ解放処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC704

E

[英文] Failed to terminate process of DIOSA common function. return=@1 code=@2

[和文] DIOSA 共通プロセス終了処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] DIOSA 共通プロセス終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC705

E

[英文] Failed to initialize process of Application Dynamic Replace function. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換プロセス初期化処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] AP 動的置換プロセス初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC706

E

[英文] Failed to lock. return=@1 code=@2

[和文] ロック取得処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] ロック取得処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC707

E

[英文] Failed to unlock. return=@1 code=@2

[和文] ロック解放処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] ロック解放処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC708

E

[英文] Failed to create shared memory. IPCKEY=0x@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリ確保処理においてエラーが発生しました。IPCKEY=0x@1 return=@2 code=@3

[説明] 共有メモリ確保処理においてエラーが発生した。

@ 1 : IPC キー

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC709

E

[英文] Failed to attach shared memory. IPCKEY=0x@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリアタッチ処理においてエラーが発生しました。IPCKEY=0x@1 return=@2 code=@3

[説明] 共有メモリアタッチ処理においてエラーが発生した。

@ 1 : IPC キー

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC710

E

[英文] Failed to detach shared memory. return=@1 code=@2

[和文] 共有メモリデタッチ処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] 共有メモリデタッチ処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC711

E

[英文] Failed to acquire enumeration DIOSAMAP information. return=@1 code=@2

[和文] DIOSAMAP 情報列挙処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] DIOSAMAP 情報列挙処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC712

E

[英文] Failed to convert strings to number. return=@1 code=@2

[和文] 文字列を数値に変換する処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] 文字列を数値に変換する処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC713

E

[英文] Failed to call user exit function using Application Dynamic Replace function. FUNC=@1 return=@2 code=@3

[和文] AP 動的置換機能による利用者関数呼び出しでエラーが発生しました。FUNC=@1 return=@2 code=@3

[説明] AP 動的置換機能による利用者関数呼び出しでエラーが発生した。

@ 1 : 利用者関数名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードおよび直前のエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC714

W

[英文] Failed to execute command. code=@1

[和文] コマンドの実行に失敗しました。code=@1

[説明] コマンドがシグナル受信により終了した。

@ 1 : 内部コード

[処置] 直後に出力されているエラーメッセージの処置に従う。

DI IIC717

W

[英文] Illegal value of environment variable. ENVNAME=@1 VALUE=@2 code=@3

[和文] 環境変数の設定値が不正です。ENVNAME=@1 VALUE=@2 code=@3

[説明] 環境変数の設定値が間違っている。

@ 1 : 環境変数名

@ 2 : 設定値

@ 3 : 内部コード

[処置] 環境変数の設定値を見直し、必要に応じて IMS 所在管理機能を再起動する。

DI IIC730

E

[英文] Failed to initialize process of MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のプロセス初期化处理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] SG 動的置換機能のプロセス初期化处理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC731

E

[英文] Failed to terminate process of MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のプロセス終了処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] SG 動的置換機能のプロセス終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC732

E

[英文] Failed to initialize thread of MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のスレッド初期化処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] SG 動的置換機能のスレッド初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC733

E

[英文] Failed to terminate thread of MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のスレッド終了処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] SG 動的置換機能のスレッド終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC734

E

[英文] Failed to initialize service of MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のサービス初期化処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] SG 動的置換機能のサービス初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC735

E

[英文] Failed to terminate service of MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のサービス終了処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] SG 動的置換機能のサービス終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC736

E

[英文] Failed to register sub-component handler. return=@1 code=@2

[和文] サブコンハンドラ登録処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] サブコンハンドラ登録処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC737

E

[英文] Failed to release registration of sub-component handler. return=@1 code=@2

[和文] サブコンハンドラ登録解除処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] サブコンハンドラ登録解除処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC738

E

[英文] Failed to register process id to notify SG change. return=@1 code=@2

[和文] SG 変更通知先PID 登録処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] SG 変更通知先PID 登録処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC739

E

[英文] Failed to release registration of process id to notify SG change. return=@1 code=@2

[和文] SG 変更通知先PID 登録解除処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] SG 変更通知先PID 登録解除処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC740

E

[英文] Failed to create client socket. return=@1 code=@2

[和文] クライアントソケット生成処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] ソケット接続でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC741

E

[英文] Failed to send message. return=@1 code=@2

[和文] 電文送信処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] 電文送信処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC742

E

[英文] Failed to receive message. return=@1 code=@2

[和文] 電文受信処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] 電文受信処理においてエラーが発生しました。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC743

W

[英文] Failed to close socket. return=@1 code=@2

[和文] ソケットクローズ処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] ソケットクローズ処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC744

E

[英文] Failed to initialize process of socket function. return=@1 code=@2

[和文] ソケット機能のプロセス初期化処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] ソケット機能のプロセス初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC745

E

[英文] Failed to initialize process of alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能のプロセス初期化処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] アラーム機能のプロセス初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC746

E

[英文] Failed to initialize process of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード機能のプロセス初期化処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] ディレード機能のプロセス初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIIC747

E

[英文] Failed to start Daemon Alive Monitoring. return=@1 code=@2

[和文] デーモン死活監視の監視開始処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] デーモン死活監視の監視開始処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIIC748

E

[英文] Failed to notify MultiThread Dynamic Replace request. return=@1 code=@2

[和文] 動的変更通知要求の通知処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] 動的変更通知要求の通知処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIIC749

E

[英文] Failed to initialize thread of delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレード機能のスレッド初期化処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] ディレード機能のスレッド初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIIC750

E

[英文] Failed to notify master location to delayed transfer. return=@1 code=@2

[和文] ディレードへのマスタ所在ノード変更通知に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] ディレードへのマスタ所在ノード変更通知に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC780

E

[英文] Failed to open to SG object file. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG ファイルオープン処理においてエラーが発生しました。SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] SG ファイルオープン処理においてエラーが発生した。

@ 1 : セクション名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC781

E

[英文] Failed to close to SG object file. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG ファイルクローズ処理においてエラーが発生しました。SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] SG ファイルクローズ処理においてエラーが発生した。

@ 1 : セクション名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC782

E

[英文] Failed to read to SG object file. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG レコードの取得処理においてエラーが発生しました。SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] SG レコードの取得処理においてエラーが発生した。

@ 1 : セクション名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC783

E

[英文] Detected invalid record in SG object file. SECNAME=@1 RECORD_ID=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトファイルに不正なレコードが含まれています。SECNAME=@1 RECORD_ID=@2 code=@3

[説明] SG オブジェクトファイルに不正なレコードが含まれている。

@ 1 : セクション名

@ 2 : レコード ID

@ 3 : 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DI IIC784

E

[英文] Failed to read to inheritance file. KEYWORD=@1 return=@2 code=@3

[和文] 引継ぎファイルの読み込み処理においてエラーが発生しました。KEYWORD=@1 return=@2 code=@3

[説明] 引継ぎファイルの読み込み処理においてエラーが発生した。

@ 1 : SG 引継ぎ情報キーワード

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC785

E

[英文] Failed to write to inheritance file. KEYWORD=@1 return=@2 code=@3

[和文] 引継ぎファイルの書き込み処理においてエラーが発生しました。KEYWORD=@1 return=@2 code=@3

[説明] 引継ぎファイルの書き込み処理においてエラーが発生した。

@ 1 : SG 引継ぎ情報キーワード

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC800

E

[英文] Failed to execute TAM command. COMMAND=[@1] return=@2 code=@3

[和文] TAM のコマンド実行でエラーが発生しました。COMMAND=[@1] return=@2 code=@3

[説明] TAM のコマンド実行でエラーが発生した。

@ 1 : 実行したコマンド

@ 2 : TAM コマンドの戻り値

@ 3 : 内部コード

[処置] TAM コマンドの戻り値が-1 かつ IIC コマンド契機ではないメッセージ出力の場合、処置不要。

TAM コマンドの戻り値が-1 かつ IIC コマンド契機のメッセージ出力の場合、IIC コマンドを再実行する。
それ以外の場合は、TAM コマンドの戻り値、syslog のメッセージ、デーモンの標準エラー出力に出力されているメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC801

I

[英文] TAM started normally. REPGID=@1

[和文] TAM の起動が成功しました。REPGID=@1

[説明] TAM の起動が成功した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC802

I

[英文] TAM stopped normally. REPGID=@1

[和文] TAM の停止が成功しました。REPGID=@1

[説明] TAM の停止が成功しました。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC803

I

[英文] TAM demoted normally. REPGID=@1

[和文] TAM のマスタ切替（降格）が成功しました。REPGID=@1

[説明] tambackupswap コマンドによる TAM のマスタからスレーブへの降格処理が成功した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC804

I

[英文] TAM promoted normally. REPGID=@1

[和文] TAM のマスタ切替（昇格）が成功しました。REPGID=@1

[説明] tambackupswap コマンドによる TAM のスレーブからマスタへの昇格処理が成功した。
@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC805

I

[英文] TAM switched normally. REPGID=@1

[和文] TAM のマスタ昇格が成功しました。REPGID=@1

[説明] tambackupswitch コマンドによる TAM のスレーブからマスタへのマスタ昇格処理が成功した。
@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC806

I

[英文] TAM stopped emergency. REPGID=@1

[和文] TAM を強制停止しました。REPGID=@1

[説明] TAM を強制停止した。
@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC807

I

[英文] TAM stopped normally from master. REPGID=@1 LNODENAME=@2 VNODENAME=@3

[和文] TAM のスレーブ切り離しが成功しました。REPGID=@1 LNODENAME=@2 VNODENAME=@3

[説明] TAM のスレーブ切り離しが成功した。
@ 1 : レプリケーショングループ ID
@ 2 : 論理ノード名
@ 3 : TAM 論理ノード名

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC808

E

[英文] TAM slave start command is time-out. REPGID=@1

[和文] TAM のスレーブ起動がタイムアウトしました。 REPGID=@1

[説明] TAM のスレーブ起動がタイムアウトした。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] diimctrl コマンドの起動状態確認間隔 (-i) と起動状態確認回数 (-c) の指定を見直し、コマンドを再実行する。

DI IIC809

I

[英文] TAM txlog process started normally. REPGID=@1

[和文] TAM 更新ログ起動が成功しました。 REPGID=@1

[説明] TAM の更新ログ起動 (tamtxlogidstart) が成功した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC810

I

[英文] TAM txlog process stopped normally. REPGID=@1

[和文] TAM 更新ログ停止が成功しました。 REPGID=@1

[説明] TAM の更新ログ停止 (tamtxlogidstop) が成功した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC811

I

[英文] TAM slave replication stopped normally. REPGID=@1

[和文] スレーブ TAM のレプリケーション停止が成功しました。 REPGID=@1

[説明] スレーブ TAM のレプリケーションを停止した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC820

E

[英文] Failed to acquire TAM status. INSTANCE=@1 RETINFO=@2 code=@3

[和文] TAM の稼動情報取得処理においてエラーが発生しました。INSTANCE=@1 RETINFO=@2 code=@3

[説明] TamGetStatus 関数による TAM の状態取得に失敗した。

@ 1 : TAM インスタンス名

@ 2 : TAM API の戻り値

@ 3 : 内部コード

[処置] TAM API の戻り値、syslog のメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC821

E

[英文] Failed to initialize process of TAM. INSTANCE=@1 RETINFO=@2 code=@3

[和文] TAM のプロセス初期化処理においてエラーが発生しました。INSTANCE=@1 RETINFO=@2 code=@3

[説明] TamProcInit2 関数による TAM のプロセス初期化に失敗した。

@ 1 : TAM インスタンス名

@ 2 : TAM API の戻り値

@ 3 : 内部コード

[処置] TAM API の戻り値、syslog のメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC822

E

[英文] Failed to initialize thread of TAM. INSTANCE=@1 RETINFO=@2 code=@3

[和文] TAM のスレッド初期化処理においてエラーが発生しました。INSTANCE=@1 RETINFO=@2 code=@3

[説明] TamThreadInit 関数による TAM のスレッド初期化に失敗した。

@ 1 : TAM インスタンス名

@ 2 : TAM API の戻り値

@ 3 : 内部コード

[処置] TAM API の戻り値、syslog のメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC824

E

[英文] Failed to terminate process of TAM. INSTANCE=@1 RETINFO=@2 code=@3

[和文] TAM のプロセス終了処理においてエラーが発生しました。INSTANCE=@1 RETINFO=@2 code=@3

[説明] TamProcTerm 関数による TAM のプロセス終了に失敗した。

@ 1 : TAM インスタンス名

@ 2 : TAM API の戻り値

@ 3 : 内部コード

[処置] TAM API の戻り値、syslog のメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC900

E

[英文] Failed to acquire size of physical table name list. return=@1 code=@2

[和文] 物理表名一覧サイズ取得処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] 物理表名一覧サイズ取得処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC901

E

[英文] Failed to acquire physical table name list. MAPID=@1 return=@2 code=@3

[和文] 物理表名一覧取得処理においてエラーが発生しました。MAPID=@1 return=@2 code=@3

[説明] 物理表名一覧取得処理においてエラーが発生した。

@ 1 : MAP ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC902

E

[英文] Failed to initialize process of In-Memory Server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバプロセス初期化処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバプロセス初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC903

W

[英文] Failed to terminate process of In-Memory Server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバプロセス終了処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバプロセス終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC904

E

[英文] Failed to initialize In-Memory Server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバ初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC905

W

[英文] Failed to terminate In-Memory Server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ終了処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバ終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC906

E

[英文] Failed to replace SG of In-Memory Server dynamically. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ SG 動的置換処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバ SG 動的置換処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC907

E

[英文] Failed to cancel SG dynamic replace. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ SG 動的置換キャンセル処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバ SG 動的置換キャンセル処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC908

E

[英文] Failed to initialize thread of In-Memory Server. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバスレッド初期化処理においてエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバスレッド初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC909

E

[英文] Failed to update In-Memory Server dynamic table. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ動的情報更新処理でエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバ動的情報変更処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードおよび直前のメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC910

I

[英文] Access Server started normally. REPGID=@1 TYPE=@2

[和文] アクセスサーバの起動に成功しました。 REPGID=@1 TYPE=@2

[説明] アクセスサーバの起動に成功した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : マスタ/スレーブ種別

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC911

I

[英文] Access Server stopped. REPGID=@1

[和文] アクセスサーバを停止しました。 REPGID=@1

[説明] アクセスサーバを停止した。
@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC912

I

[英文] Bridge Server started normally. ID=@1

[和文] ブリッジサーバの起動に成功しました。 ID=@1

[説明] ブリッジサーバの起動に成功した。
@ 1 : ブリッジサーバ ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC913

I

[英文] Bridge Server stopped normally. ID=@1

[和文] ブリッジサーバを停止しました。 ID=@1

[説明] ブリッジサーバを停止した。
@ 1 : ブリッジサーバ ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC914

I

[英文] MAP started normally. REPGID=@1 MAPID=@2

[和文] MAP の起動に成功しました。 REPGID=@1 MAPID=@2

[説明] MAP の起動に成功した。
@ 1 : レプリケーショングループ ID
@ 2 : MAP ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC915

I

[英文] MAP stopped normally. REPGID=@1 MAPID=@2

[和文] MAP を停止しました。 REPGID=@1 MAPID=@2

[説明] MAP を停止した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : MAP ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC916

I

[英文] Access Server promoted normally. REPGID=@1

[和文] アクセスサーバの昇格に成功しました。 REPGID=@1

[説明] アクセスサーバの昇格に成功した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC917

I

[英文] Access Server changed update state normally. REPGID=@1

[和文] アクセスサーバの更新可否変更に成功しました。 REPGID=@1

[説明] アクセスサーバの更新可否変更に成功した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

[処置] 処置の必要なし。

DI IIC921

E

[英文] Failed to start Access Server. REPGID=@1 return=@2 code=@3

[和文] アクセスサーバの起動処理においてエラーが発生しました。 REPGID=@1 return=@2 code=@3

[説明] アクセスサーバの起動処理においてエラーが発生した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC922

E

[英文] Failed to stop Access Server. REPGID=@1 return=@2 code=@3

[和文] アクセスサーバの停止処理においてエラーが発生しました。 REPGID=@1 return=@2 code=@3

[説明] アクセスサーバの停止処理においてエラーが発生した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC923

E

[英文] Failed to connect Access Server. REPGID=@1 return=@2 code=@3

[和文] アクセスサーバの制御通信接続処理においてエラーが発生しました。 REPGID=@1 return=@2 code=@3

[説明] アクセスサーバの制御通信接続処理においてエラーが発生した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC924

E

[英文] Failed to disconnect Access Server. REPGID=@1 return=@2 code=@3

[和文] アクセスサーバの制御通信切断処理においてエラーが発生しました。 REPGID=@1 return=@2 code=@3

[説明] アクセスサーバの制御通信切断処理においてエラーが発生した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC925

E

[英文] Failed to send request to Access Server. REPGID=@1 return=@2 code=@3

[和文] アクセスサーバの制御要求送信処理においてエラーが発生しました。 REPGID=@1 return=@2 code=@3

[説明] アクセスサーバの制御要求送信処理においてエラーが発生した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC926

E

[英文] Failed to receive reply to Access Server. REPGID=@1 return=@2 code=@3

[和文] アクセスサーバの制御応答受信処理においてエラーが発生しました。 REPGID=@1 return=@2 code=@3

[説明] アクセスサーバの制御応答受信処理においてエラーが発生した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC927

E

[英文] Reply message from Access Server is inconsistent with the request message. REPGID=@1 MAPID=@2 code=@3

[和文] アクセスサーバの制御通信処理において、要求内容と応答内容が一致しません。 REPGID=@1 MAPID=@2 code=@3

[説明] アクセスサーバの制御通信処理において、要求内容と応答内容が一致していない。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : MAP ID

@ 3 : 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DI IIC931

E

[英文] Failed to promote Access Server. REPGID=@1 return=@2 code=@3

[和文] アクセスサーバの昇格処理においてエラーが発生しました。 REPGID=@1 return=@2 code=@3

[説明] アクセスサーバの昇格処理においてエラーが発生した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC941

E

[英文] Failed to start MAP. MAPID=@1 status=@2 code=@3

[和文] MAP の起動処理においてエラーが発生しました。 MAPID=@1 status=@2 code=@3

[説明] MAP の起動処理においてエラーが発生した。

@ 1 : MAP ID

@ 2 : 応答結果

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC942

E

[英文] Failed to stop MAP. MAPID=@1 status=@2 code=@3

[和文] MAP の停止処理においてエラーが発生しました。 MAPID=@1 status=@2 code=@3

[説明] MAP の停止処理においてエラーが発生した。

@ 1 : MAP ID

@ 2 : 応答結果

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC943

E

[英文] Failed to change update state. MAPID=@1 status=@2 code=@3

[和文] MAP の更新可否変更処理においてエラーが発生しました。 MAPID=@1 status=@2 code=@3

[説明] MAP の更新可否変更処理においてエラーが発生した。

@ 1 : MAP ID

@ 2 : 応答結果

@ 3 : 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC951

E

[英文] Failed to start Bridge Server. ID=@1 return=@2 code=@3

[和文] ブリッジサーバの起動処理においてエラーが発生しました。 ID=@1 return=@2 code=@3

[説明] ブリッジサーバの起動処理においてエラーが発生した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC952

E

[英文] Failed to stop Bridge Server. ID=@1 return=@2 code=@3

[和文] ブリッジサーバの停止処理においてエラーが発生しました。 ID=@1 return=@2 code=@3

[説明] ブリッジサーバの停止処理においてエラーが発生した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC953

E

[英文] Failed to connect Bridge Server. ID=@1 return=@2 code=@3

[和文] ブリッジサーバの制御通信接続処理においてエラーが発生しました。 ID=@1 return=@2 code=@3

[説明] ブリッジサーバの制御通信接続処理においてエラーが発生した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC954

E

[英文] Failed to disconnect Bridge Server. ID=@1 return=@2 code=@3

[和文] ブリッジサーバの制御通信切断処理においてエラーが発生しました。 ID=@1 return=@2 code=@3

[説明] ブリッジサーバの制御通信切断処理においてエラーが発生した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC960

E

[英文] Failed to update In-Memory Server status. TYPE=@1 ID=@2 return=@3 code=@4

[和文] インメモリサーバの状態更新処理においてエラーが発生しました。 TYPE=@1 ID=@2 return=@3 code=@4

[説明] インメモリサーバの状態更新処理においてエラーが発生した。

@ 1 : 処理対象種別

REPGRP : レプリケーショングループ ID

MAP : MAPID

BRIGDE : ブリッジサーバ ID

@ 2 : ID

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC961

E

[英文] Failed to acquire In-Memory Server status. TYPE=@1 ID=@2 return=@3 code=@4

[和文] インメモリサーバの状態照会処理においてエラーが発生しました。TYPE=@1 ID=@2 return=@3 code=@4

[説明] インメモリサーバの状態照会処理においてエラーが発生した。

@ 1 : 処理対象種別

REPGRP : レプリケーショングループ ID

MAP : MAPID

BRIGDE : ブリッジサーバ ID

@ 2 : ID

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC970

E

[英文] Failed to lock for In-Memory Server table control. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ表制御ロック取得処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバ表制御処理との排他を行うロックの取得でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DI IIC971

E

[英文] Failed to unlock for In-Memory Server table control. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ表制御ロック解放処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] インメモリサーバ表制御処理との排他を行うロックの解放でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

2.17 DIIMS系

DIIMS000

I

[英文] Command started. INPUT=[@1]

[和文] コマンドを開始しました。 INPUT=[@ 1]

[説明] コマンドが開始した。
@ 1 : コマンドライン

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS001

I

[英文] Command terminated normally.

[和文] コマンドが正常終了しました。

[説明] コマンドが正常に終了した。

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS002

E

[英文] Command aborted.

[和文] コマンドが異常終了しました。

[説明] コマンドが異常終了した。

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから再実行する。

[関連]

DIIMS003

W

[英文] Command terminated with warning. TARGET=@1 DONE=@2

[和文] コマンドが警告終了しました。 TARGET=@ 1 DONE=@ 2

[説明] コマンドの一部の処理で異常が発生した。
@ 1 : 処理対象数
@ 2 : 正常終了数

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから再実行する。

[関連]

DIIMS005

W

[英文] Have no permission on this logical node.

[和文] この論理ノードでは実行できません。

[説明] コマンドが実行できる論理ノード種別ではない。

[処置] コマンドリファレンスを確認し、適切な論理ノードでコマンドを実行する。

[関連]

DIIMS006

I

[英文] Another command is running.

[和文] 他のコマンドが実行中です。

[説明] 他のコマンドが実行中のため実行できない。

[処置] 先に処理中のコマンドが終了するのを待ってから再実行する。

[関連]

DIIMS007

I

[英文] Target not found. RSCTYPE=@1 RSCINFO=@2

[和文] 処理対象が存在しません。 RSCTYPE=@ 1 RSCINFO=@ 2

[説明] コマンドに指定された処理対象は存在しない。

@ 1 : 処理対象リソース種別

LTBLNAME : 論理表名

REFTYPE : 照会種別

MAPID : MAPID

BRGID : ブリッジサーバID

@ 2 : 指定された処理対象リソース名

[処置] 処理対象リソース名を正しく入力し、再度、コマンドを実行する。

[関連]

DIIMS010

I

[英文] Inheritance file not found.

[和文] 引継ぎファイルが存在しません。

[説明] 引継ファイルが存在しない、COLD モードに切り替えて起動処理を続行する。

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS012

E

[英文] Failed to read inheritance file. FILE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 引継ぎファイルの入力処理でエラーが発生しました。 FILE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリキャッシュの起動時に、引継ぎファイルからの読み込みに失敗した。

@ 1 : 引継ぎファイル名

IMS_IMSCTRL

@ 2 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP のリターンコードから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、インメモリキャッシュを起動する。

[関連]

DIIMS013

E

[英文] Failed to write inheritance file. FILE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 引継ぎファイルの出力処理でエラーが発生しました。 FILE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリキャッシュの起動時に、引継ぎファイルへの書き込みに失敗した。

@ 1 : 引継ぎファイル名

IMS_IMSCTRL

@ 2 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP のリターンコードから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、インメモリキャッシュを起動する。

[関連]

DIIMS016

E

[英文] Invalid SG revision. PRG_REV=@1 SG_REV=@2 code=@3

[和文] 環境定義情報のリビジョンが対応していないリビジョンです。 PRG_REV=@ 1 SG_REV=@ 2 code=@ 3

[説明] 動作中のインメモリキャッシュより、新しいリビジョンのインメモリキャッシュが対応する環境定義であるため、環境定義を読み込むことができない。

@ 1 : 読み可能な環境定義のリビジョンの最大値

@ 2 : 環境定義オブジェクトファイルのリビジョン

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 正しいリビジョンの環境定義オブジェクトファイルを再作成してから、インメモリキャッシュを起動する。

[関連]

DIIMS017

E

[英文] Invalid inheritance file revision. PRG_REV=@1 FILE_REV=@2 code=@3

[和文] 引継ぎファイルのリビジョンが対応していないリビジョンです。 PRG_REV=@ 1 FILE_REV=@ 2 code=@ 3

[説明] 動作中のインメモリキャッシュより、新しいリビジョンのインメモリキャッシュが対応する引継ぎファイルであるため、引継ぎファイルを読み込むことができない。

@ 1 : 読み可能な引継ぎファイルのリビジョンの最大値

@ 2 : 引継ぎファイルのリビジョン

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS018

E

[英文] Failed to open SG object file. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトファイルのオープン処理でエラーが発生しました。 SECNAME=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリキャッシュの起動時に、環境定義オブジェクトファイルのオープンに失敗し、環境定義の内容を取得できなかった。

@ 1 : 環境定義のセクション名

IMTABLECONF

@ 2 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP のリターンコードから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、インメモリキャッシュを起動する。

[関連]

DIIMS019

E

[英文] Failed to read SG object file. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトファイルの読み込み処理でエラーが発生しました。 SECNAME=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリキャッシュの起動時に、環境定義オブジェクトファイルからの読み込みに失敗し、環境定義の内容を取得できなかった。

@ 1 : 環境定義のセクション名

IMTABLECONF

@ 2 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP のリターンコードから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、インメモリキャッシュを起動する。

[関連]

DIIMS020

E

[英文] Failed to close SG object file. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトファイルのクローズ処理でエラーが発生しました。 SECNAME=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリキャッシュの起動時に、環境定義オブジェクトファイルのクローズに失敗した。

@ 1 : 環境定義のセクション名

IMTABLECONF

@ 2 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP のリターンコードから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、インメモリキャッシュを起動する。

[関連]

DIIMS021

E

[英文] Invalid record in SG object file. SECNAME=@1 ERRINFO=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトファイルに不正なレコードが含まれています。 SECNAME=@ 1 ERRINFO=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリキャッシュの起動時に、環境定義オブジェクトファイルの形式が不正なため、環境定義の内容を取得できなかった。

@ 1 : 環境定義のセクション名

IMTABLECONF

@ 2 : エラー情報

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 正しい環境定義オブジェクトファイルを作成してから、インメモリキャッシュを起動する。

[関連]

DIIMS022

E

- [英文]

Mismatched SG definition between DIOSA and KVS. KVS=@1 TABLE=@2 KVS_TABLE=@3 ERRTYPE=[@4] ERRINF01=@5 ERRINF02=@6 code=@7
- [和文]

環境定義と KVS の定義情報が不一致です。 KVS=@ 1 TABLE=@ 2 KVS_TABLE=@ 3 ERRTYPE=[@ 4] ERRINF01=@ 5 ERRINF02=@ 6 code=@ 7
- [説明]

インメモリキャッシュの環境定義の内容と KVS の定義内容に矛盾がある。

@ 1 : KVS の種類

TAM

@ 2 : 論理表名

@ 3 : 物理表名

@ 4 : 矛盾を検出した項目

KEYNUM :

KEYNAME :

KEYDEFNUM :

RECSIZE :

KEYOFFSET :

KEYLEN :

TXLOG :

PRIMARY_INDEX_DUPLICATE :

SEQUENCE :

DIRTY_READ :

BACKUP :

SHARE :

キーの数が不一致

キーのインデックス名が不一致

キーを構成する項目の数が不一致

レコードのサイズが不一致

キーのオフセット位置が不一致

キーの長さが不一致

更新ログの採取設定が不一致

TAM の定義 praimary_index_duplicate が yes

TAM の定義 sequence が yes

TAM の定義 dirty_read が yes

TAM の定義 buckup が no

TAM の定義 share が no

@ 5 : 矛盾を検出した項目の値

@ 6 : 矛盾を検出した項目の値

@ 7 : DIOSA 内部コード

[処置]

矛盾を検出した項目について定義内容を見直し、正しい環境定義オブジェクトファイルを作成してから、インメモリキャッシュを起動する。

[関連]
- 582

DIIMS023

E

[英文] Inconsistent definition. SECNAME=@1 ERRTYPE=[@2] ERRINFO=@3

[和文] 環境定義が不一致です。 SECNAME=@ 1 ERRTYPE=[@ 2] ERRINFO=@ 3

[説明] インメモリキャッシュの環境定義の内容に矛盾がある。

@ 1 : 環境定義のセクション名

IMTABLECONF

@ 2 : 矛盾を検出した内容

MAPID NOMATCH : 論理表の分散先となる MAP が存在しない

NO PTABLE: MAP に物理表が定義されていない

@ 3 : MAPID

[処置] 矛盾を検出した内容について定義内容を見直し、正しい環境定義オブジェクトファイルを作成してから、インメモリキャッシュを起動する。

[関連]

DIIMS024

E

[英文] Conflict with SG dynamic replacement command.

[和文] 環境定義置換コマンドと競合しました。

[説明] 環境定義置換コマンドと競合した。

[処置] 環境定義置換コマンドの終了を確認してから、再実行する。

[関連]

DIIMS025

E

[英文] Failed to wait for child process termination. PID=@1 code=@2

[和文] 子プロセスの終了待ち合わせに失敗しました。 PID=@ 1 code=@ 2

[説明] 子プロセスの終了待ち合わせに失敗した。

@ 1 : 子プロセスのプロセス ID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] PID を ps コマンドにて確認し、プロセスが存在すれば KILL する。ps コマンド確認の結果、<defunct>のマークが付いている場合、不要な資源が残った状態である。このままでの運用継続も可能であるが、資源の回収が必要であれば、インメモリキャッシュを停止して、再度インメモリキャッシュを起動する必要がある。

[関連]

DIIMS026

E

[英文] Failed to force to stop child process. PID=@1 code=@2

[和文] 子プロセスの強制停止処理が失敗しました。PID=@ 1 code=@ 2

[説明] 子プロセスの強制停止処理に失敗した。

@ 1 : 子プロセスのプロセス ID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] PID を ps コマンドにて確認し、プロセスが存在すれば KILL する。直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、本メッセージ直後の DIIIC 系エラーメッセージに出力されたサーバを起動する。

[関連]

DIIMS028

E

[英文] Input table name is invalid. TABLE=@1 ERRTYPE=[@2] code=@3

[和文] 指定された表名が正しくありません。TABLE=@ 1 ERRTYPE=[@ 2] code=@ 3

[説明] 論理表名の指定方法に誤りがある。

@ 1 : 指定された論理表名

@ 2 : 誤りを検出した内容

LENGTH: 指定された論理表名の長さに誤りがある

DUPLICATE: 論理表名が重複して指定されている

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 論理表名を正しく入力し、再度、コマンドを実行する。

[関連]

DIIMS029

E

[英文] Not permitted to control DIOSA table. TABLE=@1 code=@2

[和文] DIOSA 制御表は操作できません。TABLE=@ 1 code=@ 2

[説明] DIOSA 制御表に対して表制御コマンドが実行された。

@ 1 : 指定された論理表名

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 論理表名を正しく入力し、再度、コマンドを実行する。

[関連]

DIIMS030

E

[英文] Failed to get information of MAP. return=@1 code=@2

[和文] MAP 情報の取得に失敗しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] MAP 情報の取得に失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS031

I

[英文] Reset Access Server statistics. REPGID=@1 MAPID=@2

[和文] アクセスサーバ統計情報リセット処理が成功しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2

[説明] アクセスサーバ統計情報リセット処理が成功した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : MAPID

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS032

E

[英文] Failed to reset Access Server statistics. REPGID=@1 MAPID=@2

[和文] アクセスサーバ統計情報リセット処理が失敗しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2

[説明] アクセスサーバ統計情報リセット処理が失敗した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : MAPID

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから再実行する。

[関連]

DIIMS033

I

[英文] Reset Bridge Server statistics. ID=@1

[和文] ブリッジサーバ統計情報リセット処理が成功しました。 ID=@ 1

[説明] ブリッジサーバ統計情報リセット処理が成功した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS034

E

[英文] Failed to reset Bridge Server statistics. ID=@1

[和文] ブリッジサーバ統計情報リセット処理が失敗しました。 ID=@ 1

[説明] ブリッジサーバ統計情報リセット処理が失敗した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから再実行する。

[関連]

DIIMS035

E

[英文] Table is not initialized. TBLID=@1

[和文] テーブルが未初期化です。 TBLID=@ 1

[説明] 処理対象となるサーバのテーブルが初期化されていない。

@ 1 : 内部テーブル ID

ACSPERF : アクセスサーバ性能情報テーブル

BRGPERF : ブリッジサーバ性能情報テーブル

[処置] 処理対象となるサーバの起動状態を確認してから再実行する。

[関連]

DIIMS036

E

[英文] Failed to refer Access Server statistics. REPGID=@1 MAPID=@2

[和文] アクセスサーバ性能情報照会処理が失敗しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2

[説明] アクセスサーバ性能情報照会処理に失敗した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : MAPID

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから再実行する。

[関連]

DIIMS037

E

[英文] Failed to refer Bridge Server statistics. ID=@1

[和文] ブリッジサーバ性能情報照会処理が失敗しました。 ID=@ 1

[説明] ブリッジサーバ性能情報照会処理が失敗した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから再実行する。

[関連]

DIIMS038

E

[英文] Port number missing.

[和文] DIOSAMAP にインメモリサーバ用のポート番号が定義されていません。

[説明] DIOSAMAP にインメモリサーバ用のポート番号が定義されていない。

[処置] DIOSAMAP の定義内容を見直し、正しい環境定義オブジェクトファイルを作成してから、インメモリキャッシュを起動する。

[関連]

DIIMS039

I

[英文] Succeeded to open/close table. REPGID=@1 MAPID=@2

[和文] 表オープン／クローズ処理が成功しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2

[説明] 表オープン／クローズ処理が成功した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : MAPID

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS040

E

[英文] Failed to open/close table. REPGID=@1 MAPID=@2

[和文] 表オープン／クローズ処理が失敗しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2

[説明] 表オープン／クローズ処理が失敗した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : MAPID

(特定の MAP ではなく、コマンド全体に関わるエラーの場合は、0 が表示される)

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから再実行する。

[関連]

DIIMS041

W

[英文] Failed to open/close some table. REPGID=@1 MAPID=@2 TARGET=@3 DONE=@4

[和文] 表オープン／クローズ処理が一部失敗しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2 TARGET=@ 3 DONE=@ 4

[説明] 表オープン／クローズ処理が一部失敗した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : MAPID

@ 3 : 処理対象数

@ 4 : 正常終了数

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから再実行する。

[関連]

DIIMS042

E

[英文] Not fulfilled the conditions to change SG definition. SECNAME=@1 ERRTYPE=[@2] ERRINFO=@3

[和文] 環境定義を変更できません。 SECNAME=@ 1 ERRTYPE=[@ 2] ERRINFO=@ 3

[説明] 環境定義の変更を受け付けることができない。

- @ 1 : 環境定義のセクション名
IMTABLECONF
- @ 2 : エラー種別
 - PTABLE OPEN 物理表がオープンされている
 - LTABLE NAME CHANGE 論理表 ID と論理表名の対応が変更された
 - LTABLE DUPLICATE 論理表名が重複している
 - PTABLE TOO MANY 物理表が諸元を超えている
 - PTABLE DUPLICATE 物理表名が重複している
- @ 3 : エラー情報

[処置] エラー種別により原因を調査し、失敗原因を取り除いてから再実行する。

[関連]

DIIMS043

I

[英文] Create new SG table.

[和文] 環境定義を動的置換するテーブルを作成しました。

[説明] 新しい環境定義の内容でテーブルを作成することができた。

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS100

I

[英文] Receive a control message. REPGID=@1 REQ=@2

[和文] 制御要求を受け付けました。 REPGID=@ 1 REQ=@ 2

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバに対する制御要求を受け付けた。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : 制御要求の種別

THREAD_START : アクセススレッド(MAP に対応) 起動要求

THREAD_STOP : アクセススレッド(MAP に対応) 停止要求

SERVER_STOP : アクセスサーバ停止要求

PROMOTE : マスタ切替(昇格) 要求

OPEN : 表オープン要求

CLOSE : 表クローズ要求

PERFRESET : 統計情報リセット要求

ALLOWUPDATE : 更新可否変更要求

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS101

I

[英文] Access Server started. REPGID=@1 MODE=@2

[和文] アクセスサーバが起動しました。 REPGID=@ 1 MODE=@ 2

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバが正常に起動した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : アクセスサーバの種別

MASTER : マスタ

SLAVE : スレーブ

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS102

I

[英文] Access Thread started. REPGID=@1 MAPID=@2

[和文] アクセススレッドが起動しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 1

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバにおけるアクセススレッドが正常に起動した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : アクセススレッドが扱う MAPID

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS103

I

[英文] Access Thread stopped. REPGID=@1 MAPID=@2

[和文] アクセススレッドが停止します。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバにおけるアクセススレッドが停止処理を開始した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : アクセススレッドが扱う MAPID

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS104

I

[英文] Access Server stopped. REPGID=@1 MODE=@2

[和文] アクセスサーバが停止します。 REPGID=@ 1 MODE=@ 2

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバが停止処理を開始した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : アクセスサーバの種別

MASTER : マスタ

SLAVE : スレーブ

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS105

E

[英文] Access Server aborted. REPGID=@1

[和文] アクセスサーバを異常終了します。 REPGID=@ 1

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバが、致命的なエラーが発生したため、プロセスを終了する。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、エラー原因を取り除いてから、アクセスサーバを起動する。

[関連]

DIIMS106

E

[英文] Failed to start Access Server. REPGID=@1 MODE=@2

[和文] アクセスサーバの起動に失敗しました。 REPGID=@ 1 MODE=@ 2

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバの起動処理においてエラーが発生し、起動に失敗した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : アクセスサーバの種別

MASTER : マスタ

SLAVE : スレーブ

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、再度、アクセスサーバを起動する。

[関連]

DIIMS107

E

[英文] Failed to start Access Thread. REPGID=@1 MAPID=@2

[和文] アクセススレッドの起動に失敗しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバにおけるアクセススレッドの起動処理においてエラーが発生し、起動に失敗した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : アクセススレッドが扱う MAPID

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、再度、アクセスサーバを起動する。

[関連]

DIIMS108

E

[英文] Failed to stop Access Thread. REPGID=@1 MAPID=@2

[和文] アクセススレッドの停止でエラーが発生しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバにおけるアクセススレッドの停止処理においてエラーが発生した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : アクセススレッドが扱う MAPID

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS109

E

[英文] Failed to stop Access Server. REPGID=@1

[和文] アクセスサーバの停止でエラーが発生しました。 REPGID=@ 1

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバの停止処理においてエラーが発生した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS110

E

[英文] Failed in transaction initialization at Control Thread. REPGID=@1 code=@2

[和文] 制御スレッドトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 REPGID=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバにおける制御スレッドのトランザクション初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、再度、アクセスサーバを起動する。

[関連]

DIIMS111

E

[英文] Failed in transaction termination at Control Thread. REPGID=@1 code=@2

[和文] 制御スレッドトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 REPGID=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバにおける制御スレッドのトランザクション終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、再度、アクセスサーバを起動する。

DIIMS112

E

[英文] Failed in transaction initialization at Access Thread. REPGID=@1 MAPID=@2 code=@3

[和文] アクセススレッドトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバにおけるアクセススレッドのトランザクション初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : アクセススレッドが扱う MAPID

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、再度、アクセスサーバを起動する。

[関連]

DIIMS113

E

[英文] Failed in transaction termination at Access Thread. REPGID=@1 MAPID=@2 code=@3

[和文] アクセススレッドトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバにおけるアクセススレッドのトランザクション終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : アクセススレッドが扱う MAPID

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、再度、アクセスサーバを起動する。

[関連]

DIIMS114

I

[英文] Table opened. REPGID=@1 MAPID=@2 TABLE=@3

[和文] 表をオープンしました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2 TABLE=@ 3

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバにおける表のオープン処理が行われた。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : MAPID

@ 3 : 処理対象の論理表名

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS115

I

[英文] Table closed. REPGID=@1 MAPID=@2 TABLE=@3

[和文] 表をクローズしました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2 TABLE=@ 3

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバにおける表のクローズ処理が行われた。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : MAPID

@ 3 : 処理対象の論理表名

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS117

E

[英文] Table access error. REPGID=@1 MAPID=@2 USER_LNODEID=@3 USERID=@4 ACSTYPE=@5 TABLE=@6 code=@7

[和文] アクセス処理でエラーが発生しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2 USER_LNODEID=@ 3 USERID=@ 4
ACSTYPE=@ 5 TABLE=@ 6 code=@ 7

[説明] アクセス処理においてエラーが発生した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : MAPID

@ 3 : アクセス要求を行った利用者のノード ID

@ 4 : アクセス要求を行った利用者 ID (プロセス ID とスレッド ID)

@ 5 : アクセス要求種別

READ1_NOLOCK : キー指定レコード取得 (排他なし)

READ1_LOCK : キー指定レコード取得 (排他あり)

READ : 複数レコード取得

WRITE : レコード追加

REWRITE : レコード更新

DELETE : レコード削除

KEYDELETE : キー指定レコード削除

PRETRUNCATE : 全レコード削除(予約)

TRUNCATE : 全レコード削除

COMMIT : コミット

ROLLBACK : ロールバック

KEYREAD1 : 内部用レコード取得

@ 6 : アクセス対象の論理表名

@ 7 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、アクセス処理を再開する。

[関連]

DIIMS118

W

[英文] Number of client connections exceeded a limit. REPGID=@1 code=@2

[和文] クライアント接続要求数が上限を超えました。 REPGID=@ 1 code=@ 2

[説明] 同時に、一つのアクセスサーバに接続できる利用者スレッド数の上限に達した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 他の利用者スレッドが切断(IM サーバクローズを実行)してから、改めてアクセス処理を開始する。

[関連]

DIIMS119

E

[英文] Client connection failed. REPGID=@1 MAPID=@2 code=@3

[和文] クライアント接続処理でエラーが発生しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2 code=@ 3

[説明] 利用者スレッドからの接続処理(IM サーバオープンを実行)でエラーが発生し、接続に失敗した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : MAPID

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、アクセス処理を再開する。

直前にエラーメッセージが出力されていない場合、タイムアウト事象の発生が考えられるため、システム全体が高負荷でなかったか等を確認し、原因事象を取り除く。

[関連]

DIIMS120

E

[英文] Failed to disconnect a client. REPGID=@1 MAPID=@2 code=@3

[和文] クライアント切断処理でエラーが発生しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2 code=@ 3

[説明] 利用者スレッドからの切断処理(IM サーバクローズを実行)でエラーが発生した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : MAPID

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、再度、切断処理を行う。

なお、利用者側のプロセスが終了していれば、切断処理は完了しているため、改めて実行する必要はない。

[関連]

DIIMS121

W

[英文] Unable to accept a new request. Busy processing another request. REPGID=@1 code=@2

[和文] 同時実行できない処理を実行中のため要求を受け付けられません。 REPGID=@ 1 code=@ 2

[説明] 同一の利用者スレッドからの接続(切断)処理中に、切断(接続)処理は受け付けられない。

@ 1 : アクセスサーバID(レプリケーショングループID)

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 接続(切断)処理を完了してから、改めて切断(接続)要求を行う。

[関連]

DIIMS122

E

[英文] Failed to dump analysis data. REPGID=@1 MAPID=@2 code=@3

[和文] ダンプ出力処理でエラーが発生しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2 code=@ 3

[説明] ダンプ出力処理でエラーが発生した。

@ 1 : アクセスサーバID(レプリケーショングループID)

@ 2 : MAPID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、再度、要求処理を行う。

[関連]

DIIMS123

E

[英文] MAP is inactive. REPGID=@1 MAPID=@2 code=@3

[和文] 指定されたMAPは利用できない状態です。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2 code=@ 3

[説明] アクセス要求が行われたMAPに対応するアクセススレッドが利用できない状態である。

@ 1 : アクセスサーバID(レプリケーショングループID)

@ 2 : MAPID

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 指定されたMAPに対応するアクセススレッドの起動状態を確認し、正常に起動したことを確認してから、改めてアクセス処理を行う。

[関連]

DIIMS124

E

[英文] Failed to receive message. REPGID=@1 MAPID=@2 return=@3 code=@4

[和文] 受信処理でエラーが発生しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 受信処理でエラーが発生した。

@ 1 : アクセスサーバID(レプリケーショングループID)

@ 2 : MAPID

@ 3 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、再度、要求処理を行う。

[関連]

DIIMS125

E

[英文] Failed to process table control request. REPGID=@1 MAPID=@2 code=@3

[和文] 表オープン/クローズ処理でエラーが発生しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバにおける表のオープン/クローズ処理において、エラーが発生した。

@ 1 : アクセスサーバID(レプリケーショングループID)

@ 2 : MAPID

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、再度、表オープン/クローズ要求を行う。

[関連]

DIIMS126

W

[英文] Failed to open/close some table. REPGID=@1 MAPID=@2 TARGET=@3 DONE=@4

[和文] 表オープン/クローズ処理が一部失敗しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2 TARGET=@ 3 DONE=@ 4

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバにおける表のオープン/クローズ処理において、一部の論理表の処理でエラーが発生した。

@ 1 : アクセスサーバID(レプリケーショングループID)

@ 2 : MAPID

@ 3 : 処理対象数

@ 4 : 正常終了数

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、再度、エラーの発生した論理表に対して表オープン/クローズ要求を行う。

[関連]

DIIMS127

I

[英文] Succeeded to process table control request. REPGID=@1 MAPID=@2

[和文] 表オープン／クローズ処理を行いました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバにおける表のオープン／クローズ処理を行った。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : MAPID

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS128

E

[英文] Conflict with update transaction. REPGID=@1 MAPID=@1 TABLE=@2

[和文] 更新中トランザクションが存在しています。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2 TABLE=@ 3

[説明] 更新中のトランザクションが存在するため、表のクローズ処理を行うことができない。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : MAPID

@ 3 : 処理対象の論理表名

[処置] 処理対象の論理表に対するアクセス要求が行われないことを確認し、再度、表クローズ要求を行う。

[関連]

DIIMS129

E

[英文] Failed to collect statistics data. REPGID=@1 MAPID=@2 code=@3

[和文] アクセスサーバ統計情報収集処理でエラーが発生しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバにおける統計情報収集処理でエラーが発生した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : MAPID

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから再実行する。

[関連]

DIIMS130

E

[英文] Failed to reset statistics data. REPGID=@1 MAPID=@2 code=@3

[和文] アクセスサーバ統計情報リセット処理でエラーが発生しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバにおける統計情報リセット処理でエラーが発生した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : MAPID

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから再実行する。

[関連]

DIIMS131

E

[英文] Deadlock detected. REPGID=@1 MAPID=@2 USER_LNODEID=@3 USER=@4 ACSTYPE=@5 LOCK_LNODEID=@6
LOCKID=@7 TABLE=@8 KEY=0x@9

[和文] アクセス処理でデッドロックが発生しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2 USER_LNODEID=@ 3 USER=@ 4
ACSTYPE=@ 5 LOCK_LNODEID=@ 6 LOCKID=@ 7 TABLE=@ 8 KEY=0x@ 9

[説明] アクセス要求処理でデッドロックを検出した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : MAPID

@ 3 : アクセス要求を行った利用者のノード ID

@ 4 : アクセス要求を行った利用者 ID (プロセス ID とスレッド ID)

@ 5 : アクセス要求種別

READ1_LOCK : キー指定レコード取得 (排他あり)

WRITE : レコード追加

KEYDELETE : キー指定レコード削除

KEYREAD1 : 内部用レコード取得

@ 6 : ロックを行っていた利用者のノード ID

@ 7 : ロックを行っていた利用者 ID(プロセス ID とスレッド ID)

@ 8 : アクセス対象の論理表名

@ 9 : アクセス対象のプライマリキー(先頭 32byte まで表示)

[処置] アクセス要求を発行するプロセス間でのアクセス手順を見直し、再度アクセス要求を行う。

[関連]

DIIMS132

I

[英文] Ready to accept update request. REPGID=@1 MAPID=@1

[和文] 更新アクセス要求受付が可能になりました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2

[説明] マスタのアクセスサーバが、更新アクセス要求を受付可能となった。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : MAPID

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS133

I

[英文] Changed the mode to master. REPGID=@1

[和文] モードをマスタに切り替えました。 REPGID=@ 1

[説明] マスタ切替により、アクセスサーバがマスタとして動作開始した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS134

I

[英文] Reset Access Server statistics. REPGID=@1 MAPID=@2

[和文] アクセスサーバ統計情報をリセットしました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバの統計情報をリセットした。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : MAPID

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS135

E

[英文] Failed to send fault notification to In-Memory server Information Control. return=@1 code=@2

[和文] インメモリサーバ所在管理機能への障害通知が失敗しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリサーバ所在管理機能への障害通知が失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、アクセスサーバを再起動する。

[関連]

DIIMS136

E

[英文] Failed to judge necessity for commit. return=@1 code=@2

[和文] コミット要否判定が失敗しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] KVS のコミット要否判定が失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、アクセスサーバを再起動する。

[関連]

DIIMS137

E

[英文] Failed to switch Access Server to master mode. REPGID=@1

[和文] マスタのアクセスサーバへの切替に失敗しました。 REPGID=@ 1

[説明] マスタのアクセスサーバへの切替が失敗した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、必要に応じてアクセスサーバを再起動する。

[関連]

DIIMS138

E

[英文] Access Thread aborted. REPGID=@1 MAPID=@2

[和文] アクセススレッドを異常終了します。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバにおけるアクセススレッドが異常終了した。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : アクセススレッドが扱う MAPID

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、必要に応じてアクセスサーバを再起動する。

[関連]

DIIMS139

E

[英文] Failed to replicate to enough number of slaves.

[和文] 定義されたレプリケーション数に達しませんでした。

[説明] コミット時におけるスレーブへのレプリケーション数が、環境定義 IMENV 節 COMMON 項 ALLOWCOMMIT に指定された条件を満たしていないため、コミットが失敗した。

[処置] スレーブの起動状態を確認し、スレーブが起動されていない原因を取り除いてからスレーブを起動してから、運用を継続する。

[関連]

DIIMS140

I

[英文] Same request has already been processed. MSGTYPE=@1

[和文] 同じ制御要求は既に実行済です。 MSGTYPE=@ 1

[説明] 既に実行済みの制御要求を受け付けた。

@ 1 : 制御要求名

THREAD_START : アクセススレッド(MAP に対応)起動要求

THREAD_STOP : アクセススレッド(MAP に対応)停止要求

PROMOTE : マスタ切替(昇格)要求

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS141

E

[英文] Number of locked records exceeded a limit. REPGID=@1 MAPID=@2

[和文] レコードロック数が管理可能な上限を超えました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2

[説明] レコードロック数が、トランザクション管理テーブルに格納できるレコード数(環境定義 IMENV 節 REPGROUP 項 MAP 項 TXTBLSIZE)を超えたため、更新系のアクセス要求を受け付けることができない。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : アクセススレッドが扱う MAPID

[処置] トランザクション管理テーブルに格納できるレコード数(環境定義 IMENV 節 REPGROUP 項 MAP 項 TXTBLSIZE)を大きくする。

[関連]

DIIMS142

E

[英文] Failed in returning access result. REPGID=@1 MAPID=@2 USER_LNODEID=@3 USERID=@4 ACSTYPE=@5 TABLE=@6 code=@7

[和文] アクセス応答電文の送信に失敗しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2 USER_LNODEID=@ 3 USERID=@ 4 ACSTYPE=@ 5 TABLE=@ 6 code=@ 7

[説明] アクセス応答電文の送信がエラーとなった。

@ 1 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 2 : MAPID

@ 3 : アクセス要求を行った利用者のノード ID

@ 4 : アクセス要求を行った利用者 ID (プロセス ID とスレッド ID)

@ 5 : アクセス要求種別

READ1_NOLOCK : キー指定レコード取得 (排他なし)

READ1_LOCK : キー指定レコード取得 (排他あり)

READ : 複数レコード取得

WRITE : レコード追加

REWRITE : レコード更新

DELETE : レコード削除

KEYDELETE : キー指定レコード削除

TRUNCATE : 全レコード削除

PRETRUNCATE : 全レコード削除 (予約)

COMMIT : コミット

ROLLBACK : ロールバック

KEYREAD1 : 内部用レコード取得

@ 6 : アクセス対象の論理表名

@ 7 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてからトランザクションを再実行する。

[関連]

DIIMS143

E

[英文] Failed in returning control result. FUNC=@1 code=@2

[和文] 制御応答電文の送信に失敗しました。FUNC=@ 1 code=@ 2

[説明] 制御応答アクセス応答電文の送信がエラーとなった。

@ 1 : 制御要求種別

CONNECT :	接続
DISCONNECT :	切断
THREAD_START :	スレッド起動
SERVER_STOP :	サーバ停止
THREAD_STOP :	スレッド停止
PROMOTO :	マスタ切替 (昇格)
OPEN :	表オープン
CLOSE :	表クローズ
ALLOWUPDATE :	更新可否変更
PERFREF :	統計情報照会
DUMP :	ダンプ

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてからコマンド、またはトランザクションを再実行する。

[関連]

DIIMS144

E

[英文] Failed in allocating high priority buffer. code=@1

[和文] 高優先度バッファの取得に失敗しました。code=@ 1

[説明] バッファの確保に失敗しました。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてからコマンドを再実行する。

[関連]

DIIMS145

E

[英文] Failed to change update state. REPGID=@1 MAPID=@2 code=@3

[和文] 更新可否変更処理でエラーが発生しました。REPGID=@ 1 MAPID=@ 2 code=@ 3

[説明] diimctrl -b -r REPLICATION_GROUP_ID -j on による更新可否変更要求処理が異常終了した。

@ 1 : アクセスサーバID(レプリケーショングループID)

@ 2 : アクセススレッドが扱うMAPID

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、必要に応じてアクセスサーバを再起動する。

[関連]

DIIMS146

I

[英文] Update has already been enabled. REPGID=@1 MAPID=@2

[和文] 既に更新可能状態です。REPGID=@ 1 MAPID=@ 2

[説明] マスタのアクセススレッドが既に更新可能な状態で、diimctrl -b -r REPLICATION_GROUP_ID -j on が実行された。

@ 1 : アクセスサーバID(レプリケーショングループID)

@ 2 : アクセススレッドが扱うMAPID

[処置] 処置の必要なし。

[関連] diimctrl

DIIMS200

I

[英文] Accept a control request. ID=@1 REQ=@2

[和文] 制御要求を受け付けました。ID=@ 1 REQ=@ 2

[説明] インメモリキャッシュのブリッジサーバに対する制御要求を受け付けた。

@ 1 : ブリッジサーバID

@ 2 : 制御要求の種別

SERVER_STOP : ブリッジサーバ停止要求

PERFRESET : 統計情報リセット要求

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS201

I

[英文] Bridge Server started. ID=@1

[和文] ブリッジサーバが起動しました。 ID=@ 1

[説明] インメモリキャッシュのブリッジサーバが正常に起動した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS202

I

[英文] Bridge Server stopped. ID=@1

[和文] ブリッジサーバが停止します。 ID=@ 1

[説明] インメモリキャッシュのブリッジサーバが停止処理を開始した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS203

E

[英文] Bridge Server aborted. ID=@1

[和文] ブリッジサーバを異常終了します。 ID=@ 1

[説明] インメモリキャッシュのブリッジサーバが、致命的なエラーが発生したため、プロセスを終了する。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、エラー原因を取り除いてから、ブリッジサーバを起動する。

[関連]

DIIMS204

E

[英文] Failed to start Bridge Server. ID=@1

[和文] ブリッジサーバの起動に失敗しました。 ID=@ 1

[説明] インメモリキャッシュのブリッジサーバの起動処理においてエラーが発生し、起動に失敗した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、再度、ブリッジサーバを起動する。

[関連]

DIIMS205

E

[英文] Failed to stop Bridge Server. ID=@1

[和文] ブリッジサーバの停止でエラーが発生しました。 ID=@ 1

[説明] インメモリキャッシュのブリッジサーバの停止処理においてエラーが発生した。
@ 1 : ブリッジサーバ ID

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS207

I

[英文] Bridge Server path connected. ID=@1 DLNODE=@2 DID=@3

[和文] パスを接続しました。 ID=@ 1 DLNODE=@ 2 DID=@ 3

[説明] 他ノードのブリッジサーバとの通信パスを接続した。
@ 1 : ブリッジサーバ ID
@ 2 : 相手ノード ID
@ 3 : 相手ブリッジサーバ ID

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS208

I

[英文] Bridge Server path disconnected. ID=@1 DLNODE=@2 DID=@3

[和文] パスを切断しました。 ID=@ 1 DLNODE=@ 2 DID=@ 3

[説明] 他ノードのブリッジサーバとの通信パスを切断した。
@ 1 : ブリッジサーバ ID
@ 2 : 相手ノード ID
@ 3 : 相手ブリッジサーバ ID

[処置] 相手ノードの状態から原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS209

E

[英文] Failed to receive message. ID=@1 DLNODE=@2 return=@3 code=@4

[和文] 受信処理でエラーが発生しました。 ID=@ 1 DLNODE=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] インメモリキャッシュのブリッジサーバにおいて、ノード間通信処理で受信処理エラーが発生した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : 相手ノード ID

@ 3 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 相手ノードの状態と DIOSA/XTP リターンコードから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS210

E

[英文] Failed to send message. ID=@1 DLNODE=@2 DID=@3 return=@4 code=@5

[和文] 送信処理でエラーが発生しました。 ID=@ 1 DLNODE=@ 2 DID=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] インメモリキャッシュのブリッジサーバにおいて、ノード間通信処理で送信処理エラーが発生した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : 相手ノード ID

@ 3 : 相手ブリッジサーバ ID

@ 4 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 5 : DIOSA 内部コード

[処置] 相手ノードの状態と DIOSA/XTP リターンコードから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS211

W

[英文] Number of Bridge Server path connections exceeded a limit. ID=@1 code=@2

[和文] パス接続数が上限を超えました。 ID=@ 1 code=@ 2

[説明] 同時に、一つのブリッジサーバに接続できる他ノードからパス接続数の上限に達した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] ノード間での不正な接続原因を調査し、原因を取り除く。

[関連]

DIIMS212

E

[英文] Failed in transaction initialization. ID=@1 THR=@2 code=@3

[和文] トランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 ID=@ 1 THR=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリキャッシュのブリッジサーバにおけるトランザクション初期化処理においてエラーが発生した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : スレッド種別

CT :	制御スレッド
SRVBT :	サーバ側ブリッジスレッド
SRVST :	サーバ側送信スレッド
SRVRT :	サーバ側受信スレッド
CLIBT :	利用者側ブリッジスレッド
CLIST :	利用者側送信スレッド
CLIRT :	利用者側受信スレッド

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、再度、ブリッジサーバを起動する。

[関連]

DIIMS213

E

[英文] Failed in transaction termination. ID=@1 THR=@2 code=@3

[和文] トランザクション終了処理でエラーが発生しました。 ID=@ 1 THR=@ 2 code=@ 3

[説明] インメモリキャッシュのブリッジサーバにおけるトランザクション終了処理においてエラーが発生した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : スレッド種別

CT :	制御スレッド
SRVBT :	サーバ側ブリッジスレッド
SRVST :	サーバ側送信スレッド
SRVRT :	サーバ側受信スレッド
CLIBT :	利用者側ブリッジスレッド
CLIST :	利用者側送信スレッド
CLIRT :	利用者側受信スレッド

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、再度、ブリッジサーバを起動する。

[関連]

DIIMS214

W

[英文] Number of Client connections exceeded a limit. ID=@1 code=@2

[和文] クライアント接続要求数が上限を超えました。 ID=@ 1 code=@ 2

[説明] 同時に、一つのブリッジサーバに接続できる利用者スレッド数の上限に達した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 他の利用者スレッドが切断(IM サーバクローズを実行)してから、改めてアクセス処理を開始する。

[関連]

DIIMS215

E

[英文] Client connection failed. ID=@1 code=@2

[和文] クライアント接続処理でエラーが発生しました。 ID=@ 1 code=@ 2

[説明] 利用者スレッドからの接続処理(IM サーバオープンを実行)でエラーが発生し、接続に失敗した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、アクセス処理を再開する。

[関連]

DIIMS216

E

[英文] Failed to disconnect a client. ID=@1 code=@2

[和文] クライアント切断処理でエラーが発生しました。 ID=@ 1 code=@ 2

[説明] 利用者スレッドからの切断処理(IM サーバクローズを実行)でエラーが発生した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、再度、切断処理を行う。

なお、利用者側のプロセスが終了していれば、切断処理は完了しているため、改めて実行する必要はない。

[関連]

DIIMS217

I

[英文] Succeeded in connecting access server. ID=@1 REPGID=@2 MAPID=@3

[和文] アクセスサーバに接続しました。 ID=@ 1 REPGID=@ 2 MAPID=@ 3

[説明] インメモリキャッシュのブリッジサーバがアクセスサーバに接続した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 3 : MAPID

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS218

I

[英文] Succeeded in disconnecting access server. ID=@1 REPGID=@2 MAPID=@3

[和文] アクセスサーバを切断しました。 ID=@ 1 REPGID=@ 2 MAPID=@ 3

[説明] インメモリキャッシュのブリッジサーバがアクセスサーバとの接続を切断した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 3 : MAPID

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS219

E

[英文] Failed to connect Access Server. ID=@1 REPGID=@2 MAPID=@3 return=@4 code=@5

[和文] アクセスサーバの接続でエラーが発生しました。 ID=@ 1 REPGID=@ 2 MAPID=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] インメモリキャッシュのブリッジサーバがアクセスサーバとの接続に失敗した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 3 : MAPID

@ 4 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 5 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS220

E

[英文] Failed to disconnect Access Server. ID=@1 REPGID=@2 MAPID=@3 return=@4 code=@5

[和文] アクセスサーバの切断でエラーが発生しました。 ID=@ 1 REPGID=@ 2 MAPID=@ 3 return=@ 4 code=@ 5

[説明] インメモリキャッシュのブリッジサーバがアクセスサーバとの切断に失敗した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : アクセスサーバ ID(レプリケーショングループ ID)

@ 3 : MAPID

@ 4 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 5 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS221

W

[英文] Unable to accept a new request. Busy processing another request. ID=@1 code=@2

[和文] 同時実行できない処理を実行中のため要求を受け付けられません。 ID=@ 1 code=@ 2

[説明] 同一の利用者スレッドからの接続(切断)処理中に、切断(接続)処理は受け付けられない。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 接続(切断)処理が完了してから、改めて切断(接続)要求を行う。

[関連]

DIIMS222

E

[英文] Failed to dump analysis data. ID=@1 code=@2

[和文] ダンプ出力処理でエラーが発生しました。 ID=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリキャッシュのブリッジサーバにおけるダンプ出力処理でエラーが発生した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから再実行する。

[関連]

DIIMS223

E

[英文] Failed to collect statistics data. ID=@1 code=@2

[和文] ブリッジサーバ統計情報収集処理でエラーが発生しました。 ID=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリキャッシュのブリッジサーバにおける統計情報収集処理でエラーが発生した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから再実行する。

[関連]

DIIMS224

E

[英文] Failed to reset statistics data. ID=@1 code=@2

[和文] ブリッジサーバ統計情報リセット処理でエラーが発生しました。 ID=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリキャッシュのブリッジサーバにおける統計情報リセット処理でエラーが発生した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから再実行する。

[関連]

DIIMS225

I

[英文] Reset Bridge Server statistics. ID=@1

[和文] ブリッジサーバ統計情報をリセットしました。 ID=@ 1

[説明] インメモリキャッシュのブリッジサーバにおける統計情報をリセットした。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS226

E

[英文] Failed to stop thread. ID=@1 THR=@2

[和文] 子スレッドが終了しませんでした。 ID=@ 1 THR=@ 2

[説明] ブリッジサーバの停止処理にて、子スレッドの停止がタイムアウトした。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : スレッド種別

[処置] 強制的に終了処理を行うため、処置の必要なし。

[関連]

DIIMS227

E

[英文] Failed in forwarding table access request. ID=@1 MAPID=@2 USER_LNODEID=@3 USERID=@4 ACSTYPE=@5
TABLEID=@6 code=@7

[和文] アクセス要求のブリッジ処理でエラーが発生しました。 ID=@ 1 MAPID=@ 2 USER_LNODEID=@ 3
USERID=@ 4 ACSTYPE=@ 5 TABLEID=@ 6 code=@ 7

[説明] アクセス要求のブリッジ処理においてエラーが発生した。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : 要求先 MAPID

@ 3 : アクセス要求を行った利用者のノード ID

@ 4 : アクセス要求を行った利用者 ID(プロセス ID とスレッド ID)

@ 5 : アクセス要求種別

READ1_NOLOCK : キー指定レコード取得 (排他なし)

READ1_LOCK : キー指定レコード取得 (排他あり)

READ : 複数レコード取得

WRITE : レコード追加

REWRITE : レコード更新

DELETE : レコード削除

KEYDELETE : キー指定レコード削除

TRUNCATE : 全レコード削除

COMMIT : コミット

ROLLBACK : ロールバック

KEYREAD1 : 内部用レコード取得

@ 6 : 論理表 ID

@ 7 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、アクセス処理を再開する。

[関連]

DIIMS228

E

[英文] Unable to accept a new request. ID=@1 code=@2

[和文] 要求は受け付けられません。 ID=@ 1 code=@ 2

[説明] ブリッジサーバは要求を受け付けられない状態のため処理を実行することができない。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] ブリッジサーバの状態を確認し、起動状態であることを確認してから、再度、要求を行う。

[関連]

DIIMS400

E

[英文] In-Memory cache initialization command not executed.

[和文] メモリキャッシュ機能が起動されていません。

[説明] インメモリキャッシュ起動コマンドが実行されていない。

[処置] インメモリキャッシュ起動コマンドを実行してから、再度、実行する。

[関連]

DIIMS401

I

[英文] Invalid environment value. Use default value instead. ENVNAME=@1 value=@2

[和文] 環境変数の値が不正のためデフォルト値で動作します。 ENVNAME=@ 1 value=@ 2

[説明] 環境変数の値が不正なためデフォルト値の設定で動作する。

@ 1 : 環境変数名

@ 2 : 指定された環境変数の値

[処置] 環境変数を正しく設定し、再度、実行する。

[関連]

DIIMS402

E

[英文] Failed to initialize table. TBLID=@1 return=@2 code=@3

[和文] テーブルの初期化に失敗しました。 TBLID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 管理テーブルの初期化に失敗した。

@ 1 : 初期化に失敗した内部テーブル名

@ 2 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS403

E

[英文] MAP has not been started yet. MAPID=@1 code=@2

[和文] MAP が起動されていません。 MAPID=@ 1 code=@ 2

[説明] アクセスサーバの該当 MAP 機能が起動状態ではないため、要求を受け付けることができない。

@ 1 : MAPID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] MAP の状態を確認し、起動状態であることを確認してから、再度、要求を行う。

[関連]

DIIMS404

E

[英文] Failed in joining threads.

[和文] スレッド停止確認処理がタイムアウトしました。

[説明] 各スレッドの停止処理の待ち合わせで、タイムアウトが発生した。

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS405

E

[英文] Bridge Server has not been started yet. ID=@1 code=@2

[和文] ブリッジサーバが起動されていません。 ID=@ 1 code=@ 2

[説明] ブリッジサーバが起動状態ではないため、要求を受け付けることができない。

@ 1 : ブリッジサーバ ID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] ブリッジサーバの状態を確認し、起動状態であることを確認してから、再度、要求を行う。

[関連]

DIIMS450

E

[英文] Failed to allocate SMQ. return=@1 code=@2

[和文] SMQ の確保でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SMQ のオープン処理でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP のリターンコードから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、エラーが発生したアクセスサーバまたは、ブリッジサーバを再起動させる。

[関連]

DIIMS451

E

[英文] Failed to delete SMQ. return=@1 code=@2

[和文] SMQ の削除でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SMQ のクローズ処理でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP のリターンコードから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、エラーが発生したアクセスサーバまたは、ブリッジサーバを再起動させる。

[関連]

DIIMS452

E

[英文] Failed to connect SMQ. SMQID=@1 return=@2 code=@3

[和文] SMQ の接続でエラーが発生しました。 SMQID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] SMQ の接続処理でエラーが発生した。

@ 1 : SMQID

@ 2 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP のリターンコードから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS453

E

[英文] Failed to disconnect SMQ. SMQID=@1 return=@2 code=@3

[和文] SMQ の切断でエラーが発生しました。 SMQID=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] SMQ の切断処理でエラーが発生した。

@ 1 : SMQID

@ 2 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP のリターンコードから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS454

E

[英文] SMQ buffer overflow. SMQID=@1 REQSIZE=@2

[和文] SMQ バッファがオーバーフローしました。 SMQID=@ 1 REQSIZE=@ 2

[説明] SMQ のバッファ確保処理にて、バッファのオーバーフローが発生した。

@ 1 : SMQID

@ 2 : 確保しようとした領域のサイズ

[処置] 出力元のプロセスに応じて環境定義を見直す。

- diimacssrv の場合は IMENV 節 MAP 項 IMQUEBUFSIZE

- diimbrgsrv の場合は IMENV 節 BRIDGE 項 IMQUEBUFSIZE

サイズ計算式は「メモリキャッシュ利用の手引き」の「4.1.3 IMS キューバッファサイズ(IMQUEBUFSIZE)の決定」を参照。

[関連]

DIIMS455

E

[英文] Message queue overflow. SMQID=@1 PID=@2

[和文] メッセージキューがオーバーフローしました。 SMQID=@ 1 PID=@ 2

[説明] SMQ で使用しているメッセージキューがオーバーフローしたため、利用者スレッドへ結果を返却することができなかった。利用者スレッドにおいてタイムアウトを検出し、アクセス要求は全てロールバックされる。

@ 1 : SMQID

@ 2 : SMQ をオープンしているプロセスの PID

[処置] 利用者スレッドにおいて、一旦、クライアント切断(IM サーバクローズを実行)後に、クライアント接続(IM サーバオープンを実行)を行うことで、SMQ の再作成を行い、その後、アクセス処理を再開する。

[関連]

DIIMS456

E

[英文] Message queue has been removed. SMQID=@1

[和文] メッセージキューが削除されました。 SMQID=@ 1

[説明] 不正に SMQ で使用しているメッセージキューが削除された。

@ 1 : SMQID

[処置] エラーを検出したアクセスサーバまたは、ブリッジサーバを再起動することで、SMQ の再作成を行う。

[関連]

DIIMS457

E

[英文] Failed to initialize SMQ function. IPCKEY=0x@1 return=@2 code=@3

[和文] SMQ 機能の初期化処理に失敗しました。 IPCKEY=0x@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] SMQ 機能の初期化処理に失敗した。

@ 1 : SMQ 管理テーブルの IPCKEY

@ 2 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP のリターンコードから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS458

E

[英文] Failed to terminate SMQ function. return=@1 code=@2

[和文] SMQ 機能の終了処理に失敗しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SMQ 機能の終了処理に失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP のリターンコードから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS459

E

[英文] Failed to create SMQ management table. return=@1 code=@2

[和文] SMQ 管理テーブル作成処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリキャッシュの起動時に、SMQ 管理テーブルの作成に失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP のリターンコードから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、インメモリキャッシュを起動する。

[関連]

DIIMS460

E

[英文] Failed to delete SMQ management table. return=@1 code=@2

[和文] SMQ 管理テーブル削除処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリキャッシュの停止時に、SMQ 管理テーブルの削除に失敗した。但し、インメモリキャッシュの停止処理は続行される。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP のリターンコードから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS461

E

[英文] Failed to send SMQ message. return=@1 code=@2

[和文] SMQ 送信処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] インメモリキャッシュのアクセスサーバやブリッジサーバから、アクセス要求の送信や、アクセス結果を返却することができなかった。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP のリターンコードから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS500

E

[英文] Failed in process initialization of KVS. KVS=@1 RETINFO=@2 code=@3

[和文] KVS のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 KVS=@ 1 RETINFO=@ 2 code=@ 3

[説明] KVS のプロセス初期化処理でエラーが発生した。

@ 1 : KVS の種類

TAM

@ 2 : KVS の API からのリターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] KVS の API からのリターンコードから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS501

E

[英文] Failed in thread initialization of KVS. KVS=@1 RETINFO=@2 code=@3

[和文] KVS のスレッド初期化処理でエラーが発生しました。 KVS=@ 1 RETINFO=@ 2 code=@ 3

[説明] KVS のスレッド初期化処理でエラーが発生した。

@ 1 : KVS の種類

TAM

@ 2 : KVS の API からのリターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] KVS の API からのリターンコードから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS503

E

[英文] Failed in process termination of KVS. KVS=@1 RETINFO=@2 code=@3

[和文] KVS のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 KVS=@ 1 RETINFO=@ 2 code=@ 3

[説明] KVS のプロセス終了処理でエラーが発生した。

@ 1 : KVS の種類

TAM

@ 2 : KVS の API からのリターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] KVS の API からのリターンコードから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS504

E

[英文] KVS control function error. KVS=@1 FUNC=@2 RETINFO=@3 DSTATUS=@4 code=@5

[和文] KVS の制御処理でエラーが発生しました。 KVS=@ 1 FUNC=@ 2 RETINFO=@ 3 DSTATUS=@ 4 code=@ 5

[説明] 論理表へアクセスするための制御処理でエラーが発生した。

@ 1 : KVS の種類

TAM

@ 2 : エラーとなった KVS の API

@ 3 : KVS の API からのリターンコード

@ 4 : KVS の API からの詳細コード

@ 5 : DIOSA 内部コード

[処置] KVS の API からのリターンコード、および詳細コードから原因を調査し、失敗原因を取り除いてからアクセス処理を再開する。

[関連]

DIIMS505

E

- [英文]

KVS access function error. KVS=@1 FUNC=@2 KVS_TABLE=@3 RETINFO=@4 DSTATUS=@5 code=@6
- [和文]

KVS のアクセス処理でエラーが発生しました。 KVS=@ 1 FUNC=@ 2 KVS_TABLE=@ 3 RETINFO=@ 4 DSTATUS=@ 5 code=@ 6
- [説明]

物理表へのアクセス処理でエラーが発生した。
@ 1 : KVS の種類
TAM
@ 2 : エラーとなった KVS の API
@ 3 : アクセス対象の物理表名
@ 4 : KVS の API からのリターンコード
@ 5 : KVS の API からの詳細コード
@ 6 : DIOSA 内部コード
- [処置]

KVS の API からのリターンコード、および詳細コードから原因を調査し、失敗原因を取り除いてからアクセス処理を再開する。
- [関連]

DIIMS506

E

- [英文]

Failed to get KVS definition. KVS=@1 KVS_TABLE=@2 RETINFO=@3 code=@4
- [和文]

KVS の定義情報取得処理でエラーが発生しました。 KVS=@ 1 KVS_TABLE=@ 2 RETINFO=@ 3 code=@ 4
- [説明]

KVS に関する定義情報の取得処理でエラーが発生した。
@ 1 : KVS の種類
TAM
@ 2 : 定義情報を取得する対象の物理表名
@ 3 : リターンコード
@ 4 : DIOSA 内部コード
- [処置]

リターンコードから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、インメモリキャッシュを起動する。
- | リターンコード | 意味 |
|---------|--|
| -3 | 指定パラメータが NULL です。 |
| -4 | KVS のコンフィグ中間ファイルのオープンに失敗しました。
指定したメモリテーブル名に対応する定義情報が存在しません。 |
| -5 | 処理を実行するためのヒープメモリが獲得できません。 |
| -6 | KVS のコンフィグ中間ファイルの読み込みに失敗しました。 |
| -10 | KVS のコンフィグ中間ファイルの内容が不正です。 |
| -11 | KVS のコンフィグ中間ファイルのバージョンが不正です。 |
| -13 | 内部エラーが発生しました。 |
- [関連]

DIIMS507

E

- [英文] Failed to free KVS definition area. KVS=@1 RETINFO=@2 code=@3
- [和文] KVS の定義情報格納領域解放処理でエラーが発生しました。 KVS=@ 1 RETINFO=@ 2 code=@ 3
- [説明] KVS に関する定義情報を取得した後の解放処理でエラーが発生した。
- @ 1 : KVS の種類
TAM
 - @ 2 : リターンコード
 - @ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードから原因を調査し、失敗原因を取り除いてから、インメモリキャッシュを起動する。

リターンコード	意味
-2	構造体の種別が不正です。
-3	指定パラメータが NULL です。

[関連]

DIIMS508

E

- [英文] KVS's SG modification is not reflected. KVS=@1 FUNC=@2 KVS_TABLE=@3 RETINFO=@4 DSTATUS=@5
ERRINFO1=[@6] code=@7
- [和文] KVS の SG 定義変更が反映されていません。 KVS=@ 1 FUNC=@ 2 KVS_TABLE=@ 3 RETINFO=@ 4 DSTATUS=
@ 5 ERRINFO1=[@ 6] code=@ 7
- [説明] 変更した KVS に関する定義情報が反映されていないため、エラーが発生した。
- @ 1 : KVS の種類
TAM
 - @ 2 : エラーとなった KVS の API
 - @ 3 : エラー対象の物理表名
 - @ 4 : KVS の API からのリターンコード
 - @ 5 : KVS の API からの詳細コード
 - @ 6 : エラー情報
 - NO PTABLE : 物理表が存在しない
 - KEYNAME : キー名が不正
 - RECSIZE : レコード長が不正
 - KEYLEN : キー長が不正
 - @ 7 : DIOSA 内部コード

[処置] KVS の API からのリターンコード、および詳細コードから原因を調査し、エラーとなった物理表を扱うア
クセスサーバを停止した後に、KVS に関する定義情報の反映を行いアクセスサーバを再起動する。
KVS を手動で起動していた場合は、必要な起動手順を全て手動で実施しているかを確認する。

[関連]

DIIMS509

W

[英文] KVS is processing resource purge function exclusively. KVS=@1

[和文] KVS がリソースパージ処理を実行中です。KVS=@ 1

[説明] KVS によるリソースパージ処理中に、アクセスサーバの再起動処理が行われたため、アクセスサーバの再起動が失敗した。

@ 1 : KVS の種類
TAM

[処置] KVS のリソースパージ処理が完了後に、再度、アクセスサーバを起動する。

[関連]

DIIMS700

E

[英文] Failed in process initialization of DIOSA. return=@1 code=@2

[和文] DIOSA/XTP 共通のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。return=@ 1 code=@ 2

[説明] DIOSA/XTP 共通のプロセス初期化処理が失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード
@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS701

E

[英文] Failed in process initialization of socket function. return=@1 code=@2

[和文] ソケット機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。return=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケット機能のプロセス初期化処理が失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード
@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS702

E

[英文] Failed in process initialization of alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラーム機能のプロセス初期化処理が失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS703

E

[英文] Failed in process initialization of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のプロセス初期化処理が失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS704

E

[英文] Failed in process initialization of In-Memory server Information Control. return=@1 code=@2

[和文] IMS 所在管理機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] IMS 所在管理機能のプロセス初期化処理が失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS710

E

[英文] Failed in process termination of DIOSA. return=@1 code=@2

[和文] DIOSA/XTP 共通のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DIOSA/XTP 共通のプロセス終了処理が失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS711

E

[英文] Failed in process termination of socket function. return=@1 code=@2

[和文] ソケット機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ソケット機能のプロセス終了処理が失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS712

E

[英文] Failed in process termination of alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラーム機能のプロセス終了処理が失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS713

E

[英文] Failed in process termination of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のプロセス終了処理が失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS714

E

[英文] Failed in process termination of In-Memory server Information Control. return=@1 code=@2

[和文] IMS 所在管理機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] IMS 所在管理機能のプロセス終了処理が失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS720

E

[英文] Failed in thread initialization of DIOSA. return=@1 code=@2

[和文] DIOSA/XTP 共通のスレッド初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DIOSA/XTP 共通のスレッド初期化処理が失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS721

E

[英文] Failed in thread initialization of alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能のスレッド初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラーム機能のスレッド初期化処理が失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS722

E

[英文] Failed in thread initialization of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のスレッド初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のスレッド初期化処理が失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS723

E

[英文] Failed in thread initialization of In-Memory server Information Control. return=@1 code=@2

[和文] IMS 所在管理機能のスレッド初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] IMS 所在管理機能のスレッド初期化処理が失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS730

E

[英文] Failed in thread termination of DIOA. return=@1 code=@2

[和文] DIOA/XTP 共通のスレッド終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] DIOA/XTP 共通のスレッド終了処理が失敗した。

@ 1 : DIOA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS731

E

[英文] Failed in thread termination of alarm function. return=@1 code=@2

[和文] アラーム機能のスレッド終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラーム機能のスレッド終了処理が失敗した。

@ 1 : DIOA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS732

E

[英文] Failed in thread termination of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のスレッド終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のスレッド終了処理が失敗した。

@ 1 : DIOA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS733

E

[英文] Failed in thread termination of In-Memory server Information Control. return=@1 code=@2

[和文] IMS 所在管理機能のスレッド終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] IMS 所在管理機能のスレッド終了処理が失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS740

E

[英文] Failed in transaction initialization of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のトランザクション初期化処理が失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS741

E

[英文] Failed in transaction initialization of lock function. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能のトランザクション初期化処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロック制御機能のトランザクション初期化処理が失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS750

E

[英文] Failed in transaction termination of SG dynamic replacement. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] SG 動的置換機能のトランザクション終了処理が失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS751

E

[英文] Failed in transaction termination of lock function. return=@1 code=@2

[和文] ロック制御機能のトランザクション終了処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロック制御機能のトランザクション終了処理が失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS800

E

[英文] System call failed. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] システムコールエラーが発生しました。 FUNC=@ 1 errno=@ 2 code=@ 3

[説明] 処理中にシステムコールエラーが発生した。

@ 1 : 失敗した関数名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 失敗した関数名と UNIX のエラー番号から原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS801

E

[英文] Failed to get process information. return=@1 code=@2

[和文] プロセス情報の取得に失敗しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] プロセス情報の取得に失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS810

E

[英文] Failed to lock. return=@1 code=@2

[和文] ロック処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ロック処理に失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS811

E

[英文] Failed to unlock. return=@1 code=@2

[和文] アンロック処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アンロック処理に失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS820

E

[英文] Failed to allocate memory. return=@1 code=@2

[和文] メモリ確保でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] メモリの確保に失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS821

E

[英文] Failed to free memory. return=@1 code=@2

[和文] メモリ解放でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] メモリの解放に失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS830

E

[英文] Failed to get shared memory. TBLID=@1 SEGN0=@2 return=@3 code=@4

[和文] 共有メモリの確保でエラーが発生しました。 TBLID=@ 1 SEGN0=@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 共有メモリの確保に失敗した。

@ 1 : 確保失敗した内部テーブル名

@ 2 : 確保失敗したセグメント番号

@ 3 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージ、およびユーザのアクセス権などから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS831

E

[英文] Failed to remove shared memory. TBLID=@1 SEGN0=@2 shmid=@3 errno=@4 code=@5

[和文] 共有メモリの解放でエラーが発生しました。TBLID=@ 1 SEGN0=@ 2 shmid=@ 3 errno=@ 4 code=@ 5

[説明] 共有メモリの解放に失敗した。

@ 1 : 解放失敗した内部テーブル名

@ 2 : 確保失敗したセグメント番号

@ 3 : 共有メモリの識別子

@ 4 : UNIX のエラー番号

@ 5 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージ、およびユーザのアクセス権などから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS832

E

[英文] Failed to attach shared memory. TBLID=@1 SEGN0=@2 shmid=@3 return=@4 code=@5

[和文] 共有メモリのアタッチでエラーが発生しました。 TBLID=@ 1 SEGN0=@ 2 shmid=@ 3 return=@ 4
code=@ 5

[説明] 共有メモリのアタッチに失敗した。

@ 1 : アタッチに失敗した内部テーブル名

@ 2 : アタッチに失敗したセグメント番号

@ 3 : 共有メモリの識別子

@ 4 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 5 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS833

E

[英文] Failed to detach shared memory. TBLID=@1 SEGN0=@2 shmid=@3 return=@4 code=@5

[和文] 共有メモリのデタッチでエラーが発生しました。 TBLID=@ 1 SEGN0=@ 2 shmid=@ 3 return=@ 4
code=@ 5

[説明] 共有メモリのデタッチに失敗した。

@ 1 : デタッチに失敗した内部テーブル名

@ 2 : デタッチに失敗したセグメント番号

@ 3 : 共有メモリの識別子

@ 4 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 5 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS835

I

[英文] Create a new ext-segment. TBLID=@1 SEGN0=@2

[和文] 拡張セグメントを生成しました。 TBLID=@ 1 SEGN0=@ 2

[説明] 管理テーブルのセグメント生成を行った。

@ 1 : セグメント生成を行った内部テーブル名

@ 2 : セグメントの通番

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIIMS840

E

[英文] Failed to open client socket. SOCKTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] クライアントソケットの生成でエラーが発生しました。 SOCKTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] クライアントソケットの生成に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

ACS_CONTROL : アクセスサーバ制御用ソケット

ACS_APP : アクセスサーバアクセス管理用ソケット

BRG_CONTROL : ブリッジサーバ制御用ソケット

BRG_APP : ブリッジサーバアクセス管理用ソケット

BRG_CLINODE : ブリッジサーバノード間通信用ソケット

@ 2 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS841

E

[英文] Failed to close client socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] クライアントソケットのクローズ処理でエラーが発生しました。SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] クライアントソケットのクローズに失敗した。

@ 1 : ソケット種別

ACS_CONTROL : アクセスサーバ制御用ソケット

BRG_CONTROL : ブリッジサーバ制御用ソケット

BRG_CLINODE : ブリッジサーバノード間通信用ソケット

@ 2 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS842

E

[英文] Failed to open sever socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] サーバソケットの生成でエラーが発生しました。SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] サーバソケットの生成に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

ACS_CONTROL : アクセスサーバ制御用ソケット

ACS_APP : アクセスサーバアクセス管理用ソケット

BRG_CONTROL : ブリッジサーバ制御用ソケット

BRG_APP : ブリッジサーバアクセス管理用ソケット

BRG_SRVNODE : ブリッジサーバノード間通信用ソケット

@ 2 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS843

E

[英文] Failed to close server socket. SOCKTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] サーバソケットのクローズ処理でエラーが発生しました。 SOCKTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] サーバソケットのクローズに失敗した。

- @ 1 : ソケット種別
- | | |
|---------------------|----------------------|
| ACS_CONTROL : | アクセスサーバ制御用ソケット |
| ACS_APP : | アクセスサーバアクセス管理用ソケット |
| ACS_WATCH : | アクセスサーバ監視用ソケット |
| ACS_MAP : | アクセスサーバ内部制御用ソケット |
| BRG_CONTROL : | ブリッジサーバ制御用ソケット |
| BRG_APP : | ブリッジサーバアクセス管理用ソケット |
| BRG_WATCH : | ブリッジサーバ監視用ソケット |
| BRG_SRVNODE : | ブリッジサーバノード間通信用ソケット |
| BRG_SRVNODE_WATCH : | ブリッジサーバノード間通信監視用ソケット |
| BRG_CT_SRVBT : | ブリッジサーバ内部制御用ソケット |
| BRG_CT_CLIBT : | ブリッジサーバ内部制御用ソケット |
| BRG_SRVBT_RT : | ブリッジサーバ内部制御用ソケット |
| BRG_SRVBT_RT : | ブリッジサーバ内部制御用ソケット |
- @ 2 : DIOSA/XTP リターンコード
- @ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS844

E

[英文] Failed to send message. SOCKETTYPE=@1 MSG=0x@2 return=@3 code=@4

[和文] 電文送信でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 MSG=0x@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 電文の送信に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

ACS_CONTROL : アクセスサーバ制御用ソケット

ACS_APP : アクセスサーバアクセス管理用ソケット

ACS_MAP : アクセスサーバ内部制御用ソケット

BRG_CONTROL : ブリッジサーバ制御用ソケット

BRG_APP : ブリッジサーバアクセス管理用ソケット

BRG_SRVNODE : ブリッジサーバノード間通信用ソケット

BRG_CT_SRVBT : ブリッジサーバ内部制御用ソケット

BRG_CT_CLIBT : ブリッジサーバ内部制御用ソケット

BRG_SRVBT_RT : ブリッジサーバ内部制御用ソケット

BRG_CLIBT_RT : ブリッジサーバ内部制御用ソケット

@ 2 : 電文種別

@ 3 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。ソケット種別が "ACS_APP", "BRG_APP", "ACS_CONTROL", "BRG_CONTROL" で、直前に出力された DISKT001 のエラー内容が send 関数での errno=EPIPE である場合は、アクセスサーバまたはブリッジサーバが高負荷などの理由で処理が遅延し、既に終了した利用者プロセスまたはコマンドに対して応答を返却したことを表している。この場合、以降のサーバ処理は正常に継続可能であるため、サーバに対する処置は不要である。

[関連] DISKT001

DIIMS845

E

[英文] Failed to receive message. SOCKETTYPE=@1 MSG=0x@2 return=@3 code=@4

[和文] 電文受信でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 MSG=0x@ 2 return=@ 3 code=@ 4

[説明] 電文の受信に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

ACS_CONTROL : アクセスサーバ制御用ソケット

BRG_CONTROL : ブリッジサーバ制御用ソケット

@ 2 : 電文種別

@ 3 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

DIOSA/XTP リターンコードが DIOSA_ETIMEOUT(-22) の場合、タイムアウト事象の発生が考えられるため、システム全体が高負荷でなかったか等を確認し、原因事象を取り除く。

[関連]

DIIMS850

E

[英文] Failed to add watch socket. SOCKTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 監視ソケット登録処理でエラーが発生しました。 SOCKTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 監視ソケットの登録処理に失敗した。

@ 1 : ソケット種別

ACS_CONTROL : アクセスサーバ制御用ソケット

ACS_APP : アクセスサーバアクセス管理用ソケット

ACS_WATCH : アクセスサーバ監視用ソケット

ACS_MAP : アクセスサーバ内部制御用ソケット

BRG_CONTROL : ブリッジサーバ制御用ソケット

BRG_APP : ブリッジサーバアクセス管理用ソケット

BRG_WATCH : ブリッジサーバ監視用ソケット

BRG_SRVNODE : ブリッジサーバノード間通信用ソケット

BRG_SRVNODE_WATCH : ブリッジサーバノード間通信監視用ソケット

BRG_CT_SRVBT : ブリッジサーバ内部制御用ソケット

BRG_CT_CLIBT : ブリッジサーバ内部制御用ソケット

BRG_SRVBT_RT : ブリッジサーバ内部制御用ソケット

BRG_SRVBT_RT : ブリッジサーバ内部制御用ソケット

@ 2 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS851

E

[英文] Failed to delete watch socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 監視ソケット削除処理でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 監視ソケットの削除処理に失敗した。

 @ 1 : ソケット種別

 ACS_CONTROL : アクセスサーバ制御用ソケット

 ACS_APP : アクセスサーバアクセス管理用ソケット

 ACS_WATCH : アクセスサーバ監視用ソケット

 ACS_MAP : アクセスサーバ内部制御用ソケット

 BRG_CONTROL : ブリッジサーバ制御用ソケット

 BRG_APP : ブリッジサーバアクセス管理用ソケット

 BRG_WATCH : ブリッジサーバ監視用ソケット

 BRG_SRVNODE : ブリッジサーバノード間通信用ソケット

 BRG_SRVNODE_WATCH : ブリッジサーバノード間通信監視用ソケット

 BRG_CT_SRVBT : ブリッジサーバ内部制御用ソケット

 BRG_CT_CLIBT : ブリッジサーバ内部制御用ソケット

 BRG_SRVBT_RT : ブリッジサーバ内部制御用ソケット

 BRG_SRVBT_RT : ブリッジサーバ内部制御用ソケット

 @ 2 : DIOSA/XTP リターンコード

 @ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS853

E

[英文] Failed to watch socket. SOCKETTYPE=@1 return=@2 code=@3

[和文] ソケットの監視処理でエラーが発生しました。 SOCKETTYPE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] ソケットの監視処理でエラーが発生した。

 @ 1 : ソケット種別

 ACS_WATCH : アクセスサーバ監視用ソケット

 @ 2 : DIOSA/XTP リターンコード

 @ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS854

E

[英文] Socket error. EVENT=0x@1 code=@2

[和文] ソケットエラーが発生しました。 EVENT=0x@ 1 code=@ 2

[説明] ソケットでの受信処理に失敗した。

@ 1 : イベント ID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DIIMS855

E

[英文] Failed to modify timeout of watch socket. VALUE=@1 return=@2 code=@3

[和文] 監視ソケットタイムアウト変更処理でエラーが発生しました。 VALUE=@ 1 return=@ 2 code=@ 3

[説明] 監視ソケットのタイムアウト変更に失敗した。

@ 1 : タイムアウト値(ミリ秒)

@ 2 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS862

E

[英文] Failed to mask signal. return=@1 code=@2

[和文] シグナルのマスク処理でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] シグナルのマスク処理に失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS870

E

[英文] Failed to get node information. return=@1 code=@2

[和文] ノード情報の取得でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] ノード情報の取得に失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DIIMS880

E

[英文] Failed to add alarm. return=@1 code=@2

[和文] アラームの登録でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラームの登録に失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS881

E

[英文] Failed to delete alarm. return=@1 code=@2

[和文] アラームの削除でエラーが発生しました。 return=@ 1 code=@ 2

[説明] アラームの削除に失敗した。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除く。

[関連]

DIIMS900

E

[英文] Logical error. ERRTYPE=[@1] ERRINF01=@2 ERRINF02=@3 code=@4

[和文] 論理エラーが発生しました。 ERRTYPE=[@ 1] ERRINF01=@ 2 ERRINF02=@ 3 code=@ 4

[説明] 論理エラーが発生した。

@ 1 : エラー種別

@ 2 : エラー情報 1

@ 3 : エラー情報 2

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DIIMS901

E

[英文] Logical error. ERRTYPE=[@1] ERRINF01=@2 ERRINF02=@3 ERRINF03=@4 code=@5

[和文] 論理エラーが発生しました。 ERRTYPE=[@ 1] ERRINF01=@ 1 ERRINF02=@ 2 ERRINF03=@ 3 code=@ 4

[説明] 論理エラーが発生した。

@ 1 : エラー種別

@ 2 : エラー情報 1

@ 3 : エラー情報 2

@ 4 : エラー情報 3

@ 5 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DIIMS902

E

[英文] Illegal message received. MSGERR=@1 VALUE=0x@2 code=@3

[和文] 不正な電文を受信しました。 MSGERR=@ 1 VALUE=0x@ 2 code=@ 3

[説明] 不正な電文を受信した。

@ 1 : 不正な内容

@ 2 : 不正となった値

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DIIMS903

E

[英文] Illegal event received. EVENT=0x@1 code=@2

[和文] 不正なイベント事象が発生しました。 EVENT=0x@ 1 code=@ 2

[説明] 不正なイベント事象が発生した。

@ 1 : イベント ID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DIIMS904

E

[英文] Illegal message received. MSGERR=@1 VALUE=@2 code=@3

[和文] 不正な電文を受信しました。 MSGERR=@ 1 VALUE=@ 2 code=@ 3

[説明] 不正なイベント事象が発生した。

@ 1 : 不正な内容

@ 2 : 不正となった値

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DIIMS905

I

[英文] Stale message received. REPGID=@1 MAPID=@2 USER_LNODEID=@3 USERID=@4 ACSTYPE=@5 TABLE=@6 code=@7

[和文] 古い電文を受信しました。 REPGID=@ 1 MAPID=@ 2 USER_LNODEID=@ 3 USERID=@ 4 ACSTYPE=@ 5
TABLE=@ 6 code=@ 7

[説明] 古いイベント事象が発生した。

@ 1 : レプリケーショングループ ID

@ 2 : MAPID

@ 3 : アクセス要求を行った利用者のノード ID

@ 4 : アクセス要求を行った利用者 ID (プロセス ID とスレッド ID)

@ 5 : アクセス要求種別

READ1_NOLOCK : キー指定レコード取得 (排他なし)

READ1_LOCK : キー指定レコード取得 (排他あり)

READ : 複数レコード取得

WRITE : レコード追加

REWRITE : レコード更新

DELETE : レコード削除

KEYDELETE : キー指定レコード削除

TRUNCATE : 全レコード削除

COMMIT : コミット

ROLLBACK : ロールバック

KEYREAD1 : 内部用レコード取得

@ 6 : アクセス対象の論理表名

@ 7 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

2.18 DIIRM系

DIIRM001

I

[英文] SG object check for conflicts started.

[和文] SG 矛盾チェックを開始しました。

[説明] SG 矛盾チェックを開始した場合に表示される。

[処置] 処置の必要なし。

DIIRM002

I

[英文] Upgraded SG object does not exist.

[和文] 更新された SG オブジェクトは存在しません。

[説明] 以前に SG 矛盾チェックが正常終了した環境から、SG オブジェクト更新がされていない場合に表示される。

[処置] 処置の必要なし。

DIIRM003

E

[英文] SG object check for conflicts aborted. code=@1

[和文] SG 矛盾チェックが異常終了しました。code=@1

[説明] SG 矛盾チェックの処理が異常終了した場合に表示される。

@1 DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージを参照し、対処を行う。

DIIRM004

I

[英文] SG object check for conflicts terminated normally.

[和文] SG 矛盾チェックが正常終了しました。

[説明] SG 矛盾チェックの処理が正常終了した場合に表示される。

[処置] 処置の必要なし。

DIIRM005

E

[英文] SG object parameter conflicted. CHECK_NUM=@1 ERROR_NUM=@2 WARNING_NUM=@3

[和文] 矛盾チェックエラーを検出しました。CHECK_NUM=@1 ERROR_NUM=@2 WARNING_NUM=@3

[説明] SG オブジェクト間の矛盾チェックエラーを検出した。

@1 矛盾チェック項目数

@2 エラー件数

@3 警告件数

[処置] 矛盾チェックエラーの詳細情報を参照し、対処を行う。

DIIRM006

I

[英文] Reflect SG object forcibly.

[和文] 生成中の SG オブジェクトを強制反映します。

[説明] 矛盾チェックエラー検出時、生成中の SG オブジェクトを強制的に DIOSA 環境に反映する場合に表示する。

[処置] 処置の必要なし。

DIIRM007

I

[英文] SG object discarded.

[和文] 生成中の SG オブジェクトを破棄します。

[説明] 矛盾チェックエラー検出時、生成中の SG オブジェクトを破棄する場合に表示する。

[処置] 処置の必要なし。

DIIRM101

E

[英文] SG object does not contain the specified logical node. LNODENAME=@1 code=@2

[和文] 環境変数に定義した論理ノード名は SG オブジェクトに定義されていません。LNODENAME=@1 code=@2

[説明] 次の条件で、メッセージを表示する。

DIOSAMAP の SG オブジェクトを生成していない。

自論理ノード名が DIOSAMAP に定義されていない。

@1 自論理ノード名

@2 DIOSA 内部コード

[処置] DIOSAMAP の SG オブジェクトを生成する。

表示された自論理ノードを DIOSAMAP に定義する。(または、DIOSAMAP に定義されている論理ノード名を環境変数 DIOSA_LNODENAME に設定する。)

DIIRM102

E

[英文] Failed to acquire environmental variable. ENVNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] 環境変数の取得に失敗しました。ENVNAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] 環境変数の取得に失敗した場合に表示する。

@1 環境変数名

@2 DIOSA リターンコード

@3 DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

値 意味

-10 不正な値を指定している場合

-78 環境変数が定義されていない場合

DIIRM103

E

[英文] Failed to open to file. file=@1 errno=@2 code=@3

[和文] ファイルのオープンに失敗しました。file=@1 errno=@2 code=@3

[説明] ファイルのオープン処理に失敗した場合に表示する。

@1 ファイル名

@2 UNIX エラーコード

@3 DIOSA 内部コード

[処置] UNIX エラーコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIIRM104

E

[英文] Failed to read to master data. SECTION=@1 return=@2 code=@3

[和文] マスタ情報の読み込みに失敗しました。SECTION=@1 return=@2 code=@3

[説明] SG オブジェクトに定義されているマスタ情報の読み込み処理に失敗した場合に表示する。

@1 セクション名

@2 DIOSA リターンコード

@3 DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージを参照し、対処を行う。

DIIRM105

E

[英文] Failed to SG object check for conflicts. SECTION=@1 return=@2 code=@3

[和文] 矛盾チェック処理に失敗しました。SECTION=@1 return=@2 code=@3

[説明] 矛盾チェックの処理に失敗した場合に表示する。

@1 セクション名

@2 DIOSA リターンコード

@3 DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージを参照し、対処を行う。

DIIRM106

E

[英文] Failed to read to file. file=@1 code=@2

[和文] ファイルの読み込みに失敗しました。file=@1 code=@2

[説明] ファイルの読み込み処理に失敗した場合に表示する。

@1 ファイル名

@2 DIOSA 内部コード

[処置] UNIX エラーコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIIRM107

E

[英文] Failed to close to file. file=@1 errno=@2 code=@3

[和文] ファイルのクローズに失敗しました。file=@1 errno=@2 code=@3

[説明] ファイルのクローズ処理に失敗した場合に表示する。

@1 ファイル名

@2 UNIX エラーコード

@3 DIOSA 内部コード

[処置] UNIX エラーコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIIRM110

E

[英文] Failed to open to SG object. SECTION=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトのオープンに失敗しました。SECTION=@1 return=@2 code=@3

[説明] SG オブジェクトのオープンに失敗した場合に表示する。

@1 セクション名

@2 DIOSA リターンコード

@3 DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

値 意味

-14 SG オブジェクトのロックエラーが発生した

-6 メモリ確保に失敗した

-8 SG オブジェクトが見つからない

-46 SG オブジェクトが破壊されている

-9 パラメータで指定されたセクションが存在しない

DIIRM111

E

[英文] Failed to read to SG object. SECTION=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトの読み込みに失敗しました。SECTION=@1 return=@2 code=@3

[説明] SG オブジェクトの読み込みに失敗した場合に表示する。

@1 セクション名

@2 DIOSA リターンコード

@3 DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

値 意味

-46 SG オブジェクトが破壊されている

-34 SG オブジェクトがオープンされていない

-9 パラメータで指定されたセクションが存在しない

DIIRM112

E

[英文] Failed to close to SG object. SECTION=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトのクローズに失敗しました。SECTION=@1 return=@2 code=@3

[説明] SG オブジェクトのクローズに失敗した場合に表示する。

@1 セクション名

@2 DIOSA リターンコード

@3 DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

値 意味

-14 SG オブジェクトのロックエラーが発生した

-46 SG オブジェクトが破壊されている

-34 SG オブジェクトがオープンされていない

DIIRM113

E

[英文] Failed to search master data. SECTION=@1 return=@2 code=@3

[和文] マスタ情報の検索に失敗しました。SECTION=@1 return=@2 code=@3

[説明] マスタ情報の検索処理に失敗した場合に表示する。

@1 セクション名

@2 DIOSA リターンコード

@3 DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIIRM114

E

[英文] Failed to write to file. file=@1 errno=@2 code=@3

[和文] ファイルの書き込みに失敗しました。file=@1 errno=@2 code=@3

[説明] ファイルの書き込み処理に失敗した場合に表示する。

@1 ファイル名

@2 UNIX エラーコード

@3 DIOSA 内部コード

[処置] UNIX エラーコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIIRM115

E

[英文] Failed to create memory. errno=@1 code=@2

[和文] メモリの確保に失敗しました。errno=@1 code=@2

[説明] メモリの確保に失敗した場合に表示する。

@1 UNIX エラーコード

@2 DIOSA 内部コード

[処置] UNIX エラーコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIIRM116

E

[英文] Failed to access to SG object. file=@1 errno=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトのアクセスに失敗しました。file=@1 errno=@2 code=@3

[説明] SG オブジェクトのアクセスに失敗した場合に表示する。

@1 ファイル名

@2 UNIX エラーコード

@3 DIOSA 内部コード

[処置] UNIX エラーコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIIRM117

E

[英文] Failed to acquire updated date of SG object. file=@1 errno=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトの更新日時取得に失敗しました。file=@1 errno=@2 code=@3

[説明] SG オブジェクトの更新日時取得に失敗した場合に表示する。

@1 ファイル名

@2 UNIX エラーコード

@3 DIOSA 内部コード

[処置] UNIX エラーコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIIRM121

E

[英文] Failed to reflect SG object. file=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 生成中の SG オブジェクトの反映に失敗しました。file=@1 errno=@2 code=@3

[説明] 生成中の SG オブジェクトの反映処理に失敗した場合に表示する。

@1 ファイル名

@2 UNIX エラーコード

@3 DIOSA 内部コード

[処置] UNIX エラーコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIIRM122

E

[英文] Failed to discard SG object. file=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 生成中の SG オブジェクトの破棄に失敗しました。file=@1 errno=@2 code=@3

[説明] 生成中の SG オブジェクトの破棄処理に失敗した場合に表示する。

@1 ファイル名

@2 UNIX エラーコード

@3 DIOSA 内部コード

[処置] UNIX エラーコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIIRM130

E

[英文] Failed to open to catalog file. return=@1 code=@2

[和文] カタログファイルのオープンに失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] カタログファイルのオープンに失敗した場合に表示する。

@1 DIOSA リターンコード

@2 DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージを参照し、対処を行う。

DIIRM131

E

[英文] Failed to read to catalog file. return=@1 code=@2

[和文] カタログファイルの読み込みに失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] カタログファイルの読み込みに失敗した場合に表示する。

@1 DIOSA リターンコード

@2 DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージを参照し、対処を行う。

DIIRM132

E

[英文] Failed to close to catalog file. return=@1 code=@2

[和文] カタログファイルのクローズに失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] カタログファイルのクローズに失敗した場合に表示する。

@1 DIOSA リターンコード

@2 DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージを参照し、対処を行う。

2.19 DIL0C 系

DIL0C001

W

[英文] System call failed. code=@1 errno=@2

[和文] システムコールでエラーが発生しました。 code=@1 errno=@2

[説明] システムコールでエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : エラー番号

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DIL0C002

E

[英文] Failed in process initialization of Lock Control function. code=@1 errno=@2

[和文] ロック制御機能のプロセス初期化に失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] ロック制御機能のプロセス初期化に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : エラー番号

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DIL0C003

W

[英文] Failed in process termination of Lock Control function. code=@1

[和文] ロック制御機能のプロセス終了に失敗しました。 code=@1

[説明] ロック制御機能のプロセス終了に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DILOC004

W

[英文] Failed in thread initialization of Lock Control function. code=@1

[和文] ロック制御機能のスレッド初期化に失敗しました。 code=@1

[説明] ロック制御機能のスレッド初期化に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のログ出力を参照して、適切な処置を行う。

[関連]

DILOC005

E

[英文] Failed to free memory. code=@1 return=@2

[和文] メモリの解放でエラーが発生しました。 code=@1 return=@2

[説明] メモリの解放でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : 戻り値

[処置] 処理上は問題ないが、通常は発生しない事象であり状況確認を行う必要があるため、開発元に連絡する。

[関連]

DILOC006

W

[英文] Failed in transaction initialization of Lock Control function. code=@1

[和文] ロック制御機能のトランザクション初期化に失敗しました。 code=@1

[説明] ロック制御機能のトランザクション初期化に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA が未起動の場合は、DIOSA を起動する。

または、他にエラーログが出力されていないか確認する。

[関連]

DILOC007

W

[英文] Failed in transaction termination of Lock Control function. code=@1

[和文] ロック制御機能のトランザクション終了に失敗しました。 code=@1

[説明] ロック制御機能のトランザクション終了に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA が未起動の場合は、DIOSA を起動する。

または、他にエラーログが出力されていないか確認する。

[関連]

DILOC008

E

[英文] Failed in DB initialization before use of Lock Control function. code=@1

[和文] ロック制御機能のDB使用前初期化に失敗しました。 code=@1

[説明] ロック制御機能のDB使用前初期化に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前にエラーログが出力されている場合は、参照して適切な処置を行う。

[関連]

DILOC009

W

[英文] The call is improper from asynchronization signal handler section. code=@1

[和文] 非同期シグナルハンドラ区間からの呼び出しは出来ません。 code=@1

[説明] 非同期シグナルハンドラ区間では、ロック制御機能は無効である。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 非同期シグナルハンドラ区間からロック制御を呼び出さないようにする。

[関連]

DILOC012

W

[英文] DB initialization before use is not completed. code=@1

[和文] ロック制御機能のDB使用前初期化が完了していません。 code=@1

[説明] DB 使用前初期化処理の実行前に、DB を使用するロック（システム内ロック）が実行された。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] ロック実行前にDB 使用前初期化処理を実行する。

[関連]

DILOC013

W

[英文] Common initialization is not completed. code=@1

[和文] 共通の初期化処理が完了していません。 code=@1

[説明] DIOSA 共通の初期化処理を実行する前にロック制御機能が呼び出された。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] ロック制御を呼び出す前に DIOSA 共通の初期化処理を実行する。

[関連]

DILOC100

E

- [英文] Failed to create to lock control file. code=@1 file=@2 errno=@3
- [和文] ロック制御ファイルの作成に失敗しました。 code=@1 file=@2 errno=@3
- [説明] ロック制御機能が使用する制御ファイルの作成に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ロック制御ファイル名、またはディレクトリ名

@ 3 : エラー番号
- [処置] エラー番号から該当する処置を行う。

値	意味
2	ロック制御ファイルが存在しない、またはディレクトリが存在しない
13	ディレクトリまたはロック制御ファイルに書き込み許可がない

[関連]

DILOC101

W

- [英文] Failed to remove to lock control file. code=@1 file=@2 errno=@3
- [和文] ロック制御ファイルの削除に失敗しました。 code=@1 file=@2 errno=@3
- [説明] ロック制御機能が使用する制御ファイルの削除に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ロック制御ファイル名

@ 3 : エラー番号
- [処置] エラー番号から該当する処置を行う。

値	意味
2	ロック制御ファイルが存在しない、またはディレクトリが存在しない この場合、すでに削除すべきファイルが存在しないので、特に処置は必要ない
13	ディレクトリまたはロック制御ファイルに書き込み許可がない

[関連]

DILOC102

E

- [英文] Failed to open to lock control file. code=@1 file=@2 errno=@3
- [和文] ロック制御ファイルのオープンに失敗しました。 code=@1 file=@2 errno=@3
- [説明] ロック制御機能が使用する制御ファイルのオープンに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ロック制御ファイル名

@ 3 : エラー番号
- [処置] エラー番号によって以下の原因が考えられる。対処後、プロセスを再起動する。

値	意味
13	ロック制御ファイルまたはディレクトリに書き込み許可がない
23	プロセス内で同時にオープンできるファイル数が上限を超えた

[関連]

DILOC103

W

- [英文] Failed to close to lock control file. code=@1 file=@2 errno=@3
- [和文] ロック制御ファイルのクローズに失敗しました。 code=@1 file=@2 errno=@3
- [説明] ロック制御機能が使用する制御ファイルのクローズに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : エラーが発生したシステムコール名

@ 3 : エラー番号
- [処置] 処置の必要なし。
- [関連]

DILOC106

E

[英文] Failed to acquire reading and writing exclusive control. code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PREFIXID=@4
errno=@5

[和文] ロック制御の読み書き排他制御の取得に失敗しました。 code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PREFIXID=@4
errno=@5

[説明] ロック制御のスレッド間読み書き排他制御の取得に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ロック種別

1 : ユーザによるロック

0 : DIOSA によるロック

@ 3 : ロック識別 ID

@ 4 : プレフィックス ID

ファイル型ロックは-1 (固定)

@ 5 : エラー番号

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DILOC107

W

[英文] Failed to free reading and writing exclusive control. code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PREFIXID=@4
errno=@5

[和文] ロック制御の読み書き排他制御の解放に失敗しました。 code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PREFIXID=@4
errno=@5

[説明] ロック制御のスレッド間読み書き排他制御の解放に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ロック種別

1 : ユーザによるロック

0 : DIOSA によるロック

@ 3 : ロック識別 ID

@ 4 : プレフィックス ID

ファイル型ロックは-1 (固定)

@ 5 : エラー番号

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DILOC108

E

[英文] Failed to acquire exclusive control. code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PREFIXID=@4 errno=@5

[和文] ロック制御の排他制御の取得に失敗しました。 code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PREFIXID=@4 errno=@5

[説明] ロック制御のスレッド間排他制御の取得に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ロック種別

1 : ユーザによるロック

0 : DIOSA によるロック

@ 3 : ロック識別 ID

@ 4 : プレフィックス ID

ファイル型ロックは-1 (固定)

@ 5 : エラー番号

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DILOC109

W

[英文] Failed to free exclusive control. code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PREFIXID=@4 errno=@5

[和文] ロック制御の排他制御の解放に失敗しました。 code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PREFIXID=@4 errno=@5

[説明] ロック制御のスレッド間排他制御の解放に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ロック種別

1 : ユーザによるロック

0 : DIOSA によるロック

@ 3 : ロック識別 ID

@ 4 : プレフィックス ID

ファイル型ロックは-1 (固定)

@ 5 : エラー番号

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DILOC110

W

[英文] Cannot change in the lock mode. code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PREFIXID=@4

[和文] ロックモードの変更は出来ません。 code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PREFIXID=@4

[説明] 変更不可能なロックモードの変更を行おうとした。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ロック種別

1 : ユーザによるロック

0 : DIOSA によるロック

@ 3 : ロック識別 ID

@ 4 : プレフィックス ID

ファイル型ロックは-1 (固定)

@ 5 : エラー番号

[処置] 別の ID を使ってロック取得要求を行うか、使用する ID でのロックを解放してから確保する必要がある。

[関連]

DILOC111

W

[英文] Lock ID is not used. code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3

[和文] ロック ID は使用されていません。 code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3

[説明] ロックを解放しようとした ID でのロックは取得されていない。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ロック種別

1 : ユーザによるロック

0 : DIOSA によるロック

@ 3 : ロック識別 ID

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DILOC112

W

[英文] Lock ID is lock multiple number exceeded the limiting value. code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PREFIXID=@4

[和文] 指定 ID でのロック多重数が制限値を超えました。 code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PREFIXID=@4

[説明] 同一 ID での同時ロック取得要求が上限値を超えた。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ロック種別

1 : ユーザによるロック

0 : DIOSA によるロック

@ 3 : ロック識別 ID

@ 4 : プレフィックス ID

ファイル型ロックは-1 (固定)

[処置] 同一 ID でのロック制御取得の多重度を減らす必要がある。

[関連]

DILOC113

W

[英文] Lock multiple number exceeded the limiting value. code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PREFIXID=@4

[和文] デッドロックの可能性を検出しました。 code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PREFIXID=@4

[説明] ロック制御機能の利用でデッドロックの可能性を検出した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ロック種別

1 : ユーザによるロック

0 : DIOSA によるロック

@ 3 : ロック識別 ID

@ 4 : プレフィックス ID

ファイル型ロックは-1 (固定)

[処置] デッドロックの起きたロックを再実行する。

再実行してもエラーとなる場合、ロック取得要求の順番を見直す必要がある。

[関連]

DILOC115

W

[英文] The signal was received while locking. code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3

[和文] ロック中にシグナルを受信しました。 code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3

[説明] 資源待ちをしているときにシグナルを捕捉した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ロック種別

1 : ユーザによるロック

0 : DIOSA によるロック

@ 3 : ロック識別 ID

[処置] 必要に応じて再実行する。

[関連]

DILOC117

E

[英文] Failed to lock control. code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 errno=@4

[和文] ロック制御に失敗しました。 code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 errno=@4

[説明] ロック制御に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ロック種別

1 : ユーザによるロック

0 : DIOSA によるロック

@ 3 : ロック識別 ID

@ 4 : エラー番号

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DILOC118

W

[英文] An exclusive lock has already been acquired in this process. code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PREFIXID=@4

[和文] 同プロセス内で排他ロックが既に取得されています。 code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PREFIXID=@4

[説明] 排他ロックを重複して取得しようとした。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ロック種別

1 : ユーザによるロック

0 : DIOSA によるロック

@ 3 : ロック識別 ID

@ 4 : プレフィックス ID

ファイル型ロックは-1 (固定)

[処置] 必要に応じてロック取得の仕方を変更する。

[関連]

DILOC119

E

[英文] The owner is another process. code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PID=@4

[和文] 所有者が別のプロセスです。 code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PID=@4

[説明] 別のプロセスが所有しているロックを解放しようとした。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ロック種別

1 : ユーザによるロック

0 : DIOSA によるロック

@ 3 : ロック識別 ID

@ 4 : プロセス ID

[処置] PID で示されるプロセスでの解放処理を先に行う必要がある。

[関連]

DILOC200

W

[英文] The database facility is nullified. code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3

[和文] データベース機能は無効化されています。 code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3

[説明] データベースを利用しないロック制御モジュールで、データベースを利用するロック制御を実行しようとした。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ロック種別

1 : ユーザによるロック

0 : DIOSA によるロック

@ 3 : ロック識別 ID

[処置] データベースを利用するモジュールに変更するか、論理システム内ではなく論理ノード内のロック制御を行うに変更する。

[関連]

DILOC202

W

[英文] It is not connected with lock control DB. code=@1

[和文] ロック制御 DB と接続されていません。 code=@1

[説明] データベースと接続されていない。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] データベースに関する下記事項を確認する。

- ・データベースが動作しているか確認する。
- ・データベースの接続ユーザ／パスワードは正しいか確認する。

[関連]

DILOC203

E

[英文] Lock control DB Disconnected. code=@1

[和文] ロック制御 DB との予期しない切断が発生しました。 code=@1

[説明] データベースとの予期しない切断が発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] データベースが動作しているか確認する。

[関連]

DILOC205

E

[英文] Failed to acquire lock control DB. code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PREFIXID=@4 return=@5

[和文] ロック制御 DB のロック取得が失敗しました。 code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PREFIXID=@4 return=@5

[説明] データベース利用のロック取得に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ロック種別

1 : ユーザによるロック

0 : DIOSA によるロック

@ 3 : プレフィックス ID

@ 4 : 関数戻り値

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DILOC206

E

[英文] Failed to free lock control DB. code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PREFIXID=@4 return=@5

[和文] ロック制御 DB のロック解放が失敗しました。 code=@1 TYPE=@2 LOCKID=@3 PREFIXID=@4 return=@5

[説明] データベース利用のロック解放に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ロック種別

1 : ユーザによるロック

0 : DIOSA によるロック

@ 3 : プレフィックス ID

@ 4 : 関数戻り値

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DILOC208

E

[英文] SQL error. code=@1 MSG=@2

[和文] SQL エラーが発生しました。 code=@1 MSG=@2

[説明] データベースが出力するエラーメッセージ。関数で戻らないシステムのエラーが出力される。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : SQL エラーメッセージ

SQLCA によって出力される文字列が設定される。

[処置] 出力される SQL エラー番号とメッセージにより、適切な処置を行う。

[関連]

2.20 DIMDR 系

DIMDR001

E

[英文] Failed to access shared memory. IPCKEY=@1 SHMID=@2 FUNC=@3 errno=@4 code=@5

[和文] 共有メモリの取得で異常が発生しました。IPCKEY=@1 SHMID=@2 FUNC=@3 errno=@4 code=@5

[説明] 共有メモリの取得処理に失敗した。

@ 1 : 共有メモリ取得処理の対象となった IPCKEY

@ 2 : 共有メモリアタッチ対象となった共有メモリ識別子

@ 3 : 失敗した関数名

@ 4 : UNIX の errno

@ 5 : DIOSA 内部コード

[処置] 関数名、errno に従い対処する。

[関連]

DIMDR002

E

[英文] Failed to free shared memory. IPCKEY=@1 SHMID=@2 FUNC=@3 errno=@4 code=@5

[和文] 共有メモリの解放で異常が発生しました。IPCKEY=@1 SHMID=@2 FUNC=@3 errno=@4 code=@5

[説明] 共有メモリの解放処理に失敗した。

@ 1 : 共有メモリ解放処理の対象となっている IPCKEY

@ 2 : 共有メモリデタッチ処理の対象となった共有メモリ識別子

@ 3 : 失敗した関数名

@ 4 : UNIX の errno

@ 5 : DIOSA 内部コード

[処置] 関数名、errno に従い対処する。

[関連]

DIMDR004

E

[英文] Failed to detach shared memory. Not attached. ADDR=@1 code=@2

[和文] アタッチしていない共有メモリを解放しようとしてしました。ADDR=@1 code=@2

[説明] DIOSA 内のメモリ管理で不整合が発生した。

@ 1 : 対象となった共有メモリ領域のアドレス

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

プロセス終了時に発生した場合は対処の必要なし。

[関連]

DIMDR005

E

- [英文] Shared memory list is broken. code=@1
- [和文] 共有メモリの管理リスト処理で異常が発生しました。code=@1
- [説明] DIOSA 内のメモリ管理で不整合が発生した。
@ 1 : DIOSA 内部コード
- [処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。
該当プロセスを再起動する。
- [関連]

DIMDR006

E

- [英文] Failed to operate memory. FUNC=@1 errno=@2 code=@3
- [和文] メモリ操作でエラーが発生しました。FUNC=@1 errno=@2 code=@3
- [説明] メモリ操作でエラーが発生した。
@ 1 : エラーの発生したシステムコール
@ 2 : UNIX の errno
@ 3 : DIOSA 内部コード
- [処置] 以下の表に従う。
- | FUNC @1 | errno @2 | 処置 |
|---------|----------|---|
| calloc | 12 | プロセスで使用可能なメモリの上限に達した。
プロセスが使用可能なメモリの上限を見直し、
プロセスを再起動する。 |
| calloc | 22 | システムのメモリ管理領域が破壊されている。
該当プロセスを再起動する |
- [関連]

DIMDR007

E

[英文] Failed to operate socket. FUNC=@1 return=@2 code=@3

[和文] ソケット操作でエラーが発生しました。FUNC=@1 return=@2 code=@3

[説明] ソケット操作でエラーが発生した。

@ 1 : ソケット操作種別。

Connect : ソケット接続

Send : ソケット送信

Recv : ソケット受信

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前の DISKTxxx メッセージに従い対処を行う。

[関連]

DIMDR011

E

[英文] Failed to access directory defined by environment variable DIOSA_IRMROOT. DIRECTORY=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 環境変数 DIOSA_IRMROOT で指定されたディレクトリにアクセスできません。DIRECTORY=@1 errno=@2 code=@3

[説明] SG 引継ぎファイルをオープンしようとしたが、環境変数 DIOSA_IRMROOT の指定が不正なため失敗した。

@ 1 : DIOSA_IRMROOT で指定されたディレクトリ。環境変数が指定されていないときには空になる

@ 2 : UNIX の errno

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 環境変数 DIOSA_IRMROOT に設定したディレクトリを確認する。

[関連]

DIMDR012

E

[英文] Failed to open to inheritance file. file=@1 FUNC=@2 errno=@3 code=@4

[和文] SG 引継ぎファイルのオープンで異常が発生しました。file=@1 FUNC=@2 errno=@3 code=@4

[説明] SG 引継ぎファイルのオープンで異常が発生した。

@ 1 : 対象となった SG 引継ぎファイル名

@ 2 : 失敗した関数名

@ 3 : UNIX の errno

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 引継ぎファイルのファイル名、関数名、errno をもとに対処する。

[関連]

DIMDR013

E

[英文] Failed to close to inheritance file. file=@1 FUNC=@2 errno=@3 code=@4

[和文] SG 引継ぎファイルのクローズで異常が発生しました。file=@1 FUNC=@2 errno=@3 code=@4

[説明] SG 引継ぎファイルのクローズで異常が発生した。

@ 1 対象となった SG 引継ぎファイル名

@ 2 失敗した関数名

@ 3 UNIX の errno

@ 4 DIOSA 内部コード

[処置] 引継ぎファイルのファイル名、関数名、errno をもとに対処する。

[関連]

DIMDR014

E

[英文] Failed to read to inheritance file. file=@1 FUNC=@2 errno=@3 code=@4

[和文] SG 引継ぎファイルの読み込みで異常が発生しました。file=@1 FUNC=@2 errno=@3 code=@4

[説明] SG 引継ぎファイルの読み込みで異常が発生した。

@ 1 : 対象となった SG 引継ぎファイル名

@ 2 : 失敗した関数名

@ 3 : UNIX の errno

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 引継ぎファイルのファイル名、関数名、errno をもとに対処する。

[関連]

DIMDR015

E

[英文] Failed to write to inheritance file. file=@1 FUNC=@2 errno=@3 code=@4

[和文] SG 引継ぎファイルの書き込みで異常が発生しました。file=@1 FUNC=@2 errno=@3 code=@4

[説明] SG 引継ぎファイルの書き込みで異常が発生した。

@ 1 : 対象となった SG 引継ぎファイル名

@ 2 : 失敗した関数名

@ 3 : UNIX の errno

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 引継ぎファイルのファイル名、関数名、errno をもとに対処する。

[関連]

DIMDR016

E

[英文] Failed to create inheritance file directory. DIRECTORY=@1 FUNC=@2 errno=@3 code=@4

[和文] SG 引継ぎファイル保存ディレクトリの作成で異常が発生しました。DIRECTORY=@1 FUNC=@2 errno=@3 code=@4

[説明] SG 引継ぎファイル保存ディレクトリの作成で異常が発生した。

@ 1 : 作成しようとしたディレクトリパス

@ 2 : 失敗した関数名

@ 3 : UNIX の errno

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] ディレクトリ名、関数名、errno をもとに対処する。

[関連]

DIMDR017

E

[英文] Inheritance file revision is wrong. file=@1 REVISION=@2 code=@3

[和文] SG 引継ぎファイルのリビジョンが対応していないリビジョンです。file=@1 REVISION=@2 code=@3

[説明] SG 引継ぎファイルの形式が、実行している DIOSA が対応していないリビジョンとなっている。

@ 1 : 対象となった SG 引継ぎファイル名

@ 2 : 読み込み対象となった SG 引継ぎファイル構造のリビジョン

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA のバージョンを確認し、SG オブジェクトの生成、DIOSA のコールドスタートを行う。

[関連]

DIMDR018

E

[英文] Failed to write to inheritance file. file=@1 SIZE=@2 code=@3

[和文] SG 引継ぎファイルの書き込みで期待したサイズが書き込めません。file=@1 SIZE=@2 code=@3

[説明] ディスクの空き容量が足りないなどの理由で、SG 引継ぎファイルの書き込みに失敗した。

@ 1 : 対象となった SG 引継ぎファイル名

@ 2 : 書き込みサイズ

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] file の示すファイルを含む領域を確認し、コマンドを再実行する。

[関連]

DIMDR019

E

[英文] Inheritance file is broken. file=@1 code=@2

[和文] SG 引継ぎファイルが壊れています。file=@1 code=@2

[説明] SG 引継ぎファイルが破壊されている。

@ 1 : 対象となった SG 引継ぎファイル名

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA のコールドスタートを行う。

[関連]

DIMDR031

E

[英文] Failed to lock. ID=@1 FUNC=@2 errno=@3 code=@4

[和文] ロック獲得処理で異常が発生しました。ID=@1 FUNC=@2 errno=@3 code=@4

[説明] ロック獲得処理で異常が発生した。

@ 1 : ロック対象の ID

@ 2 : 失敗した関数名

@ 3 : UNIX の errno

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 該当プロセスを再起動する。

[関連]

DIMDR032

E

[英文] Failed to unlock. ID=@1 FUNC=@2 errno=@3 code=@4

[和文] ロック解放処理で異常が発生しました。ID=@1 FUNC=@2 errno=@3 code=@4

[説明] ロック解放処理で異常が発生した。

@ 1 : ロック対象の ID

@ 2 : 失敗した関数名

@ 3 : UNIX の errno

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 該当プロセスを再起動する。

[関連]

DIMDR041

E

[英文] Failed to signal function. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] シグナル処理で異常が発生しました。FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[説明] シグナル処理で異常が発生した。

@ 1 : 失敗した関数名

@ 2 : UNIX の errno

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 該当プロセスを再起動する。

[関連]

DIMDR051

E

[英文] Failed to thread function. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] スレッド処理で異常が発生しました。FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[説明] スレッド処理で異常が発生した。

@ 1 : 失敗した関数名

@ 2 : UNIX の errno

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 該当プロセスを再起動する。

[関連]

DIMDR052

E

[英文] Failed to start signal function thread. code=@1

[和文] シグナル処理スレッドの起動に失敗しました。code=@1

[説明] SG 動的変更機能用のシグナル処理スレッド起動に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 該当プロセスを再起動する。

[関連]

DIMDR053

E

[英文] Failed to create thread. code=@1

[和文] スレッドが使用できません。code=@1

[説明] 該当プロセスでスレッド機能が利用できない。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 該当プロセスをスレッドが利用可能な形で生成し、再度実行する。

[関連]

DIMDR061

E

[英文] Handler is already registered. ID=@1 code=@2

[和文] SG 変更用ハンドラが二重に登録されました。ID=@1 code=@2

[説明] DIOSA 内部処理で不整合が発生した。

@ 1 : 識別子

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DIMDR062

E

[英文] Failed to get a date. errno=@1 code=@2

[和文] 日時取得処理で異常が発生しました。errno=@1 code=@2

[説明] 日時取得処理で異常が発生した。

@ 1 : UNIX の errno

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 該当プロセスを再起動する。

[関連]

DIMDR063

E

[英文] Failed to get process information. PID=@1 UID=@2 errno=@3 code=@4

[和文] プロセス情報の取得で異常が発生しました。PID=@1 UID=@2 errno=@3 code=@4

[説明] プロセス情報の取得で異常が発生した。

@ 1 : 該当プロセスのPID

@ 2 : 該当プロセスのオーナー

@ 3 : UNIX の errno

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 該当プロセスを再起動する。

[関連]

DIMDR064

E

[英文] Reached to upper bound values of number of process. Process became not supported to dynamic change. code=@1

[和文] プロセス数の上限に達したため、動的変更の対象外となりました。code=@1

[説明] 同時起動可能なプロセス数の上限に達した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] プロセス数の見直しを行う。

[関連]

DIMDR065

E

[英文] Initialization of DIOSA is not complete. code=@1

[和文] DIOSA の初期化が正しく行われていません。code=@1

[説明] DIOSA の初期化が正しく行われていない。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA を再起動する。

[関連]

DIMDR066

E

[英文] Failed to SG change notification. code=@1

[和文] SG 変更通知で異常が発生しました。code=@1

[説明] AP プロセスへの SG 変更通知で異常が発生した。
@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処する。

[関連]

DIMDR070

I

[英文] SG change notification daemon started. UID=@1

[和文] SG 変更通知デーモンを起動しました。UID=@1

[説明] SG 変更通知デーモンが起動した。
@ 1 : 起動したデーモンのオーナー

[処置] 処置の必要なし

[関連]

DIMDR071

E

[英文] Failed to start SG change notification daemon. UID=@1 code=@2

[和文] SG 変更通知デーモンの起動に失敗しました。UID=@1 code=@2

[説明] SG 変更通知デーモンの起動に失敗した。
@ 1 : 起動失敗したデーモンのオーナー
@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] コマンド dimdrctrl により再起動する。

[関連]

DIMDR072

I

[英文] SG-change notification daemon stopped. UID=@1

[和文] SG 変更通知デーモンを停止しました。UID=@1

[説明] SG 変更通知デーモンを停止した。
@ 1 : 停止したデーモンのオーナー

[処置] 処置の必要なし

[関連]

DIMDR073

E

[英文] Failed to stop SG-change notification daemon. PID=@1 UID=@2 code=@3

[和文] SG 変更通知デーモンの停止に失敗しました。PID=@1 UID=@2 code=@3

[説明] SG 変更通知デーモンの停止に失敗した。

@ 1 : 停止失敗したデーモンの PID

@ 2 : 停止失敗したデーモンのオーナー

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 該当 PID のプロセスが存在する場合は kill コマンド等により停止する。

[関連]

DIMDR074

E

[英文] SG-change notification daemon aborted. UID=@1 code=@2

[和文] SG 変更通知デーモンが異常終了しました。UID=@1 code=@2

[説明] SG 変更通知デーモンが異常終了した。

@ 1 : 異常終了したデーモンのオーナー

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] SG 変更通知デーモンが起動していない場合は、コマンド dimdrctrl により再起動する。

[関連]

DIMDR075

E

[英文] SG-change notification daemon not started according to correct procedure. STATUS=@1 code=@2

[和文] SG 変更通知デーモンの起動が正しい手順で行われませんでした。STATUS=@1 code=@2

[説明] デーモンプロセスを直接起動するなど、SG 変更通知デーモンの起動が正しい手順で行われなかった。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA を起動したユーザ以外の場合は コマンド dimdrctrl により起動する。

[関連]

DIMDR076

E

[英文] Failed to communication with SG-change notification daemon. PID=@1 UID=@2 code=@3

[和文] SG 変更通知デーモンとの通信に失敗しました。PID=@1 UID=@2 code=@3

[説明] SG 変更コマンド等と SG 変更通知デーモンとの間の通信が失敗した。

@ 1 : デーモンの PID

@ 2 : デーモンのオーナー

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] デーモンの動作状況を確認し、停止している場合にはコマンド dimdrctrl により起動する。

動作中の場合はコマンド dimdrctrl により再起動(停止、起動)を行う。コマンド実行は UID で表示された UID のユーザで行うこと。

[関連]

DIMDR077

E

[英文] Processes of SG-change notification daemon reached upper bound value. code=@1

[和文] SG 変更通知デーモンのプロセス数上限に達しました。code=@1

[説明] 1 つの DIOSA 環境を使用する UNIX ユーザ数の上限に達した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 1 つの DIOSA 環境を使用するユーザ数を見直す。

[関連]

DIMDR078

I

[英文] SG-change notification was sent.

[和文] SG 変更通知を送信しました。

[説明] アプリケーションプロセス、DIOSA の各制御プロセスに対して SG 変更通知を送信しました。

[処置] 処置の必要なし

[関連]

DIMDR079

E

[英文] Failed to send part of SG-change notification.

[和文] 一部のユーザプロセスに対する SG 変更通知送信が失敗しました。

[説明] SG 変更通知デーモンの異常終了などが原因で一部ユーザのアプリケーションプロセスへ SG 変更通知送信が行えなかった。

[処置] 直前のメッセージを参照し、対処を行う。

[関連]

DIMDR080

E

[英文] Failed to send SG-change notification.

[和文] SG 変更通知送信が失敗しました。

[説明] 全てのユーザプロセス、DIOSA 制御プロセスへ SG 変更通知送信が行えなかった。

[処置] 直前のメッセージを参照し、対処を行う。

[関連]

DIMDR081

W

[英文] SG-change notification daemon is compulsion stop. PID=@1 UID=@2 code=@3

[和文] SG 変更通知デーモンを強制停止します。PID=@1 UID=@2 code=@3

[説明] タイムアウトなどで SG 変更通知デーモンをシグナルにより強制停止させる場合に表示される。

@ 1 : デーモンの PID

@ 2 : デーモンのオーナー

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージを参照し、対処を行う。

[関連]

DIMDR082

E

[英文] Failed to stop SG-change notification daemon. PID=@1 UID=@2 code=@3

[和文] SG 変更通知デーモンの強制停止に失敗しました。PID=@1 UID=@2 code=@3

[説明] SG 変更通知デーモンの強制停止処理がタイムアウトした。

@ 1 : デーモンのPID

@ 2 : デーモンのオーナー

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] SG 変更通知デーモンのPIDが存在している場合は、開発元に問い合わせる。

[関連]

DIMDR101

I

[英文] SG-change notification control command terminated normally.

[和文] SG 変更通知制御コマンドが正常終了しました。

[説明] SG 変更通知制御コマンドが正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMDR102

E

[英文] SG-change notification control command aborted.

[和文] SG 変更通知制御コマンドが異常終了しました。

[説明] SG 変更通知制御コマンドが異常終了しました。

[処置] 直前のメッセージを参照し、対処を行う。

[関連]

DIMDR999

E

[英文] Internal error occurred. STATUS=@1 code=@2

[和文] 内部エラーが発生しました。STATUS=@1 code=@2

[説明] DIOSA 内の処理でエラーが発生しました。

@ 1 : 識別子

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージを参照し、対処を行う。

[関連]

2.21 DIMFC 系

DIMFC000

I

[英文] Message Flow Control command terminated normally.

[和文] 流量制御機能のコマンドが正常終了しました。

[説明] コマンドが正常終了した際に出力される。

[処置] 必要なし。

DIMFC001

I

[英文] Message Flow Control command started.

[和文] 流量制御機能のコマンドを開始しました。

[説明] コマンドが正常終了した際に出力される。

[処置] 必要なし。

DIMFC002

I

[英文] Message Flow Control daemon is already running.

[和文] 流量制御機能のデーモンは起動済みです。

[説明] デーモン起動コマンド実行時に既に起動済みの場合に出力される。

[処置] 必要なし。

DIMFC005

E

[英文] Failed to release Daemon Alive Monitoring. PID=@1 return=@2 code=@3

[和文] デーモン死活監視削除処理でエラーが発生しました。PID=@1 return=@2 code=@3

[説明] デーモン死活監視のエントリ削除に失敗した。

@ 1 : プロセス ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC007

E

[英文] Failed to lock. ID=@1 return=@2 code=@3

[和文] ロック取得処理でエラーが発生しました。ID=@1 return=@2 code=@3

[説明] ロック取得関数が異常終了した。

 @ 1 : ロック識別子

 @ 2 : リターンコード

 @ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC008

E

[英文] Failed to unlock. ID=@1 return=@2 code=@3

[和文] ロック解放処理でエラーが発生しました。ID=@1 return=@2 code=@3

[説明] ロック解放関数が異常終了した。

 @ 1 : ロック識別子

 @ 2 : リターンコード

 @ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC013

E

[英文] Failed to create pipe stream. errno=@1 code=@2

[和文] パイプ作成でエラーが発生しました。errno=@1 code=@2

[説明] ハードウェア情報を取得するためのパイプ作成(pipe)が異常終了した。

 @ 1 : pipe()のエラーコード

値	意味
EMFILE	プロセスで使用しているファイルディスクリプタが多すぎる場合。デーモン再起動後のハードウェア情報取得が正常に動作する場合は、処置の必要なし。
ENFILE	オープンされているファイルの総数がシステムの制限に達した場合。デーモン再起動後のハードウェア情報取得が正常に動作する場合は、処置の必要なし。デーモン再起動後も本メッセージが出力される場合はファイル総数の上限値を変更する。

 @ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] エラーコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC014

E

- [英文] Failed to create process. errno=@1 code=@2
- [和文] プロセス生成でエラーが発生しました。errno=@1 code=@2
- [説明] プロセス生成(fork)が異常終了した。
- @ 1 : fork()のエラーコード

値	意味
EAGAIN	実行中のプロセスの総数がシステムによって決められた制限を超えた場合。デーモン再起動後のハードウェア情報取得が正常に動作する場合は、処置の必要なし。デーモン再起動後も本メッセージが出力される場合は不要なプロセスを停止する。
ENOMEM	メモリ不足により fork()が必要なカーネル構造体を割り当てることができなかった場合。メモリの空き容量を確認する。

- @ 2 : DIOSA 内部コード
- [処置] エラーコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC015

E

- [英文] Failed to open pipe stream. SHELL=@1 code=@2
- [和文] パイプオープンでエラーが発生しました。SHELL=@1 code=@2
- [説明] ハードウェア情報を取得するためのパイプオープン (popen)が異常終了した。
- @ 1 : パイプオープン時に指定したシェル名
- @ 2 : DIOSA 内部コード
- [処置] syslog 等からエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC016

E

- [英文] Failed to read pipe stream. SHELL=@1 errno=@2 code=@3
- [和文] パイプの読み込みでエラーが発生しました。SHELL=@1 errno=@2 code=@3
- [説明] ハードウェア情報を取得するためのコマンドからのパイプ読み込み (fgets) が異常終了した。
- @ 1 : パイプオープン時に指定したシェル名
- @ 2 : UNIX のエラーコード

値	意味
0	ハードウェア情報を取得するシェルで何らかの理由によりハードウェア使用率が返却されなかった場合。開発部門へ問い合わせる
4	読み取り操作がシグナル受取りのために終了した場合。デーモン再起動後のハードウェア情報取得が正常に動作する場合は、処置の必要なし。

- @ 3 : DIOSA 内部コード
- [処置] UNIX のエラーコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC017

E

- [英文] Failed to close pipe stream. SHELL=@1 return=@2 code=@3
- [和文] パイプクローズでエラーが発生しました。SHELL=@1 return=@2 code=@3
- [説明] ハードウェア情報を取得するためのパイプクローズ（pclose）が異常終了した。
- @ 1 : パイプオープン時に指定したシェル名
- @ 2 : リターンコード

値	意味
127	/usr/bin/sh が何らかの理由により実行されなかった場合
その他	ハードウェア情報を取得するシェルでエラーが発生した場合。この場合、リソース不足（実行中のプロセスの総数がシステムの制限を越えた場合や、メモリ不足）が考えられる

 @ 3 : DIOSA 内部コード

- [処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC018

E

- [英文] Failed to read pipe stream. ID=@1 errno=@2 code=@3
- [和文] パイプの読み込みでエラーが発生しました。ID=@1 errno=@2 code=@3
- [説明] ハードウェア情報を取得するための子プロセスからのパイプ読み込み（read）が異常終了した。
- @ 1 : 子プロセスの識別（0：CPU、1：デバイス、2：メモリ、3：ディスク）
- @ 2 : UNIX のエラーコード

値	意味
4	データの転送がまだ少しも行われていない段階で、シグナルを受け取った場合。デーモン再起動後のハードウェア情報取得が正常に動作する場合は、処置の必要なし。
5	物理的 I/O エラーが発生した場合
46	システムのレコードロック テーブルがいっぱいになっていて、ブロックの原因となっている write ロックが解除されるまで read がスリープできない場合

 @ 3 : DIOSA 内部コード

- [処置] UNIX のエラーコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC019

E

[英文] Failed to get Tpath states. FLAG=@1 NAME=@2 GETSTAT=@3 return=@4 code=@5

[和文] Tパス状態取得処理でエラーが発生しました。FLAG=@1 NAME=@2 GETSTAT=@3 return=@4 code=@5

[説明] Tパス状態取得処理が異常終了した。

@ 1 : 入力情報の種別

@ 2 : 相手の論理システム名またはノード名

@ 3 : 取得したい相手のTパス状態

@ 4 : リターンコード

@ 5 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC027

E

[英文] Failed to allocate memory. SIZE=@1 return=@2 code=@3

[和文] プロセスメモリの確保でエラーが発生しました。SIZE=@1 return=@2 code=@3

[説明] メモリ確保関数が異常終了した。

@ 1 : 確保要求したメモリサイズ

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC028

E

[英文] Failed to free memory. return=@1 code=@2

[和文] プロセスメモリの解放でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] メモリ解放関数が異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC030

E

[英文] Failed to open SG object file. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトファイルのオープンでエラーが発生しました。SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] SG オブジェクトファイルオープン関数が異常終了した。

@ 1 : セクション名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC031

E

[英文] Failed to close SG object file. return=@1 code=@2

[和文] SG オブジェクトファイルのクローズでエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] SG オブジェクトファイルクローズ関数が異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC032

E

[英文] Message Flow Control daemon aborted. return=@1 code=@2

[和文] 流量制御機能のデーモン起動が異常終了しました。return=@1 code=@2

[説明] デーモン起動が異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC033

I

[英文] Message Flow Control daemon started. PPID=@1

[和文] 流量制御機能のデーモンが起動しました。PPID=@1

[説明] デーモンが起動した。

@ 1 : 親プロセス ID

[処置] 必要なし。

DIMFC043

E

[英文] Failed to get a date. errno=@1 code=@2

[和文] 日時取得処理でエラーが発生しました。 errno=@1 code=@2

[説明] 日時取得処理が失敗した。

@ 1 : UNIX のエラーコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラーコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC045

E

[英文] Failed to send signal. SIGNAME=@1 PID=@2 errno=@3 code=@4

[和文] シグナルの送信が失敗しました。 SIGNAME=@1 PID=@2 errno=@3 code=@4

[説明] シグナルの送信に失敗した。

@ 1 : シグナル名

@ 2 : シグナル送信先 PID

@ 3 : UNIX のエラーコード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラーコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC048

E

[英文] Internal error occurred. DETAIL=@1 code=@2

[和文] 内部エラーが発生しました。 DETAIL=@1 code=@2

[説明] 内部処理でエラーが発生した。

@ 1 : テーブル名

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIMFC051

E

[英文] Cannot excuted this node.LNODETYPE=@1 code=@2

[和文] 当論理ノードでは実行できません。LNODETYPE=@1 code=@2

[説明] ノード種別が不正である。

@ 1 : 論理ノード種別

1 : AP ノード

2 : DB ノード

4 : OLTP ノード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 実行中のノードが正しいか確認する。

DIMFC053

E

[英文] Failed to change signal action.SIGNAL=@1 errno=@2 code=@3

[和文] シグナルアクションの変更でエラーが発生しました。SIGNAL=@1 errno=@2 code=@3

[説明] sigaction が異常終了した。

@ 1 : シグナル番号

@ 2 : UNIX のエラーコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラーコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC054

E

[英文] Failed to read pipe stream.ID=@1 errno=@2 code=@3

[和文] パイプの書き込みでエラーが発生しました。ID=@1 errno=@2 code=@3

[説明] ハードウェア情報を通知するための親プロセスへのパイプ書き込み (write) が異常終了した。

@ 1 : 子プロセスの識別 (0 : CPU、1 : デバイス、2 : メモリ、3 : ディスク)

@ 2 : UNIX のエラーコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラーコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC062

E

[英文] Failed to attach shared memory. IPCKEY=@1 return=@2 code=@3

[和文] 流量制御機能テーブルの共有メモリアタッチ処理でエラーが発生しました。IPCKEY=@1 return=@2 code=@3

[説明] 共有メモリアタッチに失敗した。

@ 1 : IPC キー (16 進数形式)

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC063

E

[英文] Failed to attach shared memory. return=@1 code=@2

[和文] 流量制御機能テーブルの共有メモリアタッチ処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] 共有メモリアタッチに失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC065

E

[英文] Failed to terminate process of Common function. return=@1 code=@2

[和文] 製品共通終了処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] DIOSA 共通のプロセス終了処理が異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC070

E

[英文] Failed to get logical system information. LSID=@1 return=@2 DSTATUS=@3 code=@4

[和文] 論理システム情報の取得処理でエラーが発生しました。LSID=@1 return=@2 DSTATUS=@3 code=@4

[説明] 論理システム情報取得処理が異常終了した。

@ 1 : 論理システム ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 詳細リターンコード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC075

I

[英文] Message Flow Control daemon is already stopped.

[和文] 流量制御機能のデーモンは停止済みです。

[説明] 流量制御機能のデーモンが未起動の状態でデーモン停止要求された。

[処置] 必要なし。

DIMFC076

E

[英文] Failed to stop daemon. PID=@1 return=@2 code=@3

[和文] デーモンの停止処理でエラーが発生しました。PID=@1 return=@2 code=@3

[説明] デーモン停止処理が異常終了した。

@ 1 : プロセス ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC077

I

[英文] Message Flow Control is already stopped.

[和文] 流量制御機能は停止済みです。

[説明] 流量制御停止中の状態で停止要求された。

[処置] 必要なし。

DIMFC079

E

[英文] Failed to read to SG object file. return=@1 code=@2

[和文] SG オブジェクトレコードの取得でエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] SG オブジェクトファイルクローズ関数が異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC080

E

[英文] SG object file revision is illegal. SG_REV=@1 PRG_REV=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトレコードのリビジョンが不正です。 SG_REV=@1 PRG_REV=@2 code=@3

[説明] 動作不可能なバージョンの SG オブジェクトレコードを取得した。

@ 1 : SG オブジェクトのリビジョン

@ 2 : プログラムが対応しているリビジョン

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] MFCENV 節の SG オブジェクトを再生成する。

DIMFC081

E

[英文] SG object file record type is illegal. RECTYPE=@1 code=@2

[和文] SG オブジェクトレコードのレコードタイプが不正です。 RECTYPE=@1 code=@2

[説明] 不正なレコードタイプの SG オブジェクトレコードを取得した。

@ 1 : 取得したレコードのレコードタイプ

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] MFCENV 節の SG オブジェクトを再生成する。

DIMFC083

E

[英文] Failed to start Daemon Alive Monitoring. PNAME=@1 PID=@2 return=@3 code=@4

[和文] デーモン死活監視登録処理でエラーが発生しました。 PNAME=@1 PID=@2 return=@3 code=@4

[説明] デーモン死活監視への監視開始要求に失敗した。

@ 1 : デーモンプロセス名

@ 2 : プロセス ID

@ 3 : リターンコード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC085

E

[英文] Failed to acquire strings of date.return=@1 code=@2

[和文] 日時文字列取得処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明]

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC086

E

[英文] Failed to initialize socket.return=@1 code=@2

[和文] ソケット初期化処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] 日時文字列取得処理が失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC087

E

[英文] Failed to terminate socket.return=@1 code=@2

[和文] ソケット終了処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] ソケット機能の終了処理が異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC088

E

[英文] Failed to open server socket.return=@1 code=@2

[和文] ソケット機能のサーバオープン処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] ソケット機能のサーバオープン処理が異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC089

E

[英文] Failed to open client socket. return=@1 code=@2

[和文] ソケット機能のクライアントオープン処理でエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] ソケット機能のクライアントオープン処理が異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC091

E

[英文] Failed to change socket time-out. return=@1 code=@2

[和文] ソケット監視タイムアウト変更処理でエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] ソケット監視タイムアウト変更処理が異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC092

E

[英文] Failed to register socket. return=@1 code=@2

[和文] 監視ソケット登録処理でエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] 監視ソケット登録処理が異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC093

E

[英文] Failed to delete socket. return=@1 code=@2

[和文] 監視ソケット削除処理でエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] 監視ソケット削除処理が異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC094

E

[英文] Failed to close socket. return=@1 code=@2

[和文] ソケットクローズ処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] ソケットクローズ処理が異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC098

E

[英文] Failed to get daemon process information. errno=@1 code=@2

[和文] デーモンのプロセス情報取得でエラーが発生しました。errno=@1 code=@2

[説明] デーモンの存在確認処理が異常終了した。

@ 1 : UNIX のエラーコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIMFC099

E

[英文] Failed to wait child process. errno=@1 code=@2

[和文] 子プロセスの待ち合わせでエラーが発生しました。errno=@1 code=@2

[説明] 子プロセスの待ち合わせ処理が異常終了した。

@ 1 : UNIX のエラーコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラーコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC100

W

[英文] Gathering Hardware charge information is time-out. ID=@1 code=@2

[和文] ハードウェア負荷情報収集処理がタイムアウトしました。ID=@1 code=@2

[説明] ハードウェア負荷情報収集処理がタイムアウトした。

@ 1 : 子プロセスの識別 (0 : CPU、1 : デバイス、2 : メモリ、3 : ディスク、4 : TPBASE キュー滞留数)

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 必要なし。

DIMFC101

E

[英文] Illegal message received. RCV=@1 code=@2

[和文] 不正な電文を受信しました。RCV=@1 code=@2

[説明] ソケット監視中に規定外のメッセージを受信した。

@ 1 : メッセージ ID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIMFC102

E

[英文] Socket error occurred. MODE=@1 code=@2

[和文] ソケットエラーが発生しました。MODE=@1 code=@2

[説明] ソケット監視中にソケットエラーが発生した。

@ 1 : 監視モード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIMFC107

E

[英文] Failed to initialize service of MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のサービス初期化処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] SG 動的置換機能のサービス初期化処理が異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC108

E

[英文] Failed to terminate service of MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のサービス終了処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] SG 動的置換機能のサービス終了処理が異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC113

E

[英文] Failed to initialize process of MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] SG 動的置換機能のプロセス初期化処理で異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC114

E

[英文] Failed to terminate process of MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] SG 動的置換機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] SG 動的置換機能のプロセス終了処理で異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC117

E

[英文] Failed to initialize process of Tpath. return=@1 code=@2

[和文] T パス管理機能の初期化処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] T パス管理機能のプロセス初期化処理で異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC118

E

[英文] Failed to terminate process of Tpath. return=@1 code=@2

[和文] T パス管理機能の終了処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] T パス管理機能のプロセス終了処理で異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC121

E

[英文] Failed to initialize process of dynamic library replace function. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] AP 動的置換機能のプロセス初期化処理で異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC122

E

[英文] Failed to terminate process of dynamic library replace function. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のプロセス終了処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] AP 動的置換機能のプロセス終了処理で異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC125

E

[英文] Failed to register process id of MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] SG 変更通知先PID登録処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] MDR 機能のSG 変更通知先PID登録処理が異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC126

E

[英文] Failed to unregister process id of MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] SG 変更通知先PID登録解除処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] MDR 機能のSG 変更通知先PID登録解除処理が異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC128

I

- [英文] Message Flow Control daemon stopped.
- [和文] 流量制御機能のデーモンが終了しました。
- [説明] 流量制御デーモンが終了した。
- [処置] 必要なし。

DIMFC129

W

- [英文] Message Flow Control daemon is compulsion stop.
- [和文] 流量制御機能のデーモンを強制停止しました。
- [説明] 流量制御デーモンを強制停止した。
- [処置] 必要なし。

DIMFC130

I

- [英文] Message Flow Control daemon terminated request was sent.
- [和文] 流量制御機能のデーモン停止要求を送信しました。
- [説明] 流量制御デーモンの停止要求を送信した。
- [処置] 必要なし。

DIMFC131

W

- [英文] Message Flow Control daemon is compulsion stop because failed to send terminated request.
- [和文] 流量制御デーモンの停止要求の送信に失敗したため強制停止します。
- [説明] 流量制御デーモンの停止要求の送信に失敗したため強制停止する。
- [処置] 必要なし。

DIMFC134

E

[英文] Failed to get logic system information. LSNAME=@1 APMNAME=@2 return=@3 DSTATUS=@4 code=@5

[和文] 論理システム情報の取得処理でエラーが発生しました。LSNAME=@1 APMNAME=@2 return=@3 DSTATUS=@4 code=@5

[説明] 論理システム情報取得処理が異常終了した。

@ 1 : 論理システム名

@ 2 : APM 名

@ 3 : リターンコード

@ 4 : 詳細リターンコード

@ 5 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC135

E

[英文] Message Flow Control command aborted.

[和文] 流量制御機能のコマンドが異常終了しました。

[説明] コマンドが異常終了した際に出力される。

[処置] 直前のメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC136

W

[英文] Message Flow Control command terminated with warning.

[和文] 流量制御機能のコマンドが警告終了しました。

[説明] コマンドが警告終了した際に出力される。（照会系コマンドの場合は stderr にのみ出力）

[処置] 直前のメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC143

E

[英文] Failed to get self logic system information. return=@1 DSTATUS=@2 code=@3

[和文] 自論理システム情報の取得処理でエラーが発生しました。return=@1 DSTATUS=@2 code=@3

[説明] 論理システム情報取得処理が異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 詳細リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC148

E

[英文] Failed to write to inheritance file.return=@1 code=@2

[和文] SG 引継ぎファイルの書き込みでエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] SG 引継ぎファイルの書き込み処理で異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC150

E

[英文] Failed to start Shared memory use.return=@1 code=@2

[和文] 流量制御機能の共有メモリ使用開始処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] 取得した共有メモリの使用開始処理で異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC151

E

[英文] Failed to terminate Shared memory use.return=@1 code=@2

[和文] 流量制御機能の共有メモリ使用終了処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] 取得した共有メモリの使用終了処理で異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC152

E

[英文] Failed to delete Shared memory.SHMID=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 流量制御機能の共有メモリ削除でエラーが発生しました。SHMID=@1 errno=@2 code=@3

[説明] 取得した共有メモリの解放処理で異常終了した。

@ 1 : 共有メモリの識別子

@ 2 : UNIX のエラーコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラーコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC157

E

[英文] Failed to read to inheritance file. return=@1 code=@2

[和文] SG 引継ぎファイルの読み込みでエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] SG 引継ぎファイルの読み込み処理で異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC158

E

[英文] Failed to remove memory of reading inheritance file. return=@1 code=@2

[和文] SG 引継ぎファイルの読み込み領域の解放でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] SG 引継ぎファイルの読み込み領域解放処理で異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC160

E

[英文] Failed to get APM information. LSNAME=@1 return=@2 DSTATUS=@3 code=@4

[和文] APM 情報一覧取得処理でエラーが発生しました。LSNAME=@1 return=@2 DSTATUS=@3 code=@4

[説明] 論理システム情報一覧取得処理で異常終了した。

@ 1 : 論理システム名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 詳細リターンコード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC162

E

[英文] Failed to acquire enumeration DIOSAMAP information. return=@1 code=@2

[和文] DIOSAMAP 情報列挙処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] DIOSAMAP 情報列挙処理で異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC165

E

[英文] Message Flow Control is nullified. code=@1

[和文] 流量制御機能は無効です。 code=@1

[説明] 流量制御機能未提供、又は SG 設定により機能が無効とされているため処理は行わない。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 必要なし。

DIMFC166

E

[英文] No license. code=@1

[和文] ライセンスがありません。 code=@1

[説明] ライセンスが存在しない。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 流量制御機能が使用可能なライセンスが適用されているかを確認する。

DIMFC167

I

[英文] Message Flow Control command has been already done.

[和文] 流量制御機能は初期化済みです。

[説明] 初期化コマンドが二重に実行された。

[処置] 必要なし。

DIMFC168

E

[英文] Failed to change hardware use rate. SHELL=@1 return=@2 code=@3

[和文] ハードウェア使用率の変換処理でエラーが発生しました。 SHELL=@1 return=@2 code=@3

[説明] ハードウェア使用率の数値変換処理が異常終了した。

@ 1 : パイプオープン時に指定したシェル名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC170

I

[英文] Message Flow Control is nullified.

[和文] 流量制御機能は無効です。

[説明] 流量制御機能未提供、又は SG 設定により機能が無効とされているため処理は行わない。

[処置] 必要なし。

DIMFC175

I

[英文] Node charge level is changed. LEVEL=@1 CAUSE=@2

[和文] ノード負荷レベルを変更しました。LEVEL=@1 CAUSE=@2

[説明] 自論理ノードの負荷レベルが変更された。

@ 1 : 負荷レベル

@ 2 : レベル変更原因

MODE1SUM : TPBASE キュー合計滞留数

CPU : CPU 使用率

DEV : デバイスビジー率

MEM : メモリ使用率

DISK : ディスク使用率

[処置] 必要なし。

DIMFC178

E

[英文] Inheritance file version is not same. READ_REV=@1 WRITE_REV=@2 code=@3

[和文] SG 引継ぎファイルのリビジョンが異なります。 READ_REV=@1 WRITE_REV=@2 code=@3

[説明] SG 引継ぎファイルの読み込み処理で取得した引継ファイルのリビジョンと SG 引継ぎファイル書き込み時に指定した引継ファイルのリビジョンが異なる。

@ 1 : 読み込んだ引継ファイルのリビジョン

@ 2 : 書き込み時に指定した引継ファイルのリビジョン

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] COLD 起動する。

DIMFC179

E

[英文] Number change is failed. return=@1 code=@2

[和文] 数値変換処理でエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] SG 情報の解析中に数値変換処理で異常終了した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC180

I

[英文] Terminate signal is received. PID=@1 PRCNAME=@2

[和文] 終了シグナルを受信しました。 PID=@1 PRCNAME=@2

[説明] 終了シグナルを受信した。

@ 1 : シグナルを送信したプロセスのプロセス ID(プロセス情報が取得できなかった場合は 0)

@ 2 : シグナルを送信したプロセスのプロセス名(プロセス情報が取得できなかった場合は Unknown)

[処置] 必要なし。

DIMFC185

E

[英文] Illegal hardware use rate. SHELL=@1 USERATE=@2 code=@3

[和文] ハードウェア使用率が不正です。 SHELL=@1 USERATE=@2 code=@3

[説明] ハードウェア使用率を返却するシェルが不正値を返却した。

@ 1 : 不正値を返却したシェル名

@ 2 : シェルが返却した不正値

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] デーモン再起動後のハードウェア情報取得が正常に動作する場合は、処置の必要なし。

DIMFC189

E

[英文] Internal error occurred. DETAIL=@1 MAX=@2 code=@3

[和文] 内部エラーが発生しました。 DETAIL=@1 MAX=@2 code=@3

[説明] 内部処理でエラーが発生した。

@ 1 : テーブル名

@ 2 : テーブル作成の最大数

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIMFC200

E

- [英文] Failed to register or unregister MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2
- [和文] SG 動的置換機能の登録・削除処理でエラーが発生しました。 return=@1 code=@2
- [説明] SG 動的置換機能の登録・削除処理でエラーが発生した際出力される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード
- [処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC201

I

- [英文] Message Flow Control started normally. MODE=@1
- [和文] 流量制御機能が起動しました。MODE=@1
- [説明] 流量制御初期化コマンドが正常終了した際に出力される。

@ 1 : 起動モード

値	意味
cold	コールドモードで起動した
warm	ウォームモードで起動した

- [処置] 必要なし。

DIMFC202

E

- [英文] APM is wrong. LSNAME=@1 APMNAME=@2 code=@3
- [和文] 指定された APM 名が正しくありません。 LSNAME=@1 APMNAME=@2 code=@3
- [説明] 複数 APM 環境で、自論理システムの APM 名の定義が正しくない場合に出力される。

@ 1 : 論理システム名

@ 2 : APM 名

@ 3 : DIOSA 内部コード
- [処置] 起動時に指定した APM 名と流量制御機能の環境定義に指定した APM 名が一致しているかを確認する。

DIMFC203

I

- [英文] Start with cold option because no inheritance file exists.
- [和文] 流量制御機能の引継情報が存在しないため、COLD 起動に切り替えます。
- [説明] WARM 起動指定されたが、SG 引継ぎ情報が存在しないため COLD 起動した。
- [処置] 必要なし。

DIMFC209

W

- [英文] System name is not exist.LSNAME=@1 code=@2
- [和文] 指定された論理システム名が存在しません。LSNAME=@1 code=@2
- [説明] 論理システム名の指定値が誤っている。

@ 1 : 論理システム名

@ 2 : DIOSA 内部コード
- [処置] 正しい論理システム名を指定してコマンドを実行する。

DIMFC211

E

- [英文] System call failed.FUNC=@1 errno=@2 code=@3
- [和文] システムコールエラーが発生しました。 FUNC=@1 errno=@2 code=@3
- [説明] システムコールに失敗しエラーが発生した。

@ 1 : エラーが発生したシステムコール名

@ 2 : UNIX のエラーコード
- | | |
|----|---------------------------------|
| 値 | 意味 |
| 1 | 実行するための特権がない。 |
| 11 | リリース使用不可。 |
| 12 | メモリ不足。 |
| 16 | 既に読み書きロックが初期化済み又は他スレッドで使用されている。 |
| 22 | 指定された値が無効 |
- @ 3 : DIOSA 内部コード

- [処置] UNIX のエラーコードからエラー原因を特定し解消する。プロセスまたは DIOSA/OE 再起動する。

DIMFC214

E

- [英文] Message Flow Control is not initialized.code=@1
- [和文] 流量制御機能は初期化されていません。 code=@1
- [説明] 流量制御が初期化されていない場合に出力される。

@ 1 : DIOSA 内部コード
- [処置] 流量制御機能を初期化する。

DIMFC215

E

[英文] Failed to get other logic system information.return=@1 code=@2

[和文] 他論理システムの取得処理でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] 他論理システムの取得処理でエラーが発生した場合に出力される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC216

E

[英文] Failed to change retain number.SHELL=@1 return=@2 code=@3

[和文] 滞留数の変換処理でエラーが発生しました。SHELL=@1 return=@2 code=@3

[説明] 滞留数を数値変換する処理でエラーが発生した場合に出力される。

@ 1 : パイプオープン時に指定したシェル名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIMFC217

E

[英文] Retain number is illegal.SHELL=@1 USEQUESUM=@2 code=@3

[和文] 滞留数が不正です。SHELL=@1 USEQUESUM=@2 code=@3

[説明] 滞留数が 0～65535 ではない場合に出力される。

@ 1 : パイプオープン時に指定したシェル名

@ 2 : TPBASE キューの合計数

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

2.22 DIMMG 系

DIMMG000

E

[英文] Failed to initialization. code=@1

[和文] 初期化処理に失敗しました。code=@1

[説明] メモリ管理の初期化処理に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] SG 情報(MMG 節)が存在しない、あるいは誤っている可能性がある。SG 情報を見直し、オブジェクトファイルを再作成する。

[関連]

DIMMG001

E

[英文] Failed to termination. code=@1

[和文] 終了処理に失敗しました。code=@1

[説明] メモリ管理の終了処理に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージ等から解析して、エラー原因を解消する。

[関連]

DIMMG002

E

[英文] Failed to initialize process. code=@1

[和文] プロセス初期化処理に失敗しました。code=@1

[説明] メモリ管理のプロセス初期化処理に失敗しました。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージ等から解析して、エラー原因を解消した後、必要であれば DIOSA の再起動を行う。

[関連]

DIMMG003

E

[英文] Failed to terminate process. code=@1

[和文] プロセス終了処理に失敗しました。code=@1

[説明] メモリ管理のプロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージ等から解析して、エラー原因を解消する。

[関連]

DIMMG004

E

[英文] Shared memory is already used. IPCKEY=@1 code=@2

[和文] 共有メモリが既に使用されています。 IPCKEY=@1 code=@2

[説明] 共有メモリが既に使用されている。

@ 1 : IPC キー

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA と他 PP などが使用する共有メモリの ID を見直したあと、DIOSA を再起動する。

[関連]

DIMMG008

E

[英文] Failed to allocate memory. code=@1

[和文] メモリ割り当てに失敗しました。code=@1

[説明] メモリ割り当てに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージ等から解析して、エラー原因を解消した後、必要であれば DIOSA の再起動を行う。

[関連]

DIMMG012

E

[英文] Failed to the protection attribute memory writing. code=@1

[和文] 保護属性書込みに失敗しました。code=@1

[説明] 保護属性書込みに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージ等から解析して、エラー原因を解消した後、必要であれば DIOSA の再起動を行う。

[関連]

DIMMG019

E

- [英文] Block control area is destroyed. OFFSET=@1 SEGTOPADDR=@2 BLKHDADDR=@3 code=@4
- [和文] ブロック管理領域が破壊されています。OFFSET=@1 SEGTOPADDR=@2 BLKHDADDR=@3 code=@4
- [説明] 解放アドレスがメモリ管理のブロック管理領域の値と一致しない。

@ 1 : ブロックタグのブロック先頭ポインタ

@ 2 : セグメント先頭アドレス

@ 3 : ブロックヘッダのアドレス

@ 4 : DIOSA 内部コード
- [処置] プロセスの再起動を行う。それでもエラーが解消されない場合は、DIOSA の再起動を行う。
- [関連]

DIMMG100

E

- [英文] Failed to open to abort dump file. file=@1 errno=@2 code=@3
- [和文] アボートダンプファイルのオープンに失敗しました。file=@1 errno=@2 code=@3
- [説明] アボートダンプファイルのオープンに失敗した。

@ 1 : アボートダンプファイル名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード
- [処置] エラー番号によっては以下の処置を行う。

値	意味	処置
2	指定されたファイルが存在しない。	ファイルパスを確認する。
4	open 中にシグナルを受信した。	メモリ表示コマンドを再実行する。
13	ファイルのパーミッションが拒否された。	親ディレクトリを含め、パーミッションを確認する。
21	指定されたファイルがディレクトリである。	ファイルパスを確認する。
24	ファイルオープン数が制限を越えている。	別のファイルをクローズ後、メモリ表示コマンドを再実行する。
28	ディレクトリあるいはファイルシステムに新しくファイルを作成する領域がない。	領域を確保する。

[関連]

DIMMG101

E

- [英文] Failed to write to abort dump file. errno=@1 code=@2
- [和文] アボートダンプファイルの出力に失敗しました。errno=@1 code=@2
- [説明] アボートダンプファイルの出力に失敗した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード
- [処置] エラー番号によって以下の処置を行う。

値	意味	処置
5	物理的な I/O エラーが発生した。	物理的な I/O エラーの原因を取り除く。
9	ファイル記述子が無効である。	処置の必要なし。

[関連]

DIMMG102

E

- [英文] Failed to read to abort dump file. errno=@1 code=@2
- [和文] アボートダンプファイルの読込みに失敗しました。errno=@1 code=@2
- [説明] アボートダンプファイルの読込みに失敗した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード
- [処置] エラー番号によって以下の処置を行う。

値	意味	処置
4	シグナルを受信した	メモリ表示コマンドを再実行する。
5	物理的な I/O エラーが発生した。	物理的な I/O エラーの原因を取り除く。
27	読み込もうとしたファイルが、プロセスのファイルサイズ上限、もしくは最大ファイルサイズを超えている。	処置の必要なし。

[関連]

DIMMG103

E

[英文] Failed to open to abort dump file. file=@1 errno=@2 code=@3

[和文] アボートダンプファイルのクローズに失敗しました。file=@1 errno=@2 code=@3

[説明] アボートダンプファイルのクローズに失敗した。

 @ 1 : アボートダンプファイル名

 @ 2 : UNIX のエラー番号

 @ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] エラー番号によって以下の処置を行う。

値	意味	処置
9	ファイル記述子が無効である。	処置の必要なし。
28	ファイルを格納しているデバイスに空きスペースがない。	空きスペースを確保する。

[関連]

DIMMG104

E

[英文] Failed to lock. return=@1 code=@2

[和文] ロックに失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] ロックに失敗した。

 @ 1 : リターンコード

 @ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているロックに関するエラーメッセージを参照して処置を行う。

[関連]

DIMMG105

E

[英文] Failed to unlock. return=@1 code=@2

[和文] アンロックに失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] ロック解除に失敗した。

 @ 1 : リターンコード

 @ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているロックに関するエラーメッセージを参照して処置を行う。

[関連]

DIMMG106

E

[英文] Failed to allocate process memory. errno=@1 code=@2

[和文] プロセス内メモリの確保に失敗しました。errno=@1 code=@2

[説明] プロセス内メモリの確保に失敗した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] エラー番号によって以下の原因が考えられる。対処後、プロセスを再起動する。

値	意味	処置
12	メモリ不足。	不要なプロセスをkillするなどして空きメモリを確保する。
22	領域破壊。	DIOSA の再起動を行なう。

[関連]

DIMMG107

E

[英文] Failed to operate shared memory. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの操作に失敗しました。FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[説明] 共有メモリの操作に失敗した。

@ 1 : エラーが発生したシステムコール名

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] エラー番号によって以下の原因が考えられる。対処後、プロセスを再起動する。

値	意味	処置
12	メモリ不足。	不要なプロセスをkillするなどして空きメモリを確保する。
13	共有メモリのアクセス権がない。	DIOSA の再起動を行なう。
24	プロセスが使用可能な共有メモリの上限を超えた。	システムで設定した、プロセスが使用可能な共有メモリの上限を見直す。または、プロセスが使用する共有メモリ量を見直す。

[関連]

DIMMG108

E

[英文] Failed to lock mutex. errno=@1 code=@2

[和文] MUTEX ロックに失敗しました。errno=@1 code=@2

[説明] MUTEX ロックに失敗した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] errno には、EINVAL、EDEADLK 等が設定される。

いずれの場合もメッセージを出力したプロセスを再起動する。

[関連]

DIMMG109

E

[英文] Failed to unlock mutex. errno=@1 code=@2

[和文] MUTEX アンロックに失敗しました。errno=@1 code=@2

[説明] MUTEX ロック解除に失敗した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] errno には、EINVAL、EDEADLK 等が設定される。

いずれの場合もメッセージを出力したプロセスを再起動する。

[関連]

DIMMG110

I

[英文] Protection attribute writing daemon started.

[和文] 保護属性書込みデーモンを起動しました。

[説明] 保護属性書込みデーモンを起動した。

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMMG111

E

[英文] Failed to start protection attribute writing daemon. code=@1

[和文] 保護属性書込みデーモンの起動に失敗しました。code=@1

[説明] 保護属性書込みデーモンの起動に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いた後、必要であれば DIOSA の再起動を行なう。

[関連]

DIMMG112

I

[英文] Protection attribute writing daemon stopped.

[和文] 保護属性書込みデーモンを停止しました。

[説明] 保護属性書込みデーモンを停止した。

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMMG113

E

[英文] Failed to stop protection attribute writing daemon. code=@1

[和文] 保護属性書込みデーモンの停止に失敗しました。code=@1

[説明] 保護属性書込みデーモンの停止に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 異常終了の原因を直前に出力されているメッセージ等から解析して、エラー原因を解消する。

[関連]

DIMMG114

E

[英文] Protection attribute writing daemon aborted. code=@1

[和文] 保護属性書込みデーモンが異常終了しました。code=@1

[説明] 保護属性書込みデーモンが異常終了した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージを参照して適切な処置を行う。

[関連]

DIMMG115

W

[英文] Protection attribute writing daemon start procedure is illegal. STATUS=@1 code=@2

[和文] 保護属性書込みデーモンの起動が正しい手順で行われませんでした。STATUS=@1 code=@2

[説明] 保護属性書込みデーモンの起動が正しい手順で行われなかった。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージから原因を調査し、失敗原因を取り除いた後、必要であれば DIOSA の再起動を行なう。

[関連]

DIMMG116

E

[英文] Communication error with protection attribute writing daemon. code=@1

[和文] 保護属性書込みデーモンとの通信に失敗しました。code=@1

[説明] 保護属性書込みデーモンの起動が正しい手順で行われなかった。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージを参照して適切な処置を行う。

[関連]

DIMMG117

E

[英文] Protection attribute writing daemon termination is timeout. code=@1

[和文] 保護属性書込みデーモンの停止処理がタイムアウトしました。code=@1

[説明] 保護属性書込みデーモンの停止処理がタイムアウトした。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージを参照して適切な処置を行う。

[関連]

DIMMG118

E

[英文] Failed to get process information. PID=@1 errno=@2 code=@3

[和文] プロセス情報の取得で異常が発生しました。PID=@1 errno=@2 code=@3

[説明] プロセス情報の取得で異常が発生した。

@ 1 : プロセス ID

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージを参照して適切な処置を行う。

[関連]

DIMMG119

E

[英文] Failed to Protection attribute writing daemon processing. return=@1 code=@2

[和文] 保護属性書込みデーモン処理においてエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] プロセス情報の取得で異常が発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージを参照して適切な処置を行う。

[関連]

DIMMG120

E

[英文] Failed to address translation. code=@1

[和文] アドレス変換に失敗しました。code=@1

[説明] アドレス変換に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] プロセスを再実行する。

[関連]

DIMMG121

I

[英文] Memory management sgchange command terminated normally.

[和文] メモリ管理環境定義変更コマンドが正常終了しました。

[説明] メモリ管理環境定義変更コマンドが正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMMG122

E

[英文] Memory management sgchange command aborted.

[和文] メモリ管理環境定義変更コマンドが異常終了しました。

[説明] メモリ管理環境定義変更コマンドが異常終了した。

[処置] 直前のメッセージを参照して適切な処置を行う。

[関連]

DIMMG124

E

[英文] Failed to get to memory management environmental definition file. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] メモリ管理機能の環境定義ファイルの読み込みに失敗しました。SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] メモリ管理環境定義変更コマンドが異常終了した。

@ 1 : セクション名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージを参照して適切な処置を行う。

[関連]

DIMMG125

E

[英文] Memory management environmental definition file is illegal revision. SECNAME=@1 code=@2

[和文] メモリ管理機能の環境定義ファイルのリビジョンが不正です。SECNAME=@1 code=@2

[説明] メモリ管理機能の環境定義ファイルのリビジョンが不正。

@ 1 : セクション名

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] SG オブジェクトを再生成後、DIOSA をコールドスタートする。

[関連]

DIMMG126

E

[英文] Failed to set to environment variable. ENV=@1 VALUE=@2 errno=@3 code=@4

[和文] 環境変数の設定に失敗しました。ENV=@1 VALUE=@2 errno=@3 code=@4

[説明] 環境変数の設定に失敗した。

@ 1 : 環境変数名

@ 2 : 環境変数値

@ 3 : UNIX のエラー番号

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 適切な処置を行い、プロセスを再起動する。

[関連]

DIMMG200

E

[英文] Memory control area is destroyed. code=@1

[和文] メモリ管理領域が破壊されています。code=@1

[説明] メモリ管理領域が破壊されている。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA を再起動する。

[関連]

DIMMG201

E

[英文] Block control area is destroyed. code=@1

[和文] ブロック管理領域が破壊されています。code=@1

[説明] ブロック管理領域が破壊されている。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] プロセスの再起動を行う。それでもエラーが解消されない場合は、DIOSA の再起動を行なう。

[関連]

DIMMG301

E

- [英文] Memory state display command aborted. code=@1
- [和文] メモリ状態表示コマンドが異常終了しました。code=@1
- [説明] メモリ状態表示コマンドが異常終了しました。
@ 1 : DIOSA 内部コード
- [処置] 直前のメッセージを参照して適切な処置を行う。
- [関連]

DIMMG400

I

- [英文] All memory free command terminated normally.
- [和文] メモリー一括解放コマンドが正常終了しました。
- [説明] 業務メモリー一括解放コマンドが正常終了した。
- [処置] 処置の必要なし。
- [関連]

DIMMG401

E

- [英文] All memory free command aborted. code=@1
- [和文] メモリー一括解放コマンドが異常終了しました。code=@1
- [説明] 業務メモリー一括解放コマンドが異常終了した。
@ 1 : DIOSA 内部コード
- [処置] 直前のメッセージを参照して適切な処置を行う。
- [関連]

DIMMG500

E

- [英文] There is no access authority in the directory. PATH=@1 code=@2
- [和文] 指定ディレクトリにアクセス権がありません。PATH=@1 code=@2
- [説明] 指定ディレクトリにアクセス権がない。
@ 1 : ディレクトリパス名
@ 2 : DIOSA 内部コード
- [処置] PATH に示されるディレクトリに書き込み権限を付与するか、環境定義で指定するアボートダンプファイルの出力先を書き込み権限のあるディレクトリに変更する。
- [関連]

DIMMG501

E

[英文] Failed to operate file. FUNC=@1 PATH=@2 errno=@3 code=@4

[和文] ファイル操作に失敗しました。FUNC=@1 PATH=@2 errno=@3 code=@4

[説明] ファイル操作に失敗した。
@ 1 : エラーが発生したシステムコール名
@ 2 : 対象ファイルパス
@ 3 : UNIX のエラー番号
@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] エラー番号によって以下の原因が考えられる。対処後、プロセスを再起動する。

値	意味	処置
5	物理的な I/O エラーが発生した。	物理的な I/O エラーの原因を取り除く。
20	パスプリフィックスの構成要素がディレクトリでない	ディレクトリを指定する。
28	ファイルを格納しているデバイスに空きスペースがない	空きスペースを確保する。
30	ファイルが読取り専用のファイルシステムに位置する	ファイルが書き込み可能な領域になるようパスを設定する。
31	親ディレクトリへのリンクの最大値である {LINK_MAX} を超えている	リンクを LINK_MAX 以内に収まるように減らす。
69	そのファイルシステムについてのユーザーのディスク割当てブロックか i ノードの制限に達した。	不要なファイルを削除して空きスペースを確保する。
248	指定したパス名が PATH_MAX バイトを超えたか、パス名の構成要素が NAME_MAX を超えた。	パス名を PATH_MAX 以内、またはパス名の構成要素を NAME_MAX 以内にする。
249	パス名の変換の際にあまりに多数のシンボリックリンクが現れた。	シンボリックリンクを減らす。

[関連]

DIMMG502

E

[英文] The value of the environment variable is illegal. ENV=@1 VALUE=@2 code=@3

[和文] 環境変数の値が不正です。ENV=@1 VALUE=@2 code=@3

[説明] 環境変数の値が不正である。

@ 1 : 環境変数名

@ 2 : 環境変数に設定した不正な値

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] ENV で表示される環境変数を設定可能な値に変更する。

[関連]

DIMMG503

E

[英文] It is not a directory. PATH=@1 code=@2

[和文] 指定ディレクトリはディレクトリではありません。PATH=@1 code=@2

[説明] 指定ディレクトリはディレクトリではない。

@ 1 : ディレクトリパス名

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] ディレクトリを指定して、DIOSA を再起動する。

[関連]

DIMMGX01

E

[英文] The memory maximum size value is smaller than a present value. TYPE=@1 CURRENT=@2 NEW=@3 code=@4

[和文] メモリ最大サイズに現在の値より小さい値が指定されています。TYPE=@1 CURRENT=@2 NEW=@3 code=@4

[説明] メモリ最大サイズに現在の値より小さい値が指定されている。

@ 1 : メモリ種別

APNOPROT : 更新可共有メモリ

APPROT : 保護属性共有メモリ

@ 2 : 現在のメモリ最大サイズ

@ 3 : 新しいメモリ最大サイズ

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] SG オブジェクトファイルのメモリ最大サイズを現在以上の値にする。

[関連]

DIMMGX02

E

[英文] The memory extension size is different from a present value. TYPE=@1 CURRENT=@2 NEW=@3 code=@4

[和文] メモリ拡張サイズに現在の値と異なる値が指定されています。TYPE=@1 CURRENT=@2 NEW=@3 code=@4

[説明] メモリ拡張サイズに現在の値と異なる値が指定されている。

@ 1 : メモリ種別

APNOPROT : 更新可共有メモリ

APPROT : 保護属性共有メモリ

@ 2 : 現在のメモリ最大サイズ

@ 3 : 新しいメモリ最大サイズ

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] SG オブジェクトファイルのメモリ拡張サイズを現在と同じ値にする。

[関連]

2.23 DIMSG 系

DIMSG000

W

[英文]

[和文]

[説明] メッセージ ID が存在しない場合はこのメッセージ ID に置き換えて出力される。置換文字列は「@=置換文字列」の形式で列挙されて出力される。

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DIMSG001

E

[英文] Environment variable is not found. ENVNAME=@1 code=@2

[和文] 環境変数が未定義です。 ENVNAME=@1 code=@2

[説明] 動作に必要な環境変数が設定されていない。

@ 1 : 環境変数名

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] @1 で示される環境変数を設定する。

[関連]

DIMSG002

W

[英文] Environment variable illegal. ENVNAME=@1 VALUE=@2 code=@3

[和文] 環境変数が不正です。 ENVNAME=@1 VALUE=@2 code=@3

[説明] 環境変数に不正な値が設定されている。

@ 1 : 環境変数名

@ 2 : 設定されている値

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] @1 で示される環境変数の値を設定可能な値に修正する。

[関連]

DIMSG003

E

[英文] Path not found. DIR=@1 code=@2

[和文] パスが存在しません。 DIR=@1 code=@2

[説明] 動作に必要なファイルまたはディレクトリが存在しない。

@ 1 : パス

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] @1 で示されるファイルやディレクトリを用意する。

[関連]

DIMSG004

E

[英文] Access unauthorized. DIR=@1 AUTH=@2 code=@3

[和文] アクセス権がありません。 DIR=@1 AUTH=@2 code=@3

[説明] 動作に必要な権限がない。

@ 1 : パス

@ 2 : 必要な権限 (r または w)

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] @1 で示されるパスに@2 で示される必要な権限を付与する。

[関連]

DIMSG005

E

[英文] Failed to file manipulation. FUNC=@1 DIR=@2 errno=@3 code=@4

[和文] ファイル操作に失敗しました。 FUNC=@1 DIR=@2 errno=@3 code=@4

[説明] ファイル操作に失敗しエラーが発生した。

@ 1 : エラーが発生したシステムコール名

@ 2 : 対象ファイルパス

@ 3 : UNIX のエラーコード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] @1、@2、@3 で示されるエラーが発生したシステムコール名とファイルパス、UNIX のエラーコードからエラー原因を解消する。

[関連]

DIMSG006

E

[英文] System call failed. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] システムコールに失敗しました。 FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[説明] システムコールに失敗しエラーが発生した。

@ 1 : エラーが発生したシステムコール名

@ 2 : UNIX のエラーコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] @1、@2 で示されるエラーが発生したシステムコール名 UNIX のエラーコードからエラー原因を解消する。

[関連]

DIMSG007

E

[英文] Failed to lock. code=@1

[和文] ロックに失敗しました。 code=@1

[説明] ロックに失敗しエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DIMSG008

E

[英文] Failed to socket operation. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] ソケット操作に失敗しました。 FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[説明] ソケット操作に失敗しエラーが発生した。

@ 1 : エラーが発生したシステムコール名

@ 2 : UNIX のエラーコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] @1、@2 で示されるエラーが発生したシステムコール名 UNIX のエラーコードからエラー原因を解消する。

[関連]

DIMSG009

E

[英文] Failed to thread operation. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] スレッド操作に失敗しました。 FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[説明] スレッド操作に失敗しエラーが発生した。

@ 1 : エラーが発生したシステムコール名

@ 2 : UNIX のエラーコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] @1、@2 で示されるエラーが発生したシステムコール名 UNIX のエラーコードからエラー原因を解消する。

[関連]

DIMSG010

E

[英文] Failed to memory allocate. SIZE=@1 code=@2

[和文] メモリ確保に失敗しました。 SIZE=@1 code=@2

[説明] メモリ確保に失敗しエラーが発生した。

@ 1 : 確保しようとしたサイズ

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] メモリの空き容量を確認する。

開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DIMSG011

E

[英文] Failed to message queue operation. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] メッセージキュー操作に失敗しました。 FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[説明] メッセージキューの操作に失敗しエラーが発生した。

@ 1 : エラーが発生したシステムコール名

@ 2 : UNIX のエラーコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] @1、@2 で示されるエラーが発生したシステムコール名 UNIX のエラーコードからエラー原因を解消する。

[関連]

DIMSG012

W

- [英文] Illegal data. NAME=@1 VALUE=@2 code=@3
- [和文] データが不正です。 NAME=@1 VALUE=@2 code=@3
- [説明] 内部でやり取りするデータで不正なデータが発生した。
- @ 1 : データの名称
 - @ 2 : データの内容
 - @ 3 : DIOSA 内部コード
- [処置] 開発部門へ問い合わせる。
- [関連]

DIMSG013

E

- [英文] Failed to DBM operation. FUNC=@1 code=@2
- [和文] DBM 操作に失敗しました。 FUNC=@1 code=@2
- [説明] DBM ファイルの操作に失敗しエラーが発生した。
- @ 1 : エラーが発生したシステムコール名
 - @ 2 : DIOSA 内部コード
- [処置] 開発部門へ問い合わせる。
- [関連]

DIMSG014

I

- [英文] Rotate execution command terminated normally. STATUS=@1 COMMAND=[@2]
- [和文] ローテート時実行コマンドが正常終了しました。 STATUS=@1 COMMAND=[@2]
- [説明] メッセージ出力ファイル、または、エラー出力ファイルローテート時のコマンドが正常終了した。
- @ 1 : 終了コード
 - @ 2 : 実行コマンド
- [処置] 処置の必要なし。
- [関連]

DIMSG015

E

[英文] Rotate execution command aborted. STATUS=@1 COMMAND=[@2] code=@3

[和文] ローテート時実行コマンドが異常終了しました。 STATUS=@1 COMMAND=[@2] code=@3

[説明] メッセージ出力ファイル、または、エラー出力ファイルローテート時のコマンドが正常終了した。

@ 1 : 終了コード

@ 2 : 実行コマンド

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] コマンド(環境変数 DIOSA_MSG_CMD で設定)に間違いがないか見直す。

[関連]

DIMSG016

E

[英文] Not executed because character length of command to long. code=@1

[和文] ローテート時実行コマンド長すぎるため実行できませんでした。 code=@1

[説明] ローテート時のコマンドが長すぎるため実行できない。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] コマンド(環境変数 DIOSA_MSG_CMD で設定)を短く設定する。

[関連]

DIMSG017

I

[英文] Read configuration file for message deterrence. COUNT=@1

[和文] メッセージ抑止対象設定ファイルを読み込みました。 COUNT=@1

[説明] メッセージ抑止対象設定ファイルを読み込んだ。

@ 1 : 抑止 ID の件数

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMSG018

I

[英文] Same message controlled. MSGID=@1 SEC=@2 USEC=@3 COUNT=@4

[和文] 同一メッセージを抑止しました。 MSGID=@1 SEC=@2 USEC=@3 COUNT=@4

[説明] 指定時間内の重複する同一 ID のメッセージを抑止した。

@ 1 : メッセージ ID

@ 2 : 抑止開始秒

@ 3 : 抑止開始マイクロ秒

@ 4 : 抑止回数

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMSG201

I

[英文] Message output daemon started. ID=@1 DIOSA_FORM_PATH=@2 USER_FORM_PATH=@3 LIMIT_PATH=@4
LOG_PATH=@5 ERR_PATH=@6 LEVEL=@7 NATIVE=@8

[和文] メッセージ出力デーモンが起動しました。 ID=@ 1 DIOSA_FORM_PATH=@ 2 USER_FORM_PATH=@ 3
LIMIT_PATH=@4 LOG_PATH=@5 ERR_PATH=@6 LEVEL=@7 NATIVE=@8

[説明] メッセージ出力デーモンが正常に起動した。

@ 1 : メッセージキューID

@ 2 : DIOSA 用原型メッセージファイルパス

@ 3 : ユーザ用原型メッセージファイルパス

@ 4 : 抑止設定ファイルパス

@ 5 : メッセージログファイルパス

@ 6 : エラー出力ファイルパス

@ 7 : 出力基準レベル

@ 8 : 1:日本語メッセージ使用、2:英語メッセージ使用

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMSG202

E

[英文] Failed to start message output daemon. code=@1

[和文] メッセージ出力デーモンの起動に失敗しました。 code=@1

[説明] メッセージ出力デーモンの起動に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーに対処し、dimsgdctrl -b で再起動を行う。

[関連]

DIMSG203

I

[英文] Message output daemon terminated normally.

[和文] メッセージ出力デーモンが正常終了しました。

[説明] メッセージ出力デーモンが正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMSG204

E

[英文] Message output daemon aborted. code=@1

[和文] メッセージ出力デーモンが異常終了しました。 code=@1

[説明] メッセージ出力デーモンが異常終了した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーに対処する。

[関連]

DIMSG205

I

[英文] Message output daemon is already running.

[和文] メッセージ出力デーモンは起動済みです。

[説明] メッセージ出力デーモンはすでに起動している。

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMSG206

E

[英文] Failed to accept of request. TYPE=@1 code=@2

[和文] メッセージ出力デーモンは要求の受信に失敗しました。 TYPE=@1 code=@2

[説明] メッセージ出力デーモンは要求の受信に失敗した。

@ 1 : 要求の種類

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

[関連]

DIMSG207

I

[英文] Deactivate request accepted.

[和文] メッセージ出力デーモンは停止要求を受け付けました。

[説明] メッセージ出力デーモンは停止要求を受け付け、デーモンは終了処理に入った。

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMSG208

I

[英文] Level inquiry request accepted. LEVEL=@1 OMIT_TIME=@2 OMIT_COUNT=@3

[和文] メッセージ出力デーモンはレベル照会要求を受け付けました。 LEVEL=@1 OMIT_TIME=@2 OMIT_COUNT=@3

[説明] メッセージ出力デーモンはレベル照会要求を受け付けた。

@ 1 : 現在の出力基準レベル

@ 2 : 現在の重複メッセージ抑止時間

@ 3 : 現在の重複メッセージ抑止チェック数

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMSG209

I

[英文] Level change request accepted. LEVEL=@1 OMIT_TIME=@2 OMIT_COUNT=@3

[和文] メッセージ出力デーモンはレベル変更要求を受け付けました。 LEVEL=@1 OMIT_TIME=@2 OMIT_COUNT=@3

[説明] メッセージ出力デーモンはレベル変更要求を受け付け、変更内容がデーモンに反映された。

@ 1 : 変更後の出力基準レベル

@ 2 : 変更後の重複メッセージ抑止時間

@ 3 : 変更後の重複メッセージ抑止チェック数

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMSG210

I

[英文] Update of table for deterrence request accepted.

[和文] メッセージ出力デーモンは抑止対象テーブル更新要求を受け付けました。

[説明] メッセージ出力デーモンは抑止対象テーブル更新要求を受け付け、最新の抑止対象設定ファイルの内容がデーモンに反映された。

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMSG211

I

[英文] Archetype message update request accepted. TYPE=@1

[和文] メッセージ出力デーモンは原型メッセージ更新要求を受け付けました。 TYPE=@1

[説明] メッセージ出力デーモンは原型メッセージ更新要求を受け付け、最新の原型メッセージファイルの内容がデーモンに反映された。

@ 1 : 更新要求が原型メッセージのタイプ

‘D’ DIOSA メッセージ

‘U’ ユーザメッセージ

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMSG300

E

[英文] Daemon start/stop command aborted. code=@1

[和文] メッセージ出力デーモン起動停止コマンドが異常終了しました。 code=@1

[説明] メッセージ出力デーモン起動停止コマンドが異常終了した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 再度コマンドを実行する。

[関連]

DIMSG301

I

[英文] Daemon start command terminated normally.

[和文] メッセージ出力デーモン起動コマンドが正常終了しました。

[説明] メッセージ出力デーモン起動コマンドが正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMSG302

E

[英文] Daemon start command aborted. code=@1

[和文] メッセージ出力デーモン起動コマンドが異常終了しました。 code=@1

[説明] メッセージ出力デーモン起動コマンドが異常終了した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーに対処する。

[関連]

DIMSG303

I

[英文] Message output daemon not started.

[和文] メッセージ出力デーモンは起動していません。

[説明] メッセージ出力デーモンは起動していない。

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMSG304

I

[英文] Daemon stop command terminated normally.

[和文] メッセージ出力デーモン停止コマンドが正常終了しました。

[説明] メッセージ出力デーモン停止コマンドが正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMSG305

E

[英文] Daemon stop command aborted. code=@1

[和文] メッセージ出力デーモン停止コマンドが異常終了しました。 code=@1

[説明] メッセージ出力デーモン停止コマンドが異常終了した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーに対処する。

[関連]

DIMSG351

I

[英文] Message output level inquiry command terminated normally.

[和文] メッセージ出力レベル照会コマンドが正常終了しました。

[説明] メッセージ出力レベル照会コマンドが正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMSG352

E

[英文] Message output level inquiry command aborted. code=@1

[和文] メッセージ出力レベル照会コマンドが異常終了しました。 code=@1

[説明] メッセージ出力レベル照会コマンドが異常終了した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーに対処する。

[関連]

DIMSG401

I

[英文] Message output level change command terminated normally.

[和文] メッセージ出力レベル変更コマンドが正常終了しました。

[説明] メッセージ出力レベル変更コマンドが正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMSG402

E

[英文] Message output level change command aborted. code=@1

[和文] メッセージ出力レベル変更コマンドが異常終了しました。 code=@1

[説明] メッセージ出力レベル変更コマンドが異常終了した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーに対処する。

[関連]

DIMSG451

I

[英文] Message output deterrence command terminated normally.

[和文] メッセージ出力抑止コマンドが正常終了しました。

[説明] メッセージ出力抑止コマンドが正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMSG452

E

[英文] Message output deterrence command aborted. code=@1

[和文] メッセージ出力抑止コマンドが異常終了しました。 code=@1

[説明] メッセージ出力抑止コマンドが異常終了した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーに対処する。

[関連]

DIMSG453

W

[英文] Message-ID is already registered. MSGID=@1 code=@2

[和文] メッセージ ID はすでに登録済みです。 MSGID=@1 code=@2

[説明] メッセージ ID はすでに登録されている。

@ 1 : メッセージ ID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMSG454

E

[英文] Failed to get of deterrence information. code=@1

[和文] 抑止情報の取得に失敗しました。 code=@1

[説明] 抑止情報の取得に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーに対処する。

[関連]

DIMSG455

E

[英文] Failed to notify daemon. code=@1

[和文] メッセージ出力デーモンへの通知に失敗しました。 code=@1

[説明] メッセージ出力デーモンへの通知に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージ出力デーモンが起動しているか確認し、未起動の場合は起動する。

[関連]

DIMSG456

W

[英文] Specified message-ID is not registered. MSGID=@1 code=@2

[和文] 指定したメッセージ ID は登録されていません。 MSGID=@1 code=@2

[説明] 指定したメッセージ ID は登録されていない。

@ 1 : メッセージ ID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMSG457

E

[英文] Specified message-ID illegal. MSGID=@1 code=@2

[和文] 指定したメッセージ ID は不正です。 MSGID=@1 code=@2

[説明] 指定したメッセージ ID は不正。

@ 1 : メッセージ ID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 正しいメッセージ ID に修正する。

[関連]

DIMSG501

I

[英文] Maintenance command terminated normally. COUNT=@1

[和文] 原型メッセージファイルメンテナンスコマンドが正常終了しました。 COUNT=@1

[説明] 原型メッセージファイルメンテナンスコマンドが正常終了した。

@ 1 : 処理されたメッセージ数

[処置] 処置の必要なし。

[関連]

DIMSG502

E

[英文] Maintenance command aborted. code=@1

[和文] 原型メッセージファイルメンテナンスコマンドが異常終了しました。 code=@1

[説明] 原型メッセージファイルメンテナンスコマンドが異常終了した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーに対処する。

[関連]

DIMSG503

E

[英文] Format of archetype message is illegal. LINE=@1 code=@2

[和文] 原型メッセージのフォーマットが不正です。 LINE=@1 code=@2

[説明] メッセージ一覧ファイルのフォーマットが不正。

@ 1 : 行番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] @1 で示される行番号のフォーマットを修正する。

[関連]

DIMSG504

E

[英文] Message is too long. LINE=@1 code=@2

[和文] メッセージ本文の文字数が多すぎます。 LINE=@1 code=@2

[説明] メッセージ本文の文字数が多すぎる。

@ 1 : 行番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] @1 で示される行番号のメッセージ本文の文字数を 500 バイト以下にする。

[関連]

DIMSG505

E

[英文] Substitution part of message body is over. LINE=@1 code=@2

[和文] メッセージ本文の置換箇所が多すぎます。 LINE=@1 code=@2

[説明] 置換箇所が多すぎる。

@ 1 : 行番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] @1 で示される行番号の置換箇所（@）を 10 以下にする。

[関連]

DIMSG506

E

[英文] Digit number for message-ID is illegal. LINE=@1 code=@2

[和文] メッセージ ID の桁数が不正です。 LINE=@1 code=@2

[説明] 置換箇所が多すぎる。

@ 1 : 行番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] @1 で示される行番号の置換箇所（@）を 10 以下にする。

[関連]

DIMSG507

E

[英文] Illegal character in message-ID. LINE=@1 code=@2

[和文] メッセージ ID に使用できない文字が含まれています。 LINE=@1 code=@2

[説明] メッセージ ID に使用できない文字が含まれている。

@ 1 : 行番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] @1 で示される行番号のメッセージ ID を半角英数字に修正する。

[関連]

DIMSG508

E

[英文] Message-ID overlaps. LINE=@1 code=@2

[和文] メッセージ ID が重複しています。 LINE=@1 code=@2

[説明] メッセージ ID が重複している。

@ 1 : 行番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] @1 で示される行番号のメッセージ ID を重複しない ID に修正する。

[関連]

DIMSG509

E

[英文] Level of message-ID is illegal. LINE=@1 code=@2

[和文] メッセージレベルが不正です。 LINE=@1 code=@2

[説明] メッセージレベルが不正。

@ 1 : 行番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] @1 で示される行番号のメッセージレベルを 1～5 のいずれかに修正する。

[関連]

DIMSG510

E

[英文] Type of message is illegal. LINE=@1 code=@2

[和文] メッセージ種別が不正です。 LINE=@1 code=@2

[説明] メッセージ種別が不正。

@ 1 : 行番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] @1 で示される行番号のメッセージ種別を I,W,E のいずれかに修正する。

[関連]

DIMSG511

E

[英文] Failed to notify daemon. code=@1

[和文] メッセージ出力デーモンへの通知に失敗しました。 code=@1

[説明] メッセージ出力デーモンへの通知に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージ出力デーモンが起動しているか確認し、未起動の場合は起動する。

[関連]

DIMSG888

E

[英文] Parameter error. COMMAND=[@1]

[和文] パラメータエラーです。 COMMAND=[@1]

[説明] 実行コマンドのパラメータが不正。

@ 1 : コマンドライン文字列

[処置] ヘルプを参考にし、不正なパラメータを修正する。

[関連]

2.24 DINCM 系

DINCM001

I

[英文] Initialization command of Data Base Monitoring terminated normally.

[和文] DB 管理機能初期化コマンドが成功しました。

[説明] DB 監視機能初期化コマンドが成功した時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM089, DINCM097, DINCM142, DINCM261

DINCM002

I

[英文] Database health check daemon started.

[和文] DB ヘルスチェックデーモンが起動しました。

[説明] DB ヘルスチェックデーモンが起動された時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM005, DINCM245, DINCM246, DINCM660, DINCM661, DINCM662

DINCM005

I

[英文] Database health check daemon stopped.

[和文] DB ヘルスチェックデーモンが停止しました。

[説明] DB ヘルスチェックデーモンが停止した時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM002, DINCM245, DINCM246, DINCM660, DINCM661, DINCM662

DINCM013

I

[英文] Tpath management terminate command has already been executed.

[和文] Tパス管理機能終了コマンドは既に実行済みです。

[説明] Tパス管理機能終了コマンドで、既に終了済ということの時に表示される

[処置] 必要なし。

[関連] 終了コマンド

DINCM026

I

[英文] Start command of database health check daemon terminated normally.

[和文] データベースヘルスチェックデーモンの起動コマンドが成功しました。

[説明] データベースヘルスチェックデーモンの起動コマンドが成功した時に表示する。

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM140

DINCM027

I

[英文] Stop command of database health check daemon terminated normally.

[和文] データベースヘルスチェックデーモンの停止コマンドが成功しました。

[説明] データベースヘルスチェックデーモンの停止コマンドが成功した時に表示する。

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM141

DINCM034

E

[英文] Failed to acquire environmental variable. ENVNAME=[@1] return=@2 code=@3

[和文] 環境変数の取得に失敗しました。ENVNAME=[@1] return=@2 code=@3

[説明] 環境変数の取得に失敗した時に表示される。

@ 1 : 環境変数名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 環境変数が正しく定義されているかどうかを確認し、再度実行する。

[関連] DINCM827

DINCM038

I

[英文] Termination command of Data Base Monitoring terminated normally.

[和文] DB 管理機能終了コマンドが成功しました。

[説明] DB 監視機能終了コマンドが成功した時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM143

DINCM042

E

[英文] Failed to initialize Blockade Management function process. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞管理機能のプロセス初期化処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] 閉塞管理機能のプロセス初期化処理に失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 先に出力されているメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

DINCM043

E

[英文] Failed to initialize process of Application Dynamic Replace function. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換のプロセス初期化処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] AP 動的置換のプロセス初期化処理に失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 先に出力されているメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連] DINCM060

DINCM044

E

[英文] Failed to initialize Tpath management process. return=@1 code=@2

[和文] Tパス管理機能のプロセス初期化処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] Tパス管理機能のプロセス初期化が失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] コマンドが失敗することを表示し、オペレータの判断に委ねる。

[関連] 照会コマンド、ヘルスチェック間隔変更コマンド、TPP

DINCM047

E

[英文] Failed to initialize process of Data Base Monitoring. return=@1 code=@2

[和文] データベース管理機能のプロセス初期化処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] データベース監視機能のプロセス初期化処理に失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 先に出力されているメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連] DINCM064

DINCM060

E

[英文] Failed to terminate process of Application Dynamic Replace function. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のプロセス終了処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] AP 動的置換機能のプロセス終了処理に失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 先に出力されているメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連] DINCM043

DINCM061

E

[英文] Failed to terminate Tpath management process. return=@1 code=@2

[和文] Tパス管理機能のプロセス終了処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] Tパス管理機能のプロセス終了が失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] コマンドが失敗することを表示し、オペレータの判断に委ねる。

[関連] 照会コマンド、ヘルスチェック間隔変更コマンド、TPP

DINCM064

E

[英文] Failed to terminate process of Data Base Monitoring. return=@1 code=@2

[和文] データベース管理機能のプロセス終了処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] データベース監視機能のプロセス終了処理に失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 先に出力されているメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連] DINCM047

DINCM078

E

[英文] Failed to initialize transaction of Application Dynamic Replace function. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のトランザクション初期化処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] AP 動的置換機能のトランザクション初期化処理に失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 先に出力されているメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連] DINCM081

DINCM081

E

[英文] Failed to terminate transaction of Application Dynamic Replace function. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のトランザクション終了処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] AP 動的置換機能のトランザクション終了処理に失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 先に出力されているメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連] DINCM078

DINCM089

W

[英文] Initialization command of Data Base Monitoring not executed. code=@1

[和文] データベース管理機能開始コマンドが実行されていません。code=@1

[説明] データベース監視機能開始コマンドが実行されていない時に表示される。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] データベース監視機能開始コマンドを実行する。

[関連] DINCM001, DINCM097, DINCM142, DINCM261

DINCM092

E

[英文] Failed to initialize MultiThread Dynamic Replace process. return=@1 code=@2

[和文] マルチスレッド動的置換のプロセス初期化処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] マルチスレッド動的置換のプロセス初期化処理に失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 先に出力されるメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連] DINCM093

DINCM093

E

[英文] Failed to terminate MultiThread Dynamic Replace process. return=@1 code=@2

[和文] マルチスレッド動的置換のプロセス終了処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] マルチスレッド動的置換のプロセス終了処理に失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 先に出力されるメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連] DINCM092

DINCM097

I

[英文] Initialization command of Data Base Monitoring started. MODE=@1

[和文] DB 管理機能初期化コマンドを開始しました。MODE=@1

[説明] DB 監視機能初期化コマンドを開始した時に表示される。

@ 1 : 起動モード

cold : コールドモード

warm : ウォームモード

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM001, DINCM089, DINCM142, DINCM261

DINCM100

E

[英文] Failed to exclusive lock command. code=@1

[和文] コマンド処理の排他ロックに失敗しました。code=@1

[説明] ファイルロックに失敗した時に表示される。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 同時に利用できない機能が動作している。しばらく待ってから再度実行する。

[関連] DINCM121

DINCM101

E

[英文] Failed to exclusive lock table. return=@1 code=@2

[和文] テーブルの排他ロックに失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] ファイルロックに失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 他の処理が資源を利用しているため、しばらく待ってから再度実行する。

[関連] DINCM120

DINCM105

E

[英文] Process initialization of Data Base Monitoring has not been done. code=@1

[和文] DB 管理機能のプロセス初期化が行われていません。code=@1

[説明] DB 監視機能のプロセス初期化が行われていない時に表示される。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] DB 監視機能の初期化を行い、再度実行する。

[関連] DINCM699

DINCM106

E

[英文] Process initialization has not been done. code=@1

[和文] ノード間通信パス管理機能のプロセス初期化が行われていません。code=@1

[説明] ノード間通信パス管理機能のプロセス初期化が行われていない時に表示される。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] ノード間通信パス管理機能の初期化を行い、再度実行する。

[関連] DINCM107

DINCM107

E

[英文] Thread initialization has not been done. code=@1

[和文] ノード間通信パス管理機能のスレッド初期化が行われていません。code=@1

[説明] ノード間通信パス管理機能のスレッド初期化が行われていない時に表示される。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] ノード間通信パス管理機能の初期化を行い、再度実行する。

[関連] DINCM106

DINCM110

E

[英文] Failed to initialize transaction of Blockade Management function. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞管理機能のトランザクション初期化処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] 閉塞管理機能のトランザクション初期化処理に失敗した時に出力される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DINCM111

E

[英文] Failed to terminate transaction of Blockade Management function. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞管理機能のトランザクション終了処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] 閉塞管理機能のトランザクション終了処理に失敗した時に出力される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DINCM120

E

[英文] Failed to exclusive unlock table. return=@1 code=@2

[和文] テーブルの排他ロックの解放に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] ファイルのアンロックに失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発元に問い合わせる。

[関連] DINCM101

DINCM121

E

[英文] Failed to exclusive unlock command. code=@1

[和文] コマンド処理の排他ロックの解放に失敗しました。code=@1

[説明] ファイルアンロックに失敗した時に表示される。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発元に問い合わせる。

[関連] DINCM100

DINCM140

I

[英文] Start command of database health check daemon has already been executed. code=@1

[和文] データベースヘルスチェックデーモン起動コマンドは既に実行済みです。code=@1

[説明] データベースヘルスチェックデーモン起動コマンドが既に実行済みであった場合に表示される。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM026

DINCM141

I

[英文] Stop command of database health check daemon has already been executed.

[和文] データベースヘルスチェックデーモン停止コマンドは既に実行済みです。

[説明] データベースヘルスチェックデーモン停止コマンドが既に実行済みであった場合に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM027

DINCM142

I

[英文] Initialization command of Data Base Monitoring has already been executed.

[和文] データベース管理機能初期化コマンドは既に実行済みです。

[説明] データベース監視機能初期化コマンドが既に実行済みであった場合に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM001, DINCM089, DINCM097, DINCM261

DINCM143

I

[英文] Termination command of Data Base Monitoring has already been executed. code=@1

[和文] データベース管理機能終了コマンドは既に実行済みです。code=@1

[説明] データベース監視機能終了コマンドが既に実行済みであった場合に表示される。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM038

DINCM160

E

[英文] Failed to initialize thread of Common Initialization / termination function. return=@1 code=@2

[和文] 共通スレッド初期化処理が失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] 共通スレッド初期化処理が失敗した場合に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 先に出力されるメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

DINCM161

E

[英文] Failed to initialize thread of MultiThread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] マルチスレッド動的置換のスレッド初期化処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] マルチスレッド動的置換のスレッド初期化処理が失敗した場合に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 先に出力されるメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

DINCM162

E

[英文] Failed to initialize thread of Application Dynamic Replace function. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換機能のスレッド初期化処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] AP 動的置換機能のスレッド初期化処理が失敗した場合に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 先に出力されるメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

DINCM200

E

[英文] Failed to acquire memory. return=@1 code=@2

[和文] テーブルの取得に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] 共有メモリのアタッチに失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] システムのメモリが不足している可能性がある。しばらく待ってから再度実行する。このエラーが頻繁に発生する場合、システム管理者に問い合わせる。

[関連] DINCM220, DINCM222

DINCM220

E

[英文] Failed to detach memory. return=@1 code=@2

[和文] テーブルの解放に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] 共有メモリのデタッチに失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] ノード間通信パス管理機能の初期化コマンドが正常に終了していない可能性があるため、DIOSA が正常に立ち上がっているか確認する。

[関連] DINCM200, DINCM222

DINCM222

E

[英文] Failed to delete memory. errno=@1 code=@2

[和文] テーブルの削除に失敗しました。errno=@1 code=@2

[説明] 共有メモリの削除に失敗した時に表示される。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] ノード間通信パス管理機能の初期化コマンドが正常に終了していない可能性があるため、DIOSA が正常に立ち上がっているか確認する。

[関連] DINCM200, DINCM220

DINCM223

I

[英文] Initialization of Data Base Monitoring terminated normally.

[和文] DB 管理機能の起動処理が正常終了しました。

[説明] DB 監視機能の起動処理が正常に終了した時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM224

DINCM224

I

[英文] Termination of Data Base Monitoring terminated normally.

[和文] DB 管理機能の停止処理が正常終了しました。

[説明] DB 監視機能の停止処理が正常終了した時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM223

DINCM245

I

[英文] Database health check daemon started.

[和文] DB ヘルスチェックデーモンは正常に起動しました。

[説明] DB ヘルスチェックデーモンが正常に起動した時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM002, DINCM005, DINCM246, DINCM660, DINCM661, DINCM662

DINCM246

I

[英文] Database health check daemon stopped.

[和文] DB ヘルスチェックデーモンは正常に停止しました。

[説明] DB ヘルスチェックデーモンが正常に停止した時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM002, DINCM005, DINCM245, DINCM660, DINCM661, DINCM662

DINCM251

W

[英文] Succeeded information not exist, instead by cold start.

[和文] 引継情報が存在しないため、COLD 起動に切り替えます。

[説明] WARM 起動を指定されたが引継情報が存在しないため COLD モードで起動する時に表示される。

[処置] 必要なし。

DINCM261

E

[英文] Initialization command of Data Base Monitoring aborted.

[和文] DB 管理機能初期化コマンドが失敗しました。

[説明] DB 監視機能初期化コマンドが失敗した時に表示される。

[処置] 先に出力されるメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連] DINCM001, DINCM089, DINCM097, DINCM142

DINCM262

I

[英文] Tpath management initialization command started. mode=@1

[和文] T パス管理機能初期化コマンドを開始しました。mode=@1

[説明] T パス管理機能初期化コマンドで、プロセス初期化処理の前に表示される。

@1 : 起動モード

cold : コールドモード

warm : ウォームモード

[処置] 必要なし。

[関連] 初期化コマンド

DINCM263

I

[英文] Dynamic change command of Tpath management configuration information started.

[和文] T パス管理環境定義動的変更コマンドを開始しました。

[説明] T パス管理機能定義動的変更コマンドで、開始の時に表示される

[処置] 必要なし。

[関連] 環境定義動的変更コマンド

DINCM264

I

[英文] Tpath management terminate command started.

[和文] T パス管理終了コマンドの処理を開始しました。

[説明] T パス管理機能終了コマンドで、コマンドの処理が開始した時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] 終了コマンド

DINCM265

I

[英文] Health check interval change command started.

[和文] ヘルスチェック間隔変更コマンドの処理を開始しました。

[説明] Tパス管理機能間隔変更コマンドで、コマンドの処理を開始した時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] ヘルスチェック間隔変更コマンド

DINCM266

I

[英文] Tpath management initialization command has already been started.

[和文] Tパス管理機能初期化コマンドは既に実行済みです。

[説明] Tパス管理機能初期化コマンドで、既に初期化済ということの時に表示される

[処置] 必要なし。

[関連] 初期化コマンド

DINCM267

I

[英文] Tpath Management terminate command has already been executed.

[和文] Tパス管理機能終了コマンドは既に実行済みです。

[説明] Tパス管理機能終了コマンドで、共有メモリが既に削除済みの時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] 終了コマンド

DINCM269

I

[英文] The dynamic change processing of Tpath management configuration information terminated normally.

[和文] Tパス管理機能の環境定義動的変更処理が正常終了しました。

[説明] Tパス管理機能定義動的変更コマンドで、コマンドが正常終了した時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] 環境定義動的変更コマンド

DINCM270

I

[英文] The stop processing of Tpath management terminated normally.

[和文] Tパス管理機能の停止処理が正常終了しました。

[説明] Tパス管理機能終了コマンドで、コマンドが正常終了した時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] 終了コマンド

DINCM271

I

[英文] The change processing of health check Interval terminated normally.

[和文] ヘルスチェック間隔変更処理が正常終了しました。

[説明] ヘルスチェック間隔変更コマンドで、コマンドの処理が完了した時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] ヘルスチェック間隔変更コマンド

DINCM272

I

[英文] Tpath management initialization command terminated normally.

[和文] Tパス管理機能の初期化コマンドの処理が正常終了しました。

[説明] Tパス管理機能初期化コマンドで、コマンドが正常終了した時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] 初期化コマンド

DINCM273

I

[英文] Dynamic change command of Tpath management configuration information terminated normally.

[和文] Tパス管理環境定義動的変更コマンドの処理が正常終了しました。

[説明] Tパス管理機能定義動的変更コマンドで、動的変更コマンドが終了した時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] 環境定義動的変更コマンド

DINCM274

I

[英文] Tpath management terminate command terminated normally.

[和文] Tパス管理機能の終了コマンドの処理が正常終了しました。

[説明] Tパス管理機能終了コマンドで、コマンドが終了した時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] 終了コマンド

DINCM275

I

[英文] Health check interval change command terminated normally.

[和文] ヘルスチェック間隔変更コマンドの処理が正常終了しました。

[説明] Tパス管理機能間隔変更コマンドで、コマンドの処理が完了した時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] ヘルスチェック間隔変更コマンド

DINCM276

E

[英文] The dynamic change processing of Tpath management configuration information aborted.

[和文] Tパス管理機能の環境定義動的変更処理が異常終了しました。

[説明] Tパス管理機能定義動的変更コマンドで、動的変更コマンドが失敗した時に表示される。

[処置] 動的変更処理が失敗することを表示する。

[関連] 環境定義動的変更コマンド

DINCM277

E

[英文] The inquiry processing of Tpath status aborted.

[和文] Tパス状態照会処理が異常終了しました。

[説明] 照会コマンド中で、ノード情報の取得に失敗した時に表示される。

[処置] Tパス状態照会処理が異常終了することを表示し、オペレータの判断に委ねる。

[関連] 照会コマンド

DINCM278

E

[英文] The start processing of Tpath management aborted.

[和文] Tパス管理機能の初期化コマンドの処理が異常終了しました。

[説明] 初期化コマンド中で、コマンド異常終了の時に表示される。

[処置] 異常終了の旨を出力し、オペレータの判断に委ねる。

[関連] 初期化コマンド

DINCM279

E

[英文] The stop processing of Tpath management aborted.

[和文] Tパス管理機能の終了コマンドの処理が異常終了しました。

[説明] 終了コマンド中で、コマンド異常終了の時に表示される。

[処置] 異常終了の旨を出力し、オペレータの判断に委ねる。

[関連] 終了コマンド

DINCM280

E

[英文] Dynamic change command of Tpath management configuration information warning.

[和文] Tパス管理環境定義動的変更コマンドが警告終了しました。

[説明] Tパス管理環境定義動的変更コマンド中で、コマンド異常終了の時に表示される。

[処置] パラメータエラーの旨を出力し、オペレータの判断に委ねる。

[関連] 環境定義動的変更コマンド

DINCM281

E

[英文] The change processing of health check Interval aborted.

[和文] ヘルスチェック間隔変更コマンドの処理が異常終了しました。

[説明] 間隔変更コマンド中で、コマンド異常終了の時に表示される。

[処置] 異常終了の旨を出力し、オペレータの判断に委ねる。

[関連] ヘルスチェック間隔変更コマンド

DINCM282

E

[英文] Health check interval change command's parameter is error. I=@1 E=@2 T=@3

[和文] ヘルスチェック間隔変更コマンドのパラメータが不正です。I=@1 E=@2 T=@3

[説明] 間隔変更コマンド中で、パラメータエラーの時に表示される。

@1 : ヘルスチェック時間間隔 (正常時)

@2 : ヘルスチェック時間間隔 (異常時)

@3 : タイムアウト時間間隔

[処置] パラメータエラーの旨を出力し、オペレータの判断に委ねる。

[関連] ヘルスチェック間隔変更コマンド

DINCM283

E

[英文] Failed to read to succeeded file. KEYWORD=@1 return=@2 code=@3

[和文] 引継ぎファイルの読み込みに失敗しました。KEYWORD=@1 return=@2 code=@3

[説明] コマンド中で、引継ぎファイルの読み込みに失敗した時に表示される。

@1 : KEYWORD

@2 : リターンコード

@3 : DIOSA 内部コード

[処置] 引継ファイルの存在を確認してください、オペレータの判断に委ねる。

[関連] 初期化コマンド

DINCM284

E

[英文] Failed to write to succeeded file. KEYWORD=@1 return=@2 code=@3

[和文] 引継ぎファイルの書き込みに失敗しました。KEYWORD=@1 return=@2 code=@3

[説明] 初期化コマンド中で、引継ぎファイルの書き込みに失敗した時に表示される。

@1 : KEYWORD

@2 : リターンコード

@3 : DIOSA 内部コード

[処置] 引継ファイルの存在を確認してください、オペレータの判断に委ねる。

[関連] 初期化コマンド、環境定義動的変更コマンド

DINCM285

E

[英文] This command can be executed only for AP node and OLTP node.

[和文] このコマンドはAP ノード・OLTP ノード以外では実行できません。

[説明] コマンド中で、コマンド初期化が失敗した時に表示される。

[処置] コマンドが失敗することを表示し、正確ノードでコマンドを実行する。

[関連] 全部コマンド

DINCM286

E

[英文] Failed to acquire logical system information. code=@1

[和文] 論理システム情報取得の際にパラメータエラーが発生しました。code=@1

[説明] 初期化コマンド中で、論理システム情報取得の際にパラメータエラーが発生した時に表示される。

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] SG ファイルの内容を確認してください。

[関連] 初期化コマンド

DINCM287

E

[英文] Failed to acquire node information. return=@1 code=@2

[和文] ノード情報の取得に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] 照会コマンド中で、ノード情報の取得に失敗した時に表示される。

@1 : リターンコード

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] T パス管理機能が出力するエラーコードを元に、原因を究明し、対処する。

[関連] 照会コマンド

DINCM288

E

[英文] Failed to show help. return=@1 code=@2

[和文] ヘルプの表示に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] コマンド中で、カタログメッセージの取得処理に失敗した時に表示される。

@1 : リターンコード

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] ヘルプファイルを確認してください。

[関連] 全部コマンド

DINCM289

E

[英文] Tpath management initialization command not started. code=@1

[和文] Tパス管理機能開始コマンドが実行されていません。code=@1

[説明] Tパス管理機能定義動的变化コマンドで、Tパス管理共有メモリが存在しない時に表示される。
@1 : DIOSA 内部コード

[処置] コマンドが実行されていないことを表示し、オペレータの判断に委ねる。

[関連] 初期化コマンド

DINCM290

E

[英文] Failed to copy old shared memory to new shared memory.

[和文] 旧共有メモリから新共有メモリへのコピーが失敗しました。

[説明] 環境定義動的变化コマンド中で、旧共有メモリから新共有メモリへのコピーが失敗した時に表示される。

[処置] SG オブジェクトファイルのクローズに失敗することを表示し、オペレータの判断に委ねる。

[関連] 環境定義動的变化コマンド

DINCM291

I

[英文] The start processing of Tpath management terminated normally.

[和文] Tパス管理機能の起動処理が正常終了しました。

[説明] Tパス管理機能初期化コマンドで、コマンドが終了した時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] 初期化コマンド

DINCM292

E

[英文] The timeout interval of SG file is longer than health check interval. INTERVAL1=@1 TIMEOUT=@2 code=@3

[和文] 環境定義でタイムアウト時間間隔が INTERVAL(正常時)より大きい値が設定されています。INTERVAL1=@1 TIMEOUT=@2 code=@3

[説明]

@ 1 : SG で指定した正常時のヘルスチェックの処理間隔

@ 2 : SG で指定したヘルスチェック処理のタイムアウト時間間隔

@ 3 : 内部コード

[処置] SG (TPATHENV) で設定したタイムアウト時間間隔をヘルスチェックの処理間隔より小さい値にする。

DINCM293

E

[英文] System call failed. FUNC=@1 errno=@2

[和文] system 関数が異常終了しました。FUNC=@1 errno=@2

[説明] system 関数が異常終了した場合に出力される。

@ 1 : 関数名

@ 2 : 実行した system 関数の errno

[処置] errno から原因を特定し、原因を取り除く。

DINCM294

E

[英文] Node is not found. NODENAME=@1

[和文] ノードが存在しません。NODENAME=@1

[説明] 指定されたノード名が定義されていない場合に出力される。

@ 1 : ノード名

[処置] 指定したノード名が正しいか確認する。

DINCM295

E

[英文] The RMT connection command aborted.

[和文] RMT 接続コマンド処理が異常終了しました。

[説明] RMT 接続コマンドが異常終了した場合に出力される。

[処置] 直前に出力されているメッセージを確認する。

DINCM296

E

[英文] The child RMT connection command aborted.

[和文] RMT 接続サブコマンド処理が異常終了しました。

[説明] RMT 接続サブコマンドが異常終了した場合に出力される。

[処置] 直前に出力されているメッセージを確認する。

DINCM297

E

[英文] TPmonitor is not found. TPM_NAME=@

[和文] TP モニタが存在しません。TPM_NAME=@

[説明] 指定した TP モニタが定義されていない場合に出力される。
@ 1 : TP モニタ名

[処置] 指定した TP モニタ名が正しいか確認する。

DINCM299

E

[英文] Failed to set environmental variable. ENVNAME=@1 value=@2

[和文] 環境設定関数が異常終了しました。ENVNAME=@1 value =@2

[説明] 環境変数の設定に失敗しました。

@ 1 : 環境変数名

@ 1 : 環境変数に設定する値

[処置] メモリ不足の可能性があるので再度実行する。

DINCM300

E

[英文] Failed to create memory. return=@1 code=@2

[和文] メモリ確保に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] メモリの確保に失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] システムのメモリが不足している可能性があるため、しばらく待ってから再度実行する。このエラーが頻繁に発生する場合は、システム管理者に問い合わせる。

[関連] DINCM311

DINCM311

E

[英文] Failed to delete memory. return=@1 code=@2

[和文] メモリ解放に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] メモリの解放に失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発元に問い合わせる。

[関連] DINCM300

DINCM312

E

[英文] Failed to initialize In-memory server Information Control process. return=@1 code=@2

[和文] IIC 機能のプロセス初期化処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] TPP 中で、インメモリサーバ所在管理機能のプロセス初期化処理に失敗した時に表示される。

@ 1 : DIOSA/XTP リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP リターンコードを元に、原因を究明し、対処する。

[関連] TPP

DINCM313

E

[英文] Failed to terminate In-memory server Information Control process. return=@1 code=@2

[和文] IIC 機能のプロセス終了処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] TPP 中で、インメモリサーバ所在管理機能のプロセス終了処理に失敗する時に表示される。

@1 : DIOSA/XTP リターンコード

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP リターンコードを元に、原因を究明し、対処する。

[関連] TPP

DINCM314

E

[英文] Failed to initialize TiMer Control function process. return=@1 code=@2

[和文] タイマ制御機能のプロセス初期化処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] コマンドと TPP の中で、タイム初期化が失敗した時に表示される。

@1 : リターンコード

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] タイマ制御機能が出力するリターンコードを元に、原因を究明し、対処する。

[関連] 初期化コマンド、終了コマンド、環境定義動的変更コマンド、TPP

DINCM315

E

[英文] Failed to terminate TiMer Control function process. return=@1 code=@2

[和文] タイマ制御機能のプロセス終了処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] コマンドと TPP の中で、タイマ制御機能のプロセス終了処理に表示される。

@1 : リターンコード

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] タイマ制御機能が出力するリターンコードを元に、原因を究明し、対処する。

[関連] 初期化コマンド、終了コマンド、環境定義動的変更コマンド、TPP

DINCM316

E

[英文] Failed to initialize Message Flow Control process. return=@1 code=@2

[和文] 流量制御機能のプロセス初期化処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] コマンドと TPP の中で、流量制御機能のプロセス初期化が失敗した時に表示される。

@1 : リターンコード

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] 流量制御機能が出力するリターンコードを元に、原因を究明し、対処する。

[関連] 照会コマンド、TPP

DINCM317

E

[英文] Failed to terminate Message Flow Control process. return=@1 code=@2

[和文] 流量制御機能のプロセス終了処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] コマンドと TPP の中で、流量制御機能のプロセス終了が失敗した時に表示される。

@1 : リターンコード

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] 流量制御機能が出力するリターンコードを元に、原因を究明し、対処する。

[関連] 照会コマンド、TPP

DINCM318

E

[英文] Tpath management process initialization not executed. code=@1

[和文] Tパス管理機能のプロセス初期化が行われていません。code=@1

[説明] コマンドと TPP の中で、プロセス初期化が行われていない時に表示される。

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] プロセス初期化が行われていないことを表示し、オペレータの判断に委ねる。

[関連] ヘルスチェック間隔変更コマンド、TPP

DINCM319

E

[英文] Failed to register timer. return=@1 code=@2

[和文] タイマの登録に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] コマンド中で、タイマの登録に失敗した時に表示される。

@1 : リターンコード

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] タイマ制御機能が出力するリターンコードを元に、原因を究明し、対処する。

[関連] 初期化コマンド、環境定義動的変更コマンド

DINCM320

E

[英文] Failed to delete timer. return=@1 code=@2

[和文] タイマの削除に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] コマンド中で、タイマの削除に失敗に表示される。

@1 : リターンコード

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] タイマ制御機能が出力するリターンコードを元に、原因を究明し、対処する。

[関連] 終了コマンド、環境定義動的変更コマンド

DINCM321

I

[英文] Tpath opened. NODENAME=@1

[和文] Tパスがオープンしました。NODENAME=@1

[説明] Tパス管理機能ヘルスチェック受信TPPで、Tパス状態をチェックする時に表示される。

@1 : 相手ノード名

[処置] 必要なし。

[関連] TPP

DINCM322

I

[英文] Tpath closed. NODENAME=@1

[和文] Tパスがクローズしました。NODENAME=@1

[説明] Tパス管理機能ヘルスチェック送信 TPP とタイムアウト監視 TPP で、Tパス状態をチェックする時に表示される。

@1：相手ノード名

[処置] 必要なし。

[関連] TPP

DINCM323

I

[英文] Tpath blocked. NODENAME=@1

[和文] Tパスは閉塞しました。NODENAME=@1

[説明] Tパス管理機能ヘルスチェック送信 TPP で、Tパス状態をチェックする時に表示される。

@1：相手ノード名

[処置] 必要なし。

[関連] TPP

DINCM324

I

[英文] Health check send tpp started.

[和文] ヘルスチェック送信 TPP を起動しました。

[説明] Tパス管理機能送信 TPP で、起動は成功する時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] TPP

DINCM325

I

[英文] Health check receive tpp started.

[和文] ヘルスチェック受信 TPP を起動しました。

[説明] Tパス管理機能受信 TPP で、起動は成功する時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] TPP

DINCM326

I

[英文] Health check tpp started.

[和文] ヘルスチェック TPP を起動しました。

[説明] T パス管理機能 T P P で、起動は成功する時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] TPP

DINCM327

I

[英文] Timeout monitor tpp started.

[和文] タイムアウト監視 TPP を起動しました。

[説明] T パス管理機能タイムアウト TPP で、起動は成功する時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] TPP

DINCM328

I

[英文] Health check send tpp stopped.

[和文] ヘルスチェック送信 TPP を停止しました。

[説明] T パス管理機能送信 TPP で、起動は停止する時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] TPP

DINCM329

I

[英文] Health check receive tpp stopped.

[和文] ヘルスチェック受信 TPP を停止しました。

[説明] T パス管理機能受信 TPP で、起動は停止する時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] TPP

DINCM330

I

[英文] Health check tpp stopped.

[和文] ヘルスチェック TPP を停止しました。

[説明] Tパス管理機能ヘルスチェック TPP で、起動は停止する時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] TPP

DINCM331

I

[英文] Timeout monitor tpp stopped.

[和文] タイムアウト監視 TPP を停止しました。

[説明] Tパス管理機能タイムアウト TPP で、起動は停止する時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] TPP

DINCM332

E

[英文] Failed to initialize message buffer. code=@1

[和文] 受信バッファ領域の初期化でエラーが発生しました。code=@1

[説明] TPP 中で、受信バッファ領域の初期化でエラーが発生する時に表示される。
@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 受信バッファ領域の初期化のエラーコードを元に、原因を究明し、対処する。

[関連] TPP

DINCM333

E

[英文] Failed to initialize Tpath management transaction. return=@1 code=@2

[和文] Tパス管理機能のトランザクション初期化処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] Tパス管理機能のトランザクション初期化処理に失敗する時に表示される。
@1 : リターンコード
@2 : DIOSA 内部コード

[処置] Tパス管理機能が出力するリターンコードを元に、原因を究明し、対処する。

[関連] TPP

DINCM335

E

[英文] Failed to initialize Message Flow Control transaction. return=@1 code=@2

[和文] 流量制御機能のトランザクション初期化処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] 流量制御機能のトランザクション初期化処理に失敗する時に表示される。

@1 : リターンコード

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] 流量制御機能が出力するリターンコードを元に、原因を究明し、対処する。

[関連] TPP

DINCM336

E

[英文] Failed to terminate Message Flow Control transaction. return=@1 code=@2

[和文] 流量制御機能のトランザクション終了処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] 流量制御機能のトランザクション終了処理に失敗する時に表示される。

@1 : リターンコード

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] 流量制御機能が出力するリターンコードを元に、原因を究明し、対処する。

[関連] TPP

DINCM337

E

[英文] Failed to initialize blockade management function transaction. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞管理機能のトランザクション初期化処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] 閉塞管理機能のトランザクション初期化処理が失敗した。

@1 : リターンコード

@2 : 内部コード

[処置] リターンコードを元に原因を究明し対処する。

[関連]

DINCM338

E

[英文] Failed to terminate blockade management function transaction. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞管理機能のトランザクション終了処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] 閉塞管理機能のトランザクション終了処理が失敗した。

@1 : リターンコード

@2 : 内部コード

[処置] リターンコードを元に原因を究明し対処する。

[関連]

DINCM351

E

[英文] Failed to acquire mutex lock. return=@1 code=@2

[和文] Mutex ロックの取得に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] Mutex ロックの取得に失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] システムのメモリが不足している可能性があるため、しばらく待ってから再度実行する。このエラーが頻繁に発生する場合は、システム管理者に問い合わせる。

[関連] DINCM352

DINCM352

E

[英文] Failed to free Mutex lock. return=@1 code=@2

[和文] Mutex ロックの解放に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] Mutex ロックの解放に失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発元に問い合わせる。

[関連] DINCM351

DINCM353

E

[英文] Failed to register sub-component handler. return=@1 code=@2

[和文] サブコンハンドラ登録に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] サブコンハンドラの登録に失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 先に出力されるメッセージを元に原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連] DINCM354

DINCM354

E

[英文] Failed to unregister sub-component handler. return=@1 code=@2

[和文] サブコンハンドラ登録解除に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] サブコンハンドラの登録解除に失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 先に出力されるメッセージを元に原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連] DINCM353

DINCM355

E

[英文] Failed to initialize mutex lock. return=@1 code=@2

[和文] Mutex ロックの初期化処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] コマンドと TPP で、Mutex ロックの初期化失敗した時に表示される。

@ 1 : Mutex 初期化の戻り値

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] ロック制御機能が出力するエラーコードを元に、原因を究明し、対処する。

[関連] T パス管理機能プロセス初期化処理

DINCM356

E

[英文] Failed to delete mutex lock. return=@1 code=@2

[和文] Mutex の削除に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] コマンドと TPP で、Mutex ロックの削除に失敗した時に表示される。

@1 : Mutex 削除の戻り値

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] ロック制御機能が出力するエラーコードを元に、原因を究明し、対処する。

[関連] Tパス管理機能のプロセス終了処理

DINCM358

E

[英文] Failed to read SG object file. return=@1 code=@2

[和文] 動的変更 SG ファイルに取得処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] 動的変更を行った SG オブジェクトファイルの取得に失敗した時に表示される。

@1 : リターンコード

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] SG オブジェクトファイルが正しく作成・更新されていることを確認する。

DINCM359

E

[英文] Failed to copy shared memory. return=@1 code=@2

[和文] 旧共有メモリから新共有メモリへのコピー処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] 旧共有メモリの情報を新共有メモリにコピーする処理に失敗した時に表示される。

@1 : リターンコード

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] しばらく待ってから再度実行する。このエラーが頻繁に発生する場合は、開発元に問い合わせる。

DINCM360

E

[英文] Failed to MultiThread Dynamic Replace notify request. return=@1 code=@2

[和文] マルチスレッド動的置換機能の通知要求処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] マルチスレッド動的置換機能の通知要求処理に失敗した時に表示される。

@1 : リターンコード

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] 必要なし。ただし、本メッセージが出力されたことを契機に頻繁にエラーが発生する場合は、本メッセージが出力されたコマンドを再実行する。

DINCM362

I

[英文] Dynamic replace of Data Base Monitoring terminated normally.

[和文] データベース管理機能の SG 動的置換コマンドが正常終了しました。

[説明] データベース監視機能の SG 動的置換コマンドが正常に終了した時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM363

DINCM363

I

[英文] Dynamic replace command of Data Base Monitoring terminated normally.

[和文] データベース管理機能の SG 動的置換コマンドが成功しました。

[説明] データベース監視機能の SG 動的置換コマンドに成功した時に表示される。

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM362

DINCM364

E

[英文] Can't find instance group which corresponds to designated RGSET name. RGSETNAME=@1 code=@2

[和文] 指定されたリソースグループセットに対応するインスタンスグループが存在しません。RGSETNAME=@1
code=@2

[説明] 該当インスタンスグループが存在しない場合に表示される。

@ 1 : リソースグループセット名

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 出力されたプロセスの環境定義を確認し、リソースグループセット名が正しいか確認する。

DINCM366

I

[英文] Total database state changed. INSGROUP=@1 STATUS=@2 code=@3

[和文] 全 DB の状態が変化しました。INSGROUP=@1 STATUS=@2 code=@3

[説明] 全 DB の状態が変化する場合に表示される。

@ 1 : インスタンスグループ名

@ 2 : 状態

NORMAL : 活性

ABNORMAL : 非活性

RECONFIG : 再構成中

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 必要なし。

DINCM367

E

[英文] Can't find database instance which corresponds to default RGSET name. code=@1

[和文] デフォルトリソースグループセットに対応する DB インスタンスが存在しません。code=@1

[説明] デフォルトリソースグループセットに対応する DB インスタンスが存在しない場合に表示される。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 環境定義の CONTROL-DEFAULTRGSET 項および関連する INSTANCE 項、RGSET 項の内容を確認する。

DINCM368

E

[英文] Can't find instance group which corresponds to default RGSET name. code=@1

[和文] デフォルトリソースグループセットに対応するインスタンスグループが存在しません。code=@1

[説明] デフォルトリソースグループセットに対応するインスタンスグループが存在しない場合に表示される。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 環境定義の CONTROL-DEFAULTRGSET 項および関連する INSTANCE 項、RGSET 項、INSTANCEGRP 項の内容を確認する。

DINCM370

E

[英文] No license of DIOSA/XTP Communication Control.

[和文] DIOSA/XTP 通信制御のライセンスがありません。

[説明] DIOSA/XTP 通信制御のライセンスが無い場合に表示される。

[処置] ライセンスが登録されているか確認する。

DINCM371

E

[英文] Failed to execute shell script. ENVNAME=@1 LNODENAME=@2 INSGROUP=@3 errno=@4 code=@5

[和文] シェルスクリプトの実行に失敗しました。ENVNAME=@1 LNODENAME=@2 INSGROUP=@3 errno=@4 code=@5

[説明] DBヘルスチェックデーモンがインスタンスグループ全体DB状態の変化を検出し、環境変数で指定されたシェルスクリプトの実行を試みたが、system関数が異常終了した場合に出力される。

@1 : 環境変数名

@2 : 論理ノード名

@3 : インスタンスグループ名

@4 : UNIXのエラー番号

@5 : DIOSA 内部コード

[処置] errnoをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連] DINCM372

DINCM372

I

[英文] Succeeded in executing shell script. ENVNAME=@1 LNODENAME=@2 INSGROUP=@3

[和文] シェルスクリプトを実行しました。ENVNAME=@1 LNODENAME=@2 INSGROUP=@3

[説明] DBヘルスチェックデーモンがインスタンスグループ全体DB状態の変化を検出し、環境変数で指定されたシェルスクリプトを実行した場合に出力される。

@1 : 環境変数名

@2 : 論理ノード名

@3 : インスタンスグループ名

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM371

DINCM373

W

[英文] Failed to access to shell script. ENVNAME=@1 PATH=@2 errno=@3 code=@4

[和文] シェルスクリプトへのファイルアクセスに失敗しました。ENVNAME=@1 PATH=@2 errno=@3 code=@4

[説明] 環境変数で指定されたシェルスクリプトへのファイルアクセスに失敗した場合に出力される。

@1 : 環境変数名

@2 : 対象ファイル絶対パス

@3 : UNIXのエラー番号

@4 : DIOSA 内部コード

[処置] errnoをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連] DINCM371, DINCM372

DINCM384

E

[英文] Failed to register SG change PID. return=@1 code=@2

[和文] SG 変更通知先PID登録に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] SG 変更通知先PIDの登録処理に失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 先に出力されるメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連] DINCM385

DINCM385

E

[英文] Failed to unregister SG change PID. return=@1 code=@2

[和文] SG 変更通知先PID登録解除に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] SG 変更通知先PIDの登録解除処理に失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 先に出力されるメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連] DINCM384

DINCM398

E

[英文] Failed to initialize MultiThread Dynamic Replace service. return=@1 code=@2

[和文] マルチスレッド動的置換のサービス初期化処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] マルチスレッド動的置換のサービス初期化処理に失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 先に出力されるメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連] DINCM399

DINCM399

E

[英文] Failed to terminate MultiThread Dynamic Replace service. return=@1 code=@2

[和文] マルチスレッド動的置換のサービス終了処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] マルチスレッド動的置換のサービス終了処理に失敗した時に表示される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 先に出力されるメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連] DINCM398

DINCM400

E

[英文] File version of configuration information is invalid. SECNAME=@1 SG_REV=@2 code=@3

[和文] 環境定義ファイルのバージョンが不正です。SECNAME=@1 SG_REV=@2 code=@3

[説明] 環境定義ファイルのバージョンとプログラムのバージョンが異なる場合に表示される。

@ 1 : セクション名

@ 2 : SG バージョン(リビジョン)

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 正しいバージョンの環境定義ファイルを作成し、再度処理を実行する。

DINCM401

E

[英文] Failed to open SG object file. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトファイルのオープンに失敗しました。SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] ファイルのオープンに失敗した時に表示される。

@ 1 : セクション名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 環境定義ファイルが正しく設定してあるか確認し、再度実行する。

[関連] DINCM441, DINCM443, DINCM444

DINCM411

E

[英文] Failed to initialize common thread. code=@1

[和文] 共通スレッド初期化処理が行われていません。code=@1

[説明] 共通スレッド初期化初期が行われていない場合に出力される。

@ 1 : 内部コード

[処置] 先に出力されているメッセージから原因を特定し、異常終了したエラー原因を解消する。

DINCM412

E

[英文] Protocol error of received message. PROTOCOL=@1 code=@2

[和文] 受信した電文のプロトコルが不正です。PROTOCOL=@1 code=@2

[説明] 受信電文がTCP/IP以外のプロトコルで送信された電文の場合に出力される。

@ 1 : 受信電文のプロトコル

2 : TCPIP

12 : OLFTP

25 : OLFTPUW

@ 2 : 内部コード

[処置] TPBASE のリスナの下位プロトコルの指定を見直す。

DINCM413

E

[英文] Failed to allocate memory area. return=@1 code=@2

[和文] メモリ確保に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] メモリ確保関数が失敗した場合に出力される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードから原因を特定し、異常終了した原因を取り除く。

DINCM414

E

[英文] Failed to free memory area. return=@1 code=@2

[和文] メモリ解放に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] メモリ解放関数が失敗した場合に出力される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードから原因を特定し、異常終了した原因を取り除く。

DINCM415

W

[英文] Failed to set round robin counter. return=@1 code=@2

[和文] ラウンドロビンカウンタの設定に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] ラウンドロビンカウンタ設定関数が失敗した場合に出力される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] リターンコードから原因を特定し、原因を取り除く。

DINCM416

W

[英文] Failed to fault notify of logical terminal. RMTNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] 論理端末の障害通知に失敗しました。RMTNAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] RMT 障害通知関数が失敗した場合に出力される。

@ 1 : 論理端末名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : 内部コード

[処置] リターンコードから原因を特定し、原因を取り除く。

DINCM417

E

[英文] Failed to GetMsgTypeExit. return=@1 code=@2

[和文] 電文種別決定出口が異常終了しました。return=@1 code=@2

[説明] 電文種別決定出口が異常終了した場合に出力される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : 内部コード

[処置] 送信した電文の形式を確認する。

DINCM418

E

[英文] Loaded data length is too short. LENGTH=@1 code=@2

[和文] 指定データ長分の読み込みに失敗しました。LENGTH=@1 code=@2

[説明] 通信リスナ出口ルーチン内で TPBASE の SG である MSGHD_SIZE に指定したサイズ分読み込みできなかった場合に出力される。

@ 1 : 読み込みデータ長

@ 2 : 内部コード

[処置] 開発元に問合せる。

DINCM419

E

[英文] Failed to get transaction ID. code=@1

[和文] トランザクション ID が決定できなかったため電文を破棄します。code=@1

[説明] DIOSA ヘッダにトランザクション ID が指定されていない場合に出力される
@ 1 : 内部コード

[処置] トランザクション ID を指定して電文を送信する。

DINCM441

E

[英文] Failed to read SG object file. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトファイルの読み込みに失敗しました。SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] SG オブジェクトファイルの読み込みに失敗した場合に表示される。
@ 1 : セクション名
@ 2 : リターンコード
@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 環境定義ファイルの記述に誤りがないか確認し、再度実行する。

[関連] DINCM401, DINCM443, DINCM444

DINCM443

E

[英文] Failed to close SG object file. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] SG オブジェクトファイルのクローズに失敗しました。SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] SG オブジェクトファイルのクローズに失敗した時に表示される。
@ 1 : セクション名
@ 2 : リターンコード
@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] クローズに失敗した環境定義ファイルの状態を確認する。

[関連] DINCM401, DINCM441, DINCM444

DINCM444

E

[英文] Contents of SG object is invalid. SECNAME=@1 code=@2

[和文] SG オブジェクトの内容が不正です。SECNAME=@1 code=@2

[説明] SG オブジェクトの内容が正しくない時に表示される。

@ 1 : セクション名

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 環境定義ファイルの記述に誤りがないか確認し、再度実行する。

[関連] DINCM401, DINCM441, DINCM443

DINCM473

E

[英文] Don't define RGSET at STANDBY instance. code=@1

[和文] STANDBY なインスタンスに RGSET は定義できません。code=@1

[説明] SG の RGSET-INSTANCE 項に STANDBY インスタンスが定義されている場合に出力される。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] RGSET-INSTANCE 項に STANDBY インスタンスが定義されているか確認する。定義されている場合は ACTIVE なインスタンスを定義する。

DINCM610

E

[英文] Failed to register signal handler. SIGNAL=@1 errno=@2 code=@3

[和文] シグナルハンドラの登録に失敗しました。SIGNAL=@1 errno=@2 code=@3

[説明] シグナルハンドラの登録に失敗した場合に出力される。

@ 1 : シグナル名

@ 2 : UNIX の errno

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] システムに問題がある。errno を元に問題を取り除き、DIOSA を再起動する。

DINCM620

E

[英文] Failed to create thread. errno=@1 code=@2

[和文] スレッドの生成に失敗しました。errno=@1 code=@2

[説明] スレッドの生成に関する処理に失敗した場合に出力される。

@ 1 : UNIX の errno

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] システムのリソースが不足しているため、システムの状態や OS パラメータを確認する。

[関連] DINCM621

DINCM621

E

[英文] Failed to create thread. return=@1 code=@2

[和文] スレッドの生成に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] スレッドの生成に関する処理に失敗した場合に出力される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] システムのリソースが不足し処理遅延を起こしている可能性があるため、システムの状態や OS パラメータを確認する。

[関連] DINCM620

DINCM652

E

[英文] Failed to get own logical node information. return=@1 code=@2

[和文] 自論理ノード情報の取得に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] 自論理ノードの情報の取得に失敗した場合に出力される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA の初期化コマンドが正常に終了していない可能性がある。初期化コマンドが正常に終了しているか確認する。

DINCM657

E

[英文] Failed to get connected database name. RGSETNAME=@1 RGID=@2 return=@3 code=@4

[和文] 接続先 DB 名の取得に失敗しました。RGSETNAME=@1 RGID=@2 return=@3 code=@4

[説明] 接続先のデータベース名の取得に失敗した場合に出力される。

@ 1 : リソースグループセット名

@ 2 : RGID

@ 3 : リターンコード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] エラーメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

DINCM658

E

[英文] Failed to get blockade information. return=@1 code=@2

[和文] 閉塞情報の取得に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] 閉塞情報の取得に失敗した場合に出力される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

DINCM660

E

[英文] Failed to check database health check daemon alive. return=@1 code=@2

[和文] DB ヘルスチェックデーモンの起動状態の確認に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] DB ヘルスチェックデーモンの起動状態の確認に失敗した場合に出力される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連] DINCM002, DINCM005, DINCM245, DINCM246, DINCM661, DINCM662

DINCM661

E

[英文] Failed to start database health check daemon. return=@1 code=@2

[和文] DB ヘルスチェックデーモンの起動に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] DB ヘルスチェックデーモンの起動に失敗した場合に出力される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。
その後、DB ヘルスチェックデーモン起動コマンドにより起動を行う。

[関連] DINCM002, DINCM005, DINCM245, DINCM246, DINCM660, DINCM662

DINCM662

E

[英文] Failed to stop database health check daemon. return=@1 code=@2

[和文] DB ヘルスチェックデーモンの停止処理に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] DB ヘルスチェックデーモンの停止処理に失敗した場合に出力される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前のエラーメッセージをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連] DINCM002, DINCM005, DINCM245, DINCM246, DINCM660, DINCM661

DINCM699

E

[英文] Can't terminate process of Data Base Monitoring because of existence of active thread. code=@1

[和文] 稼働スレッドが存在しているため、DB 管理機能のプロセス終了処理を実行できません。code=@1

[説明] 稼働中のヘルスチェックデーモンが存在した場合に出力される。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM105

DINCM728

E

[英文] Received illegal message. TYPE=0x@1 code=@2

[和文] 不正な電文を受信しました。TYPE=0x@1 code=@2

[説明] 不正な電文を受信した場合に出力される。

@ 1 : 受信した電文の電文形式

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 必要なし。

DINCM761

E

[英文] Failed to get process information. return=@1 errno=@2 code=@3

[和文] プロセス情報の取得に失敗しました。return=@1 errno=@2 code=@3

[説明] プロセス情報の取得に失敗した場合に出力される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DINCM770

E

[英文] System call failed. FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[和文] システムコールに失敗しました。FUNC=@1 errno=@2 code=@3

[説明] システムコール関数が失敗した場合に出力される。

@ 1 : システムコール関数名

@ 2 : UNIX の errno

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] errno からエラー原因を調べて取り除く。

DINCM790

E

[英文] All database instances are impossible to use. code=@1

[和文] 全ての DB インスタンスが使用不可能です。code=@1

[説明] 全ての DB インスタンスが使用できない場合に出力される。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] データベースの稼動状態を確認する。

DINCM791

E

[英文] Can't find designated RGSET name. RGSETNAME=@1 code=@2

[和文] 指定されたリソースグループセット名が見つかりません。RGSETNAME=@1 code=@2

[説明] 指定されたリソースグループセット名が見つからなかった場合に出力される。

@ 1 : 指定されたリソースグループセット名

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 出力されたプロセスの環境定義を確認し、リソースグループセット名が正しいか確認する。

DINCM793

E

[英文] Relevant RGID is not defined in DBCTRL section of SG object. RGID=@1 code=@2

[和文] 該当するRGIDがDBCTRLに定義されていません。RGID=@1 code=@2

[説明] 該当するRGIDがSGに存在しない場合に出力される。

@ 1 : RGID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 指定したRGIDとDBCTRL節のRGIDに不一致が無いか確認する。

DINCM796

E

[英文] Failed to call function of database connect EXIT. return=@1 code=@2

[和文] データベース接続出口関数の呼び出しに失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] データベース接続出口関数の呼び出しに失敗した場合に出力させる。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] DBCTRL節に正しくCONNECTEXITが定義されていることを確認する。

[関連] DINCM797

DINCM797

E

[英文] Function of database connect EXIT failed. return=@1 code=@2

[和文] データベース接続出口関数でエラーが発生しました。return=@1 code=@2

[説明] データベース接続出口関数でエラーが発生した場合に出力される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードをもとにエラー原因の特定と解消を行う。

[関連] DINCM796

DINCM799

E

[英文] Failed to connect database. sqlcode=@1 SQLERRMC=[@2] code=@3

[和文] DB 接続処理でエラーが発生しました。sqlcode=@1 SQLERRMC=[@2] code=@3

[説明] DB 接続処理でエラーが発生した場合に出力される。

@ 1 : Oracle から返却された sqlcode

@ 2 : Oracle から返却されたエラーメッセージ

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] Oracle の sqlcode とエラーメッセージをもとにエラーの原因を取り除く。

DINCM810

E

[英文] Failed to execute SQL. sqlcode=@1 SQLERRMC=[@2] code=@3

[和文] SQL の実行でエラーが発生しました。sqlcode=@1 SQLERRMC=[@2] code=@3

[説明] SQL の実行でエラーが発生した場合に出力される。

@ 1 : Oracle から返却された sqlcode

@ 2 : Oracle から返却されたエラーメッセージ

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] Oracle のマニュアルを参照し、詳細ステータスに出力されている sqlcode の対処方法に従ってエラーの原因を取り除く。

DINCM814

I

[英文] Database state changed. DBNAME=@1 STATUS=@2 code=@3

[和文] DB 状態が変化しました。DBNAME=@1 STATUS=@2 code=@3

[説明] DB 状態に変化が発生した場合に表示される。

@ 1 : データベース名

@ 2 : データベースの状態

NORMAL : 正常

ABNORMAL : 異常

RECONFIG : 再構成中

BLOCK : 閉塞中

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM366, DINCM817, DINCM818, DINCM819, DINCM820, DINCM821, DINCM823, DINCM824

DINCM815

E

[英文] Failed to register database health check daemon. return=@1 code=@2

[和文] データベースヘルスチェックデーモンの監視登録に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] データベースヘルスチェックデーモンの監視登録で異常終了をした場合に出力される。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA の初期化処理が正常に終了していない可能性があるため、DIOSA の初期化処理が正常に終了しているか確認する。

DINCM817

I

[英文] Socket state of database health check changed. DBNAME=@1 STATUS=@2 code=@3

[和文] DB ヘルスチェックの通信状態が変化しました。DBNAME=@1 STATUS=@2 code=@3

[説明] DB ヘルスチェックの通信状態が変化した場合に出力される。

@ 1 : データベース名

@ 2 : 変化後の通信状態

NORMAL : 正常

ABNORMAL : 異常

RETRY : リトライ中

BLOCK : 閉塞中

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM366, DINCM814, DINCM818, DINCM819, DINCM820, DINCM821, DINCM823, DINCM824

DINCM818

I

[英文] SQL state of database health check changed. DBNAME=@1 STATUS=@2 code=@3

[和文] DB ヘルスチェックの実表更新状態が変化しました。 DBNAME=@1 STATUS=@2 code=@3

[説明] DB ヘルスチェックの実表更新状態が変化した場合に出力される。

@ 1 : データベース名

@ 2 : 変化後の実表更新状態

NORMAL : 正常

ABNORMAL : 異常

RETRY : リトライ中

BLOCK : 閉塞中

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 実表更新状態が ABNORMAL に変更された場合は、本メッセージ出力前に DINCM810 のメッセージが出力されているかどうかを確認する。

DINCM810 のメッセージが出力されている場合、その出力内容を元に原因を取り除く。

DINCM810 のメッセージが出力されていない場合、Oracle から応答が返却されずタイムアウトしているため、Oracle のログを確認し原因を取り除く。

[関連] DINCM366, DINCM810, DINCM814, DINCM817, DINCM819, DINCM820, DINCM821, DINCM823, DINCM824

DINCM819

I

[英文] SMON state of database health check changed. DBNAME=@1 STATUS=@2 code=@3

[和文] DB ヘルスチェックの SMON 監視状態が変化しました。 DBNAME=@1 STATUS=@2 code=@3

[説明] DB ヘルスチェックの SMON 監視状態が変化した場合に出力される。

@ 1 : データベース名

@ 2 : 変化後の SMON 監視状態

NORMAL : 正常

ABNORMAL : 異常

RETRY : リトライ中

BLOCK : 閉塞中

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM366, DINCM814, DINCM817, DINCM818, DINCM820, DINCM821, DINCM823, DINCM824

DINCM820

I

[英文] Act/Standby state of database changed. DBNAME=@1 STATUS=@2 code=@3

[和文] DB の稼動/待機状態が変化しました。 DBNAME=@1 STATUS=@2 code=@3

[説明] DB の稼動/待機状態が変化した場合に出力される。

@ 1 : データベース名

@ 2 : 変化後の稼動/待機状態

ACTIVE : 稼働中

STANDBY : 待機中

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM366, DINCM814, DINCM817, DINCM818, DINCM819, DINCM821, DINCM823, DINCM824

DINCM821

I

[英文] RGSET changed. RGSETNAME=@1 BEFORE=@2 AFTER=@3 code=@4

[和文] RGSET が移動しました。 RGSETNAME=@1 BEFORE=@2 AFTER=@3 code=@4

[説明] リソースグループセットで使用するデータベースが変更された場合に出力される。

@ 1 : リソースグループセット名

@ 2 : 移動前のデータベース名

@ 3 : 移動後のデータベース名

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM366, DINCM814, DINCM817, DINCM818, DINCM819, DINCM820, DINCM823, DINCM824

DINCM823

I

[英文] Request-generation number changed. DBNAME=@1 NUMBER=@2 code=@3

[和文] 要求世代番号が変化しました。 DBNAME=@1 NUMBER=@2 code=@3

[説明] 要求世代番号が変化した場合に出力される。

@ 1 : データベース名

@ 2 : 変化後の要求世代番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM366, DINCM814, DINCM817, DINCM818, DINCM819, DINCM820, DINCM821, DINCM824

DINCM824

I

[英文] Connect-generation number changed. DBNAME=@1 NUMBER=@2 code=@3

[和文] 接続世代管理番号が変化しました。DBNAME=@1 NUMBER=@2 code=@3

[説明] 接続世代管理番号が変化した場合に出力される。

@ 1 : データベース名

@ 2 : 変化後の接続世代管理番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 必要なし。

[関連] DINCM366, DINCM814, DINCM817, DINCM818, DINCM819, DINCM820, DINCM821, DINCM823

DINCM825

I

[英文] Blockade state change command executed because of fault detection. LNODENAME=@1

[和文] 障害を検出したため、DB ノード閉塞コマンドを実行しました。LNODENAME=@1

[説明] DB ヘルスチェックデーモンがDBの障害を検出し、当該DBノードを閉塞した場合に出力される。

@ 1 : 閉塞対象のDBノード名

[処置] DBの障害復旧後に閉塞状態変更コマンドで当該DBノードを閉塞解除するとDBが使用可能になる。

[関連] DINCM826

DINCM826

E

[英文] Failed to execute blockade state change command. LNODENAME=@1 return=@2 errno=@3 code=@4

[和文] DB ノード閉塞コマンドの実行に失敗しました。LNODENAME=@1 return=@2 errno=@3 code=@4

[説明] DB ヘルスチェックデーモンがDBの障害を検出し、当該DBノードを閉塞しようとしたが、system関数が異常終了した場合に出力される。

@ 1 : 閉塞対象のDBノード名

@ 2 : system関数のリターンコード

@ 3 : UNIXのエラー番号

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] errnoをもとに原因を特定し、エラー原因を解消する。

[関連] DINCM825

DINCM827

W

[英文] Set value of environment variable is invalid. ENVNAME=@1 VALUE=@2 code=@3

[和文] 環境変数の設定値が不正です。ENVNAME=@1 VALUE=@2 code=@3

[説明] 指定されている環境変数の設定値が不正である。既定値で動作する。

@ 1 : 環境変数名

@ 2 : 設定値

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 設定値を修正する。

[関連] DINCM034

DINCM828

E

[英文] Retry count of blockade state change command overflowed. RETRYCNT=@1 code=@2

[和文] DB ノードの閉塞処理がリトライオーバーしました。RETRYCNT=@1 code=@2

[説明] DB ヘルスチェックデーモンがDBの障害を検出した際に実行する閉塞処理がリトライオーバーした。

@ 1 : リトライ回数

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 閉塞の失敗理由（別途メッセージが出力される）を調査し、手動で閉塞状態変更コマンドを実行する。

DINCM829

E

[英文] Failed to acquire time. errno=@1 code=@2

[和文] 時刻の取得に失敗しました。errno=@1 code=@2

[説明] システム時刻取得のための関数実行に失敗した。処理は継続される。

@ 1 : gettimeofday()関数実行時のerrnoの値

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] システム時刻の取得失敗の原因をerrnoから特定し、エラー原因を解消する。

DINCM841

E

[英文] Failed to rollback database. sqlcode=@1 SQLERRMC=[@2] code=@3

[和文] DB の ROLLBACK 処理に失敗しました。sqlcode=@1 SQLERRMC=[@2] code=@3

[説明] DB テーブルの ROLLBACK に失敗した場合に出力される。

@ 1 : Oracle から返却された sqlcode

@ 2 : Oracle から返却されたエラーメッセージ

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージ内容を開発元に連絡する。

[関連] DINCM842

DINCM842

E

[英文] Failed to commit database. sqlcode=@1 SQLERRMC=[@2] code=@3

[和文] DB の COMMIT 処理に失敗しました。sqlcode=@1 SQLERRMC=[@2] code=@3

[説明] DB テーブルの COMMIT に失敗した場合に出力される。

@ 1 : Oracle から返却された sqlcode

@ 2 : Oracle から返却されたエラーメッセージ

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージ内容を開発元に連絡する。

[関連] DINCM841

DINCM963

E

[英文] Can't find designated node name. LNODONAME=@1 code=@2

[和文] 指定したノード名は存在しません。LNODONAME=@1 code=@2

[説明] 指定したノード名が存在しなかった場合に出力される。

@ 1 : 論理ノード名

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 特定ノード宛の電文送信に失敗した。指定された論理ノードが環境定義に定義されているか確認する。

DINCM966

E

[英文] Please execute this processing on AP, OLTP, or DB node. LNODETYPE=@1 code=@2

[和文] この処理はAP ノード・OLTP ノード・DB ノード以外では実行できません。LNODETYPE=@1 code=@2

[説明] 処理を実行するノード種別に誤りがある場合に表示される。

@ 1 : 処理を実行したノードのノード種別

1 : AP ノード

2 : DB ノード

4 : OLTP ノード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 適切なノードで処理を実行する。

[関連] DINCM967, DINCM969

DINCM967

E

[英文] Please execute this command on AP or OLTP node. LNODETYPE=@1 code=@2

[和文] このコマンドはAP ノード・OLTP ノード以外では実行できません。LNODETYPE=@1 code=@2

[説明] コマンドを実行するノード種別に誤りがある場合に表示される。

@ 1 : 処理を実行したノードのノード種別

1 : AP ノード

2 : DB ノード

4 : OLTP ノード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 適切なノードでコマンドを実行する。

[関連] DINCM966, DINCM969

DINCM969

E

[英文] Please execute this command on AP, OLTP or DB node. code=@1

[和文] このコマンドはAP ノード・OLTP ノード・DB ノード以外では実行できません。code=@1

[説明] コマンドを実行するノード種別に誤りがある場合に表示される。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 適切なノードでコマンドを実行する。

[関連] DINCM966, DINCM967

2.25 DIOPS 系

DIOPS023

E

[英文] Failed to initialize thread to receive in operation statistics daemon. code=@1

[和文] 稼動統計デーモン受信スレッド初期化処理が異常終了しました。 code=@1

[説明] 稼動統計デーモン受信スレッド初期化処理が異常終了した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS024

E

[英文] Failed to initialize thread to edit in operation statistics daemon. code=@1

[和文] 稼動統計デーモン編集スレッド初期化処理が異常終了しました。 code=@1

[説明] 編集スレッド初期化処理でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS025

E

[英文] Failed to initialize thread to acquire SG in operation statistics daemon. code=@1

[和文] 稼動統計デーモン環境定義取得スレッド初期化処理が異常終了しました。 code=@1

[説明] 環境定義取得スレッドの初期化処理でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS026

E

[英文] Failed to initialize thread to flush in operation statistics daemon. code=@1

[和文] 稼動統計デーモンフラッシュスレッド初期化処理が異常終了しました。 code=@1

[説明] フラッシュスレッドの初期化処理でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS027

E

[英文] Failed to initialize thread to write file in operation statistics daemon. code=@1

[和文] 稼動統計デーモンファイル出力スレッド初期化処理が異常終了しました。 code=@1

[説明] ファイル出力スレッドの初期化処理でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS028

E

[英文] Failed to initialize thread to terminate in operation statistics daemon. code=@1

[和文] 稼動統計デーモン終了スレッド初期化処理が異常終了しました。 code=@1

[説明] 終了スレッドの初期化処理でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS031

E

[英文] Failed to acquire SG object. code=@1

[和文] 環境定義オブジェクト取得関数が異常終了しました。 code=@1

[説明] 環境定義オブジェクト取得処理でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS032

E

[英文] Failed to open to SG object file. return=@1 code=@2

[和文] SG オブジェクトファイルオープン関数が異常終了しました。 return=@1 code=@2

[説明] 環境定義情報の取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS033

E

[英文] Failed to read to SG object file. return=@1 code=@2

[和文] SG オブジェクトレコード取得関数が異常終了しました。 return=@1 code=@2

[説明] 環境定義情報の取得に失敗しました。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS034

E

[英文] Failed to close to SG object file. return=@1 code=@2

[和文] SG オブジェクトファイルクローズ関数が異常終了しました。 return=@1 code=@2

[説明] 環境定義情報ファイルのクローズに失敗しました。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS039

E

[英文] Failed to initialize process of DIOSA common function. return=@1 code=@2

[和文] 共通プロセス初期化関数が異常終了しました。 return=@1 code=@2

[説明] 共通機能のプロセス初期化処理でエラーが発生しました。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS040

E

[英文] Failed to initialize thread of DIOSA common function. return=@1 code=@2

[和文] 共通スレッド初期化関数が異常終了しました。 return=@1 code=@2

[説明] 共通機能のスレッド初期化処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS041

E

[英文] Failed to terminate process of DIOSA common function. return=@1 code=@2

[和文] 共通プロセス終了関数が異常終了しました。 return=@1 code=@2

[説明] 共通機能のプロセス終了処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS042

E

[英文] Failed to terminate thread of DIOSA common function. return=@1 code=@2

[和文] 共通スレッド終了関数が異常終了しました。 return=@1 code=@2

[説明] 共通機能のスレッド終了処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS043

E

[英文] Failed to lock. return=@1 code=@2

[和文] ロック取得関数が異常終了しました。 return=@1 code=@2

[説明] ロック処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS045

E

[英文] Failed to unlock. code=@1 return=@2

[和文] ロック解放関数が異常終了しました。 code=@1 return=@2

[説明] ロック解放処理でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : リターンコード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS048

E

[英文] Failed to allocate memory. return=@1 code=@2

[和文] メモリ割り当て関数が異常終了しました。 return=@1 code=@2

[説明] メモリ割り当て処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS049

E

[英文] Failed to free memory. code=@1

[和文] メモリ解放関数が異常終了しました。 code=@1

[説明] メモリ解放処理でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS054

E

[英文] Failed to acquire header of operation statistics file. code=@1

[和文] 稼動統計ファイルヘッダ取得処理関数が異常終了しました。 code=@1

[説明] 稼動統計ファイルの読み込みに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS055

E

[英文] Failed to acquire strings of date. code=@1

[和文] 日時文字列取得関数が異常終了しました。 code=@1

[説明] 日時文字列取得処理でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS057

E

[英文] Failed to acquire node information. code=@1 return=@2

[和文] ノード情報取得関数が異常終了しました。 code=@1 return=@2

[説明] ノード情報取得処理でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : リターンコード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS058

E

[英文] Failed to register Daemon Alive Monitoring. code=@1 return=@2

[和文] デーモン死活監視機能登録関数が異常終了しました。 code=@1 return=@2

[説明] 死活監視登録処理でエラーが発生しました。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : リターンコード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS059

E

[英文] Failed to release registration of Daemon Alive Monitoring. code=@1 return=@2

[和文] デーモン死活監視機能削除関数が異常終了しました。 code=@1 return=@2

[説明] 死活監視削除処理でエラーが発生しました。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : リターンコード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS060

E

[英文] Failed to initialize process after fork. return=@1 code=@2

[和文] fork 後共通プロセス初期化関数が異常終了しました。 return=@1 code=@2

[説明] 共通機能の fork 後プロセス初期化処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS061

E

[英文] Failed to start Daemon Alive Monitoring. code=@1 return=@2

[和文] デーモン死活監視機能監視開始関数が異常終了しました。 code=@1 return=@2

[説明] デーモン死活監視機能の監視開始処理でエラーが発生しました。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : リターンコード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS100

E

[英文] Failed to execute FTP command. code=@1 MESSAGE=@2

[和文] FTP コマンドが失敗しました。 code=@1 MESSAGE=@2

[説明] FTP コマンドが失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : FTP のエラーメッセージ

[処置] FTP のエラーメッセージに異常となった情報が出力されるので、その内容に従う。

DIOPS101

E

[英文] Command is already running. code=@1 COMMAND=@2

[和文] コマンドが既に起動しています。 code=@1 COMMAND=@2

[説明] コマンドが二重起動された。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : コマンド名

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS102

W

[英文] No license. code=@1

[和文] ライセンスがありません。 code=@1

[説明] ライセンスが無いため機能を利用できない。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS104

E

[英文] Failed to create process. code=@1 errno=@2

[和文] プロセス生成に失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] 稼動統計デーモンの起動に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS105

W

[英文] Failed to wait process. code=@1 errno=@2

[和文] プロセスの待ち合わせに失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] 稼動統計デーモンプロセスからの応答待ちが失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS106

E

[英文] Failed to start operation statistics daemon. code=@1

[和文] 稼動統計デーモンの生成に失敗しました。 code=@1

[説明] 稼動統計デーモンの起動中にプロセスが異常終了した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS107

I

[英文] Operation statistics daemon is already running. code=@1

[和文] 稼動統計デーモンが既に起動しています。 code=@1

[説明] 稼動統計デーモンが既に起動している。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS110

E

[英文] Failed to allocate memory of table. code=@1 errno=@2

[和文] テーブル領域確保に失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] テーブル領域確保に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS111

E

[英文] Logical error. code=@1

[和文] 論理エラーです。 code=@1

[説明] 内部エラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIOPS114

E

[英文] Illegal message type received. code=@1

[和文] 不正な電文種別を受信しました。 code=@1

[説明] 稼動統計デーモンまたはコマンドが不正な電文を受信した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] コマンドの場合、意図していた処理が行われているか確認する。再度同じ処理を行い当メッセージが出力される場合は、稼動統計デーモンを再起動する。

DIOPS115

E

[英文] Specified file is not merge file. code=@1

[和文] マージファイルのみ入力可能です。 code=@1

[説明] 編集コマンドでマージファイルでないファイルを指定した。

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 編集コマンドにマージファイルを指定する。

DIOPS116

E

[英文] Failed to open pipe stream. errno=@1 code=@2

[和文] パイプストリームオープンに失敗しました。 errno=@1 code=@2

[説明] パイプストリームオープンに失敗した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS117

E

[英文] Failed to close pipe stream. code=@1 errno=@2

[和文] パイプストリームクローズに失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] パイプストリームクローズに失敗した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS118

W

[英文] Waiting process is time-out. code=@1 errno=@2

[和文] プロセスの待ち合わせがタイムアウトしました。 code=@1 errno=@2

[説明] 稼動統計デーモンプロセスからの応答待ちでタイムアウトした。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] 稼動統計デーモンが起動しているか確認する。

DIOPS119

E

[英文] setsid function failed. code=@1 errno=@2

[和文] 端末との切り離しに失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] setsid システムコールでエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS121

W

[英文] Operation statistics daemon is terminating. code=@1

[和文] 稼動統計デーモンは現在終了処理中です。 code=@1

[説明] 稼動統計デーモンの終了処理中に終了要求が発行された。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS122

E

[英文] Failed to acquire operation statistics process common table. code=@1

[和文] 稼動統計プロセス共通テーブルの取得に失敗しました。 code=@1

[説明] 稼動統計プロセス共通テーブルの取得に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 稼動統計初期化処理を再度行う。

DIOPS123

E

[英文] Failed to acquire date. code=@1 errno=@2

[和文] 日時の取得に失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] 日時の取得処理が失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] 稼動統計デーモンプロセスで発生した場合、デーモン死活監視機能により稼動統計デーモンが再起動されるため、処置の必要はない。

その他のプロセスで発生した場合、プロセスを再起動する。

DIOPS124

E

[英文] Initialize process function not executed. return=@1 code=@2

[和文] 共通初期化処理が完了していません。 return=@1 code=@2

[説明] バッチ AP 制御、CO 制御サーバのアプリケーション以外の環境でユーザ情報登録関数が実行された。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] ユーザ情報登録関数の使用方法を確認する。

DIOPS125

E

[英文] Failed to acquire performance of CPU. code=@1 errno=@2

[和文] CPU 性能情報の取得に失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] CPU 性能情報の取得処理 (pstat_getproc) が失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS126

E

[英文] Failed to change SIGPIPE. code=@1 errno=@2

[和文] SIGPIPE の変更に失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] SIGPIPE の変更に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS127

E

[英文] Failed to lock mutex. code=@1 errno=@2

[和文] MUTEX ロックの取得に失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] MUTEX ロックの取得に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] デーモン死活監視機能により稼動統計デーモンが再起動されるため、処置の必要はない。。再起動しても問題が解消されない場合、原因を UNIX のエラー番号から特定し、エラー原因を解消する。

DIOPS128

E

[英文] Failed to unlock mutex. code=@1 errno=@2

[和文] MUTEX ロックの解放に失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] MUTEX ロックの解放に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] デーモン死活監視機能により稼動統計デーモンが再起動されるため、処置の必要はない。。再起動しても問題が解消されない場合、原因を UNIX のエラー番号から特定し、エラー原因を解消する。

DIOPS129

I

[英文] Operation statistics daemon is already stopped. code=@1

[和文] 稼動統計デーモンは停止済みです。 code=@1

[説明] 稼動統計デーモンが停止している状態で停止コマンドを実行した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS200

E

[英文] No gather directory for FTP, or no access authority of the directory. code=@1 DIR=@2 errno=@3

[和文] FTP 用収集ディレクトリが存在しないか、アクセス権がありませんでした。 code=@1 DIR=@2 errno=@3

[説明] 指定したディレクトリが間違っている。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ディレクトリパス

@ 3 : UNIX のエラー番号

[処置] @ 2 のディレクトリが存在するか、書込み権限があるかを確認する。

DIOPS201

E

[英文] No gather directory, or no access authority of the directory. code=@1 DIR=@2 errno=@3

[和文] 収集ディレクトリが存在しないか、アクセス権がありませんでした。 code=@1 DIR=@2 errno=@3

[説明] 指定したディレクトリが間違っている。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ディレクトリパス

@ 3 : UNIX のエラー番号

[処置] @ 2 のディレクトリが存在するか、書込み権限があるかを確認する。

DIOPS202

E

[英文] Failed to open to catalog file. code=@1 file=@2

[和文] カタログファイルのオープンに失敗しました。 code=@1 file=@2

[説明] カタログファイルのオープンに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : カタログファイル名

[処置] @ 2 のカタログファイルが存在するか確認する。

DIOPS203

W

[英文] Failed to close to catalog file. code=@1

[和文] カタログファイルのクローズに失敗しました。 code=@1

[説明] カタログファイルのクローズに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS204

E

[英文] Failed to open to operation statistics file. code=@1 file=@2 errno=@3

[和文] 稼動統計ファイルのオープンに失敗しました。 code=@1 file=@2 errno=@3

[説明] 稼動統計ファイルのオープンに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : 稼動統計ファイルパス

@ 3 : UNIX のエラー番号

[処置] @ 2 の稼動統計ファイルに書込み権限を設定する。

DIOPS205

E

[英文] Failed to read to operation statistics file. code=@1 errno=@2

[和文] 稼動統計ファイルの読み込みに失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] 稼動統計ファイルの読み込みに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] 稼動統計ファイル格納ディレクトリまたは収集ディレクトリ内に稼動統計ファイル以外のファイルがないか確認する。

DIOPS206

E

[英文] Failed to copy operation statistics file. code=@1 COMMAND=@2 errno=@3

[和文] 稼動統計ファイルのコピーに失敗しました。 code=@1 COMMAND=@2 errno=@3

[説明] 稼動統計ファイルのコピーに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : コピーコマンド

@ 3 : UNIX のエラー番号

[処置] @ 2 のコピーコマンドに間違いがないか確認する。

DIOPS207

E

[英文] Failed to open to output file. code=@1 file=@2 errno=@3

[和文] 出力ファイルのオープンに失敗しました。 code=@1 file=@2 errno=@3

[説明] 指定した出力ファイルのオープンに失敗しました。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : 出力ファイルパス

@ 3 : UNIX のエラー番号

[処置] @2 の出力ファイルが書き込み可能か確認する。書き込みできない場合、書き込み権限を設定するか、別ファイルを指定する。

DIOPS209

W

[英文] Failed to delete socket file. code=@1 file=@2 errno=@3

[和文] ソケットファイルの削除に失敗しました。 code=@1 file=@2 errno=@3

[説明] ソケットファイルの削除に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ソケットファイルパス

@ 3 : UNIX のエラー番号

[処置] @2 のソケットファイルが削除可能か確認する。

DIOPS210

E

[英文] Failed to close to operation statistics file. code=@1 errno=@2

[和文] 稼動統計ファイルのクローズに失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] 稼動統計ファイルのクローズに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] 稼動統計ファイルが壊れている可能性があるのでファイル状態を確認する。

DIOPS211

E

[英文] Failed to write to operation statistics file. code=@1 errno=@2

[和文] 稼動統計ファイルの書き込みに失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] ファイル書き込み処理でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS212

E

[英文] Failed to delete operation statistics file. code=@1 COMMAND=@2 errno=@3

[和文] 稼動統計ファイルの削除に失敗しました。 code=@1 COMMAND=@2 errno=@3

[説明] ファイル削除処理でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : コマンド

@ 3 : UNIX のエラー番号

[処置] @2 の削除コマンドが正しいか確認する。コマンドが正しい場合、収集ディレクトリに削除できないファイルがないかどうか確認する。

DIOPS213

E

[英文] Failed to open to directory. code=@1 DIR=@2 errno=@3

[和文] ディレクトリのオープンに失敗しました。 code=@1 DIR=@2 errno=@3

[説明] ディレクトリのオープンに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ディレクトリパス

@ 3 : UNIX のエラー番号

[処置] @2 のディレクトリが存在するか、書込み可能か確認する。

DIOPS214

E

[英文] Failed to read to directory. code=@1 errno=@2

[和文] ディレクトリの読み込みに失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] ディレクトリの読み込みに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS215

W

[英文] Failed to close to directory. code=@1 errno=@2

[和文] ディレクトリのクローズに失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] ディレクトリのクローズに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS216

W

[英文] Failed to close to output file. code=@1 errno=@2

[和文] 出力ファイルのクローズに失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] 出力ファイルのクローズに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] 出力ファイルが壊れている可能性があるのでファイル状態を確認する。

DIOPS217

E

[英文] Received message is not stop termination message. code=@1

[和文] 受信した電文は停止完了電文ではありませんでした。 code=@1

[説明] 稼動統計デーモン停止コマンドが不正な電文を受信した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 稼動統計デーモンが停止しているか確認する。また、本メッセージの前に失敗した API から異常となった情報が出力されていたら、その内容に従う。

DIOPS218

E

[英文] Failed to change file name. code=@1 file=@2 OUTFILE=@3 errno=@4

[和文] ファイル名の変更に失敗しました。 code=@1 file=@2 OUTFILE=@3 errno=@4

[説明] ファイル名の変更に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : 変更元パス

@ 3 : 変更ファイルパス

@ 4 : UNIX のエラー番号

[処置] 指定した出力ファイルパスが正しいかどうか確認し、正しいファイルを指定する。

DIOPS219

E

[英文] Failed to open to temporary file. code=@1 file=@2 errno=@3

[和文] 一時ファイルのオープンに失敗しました。 code=@1 file=@2 errno=@3

[説明] 一時ファイルのオープンに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ファイルパス

@ 3 : UNIX のエラー番号

[処置] 稼動統計収集ディレクトリに書き込み権限を設定する。または、書き込み権限のあるディレクトリを収集ディレクトリに指定する。

DIOPS220

W

[英文] Failed to close to temporary file. code=@1 errno=@2

[和文] 一時ファイルのクローズに失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] 一時ファイルのクローズに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS221

W

[英文] Failed to delete temporary file. code=@1 file=@2 errno=@3

[和文] 一時ファイルの削除に失敗しました。 code=@1 file=@2 errno=@3

[説明] 一時ファイルの削除に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ファイルパス

@ 3 : UNIX のエラー番号

[処置] @2 のファイルを直接削除する。

DIOPS222

E

[英文] Failed to seek file. code=@1 errno=@2

[和文] ファイルシークに失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] 稼動統計ファイルのファイルシークに失敗しました。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] デーモン死活監視機能により稼動統計デーモンが再起動されるため、処置の必要はない。

DIOPS223

E

[英文] Failed to acquire file descriptor. code=@1

[和文] ファイル記述子の取得に失敗しました。 code=@1

[説明] ファイル記述子の取得に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIOPS224

E

[英文] Failed to change access authority. code=@1 errno=@2

[和文] ファイルのアクセス権変更に失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] ファイルのアクセス権変更に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] 適切な特権を持つユーザーで再度実行する。

DIOPS225

E

[英文] Failed to copy file. code=@1 file=@2 OUTFILE=@3

[和文] ファイルのコピーに失敗しました。 code=@1 file=@2 OUTFILE=@3

[説明] ファイルのコピーに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : コピー元パス

@ 3 : コピー先ファイルパス

[処置] @2、@3 のファイルパスが正しいか確認する。

DIOPS226

E

[英文] Failed to read to file. code=@1 errno=@2

[和文] ファイルの読み込みに失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] ファイルの読み込み (ferror) に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIOPS227

E

[英文] Failed to write to file. code=@1 errno=@2

[和文] ファイルの書き込みに失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] ファイルの書き込み (ferror) に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIOPS228

E

[英文] Failed to open to file. code=@1 file=@2 errno=@3

[和文] ファイルのオープンに失敗しました。 code=@1 file=@2 errno=@3

[説明] ファイルのオープン (fopen) に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ファイルパス

@ 3 : UNIX のエラー番号

[処置] @2 のファイルに書き込み権限を設定して再度実行する。

DIOPS229

W

[英文] Failed to close to file. code=@1 errno=@2

[和文] ファイルのクローズに失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] ファイルのクローズに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS230

E

[英文] No operation statistics store directory, or no access authority of the directory. code=@1 DIR=@2
errno=@3

[和文] 稼動統計ファイル格納ディレクトリが存在しないか、アクセス権がありませんでした。 code=@1 DIR=
@2 errno=@3

[説明] 稼動統計ファイル格納ディレクトリが存在しないか、書込み権限がない。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ディレクトリパス

@ 3 : UNIX のエラー番号

[処置] @2 のディレクトリが存在しない場合、ディレクトリを作成するか環境定義の値を変更する。存在する場
合、書込み権限を設定する。

DIOPS231

E

[英文] Gather directory must be different from operation statistics store directory. code=@1 DIR=@2

[和文] 収集ディレクトリに、稼動統計ファイル格納ディレクトリと同一のディレクトリは指定できません。
code=@1 DIR=@2

[説明] 収集ディレクトリに格納ディレクトリと同じディレクトリを指定している。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ディレクトリパス

[処置] 環境定義の収集ディレクトリの値を変更する。または、コマンドのパラメータにディレクトリを指定する。

DIOPS232

E

[英文] Specified output file is illegal. code=@1 file=@2 errno=@3

[和文] 指定された出力ファイルが不正です。 code=@1 file=@2 errno=@3

[説明] 指定された出力ファイルに書込みできない。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ファイルパス

@ 3 : UNIX のエラー番号

[処置] 出力ファイルに書込み可能なファイルを指定する。

DIOPS300

E

[英文] Failed to create socket. code=@1 errno=@2

[和文] ソケットの生成に失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] ソケットの生成処理 (socket) でエラーが発生しました。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

12 : 使用可能なメモリーがないためソケットが作成できない

23 : 開いているファイルのシステムテーブルが満杯で、これ以上の socket () コールを受けない

24 : プロセスあたりの記述子テーブルが多い

233 : バッファ空間がないためソケットが作成できない

238 : 接続がタイムアウト

上記以外 : ソケットファイルパスが最大長を超えている

DIOPS301

E

[英文] Failed to connect. code=@1 errno=@2

[和文] コネクションの接続に失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] ソケット接続処理 (connect) でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] 稼動統計デーモンを起動する。起動している場合は、稼動統計デーモンを再起動する。

DIOPS302

E

[英文] Failed to send message. code=@1 errno=@2

[和文] 電文の送信に失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] ソケット送信処理 (send) でエラーが発生しました。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] C0 制御サーバプロセスで発生した場合、稼動統計デーモンが起動しているか確認する。

稼動統計デーモンプロセスで発生した場合、処置の必要なし。

稼動統計コマンドで発生した場合、稼動統計デーモンを再起動し、再度実行する。

DIOPS303

W

- [英文] Receiving message is time-out. code=@1
- [和文] 電文受信がタイムアウトしました。 code=@1
- [説明] ソケット受信処理がタイムアウトした。
@ 1 : DIOSA 内部コード
- [処置] 処置の必要なし。

DIOPS304

E

- [英文] Failed to wait message. code=@1 errno=@2
- [和文] 電文の受信待ちに失敗しました。 code=@1 errno=@2
- [説明] ソケット受信処理(select)でエラーが発生した。
@ 1 : DIOSA 内部コード
@ 2 : UNIX のエラー番号
- [処置] 稼動統計デーモンプロセスで発生した場合、稼動統計デーモンを再起動する。稼動統計コマンドで発生した場合は処置の必要なし。

DIOPS305

E

- [英文] Failed to receive message. code=@1 errno=@2
- [和文] 電文の受信に失敗しました。 code=@1 errno=@2
- [説明] ソケット受信処理(recv)でエラーが発生しました。
@ 1 : DIOSA 内部コード
@ 2 : UNIX のエラー番号
- [処置] 稼動統計デーモンプロセスで発生した場合、稼動統計デーモンを再起動する。稼動統計コマンドで発生した場合は処置の必要なし。

DIOPS306

E

- [英文] Failed to bind socket. code=@1 errno=@2
- [和文] ソケットのバインドに失敗しました。 code=@1 errno=@2
- [説明] ソケットファイル作成処理(bind)でエラーが発生しました。
@ 1 : DIOSA 内部コード
@ 2 : UNIX のエラー番号
- [処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS307

W

[英文] Failed to close socket. code=@1 errno=@2

[和文] ソケットのクローズに失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] ソケット接続クローズ処理でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS308

E

[英文] Failed to wait request to connect socket. code=@1 errno=@2

[和文] ソケットの接続要求待ちに失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] ソケット接続待ち処理(accept)でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] 基本的に処置の必要なし。しかし、何度もこのエラーが発生する場合は、稼動統計デーモンを再起動する。

DIOPS310

E

[英文] Failed to change socket mode. code=@1 errno=@2

[和文] ソケットの拡張処理に失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] ソケット拡張処理(fcntl)でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS312

E

[英文] Failed to listen socket. code=@1 file=@2 errno=@3

[和文] ソケットの接続受け入れに失敗しました。 code=@1 file=@2 errno=@3

[説明] ソケット接続の受け入れ準備(listen)でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : ソケットファイル名

@ 3 : UNIX のエラー番号

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS313

E

[英文] getrlimit function failed. code=@1 errno=@2

[和文] システム制限値の取得に失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] システム制限値の取得 (getrlimit) でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS403

E

[英文] Failed to get shared memory 1(valid SG information). code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[和文] 共有メモリ 1(現在有効な環境定義情報)ID の取得に失敗しました。 code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[説明] 共有メモリの取得処理 (shmget) でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : IPC キー

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS404

E

[英文] Failed to attach shared memory 1(valid SG information). code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[和文] 共有メモリ 1(現在有効な環境定義情報)のアタッチに失敗しました。 code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[説明] 共有メモリのアタッチ処理 (shmat) でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : IPC キー

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS405

W

[英文] Failed to detach shared memory 1(valid SG information). code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[和文] 共有メモリ 1(現在有効な環境定義情報)のデタッチに失敗しました。 code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[説明] 共有メモリのデタッチ処理 (shmdt) でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : IPC キー

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS406

E

[英文] Failed to get shared memory 2(SG information for dynamic replace). code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[和文] 共有メモリ 2(動的変更用環境定義情報)ID の取得に失敗しました。 code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[説明] 共有メモリの取得処理(shmget)でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : IPC キー

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS407

E

[英文] Failed to attach shared memory 2(SG information for dynamic replace). code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[和文] 共有メモリ 2(動的変更用環境定義情報)のアタッチに失敗しました。 code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[説明] 共有メモリのアタッチ処理(shmat)でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : IPC キー

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS408

W

[英文] Failed to detach shared memory 2(SG information for dynamic replace). code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[和文] 共有メモリ 2(動的変更用環境定義情報)のデタッチに失敗しました。 code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[説明] 共有メモリのデタッチ処理(shmdt)でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : IPC キー

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS409

E

[英文] Failed to get shared memory 3 (SG information for dynamic replace). code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[和文] 共有メモリ 3(動的変更用環境定義情報)ID の取得に失敗しました。 code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[説明] 共有メモリの取得処理 (shmget) でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : IPC キー

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS410

E

[英文] Failed to attach shared memory 3 (SG information for dynamic replace). code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[和文] 共有メモリ 3(動的変更用環境定義情報)のアタッチに失敗しました。 code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[説明] 共有メモリのアタッチ処理 (shmat) でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : IPC キー

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS411

W

[英文] Failed to detach shared memory 3 (SG information for dynamic replace). code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[和文] 共有メモリ 3(動的変更用環境定義情報)のデタッチに失敗しました。 code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[説明] 共有メモリのデタッチ処理 (shmdt) でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : IPC キー

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS412

E

[英文] Failed to get shared memory of IPC key which set shared memory 1(valid SG information). code=@1
errno=@2 IPCKEY=@3

[和文] 共有メモリ 1(現在有効な環境定義情報)に設定されている IPC キーの共有メモリ ID の取得に失敗しました。 code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[説明] 共有メモリの取得処理(shmget)でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード
@ 2 : UNIX のエラー番号
@ 3 : IPC キー

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS413

E

[英文] Failed to attach shared memory of IPC key which set shared memory 1(valid SG information). code=@1
errno=@2 IPCKEY=@3

[和文] 共有メモリ 1(現在有効な環境定義情報)に設定されている IPC キーの共有メモリのアタッチに失敗しました。 code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[説明] 共有メモリのアタッチ処理(shmat)でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード
@ 2 : UNIX のエラー番号
@ 3 : IPC キー

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS414

W

[英文] Failed to detach shared memory of IPC key which set shared memory 1(valid SG information). code=@1
errno=@2 IPCKEY=@3

[和文] 共有メモリ 1(現在有効な環境定義情報)に設定されている IPC キーの共有メモリのデタッチに失敗しました。 code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[説明] 共有メモリのデタッチ処理(shmdt)でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード
@ 2 : UNIX のエラー番号
@ 3 : IPC キー

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS415

E

[英文] Invalid shared memory 1 (valid SG information). code=@1 IPCKEY=@2

[和文] 共有メモリ 1 (現在有効な環境定義情報) が不正でした。 code=@1 IPCKEY=@2

[説明] 有効共有メモリの IPC キーに不正な値が入っていた。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : IPC キー

[処置] デーモン死活監視機能により稼動統計デーモンが再起動されるため、処置の必要はない。

DIOPS421

W

[英文] Failed to delete shared memory 1 (valid SG information). code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[和文] 共有メモリ 1 (現在有効な環境定義情報) の削除に失敗しました。 code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[説明] 共有メモリの削除処理 (shmctl) でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : IPC キー

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS422

W

[英文] Failed to delete shared memory 2 (SG information for dynamic replace). code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[和文] 共有メモリ 2 (動的変更用環境定義情報) の削除に失敗しました。 code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[説明] 共有メモリの削除処理 (shmctl) でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : IPC キー

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS423

W

[英文] Failed to delete shared memory 3 (SG information for dynamic replace). code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[和文] 共有メモリ 3 (動的変更用環境定義情報) の削除に失敗しました。 code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[説明] 共有メモリの削除処理 (shmctl) でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : IPC キー

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS424

E

[英文] Failed to lock shared memory for update. code=@1 errno=@2

[和文] 共有メモリ更新用ロックに失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] 共有メモリのロック処理(pthread_rwlock_wrlock)でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS425

E

[英文] Failed to unlock shared memory for update. code=@1 errno=@2

[和文] 共有メモリ更新用ロックの解放に失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] 共有メモリのロック解放処理(pthread_rwlock_unlock)でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS426

E

[英文] Failed to lock shared memory for read only. code=@1 errno=@2

[和文] 共有メモリ参照用ロックに失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明]

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS427

E

[英文] Failed to unlock shared memory for read only. code=@1 errno=@2

[和文] 共有メモリ参照用ロックの解放に失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] 共有メモリのロック解放処理(pthread_rwlock_unlock)でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS428

E

[英文] Failed to get shared memory 4(operation statistics daemon information). code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[和文] 共有メモリ 4(稼動統計デーモン情報) ID の取得に失敗しました。 code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[説明] 共有メモリの取得処理(shmget)でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード
@ 2 : UNIX のエラー番号
@ 3 : IPC キー

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS429

E

[英文] Failed to attach shared memory 4(operation statistics daemon information). code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[和文] 共有メモリ 4(稼動統計デーモン情報)のアタッチに失敗しました。 code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[説明] 共有メモリのアタッチ処理(shmat)でエラーが発生しました。

@ 1 : DIOSA 内部コード
@ 2 : UNIX のエラー番号
@ 3 : IPC キー

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS430

W

[英文] Failed to detach shared memory 4(operation statistics daemon information). code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[和文] 共有メモリ 4(稼動統計デーモン情報)のデタッチに失敗しました。 code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[説明] 共有メモリのデタッチ処理(shmdt)でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード
@ 2 : UNIX のエラー番号
@ 3 : IPC キー

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS431

W

[英文] Failed to delete shared memory 4(operation statistics daemon information). code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[和文] 共有メモリ 4(稼動統計デーモン情報)の削除に失敗しました。 code=@1 errno=@2 IPCKEY=@3

[説明] 共有メモリの削除処理でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード
@ 2 : UNIX のエラー番号
@ 3 : IPC キー

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIOPS532

E

[英文] Failed to open to catalog file. return=@1 code=@2

[和文] カタログファイルが開けませんでした。 return=@1 code=@2

[説明] カタログファイルを参照できなかった。

@ 1 : リターンコード
@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 稼動統計機能のカタログファイルを確認する。

DIOPS534

E

[英文] Operation statistics daemon start/stop command aborted.

[和文] 稼動統計デーモン起動・停止コマンドが異常終了しました。

[説明] 稼動統計デーモンの起動・停止が失敗した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS536

E

[英文] Operation statistics flush command aborted.

[和文] 稼動統計フラッシュコマンドが異常終了しました。

[説明] 稼動統計フラッシュコマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS537

E

[英文] Operation statistics SG change command aborted.

[和文] 稼動統計環境変更コマンドが異常終了しました。

[説明] 稼動統計環境変更コマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS538

E

[英文] Operation statistics gather command aborted.

[和文] 稼動統計収集コマンドが異常終了しました。

[説明] 稼動統計収集コマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS540

E

[英文] Operation statistics fput command aborted.

[和文] 稼動統計転送コマンドが異常終了しました。

[説明] 稼動統計転送コマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS541

E

[英文] Operation statistics merge command aborted.

[和文] 稼動統計マージコマンドが異常終了しました。

[説明] 稼動統計マージコマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS542

E

[英文] Operation statistics edit command aborted.

[和文] 稼動統計編集コマンドが異常終了しました。

[説明] 稼動統計編集コマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS551

I

[英文] Operation statistics daemon start/stop command started.

[和文] 稼動統計デーモン起動・停止コマンドを開始しました。

[説明] 稼動統計デーモン起動・停止処理を開始した。

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS552

I

[英文] Operation statistics daemon start/stop command terminated normally.

[和文] 稼動統計デーモン起動・停止コマンドが正常終了しました。

[説明] 稼動統計デーモンが正常に起動しました。

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS553

I

[英文] Operation statistics daemon started.

[和文] 稼動統計デーモンを開始しました。

[説明] 稼動統計デーモンを起動した。

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS554

I

[英文] Operation statistics daemon stopped.

[和文] 稼動統計デーモンを停止しました。

[説明] 稼動統計デーモンが停止された。

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS555

I

[英文] Operation statistics flush command started.

[和文] 稼動統計フラッシュコマンドを開始しました。

[説明] 稼動統計フラッシュ処理が開始された。

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS556

I

[英文] Operation statistics flush command terminated normally.

[和文] 稼動統計フラッシュコマンドが正常終了しました。

[説明] 稼動統計フラッシュ処理が正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS557

I

[英文] Operation statistics SG change command started.

[和文] 稼動統計環境変更コマンドを開始しました。

[説明] 稼動統計環境変更コマンドが開始された。

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS558

I

[英文] Operation statistics SG change command terminated normally.

[和文] 稼動統計環境変更コマンドが正常終了しました。

[説明] 稼動統計環境変更処理が正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS559

I

[英文] Operation statistics gather command started.

[和文] 稼動統計収集コマンドを開始しました。

[説明] 稼動統計収集コマンドが開始された。

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS560

I

[英文] Operation statistics gather command terminated normally. DONECOUNT=@

[和文] 稼動統計収集コマンドが正常終了しました。DONECOUNT=@

[説明] 稼動統計収集処理が正常終了した。

@ 1 : 収集が成功した論理ノード数

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS563

I

[英文] Operation statistics fput command started.

[和文] 稼動統計転送コマンドを開始しました。

[説明] 稼動統計転送コマンドが開始された。

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS564

I

[英文] Operation statistics fput command terminated normally.

[和文] 稼動統計転送コマンドが正常終了しました。

[説明] 稼動統計転送処理が正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS565

I

[英文] Operation statistics merge command started.

[和文] 稼動統計マージコマンドを開始しました。

[説明] 稼動統計マージコマンドが開始された。

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS566

I

[英文] Operation statistics merge command terminated normally.

[和文] 稼動統計マージコマンドが正常終了しました。

[説明] 稼動統計マージ処理が正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS567

I

[英文] Operation statistics edit command started.

[和文] 稼動統計編集コマンドを開始しました。

[説明] 稼動統計編集コマンドが開始された。

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS568

I

[英文] Operation statistics edit command terminated normally.

[和文] 稼動統計編集コマンドが正常終了しました。

[説明] 稼動統計編集処理が正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DIOPS569

E

[英文] Operation statistics daemon aborted.

[和文] 稼動統計デーモンが異常終了しました。

[説明] 稼動統計デーモンが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS570

W

[英文] Operation statistics gather command terminated with warning. DONECOUNT=@1 ERRCOUNT=@2

[和文] 稼動統計収集コマンドが警告終了しました。DONECOUNT=@1 ERRCOUNT=@2

[説明] 稼動統計収集コマンドが警告終了した。

@ 1 : 収集が成功した論理ノード数

@ 2 : 収集が失敗した論理ノード数

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS571

W

[英文] Failed to gather operation statistics. NODENAME=@

[和文] 稼動統計収集に失敗しました。NODENAME=@

[説明] 稼動統計の収集が失敗した。

@ 1 : 収集が失敗した論理ノード名

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS572

E

[英文] Operation statistics gather command aborted. ERRCOUNT=@1

[和文] 稼動統計収集コマンドが異常終了しました。ERRCOUNT=@1

[説明] 稼動統計収集コマンドが異常終了した。

@ 1 : 収集が失敗した論理ノード数

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS600

E

[英文] Failed to create thread to receive. code=@1 errno=@2

[和文] 受信スレッドの生成に失敗しました。code=@1 errno=@2

[説明] 受信スレッド生成処理でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] 1 プロセス内の最大スレッド数を変更し、稼動統計デーモンを再起動する。

DIOPS601

E

[英文] Failed to create thread to edit. code=@1 errno=@2

[和文] 編集スレッドの生成に失敗しました。code=@1 errno=@2

[説明] 編集スレッド生成処理でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] 1 プロセス内の最大スレッド数を変更し、稼動統計デーモンを再起動する。

DIOPS602

E

[英文] Failed to create thread to write file. code=@1 errno=@2

[和文] ファイル出力スレッドの生成に失敗しました。code=@1 errno=@2

[説明] ファイル出力スレッド生成処理でエラーが発生しました。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] 1 プロセス内の最大スレッド数を変更し、稼動統計デーモンを再起動する。

DIOPS603

E

[英文] Failed to create thread to terminate. code=@1 errno=@2

[和文] 終了処理スレッドの生成に失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] 終了スレッド生成処理でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] 1 プロセス内の最大スレッド数を変更し、稼動統計デーモンを再起動する。

DIOPS604

E

[英文] Failed to create thread to acquire SG. code=@1 errno=@2

[和文] 環境定義取得スレッドの生成に失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] 環境定義取得スレッド生成処理でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] 1 プロセス内の最大スレッド数を変更し、稼動統計デーモンを再起動する。

DIOPS605

E

[英文] Failed to create thread to flush. code=@1 errno=@2

[和文] フラッシュスレッドの生成に失敗しました。 code=@1 errno=@2

[説明] フラッシュスレッド生成処理でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] 1 プロセス内の最大スレッド数を変更し、稼動統計デーモンを再起動する。

DIOPS606

E

[英文] Receive thread aborted.

[和文] 受信スレッドが異常終了しました。

[説明] 受信スレッド内でエラーが発生したため、稼動統計デーモンが停止された

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS607

E

[英文] Edit thread aborted.

[和文] 編集スレッドが異常終了しました。

[説明] 編集スレッド内でエラーが発生したため、稼動統計デーモンが停止された

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS608

E

[英文] Output file thread aborted.

[和文] ファイル出力スレッドが異常終了しました。

[説明] ファイル出力スレッド内でエラーが発生したため、稼動統計デーモンが停止された。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS609

E

[英文] Terminate thread aborted.

[和文] 終了処理スレッドが異常終了しました。

[説明] 終了処理スレッド内でエラーが発生したため、稼動統計デーモンが停止された。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS610

E

[英文] Acquire SG thread aborted.

[和文] 環境定義取得スレッドが異常終了しました。

[説明] 環境定義取得スレッド内でエラーが発生したため、稼動統計デーモンが停止された。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS611

E

[英文] Flush thread aborted.

[和文] フラッシュスレッドが異常終了しました。

[説明] フラッシュスレッド内でエラーが発生したため、稼動統計デーモンが停止された。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DIOPS613

W

[英文] Illegal value of environment variable. ENVNAME=@1

[和文] 環境変数の設定値が不正です。ENVNAME=@1

[説明] 環境変数の設定値が不正である。

@ 1 : 環境変数名

[処置] 環境変数の設定を見直し、再起動する。

2.26 DISKL 系

DISKL501

E

[英文] Failed to create socket for daemon startup response. errno=@1 code=@2

[和文] デーモン起動応答を送受信する為のソケット生成に失敗しました。errno=@1 code=@2

[説明] デーモン起動応答待ちするためにソケット生成(socketpair)を試みたが失敗した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DISKL502

E

[英文] Failed to open alternative destination file for stdout or stderr. errno=@1 FILENAME=@2 code=@3

[和文] 標準出力または標準エラー出力の代替出力先ファイルのオープンに失敗しました。errno=@1 FILENAME=@2 code=@3

[説明] 標準出力または標準エラー出力を代替するファイルのオープン(open)を試みたが失敗した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : ファイル名

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DISKL503

E

[英文] Failed to start daemon. errno=@1 PRCNAME=@2 code=@3

[和文] デーモンの起動に失敗しました。errno=@1 PRCNAME=@2 code=@3

[説明] デーモンの起動(execvp)を試みたが失敗した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : 起動しようとしたデーモンプロセス名

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DISKL504

E

[英文] Socket API for daemon start reply reception failed. code=@1

[和文] デーモン起動応答受信の為のソケットAPIが失敗しました。code=@1

[説明] ソケットAPIが失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DISKL505

E

[英文] CLEANUP_EXIT error. code=@1

[和文] 指定された清掃EXITを実行しましたがエラーが検出されました。code=@1

[説明] デーモン起動時に指定された清掃EXITを実行したが、戻り値が正常以外であった。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 指定した清掃EXITを確認する。

DISKL506

E

[英文] Failed to initialize child process. code=@1

[和文] デーモン起動の為、子プロセスの初期化を行いましたが失敗しました。code=@1

[説明] fork 後の子プロセスでfork初期化を試みたが失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DISKL507

E

[英文] Failed to acquire process boot time. errno=@1 code=@2

[和文] 起動したプロセスの起動時刻の取得に失敗しました。errno=@1 code=@2

[説明] プロセス情報取得(pstat_getproc)を試みたが失敗した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DISKL508

E

[英文] Failed to acquire process information for survival confirmation of the start daemon. errno=@1 code=@2

[和文] 起動したデーモンの生存確認の為、プロセス情報取得を行いました但失敗しました。errno=@1 code=@2

[説明] プロセス情報取得(pstat_getproc)を試みたが失敗した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DISKL509

E

[英文] Abnormal status of the start daemon. (received an unexpected message) MSGID=@1 code=@2

[和文] 起動したデーモンの状態が異常です。(想定外のメッセージ受信) MSGID=@1 code=@2

[説明] 起動したデーモンからの応答メッセージを受信したがメッセージのメッセージ ID が想定外のものだった。

@ 1 : メッセージ ID

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。(送信元を調査する必要がある。)

DISKL510

I

[英文] Process stopped because of timeout for reply wait. RESULT=@1 PID=@2

[和文] 応答待ちタイムアウトしたのでプロセスを停止しました。RESULT=@1 PID=@2

[説明] 起動したデーモンからの応答メッセージが届かなかったがプロセスは起動していたため、停止した。

@ 1 : 強制停止した結果

SIGTERM : SIGTERM で停止

SIGKILL : SIGKILL で停止

NOTSTOP : 停止できなかった

@ 2 : プロセス ID

[処置] 停止しなかった場合のみ、起動したプロセスを確認する。

DISKL511

E

[英文] Failed to acquire process information for survival confirmation of the forced stop daemon. errno=@1 code=@2

[和文] 強制停止するデーモンの生存確認の為、プロセス情報取得を行いました但失敗しました。errno=@1 code=@2

[説明] プロセス情報取得(pstat_getproc)を試みたが失敗した。
@ 1 : UNIX のエラー番号
@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DISKL512

E

[英文] Failed to send signal to stop process. errno=@1 NAME=@2 code=@3

[和文] プロセスを停止する為のシグナル送信に失敗しました。errno=@1 NAME=@2 code=@3

[説明] シグナル送信(kill)を試みたが失敗した。
@ 1 : UNIX のエラー番号
@ 2 : 送信に失敗したシグナル(TERM または KILL)
@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DISKL513

E

[英文] Failed to register Daemon Alive Monitoring. code=@1

[和文] デーモン死活監視登録に失敗しました。code=@1

[説明] 死活監視するため登録を試みたが失敗した。
@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DISKL514

E

[英文] Failed to allocate memory to store response from the daemon startup. code=@1

[和文] 起動したデーモンからの応答を格納するメモリの確保に失敗しました。code=@1

[説明] 応答メッセージ用メモリの確保を試みたが失敗した。
@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DISKL515

E

[英文] Failed to memory release. code=@1

[和文] メモリの解放に失敗しました。code=@1

[説明] 応答メッセージ用メモリの解放を試みたが失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DISKL516

E

[英文] Failed to terminate before process start for daemon start. code=@1

[和文] デーモン起動の為、プロセス起動前に終了を行いましたが失敗しました。code=@1

[説明] 子プロセスで exec 前終了を試みましたが失敗しました。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] exec 前終了に従った処置を行う。

DISKL517

E

[英文] Failed to fork for daemon start. errno=@1

[和文] デーモン起動の為、fork を行いましたが失敗しました。errno=@1

[説明] fork を試みたが失敗した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

2.27 DISKT 系

DISKT001

E

[英文] Socket system call Failed. errno=@1 FUNC=@2 code=@3

[和文] ソケットシステムコールでエラーが発生しました。errno=@1 FUNC=@2 code=@3

[説明] ソケットのシステムコールでエラーが発生した。

@1 UNIX のエラー番号

@2 エラーが発生したソケットシステムコール

@3 DIOISA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。また、UNIX エラー番号に従い対処を行う。

[関連]

DISKT002

E

[英文] System call Failed. errno=@1 FUNC=@2 code=@3

[和文] システムコールでエラーが発生しました。errno=@1 FUNC=@2 code=@3

[説明] システムコールでエラーが発生した。

@1 UNIX のエラー番号

@2 エラーが発生したシステムコール

@3 DIOISA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。また、UNIX エラー番号に従い対処を行う。

[関連]

DISKT003

E

[英文] Failed to connection to the server. errno=@1 code=@2

[和文] サーバへの接続に失敗しました。errno=@1 code=@2

[説明] ソケットのシステムコールでエラーが発生した。

@1 UNIX のエラー番号

@2 DIOISA 内部コード

[処置] UNIX ドメインのソケットを使っている場合は、ソケットファイル名を確認する。INET ドメインのソケットを使っている場合は、ポート番号、IP アドレス等の設定と相手サーバがダウンしているかどうかを確認する。

[関連]

DISKT004

E

[英文] Failed to connection to the server. code=@1

[和文] サーバへの接続に失敗しました。code=@1

[説明] ソケットのシステムコールでエラーが発生した。
@1 DIOSA 内部コード

[処置] UNIX ドメインのソケットを使っている場合は、ソケットファイル名を確認する。INET ドメインのソケットを使っている場合は、ポート番号、IP アドレス等の設定と相手サーバがダウンしているかどうかを確認する。

[関連]

DISKT005

E

[英文] Socket system call Failed. return=@1 FUNC=@2 code=@3

[和文] ソケットシステムコールでエラーが発生しました。return=@1 FUNC=@2 code=@3

[説明] ソケットのシステムコールでエラーが発生した。
@1 システムコールのリターンコード
@2 エラーが発生したソケットシステムコール
@3 DIOSA 内部コード

[処置] 直前のメッセージに従い対処を行う。また、リターンコードに従い対処を行う。

[関連]

2.28 DISTE 系

DISTE001

I

[英文] DIOA/XTP initialization command started.

[和文] DIOA/XTP の起動処理を開始しました。

[説明] DIOA/XTP の起動処理が正常に開始した。

[処置] 処置の必要なし。

DISTE002

E

[英文] DIOA/XTP initialization command aborted. code=@1

[和文] DIOA/XTP の起動処理が異常終了しました。 code=@1

[説明] DIOA/XTP の起動処理が異常終了した。

@ 1 : DIOA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーに対処し、再起動を行う。

DISTE003

I

[英文] DIOA/XTP initialization command terminated normally.

[和文] DIOA/XTP の起動処理が正常終了しました。

[説明] DIOA/XTP の起動処理が正常に終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DISTE004

I

[英文] DIOA/XTP termination command started.

[和文] DIOA/XTP の停止処理を開始しました。

[説明] DIOA/XTP の停止処理が正常に開始した。

[処置] 処置の必要なし。

DISTE005

E

- [英文] DIOA/XTP termination command aborted. code=@1
- [和文] DIOA/XTP の停止処理が異常終了しました。 code=@1
- [説明] DIOA/XTP の停止処理が異常終了した。
@ 1 : DIOA 内部コード
- [処置] 直前に出力されているエラーに対処する。

DISTE006

I

- [英文] DIOA/XTP termination command terminated normally.
- [和文] DIOA/XTP の停止処理が正常終了しました。
- [説明] DIOA/XTP の停止処理が正常に終了した。
- [処置] 処置の必要なし。

DISTE010

I

- [英文] Initialize state reference command started.
- [和文] 起動状態管理コマンドを開始しました。
- [説明] 起動状態管理コマンドが開始された。
- [処置] 処置の必要なし。

DISTE011

E

- [英文] Initialize state reference command aborted. code=@1
- [和文] 起動状態管理コマンドが異常終了しました。 code=@1
- [説明] 起動状態管理コマンドが異常終了した。
@ 1 : DIOA 内部コード
- [処置] 直前に出力されているエラーに対処する。

DISTE012

I

[英文] Initialize state reference command terminated normally.

[和文] 起動状態管理コマンドが正常終了しました。

[説明] 起動状態管理コマンドが正常に終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DISTE013

I

[英文] Dynamic replace command started.

[和文] DIOSAMAP 動的変更コマンドを開始しました。

[説明] DIOSAMAP 動的変更コマンドが開始された。

[処置] 処置の必要なし。

DISTE014

E

[英文] Dynamic replace command aborted. code=@1

[和文] DIOSAMAP 動的変更コマンドが異常終了しました。 code=@1

[説明] DIOSAMAP 動的変更コマンドが異常終了した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーに対処する。

DISTE015

I

[英文] Dynamic replace command terminated normally.

[和文] DIOSAMAP 動的変更コマンドが正常終了しました。

[説明] DIOSAMAP 動的変更コマンドが正常に終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DISTE102

I

[英文] DIOA/XTP is already running. IPCKEY=@1

[和文] DIOA/XTP が既に起動されています。IPCKEY=@1

[説明] DIOA/XTP が既に起動されている。

@ 1 : 起動済みの共有メモリ IPCKEY

[処置] 処置の必要なし。

DISTE103

E

[英文] IPCKEY is used. IPCKEY=@1 code=@2

[和文] IPC キーが他のシステムで使用されている可能性があります。IPCKEY=@1 code=@2

[説明] IPC キーが他のシステムで既に使用されていた。

@ 1 : 共有メモリ IPCKEY

@ 2 : DIOA 内部コード

[処置] 環境定義 DIOSAMAP で指定した IPCKEY 値の確認を行い再起動する。

DISTE105

E

[英文] String length of environment variable is wrong. ENVNAME=@1 LENGTH=@2 code=@3

[和文] 環境変数に指定した文字列の文字列長が正しくありません。ENVNAME=@1 LENGTH=@2 code=@3

[説明] 環境変数の文字列長が指定サイズ以上あった。

@ 1 : 環境変数名

@ 2 : 環境変数文字列長

@ 3 : DIOA 内部コード

[処置] 環境変数を修正して DIOA/XTP を再起動する。

DISTE106

E

[英文] Failed to executed command. code=@1

[和文] コマンド処理中にエラーが発生しました。code=@1

[説明] 起動停止コマンド実行中に内部呼び出し関数でエラーが発生した。

@ 1 : DIOA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーに対処する。

DISTE107

E

[英文] Failed to access of file. DIR=@1 code=@2

[和文] ファイルまたはディレクトリのアクセスに失敗しました。DIR=@1 code=@2

[説明] ファイルまたはディレクトリにアクセス権が無い。

@ 1 : アクセス権が無いファイルもしくはディレクトリ

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] ファイル、ディレクトリにアクセス権を設定する。

DISTE108

E

[英文] Failed to permission of file. DIR=@1 code=@2

[和文] ファイルまたはディレクトリのパーミッションが誤っています。DIR=@1 code=@2

[説明] ファイルまたはディレクトリのアクセス権が誤っていた。

@ 1 : アクセス権が誤っていたファイルもしくはディレクトリ

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] ファイル、ディレクトリにアクセス権を適正なものにする。

DISTE109

E

[英文] Logical node name is not defined. LNODENAME=@1 code=@2

[和文] 指定された論理ノードに対応するノード情報が定義されていません。LNODENAME=@1 code=@2

[説明] 環境変数 DIOSA_LNODENAME で指定された論理ノード名が、DIOSAMAP 内に指定された論理ノード情報が設定されていなかった。

@ 1 : 論理ノード名

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 環境変数 DIOSA_LNODENAME の修正もしくは、DIOSAMAP の修正を行う。

DISTE110

E

[英文] Inheritance file is unconformity. Try initialize command again by cold mode. code=@1

[和文] 起動環境に不整合がありました。コールドスタートで起動し直してください。code=@1

[説明] ウォームモード起動時の起動環境に不整合が発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] コールドモードで再起動する。

DISTE111

I

[英文] DIOA/XTP is already stopping.

[和文] DIOA/XTP が既に停止されています。

[説明] DIOA/XTP が既に停止されている状態で停止コマンドを実行した。

[処置] DIOA/XTP が起動状態場合は、環境変数 DIOA_IRMROOT を見直す。
それ以外の場合は処置の必要なし。

DISTE112

E

[英文] Environment variable is not defined. ENVNAME=@1

[和文] 環境変数が定義されていません。ENVNAME=@1

[説明] 必須の環境変数が設定されていないためエラーが発生した。
@ 1 : 環境変数名

[処置] 環境変数を設定し、DIOA/XTP またはプロセスを再起動する。

DISTE114

E

[英文] Failed to open to file of configuration information. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] 環境定義情報ファイルのオープンに失敗しました。SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] 環境定義ファイル読み込み時にエラーが発生した。

@ 1 : セクション名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOA 内部コード

[処置] エラー原因を解消し、コマンドを再実行する。

DISTE115

E

[英文] Failed to read to file of configuration information. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] 環境定義情報ファイルの読み込みに失敗しました。 SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] 環境定義ファイル読み込み時にエラーが発生した。

@ 1 : セクション名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] エラー原因を解消し、コマンドを再実行する。

DISTE116

E

[英文] Failed to close to file of configuration information. SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[和文] 環境定義情報ファイルのクローズに失敗しました。 SECNAME=@1 return=@2 code=@3

[説明] 環境定義ファイルクローズ時にエラーが発生した。

@ 1 : セクション名

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] エラー原因を解消し、コマンドを再実行する。

DISTE117

E

[英文] Own node is deleted. LNODENAME=@1 code=@2

[和文] 自ノード情報が削除されました。 LNODENAME=@1 code=@2

[説明] 動的変更時に自ノードの情報が削除されていた。

@ 1 : 論理ノード名称

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSAMAP の SG ファイルを修正し、コマンドを再実行する。

DISTE118

I

[英文] Failed to warm start. Changed cold mode.

[和文] 起動コマンドの WARM 起動に失敗したため COLD で起動します。

[説明] ウォーム起動に失敗したのでコールド起動で起動した。

[処置] 処置の必要なし。

DISTE301

E

[英文] System call failed. FUNC=@1 errno=@2 DATA=@3 code=@4

[和文] システムコールでエラーが発生しました。FUNC=@1 errno=@2 DATA=@3 code=@4

[説明] システムコール呼び出しでエラーが発生した。

@ 1 : システムコール名

@ 2 : UNIX エラーコード

@ 3 : エラーデータ

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] システムコール名、UNIX エラーコードを元にエラー原因を解消する。

DISTE401

E

[英文] Execute DIOSA/XTP termination command. code=@1

[和文] DIOSA/XTP の停止処理が完了していません。code=@1

[説明] DIOSA/XTP が正しく停止されていない。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP の停止処理を行う。

DISTE402

E

[英文] Own logical system is deleted. LSYSNAME=@1 code=@2

[和文] 自論理システム情報が削除されました。LSYSNAME=@1 code=@2

[説明] 動的変更時に自論理システムの情報が削除されていた。

@ 1 : 論理システム名称

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] SYSMAP の SG ファイルを修正し、コマンドを再実行する。

DISTE403

E

[英文] Logical system name is not defined. LSYSNAME=@1 code=@2

[和文] 論理システム名に対応する論理システム情報が定義されていません。LSYSNAME=@1 code=@2

[説明] DIOSAMAP 節で定義された論理システム名が SYSMAP 節に定義されていなかった。

@ 1 : 論理システム名

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSAMAP 節または SYSMAP 節の修正を行う。

2.29 DITMC 系

DITMC001

I

[英文] Timer control daemon started. PARAM=[@1]

[和文] タイマデーモンが起動しました。 PARAM=[@1]

[説明] タイマデーモンが起動に成功した。

@ 1 : 起動パラメータ

[処置] 処置の必要なし。

DITMC002

E

[英文] Failed to start Timer control daemon. code=@1

[和文] タイマデーモンの起動に失敗しました。 code=@1

[説明] タイマデーモンの起動に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP を再起動する。

DITMC003

I

[英文] Timer control daemon stopped.

[和文] タイマデーモンが正常終了しました。

[説明] タイマデーモンが正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DITMC004

E

[英文] Timer control daemon aborted.

[和文] タイマデーモンが異常終了しました。

[説明] タイマデーモンが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC006

I

[英文] Timer control daemon is already running.

[和文] タイマデーモンは既に起動しています。

[説明] タイマデーモンが起動済みである。

[処置] 処置の必要なし。

DITMC007

E

[英文] Failed to lock. LOCKID=@1 return=@2 code=@3

[和文] ロックに失敗しました。 LOCKID=@1 return=@2 code=@3

[説明] ロック処理が失敗した。

@ 1 : ロック ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC008

E

[英文] Failed to unlock. LOCKID=@1 return=@2 code=@3

[和文] アンロックに失敗しました。 LOCKID=@1 return=@2 code=@3

[説明] アンロック処理が失敗した。

@ 1 : ロック ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC009

E

[英文] Timer execution process is time out. TIMERID=@1 TIMER=[@2] PRCID=@3

[和文] タイマ実行プロセスがタイムオーバーしました。 TIMERID=@1 TIMER=[@2] PRCID=@3

[説明] タイマブレイク通知を受信したアプリケーションが環境変数 DIOSA_TMCOVER で設定した実行監視時間を過ぎても終了しないため、強制終了した。

@ 1 : タイマ ID (ユーザキー)

@ 2 : タイマ実行時間

@ 3 : プロセス ID

[処置] アプリケーションが実行監視時間を過ぎても終了しない原因を調査し、必要であれば DIOSA_TMCOVER の値を変更する。

DITMC010

E

[英文] Timer has ended in the error state. TIMERID=@1 TIMER=[@2]

[和文] タイマ実行エラーが解消されないまま、実行回数に到達しました。TIMERID=@1 TIMER=[@2]

[説明] タイマ実行エラーが解消されない状態で実行回数に到達し、タイマ情報が削除された。

@ 1 : タイマ ID (ユーザキー)

@ 2 : タイマ実行時間

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC012

E

[英文] Failed to create process. errno=@1 code=@2

[和文] プロセスの生成に失敗しました。errno=@1 code=@2

[説明] プロセスの生成に失敗した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DITMC013

E

[英文] Failed to allocate memory. return=@1 code=@2

[和文] メモリの取得に失敗しました。return=@1 code=@2

[説明] メモリの取得に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC016

E

[英文] Failed to create shared memory. IPCKEY=0x@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの取得に失敗しました。IPCKEY=0x@1 return=@2 code=@3

[説明] 共有メモリの取得に失敗した。

@ 1 : IPC キー

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC017

E

[英文] Failed to delete shared memory. SHMID=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの解放に失敗しました。 SHMID=@1 errno=@2 code=@3

[説明] 共有メモリの解放に失敗した。

@ 1 : 共有メモリ ID

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DITMC018

E

[英文] Failed to attach shared memory. SHMID=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリのアタッチに失敗しました。 SHMID=@1 return=@2 code=@3

[説明] 共有メモリの取得に失敗した。

@ 1 : 共有メモリ ID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 共有メモリ ID の共有メモリが存在するか確認し、DIOSA/XTP の再起動を行う。

DITMC023

E

[英文] Failed to initialize process. return=@1 code=@2

[和文] プロセス初期化に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] プロセス初期化に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC024

E

[英文] Failed to register signal. SIGNAL=@1 errno=@2 code=@3

[和文] シグナルの設定に失敗しました。 SIGNAL=@1 errno=@2 code=@3

[説明] シグナルの設定に失敗した。

@ 1 : シグナル種類

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP の再起動を行う。

DITMC026

E

[英文] No license. code=@1

[和文] ライセンス情報の取得に失敗しました。 code=@1

[説明] ライセンス情報の取得に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] ライセンス情報を確認する。

DITMC027

E

[英文] Timer execute processes reached upper bound value. TIMERID=@1

[和文] タイマ実行プロセスの起動数が上限に達しました。 TIMERID=@1

[説明] タイマ実行プロセスの起動数が上限に達した。

@ 1 : タイマ ID (ユーザキー)

[処置] 同時に発生するタイマブレイク通知の数が環境変数 DIOSA_TMCPROC で設定した起動プロセス数を超えているため、必要であれば DIOSA_TMCPROC の値を変更する。

DITMC028

E

[英文] Failed to start timer execute process. TIMERID=@1 errno=@2

[和文] タイマ実行プロセスの起動に失敗しました。 TIMERID=@1 errno=@2

[説明] タイマ実行プロセスの起動に失敗した。

@ 1 : タイマ ID (ユーザキー)

@ 2 : UNIX のエラー番号

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DITMC029

E

[英文] Illegal parameter to start timer execute process. code=@1

[和文] タイマ実行プロセスの起動パラメータが不正です。 code=@1

[説明] タイマ実行プロセスの起動パラメータが不正である。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 不正にタイマ実行プロセスが起動されていないか確認する。
起動パラメータが正しいか確認して、再度実行する。

DITMC031

E

[英文] Timer execute processes aborted.

[和文] タイマ実行プロセスが異常終了しました。

[説明] タイマ実行プロセスが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC034

E

[英文] Failed to open to tpbased. TIMERID=@1 TPM=@2 return=@3 code=@4

[和文] TPBASE 関係機能利用開始処理に失敗しました。 TIMERID=@1 TPM=@2 return=@3 code=@4

[説明] TPBASE タイマの電文送信に失敗した。

@ 1 : タイマ ID (ユーザキー)

@ 2 : TP モニタ名

@ 3 : リターンコード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] TPBASE の起動状態を確認する。

DITMC035

E

[英文] Failed to send message. STATUS_KEY=@1 END_KEY=@2 TIMERID=@3 code=@4

[和文] 電文送信に失敗しました。 STATUS_KEY=@1 END_KEY=@2 TIMERID=@3 code=@4

[説明] TPBASE タイマの電文送信に失敗した。

@ 1 : TPBASE 通信記述領域の status_key

@ 2 : TPBASE 通信記述領域の end_key

@ 3 : タイマ ID (ユーザキー)

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] TPBASE 通信記述領域の status_key、および end_key からエラー原因を特定し、解消する。

DITMC041

E

[英文] DIOSA is not started. code=@1

[和文] DIOSA が起動していません。 code=@1

[説明] DIOSA/XTP が起動していない。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP を起動する。

DITMC043

E

[英文] Specified timer id is not registered. TIMERID=@1

[和文] 指定されたTIMERIDは登録されていません。TIMERID=@1

[説明] 指定されたタイマID（ユーザキー）は登録されていない。

@ 1 : タイマID（ユーザキー）

[処置] タイマ情報削除コマンドで指定したタイマIDが正しいか確認する。

DITMC051

I

[英文] Timer control daemon is already stopped.

[和文] タイマデーモンは既に停止しています。

[説明] タイマデーモンは既に停止している。

[処置] 処置の必要なし。

DITMC060

E

[英文] Failed to acquire environmental variable. ENVNAME=@1 MIN=@2 MAX=@3 return=@4 code=@5

[和文] 環境変数の取得に失敗しました。ENVNAME=@1 MIN=@2 MAX=@3 return=@4 code=@5

[説明] 環境変数の取得に失敗した。

@ 1 : 環境変数名

@ 2 : 環境変数の最小値

@ 3 : 環境変数の最大値

@ 4 : リターンコード

@ 5 : DIOSA 内部コード

[処置] 環境変数の値を確認し、設定後DIOSA/XTPの再起動を行う。

DITMC061

E

[英文] Failed to detach shared memory. SHMID=@1 return=@2 code=@3

[和文] 共有メモリのデタッチに失敗しました。SHMID=@1 return=@2 code=@3

[説明] 共有メモリの解放に失敗した。

@ 1 : 共有メモリID

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTPを再起動する。

DITMC062

E

[英文] Initialize function is already executed. code=@1

[和文] 初期化処理は既に実行されています。 code=@1

[説明] 初期化処理は既に実行されている。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 正常に API が呼び出されているか確認する。

DITMC063

E

[英文] Initialize function not executed. code=@1

[和文] 初期化処理が実行されていません。 code=@1

[説明] 初期化処理が実行されていない。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 正常に API が呼び出されているか確認する。

DITMC064

E

[英文] Failed to free memory. code=@1

[和文] メモリの解放に失敗しました。 code=@1

[説明] メモリの解放に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DITMC065

E

[英文] Failed to open to catalog file. code=@1

[和文] カタログファイルのオープンに失敗しました。 code=@1

[説明] カタログファイルのオープンに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] カタログファイルの有無、アクセス権を確認する。

DITMC066

E

[英文] Failed to close to catalog file. code=@1

[和文] カタログファイルのクローズに失敗しました。 code=@1

[説明] カタログファイルのクローズに失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] カタログファイルを確認する。

DITMC067

E

[英文] Failed to read to catalog file. code=@1

[和文] カタログファイルの取得に失敗しました。 code=@1

[説明] カタログファイルの取得に失敗した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] カタログファイルを確認する。

DITMC068

E

[英文] Failed to acquire date. return=@1 code=@2

[和文] 日時取得関数でエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] 日時取得関数でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC069

E

[英文] Failed to acquire process information. code=@1

[和文] プロセス情報の取得でエラーが発生しました。 code=@1

[説明] プロセス情報の取得でエラーが発生した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DITMC071

I

[英文] Timer information is not registered.

[和文] タイマ情報は登録されていません。

[説明] タイマ情報は登録されていない。

[処置] 処置の必要なし。

DITMC072

E

[英文] fnmatch function failed. return=@1 code=@2

[和文] fnmatch でエラーが発生しました。 return=@1 code=@2

[説明] fnmatch でエラーが発生した。

@ 1 : 関数(fnmatch)の戻り値

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] タイマ ID の指定を見直す。

DITMC073

I

[英文] Timer reference command terminated normally.

[和文] タイマ照会コマンドが正常終了しました。

[説明] タイマ照会コマンドが正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DITMC074

E

[英文] Timer reference command aborted.

[和文] タイマ照会コマンドが異常終了しました。

[説明] タイマ照会コマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC075

I

[英文] Timer delete command terminated normally.

[和文] タイマ削除コマンドが正常終了しました。

[説明] タイマ削除コマンドが正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DITMC076

E

[英文] Timer delete command aborted.

[和文] タイマ削除コマンドが異常終了しました。

[説明] タイマ削除コマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC077

E

[英文] Failed to start timer reference command because of DIOSA is not started.

[和文] DIOSA 未起動のため、タイマ照会コマンドの実行に失敗しました。

[説明] DIOSA 未起動のため、タイマ照会コマンドが失敗した。

[処置] DIOSA/XTP の起動を行う。

DITMC078

E

[英文] Failed to start timer delete command because of DIOSA is not started.

[和文] DIOSA 未起動のため、タイマ削除コマンドの実行に失敗しました。

[説明] DIOSA 未起動のため、タイマ削除コマンドが失敗した。

[処置] DIOSA/XTP の起動を行う。

DITMC083

I

[英文] Stop process because of timer control daemon restarted. code=@1

[和文] タイマデーモンが再起動したため処理を終了します。 code=@1

[説明] タイマデーモンが再起動した。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし。

DITMC105

E

[英文] Failed to delete information of Daemon Alive Monitoring. return=@1 code=@2

[和文] 死活監視情報の削除に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] 死活監視情報の削除に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] DIOSA/XTP を再起動する。

DITMC109

E

[英文] Failed to start Daemon Alive Monitoring. return=@1 PRCID=@2 code=@3

[和文] 死活監視開始処理でエラーが発生しました。 return=@1 PRCID=@2 code=@3

[説明] 死活監視開始処理でエラーが発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : プロセス ID

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DITMC110

I

[英文] Accepted timer control daemon stop request.

[和文] タイマ制御終了処理が実行されたので停止します。

[説明] タイマ制御終了処理が実行された。

[処置] 処置の必要なし。

DITMC130

E

[英文] Failed to initialize process of Application Dynamic Replace function. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換プロセス初期化処理に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] AP 動的置換プロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC131

E

[英文] Failed to terminate process of Application Dynamic Replace function. return=@1 code=@2

[和文] AP 動的置換プロセス終了処理に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] AP 動的置換プロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC137

E

[英文] Failed to terminate process. return=@1 code=@2

[和文] プロセス終了に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] プロセス終了に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DITMC140

E

[英文] Failed to execute timer. TIMERID=@1 return=@2

[和文] タイマの実行に失敗しました。 TIMERID=@1 return=@2

[説明] タイマの実行に失敗した。

@ 1 : タイマ ID (ユーザキー)

@ 2 : リターンコード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC145

E

[英文] Failed to initialize process of Multi thread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] MDR プロセス初期化処理に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] MDR プロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC146

E

[英文] Failed to terminate process of Multi thread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] MDR プロセス終了処理に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] MDR プロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC147

E

[英文] Failed to register process id to notify SG change. return=@1 code=@2

[和文] SG 変更通知先 PRCID 登録処理に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] SG 変更通知先 PRCID 登録処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC148

E

[英文] Failed to release registration of process id to notify SG change. return=@1 code=@2

[和文] SG 変更通知先 PRCID 登録解除処理に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] SG 変更通知先 PRCID 登録解除処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC149

E

[英文] Failed to initialize service of Multi thread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] MDR サービス初期化処理に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] MDR サービス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC150

E

[英文] Failed to terminate service of Multi thread Dynamic Replace. return=@1 code=@2

[和文] MDR サービス終了処理に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] MDR サービス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC160

I

[英文] SG timer register command terminated normally. DONECOUNT=@1

[和文] SG タイマ登録コマンドが正常終了しました。 DONECOUNT=@1

[説明] SG タイマ登録コマンドが正常終了した。

@ 1 : 正常終了したタイマの件数

[処置] 処置の必要なし。

DITMC161

W

[英文] SG timer register command terminated with warning. DONECOUNT=@1 ERRCOUNT=@2

[和文] SG タイマ登録コマンドが警告終了しました。 DONECOUNT=@1 ERRCOUNT=@2

[説明] SG タイマ登録コマンドが警告終了しました。

@ 1 : 正常終了したタイマの件数

@ 2 : 異常終了したタイマの件数

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC162

E

[英文] SG timer register command aborted. ERRCOUNT=@1

[和文] SG タイマ登録コマンドが異常終了しました。 ERRCOUNT=@1

[説明] SG タイマ登録コマンドが異常終了した。

@ 1 : 異常終了したタイマの件数

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC163

E

[英文] Failed to call DIOSA inner function. SUMMARY=@1 return=@2 code=@3

[和文] DIOSA 内部関数の呼出でエラーが発生しました。SUMMARY=@1 return=@2 code=@3

[説明] DIOSA 内部関数の呼出でエラーが発生した。

@ 1 : 呼び出しに失敗した関数の処理の概要

SG_Open : SG オブジェクトファイルオープン関数

SG_Get : SG オブジェクトレコード取得関数

SG_Close : SG オブジェクトファイルクローズ関数

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC164

E

[英文] Failed to register timer. TIMERID=@1 code=@2

[和文] タイマ登録処理に失敗しました。TIMERID=@1 code=@2

[説明] タイマ登録処理に失敗した。

@ 1 : タイマ ID (ユーザキー)

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC165

E

[英文] Failed to register timer. Illegal parameter. TIMERID=@1 code=@2

[和文] タイマ登録処理に失敗しました。パラメータが不正です。TIMERID=@1 code=@2

[説明] パラメータが不正である。

@ 1 : タイマ ID (ユーザキー)

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 指定したオプション引数を確認し、修正後、再度コマンドを実行する。

DITMC169

E

[英文] Failed to acquire logical node information of DIOSAMAP. TIMERID=@1 NODENAME=@2 return=@3 code=@4

[和文] DIOSAMAP 論理ノード情報の取得に失敗しました。 TIMERID=@1 NODENAME=@2 return=@3 code=@4

[説明] DIOSAMAP 論理ノード情報の取得に失敗した。

@ 1 : タイマ ID (ユーザキー)

@ 2 : ノード名

@ 3 : リターンコード

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DITMC170

E

[英文] Failed to register memory timer. return=@1 TIMERID=@2 code=@3

[和文] メモリ型登録処理に失敗しました。 return=@1 TIMERID=@2 code=@3

[説明] メモリ型登録処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : タイマ ID (ユーザキー)

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC172

E

[英文] Failed to start SG timer register command because of DIOSA is not started.

[和文] DIOSA 未起動のため、SG タイマ登録コマンドの実行に失敗しました。

[説明] DIOSA 未起動のため、SG タイマ登録コマンドの実行に失敗した。

[処置] DIOSA/XTP を起動する。

DITMC174

E

[英文] SG timer register command aborted.

[和文] SG タイマ登録コマンドが異常終了しました。

[説明] SG タイマ登録コマンドが異常終了した。

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC175

E

[英文] Failed to register timer. Illegal parameter. MSGLENMAX=@1 MSGLEN=@2 code=@3

[和文] タイマ登録処理に失敗しました。パラメータが不正です。 MSGLENMAX=@1 MSGLEN=@2 code=@3

[説明] パラメータが不正である。

@ 1 : メッセージ長上限値

@ 2 : メッセージ長

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] 指定したオプション引数を確認し、修正後、再度コマンドを実行する。

DITMC176

I

[英文] Timer control daemon stop command terminated normally.

[和文] タイマデーモンの停止コマンドが実行されました。

[説明] タイマデーモンの停止コマンドが実行された。

[処置] 処置の必要なし。

DITMC177

I

[英文] Timer register command terminated normally.

[和文] タイマ登録コマンドが正常終了しました。

[説明] タイマ登録コマンドが正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DITMC178

W

[英文] Timer register command terminated with warning.

[和文] タイマ登録コマンドが警告終了しました。

[説明] 既に登録済みのタイマを上書き登録した。

[処置] 処置の必要なし。

DITMC179

E

[英文] Timer register command aborted.

[和文] タイマ登録コマンドが異常終了しました。

[説明] タイマ登録コマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC181

E

[英文] Failed to start memory timer register command because of DIOSA is not started.

[和文] DIOSA 未起動のため、メモリ型タイマ登録コマンドの実行に失敗しました。

[説明] DIOSA 未起動のため、メモリ型タイマ登録コマンドの実行に失敗した。

[処置] DIOSA/XTP を起動する。

DITMC186

E

[英文] Can't specify past time. TIMERID=@1 code=@2

[和文] 過去の日時を指定する事はできません。 TIMERID=@1 code=@2

[説明] 過去の日時を指定してタイマ登録処理を行なった。

@ 1 : タイマ ID (ユーザキー)

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 入力した日時を見直す。

DITMC187

W

[英文] Failed to start timer execute process. errno=@1 PID=@2 code=@3

[和文] タイマ実行プロセスの起動に失敗しました。 errno=@1 PID=@2 code=@3

[説明] 実行プロセスへのシグナル送信に失敗した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : プロセス ID

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] タイマデーモンの再起動を行う。

DITMC188

E

[英文] Timer execute process entry not found. code=@1

[和文] タイマ実行プロセス数が一致しません。 code=@1

[説明] 共有メモリのタイマ情報管理テーブルとプロセステーブルに登録されているタイマ実行プロセス数が一致しない。

@ 1 : DIOSA 内部コード

[処置] タイマデーモンを再起動する。

DITMC189

E

[英文] Failed to re-register timer. TIMERID=@1 return=@2 code=@3

[和文] タイマ再登録処理に失敗しました。 TIMERID=@1 return=@2 code=@3

[説明] 実行回数が減る際のタイマ再登録処理に失敗した。

@ 1 : タイマ ID (ユーザキー)

@ 2 : リターンコード

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] タイマデーモンを再起動する。

DITMC190

E

[英文] Failed to initialize transaction of Application Dynamic Replace function. return=@1 code=@2

[和文] DLR トランザクション初期化処理に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] DLR トランザクション初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC191

E

[英文] Failed to terminate transaction of Application Dynamic Replace function. return=@1 code=@2

[和文] DLR トランザクション終了処理に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] DLR トランザクション終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC192

E

[英文] Failed to create specified command. TIMERID=@1 return=@2 errno=@3 code=@4

[和文] 指定されたコマンドの生成に失敗しました。TIMERID=@1 return=@2 errno=@3 code=@4

[説明] 指定されたコマンドの生成に失敗した。

@ 1 : タイマ ID (ユーザキー)

@ 2 : リターンコード

@ 3 : UNIX のエラー番号

@ 4 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードが-1 の場合は、UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

リターンコードが-1 以外の場合は、DIOSA を再起動する。

DITMC194

E

[英文] Failed to execute specified command. TIMERID=@1 code=@2

[和文] 指定されたコマンドの実行に失敗しました。TIMERID=@1 code=@2

[説明] 指定されたコマンドの実行に失敗した。

@ 1 : タイマ ID (ユーザキー)

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] タイマ ID から実行したコマンドに対して、コマンド名の正当性もしくはコマンドの実行権の適正を確認する。

DITMC197

I

[英文] Message sent normally. TIMERID=@1

[和文] 電文の送信に成功しました。TIMERID=@1

[説明] 電文の送信に成功した。

@ 1 : タイマ ID (ユーザキー)

[処置] 処置の必要なし。

DITMC199

I

[英文] Command executed normally. TIMERID=@1

[和文] コマンドの実行に成功しました。TIMERID=@1

[説明] コマンドの実行に成功した。

@ 1 : タイマ ID (ユーザキー)

[処置] 処置の必要なし。

DITMC201

E

[英文] Failed to open to file. errno=@1 file=@2 code=@3

[和文] ファイルのオープンに失敗しました。 errno=@1 file=@2 code=@3

[説明] ファイルのオープンに失敗した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : エラー出力ファイル名

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DITMC202

E

[英文] Failed to initialize process of Tpath management. return=@1 code=@2

[和文] Tパス管理機能プロセス初期化処理に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] Tパス管理機能プロセス初期化処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC203

E

[英文] Failed to terminate process of Tpath management. return=@1 code=@2

[和文] Tパス管理機能プロセス終了処理に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] Tパス管理機能プロセス終了処理に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC208

E

[英文] Failed to register information of Daemon Alive Monitoring. return=@1 code=@2

[和文] 死活監視情報の登録に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] 死活監視情報の登録に失敗した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC210

E

[英文] Failed to terminate process before execute process start. return=@1 code=@2

[和文] 実行プロセス起動前のプロセス終了処理に失敗しました。 return=@1 code=@2

[説明] 実行プロセスの起動処理で異常が発生した。

@ 1 : リターンコード

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] リターンコードからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC212

E

[英文] Timer control daemon stop command aborted.

[和文] タイマデーモンの停止コマンドに失敗しました。

[説明] タイマデーモンの停止コマンドに失敗した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC213

E

[英文] No unused entry.

[和文] エントリに空きがありません。

[説明] 共有メモリに空きがない。

[処置] 一定時間おいて、再度削除コマンドを入力する。

DITMC221

E

[英文] Failed to create process for send to tpbases. TIMERID=@1 errno=@2 code=@3

[和文] TPBASE 送信処理プロセスの生成に失敗しました。 TIMERID=@1 errno=@2 code=@3

[説明] TPBASE 送信処理プロセスの生成に失敗した。

@ 1 : タイマ ID (ユーザキー)

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DITMC222

E

[英文] Failed to set to environment variable. TIMERID=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 環境変数の設定に失敗しました。 TIMERID=@1 errno=@2 code=@3

[説明] 環境変数の設定に失敗した。

@ 1 : タイマ ID (ユーザキー)

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DITMC223

E

[英文] Failed to wait process terminate. TIMERID=@1 errno=@2 code=@3

[和文] プロセスの終了待ち合わせ処理でエラーが発生しました。 TIMERID=@1 errno=@2 code=@3

[説明] プロセスの終了待ち合わせ処理でエラーが発生した。

@ 1 : タイマ ID (ユーザキー)

@ 2 : UNIX のエラー番号

@ 3 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DITMC224

E

[英文] Failed to send message to tpbase. TIMERID=@1 code=@2

[和文] TPBASE の送信処理が異常終了しました。 TIMERID=@1 code=@2

[説明] TPBASE の送信処理が異常終了した。

@ 1 : タイマ ID (ユーザキー)

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] タイマ ID から処理内容を照会し、処理結果が正しいことを確認する。
未実行の状態でタイマが終了している場合は、再登録を行う。

DITMC225

I

[英文] Timer hold up command terminated normally.

[和文] タイマ保留コマンドが正常終了しました。

[説明] タイマ保留コマンドが正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DITMC226

E

[英文] Timer hold up command aborted.

[和文] タイマ保留コマンドが異常終了しました。

[説明] タイマ保留コマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC227

I

[英文] Timer activate command terminated normally.

[和文] タイマ保留解除コマンドが正常終了しました。

[説明] タイマ保留解除コマンドが正常終了した。

[処置] 処置の必要なし。

DITMC228

E

[英文] Timer activate command aborted.

[和文] タイマ保留解除コマンドが異常終了しました。

[説明] タイマ保留解除コマンドが異常終了した。

[処置] 直前に出力されているエラーメッセージからエラー原因を特定し、解消する。

DITMC229

E

[英文] Failed to start timer hold command because of DIOA is not started.

[和文] DIOA 未起動のため、タイマ保留コマンドの実行に失敗しました。

[説明] DIOA 未起動のため、タイマ保留コマンドの実行に失敗した。

[処置] DIOA/XTP の起動を行う。

DITMC230

E

[英文] Failed to start timer activate command because of DIOA is not started.

[和文] DIOA 未起動のため、タイマ保留解除コマンドの実行に失敗しました。

[説明] DIOA 未起動のため、タイマ保留解除コマンドの実行に失敗した。

[処置] DIOA/XTP の起動を行う。

DITMC231

E

[英文] Failed to make DIOSA header. TIMERID=@1 TXID=@2 CONAME=@3 return=@4 code=@5

[和文] DIOSA ヘッダの作成に失敗しました。 TIMERID=@1 TXID=@2 CONAME=@3 return=@4 code=@5

[説明] DIOSA ヘッダの作成に失敗した。

@ 1 : タイマ ID (ユーザキー)

@ 2 : トランザクション ID

@ 3 : CO 名

@ 4 : 戻り値

@ 5 : DIOSA 内部コード

[処置] タイマ ID から対応する CO タイマ用パラメータの適性をチェックする。

DITMC232

E

[英文] Failed to set process information. errno=@1 code=@2

[和文] プロセス情報の設定でエラーが発生しました。 errno=@1 code=@2

[説明] pstat() によるプロセス名の変更に失敗した。

@ 1 : UNIX のエラー番号

@ 2 : DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

第3章 環境定義メッセージ

環境定義の SG オブジェクト生成時に出力するメッセージは以下の形式で出力する。メッセージは、コマンド実行時の標準エラー出力、およびコマンドを実行したカレントディレクトリに作成するコマンド実行結果出力ファイル（ファイルのパス/ファイル名はオプションで変更可能）に出力する。

メッセージ構成

DI:diirmadd:16983: 異常:(TR60): 要求セクションのオブジェクトは既に存在しています。システム名=HOST セクション名=DIOSAMAP					
①	②	③	④	⑤	⑥

- ①固定文字

: “DI” 固定
- ②コマンド名

: メッセージを出力したコマンド名
- ③プロセスID

: メッセージを出力したプロセス名ID
- ④メッセージ種別

: メッセージ種別は以下の3種類ある。

Info 通知

Error 警告

Error エラー
- ⑤メッセージID

: 個々のメッセージの識別コード
- ⑥メッセージ本文

: 本文

3.1 diirmadd (環境生成コマンド)

YY01

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(YY01): 'XXXX' SECTION NAME DEFINE ERROR.

[和文] DI:diirmadd:異常:(YY01): 'XXXX' セクション名の宣言が正しくありません。

[説明] セクション名の定義、形式が正しく行われていない。

[処置] 以下を確認する。

”\$”で始まらない定義がセクションレベルに存在していないか
セクション、項と終端記号(;)との対応がとれているか
コメント文(/*, */)の対応が取れているか

YY02

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(YY02): 'XXXX' ITEM NAME DEFINE ERROR.

[和文] DI:diirmadd:異常:(YY02): 'XXXX' 項目名の宣言が正しくありません。

[説明] 項目名の定義形式が正しく行われていない。

[処置] 以下を確認する。

”%”で始まらない項定義が存在していないか
セクション、項と終端記号(;)との対応がとれているか
コメント文(/*, */)の対応が取れているか

YY03

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(YY03): 'XXXX' ; MISSING OR MISPLACED.

[和文] DI:diirmadd:異常:(YY03): 'XXXX' 終端記号';'がありません。

[説明] セクション、項目に対応する終端記号が見つからない。

[処置] 以下を確認する。

セクション、項、の数と終端記号(;)との対応がとれているか
コメント文(/*, */)の対応が取れているか

YY05

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(YY05): 'XXXX' () MISSING OR KEY NOT DEFINED.

[和文] DI:diirmadd:異常:(YY05): 'XXXX' ' (')' があっていないか、キーの設定がされていません。

[説明] "(,)"の対応がとれていない。

[処置] 以下を確認する。

"(,)"の対応がとれているか

"(,)"の中に何も定義されていないところが無いか

YY06

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(YY06): 'XXXX' = MISSING OR ILLEGAL KEY NAME.

[和文] DI:diirmadd:異常:(YY06): 'XXXX' '=' がないか、キーの指定が正しくありません。

[説明] "="が正しく指定されていない。

[処置] "="の定義位置、前後の文法に誤りがないかを確認する。

YY07

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(YY07): 'XXXX' = MISSING OR MISPLACED.

[和文] DI:diirmadd:異常:(YY07): 'XXXX' '=' の指定が正しくありません

[説明] "="が正しく指定されていない。

[処置] "="の定義位置、前後の文法に誤りがないかを確認する。

YY08

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(YY08): 'XXXX' ITEM IS NOT DEFINED.

[和文] DI:diirmadd:異常:(YY08): 'XXXX' 項目が定義されていません。

[説明] 項目が正しく指定されていない。

[処置] 以下を確認する。

"項名の最初に"%がついているか

項レベルにパラメータを定義していないか

YY09

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(YY09): 'XXXX' SECTION NAME IS NOT DEFINED.

[和文] DI:diirmadd:異常:(YY09): 'XXXX' セクション名の定義がされていません。

[説明] セクションが正しく指定されていない。

[処置] 以下を確認する。

”\$”で始まらない定義がセクションレベルに存在していないか

セクション、項と終端記号(;)との対応がとれているか

コメント文(/*, */)の対応が取れているか

YY13

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(YY13): 'XXXX' SYNTAX ERROR.

[和文] DI:diirmadd:異常:(YY13): 'XXXX' 文法エラー。

[説明] EDL の構文に誤りがある。

[処置] 他の構文解析エラーと一緒に出力されることが多いため、前後の文法について再確認する。

YY21

W

[英文] DI:diirmadd:Warning:(YY21): 'XXXX' PARAMETER NOT DEFINED.

[和文] DI:diirmadd:警告:(YY21): 'XXXX' 項目以下が記述されていません。

[説明] 項を定義したが、配下のパラメータを一つも定義していない場合に発生する。

配下のパラメータが全て省略可の項の場合は、無視しても良い。

[処置] 配下のパラメータを定義する。

項目の定義を削除する。

YY23

W

[英文] DI:diirmadd:Warning:(YY23): 'XXXX' /* IN COMMENT.

[和文] DI:diirmadd:警告:(YY23): 'XXXX' コメント内に /* がある。

[説明] ”/*”, ”*/”のなかにさらに”/*”がある場合に出力される。

[処置] 該当する場所を修正する。

YY26

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(YY26): 'XXXX' */ NOT FOUND.

[和文] DI:diirmadd:異常:(YY26): 'XXXX' コメント文の終端がありません。

[説明] "/*"に対応する"*/"がない。

[処置] 該当する場所を修正する。

YY27

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(YY27): 'XXXX' UNKNOWN CHARACTER.

[和文] DI:diirmadd:異常:(YY27): 'XXXX' 定義値に使用できない文字があります。

[説明] 定義値に使用できない文字を使っている。

[処置] 該当する場所を修正する。

YY28

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(YY28): 'XXXX' IDENTIFIER TOO LONG.

[和文] DI:diirmadd:異常:(YY28): 'XXXX' 定義値が長すぎます。

[説明] セクション名、パラメータ名として定義した名前が長すぎる。

[処置] 該当する場所を修正する。

YY31

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(YY31): EDL SOURCE FILE OPEN ERROR. errno=XXXX file=XXXX

[和文] DI:diirmadd:異常:(YY31): E D L ソースファイルのオープンに失敗しました。errno=XXXX ファイル名=XXXX

[説明] 指定されたEDL ソースファイルが見つからない。

[処置] 指定したEDL ソースファイルが存在するか確認する。

TR10

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR10): ILLEGAL CONSTRUCTION DATA. ADDRESS=XXXX

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR10): 関連パラメータの定義内容と不整合があります。パラメータ=XXXX

[説明] 関連パラメータの設定と矛盾した値をパラメータに設定している。

[処置] 対象のパラメータの説明を再確認する。

TR20

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR20): CAN NOT USE THIS DATA. DATA=%s ADDRESS=%s

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR20): このパラメータにこの値は指定出来ません。値=XXXX パラメータ=XXXX

[説明] パラメータによってはあらかじめ定義値の種類が決まっているものがある。

[処置] 対象のパラメータの説明を再確認する。

TR22

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR22): PARAMETER UNDEFINED. ADDRESS=%s

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR22): 必須パラメータが定義されていません。パラメータ=XXXX

[説明] セクションによっては必須パラメータが決まっているものがある。

[処置] 対象のパラメータの説明を再確認する。

TR24

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR24): ITEM(S) REPEAT OVER TIME. REPEAT=999(999) ADDRESS=XXXX

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR24): 繰り返し回数が多すぎます。繰り返し=999(999) パラメータ=XXXX

[説明] 繰り返し回数の上限が決まっているパラメータで、その上限を超える定義をした場合に発生する。

[処置] 繰り返し回数を上限より少なくする。

TR30

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR30): DATA VALUE IS TOO MINIMUM. VALUE=999(999) ADDRESS=XXXX

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR30): 指定データ値が小さすぎます。指定値=999(999) パラメータ=XXXX

[説明] 繰数値を指定するパラメータでは、その数値の下限が決まっているものがある。

[処置] 数値を下限よりも多くする。

TR31

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR31): DATA VALUE IS TOO MAXIMUM. VALUE=999(999) ADDRESS=XXXX

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR31): 指定データ値が大きすぎます。指定値=999(999) パラメータ=XXXX

[説明] 繰数値を指定するパラメータでは、その数値の上限が決まっているものがある。

[処置] 数値を上限よりも少なくする。

TR33

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR33): DATA STRING LENGTH IS TOO LONG. LENGTH=999(999) ADDRESS=XXXX

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR33): 指定文字列の文字列長が長すぎます。文字列長=999(999) パラメータ=XXXX

[説明] 文字列を指定するパラメータでは、指定する文字列の長さに制限があるものがある。

[処置] 指定文字列を最大文字列長よりも短くする。

TR60

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR60): SG OBJECT EXIST. CANNOT USE ADD COMMAND. LSNAME=XXXX SECNAME=XXXX

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR60): 要求セクションのオブジェクトは既に存在しています。システム名=XXXX セクション名=XXXX

[説明] 生成コマンド(diirmadd)で指定したSG オブジェクトは既に生成されている。

[処置] 更新コマンド(diirmrep)を使用する。

TR62

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR62): SG OBJECT FILE ERROR. CANNOT USE ADD, REPLACE COMMAND. LSNAME=XXXX SECNAME=XXXX SFSTAT=XXXX

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR62): 要求セクションのオブジェクトはデータが壊れています。システム名=XXXX セクション名=XXXX ファイル情報=XXXX

[説明] なんらかの影響でオブジェクトファイルの内容が壊れている可能性がある。

[処置] 対象のオブジェクトを削除してから、再生成する。

削除、再生成も出来ない場合はオブジェクトファイル全体を再作成する。

TR68

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR68): ILLEGAL SECTION NAME. SECNAME=XXXX

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR68): セクション名が不正です。セクション名=XXXX

[説明] セクション名が間違っている。

[処置] セクション名を再確認する。

TR70

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR70): DUPLICATIED DEFINITION. PARAMETER=XXXX VALUE=XXXX LINE=999/999

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR70): 定義値が重複しています。パラメータ=XXXX 値=XXXX 行=999/999

[説明] 重複が許されないパラメータの定義値が重複している。

[処置] 定義値が一意になるように、重複している定義値を修正する。

TR80

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR80): CANNOT TRANSLATE THIS ITEM. ITEM=XXXX LINE=999

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR80): この項目は変換できませんでした。項名=XXXX 行=999

[説明] 認識できない項目が定義されている。

[処置] 項名、項の定義位置が間違っていないか確認する。

TR81

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR81): CANNOT TRANSLATE THIS PARAMETER. PARAMETER=XXXX LINE=999

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR81): このパラメータは変換できませんでした。パラメータ名=XXXX 行=999

[説明] 認識できないパラメータが定義されている。

[処置] パラメータ名、パラメータの定義位置が間違っていないか確認する。

TR85

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR85): THE VALUE OF %s IS DIFFERENT FROM THE VALUE OF %s. VALUE=%s

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR85): XXXX が XXXX に定義されている値と異なります。値=XXXX

[説明] 定義されていない値を設定している。

[処置] 設定値を修正する。

TR86

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR86): FORMAT ERROR. VALUE=XXXX, FORMAT=XXXX, ADDRESS=XXXX

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR86): フォーマットエラー。値=%s, フォーマット=%s, パラメータ=%s

[説明] 設定した値のフォーマットが誤っている。

[処置] 指定されたフォーマットに修正する。

TR87

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR87): COMPARE ERROR. ADDRESS=XXXX

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR87): 比較チェックエラー。比較条件=XXXX

[説明] 比較条件に反する定義がされている。

[処置] 設定値を指定した比較条件を満たすよう修正する。

TR88

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR88): PARAMETER CANNOT DEFINED. ADDRESS=XXXX

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR88): パラメータは指定できません。パラメータ=XXXX

[説明] 定義してはならないパラメータを定義している。

[処置] パラメータを削除する。

TR89

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR89): STREAM COUNT IS DIFFERENT. LINE=999/999

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR89): STREAM 項の数が異なります。行=999/999

[説明] 対となる SUPERSTREAM 項で、それぞれ定義している STREAM 項の数が異なる。

[処置] 対となる SUPERSTREAM 項において、STREAM 項の定義を同じ構成に修正する。

TR90

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR90): RANGE IS TOO MINIMUM. RANGE=999(999) ADDRESS=XXXX

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR90): 範囲の合計が小さすぎます。指定範囲=999(999) パラメータ=XXXX

[説明] 定義した範囲の合計が小さい。

[処置] 指定した範囲が間違っていないか確認する。

TR91

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR91): THE VALUE OF EXEC IS SAME. ADDRESS=%s, VALUE=%s, LINE=%d/%d

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR91): 指定値の値 (EXEC) が同じ値です。パラメータ=XXXX, 値=XXXX, 行=999/999

[説明] 対となる SUPERSTREAM 項において、パラメータ EXEC に同じ値を設定している。

[処置] 一方の SUPERSTREAM 項のパラメータ EXEC の値を修正する。

TR92

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR92): THE VALUE IS NOT SAME. ADDRESS=XXXX, VALUE=XXXX, LINE=999/999

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR92): 同じ値を設定してません。パラメータ=XXXX, 値=XXXX, 行=999/999

[説明] 同じ値を設定していない。

[処置] 設定値が間違っていないか確認する。

TR93

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR93): THE STREAM-NAME IS NOT SAME. VALUE=XXXX, LINE=999/999

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR93): 対となる SUPERSTREAM 項には存在しない STREAM-NAME を定義しています。値=XXXX, 行=999/999

[説明] 対となる SUPERSTREAM 項には定義されていない値を STREAM-NAME に設定している。

[処置] 対となる SUPERSTREAM 項において、STREAM 項の定義を同じ構成に修正する。

TR94

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR94): THE SUPERSTREAM MUST BE A COUPLE.

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR94): SUPERSTREAM 項が対になっていません。

[説明] 対となる SUPERSTREAM 項が定義されていない。

[処置] 対となる SUPERSTREAM 項を定義する。

TR95

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR95): ALL OF THE PARAMETER CANNOT BE DEFINED OF 0. ADDRESS=%s, LINE=%d

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR95): 指定したパラメータをすべて 0 に設定することはできません。パラメータ=XXXX, 行=999

[説明] 指定したパラメータに全て 0 を設定している。

[処置] 少なくとも 1 つのパラメータに 0 以外の値を設定する。

TR96

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR96): THE PERMISSION OF THE SAME COMMAND IS DIFFERENT. USERTYPE=XXXX NAME=XXXX
CMD=XXXX LINE=999/999

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR96): 指定したコマンドに異なる実行権限を設定しています。 ユーザタイプ=XXXX
名前=XXXX コマンド名=XXXX 行=999/999

[説明] 指定したコマンドの実行権限が項によって異なる設定をしている。

[処置] 指定した行のコマンド実行権限を統一する。

TR97

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(TR97): DIFFERENT SYSTEM PATH BE DEFINED. ADDRESS=%s, LINE=%d

[和文] DI:diirmadd:異常:(TR97): 系統の異なるパスが定義されています。パラメータ=XXXX, 行=999

[説明] 同一項内で、稼動系情報(CPATH1, SPATH1, UPATH1)と待機系情報(CPATH3, SPATH3, UPATH3)を混在した定義をしている。

[処置] 項内の定義をどちらか一方の系統に統一する。

AT06

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(AT06): Please Tell me EDL sourcefile name.

[和文] DI:diirmadd:異常:(AT06): E D L ソースファイルの指定が必要です。

[説明] “-E”の指定は生成コマンド(diirmadd)では必須。

[処置] 実行コマンドを再確認する。

AT08

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(AT08): Illegal parameter '-S'.

[和文] DI:diirmadd:異常:(AT08): セクション名の指定は無効です。

[説明] 生成コマンド(diirmadd)で“-S”を指定している場合に出力される。

[処置] 実行コマンドを再確認する。

AT16

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(AT16): EDL sourcefile name is too long.

[和文] DI:diirmadd:異常:(AT16): E D L ソースファイルの指定が長すぎます。

[説明] EDL ファイル名の指定は 256 文字まで。

[処置] 256 文字以下にする。

AT22

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(AT22): Illegal Option(-e, -s, -t) in this command.

[和文] DI:diirmadd:異常:(AT22): オプション-e, -s, -t はオブジェクト情報出力時にのみ有効です。

[説明] オブジェクト生成(diirmadd)時にはこれらのパラメータは指定できません。

[処置] 実行コマンドを再確認する。

AT23

W

[英文] DI:diirmadd:Warning:(AT23): Search EDL in Current Working Directory.

[和文] DI:diirmadd:警告:(AT23): E D L ソースファイルはカレントディレクトリを検索します。

[説明] 環境変数 DIOSA_EDLSRCDIR で指定したディレクトリに EDL ファイル(-E で指定したファイル)が存在しない。

カレントディレクトリを検索して、同名のファイルがあればそれを読み込む。

カレントディレクトリにも存在しない場合はエラーなる。

MN01

E

[英文] DI:diirmadd:Error:(MN01): SG OBJECT FILE OPEN ERROR. errno=999 DIOSA_IRMROOT=XXXX

[和文] DI:diirmadd:異常:(MN01): S G オブジェクトファイルのオープンに失敗しました。 errno=999 DIOSA_IRMROOT=XXXX

[説明] SG オブジェクトファイルのオープンに失敗した。

[処置] UNIX のエラー番号を元に解決する。

- ・ 環境変数 DIOSA_IRMROOT で指定したディレクトリがありません。

→ディレクトリを作成する。

- ・ 環境変数 DIOSA_IRMROOT で指定したディレクトリに対するアクセス権がありません。

→アクセスモードの設定を変更してアクセス可能にする。

3.2 diirmdel（環境削除コマンド）

DL10

I

[英文] DI:diirmdel:Info:(DL10): SG OBJECT DELETE SUCCESSFUL. LSNAME=XXXX SECNAME=XXXX

[和文] DI:diirmdel:通知:(DL10): 以下のセクションのオブジェクトを削除しました。システム名=XXXX セクション名=XXXX

[説明] 表示されたセクションの SG オブジェクトが正しく削除された。

DL05

E

[英文] DI:diirmdel:Error:(DL05): SG OBJECT NON-EXIST. LSNAME=XXXX SECNAME=XXXX

[和文] DI:diirmdel:異常:(DL05): 指定されたセクションのオブジェクトは存在しません。システム名=XXXX セクション名=XXXX

[説明] 指定した SG オブジェクトが存在しない。

[処置] 以下を確認する。

環境変数 DIOSA_IRMROOT

ディレクトリ

システム名 ("-L"パラメータで指定)

セクション名 ("-S"パラメータで指定)

DL24

E

[英文] DI:diirmdel:Error:(DL24): SG OBJECT NON-EXIST. LSNAME=XXXX

[和文] DI:diirmdel:異常:(DL24): 指定されたシステム名のオブジェクトは存在しません。システム名=XXXX

[説明] 指定した SG オブジェクトが存在しない。

[処置] 以下を確認する。

環境変数 DIOSA_IRMROOT

ディレクトリ

システム名 ("-L"パラメータで指定)

セクション名 ("-S"パラメータで指定)

MN01

E

[英文] DI:diirmdel:Error:(MN01): SG OBJECT FILE OPEN ERROR. errno=999 DIOSA_IRMROOT=XXXX

[和文] DI:diirmdel:異常:(MN01): S G オブジェクトファイルのオープンに失敗しました。 errno=999 DIOSA_IRMROOT=XXXX

[説明] SG オブジェクトファイルのオープンに失敗した。

[処置] UNIX のエラー番号を元に解決する。

- ・ 環境変数 DIOSA_IRMROOT で指定したディレクトリがありません。
→ディレクトリを作成する。
- ・ 環境変数 DIOSA_IRMROOT で指定したディレクトリに対するアクセス権がありません。
→アクセスモードの設定を変更してアクセス可能にする。

AT02

E

[英文] DI:diirmdel:Error:(AT02): Illegal argument EDL sourcename.

[和文] DI:diirmdel:異常:(AT02): E D L ソースファイルの指定(-E)は生成／更新時にのみ有効です。

[説明] “-E”の指定は削除コマンド(diirmdel)では指定できない。

[処置] 実行コマンドを再確認する。

AT04

E

[英文] DI:diirmdel:Error:(AT04): Illegal Option -x in this command.

[和文] DI:diirmdel:異常:(AT04): -x オプションはこのコマンドでは指定できません。

[説明] “-x”の指定は削除コマンド(diirmdel)では指定できない。

[処置] 実行コマンドを再確認する。

AT22

E

[英文] DI:diirmdel:Error:(AT22): Illegal Option(-e, -s, -t) in this command.

[和文] DI:diirmdel:異常:(AT22): オプション-e, -s, -t はオブジェクト情報出力時にのみ有効です。

[説明] オブジェクト削除(diirmdel)時にはこれらのパラメータは指定できない。

[処置] 実行コマンドを再確認する。

3.3 diirmref（環境情報出力コマンド）

LG01

E

[英文] DI:diirmref:Error:(LG01): SG OBJECT IS NON-EXIST. LSNAME=%s SECNAME=%s

[和文] DI:diirmref:異常:(LG01): 指定したセクション名のオブジェクトは存在しません。システム名=XXXX セクション名=XXXX

[説明] 指定したシステム名+セクション名に対応する SG オブジェクトが存在しない。

[処置] 以下を確認する。

環境変数 DIOSA_IRMROOT

ディレクトリ

セクション名 ("-S"パラメータで指定)

LG02

E

[英文] DI:diirmref:Error:(LG02): SG OBJECT IS NON-EXIST.

[和文] DI:diirmref:異常:(LG02): 指定したオブジェクトは存在しません。

[説明] 指定したシステム名に対応する SG オブジェクトが存在しない。

[処置] 以下を確認する。

環境変数 DIOSA_IRMROOT

ディレクトリ

セクション名 ("-S"パラメータで指定)

LD30

E

[英文] DI:diirmref:Error:(LD30): SG OBJECT IS NON-EXIST. DIOSA_IRMROOT=XXXX

[和文] DI:diirmref:異常:(LD30): 指定されたオブジェクトは存在しません。DIOSA_IRMROOT=XXXX

[説明] 指定した SG オブジェクトが存在しない。

[処置] 以下を確認する。

環境変数 DIOSA_IRMROOT

ディレクトリ

LD33

E

[英文] DI:diirmref:Error:(LD33): SG OBJECT IS NON-EXIST. LSNAME=XXXX SECNAME=XXXX DIOSA_IRMROOT=XXXX

[和文] DI:diirmref:異常:(LD33): 指定されたオブジェクトは存在しません。システム名=XXXX セクション名=XXXX DIOSA_IRMROOT=XXXX

[説明] 指定したセクションが存在しない。

[処置] 以下を確認する。

環境変数 DIOSA_IRMROOT

ディレクトリ

セクション名 ("S"パラメータで指定)

LD34

E

[英文] DI:diirmref:Error:(LD34): SG OBJECT IS NOTHING. DIOSA_IRMROOT=XXXX

[和文] DI:diirmref:異常:(LD34): オブジェクトは1つも作成されていません。DIOSA_IRMROOT=XXXX

[説明] SG オブジェクトが1つも作成されておらず、リスト出力を実行した場合に発生する。

[処置] 以下を確認し、SG オブジェクトの生成を行う。

環境変数 DIOSA_IRMROOT

ディレクトリ

LD36

E

[英文] DI:diirmref:Error:(LD36): SG OBJECT IS NON-EXIST. LSNAME=XXXX DIOSA_IRMROOT=XXXX

[和文] DI:diirmref:異常:(LD36): 指定されたオブジェクトは存在しません。システム名=XXXX DIOSA_IRMROOT=XXXX

[説明] 指定したシステム名が存在しない。

[処置] 以下を確認する。

環境変数 DIOSA_IRMROOT

ディレクトリ

LD40

E

[英文] DI:diirmref:Error:(LD40): SG OBJECT IS NON-EXIST, OR FILE ERROR. LSNAME=XXXX SECNAME=XXXX

[和文] DI:diirmref:異常:(LD40): オブジェクトが存在しないか、ファイルが異常です。システム名=XXXX セクション名=XXXX

[説明] SG オブジェクトの生成／更新を中断した場合に、まれにファイルの一部が不正な状態になることがある。

[処置] 対象の SG オブジェクトを再生成する。

AT10

E

[英文] DI:diirmref:Error:(AT10): Illegal combination Option(-s,-t).

[和文] DI:diirmref:異常:(AT10): オプション(-s,-t)が同時に指定されています。

[説明] リスト出力コマンド(diirmref)のパラメータ'-e','-s','-t'は重複して指定できない。

[処置] 実行コマンドを再確認する。

AT11

E

[英文] DI:diirmref:Error:(AT11): Illegal combination Option(-e,-t).

[和文] DI:diirmref:異常:(AT11): オプション(-e,-t)が同時に指定されています。

[説明] リスト出力コマンド(diirmref)のパラメータ'-e','-s','-t'は重複して指定できない。

[処置] 実行コマンドを再確認する。

AT12

E

[英文] DI:diirmref:Error:(AT12): Illegal combination Option(-e,-s).

[和文] DI:diirmref:異常:(AT12): オプション(-e,-s)が同時に指定されています。

[説明] リスト出力コマンド(diirmref)のパラメータ'-e','-s','-t'は重複して指定できない。

[処置] 実行コマンドを再確認する。

AT14

E

[英文] DI:diirmref:Error:(AT14): Please Tell me Secname.

[和文] DI:diirmref:異常:(AT14): セクション名の指定が必要です。

[説明] "-S"の指定はEDL イメージ出力(diirmref -e)では必須である。

[処置] 実行コマンドを再確認する。

3.4 diirmrep（環境更新コマンド）

YY01

E

[英文] DI:diirmrep:Error:(YY01): 'XXXX' SECTION NAME DEFINE ERROR.

[和文] DI:diirmrep:異常:(YY01): 'XXXX' セクション名の宣言が正しくありません。

[説明] セクション名の定義、形式が正しく行われていない。

[処置] 以下を確認する。

”\$”で始まらない定義がセクションレベルに存在していないか
セクション、項と終端記号(;)との対応がとれているか
コメント文(/*,*/)の対応が取れているか

YY02

E

[英文] DI:diirmrep:Error:(YY02): 'XXXX' ITEM NAME DEFINE ERROR.

[和文] DI:diirmrep:異常:(YY02): 'XXXX' 項目名の宣言が正しくありません。

[説明] 項目名の定義形式が正しく行われていない。

[処置] 以下を確認する。

”%”で始まらない項定義が存在していないか
セクション、項と終端記号(;)との対応がとれているか
コメント文(/*,*/)の対応が取れているか

YY03

E

[英文] DI:diirmrep:Error:(YY03): 'XXXX' ; MISSING OR MISPLACED.

[和文] DI:diirmrep:異常:(YY03): 'XXXX' 終端記号 ';' がありません。

[説明] セクション、項目に対応する終端記号が見つからない。

[処置] 以下を確認する。

セクション、項、の数と終端記号(;)との対応がとれているか
コメント文(/*,*/)の対応が取れているか

YY05

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(YY05): 'XXXX' () MISSING OR KEY NOT DEFINED.

[和文] DI:diirmrep:異常:(YY05): 'XXXX' ' (')' があっていないか、キーの設定がされていません。

[説明] "(,)"の対応がとれていない。

[処置] 以下を確認する。

 "(,)"の対応がとれているか

 "(,)"の中に何も定義されていないところが無いか

YY06

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(YY06): 'XXXX' = MISSING OR ILLEGAL KEY NAME.

[和文] DI:diirmrep:異常:(YY06): 'XXXX' '=' がないか、キーの指定が正しくありません。

[説明] "="が正しく指定されていない。

[処置] "="の定義位置、前後の文法に誤りがないかを確認する。

YY07

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(YY07): 'XXXX' = MISSING OR MISPLACED.

[和文] DI:diirmrep:異常:(YY07): 'XXXX' '=' の指定が正しくありません

[説明] "="が正しく指定されていない。

[処置] "="の定義位置、前後の文法に誤りがないかを確認する。

YY08

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(YY08): 'XXXX' ITEM IS NOT DEFINED.

[和文] DI:diirmrep:異常:(YY08): 'XXXX' 項目が定義されていません。

[説明] 項目が正しく指定されていない。

[処置] 以下を確認する。

 "項名の最初に"%がついているか

 項レベルにパラメータを定義していないか

YY09

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(YY09): 'XXXX' SECTION NAME IS NOT DEFINED.

[和文] DI:diirmrep:異常:(YY09): 'XXXX' セクション名の定義がされていません。

[説明] セクションが正しく指定されていない。

[処置] 以下を確認する。

”\$”で始まらない定義がセクションレベルに存在していないか
セクション、項と終端記号(;)との対応がとれているか
コメント文(/*, */)の対応が取れているか

YY13

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(YY13): 'XXXX' SYNTAX ERROR.

[和文] DI:diirmrep:異常:(YY13): 'XXXX' 文法エラー。

[説明] EDL の構文に誤りがある。

[処置] 他の構文解析エラーと一緒に出力されることが多いため、前後の文法について再確認する。

YY21

W

[英文] DI:diirmrep:Warning:(YY21): 'XXXX' PARAMETER NOT DEFINED.

[和文] DI:diirmrep:警告:(YY21): 'XXXX' 項目以下が記述されていません。

[説明] 項を定義したが、配下のパラメータを一つも定義していない場合に発生する。
配下のパラメータが全て省略可の項の場合は、無視しても良い。

[処置] 配下のパラメータを定義する。
項目の定義を削除する。

YY23

W

[英文] DI:diirmrep:Warning:(YY23): 'XXXX' /* IN COMMENT.

[和文] DI:diirmrep:警告:(YY23): 'XXXX' コメント内に /* がある。

[説明] ”/*”, ”*/”のなかにさらに”/*”がある場合に出力される。

[処置] 該当する場所を修正する。

YY26

E

[英文] DI:diirmrep:Error:(YY26): 'XXXX' */ NOT FOUND.

[和文] DI:diirmrep:異常:(YY26): 'XXXX' コメント文の終端がありません。

[説明] "/*"に対応する"*/"がない。

[処置] 該当する場所を修正する。

YY27

E

[英文] DI:diirmrep:Error:(YY27): 'XXXX' UNKNOWN CHARACTER.

[和文] DI:diirmrep:異常:(YY27): 'XXXX' 定義値に使用できない文字があります。

[説明] 定義値に使用できない文字を使っている。

[処置] 該当する場所を修正する。

YY28

E

[英文] DI:diirmrep:Error:(YY28): 'XXXX' IDENTIFIER TOO LONG.

[和文] DI:diirmrep:異常:(YY28): 'XXXX' 定義値が長すぎます。

[説明] セクション名、パラメータ名として定義した名前が長すぎる。

[処置] 該当する場所を修正する。

YY31

E

[英文] DI:diirmrep:Error:(YY31): EDL SOURCE FILE OPEN ERROR. errno=XXXX file=XXXX

[和文] DI:diirmrep:異常:(YY31): E D L ソースファイルのオープンに失敗しました。errno=XXXX ファイル名=XXXX

[説明] 指定されたEDL ソースファイルが見つからない。

[処置] 指定したEDL ソースファイルが存在するか確認する。

TR10

E

[英文] DI:diirmrep:Error:(TR10): ILLEGAL CONSTRUCTION DATA. ADDRESS=XXXX

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR10): 関連パラメータの定義内容と不整合があります。パラメータ=XXXX

[説明] 関連パラメータの設定と矛盾した値をパラメータに設定している。

[処置] 対象のパラメータの説明を再確認する。

TR20

E

[英文] DI:diirmrep:Error:(TR20): CAN NOT USE THIS DATA. DATA=%s ADDRESS=%s

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR20): このパラメータにこの値は指定出来ません。値=XXXX パラメータ=XXXX

[説明] パラメータによってはあらかじめ定義値の種類が決まっているものがある。

[処置] 対象のパラメータの説明を再確認する。

TR22

E

[英文] DI:diirmrep:Error:(TR22): PARAMETER UNDEFINED. ADDRESS=%s

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR22): 必須パラメータが定義されていません。パラメータ=XXXX

[説明] セクションによっては必須パラメータが決まっているものがある。

[処置] 対象のパラメータの説明を再確認する。

TR24

E

[英文] DI:diirmrep:Error:(TR24): ITEM(S) REPEAT OVER TIME. REPEAT=999(999) ADDRESS=XXXX

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR24): 繰り返し回数が多すぎます。繰り返し=999(999) パラメータ=XXXX

[説明] 繰り返し回数の上限が決まっているパラメータで、その上限を超える定義をした場合に発生する。

[処置] 繰り返し回数を上限より少なくする。

TR30

E

[英文] DI:diirmrep:Error:(TR30): DATA VALUE IS TOO MINIMUM. VALUE=999(999) ADDRESS=XXXX

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR30): 指定データ値が小さすぎます。指定値=999(999) パラメータ=XXXX

[説明] 繰数値を指定するパラメータでは、その数値の下限が決まっているものがある。

[処置] 数値を下限よりも多くする。

TR31

E

[英文] DI:diirmrep:Error:(TR31): DATA VALUE IS TOO MAXIMUM. VALUE=999(999) ADDRESS=XXXX

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR31): 指定データ値が大きすぎます。指定値=999(999) パラメータ=XXXX

[説明] 繰数値を指定するパラメータでは、その数値の上限が決まっているものがある。

[処置] 数値を上限よりも少なくする。

TR33

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(TR33): DATA STRING LENGTH IS TOO LONG. LENGTH=999(999) ADDRESS=XXXX

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR33): 指定文字列の文字列長が長すぎます。文字列長=999(999) パラメータ=XXXX

[説明] 文字列を指定するパラメータでは、指定する文字列の長さに制限があるものがある。

[処置] 指定文字列を最大文字列長よりも短くする。

TR61

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(TR61): SG OBJECT NON-EXIST. CANNOT USE REPLACE COMMAND. LSNAME=XXXX
SECNAME=XXXX

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR61): 要求セクションのオブジェクトは存在してません。システム名=XXXX セクション名=XXXX

[説明] 更新コマンド(diirmrep)で指定したSG オブジェクトは存在しない。

[処置] 生成コマンド(diirmadd)を使用する。

TR62

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(TR62): SG OBJECT FILE ERROR. CANNOT USE ADD, REPLACE COMMAND. LSNAME=XXXX
SECNAME=XXXX SFSTAT=XXXX

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR62): 要求セクションのオブジェクトはデータが壊れています。システム名=XXXX セクション名=XXXX ファイル情報=XXXX

[説明] なんらかの影響でオブジェクトファイルの内容が壊れている可能性がある。

[処置] 対象のオブジェクトを削除してから、再生成する。
削除、再生成も出来ない場合はオブジェクトファイル全体を再作成する。

TR68

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(TR68): ILLEGAL SECTION NAME. SECNAME=XXXX

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR68): セクション名が不正です。セクション名=XXXX

[説明] セクション名が間違っている。

[処置] セクション名を再確認する。

TR70

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(TR70): DUPLICATIED DEFINITION. PARAMETER=XXXX VALUE=XXXX LINE=999/999

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR70): 定義値が重複しています。パラメータ=XXXX 値=XXXX 行=999/999

[説明] 重複が許されないパラメータの定義値が重複している。

[処置] 定義値が一意になるように、重複している定義値を修正する。

TR80

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(TR80): CANNOT TRANSLATE THIS ITEM. ITEM=XXXX LINE=999

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR80): この項目は変換できませんでした。項名=XXXX 行=999

[説明] 認識できない項目が定義されている。

[処置] 項名、項の定義位置が間違っていないか確認する。

TR81

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(TR81): CANNOT TRANSLATE THIS PARAMETER. PARAMETER=XXXX LINE=999

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR81): このパラメータは変換できませんでした。パラメータ名=XXXX 行=999

[説明] 認識できないパラメータが定義されている。

[処置] パラメータ名、パラメータの定義位置が間違っていないか確認する。

TR85

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(TR85): THE VALUE OF %s IS DIFFERENT FROM THE VALUE OF %s. VALUE=%s

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR85): XXXX が XXXX に定義されている値と異なります。値=XXXX

[説明] 定義されていない値を設定している。

[処置] 設定値を修正する。

TR86

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(TR86): FORMAT ERROR. VALUE=XXXX, FORMAT=XXXX, ADDRESS=XXXX

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR86): フォーマットエラー。値=%s, フォーマット=%s, パラメータ=%s

[説明] 設定した値のフォーマットが誤っている。

[処置] 指定されたフォーマットに修正する。

TR87

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(TR87): COMPARE ERROR. ADDRESS=XXXX

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR87): 比較チェックエラー。比較条件=XXXX

[説明] 比較条件に反する定義がされている。

[処置] 設定値を指定した比較条件を満たすよう修正する。

TR88

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(TR88): PARAMETER CANNOT DEFINED. ADDRESS=XXXX

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR88): パラメータは指定できません。パラメータ=XXXX

[説明] 定義してはならないパラメータを定義している。

[処置] パラメータを削除する。

TR89

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(TR89): STREAM COUNT IS DIFFERENT. LINE=999/999

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR89): STREAM 項の数が異なります。行=999/999

[説明] 対となる SUPERSTREAM 項で、それぞれ定義している STREAM 項の数が異なる。

[処置] 対となる SUPERSTREAM 項において、STREAM 項の定義を同じ構成に修正する。

TR90

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(TR90): RANGE IS TOO MINIMUM. RANGE=999(999) ADDRESS=XXXX

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR90): 範囲の合計が小さすぎます。指定範囲=999(999) パラメータ=XXXX

[説明] 定義した範囲の合計が小さい。

[処置] 指定した範囲が間違っていないか確認する。

TR91

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(TR91): THE VALUE OF EXEC IS SAME. ADDRESS=%s, VALUE=%s, LINE=%d/%d

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR91): 指定値の値 (EXEC) が同じ値です。パラメータ=XXXX, 値=XXXX, 行=999/999

[説明] 対となる SUPERSTREAM 項において、パラメータ EXEC に同じ値を設定している。

[処置] 一方の SUPERSTREAM 項のパラメータ EXEC の値を修正する。

TR92

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(TR92): THE VALUE IS NOT SAME. ADDRESS=XXXX, VALUE=XXXX, LINE=999/999

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR92): 同じ値を設定してません。パラメータ=XXXX, 値=XXXX, 行=999/999

[説明] 同じ値を設定していない。

[処置] 設定値が間違っていないか確認する。

TR93

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(TR93): THE STREAM-NAME IS NOT SAME. VALUE=XXXX, LINE=999/999

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR93): 対となる SUPERSTREAM 項には存在しない STREAM-NAME を定義しています。値=XXXX, 行=999/999

[説明] 対となる SUPERSTREAM 項には定義されていない値を STREAM-NAME に設定している。

[処置] 対となる SUPERSTREAM 項において、STREAM 項の定義を同じ構成に修正する。

TR94

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(TR94): THE SUPERSTREAM MUST BE A COUPLE.

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR94): SUPERSTREAM 項が対になっていません。

[説明] 対となる SUPERSTREAM 項が定義されていない。

[処置] 対となる SUPERSTREAM 項を定義する。

TR95

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(TR95): ALL OF THE PARAMETER CANNOT BE DEFINED OF 0. ADDRESS=%s, LINE=%d

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR95): 指定したパラメータをすべて 0 に設定することはできません。パラメータ=XXXX, 行=999

[説明] 指定したパラメータに全て 0 を設定している。

[処置] 少なくとも 1 つのパラメータに 0 以外の値を設定する。

TR96

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(TR96): THE PERMISSION OF THE SAME COMMAND IS DIFFERENT. USERTYPE=XXXX NAME=XXXX
CMD=XXXX LINE=999/999

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR96): 指定したコマンドに異なる実行権限を設定しています。 ユーザタイプ=XXXX
名前=XXXX コマンド名=XXXX 行=999/999

[説明] 指定したコマンドの実行権限が項によって異なる設定をしている。

[処置] 指定した行のコマンド実行権限を統一する。

TR97

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(TR97): DIFFERENT SYSTEM PATH BE DEFINED. ADDRESS=%s, LINE=%d

[和文] DI:diirmrep:異常:(TR97): 系統の異なるパスが定義されています。パラメータ=XXXX, 行=999

[説明] 同一項内で、稼動系情報(CPATH1, SPATH1, UPATH1)と待機系情報(CPATH3, SPATH3, UPATH3)を混在した定義をしている。

[処置] 項内の定義をどちらか一方の系統に統一する。

AT06

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(AT06): Please Tell me EDL sourcefile name.

[和文] DI:diirmrep:異常:(AT06): E D L ソースファイルの指定が必要です。

[説明] “-E”の指定は更新コマンド(diirmrep)では必須。

[処置] 実行コマンドを再確認する。

AT08

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(AT08): Illegal parameter '-S'.

[和文] DI:diirmrep:異常:(AT08): セクション名の指定は無効です。

[説明] 更新コマンド(diirmrep)で“-S”を指定している場合に出力される。

[処置] 実行コマンドを再確認する。

AT16

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(AT16): EDL sourcefile name is too long.

[和文] DI:diirmrep:異常:(AT16): E D L ソースファイルの指定が長すぎます。

[説明] EDL ファイル名の指定は 256 文字まで。

[処置] 256 文字以下にする。

AT22

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(AT22): Illegal Option(-e, -s, -t) in this command.

[和文] DI:diirmrep:異常:(AT22): オプション-e, -s, -t はオブジェクト情報出力時にのみ有効です。

[説明] オブジェクト更新(diirmrep)時にはこれらのパラメータは指定できません。

[処置] 実行コマンドを再確認する。

AT23

W

[英文] DI:diirmrep:Warning: (AT23): Search EDL in Current Working Directory.

[和文] DI:diirmrep:警告:(AT23): E D L ソースファイルはカレントディレクトリを検索します。

[説明] 環境変数 DIOSA_EDLSRCDIR で指定したディレクトリに EDL ファイル(-E で指定したファイル)が存在しない。

カレントディレクトリを検索して、同名のファイルがあればそれを読み込む。

カレントディレクトリにも存在しない場合はエラーなる。

MN01

E

[英文] DI:diirmrep>Error:(MN01): SG OBJECT FILE OPEN ERROR. errno=999 DIOSA_IRMROOT=XXXX

[和文] DI:diirmrep:異常:(MN01): S G オブジェクトファイルのオープンに失敗しました。 errno=999 DIOSA_IRMROOT=XXXX

[説明] SG オブジェクトファイルのオープンに失敗した。

[処置] UNIX のエラー番号を元に解決する。

- ・ 環境変数 DIOSA_IRMROOT で指定したディレクトリがありません。

→ディレクトリを作成する。

- ・ 環境変数 DIOSA_IRMROOT で指定したディレクトリに対するアクセス権がありません。

→アクセスモードの設定を変更してアクセス可能にする。

→アクセスモードの設定を変更してアクセス可能にする。

第4章 トレースメッセージ

APP トレース、デバッグトレースのメッセージは以下の形式で出力する。メッセージは、コマンドの場合は標準出力、デーモン/API の場合はシスログに出力する。

メッセージ構成

DIAPT000 I OLTP1 diaptrcinit APP トレース機能を開始しました。 code=0006_0727				
①	②	③	④	⑤

- ①メッセージ I D : 個々のメッセージの識別コード
- ②メッセージ種別 : メッセージ種別は以下の 3 種類ある。

I 情報
W 警告
E エラー
- ③ノード情報 : メッセージを出力したノード情報を、“論理ノード名”
 の形式で出力する
- ④コマンド名/プロセス名 : メッセージを出力したコマンド名/プロセス名
- ⑤メッセージ本文 : 本文

4.1 APP トレース

DIAPT000

I

- [英文] Application Trace started. code=@1
- [和文] APP トレース機能を開始しました。 code=@1
- [説明] APP トレース機能初期化起動
 @1 : DIOSA 内部コード
- [処置] 処置の必要なし

DIAPT001

I

- [英文] Application Trace terminated normally. code=@1
- [和文] APP トレース機能を終了しました。 code=@1
- [説明] APP トレース機能終了
 @1 : DIOSA 内部コード
- [処置] 処置の必要なし

DIAPT009

I

[英文] daemon is running. code=@1

[和文] (英文と同じメッセージ)

[説明] トレース情報出力デーモンが起動しました
@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIAPT010

I

[英文] daemon is stopped. code=@1

[和文] (英文と同じメッセージ)

[説明] トレース情報出力デーモンが停止しました
@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIAPT013

I

[英文] Trace out file has rotation. NEW_FILE=@1 OLD_FILE=@2 MODE=@3 code=@4

[和文] (英文と同じメッセージ)

[説明] トレース情報出力ファイルのローテーション
@1 : 新しいファイル
@2 : 古いファイル
@3 : ファイル更新の有無
CREATE=ファイルの新規作成
UPDATE=ファイルの上書更新
@4 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIAPT020

I

[英文] Application Trace is already stopped. code=@1

[和文] APP トレース機能は既に終了しています。 code=@1

[説明] APP トレース機能二重終了
@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIAPT021

I

[英文] Daemon has already run. code=@1

[和文] トレース情報出力デーモンは既に起動しています。 code=@1

[説明] トレース情報出力デーモン二重起動要求

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIAPT022

I

[英文] Daemon has already stopped. code=@1

[和文] トレース情報出力デーモンは既に停止しています。 code=@1

[説明] トレース情報出力デーモン二重停止要求

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIAPT030

I

[英文] Daemon is stopped. code=@1

[和文] トレース情報出力デーモンが停止しました。 code=@1

[説明] トレース情報出力デーモン終了

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIAPT042

I

[英文] Application Trace is already running. code=@1

[和文] APP トレース機能は既に開始しています。 code=@1

[説明] APP トレース機能二重起動

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIAPT048

W

[英文] Output file failed to move. FILE=@1 errno=@2 code=@3

[和文] トレース情報直接出力ファイルの退避に失敗しました。FILE=@1 errno=@2 code=@3

[説明] トレース情報直接出力ファイルの退避に失敗

@1: ファイル名

@2: UNIX エラーコード

@1: DIOSA 内部コード

[処置] 運用で問題が有れば対応

DIAPT051

I

[英文] Daemon is not running. code=@1

[和文] トレース情報出力デーモンが起動されていません。code=@1

[説明] トレース情報出力デーモンが起動されていません

@1: DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIAPT052

I

[英文] The trace information preservation area was overwritten. PAGE#=@1 code=@2

[和文] (英文と同じメッセージ)

[説明] トレース情報保存領域が上書きされた

@1: 上書きされたトレース情報保存領域のページ番号

@2: DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIAPT065

I

[英文] Daemon is running. code=@1

[和文] トレース情報出力デーモンが起動しました。code=@1

[説明] トレース情報出力デーモン起動

@1: DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIAPT101

E

- [英文] Duplicate option. OPTION=@1 code=@2
- [和文] オプションが重複しています。OPTION=@1 code=@2
- [説明] オプションが重複しています
@1 : エラーオプション
@2 : DIOSA 内部コード
- [処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT104

E

- [英文] Illegal option. OPTION=@1 code=@2
- [和文] オプションが不正です。OPTION=@1 code=@2
- [説明] オプションが不正です
@1 : エラーオプション
@2 : DIOSA 内部コード
- [処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT105

E

- [英文] Options should be unique. OPTION=@1 code=@2
- [和文] オプションが衝突しています。OPTION=@1 code=@2
- [説明] オプションが衝突しています
@1 : 衝突しているオプション
@2 : DIOSA 内部コード
- [処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT112

E

- [英文] Invalid ending time. TIME=@1 code=@2
- [和文] 終了時刻が不正です。TIME=@1 code=@2
- [説明] 終了時刻が不正です
@1 : エラー終了時刻
@2 : DIOSA 内部コード
- [処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT122

E

- [英文] Input file name is missing. code=@1
- [和文] 入力ファイルの指定がされていません。 code=@1
- [説明] 入力ファイルの指定がされていません
@1 : DIOSA 内部コード
- [処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT123

E

- [英文] Invalid beginning time. TIME=@1 code=@2
- [和文] 開始時刻が不正です。 TIME=@1 code=@2
- [説明] 開始時刻が不正です
@1 : エラー開始時刻
@2 : DIOSA 内部コード
- [処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT132

E

- [英文] Process group id set failed. code=@1
- [和文] プロセス・グループ ID の設定に失敗しました。 code=@1
- [説明] システムエラー
@1 : DIOSA 内部コード
- [処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT146

E

- [英文] Invalid format of data text. TEXT=@1 code=@2
- [和文] データ部のテキストのフォーマットが不正です。 TEXT=@1 code=@2
- [説明] データ部のテキストのフォーマットが不正です
@1 : データ部のエラーテキスト
@2 : DIOSA 内部コード
- [処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT147

E

[英文] Invalid level value. LEVEL=@1 code=@2

[和文] レベル値が不正です。LEVEL=@1 code=@2

[説明] レベル値が不正です

@1 : エラーレベル値

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT149

E

[英文] Invalid outuserdata mode. MODE=@1 code=@2

[和文] ユーザデータ出力のモードが不正です。MODE=@1 code=@2

[説明] ユーザデータ出力のモードが不正です

@1 : オプションに指定した不正なパラメータ値

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] コマンドのオプション指定を見直し、再度コマンドを投入

DIAPT151

E

[英文] Invalid absolute path. code=@1

[和文] トレース情報出力ファイルのパスが絶対パスではありません。code=@1

[説明] トレース情報出力ファイルのパスが不正です

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT152

E

[英文] Directory access failed. DIR=@1 errno=@2 code=@3

[和文] @1 @2 ディレクトリのアクセスに失敗しました。DIR=@1 errno=@2 code=@3

[説明] ディレクトリのアクセスに失敗した。

@1 : ディレクトリ

@2 : UNIX エラーコード

@3 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT161

E

[英文] Invalid flush mode. MODE=@1 code=@2

[和文] 強制書き込みのモードが不正です。MODE=@1 code=@2

[説明] 強制書き込みのモードが不正です

@1 : オプションに指定した不正なパラメータ値

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] コマンドのオプション指定を見直し、再度コマンドを投入

DIAPT163

E

[英文] IPC key should be unique. IPCKEY=@1 errno=@2 code=@3

[和文] IPC キーが重複しています。IPCKEY=@1 errno=@2 code=@3

[説明] IPC キーが重複しています

@1 : IPC キー

@2 : UNIX エラーコード

@3 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT164

E

[英文] Invalid processid. PRCID=@1 code=@2

[和文] プロセス ID が不正です。PRCID=@1 code=@2

[説明] プロセス ID が不正です

@1 : 入力のエラープロセス ID

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT202

E

[英文] Lock file create failed. FILE=@1 errno=@2 code=@3

[和文] ロックファイルの作成に失敗しました。FILE=@1 errno=@2 code=@3

[説明] ロックファイルの作成に失敗しました

@1 : ロックファイル名

@2 : UNIX エラーコード

@3 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT203

E

[英文] Shared memory get failed. IPCKEY=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの取得に失敗しました。IPCKEY=@1 errno=@2 code=@3

[説明] 共有メモリの取得に失敗しました

@1 : IPC キー

@2 : UNIX エラーコード

@3 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT208

E

[英文] Shared memory attach failed. IPCKEY=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 共有メモリのアタッチに失敗しました。IPCKEY=@1 errno=@2 code=@3

[説明] 共有メモリのアタッチに失敗しました

@1 : IPC キー

@2 : UNIX エラーコード

@3 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT209

E

[英文] Shared memory lock failed. IPCKEY=@1 errno=@2 FILE=@3 code=@4

[和文] 共有メモリのロックに失敗しました。IPCKEY=@1 errno=@2 FILE=@3 code=@4

[説明] 共有メモリのロックに失敗しました

@1 : IPC キー

@2 : UNIX エラーコード

@3 : ロックファイル名

@4 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT210

E

[英文] Shared memory unlock failed. IPCKEY=@1 errno=@2 FILE=@3 code=@4

[和文] 共有メモリのアンロックに失敗しました。IPCKEY=@1 errno=@2 FILE=@3 code=@4

[説明] 共有メモリのアンロックに失敗しました

@1 : IPC キー

@2 : UNIX エラーコード

@3 : ロックファイル名

@4 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT217

E

[英文] Memory allocate failed in the daemon. code=@1

[和文] メモリ領域の確保に失敗しました。code=@1

[説明] トレース情報出力デーモンでメモリ領域の確保に失敗しました

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT218

E

[英文] IPC key get failed. IPCKEY=@1 errno=@2 code=@3

[和文] IPC キーの取得に失敗しました。IPCKEY=@1 errno=@2 code=@3

[説明] IPC キーの取得に失敗しました

@1 : IPC キー

@2 : UNIX エラーコード

@3 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT219

E

[英文] Lock file open failed in the daemon. FILE=@1 errno=@2 code=@3

[和文] ロックファイルのオープンに失敗しました。FILE=@1 errno=@2 code=@3

[説明] ロックファイルのオープンに失敗しました

@1 : ロックファイル名

@2 : UNIX エラーコード

@3 : DIOSA 内部コード

[処置] エラーメッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT220

E

[英文] Lock file close failed. FILE=@1 errno=@2 code=@3

[和文] ロックファイルのクローズに失敗しました。FILE=@1 errno=@2 code=@3

[説明] ロックファイルのクローズに失敗しました

@1: ロックファイル名

@2: UNIX エラーコード

@3: DIOSA 内部コード

[処置] エラーメッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT221

E

[英文] Fork failed. code=@1

[和文] フォーク処理に失敗しました。code=@1

[説明] システムエラー

@1: DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT222

E

[英文] Failed to open alternative destination file for stdout or stderr. FILE=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 標準出力または標準エラー出力の代替出力先ファイルのオープンに失敗しました。FILE=@1 errno=@2 code=@3

[説明] 標準出力または標準エラー出力を代替するファイルのオープン(open)を試みたが失敗した。

@1: ファイル名

@2: UNIX エラーコード

@3: DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIAPT229

E

[英文] Shared memory free failed. IPCKEY=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの解放に失敗しました。IPCKEY=@1 errno=@2 code=@3

[説明] 共有メモリの解放に失敗しました

@1: IPC キー

@2: UNIX エラーコード

@3: DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT235

E

[英文] Output file open failed. FILE=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 出力ファイルのオープンに失敗しました。FILE=@1 errno=@2 code=@3

[説明] 出力ファイルのオープンに失敗しました

@1: ファイル名

@2: UNIX エラーコード

@3: DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT236

E

[英文] Daemon failed to run. errno=@1 code=@2

[和文] トレース情報出力デーモンの起動に失敗しました。errno=@1 code=@2

[説明] トレース情報出力デーモンの起動に失敗しました

@1: UNIX エラーコード

@2: DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT267

E

[英文] Input file open failed. FILE=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 入力ファイルのオープンに失敗しました。FILE=@1 errno=@2 code=@3

[説明] 入力ファイルのオープンに失敗しました

@1: 入力ファイル名

@2: UNIX エラーコード

@3: DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT268

E

[英文] Failed to fread input file. FILE=@1 code=@2

[和文] 入力ファイルの読み込みに失敗しました。FILE=@1 code=@2

[説明] 入力ファイルの読み込みに失敗しました

@1: 入力ファイル名

@2: DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT269

E

[英文] Failed to fseek input file. FILE=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 入力ファイルのポインタ操作に失敗しました。FILE=@1 errno=@2 code=@3

[説明] 入力ファイルのポインタ操作に失敗しました

@1 : 入力ファイル名

@2 : UNIX エラーコード

@3 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT314

E

[英文] Input file type invalid. FILE=@1 code=@2

[和文] 入力ファイルのタイプが不正です。FILE=@1 code=@2

[説明] 入力ファイルのタイプが不正です

@1 : 入力ファイル名

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT337

E

[英文] The ending time is before from the beginning time. code=@1

[和文] 終了時刻は開始時刻より前です。code=@1

[説明] 正しい開始時刻と終了時刻を指定する必要があります

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIAPT359

E

[英文] Information of trace out file get failed in the daemon. code=@1

[和文] (英文と同じメッセージ)

[説明] トレース情報出力ファイルの情報の取得に失敗しました

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

4.2 デバッグトレース

DIDBG000

I

- [英文] Debug Trace started. code=@1
- [和文] デバッグトレース機能を開始しました。 code=@1
- [説明] デバッグトレース機能初期化起動
@1 : DIOSA 内部コード
- [処置] 処置の必要なし。

DIDBG001

I

- [英文] Debug Trace terminated normally. code=@1
- [和文] デバッグトレース機能を終了しました。 code=@1
- [説明] デバッグトレース機能終了
@1 : DIOSA 内部コード
- [処置] 処置の必要なし

DIDBG004

I

- [英文] didbglogd is running. code=@1
- [和文] (英文と同じメッセージ)
- [説明] ログ情報ファイル出力デーモンが起動しました
@1 : DIOSA 内部コード
- [処置] 処置の必要なし

DIDBG005

I

- [英文] didbglogd is stopped. code=@1
- [和文] (英文と同じメッセージ)
- [説明] ログ情報ファイル出力デーモンが停止しました
@1 : DIOSA 内部コード
- [処置] 処置の必要なし

DIDBG008

I

[英文] Log output file has swapped. NEW_FILE=@1 OLD_FILE=@2 code=@3

[和文] (英文と同じメッセージ)

[説明] ログ情報ファイルをスワップしました。

@1: スワップ前のファイル

@2: スワップ後のファイル

@3: DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIDBG009

I

[英文] didbgerrd is running. code=@1

[和文] (英文と同じメッセージ)

[説明] 障害情報ファイル出力デーモンが起動しました

@1: DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIDBG010

I

[英文] didbgerrd is stopped. code=@1

[和文] (英文と同じメッセージ)

[説明] 障害情報ファイル出力デーモンが停止しました

@1: DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIDBG013

I

[英文] Err output file has swapped. NEW_FILE=@1 OLD_FILE=@2 code=@3

[和文] (英文と同じメッセージ)

[説明] 障害情報ファイルをスワップしました。

@1: スワップ前のファイル

@2: スワップ後のファイル

@3: DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIDBG015

I

[英文] The registration of section information is invalid. code=@1

[和文] 区間情報の登録は無効です。 code=@1

[説明] 区間情報を登録していない状態で、区間情報を削除した場合に出力される。

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIDBG016

I

[英文] The command of environment setting in section is invalid. code=@1

[和文] 区間内動作環境変更コマンドは無効です。 code=@1

[説明] 環境変数 DIOSA_DBGTRCSWNUM=0 の状態で、区間内動作環境変更コマンドを実行した場合に出力される。

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIDBG020

I

[英文] Debug Trace is already stopped. code=@1

[和文] デバッグトレース機能は既に終了しています。 code=@1

[説明] デバッグトレース機能二重終了。

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIDBG021

I

[英文] Daemon has already run. code=@1

[和文] 障害情報ファイル出力デーモンは既に起動しています。 code=@1

[説明] 障害情報ファイル出力デーモン二重起動要求

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIDBG022

I

[英文] Daemon has already stopped. code=@1

[和文] 障害情報ファイル出力デーモンは既に停止しています。 code=@1

[説明] 障害情報ファイル出力デーモン二重停止要求

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIDBG023

I

[英文] Daemon has already run. code=@1

[和文] ログ情報ファイル出力デーモンは既に起動しています。 code=@1

[説明] ログ情報ファイル出力デーモン二重起動要求

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIDBG024

I

[英文] Daemon has already stopped. code=@1

[和文] ログ情報ファイル出力デーモンは既に停止しています。 code=@1

[説明] ログ情報ファイル出力デーモン二重停止要求

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIDBG027

I

[英文] The command of trace information setting is invalid. code=@1

[和文] トレース情報出力ポイント設定コマンドは無効です。 code=@1

[説明] 環境変数 DIOSA_DBGTRCPTNUM=0 の状態で、トレース情報出力ポイント設定コマンドを実行した場合に出力される。

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIDBG030

I

[英文] Daemon is stopped. code=@1

[和文] 障害情報ファイル出力デーモンが停止しました。 code=@1

[説明] 障害情報ファイル出力デーモン終了
@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIDBG031

I

[英文] Daemon is stopped. code=@1

[和文] ログ情報ファイル出力デーモンが停止しました。 code=@1

[説明] ログ情報ファイル出力デーモン終了
@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIDBG042

I

[英文] Debug Trace is already running. code=@1

[和文] デバッグトレース機能は既に開始しています。 code=@1

[説明] APP トレース機能二重起動
@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIDBG065

I

[英文] Daemon is running. code=@1

[和文] 障害情報ファイル出力デーモンが起動しました。 code=@1

[説明] トレース情報出力デーモン起動
@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIDBG066

I

[英文] Daemon is running. code=@1

[和文] ログ情報ファイル出力デーモンが起動しました。 code=@1

[説明] ログ情報ファイル出力デーモン起動

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIDBG068

I

[英文] The command of process information setting is invalid. code=@1

[和文] プロセス動作環境変更コマンドは無効です。 code=@1

[説明] 環境変数 DIOSA_DBGTRCPSNUM=1 の状態で、プロセス動作環境変更コマンドによってプロセス動作環境設定を削除した場合に出力される。

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] 処置の必要なし

DIDBG101

E

[英文] Duplicate option. OPTION=@1 code=@2

[和文] オプションが重複しています。 OPTION=@1 code=@2

[説明] オプションが重複しています

@1 : エラーオプション

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG104

E

[英文] Illegal option. OPTION=@1 code=@2

[和文] オプションが不正です。 OPTION=@1 code=@2

[説明] オプションが不正です

@1 : エラーオプション

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG105

E

[英文] Options should be exclusive. OPTION=@1 code=@2

[和文] オプションが衝突しています。 OPTION=@1 code=@2

[説明] オプションが衝突しています

@1 : 衝突しているオプション

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG106

E

[英文] Option missing. code=@1

[和文] オプションが不足しています。 code=@1

[説明] オプションが衝突しています

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG107

E

[英文] Option missing. OPTION=@1 code=@2

[和文] オプションが不足しています。 OPTION=@1 code=@2

[説明] オプションが衝突しています

@1 : エラーオプション

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG111

E

[英文] Section number reach the limit. TOTAL/SECTION=@1 code=@2

[和文] 区間数が制限を越えています。 TOTAL/SECTION=@1 code=@2

[説明] 区間内動作環境設定を区間数の登録上限を超えて登録した場合に出力する。

@1 : 区間数

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] 不要な区間内動作環境設定を削除し、再度コマンドを投入

DIDBG112

E

[英文] Invalid ending time. TIME=@1 code=@2

[和文] 終了時刻が不正です。 TIME=@1 code=@2

[説明] 終了時刻が不正です

@1 : エラー終了時刻

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG113

E

[英文] Section already exist. SECTION=@1 code=@2

[和文] 指定された区間はすでに存在しています。 SECTION=@1 code=@2

[説明] 区間内動作環境設定を重複して登録した場合に出力する。

@1 : エラー区間名

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] 区間名を変更し、再度コマンドを投入

DIDBG122

E

[英文] Input file name is missing. code=@1

[和文] 入力ファイルの指定がされていません。 code=@1

[説明] 入力ファイルの指定がされていません

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG123

E

[英文] Invalid beginning time. TIME=@1 code=@2

[和文] 開始時刻が不正です。 TIME=@1 code=@2

[説明] 開始時刻が不正です

@1 : エラー開始時刻

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG124

E

[英文] Invalid comment. COMMENT=@1 code=@2

[和文] 指定されたコメントが不正です。 COMMENT=@1 code=@2

[説明] 開始時刻が不正です

@1 : エラーコメント

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG125

E

[英文] comment already exist. COMMENT=@1 code=@2

[和文] 指定されたコメントはすでに存在しています。 COMMENT=@1 code=@2

[説明] トレース情報出力ポイント設定コマンドで、既に登録済みのコメントを登録した場合に出力する

@1 : エラーコメント

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG126

E

[英文] Invalid section and Invalid comment. SECTION=@1 COMMENT=@2 code=@3

[和文] 指定された区間のコメントが不正です。 SECTION=@1 COMMENT=@2 code=@3

[説明] 指定した区間/コメントのトレース情報出力ポイントが存在しない

@1 : 区間名

@2 : コメント

@3 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG132

E

[英文] Process team id set failed. code=@1

[和文] プロセス・グループ ID の設定に失敗しました。 code=@1

[説明] システムエラー

@1 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG133

E

[英文] Invalid cyctime. CYCLE=@1 code=@2

[和文] サイクル値が不正です。 CYCLE=@1 code=@2

[説明] 性能測定情報編集コマンドで指定したサイクル値が不正

@1 : エラーサイクル値

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG134

E

[英文] Section does not exist. SECTION=@1 code=@2

[和文] 指定された区間は存在しません。 SECTION=@1 code=@2

[説明] 未登録の区間内動作環境設定を指定した場合に出力する。

@1 : エラー区間名

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] 区間名を変更し、再度コマンドを投入

DIDBG139

E

[英文] Invalid wait time value. TIME=@1 code=@2

[和文] 更新待ち時間が不正です。 TIME=@1 code=@2

[説明] 更新待ち時間が不正です

@1 : エラー更新待ち時間

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG140

E

[英文] Invalid performance information collection flag. FLAG=@1 code=@2

[和文] 性能情報収集フラグが不正です。 FLAG=@1 code=@2

[説明] 更新待ち時間が不正です

@1 : 性能情報収集フラグ

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG146

E

[英文] Invalid format of data's text. TEXT=@1 code=@2

[和文] データ部のテキストのフォーマットが不正です。 TEXT=@1 code=@2

[説明] データ部のテキストのフォーマットが不正です

@1: データ部のエラーテキスト

@2: DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG147

E

[英文] Invalid level value. LEVEL=@1 code=@2

[和文] レベル値が不正です。 LEVEL=@1 code=@2

[説明] レベル値が不正です

@1: エラーレベル値

@2: DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG149

E

[英文] Invalid outuserdata mode. MODE=@1 code=@2

[和文] ユーザデータ出力のモードが不正です。 MODE=@1 code=@2

[説明] ユーザデータ出力のモードが不正です

@1: ユーザデータ出力のモード

@2: DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG150

E

[英文] Invalid function information collection flag. FLAG=@1 code=@2

[和文] 区間情報収集フラグが不正です。 FLAG=@1 code=@2

[説明] 区間情報収集フラグが不正です

@1: 区間情報収集フラグ

@2: DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG151

E

[英文] Invalid absolute path. code=@1

[和文] 情報出力ファイルのパスが絶対パスではありません。 code=@1

[説明] トレース情報出力ファイルのパスが不正です
@1 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG152

E

[英文] Invalid section. SECTION=@1 code=@2

[和文] 指定された区間名が不正です。 SECTION=@1 code=@2

[説明] 区間情報収集フラグが不正です
@1 : 区間名
@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG153

E

[英文] Invalid mask value. MASK=@1 code=@2

[和文] マスク値が不正です。 MASK=@1 code=@2

[説明] マスク値が不正です
@1 : マスク値
@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG161

E

[英文] Invalid flush mode. MODE=@1 code=@2

[和文] 強制書き込みのモードが不正です。 MODE=@1 code=@2

[説明] 強制書き込みのモードが不正です
@1 : 強制書き込みのモード
@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG163

E

[英文] Ipc key should be exclusive. IPCKEY=@1 code=@2

[和文] IPC キーが衝突しています。 IPCKEY=@1 code=@2

[説明] IPC キーが重複しています

@1 : IPC キー

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG164

E

[英文] Invalid processid. PRCID=@1 code=@2

[和文] プロセス ID が不正です。 PRCID=@1 code=@2

[説明] プロセス ID が不正です

@1 : 入力のエラープロセス ID

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG165

E

[英文] Invalid process ID. ProcessID=@1 code=@2

[和文] プロセス ID が不正です。 ProcessID=@1 code=@2

[説明] プロセス ID が不正です

@1 : 入力のエラープロセス ID

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG166

E

[英文] Invalid process name. ProcessName=@1 code=@2

[和文] 指定されたプロセス名が不正です。 ProcessName=@1 code=@2

[説明] プロセス名が不正です

@1 : 入力のエラープロセス名

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG167

E

[英文] Process number reach the limit. ProcessNum=@1 code=@2

[和文] プロセススイッチ数が制限を越えています。 ProcessNum=@1 code=@2

[説明] プロセススイッチを登録が上限を超えた

@1 : プロセススイッチ数

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG168

E

[英文] Sequential number is error. SEQNO=@1 code=@2

[和文] (英文と同じメッセージ)

[説明] デーモンがシーケンシャル番号(トレース情報出力ファイルをサイクリックに使用する場合のファイル識別番号)不正を検知した

@1 : シーケンシャル番号

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] 開発部門へ問い合わせる。

DIDBG169

E

[英文] Process does not exist. ProcessName=@1 ProcessID=@2 code=@3

[和文] 指定されたプロセスは存在しません。 ProcessName=@1 ProcessID=@2 code=@3

[説明] 指定したプロセス名/プロセス ID のプロセス区間情報が存在しない

@1 : プロセス名

@2 : プロセス ID

@3 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG170

E

[英文] Process already exist. ProcessName=@1 ProcessID=@2 code=@3

[和文] 指定されたプロセスはすでに存在しています。 ProcessName=@1 ProcessID=@2 code=@3

[説明] 指定したプロセス名/プロセス ID のプロセス区間情報が存在する

@1 : プロセス名

@2 : プロセス ID

@3 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG202

E

[英文] Lock file create failed. FILE=@1 errno=@2 code=@3

[和文] ロックファイルの作成に失敗しました。 FILE=@1 errno=@2 code=@3

[説明] ロックファイルの作成に失敗しました

@1 : ロックファイル名

@2 : UNIX エラーコード

@3 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG203

E

[英文] Shared memory get failed. IPCKEY=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの取得に失敗しました。 IPCKEY=@1 errno=@2 code=@3

[説明] 共有メモリの取得に失敗しました

@1 : IPC キー

@2 : UNIX エラーコード

@3 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG208

E

[英文] Shared memory attach failed. IPCKEY=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 共有メモリのアタッチに失敗しました。IPCKEY=@1 errno=@2 code=@3

[説明] 共有メモリのアタッチに失敗しました

@1 : IPC キー

@2 : UNIX エラーコード

@3 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG209

E

[英文] Shared memory lock failed. IPCKEY=@1 errno=@2 FILE=@3 code=@4

[和文] 共有メモリのロックに失敗しました。IPCKEY=@1 errno=@2 FILE=@3 code=@4

[説明] 共有メモリのロックに失敗しました

@1 : IPC キー

@2 : UNIX エラーコード

@3 : ロックファイル名

@4 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG210

E

[英文] Shared memory unlock failed. IPCKEY=@1 errno=@2 FILE=@3 code=@4

[和文] 共有メモリのアンロックに失敗しました。IPCKEY=@1 errno=@2 FILE=@3 code=@4

[説明] 共有メモリのアンロックに失敗しました

@1 : IPC キー

@2 : UNIX エラーコード

@3 : ロックファイル名

@4 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG211

E

[英文] File read failed. SEQNO=@1 errno=@2 code=@3

[和文] (英文と同じメッセージ)

[説明] デーモンがログ情報出力ファイル/障害情報出力ファイルの読み込みに失敗した

@1: ログ情報出力ファイル/障害情報出力ファイルのカレントシーケンシャル番号

@2: UNIX エラーコード

@3: DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG212

E

[英文] File write failed. SEQNO=@1 errno=@2 code=@3

[和文] (英文と同じメッセージ)

[説明] デーモンがログ情報出力ファイル/障害情報出力ファイルの書き込みに失敗した

@1: ログ情報出力ファイル/障害情報出力ファイルのカレントシーケンシャル番号

@2: UNIX エラーコード

@3: DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG217

E

[英文] Memory allocate failed in the daemon. code=@1

[和文] メモリ領域の確保に失敗しました。 code=@1

[説明] デーモンがメモリ確保に失敗した

@1: DIOSA 内部コード

[処置] メモリ使用量を確認し、デーモンを再起動する

DIDBG218

E

[英文] IPC key get failed. IPCKEY=@1 errno=@2 code=@3

[和文] IPC キーの取得に失敗しました。 IPCKEY=@1 errno=@2 code=@3

[説明] IPC キーの取得に失敗しました

@1: IPC キー

@2: UNIX エラーコード

@3: DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG219

E

[英文] Lock file open failed in the daemon. FILE=@1 errno=@2 code=@3

[和文] ロックファイルのオープンに失敗しました。FILE=@1 errno=@2 code=@3

[説明] ロックファイルのオープンに失敗しました

@1: ロックファイル名

@2: UNIX エラーコード

@3: DIOSA 内部コード

[処置] エラーメッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG221

E

[英文] Fork failed. code=@1

[和文] フォーク処理に失敗しました。code=@1

[説明] システムエラー

@1: DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG222

E

[英文] Failed to open alternative destination file for stdout or stderr. FILE=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 標準出力または標準エラー出力の代替出力先ファイルのオープンに失敗しました。FILE=@1 errno=@2 code=@3

[説明] 標準出力または標準エラー出力を代替するファイルのオープン(open)を試みたが失敗した。

@1: ファイル名

@2: UNIX エラーコード

@3: DIOSA 内部コード

[処置] UNIX のエラー番号に従った処置を行う。

DIDBG229

E

[英文] Shared memory free failed. IPCKEY=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 共有メモリの解放に失敗しました。IPCKEY=@1 errno=@2 code=@3

[説明] 共有メモリの解放に失敗しました

@1: IPC キー

@2: UNIX エラーコード

@3: DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG235

E

[英文] Output file open failed. FILE=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 出力ファイルのオープンに失敗しました。 FILE=@1 errno=@2 code=@3

[説明] 出力ファイルのオープンに失敗しました

@1 : 出力ファイル名

@2 : UNIX エラーコード

@3 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG236

E

[英文] Daemon failed to run. errno=@1 code=@2

[和文] デーモンの起動に失敗しました。 errno=@1 code=@2

[説明] トレース情報出力デーモンの起動に失敗しました

@1 : UNIX エラーコード

@2 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG267

E

[英文] Input file open failed. FILE=@1 errno=@2 code=@3

[和文] 入力ファイルのオープンに失敗しました。 FILE=@1 errno=@2 code=@3

[説明] 入力ファイルのオープンに失敗しました

@1 : 入力ファイル名

@2 : UNIX エラーコード

@3 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG268

E

[英文] Failed to make directory. DIR=@1 errno=@2 code=@3

[和文] ディレクトリの作成に失敗しました。DIR=@1 errno=@2 code=@3

[説明] ディレクトリの作成に失敗しました

@1: ディレクトリパス

@2: UNIX エラーコード

@3: DIOSA 内部コード

[処置] 表示されたディレクトリの親ディレクトリの存在, 更新権限などを確認し、親ディレクトリ配下にディレクトリを作成できる状態にしてから、再度コマンドを投入

DIDBG269

E

[英文] Failed to get directory status. DIR=@1 errno=@2 code=@3

[和文] ディレクトリの状態取得に失敗しました。DIR=@1 errno=@2 code=@3

[説明] ディレクトリの状態取得に失敗しました

@1: ディレクトリパス

@2: UNIX エラーコード

@3: DIOSA 内部コード

[処置] 表示されたディレクトリの存在, 参照権限などを確認し、ディレクトリの状態を正常にしてから、再度コマンドを投入

DIDBG307

E

[英文] Input file pointer is null. FILEPOINT=@1 code=@2

[和文] 入力ファイルが存在しません。FILEPOINT=@1 code=@2

[説明] 入力ファイルのオープンに失敗しました

@1: ファイルポインタ

@2: DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG314

E

[英文] Input file type invalid. FILE=@1 code=@2

[和文] 入力ファイルのタイプが不正です。 FILE=@1 code=@2

[説明] 入力ファイルのタイプが不正です

@1: 入力ファイル名

@2: DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG337

E

[英文] The ending time is before from the beginning time. code=@1

[和文] 終了時刻は開始時刻より前です。 code=@1

[説明] 正しい開始時刻と終了時刻を指定する必要があります

@1: DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG348

E

[英文] Output file pointer is null. FILEPOINT=@1 code=@2

[和文] 出力ファイルが存在しません。 FILEPOINT=@1 code=@2

[説明] 出力ファイルのオープンに失敗しました

@1: ファイルポインタ

@2: DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG357

E

[英文] Not necessary to start daemon. code=@1

[和文] デーモンの起動は必要ありません。 code=@1

[説明] ログ情報出力ファイル/障害情報出力ファイルへの出力を行わない環境定義で、デーモンを起動した場合に出力される

@1: DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG359

E

[英文] Information of err out file get failed in the daemon. code=@1

[和文] (英文と同じメッセージ)

[説明] ログ情報出力ファイルの情報の取得に失敗しました
@1 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

DIDBG360

E

[英文] Information of log output file get failed in the daemon. code=@1

[和文] (英文と同じメッセージ)

[説明] 障害情報出力ファイルの情報の取得に失敗しました
@1 : DIOSA 内部コード

[処置] メッセージを参照し、再度コマンドを投入

第5章 Java メッセージ

5.1 DIDTD 系

DIDTD330

E

[英文] Failed to access DB. DETCODE=@1 sqlcode=@2

[説明] DB アクセスでエラーが発生した。

@ 1 : 詳細コード

@ 2 : sqlcode

[処置] 詳細コード、および sqlcode からエラー原因を解消し、処理を再実行する。

[関連]

DIDTD360

I

[英文] Pool file has been swapped. SPST=@1 FROM=@2 TO=@3

[説明] プールファイルがスワップした。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : スワップ元スタック ID

@ 3 : スワップ先スタック ID

[処置] 必要なし。

[関連]

DIDTD361

W

[英文] A few stack files are remaining. SPST=@1 STACKNUM=@2

[説明] プールファイルの空きスタック数が STACKNUM に表示されている数になった。

@ 1 : スーパーストリーム名

@ 2 : 空きスタック数

[処置] 何らかの原因でスーパーストリームの処理が滞留している場合、オーバーフロー前にエラー原因を取り除く必要がある。一部ユニットの処理遅延が原因の場合、該当ユニットを無効化することで、残りのユニットの運用は継続することが可能である。

[関連] DIDTD362

DIDTD362

E

[英文] Pool file has overflowed. SPST=@1

[説明] プールファイルがオーバーフローした。
@ 1 : スーパーストリーム名

[処置] ユニットの処理が滞留した原因を取り除く。滞留が解消されれば、プールファイルが初期化され、書き込み処理再開可能となる。

複数ユニットが定義されているスーパーストリームの場合、滞留の原因となっているユニットが長期障害の場合は、該当ユニットを無効化することで、無効化したユニットの未処理データは削除可能となり、残りのユニットの処理を継続することが可能である。

[関連]

DIDTD370

E

[英文] Swap failed because next stack file has not been initialized. SPST=@1 USEDSTATUS=@2

[説明] スワップ先のスタックファイルが初期化済みでないため、スワップできなかった。
@ 1 : スーパーストリーム名
@ 2 : スタックの状態
FREE : 初期化可能
INITING : 初期化中

[処置] 削除デーモンが起動している場合、次の削除処理実行で初期化される。早急に初期化を実行したい場合は削除コマンドを実行する。削除デーモン(didltpooldeid)から初期化処理実行に関するエラーが出力されている場合は、そのエラーメッセージに対処する。

また、現在の設定では削除デーモンの削除処理が間に合っていない可能性があるため、削除間隔、削除スタック数の定義を見直す。

[関連]

DIDTD601

E

[英文] Failed to compress data. MESSAGE=[@1]

[説明] データ圧縮処理に失敗した。
@ 1 : メッセージ

[処置] MESSAGE に表示されているメッセージの内容から、エラーに対処する。

[関連]

DIDTDE00

E

[英文] Logical error occurred. ERRTYPE=[ILLEGAL ERROR] ERRINF01=@1 ERRINF02=@2 return=@3

[説明] 論理エラーが発生した。

@ 1 : エラー情報

@ 2 : エラー情報

@ 3 : リターンコード

[処置] ディレクト転送機能を再起動する。エラーが解消されない場合は開発元に問い合わせる。

[関連]

DIDTDE95

E

[英文] Could not retrieve the Data Source.

[説明] データソースの取得に失敗した。

[処置] データソースの設定値に、正しい値を設定する。

[関連]

DIDTDE96

E

[英文] Could not retrieve the Database Connection.

[説明] データベース接続の取得に失敗した。

[処置] データベース接続設定値に、正しい値を設定する。

[関連]

DIDTDE97

E

[英文] Environment variable is not defined. ENVNAME=@1

[説明] 環境変数が設定されていないため、更新ログ出力はおこなわれない。

@ 1 : 環境変数名

[処置] 環境変数を設定する。

[関連]

DIDTDE98

E

[英文] Set value of environment variable is illegal. ENVNAME=@1 VALUE=@2

[説明] 環境変数の設定値が不正である。

@ 1 : 環境変数名

@ 2 : 設定値

[処置] 環境変数のリファレンスマニュアルを参照し、正しい値を設定する。

[関連]

DIDTDE99

E

[英文] Exception occurred. MESSAGE=[@1]

[説明] 例外が発生した。

@ 1 : メッセージ

[処置] MESSAGE に表示されているメッセージの内容から、エラーに対処する。

[関連]

D I O S A / X T P V1.1
メッセージリファレンス

2017 年 4 月 13 版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
TEL (03) 3454-1111 (大代表)

©NEC Corporation 2011, 2017

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。